公 園 緑 地 施 設 標 準 図 集

平 成 １ ４ 年 ４ 月

横 浜 市 緑 政 局

◎　使用にあたって

１．本図集は以下の内容で構成されている。

・**本　編**　（章番号：１～１０）
・**参考図**　（章番号：Ｓ２～Ｓ７）
・**材料表**　（章番号：Ｚ）
・**木部防腐処理基準**

２．寸法は特にことわりのない限りミリ単位とする。

３．材料表は，本編に掲載されている施設の主要材料を記載している。

４．材料表中の数量は，出来上がり数量（割り増しを考慮しない数量）とする。

５．材料表中の数量は，１以上の場合は小数点以下１位（下位四捨五入），１未満の場合は小数点以下２位（下位四捨五入）とする。ただし，０．０１未満の場合は有効数字１桁（下位切り捨て）とする。

◎　経　過

昭和５３月４月　制定

昭和５９年４月　部分改定

平成　３年４月　部分改定

平成　７年４月　部分改定

平成１１年４月　部分改定

平成１４年４月　部分改定

1．擁 壁

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
割石積		WⅠ	1-7

S1．擁 壁:参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
プレキャストL型擁壁	水抜きあり	LW－50A	S1-1/3/6
		LW－75A	S1-1/4/6
		LW－100A	S1-1/5/6
	水抜きなし	LW－50B	S1-2/3/6
		LW－75B	S1-2/4/6
		LW－100B	S1-2/5/6
石張り仕上げ	乱形石張り	IB－R	S1-7
	方形石張り	IB－H	
	割小端積	IB－K	

2．植 栽

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
真竹三本支柱		MD－3L	2-1
鳥居支柱		TS－SM	2-2
		TS－S	
鳥居支柱･合掌支柱	鳥居支柱	TS－L	2-3
	合掌支柱	GS	
やぐら支柱		YS	2-4
杉丸太三本支柱		MS－AS	2-5
		MS－AL	
		MS－BS	
		MS－BL	
		MS－CS	
		MS－CL	
		MS－DS	
		MS－DL	
		MS－ES	
		MS－EL	
張　芝（コウライシバ）	目地張．目土	HS－KA	2-6
	目地張．目土･床土	HS－KB	
	全面張．目土	HS－KC	
	全面張．目土･床土	HS－KD	
	全面張．芝串	HS－KE	
張　芝（ノシバ）	目地張．目土	HS－NA	2-7
	目地張．目土･床土	HS－NB	
	全面張．目土	HS－NC	
	全面張．目土･床土	HS－ND	
	全面張．芝串	HS－NE	

S2．植栽:参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
真竹一本支柱・真竹三本支柱	真竹一本支柱	MD－1	S2-1
	真竹三本支柱	MD－3S	
		MD－3L	
真竹布掛支柱		MD－NS	S2-2
		MD－NL	
生垣支柱		IS－S	S2-3
		IS－L	S2-4
道路植栽鳥居支柱	新植用	TSD－L	S2-5
	補植用	TSD－S	
	添木付・新植用	TSD－LM	S2-6
	添木付・補植用	TSD－SM	
掘取り穴寸法図			S2-7
植穴寸法図			S2-8
道路植栽植穴寸法図			S2-9
地被類植付			S2-10

3．給水設備

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
メーターきょう(13mm)		MK－A	3-1
メーターきょう(20・25mm)		MK－B	3-2
止水栓きょう	宅外用・長300	SK－A	3-3
	宅外用・長600	SK－B	3-4
止水栓ボックス	宅内用・長300	SK－C	3-5
	宅内用・長600	SK－D	
散水栓ボックス	舗装内	SB－A	3-6
	ダスト舗装・植栽地内	SB－B	3-7
給水管		SGP－VB	3-8
		HIVP	
埋設標示シート・埋設鋲・埋設標	埋設標示シート	WH－A	3-9
	埋設鋲	WH－B	
	埋設標	WH－C	

4．排水設備

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
L型側溝		LS－25	4-1
	床版のみ	LS－25S	
	切下げ	LS－25K	4-2
U型側溝	砕石基礎	US－24A	4-3
		US－30A	
	コンクリート基礎	US－24B	4-4
		US－30B	
横断溝		OD－25	4-5
		OD－30	
U 型側溝コンクリート蓋	薄蓋	FCU－24A	4-6
		FCU－30A	
	厚蓋	FCU－24B	
		FCU－30B	
U 型側溝グレーチング蓋	24用・並目・歩道用	FGU－N24A	4-7
	24用・並目・T-2	FGU－N24B	
	24用・並目・T-6	FGU－N24C	
	30用・並目・歩道用	FGU－N30A	
	30用・並目・T-2	FGU－N30B	
	30用・並目・T-6	FGU－N30C	
	24用・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・歩道用	FGU－H24A	4-8
	24用・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・T-2	FGU－H24B	
	24用・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・T-6	FGU－H24C	
	30用・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・歩道用	FGU－H30A	
	30用・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・T-2	FGU－H30B	
	30用・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・T-6	FGU－H30C	
横断溝グレーチング蓋	並目・T－6	FGO－N25	4-9
		FGO－N30	
	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ・T－6	FGO－H25	4-10
		FGO－H30	

4．排水設備

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
L型雨水桝	内径40cm・(並目)	LMM－N65	4-11/12/15
		LMM－N85	
	内径40cm・(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	LMM－H65	4-11/12/15
		LMM－H85	
	内寸法□40cm(並目)	LMK－N	4-13/14/15
	内寸法□40cm(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	LMK－H	
グレーチング蓋雨水桝	内寸法□45cm・(並目)	1GM－N60	4-16/17/20/21
		1GM－N75	
		1GM－N90	
	内寸法□45cm・(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	1GM－H60	4-16/17/20/22
		1GM－H75	
		1GM－H90	
	内寸法□60cm・(並目)	2GM－N60	4-18/19/20/21
		2GM－N80	
		2GM－N100	
		2GM－N120	
	内寸法□60cm・(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	2GM－H60	4-18/19/20/22
		2GM－H80	
		2GM－H100	
		2GM－H120	
U型雨水桝	内寸法□45cm・(並目)	UM－N24A	4-23/25/29/30
		UM－N24B	
	内寸法□45cm・(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	UM－H24A	4-24/25/29/31
		UM－H24B	
	内寸法□50cm・(並目)	UM－N30A	4-26/28/29/30
		UM－N30B	
	内寸法□50cm・(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	UM－H30A	4-27/28/29/31
		UM－H30B	
横断溝雨水桝		UMO－25	4-32/33
		UMO－30	4-34/35

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
雨水桝（1種）	内径45cm	1RM－75	4-36/42/45
		1RM－90	
雨水桝（2種）	内径60cm	2RM－80	4-37/43/45
		2RM－100	
		2RM－120	
雨水桝（3種）	内径70cm	3RM－90	4-38/44/45
		3RM－110	
		3RM－130	
		3RM－150	
汚水桝（1種）	内径45cm	1OM－75	4-39/42/45
		1OM－90	
汚水桝（2種）	内径60cm	2OM－80	4-40/43/45
		2OM－100	
		2OM－120	
汚水桝（3種）	内径70cm	3OM－90	4-41/44/45
		3OM－110	
		3OM－130	
		3OM－150	
組立てマンホール（1種）	内径　90cm・鋳鉄蓋	1MH－K	4-46/48/49
組立てマンホール（2種）	内径120cm・鋳鉄蓋	2MH－K	4-47/48/49
汚水桝・ﾏﾝﾎｰﾙﾄﾞﾛｯﾌﾟ管	汚水桝ﾄﾞﾛｯﾌﾟ管	FPO-A100～200	4-50/53/54
	ﾏﾝﾎｰﾙﾄﾞﾛｯﾌﾟ管	FPM-A100～200	
汚水桝副管		FPO－B200	4-51/53/54
マンホール副管		FPM－B200	4-52/53/54
硬質塩化ビニル管		VU-100～350	4-55

S4. 排水設備:参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
V型側溝	砕石基礎	VS－50A	S4-1
	コンクリート基礎	VS－50B	
皿型側溝	砕石基礎	SS－40A	S4-2
		SS－45A	
	コンクリート基礎	SS－40B	
		SS－45B	
マンホール (1種)	コンクリート蓋	1MH－GA	S4-3
		1MH－GB	
	鋳鉄蓋	1MH－GC	S4-4
		1MH－GD	
マンホール (2種)	コンクリート蓋	2MH－GA	S4-5
		2MH－GB	
	鋳鉄蓋	2MH－GC	S4-6
		2MH－GD	
マンホール副管 (陶管)		(下水道局標準図)	S4-7
硬質塩化ビニル管		VU-400～600	S4-8
取付管布設図 (陶管)		(下水道局標準図)	S4-9
取付管布設図 (塩ビ管)		(下水道局標準図)	S4-10

5. 電気設備

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
引込柱 [コンクリートポール]		EP－C	5-1
引込柱 [鋼管ポール]	定額分電盤・広　場	EP－KAH	5-2/4
	定額分電盤・植栽地	EP－KAS	
	ﾒｰﾀｰ分電盤・広　場	EP－KBH	5-3/4
	ﾒｰﾀｰ分電盤・植栽地	EP－KBS	
定額分電盤(1回路)		BT－AT	5-5/6/9
定額分電盤(2回路)		BT－BT	5-7/8/9
定額分電盤 (1回路) [鋼管ポール用]		BT－CT	5-10/11/12/13
メーター分電盤 (2回路)		BM－AT	5-14/15/20
メーター分電盤 (3回路)		BM－BT	5-16/17/20
メーター分電盤 (4回路)		BM－CT	5-18/19/20
メーター分電盤 (2回路) [鋼管ポール用]		BM－DT	5-21/22/23/24
トイレ用メーター分電盤 (2回路)		TBM－AT	5-25/26/31
トイレ用メーター分電盤 (3回路)		TBM－BT	5-27/28/31
トイレ用メーター分電盤 (4回路)		TBM－CT	5-29/30/31
照明灯 (丸型)	100W・広 場	HL－A100H	5-32/33/34
	100W・植栽地	HL－A100S	
照明灯 (丸型)	200W・広 場	HL－A200H	5-35/36/37
	200W・植栽地	HL－A200S	
照明灯 (角型)	100W・広 場	HL－B100H	5-38/39/40
	100W・植栽地	HL－B100S	
照明灯 (角型)	200W・広 場	HL－B200H	5-41/42/43
	200W・植栽地	HL－B200S	
照明灯 (アーム型)	100W・広 場	HL－C100H	5-44/45/46
	100W・植栽地	HL－C100S	
照明灯 (アーム型)	200W・広 場	HL－C200H	5-47/48/49
	200W・植栽地	HL－C200S	
ハンドホール		HH－45	5-50
		HH－60	5-51
波付硬質ポリエチレン管		FEP－30	5-52
		FEP－50	
埋設標示シート・埋設鋲・埋設標	埋設標示シート	EH－A	5-53
	埋設鋲	EH－B	
	埋設標	EH－C	

6．園路広場

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
ダスト舗装		ＤＨ	6-1
開粒度アスファルト舗装		ＫＡＨ－Ａ	6-2
		ＫＡＨ－Ｂ	
密粒度アスファルト舗装		ＭＡＨ－Ａ	6-3
		ＭＡＨ－Ｂ	
コンクリート舗装		ＣＨ－Ａ	6-4
		ＣＨ－Ｂ	
洗い出し平板舗装		ＦＨ－Ａ	6-5
		ＦＨ－Ｂ	6-6
ハマレンガ舗装	角型	ＹＨ－ＫＡ	6-7
		ＹＨ－ＫＢ	6-8
石張り舗装	乱形石張り	ＩＨ－ＲＡ	6-11/12
		ＩＨ－ＲＢ	
	方形石張り	ＩＨ－ＨＡ	6-11/12
		ＩＨ－ＨＢ	
インターロッキング舗装		ＬＨ－Ａ	6-13
		ＬＨ－Ｂ	6-14
洗い出し舗装		ＪＨ－Ａ	6-15
		ＪＨ－Ｂ	
視覚障害者誘導用ブロック舗装	平板ブロック	ＹＢ－ＦＡ	6-16/18
		ＹＢ－ＦＢ	6-17/18
視覚障害者誘導用インターロッキング舗装	インターロッキングブロック	ＹＢ－ＬＡ	6-19/21
		ＹＢ－ＬＢ	6-20/21
コンクリート縁石（地先）	砕石基礎	ＴＥ－Ａ１	6-22
		ＴＥ－Ａ２	
		ＴＥ－Ａ３	
	コンクリート基礎	ＴＥ－Ｂ１	6-23
		ＴＥ－Ｂ２	
		ＴＥ－Ｂ３	

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
コンクリート縁石（公園）		ＫＥ－Ｂ	6-24
	切下げ	ＫＥ－ＢＫ	
コンクリート縁石（歩車道）	砕石基礎	ＨＥ－Ａ１	6-25
		ＨＥ－Ａ２	
	コンクリート基礎	ＨＥ－Ｂ１	6-26
		ＨＥ－Ｂ２	
ハマレンガ縁石	縦使い	ＹＥ－Ｔ	6-27
	横使い	ＹＥ－Ｙ	
丸太階段	太鼓落し付き	ＫＤ－ＭＡ	6-28
		ＫＤ－ＭＢ	6-29
擬木階段		ＫＤ－Ｇ１００	6-30
		ＫＤ－Ｇ１５０	
		ＫＤ－Ｇ２００	

Ｓ６．園路広場：参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
レンガ舗装(平敷き)		ＲＨ－ＨＡ	S6-1
		ＲＨ－ＨＢ	S6-2
レンガ舗装(小端立て敷き)		ＲＨ－ＫＡ	S6-3
		ＲＨ－ＫＢ	S6-4
タイル舗装	みかげ石調	ＴＨ－ＳＡ	S6-5
		ＴＨ－ＳＢ	S6-6
	レンガ調	ＴＨ－ＲＡ	S6-7
		ＴＨ－ＲＢ	S6-8
小舗石舗装		ＳＨ－Ａ	S6-9
		ＳＨ－Ｂ	S6-10

7．遊戯施設

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
低鉄棒（2段）		LTE－2	7-8/10
低鉄棒（3段）		LTE－3	7-9/10
ジャングルジム		ＪＡ	7-14/15

S7．遊戯施設：参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
砂　場		ＳＮ	S7-1
ブランコ（2連）		BU－2	S7-2/4
ブランコ（4連）		BU－4	S7-3/4
すべり台		ＳＵ	S7-5/6
中鉄棒（2段）		MTE－2	S7-7/9
中鉄棒（3段）		MTE－3	S7-8/9

8．サービス施設

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
ベンチ	平型	TB－AF	8-1
	背付	TB－AB	8-2
	背付・肘掛付	TB－AH	8-3
ベンチ	平型	TB－BF	8-4
	背付	TB－BB	8-5
	背付・肘掛付	TB－BH	8-6
スツール	鋼製脚	ST－A	8-7
	擬石脚	ST－B	8-8
野外卓	鋼製脚・車椅子対応	YT	8-9/10
水飲み	本体擬石・柱型	MN－A	8-11/15/16
	本体擬石・車椅子対応	MN－B	8-12/13/14/15/16
制札板		ＳＥ	8-17

9．管理施設-1《車止め・門柱》

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
車止め	一本立型・差込式	KU－AS	9-1
	一本立型・固定式	KU－AK	9-2
	馬型・差込式	KU－BS	9-3
	馬型・固定式	KU－BK	9-4
	車椅子対応・差込式	KU－CS	9-5
	車椅子対応・固定式	KU－CK	9-6
門　柱	両側	MO－A	9-7
		MO－B	9-8

S9．管理施設-1：参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ペ　ー　ジ
くずかご	本体のみ	KK－A	S9-1/2
	回転蓋付	KK－B	
	固定蓋付	KK－C	

10. 管理施設-2《柵・手すり》

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
パイプ柵　(1段)	独立基礎	PF－1S	10-1
	布基礎	PF－1W	10-2
パイプ柵　(2段)	独立基礎	PF－2S	10-3
	布基礎	PF－2W	10-4
縦格子柵	独立基礎	TF－90S	10-5
		TF－120S	
	布基礎	TF－90W	10-6
		TF－120W	
	控付・独立基礎	TF－120SS	10-7
手すり(1段)	独立基礎	TR－1S	10-14
	布基礎	TR－1W	10-15
手すり(2段)	独立基礎	TR－2S	10-16
	布基礎	TR－2W	10-17
メッシュフェンス	独立基礎	ME－120S	10-18
		ME－150S	
		ME－180S	
		ME－200S	
	布基礎	ME－120W	10-19
		ME－150W	
		ME－180W	
コンクリート柵		CF	10-20/21
ロープ柵		RF	10-22
番線柵		WF	10-23
木　柵	柱@0.9m	MF－A	10-24
	柱@1.5m	MF－B	10-25
竹　柵		BF	10-26

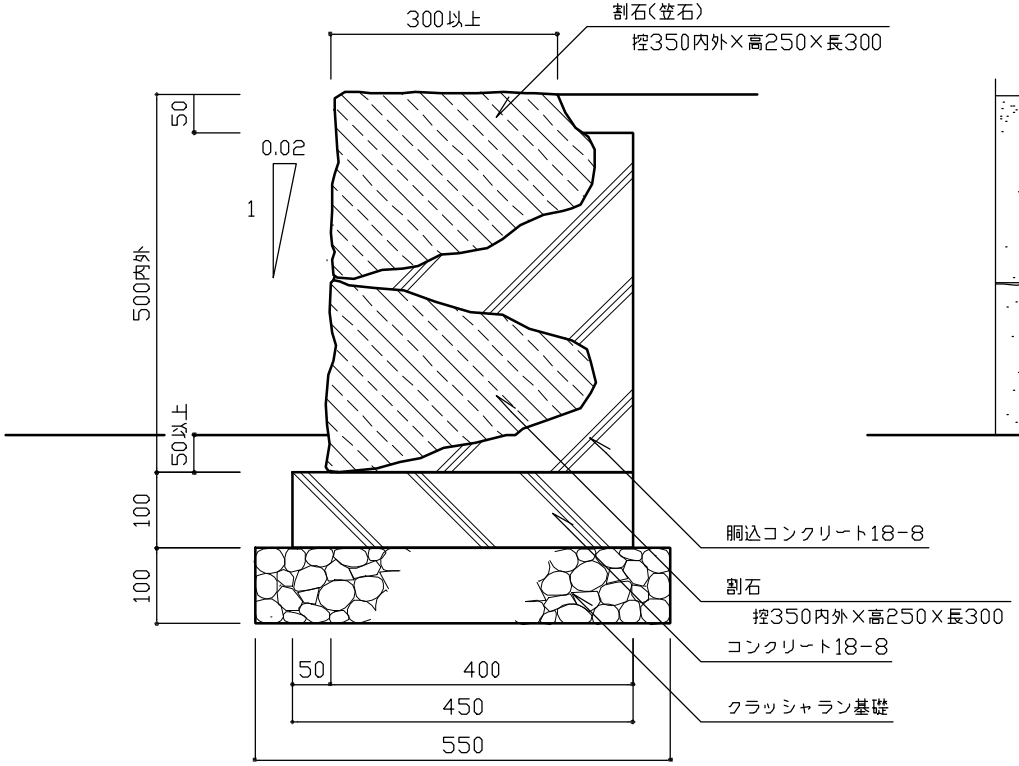
S10. 管理施設-2《柵・手すり》:参考図

名　　称	細　　別	記　　号	ページ
縦格子柵(手すり付)	1段・独立基礎	TFT－1S	S10-1
	1段・布基礎	TFT－1W	S10-2
	1段・控付・独立基礎	TFT－1SS	S10-3
	2段・独立基礎	TFT－2S	S10-4
	2段・布基礎	TFT－2W	S10-5
	2段・控付・独立基礎	TFT－2SS	S10-6

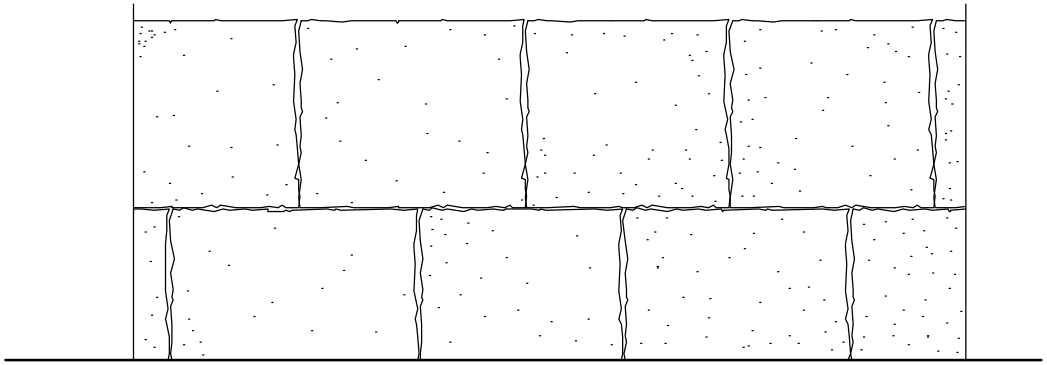
Z. 材料表

1. 擁　壁	Z－1
2. 植　栽	Z－1～3
3. 給水設備	Z－3
4. 排水設備	Z－4～11
5. 電気設備	Z－12～16
6. 園路広場	Z－17～19
7. 遊戯施設	Z－20
8. サービス施設	Z－20～21
9. 管理施設-1《車止め・門柱》	Z－22
10. 管理施設-2《柵・手すり》	Z－23～25

1　擁　　壁



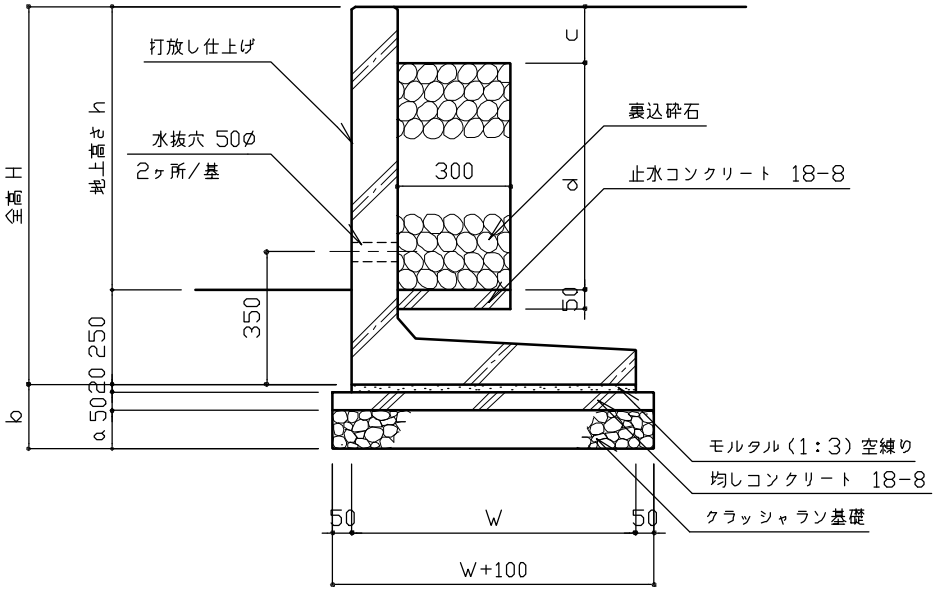
断 面 図



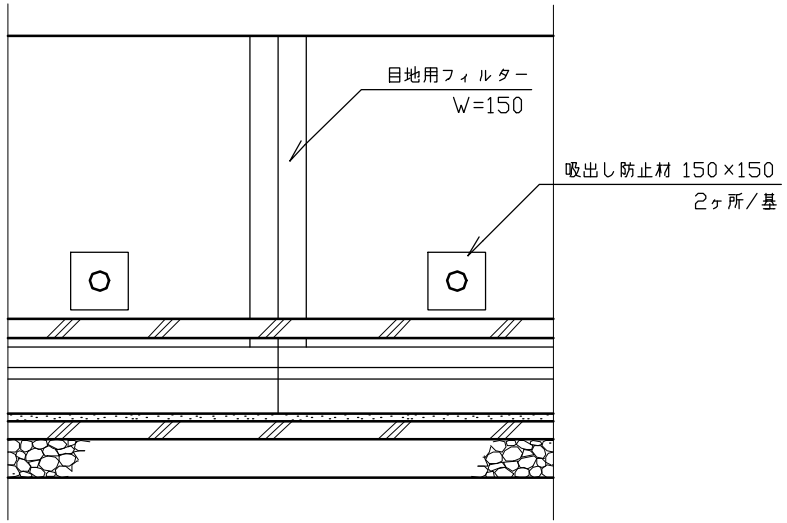
正 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・割石（笠石）、割石は、安山岩とする。 ・伸縮目地は、杉板（１等）厚９mmとし、@２０mを標準とする。 ・端部、角石は、役石を使用する。 ・目地は、突合せ・から目地とする。	割石積		
		縮尺	1／10	WI
		日付	H14.4	

S1 擁　壁:参考図



標準断面図 1/20



背 面 図 1/20

寸 法 表　　（単位：mm）

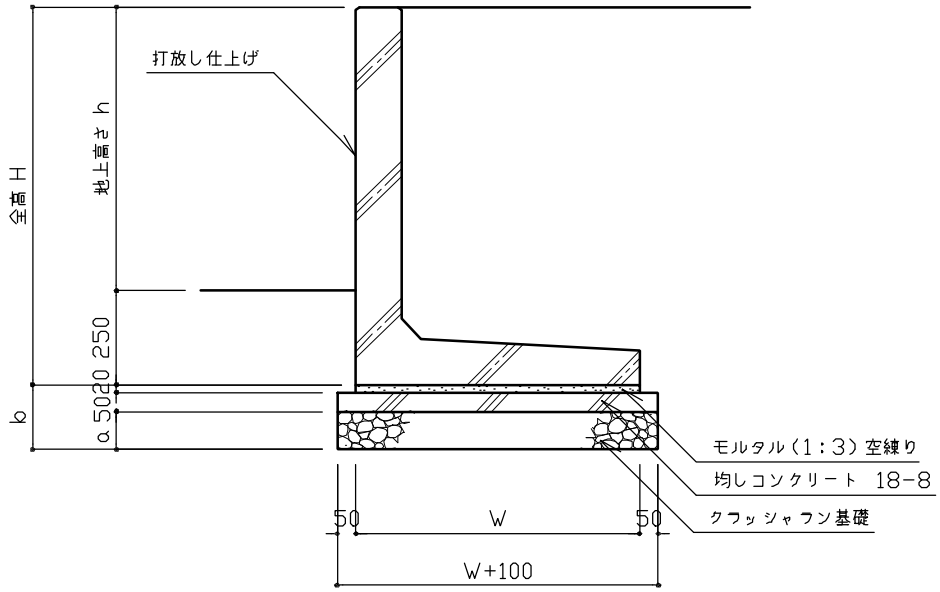
記 号	h	H	W	W+100	a	b	c	d
LW-50A	500	750	750	850	100	170	150	350
LW-75A	750	1000	900	1000	150	220	200	550
LW-100A	1000	1250	1050	1150	150	220	200	800

特記

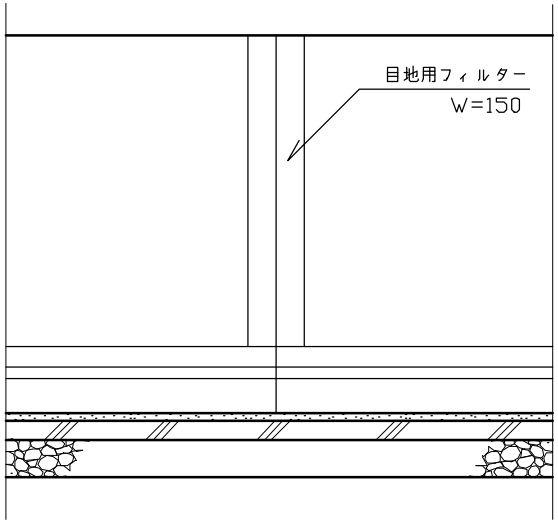
- クラッシャラン基礎、裏込砕石は、再生材（RC－４０）とする。
- コンクリートは、高炉Bとする。
- 隣接するプレキャストL型擁壁は、鋼製金具（継手フランジ、ボルト）により連結する。鋼製金具は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。
- プレキャストL型擁壁は、長さ１，９９５mm/基、目地幅は5mmを標準とする。
- プレキャストコンクリートの設計基準強度は30N/mm²とする。

プレキャストL型擁壁 [参考図]

縮尺	図 示	LW-50A LW-75A LW-100A
日付	H15.4	



標準断面図 1/20



背 面 図 1/20

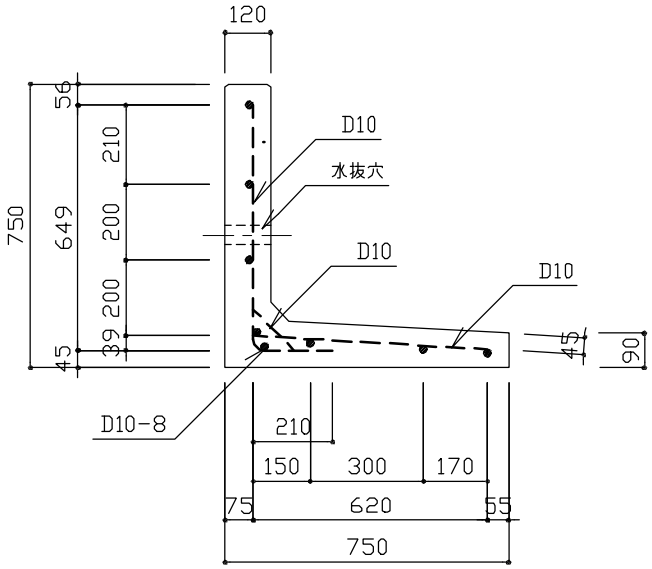
寸 法 表　　（単位：mm）

記 号	h	H	W	W+100	a	b
LW-50B	500	750	750	850	100	170
LW-75B	750	1000	900	1000	150	220
LW-100B	1000	1250	1050	1150	150	220

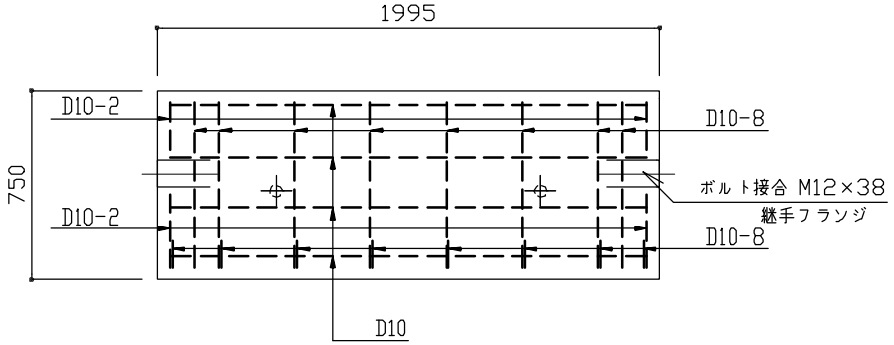
特記

- クラッシャラン基礎、裏込砕石は、再生材（RC－４０）とする。
- コンクリートは、高炉Ｂとする。
- 隣接するプレキャストＬ型擁壁は、鋼製金具（継手フランジ、ボルト）により連結する。鋼製金具は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。
- プレキャストＬ型擁壁は、長さ１，９９５mm/基、目地幅は５mmを標準とする。
- プレキャストコンクリートの設計基準強度は30N/mm² とする。

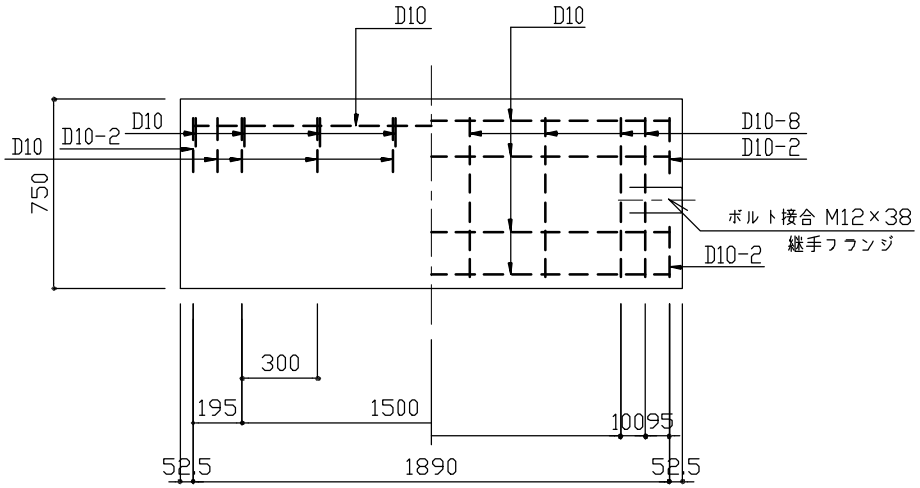
プレキャストL型擁壁 [参考図]		
縮尺	図 示	LW-50B LW-75B LW-100B
日付	H15.4	



側 面 図 1/20

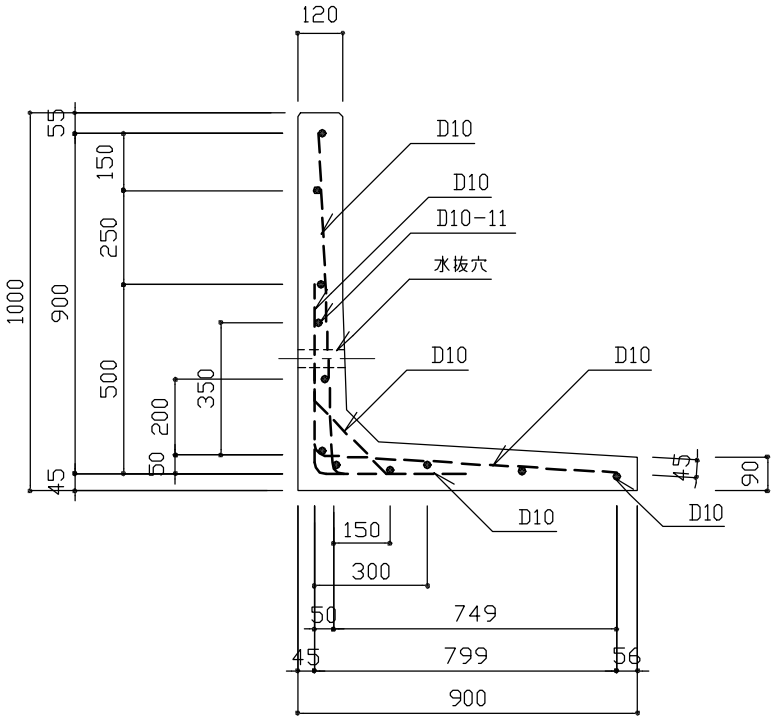


立 面 図 1/30

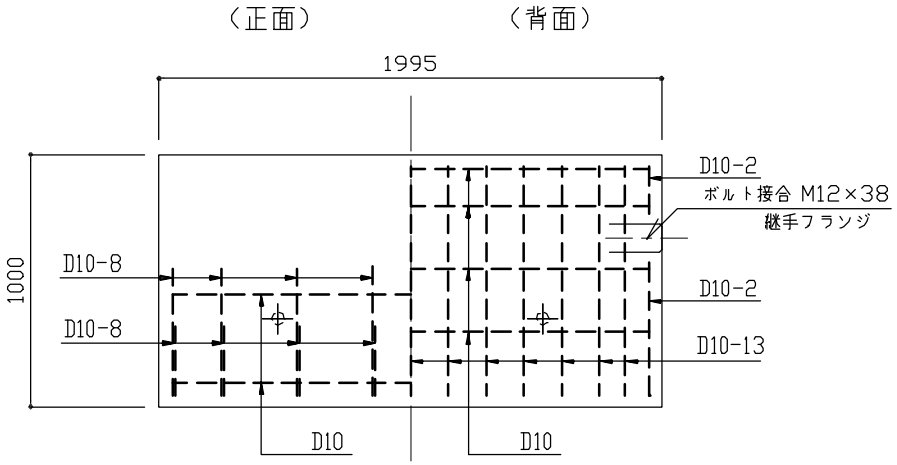


底盤平面図 1/30

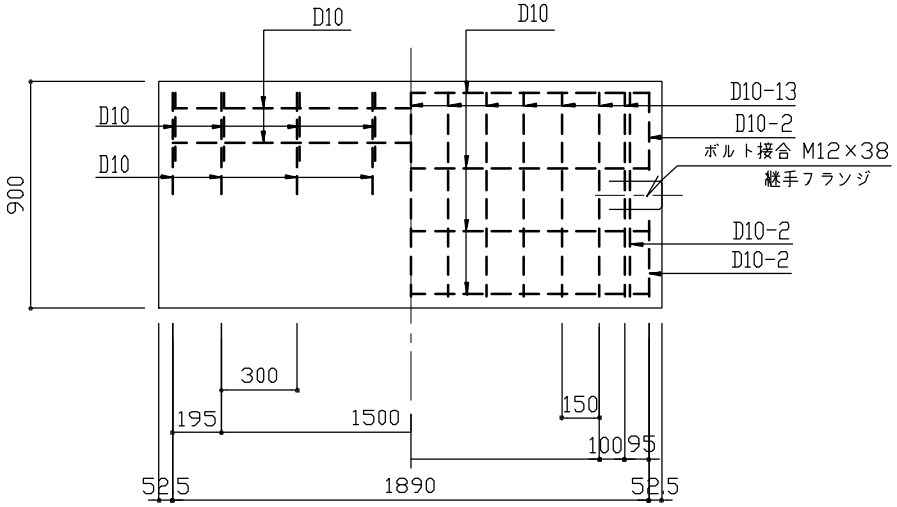
特記	・水抜穴はLW−50Aのみに設ける。	プレキャストL型擁壁 [参考図]	
		縮尺	図 示	LW-50A LW-50B
		日付	H15.4	



側 面 図 1/20

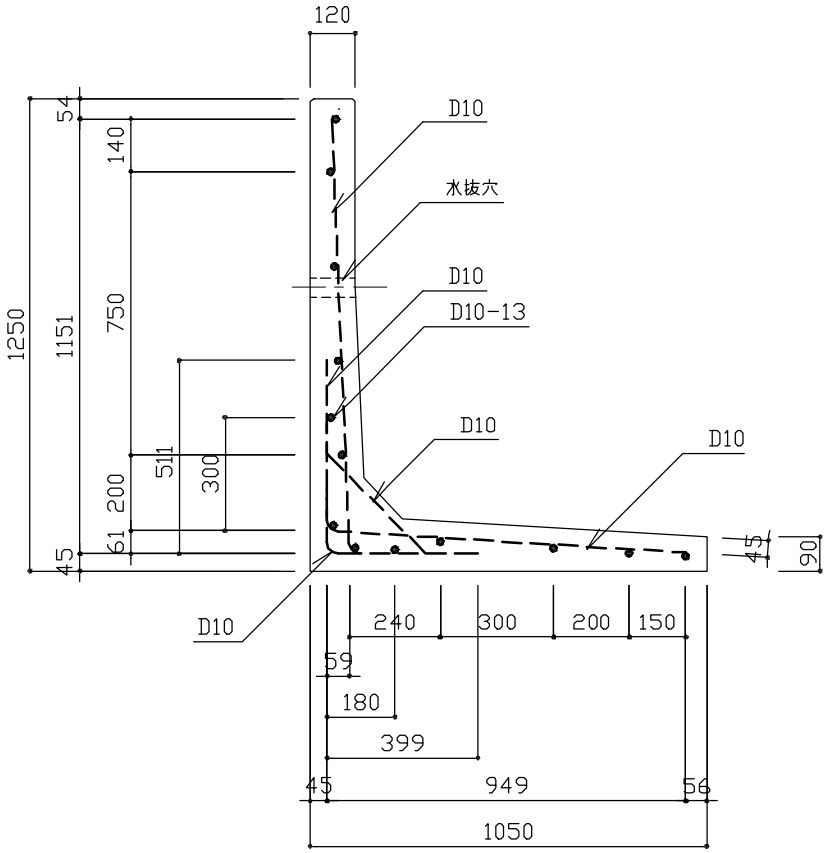


立 面 図 1/30

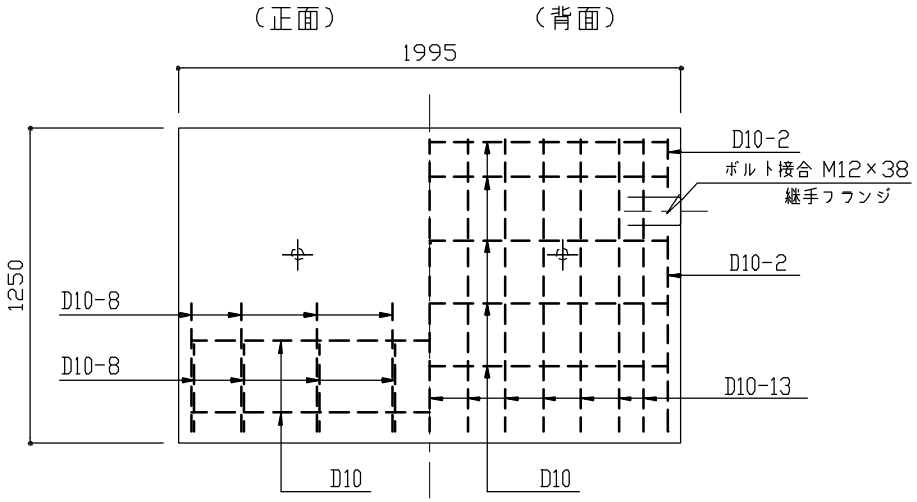


底盤平面図 1/30

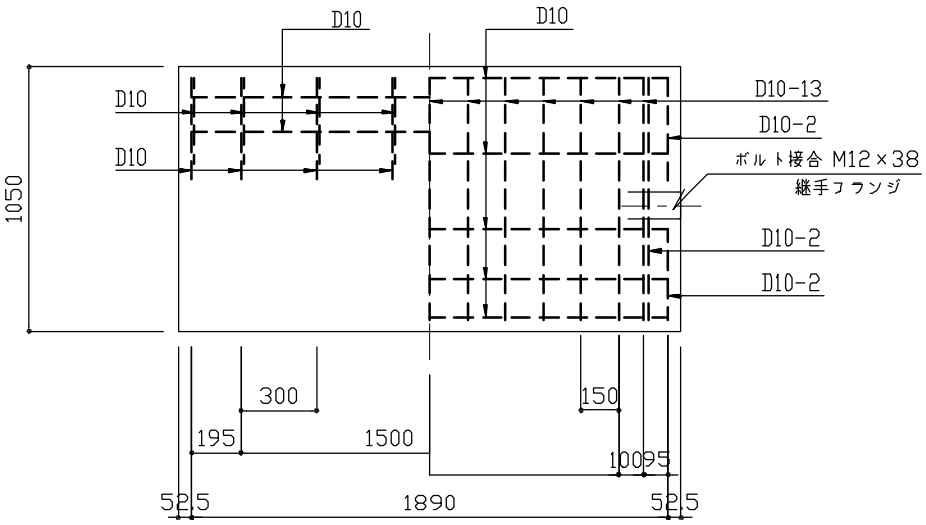
特記	・水抜穴はLW−75Aのみに設ける。	プレキャストL型擁壁 [参考図]	
		縮尺 図 示	LW-75A LW-75B
		日付 H15.4	



側 面 図 1/20



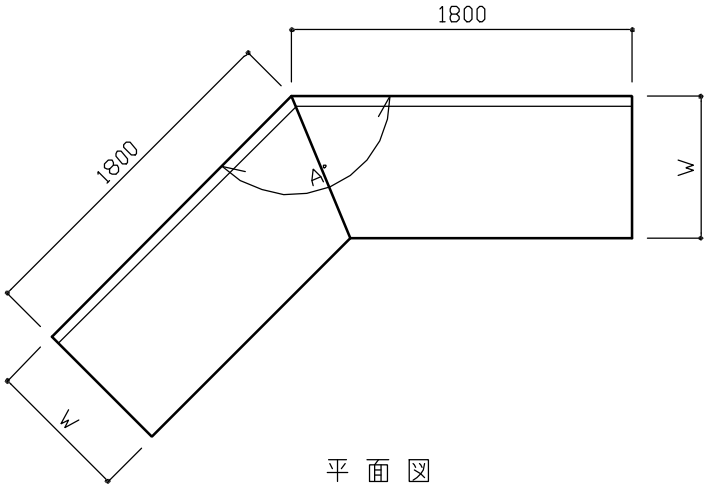
立 面 図 1/30



底盤平面図 1/30

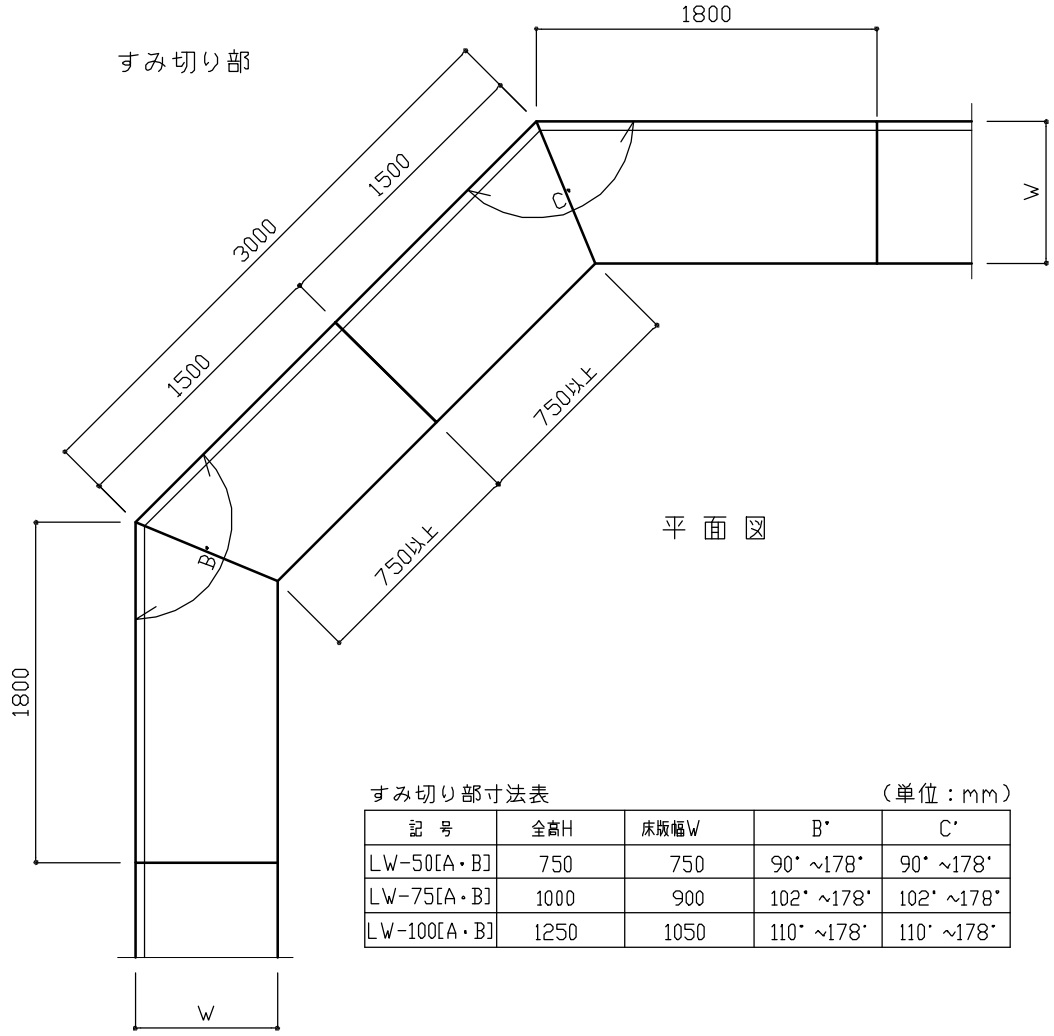
特記	・水抜穴はLW−100Aのみに設ける。	プレキャストL型擁壁 [参考図]	
		縮尺	図 示	LW-100A LW-100B
		日付	H15.4	

コーナー部



平 面 図

すみ切り部



平 面 図

コーナー部寸法表　（単位：mm）

記 号	全高H	床版幅W	A°
LW-50[A・B]	750	750	90° ~178°
LW-75[A・B]	1000	900	90° ~178°
LW-100[A・B]	1250	1050	90° ~178°

すみ切り部寸法表　（単位：mm）

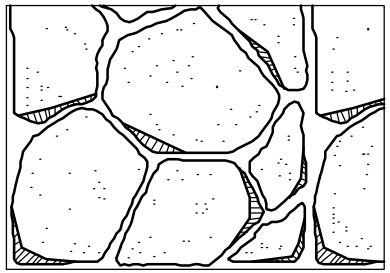
記 号	全高H	床版幅W	B°	C°
LW-50[A・B]	750	750	90° ~178°	90° ~178°
LW-75[A・B]	1000	900	102° ~178°	102° ~178°
LW-100[A・B]	1250	1050	110° ~178°	110° ~178°

特記

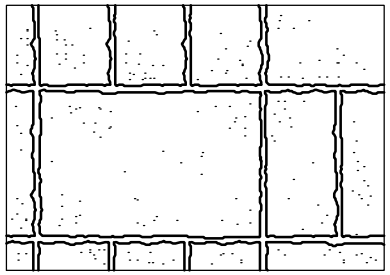
・角度は2° きざみとする。

プレキャストL型擁壁 [参考図]

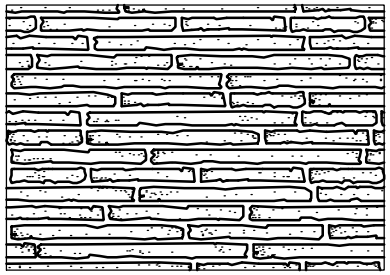
縮尺	1/40	LW-50A・75A・100A LW-50B・75B・100B
日付	H15.4	



乱形石張り IB-R

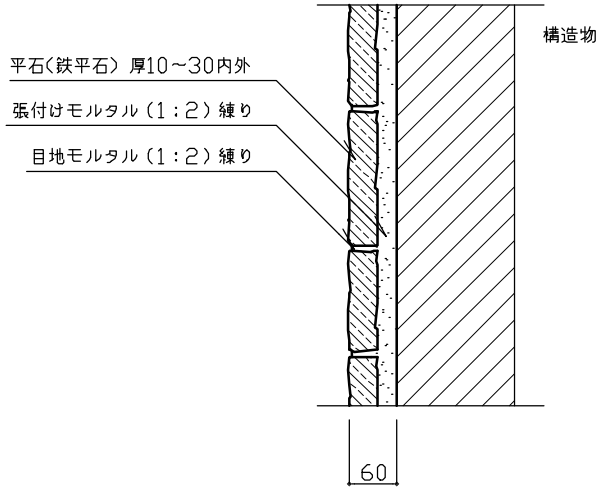


方形石張り IB-H



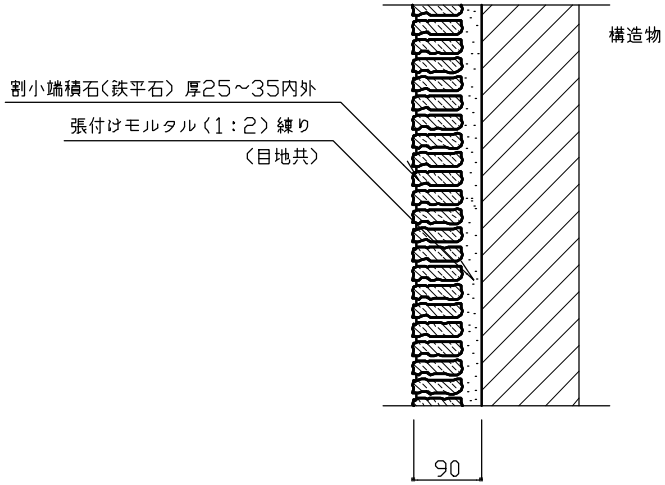
割小端積　IB-K

乱形石張り　IB-R
方形石張り　IB-H



断 面 図

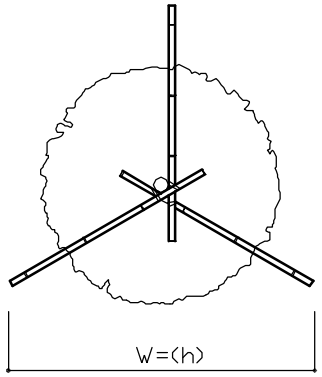
割小端積　IB-K



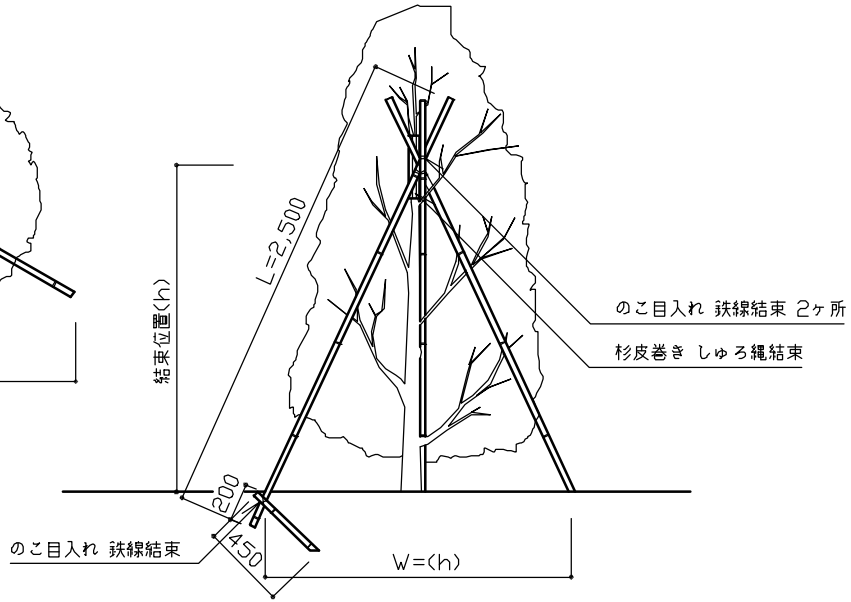
断 面 図

特記	◦乱形石は、径60～300内外、厚１０～３０内外とする。目地幅は10mm程度、深さ５～１０mmを標準とする。 ◦方形石は、１５０×３００内外、３００×４５０内外、厚１０～３０内外とする。目地幅は10mm程度、深さ５～１０mmを標準とする。 ◦割小端積石は、７５×３００内外、厚２５～３５内外とする。目地幅は１０mm程度、深さ３～５mmを標準とする。	**石張り仕上げ [参考図]**		
		縮尺	1／10	**IB-R** **IB-H** **IB-K**
		日付	H15.4	

2　植　　栽



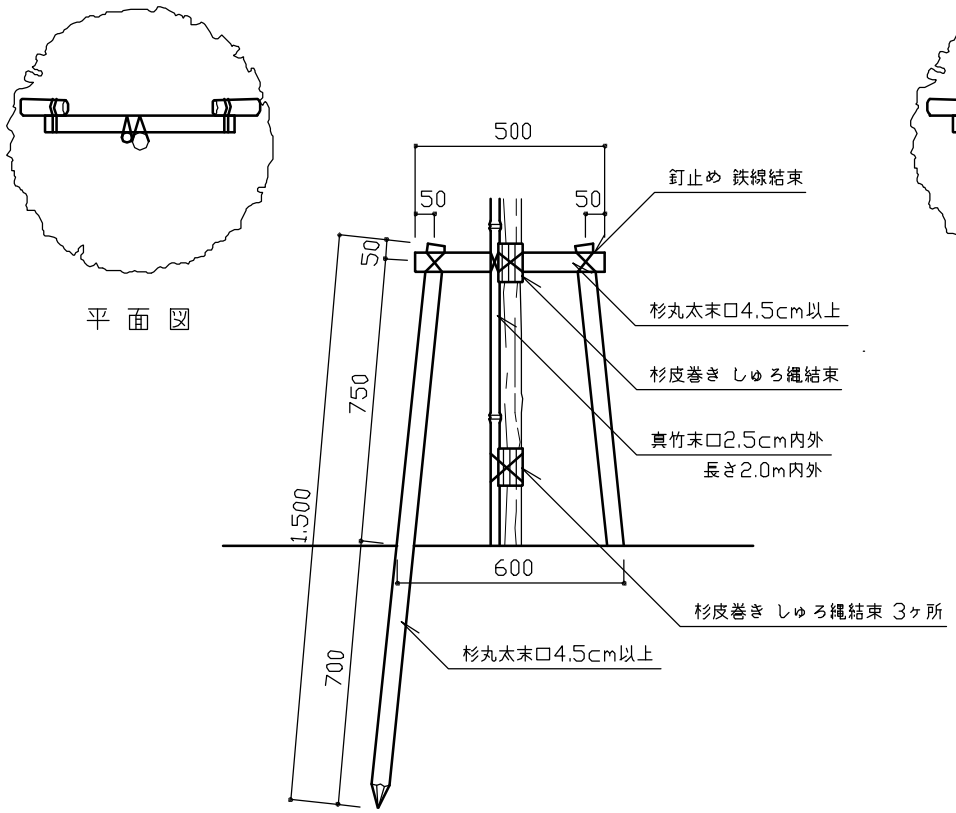
平 面 図 1/40

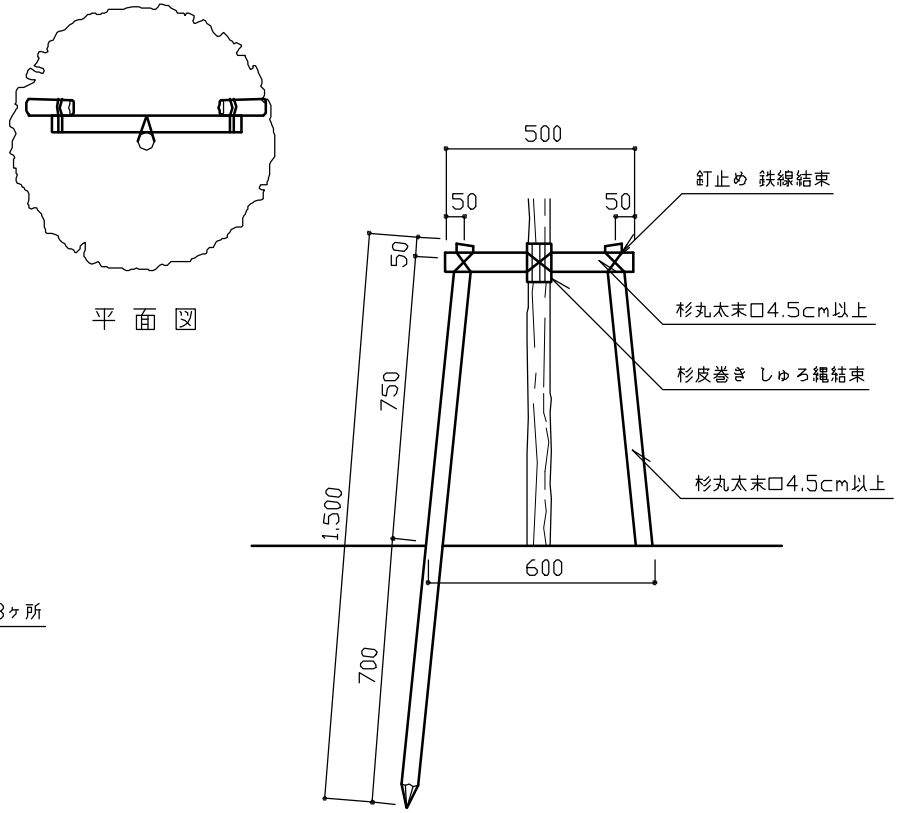


立 面 図 1/40

真 竹 三 本 支 柱	MD − 3L	幹周 0.09m以上 0.15m未満

特記	◦真竹は、末口2.5ｃｍ内外、先端節止め使いとする。 ◦鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦しゅろ縄は、黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦結束位置（ｈ）は、樹高の６割を標準とする。 ◦根かせの端部を地上に露出させないこと。	**真竹三本支柱**	
		縮尺 図 示	**MD-3L**
		日付 H14.4	





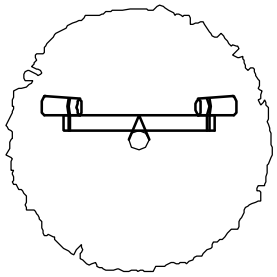
鳥 居 支 柱	TS-SM	幹周 0.09m以上 0.20m未満

鳥 居 支 柱	TS-S	幹周 0.09m以上 0.20m未満

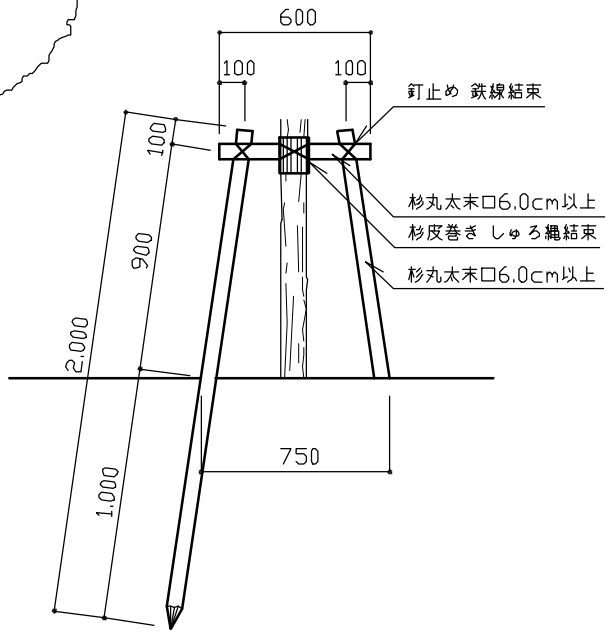
特記

- 杉丸太は、無処理品とする。
- 鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。
- しゅろ縄は､黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。

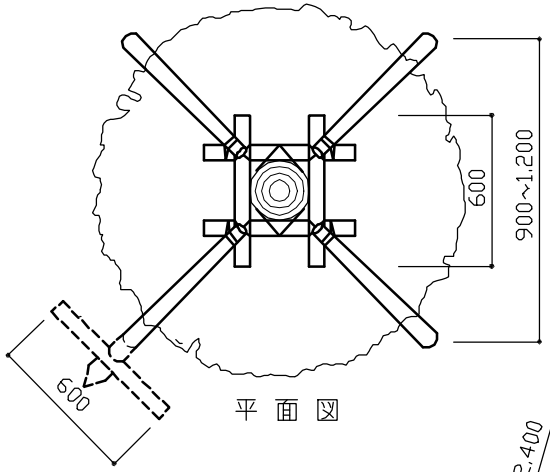
鳥居支柱		
縮尺	1/20	TS-SM TS-S
日付	H15.4	



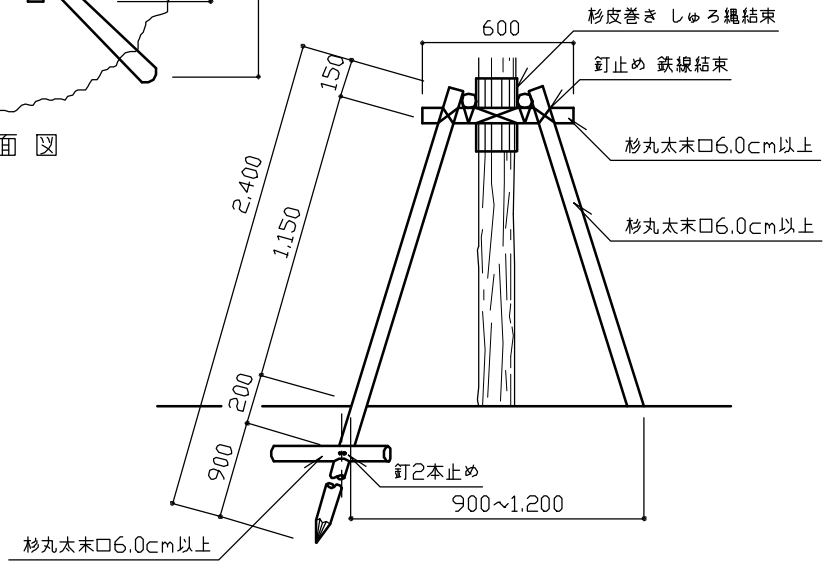
平 面 図



立 面 図



平 面 図



立 面 図

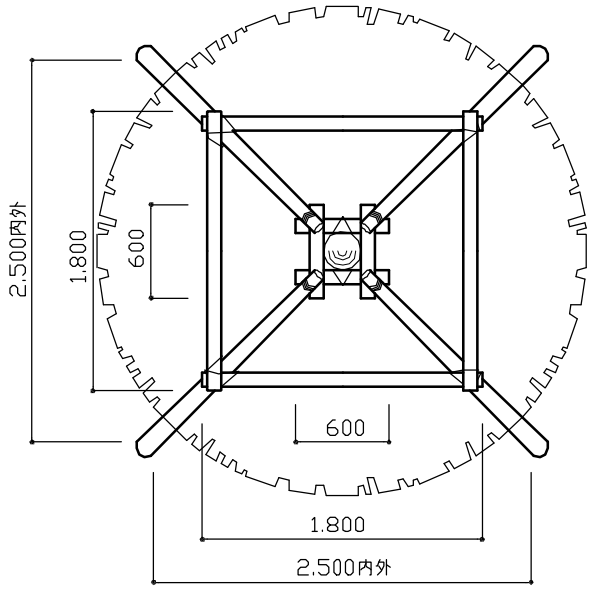
鳥 居 支 柱	TS － L	幹周 0.20m以上 0.40m未満

合 掌 支 柱	GS	幹周 0.40m以上 0.70m未満

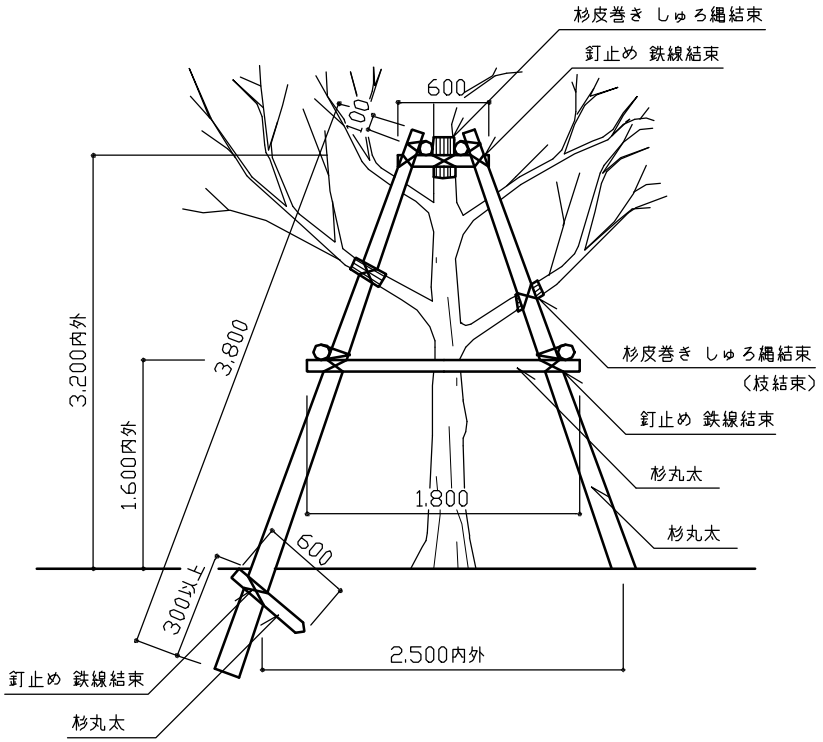
特記

- 杉丸太は、無処理品とする。
- 鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。
- しゅろ縄は､黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。

鳥居支柱･合掌支柱		
縮尺	1／30	TS-L GS
日付	H15.4	



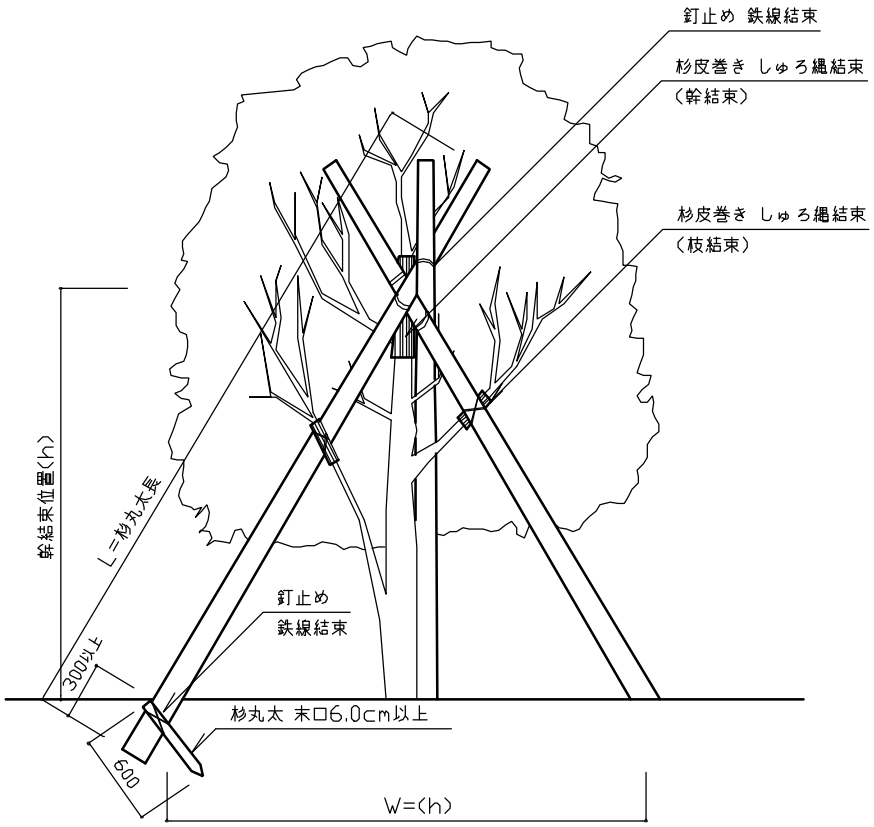
平 面 図



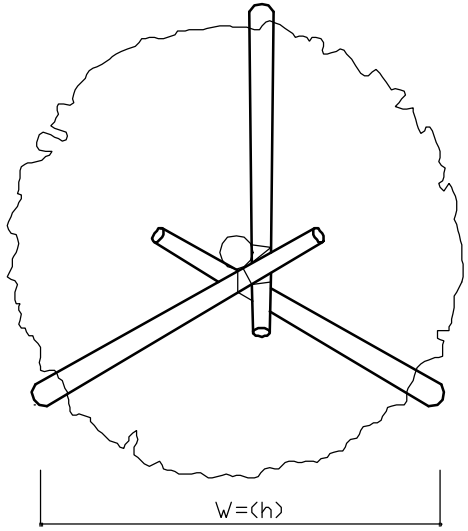
立 面 図

や ぐ ら 支 柱	Y S	幹周 0.70m以上 1.20m未満

特記	・杉丸太は、末口６ｃｍ以上、無処理品とする。 ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。 ・しゅろ縄は､黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。 ・根かせの端部を地上に露出させないこと。	やぐら支柱	
		縮尺 1／50	YS
		日付 H15.4	



立 面 図



平 面 図

［杉丸太］寸 法 表

記 号	長 さ (mm)	末 口 (mm)
MS-AS	3,000	30
MS-AL	3,000	45
MS-BS	3,500	30
MS-BL	3,500	45
MS-CS	4,000	30
MS-CL	4,000	45
MS-DS	5,000	45
MS-DL	5,000	60
MS-ES	5,500	60
MS-EL	5,500	75

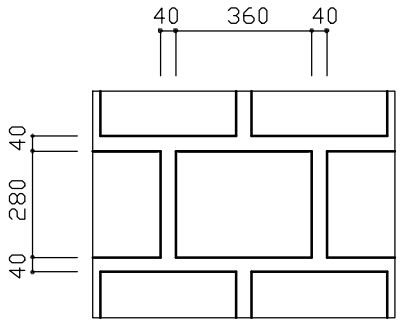
杉丸太三本支柱　（単位：m）

分 類	樹 高	幹 周
MS-AS	2.50以上 3.50未満	0.15以上 0.35未満
MS-AL	2.50以上 3.50未満	0.35以上 0.55未満
MS-BS	3.50以上 4.00未満	0.09以上 0.35未満
MS-BL	3.50以上 4.00未満	0.35以上 0.55未満
MS-CS	4.00以上 5.00未満	0.15以上 0.35未満
MS-CL	4.00以上 5.00未満	0.35以上 0.55未満
MS-DS	5.00以上 6.00未満	0.20以上 0.55未満
MS-DL	5.00以上 6.00未満	0.55以上 0.90未満
MS-ES	6.00以上 7.00未満	0.25以上 0.55未満
MS-EL	6.00以上 7.00未満	0.55以上 0.90未満

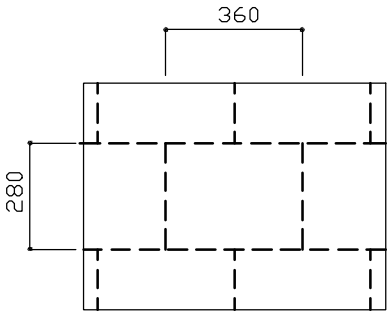
特記

- 杉丸太は、末□3.0～7.5cm以上、無処理品とする。
- 鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。
- しゅろ縄は､黒色径3mmとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。
- 結束位置（ｈ）は、樹高の６割を標準とする。
- 根かせの端部を地上に露出させないこと。

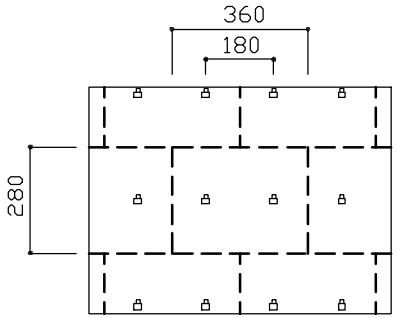
杉丸太三本支柱		
縮尺	1／50	MS-AS～EL
日付	H15.4	



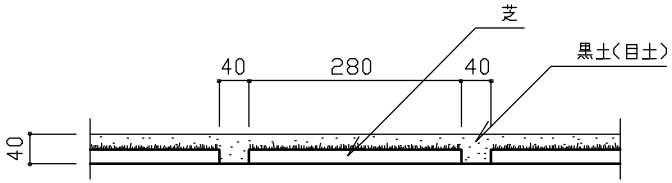
HS-KA,KB 平面図1/20



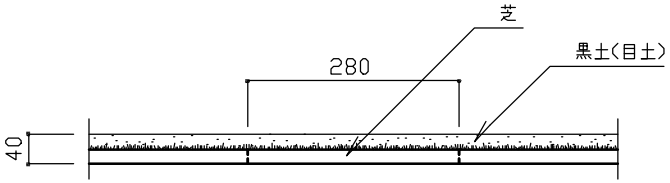
HS-KC,KD 平面図1/20



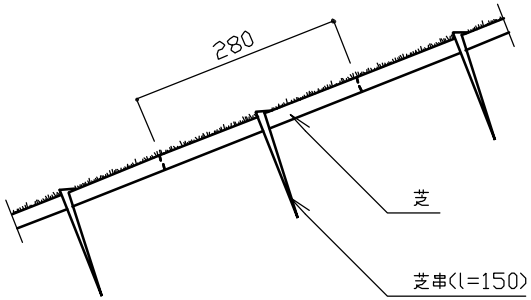
HS-KE 平面図1/20



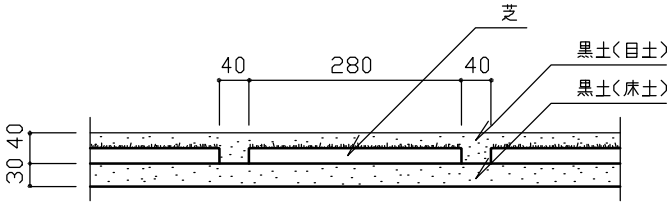
HS-KA 断面図1/10



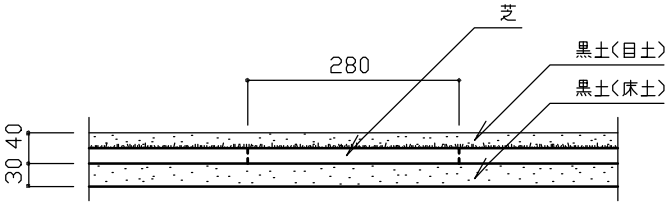
HS-KC 断面図1/10



HS-KE 断面図1/10



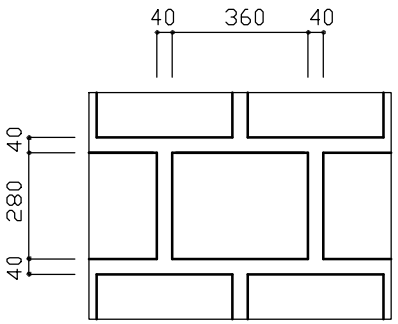
HS-KB 断面図1/10



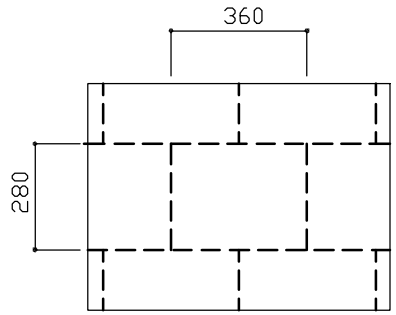
HS-KD 断面図1/10

特記	・表示寸法は、標準寸法とする。	張芝(コウライシバ)	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4

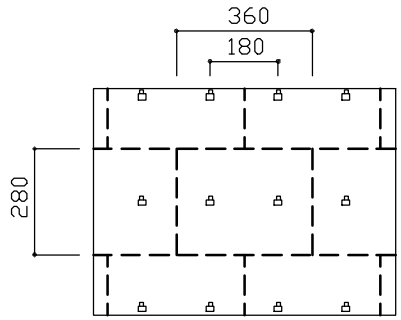
HS-K[A·B·C·D·E]



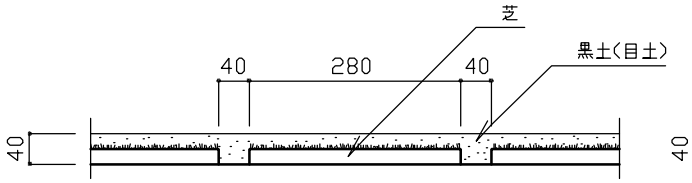
HS-NA,NB 平面図1/20



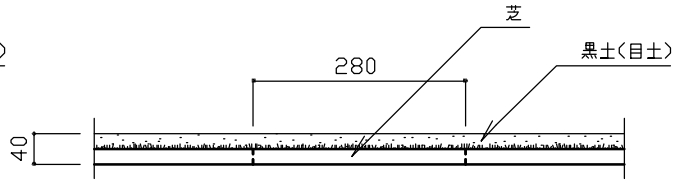
HS-NC,ND 平面図1/20



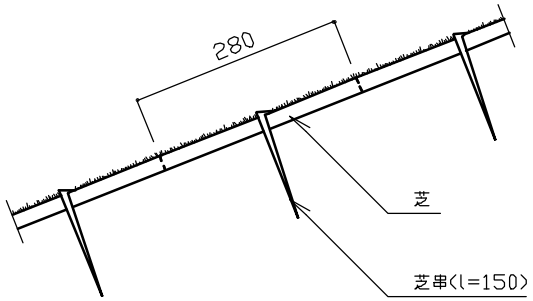
HS-NE 平面図1/20



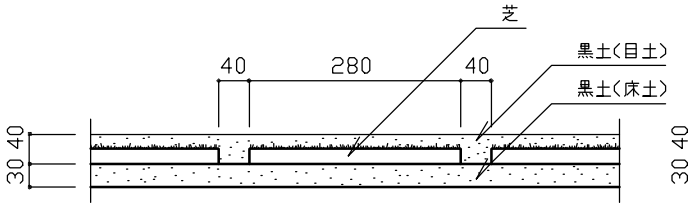
HS-NA 断面図1/10



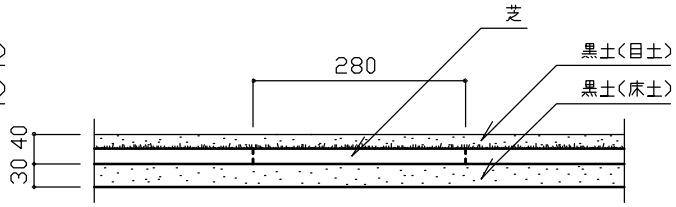
HS-NC 断面図1/10



HS-NE 断面図1/10



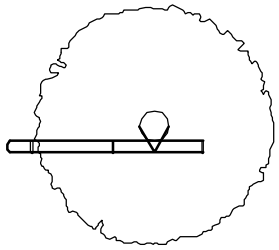
HS-NB 断面図1/10



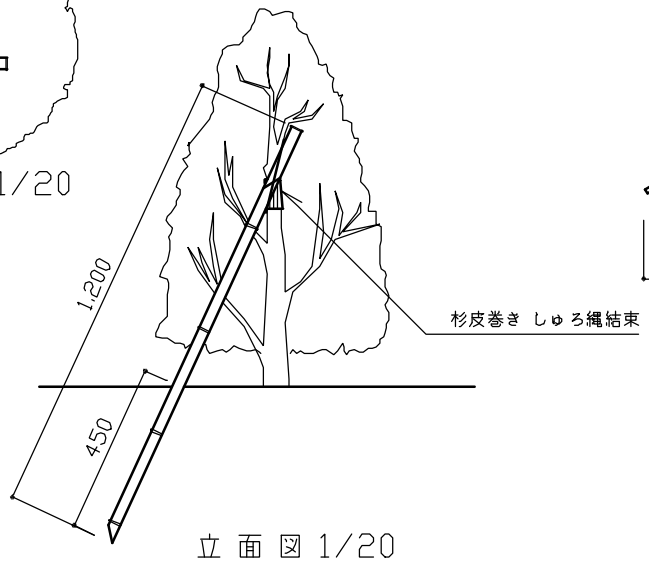
HS-ND 断面図1/10

特記	・表示寸法は、標準寸法とする。	張芝(ノシバ)	
		縮尺 図示	HS-N[A・B・C・D・E]
		日付 H14.4	

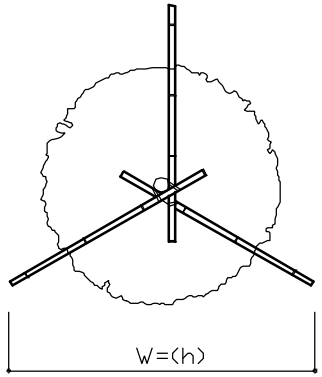
S2 植　　栽:参考図



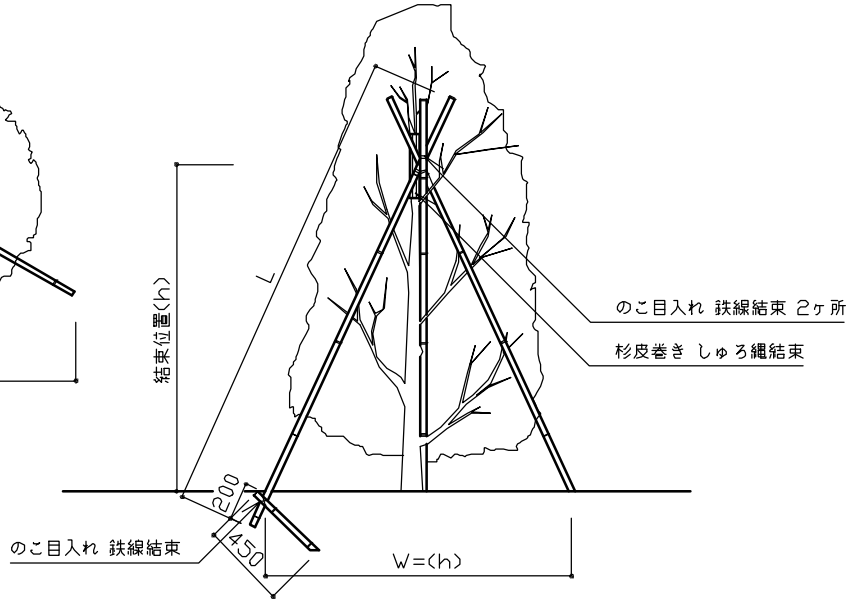
平 面 図 1/20



立 面 図 1/20



平 面 図 1/40



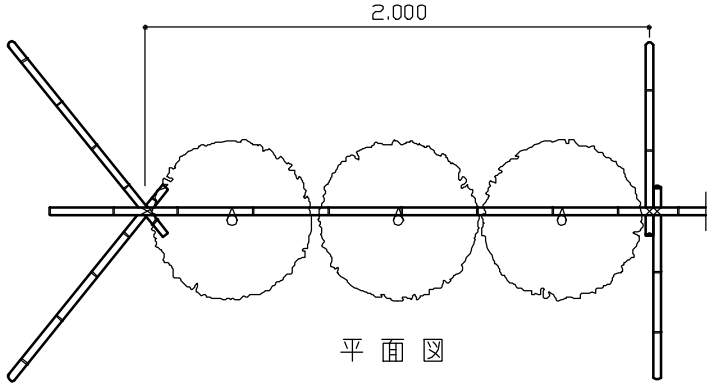
立 面 図 1/40

真 竹 一 本 支 柱	MD-1	樹高 0.8m以上 1.5m未満

真 竹 三 本 支 柱	MD-3S	L=1.8m	樹高 1.5m以上 2.5m未満
真 竹 三 本 支 柱	MD-3L	L=2.5m	樹高 2.5m以上 3.0m未満

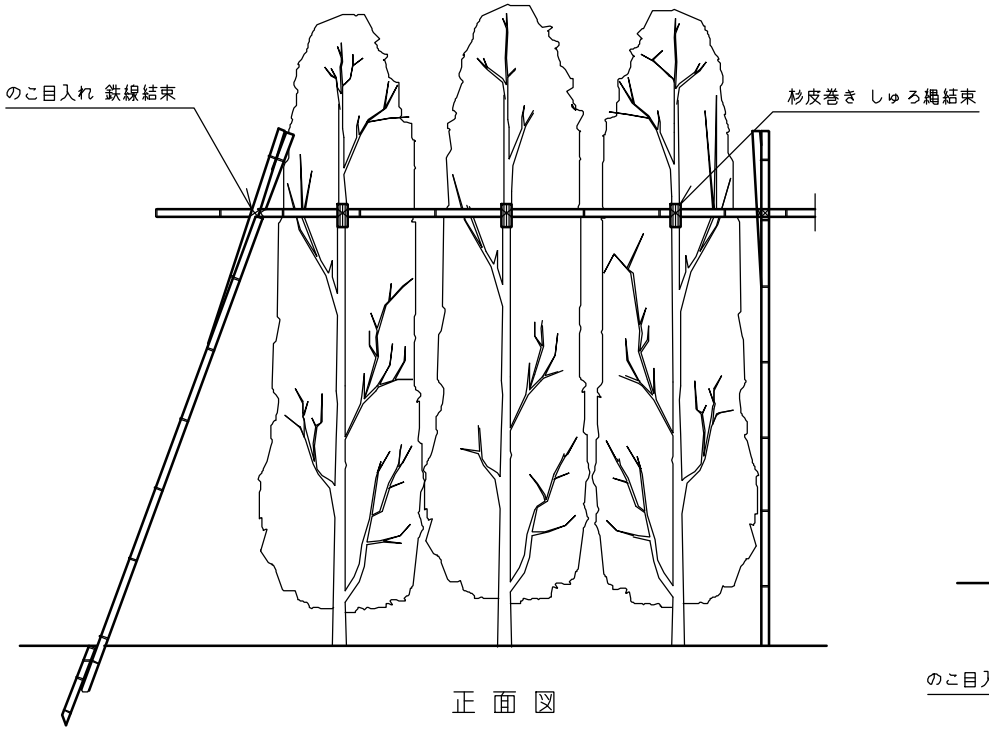
特記	◦真竹は、末口2.5ｃｍ内外､先端節止め使いとする。 ◦鉄線は､亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦しゅろ縄は､黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦結束位置（ｈ）は、樹高の６割を標準とする。 ◦根かせの端部を地上に露出させないこと。

真竹一本支柱･真竹三本支柱[参考図]		
縮尺	図 示	**MD-1 MD-3S MD-3L**
日付	H14.4	

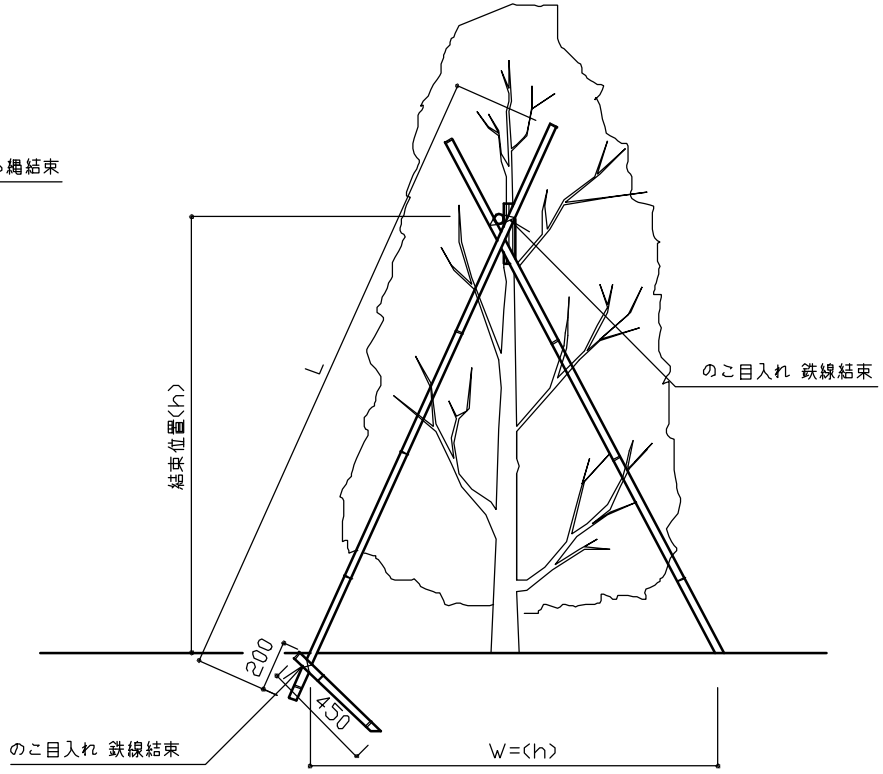


平 面 図

真 竹 布 掛 支 柱	MD-NS	L=1.8m	樹高 1.5m以上 2.5m未満
真 竹 布 掛 支 柱	MD-NL	L=2.5m	樹高 2.5m以上 3.0m未満



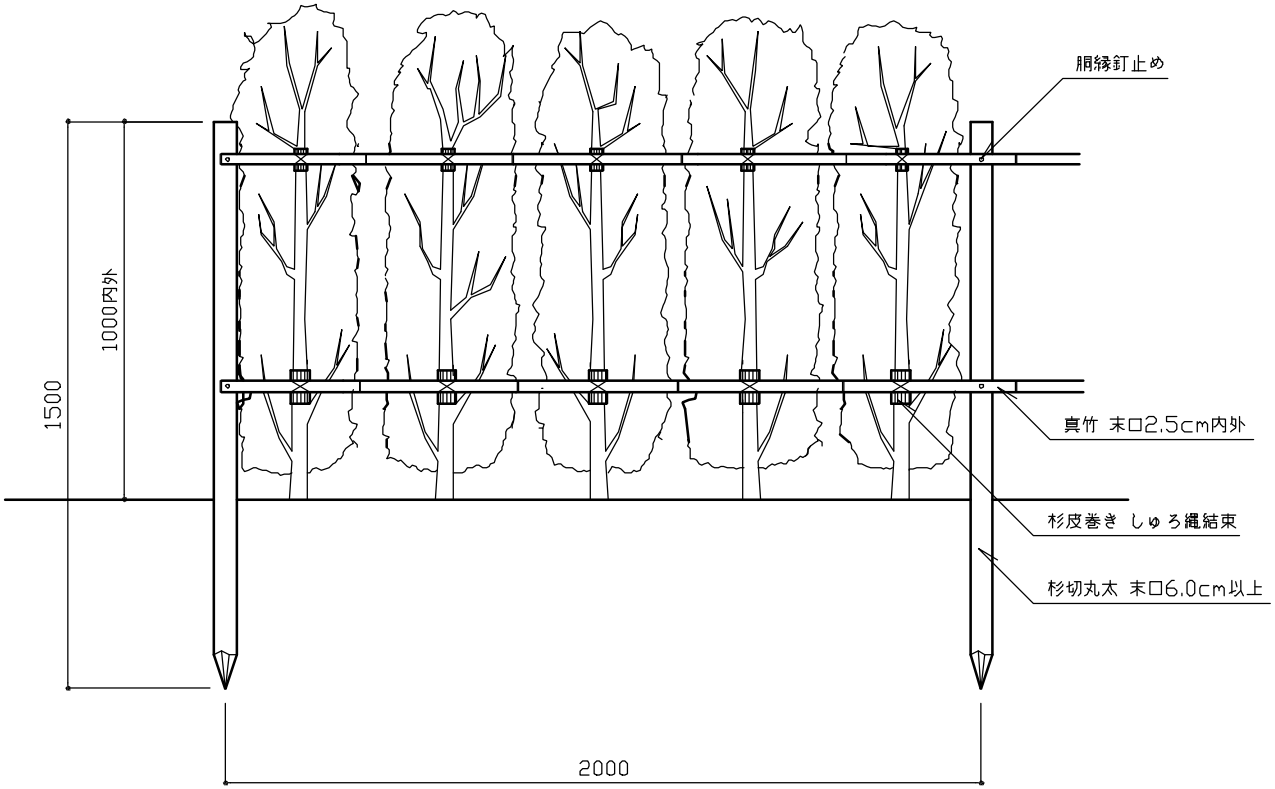
正 面 図



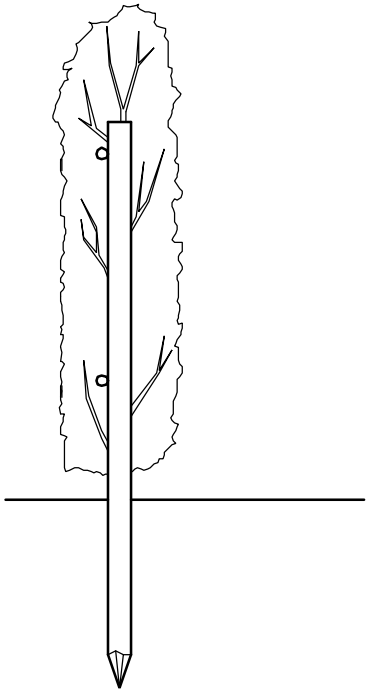
側 面 図

特記	◦真竹は、末口2.5ｃｍ内外、先端節止め使いとする。 ◦鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦しゅろ縄は、黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦結束位置（ｈ）は、樹高の６割を標準とする。 ◦根かせの上部を地上に露出させないこと。

真竹布掛支柱 [参考図]		
縮尺	1／30	**MD-NS** **MD-NL**
日付	H14.4	

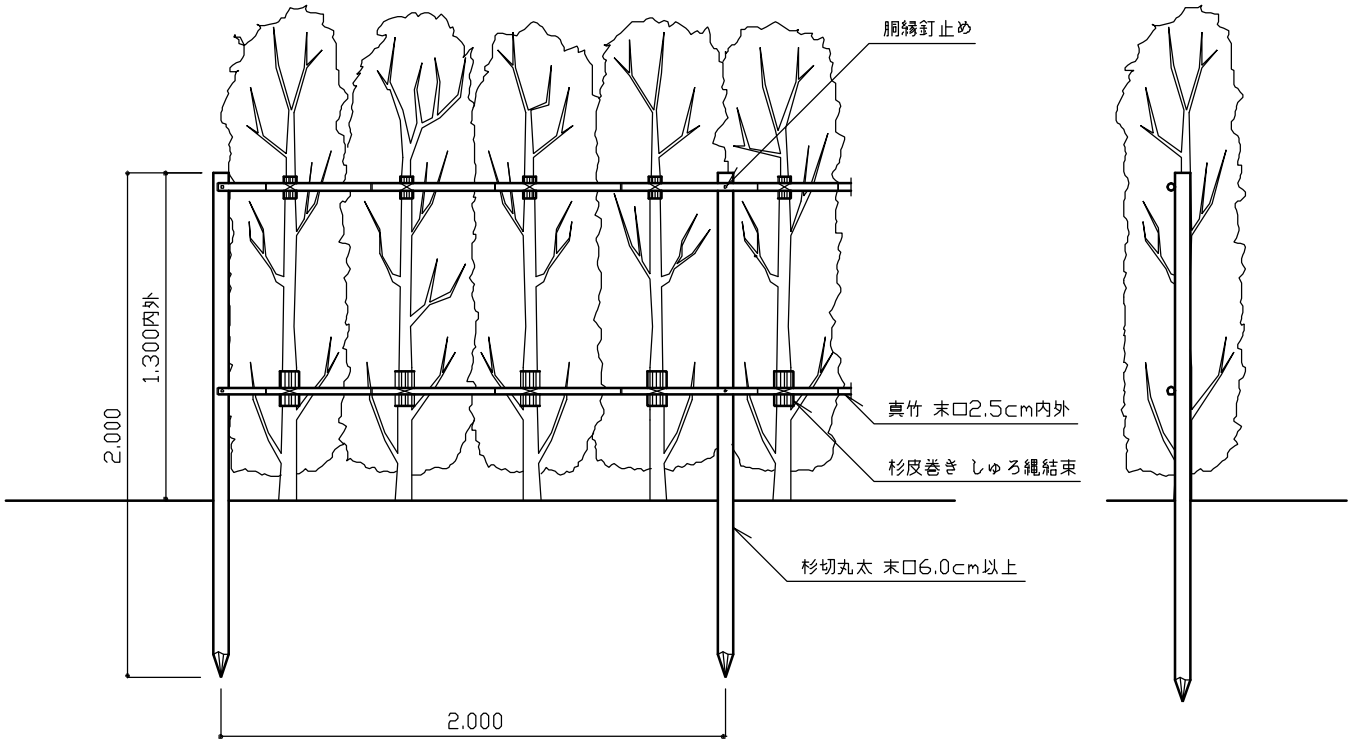


正 面 図



側 面 図

特記	◦杉丸太は、末口６ｃｍ以上、無処理品とする。 ◦真竹は、末口2.5ｃｍ内外､先端節止め使いとする。 ◦しゅろ縄は､黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。 ◦樹木の植付け本数は、１ｍあたり２～３本とする.	**生垣支柱 [参考図]**	
		縮尺 1/20	**IS-S**
		日付 H15.4	

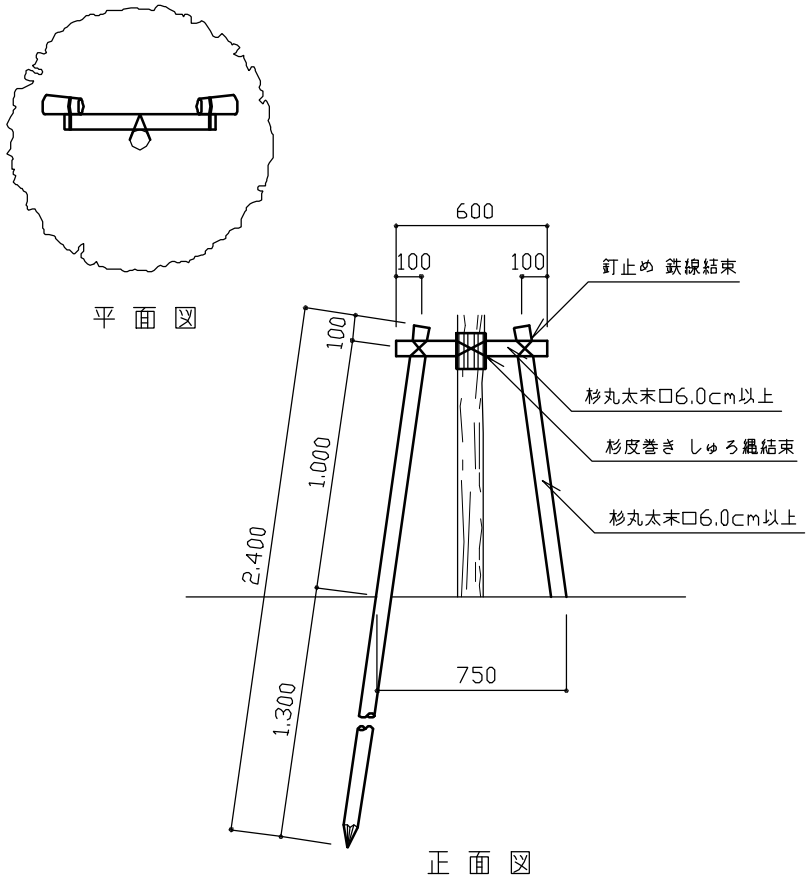


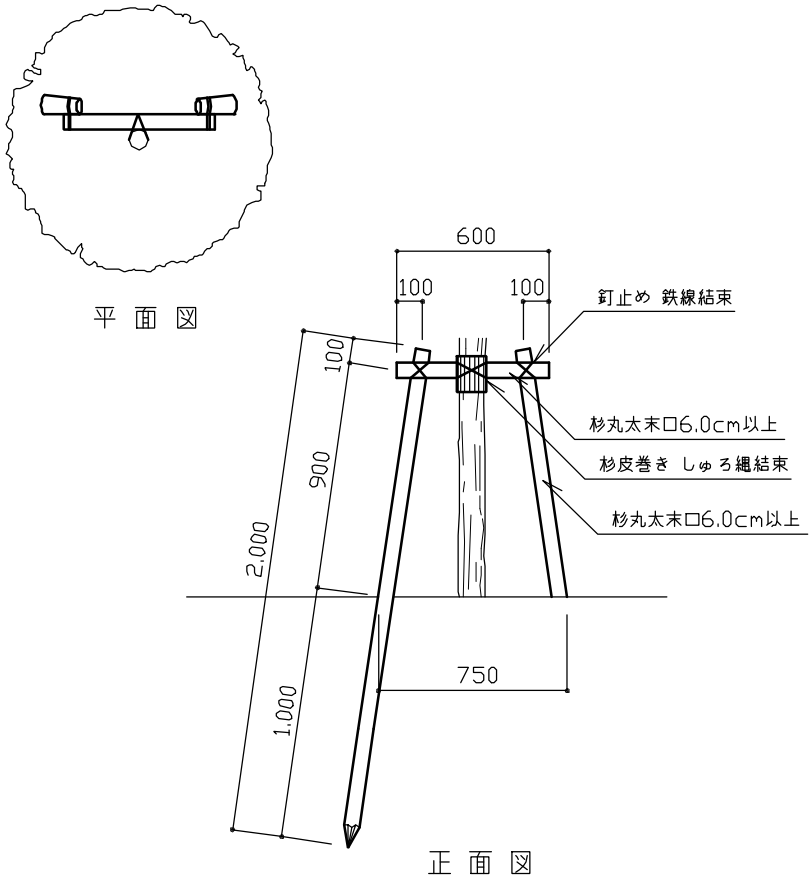
正 面 図　　側 面 図

特記

- 杉丸太は、末口６ｃｍ以上、無処理品とする。
- 真竹は、末口2.5ｃｍ内外､先端節止め使いとする。
- しゅろ縄は､黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。
- 樹木の植付け本数は、１ｍあたり２～３本とする｡

生垣支柱 [参考図]		
縮尺	1／30	IS-L
日付	H15.4	





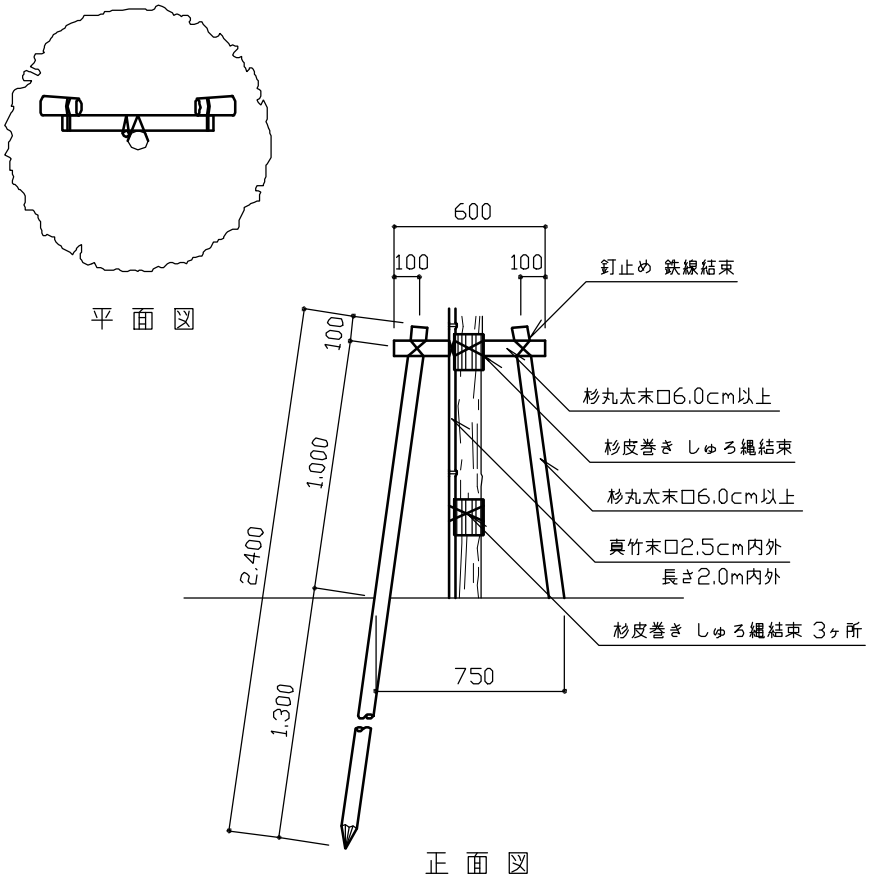
道路植栽鳥居支柱	TSD-L	幹周 0.09m以上 0.30m未満、新植用

道路植栽鳥居支柱	TSD-S	幹周 0.09m以上 0.30m未満、補植用

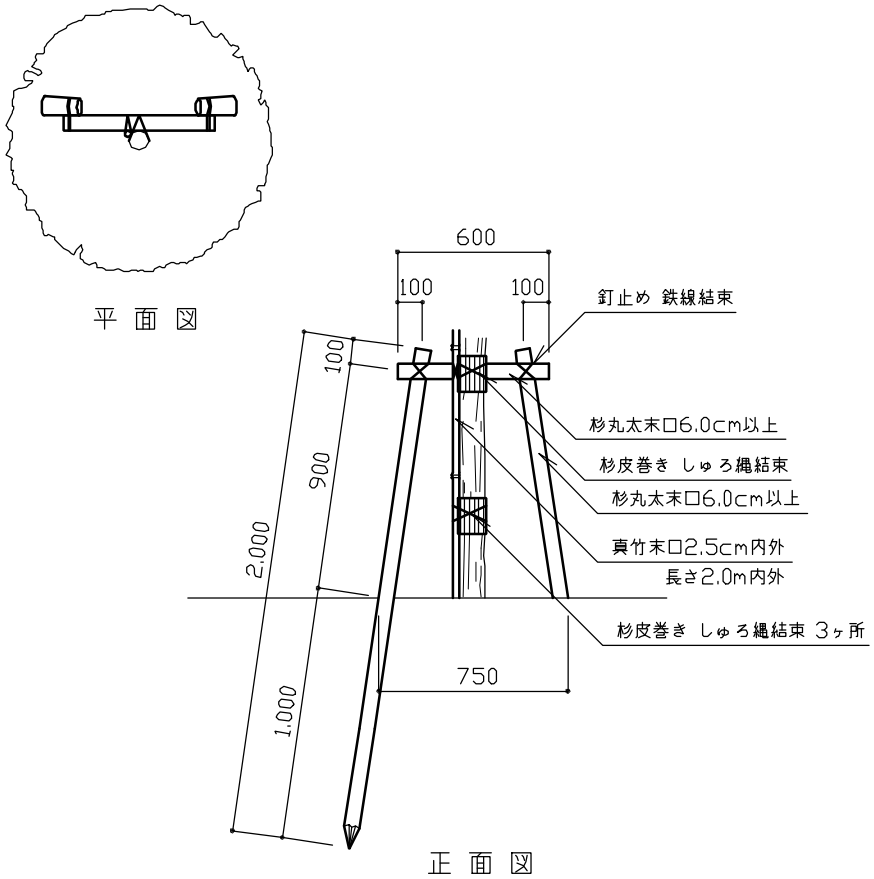
特記

- 杉丸太は、無処理品とする。
- 鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。
- しゅろ縄は、黒色径３ｍｍとし、結束は、２本合わせのうえ あや割掛け３回巻き以上とする。

道路植栽鳥居支柱 [参考図]		
縮尺	1／30	**TSD-L** **TSD-S**
日付	H15.4	

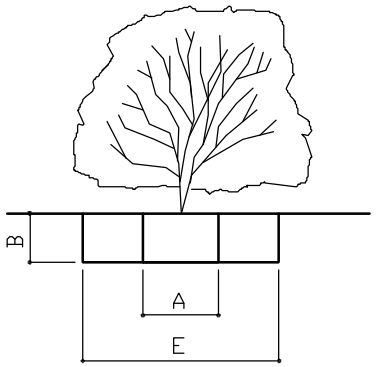


道路植栽鳥居支柱	TSD-LM	幹周 0.09m以上 0.30m未満、新植用



道路植栽鳥居支柱	TSD-SM	幹周 0.09m以上 0.30m未満、補植用

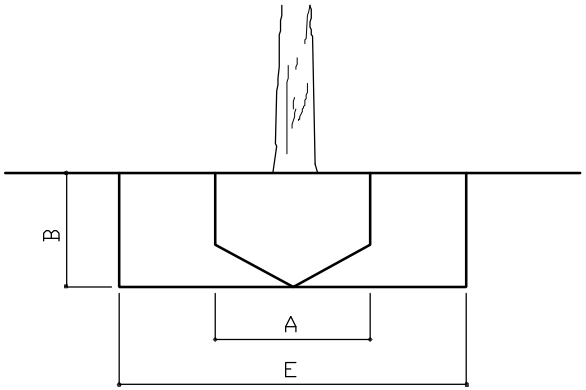
特記	◦杉丸太は、無処理品とする。 ◦真竹は、末口2.5ｃｍ内外､先端節止め使いとする。 ◦鉄線は､亜鉛めっき鉄線#18とし、結束は、あや割掛け３回巻き以上とする。	**道路植栽鳥居支柱 [参考図]**	
		縮尺 1/30	**TSD-LM TSD-SM**
		日付 H15.4	



樹 高 0～3m未満

寸 法 表

形状	樹 高 (cm)	A 鉢径 (cm)	B 鉢の深さ (cm)	E 掘取穴径 (cm)	鉢容量 (m³)	掘取穴容量 (m³)
中低木	30未満	15	8	67	0.001	0.028
	30以上 50未満	17	10	69	0.002	0.037
	50以上 80未満	20	12	72	0.004	0.048
	80以上 100未満	22	13	76	0.005	0.058
	100以上 150未満	26	16	80	0.008	0.080
	150以上 200未満	30	19	86	0.013	0.110
	200以上 250未満	35	23	93	0.022	0.156
	250以上 300未満	40	26	98	0.032	0.196



幹 周 0～90cm未満

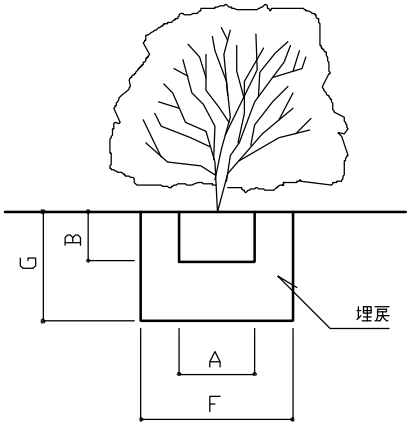
寸 法 表

形状	幹 周 (cm)	A 鉢径 (cm)	B 鉢の深さ (cm)	E 掘取穴径 (cm)	鉢容量 (m³)	掘取穴容量 (m³)
高木	10未満	33	25	91	0.017	0.162
	10以上 15未満	38	28	98	0.028	0.211
	15以上 20未満	47	33	109	0.061	0.307
	20以上 25未満	57	39	121	0.110	0.448
	25以上 30未満	66	45	132	0.170	0.615
	30以上 35未満	71	48	139	0.210	0.728
	35以上 45未満	90	59	162	0.400	1.215
	45以上 60未満	113	74	191	0.740	2.119
	60以上 75未満	141	91	225	1.320	3.616
	75以上 90未満	170	108	262	2.080	5.819

特記
- 表示寸法は標準寸法とする。
- 樹木は根巻きを標準とする。

掘取り穴寸法図 [参考図]

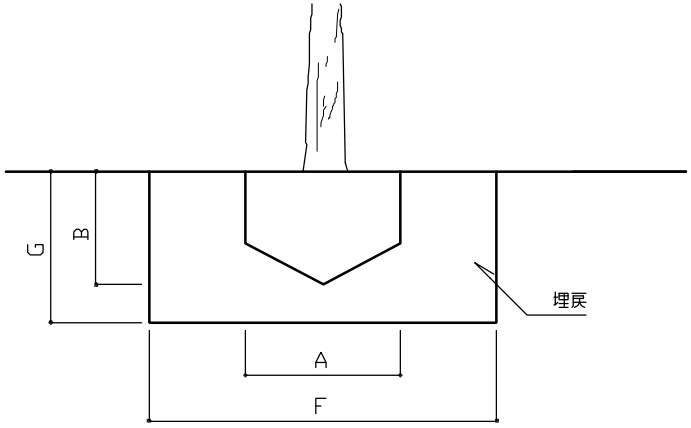
縮尺	――
日付	H14.4



樹 高　0～3m未満

寸 法 表

形状	樹 高 (cm)	A 鉢径 (cm)	B 鉢の深さ (cm)	F 植穴径 (cm)	G 植穴深さ (cm)	鉢容量 (m³)	植穴容量 (m³)	埋戻土量 (m³)
中低木	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015	0.014
	30以上 50未満	17	10	33	26	0.002	0.022	0.020
	50以上 80未満	20	12	37	28	0.004	0.030	0.026
	80以上 100未満	22	13	41	31	0.005	0.040	0.035
	100以上 150未満	26	16	46	35	0.008	0.057	0.049
	150以上 200未満	30	19	54	40	0.013	0.090	0.077
	200以上 250未満	35	23	61	46	0.022	0.133	0.111
	250以上 300未満	40	26	69	51	0.032	0.188	0.156



幹 周　0～90cm未満

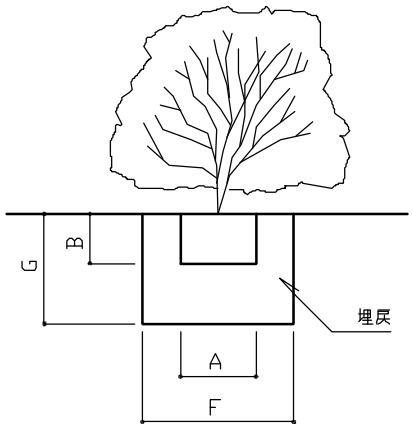
寸 法 表

形状	幹 周 (cm)	A 鉢径 (cm)	B 鉢の深さ (cm)	F 植穴径 (cm)	G 植穴深さ (cm)	鉢容量 (m³)	植穴容量 (m³)	埋戻土量 (m³)
高木	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09	0.073
	10以上 15未満	38	28	75	40	0.028	0.14	0.112
	15以上 20未満	47	33	87	46	0.061	0.27	0.209
	20以上 25未満	57	39	99	53	0.11	0.44	0.330
	25以上 30未満	66	45	111	59	0.17	0.65	0.480
	30以上 35未満	71	48	117	62	0.21	0.76	0.550
	35以上 45未満	90	59	141	75	0.4	1.34	0.940
	45以上 60未満	113	74	171	90	0.74	2.28	1.540
	60以上 75未満	141	91	207	109	1.32	3.7	2.380
	75以上 90未満	170	108	243	128	2.08	5.45	3.370

特記
- 表示寸法は、標準寸法とする。
- 埋戻土は、発生土・改良土または客土とする。
- 改良土または客土の配合は、設計図書によるものとする。

植穴寸法図 [参考図]

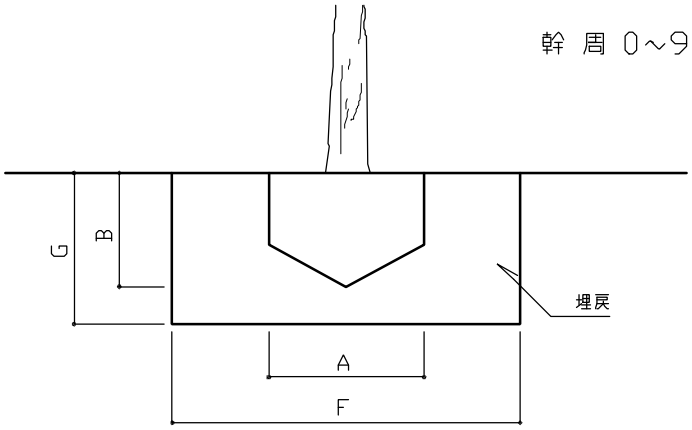
縮尺	―
日付	H14.4



樹 高 0～3m未満

寸 法 表

形状	樹 高 (cm)	A 鉢 径 (cm)	B 鉢の深さ (cm)	F 植穴径 (cm)	G 植穴深さ (cm)	鉢容量 (m³)	植穴容量 (m³)	埋戻土量 (m³)
中低木	45未満	18	13	22	28	0.004	0.011	0.007
	45以上 60未満	20	15	29	30	0.005	0.019	0.014
	60以上 75未満	21	16	32	30	0.006	0.025	0.019
	75以上 90未満	23	16	35	31	0.007	0.031	0.024
	90以上120未満	24	18	40	33	0.009	0.041	0.032
	120以上150未満	26	19	44	34	0.010	0.052	0.042
	150以上200未満	30	22	55	37	0.016	0.088	0.072
	200以上250未満	34	25	66	40	0.023	0.135	0.112
	250以上300未満	38	28	76	43	0.032	0.197	0.165



幹 周 0～90cm未満

寸 法 表

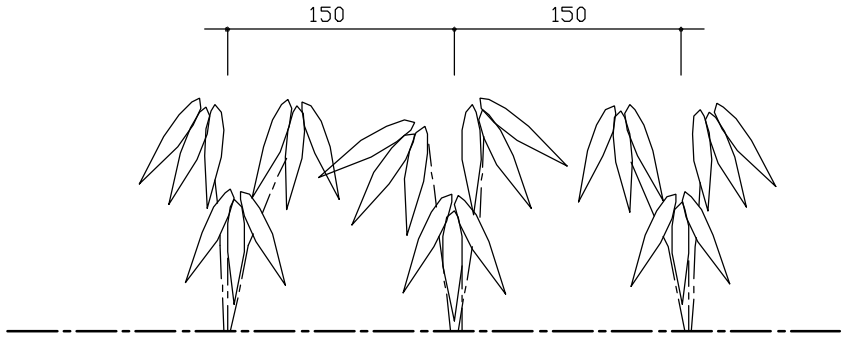
形状	幹 周 (cm)	A (cm)	B 鉢の深さ (cm)	F 植穴径 (cm)	G 植穴深さ (cm)	鉢容量 (m³)	植穴容量 (m³)	埋戻土量 (m³)
高木	15未満	30	26	66	37	0.031	0.126	0.095
	15以上 20未満	49	37	88	52	0.049	0.313	0.264
	20以上 30未満	64	45	105	62	0.123	0.535	0.412
	30以上 40未満	83	56	127	76	0.301	0.967	0.666
	40以上 60未満	111	73	160	98	0.739	1.974	1.235
	60以上 90未満	159	100	216	134	1.923	4.888	2.965

特記

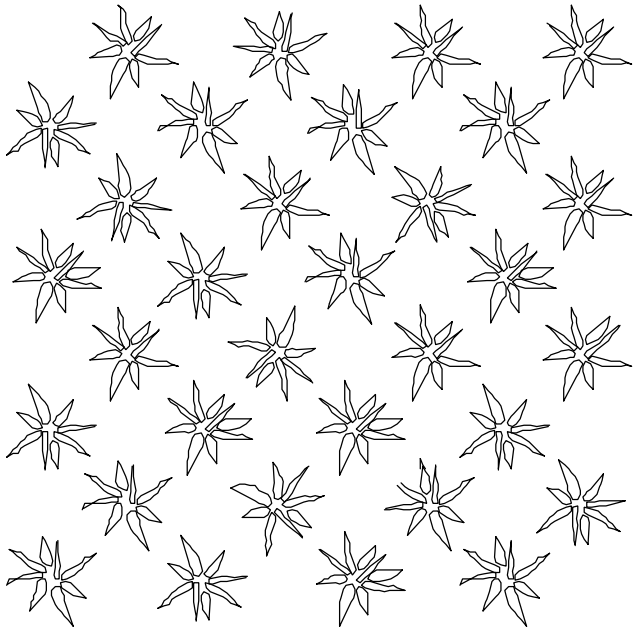
・表示寸法は、標準寸法とする。
・埋戻土は、発生土・改良土または客土とする。
・改良土または客土の配合は、設計図書によるものとする。

道路植栽植穴寸法図 [参考図]

縮尺	―
日付	H14.4



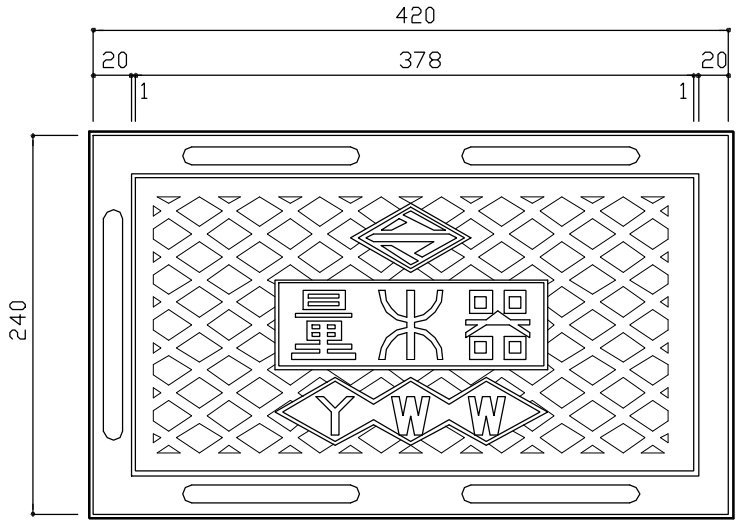
立 面 図 1/5



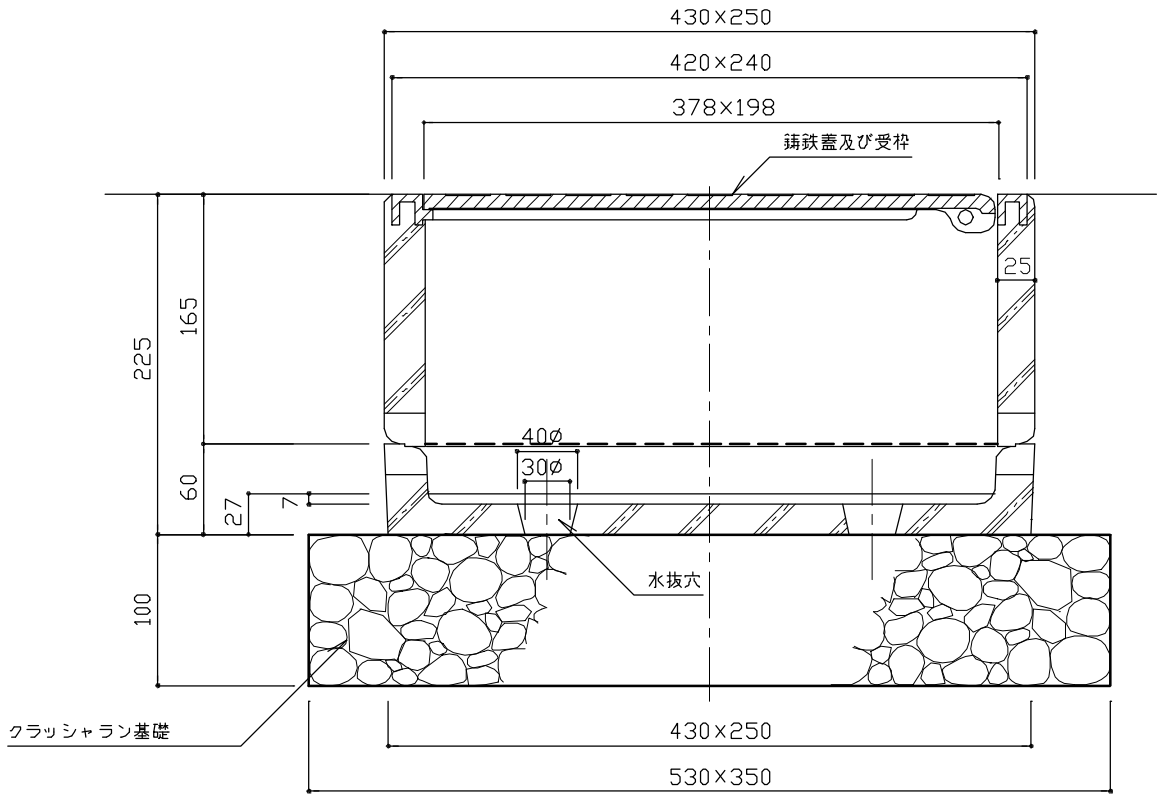
平 面 図 1/10

特記	◦本図は、地被類ポット 44株／m² 植付けの場合とする。	地被類植付 [参考図]		
		縮尺	図 示	
		日付	H14.4	

3 給　水　設　備

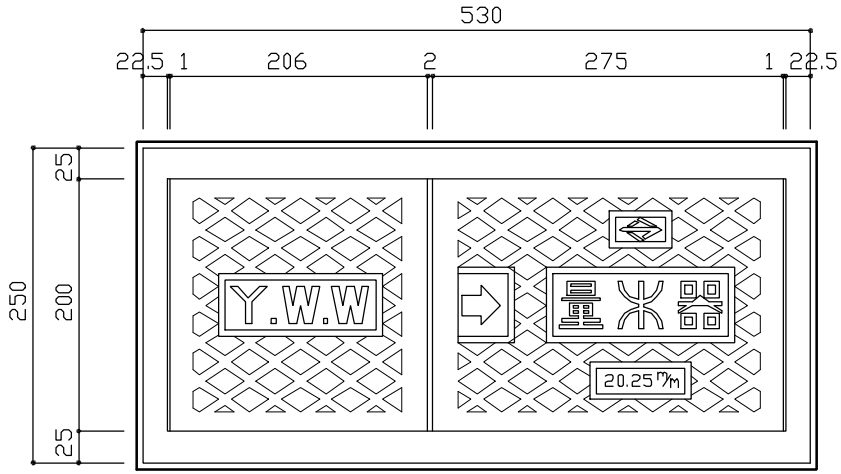


平 面 図

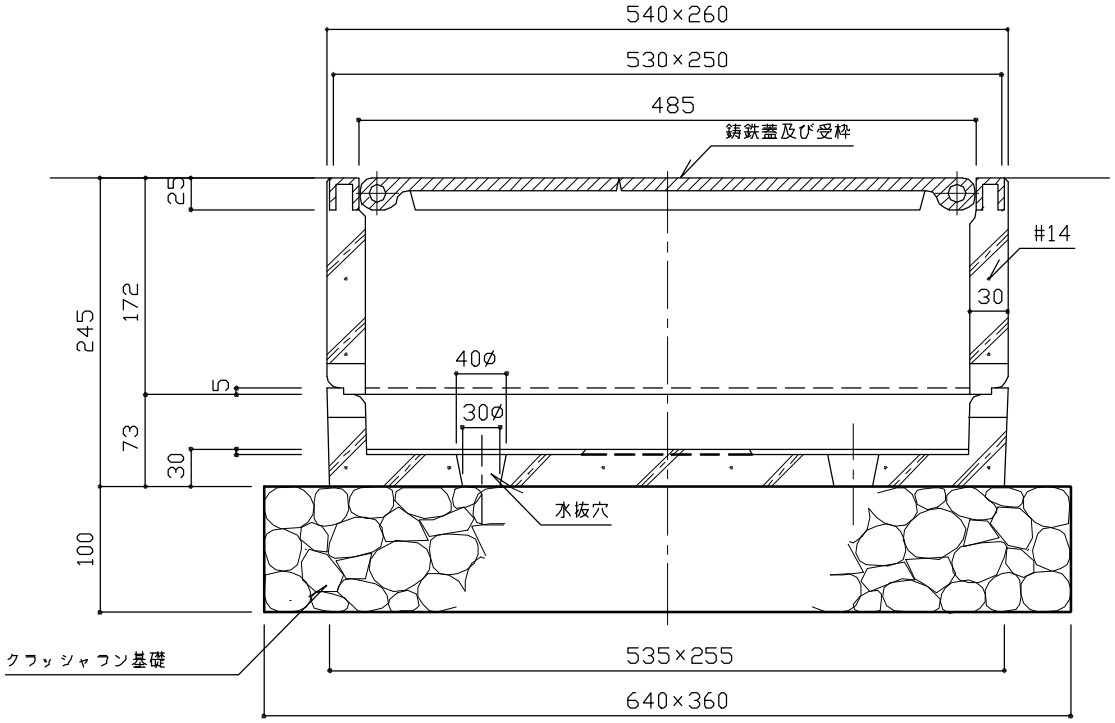


断 面 図

特記	・ クラッシャラン基礎は、再生材(RC－40)とする。	メーターきょう (13mm)		
		縮尺	1／5	MK－A
		日付	H14.4	

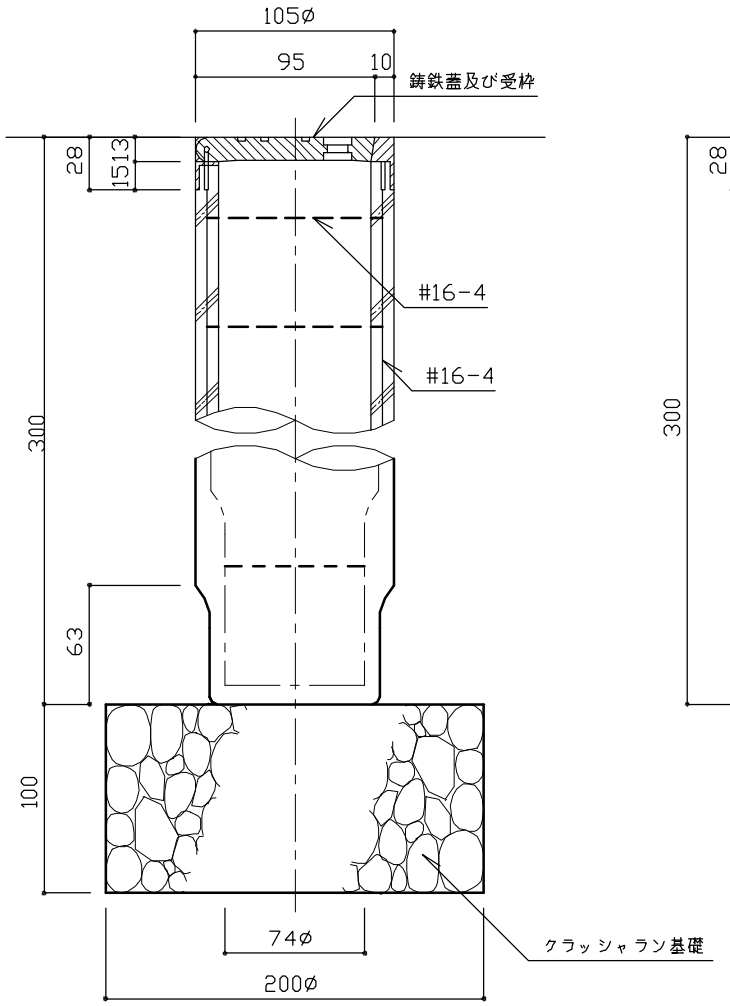


平 面 図

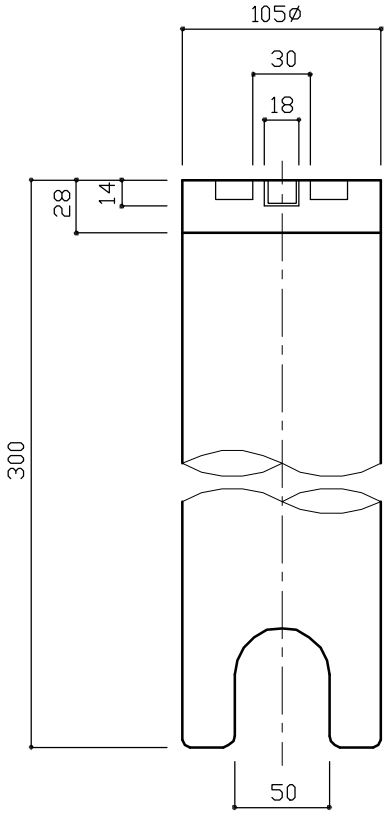


断 面 図

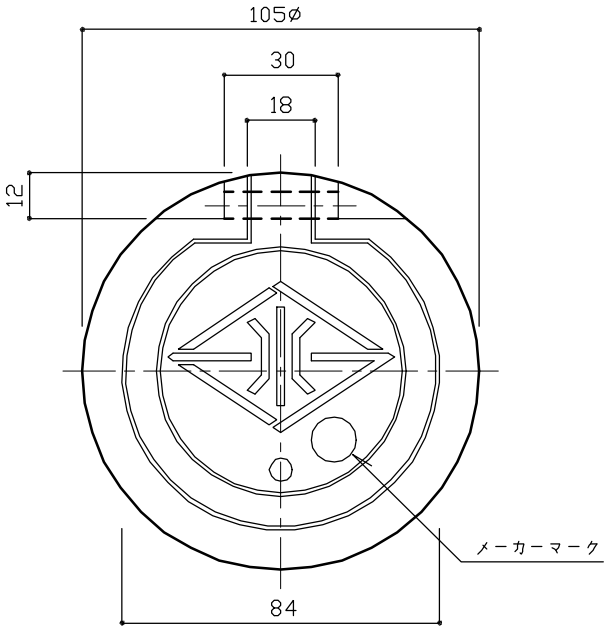
特記	・ クラッシャラン基礎は、再生材(RC－40)とする。	メーターきょう (20・25mm)	
		縮尺 1／6	MK－B
		日付 H14.4	



断 面 図 1/4

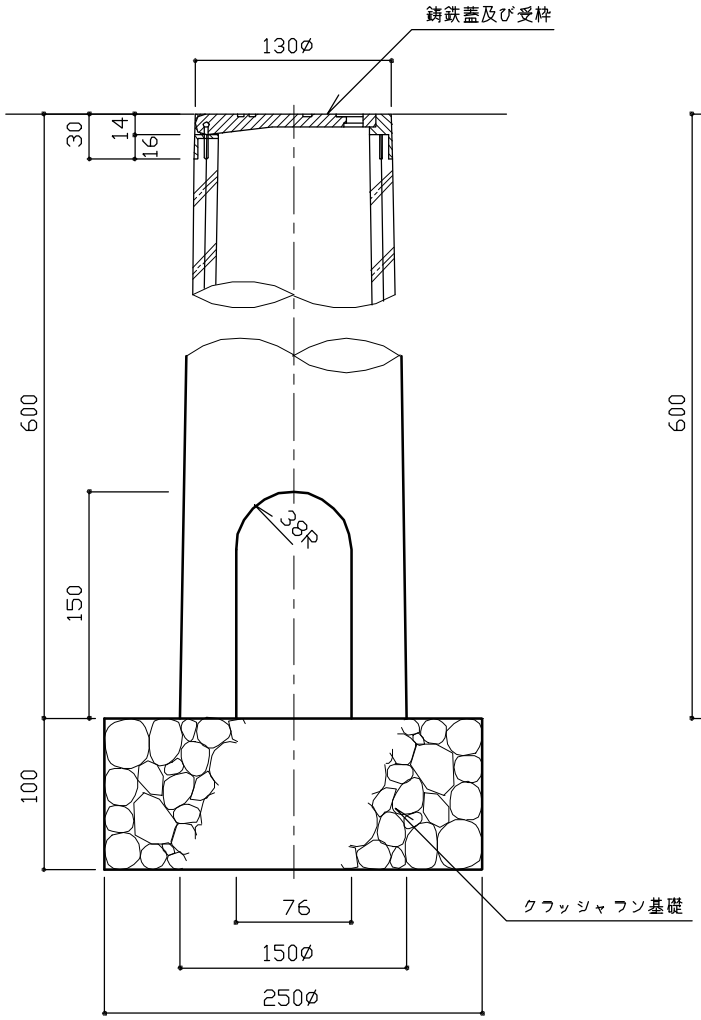


立 面 図 1/4

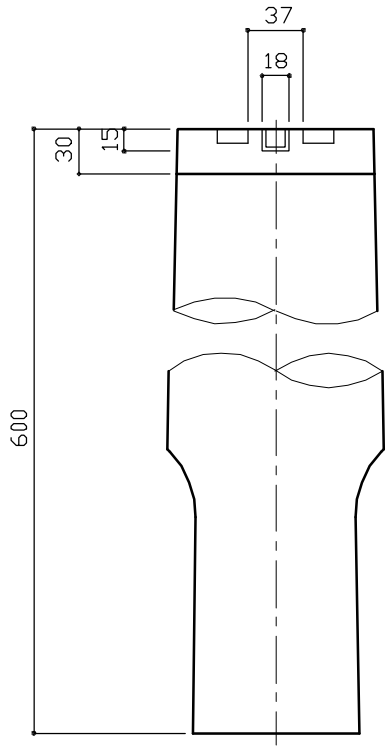


平 面 図 1/2

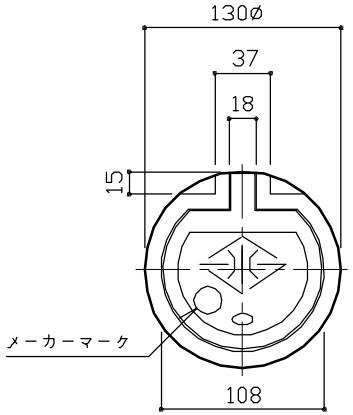
特記	・ クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。	止水栓きょう		
		縮尺	図 示	SK−A
		日付	H14.4	



断 面 図



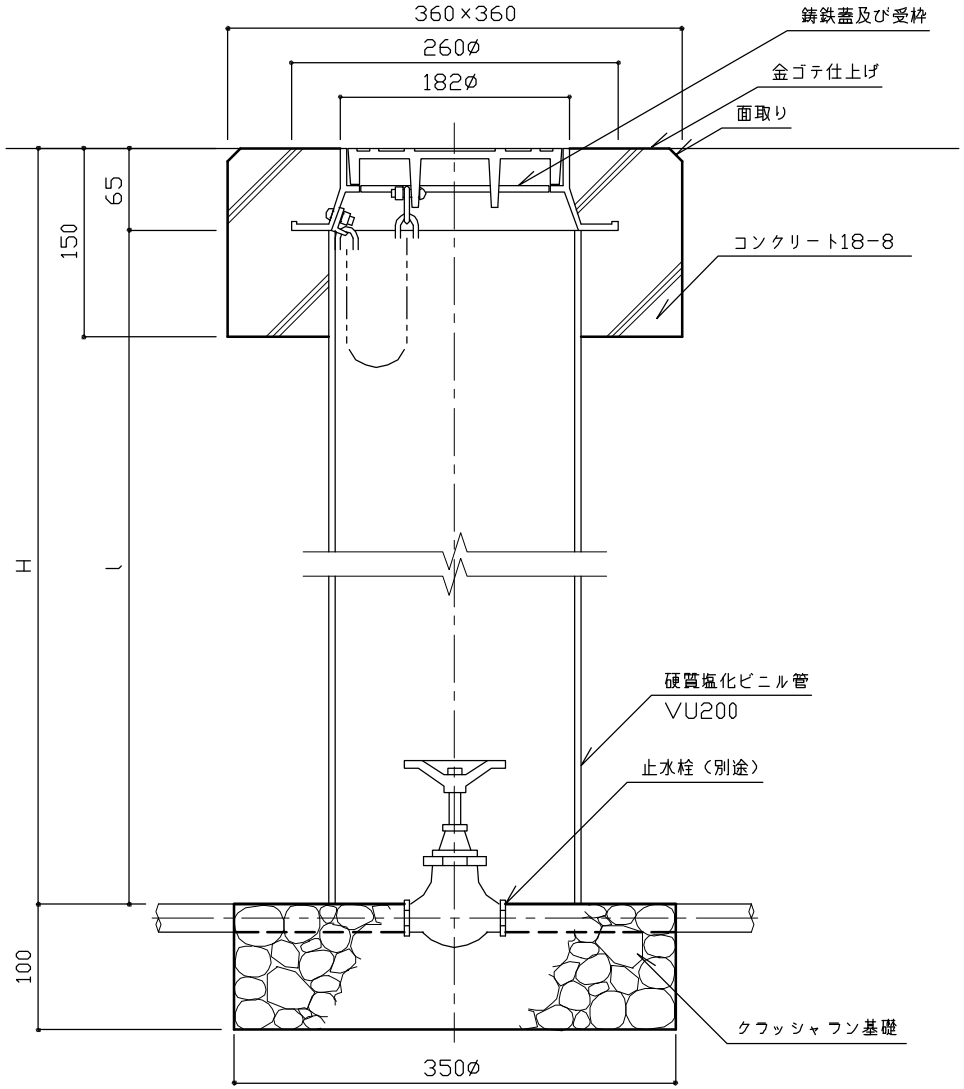
立 面 図



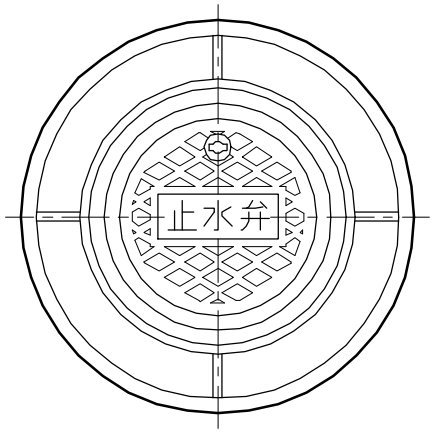
平 面 図

鋳鉄蓋及び受枠

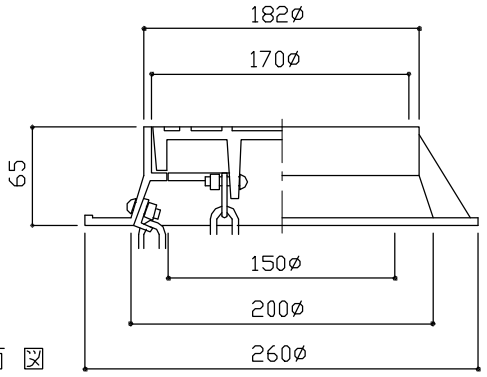
特記	・ クラッシャラン基礎は、再生材(RC－40)とする。	止水栓きょう		
		縮尺	1／5	SK－B
		日付	H14.4	



断 面 図 1/6



平 面 図



断 面 図

鋳鉄蓋及び受枠詳細図1/5

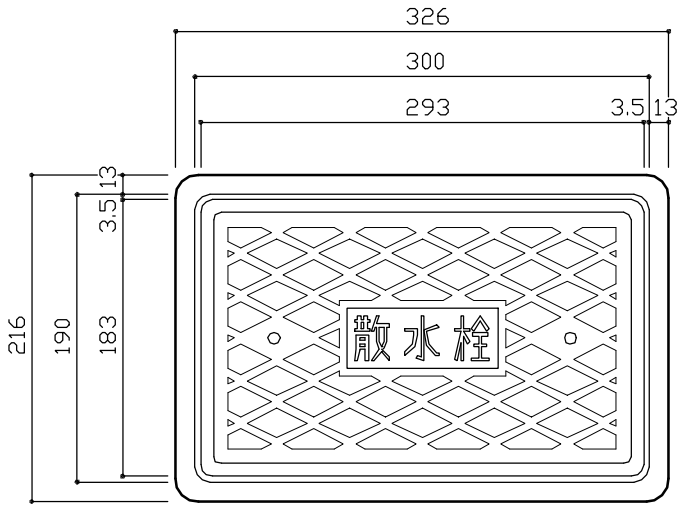
寸法表

記 号	寸 法	
	H (mm)	l (mm)
SK−C	300	235
SK−D	600	535

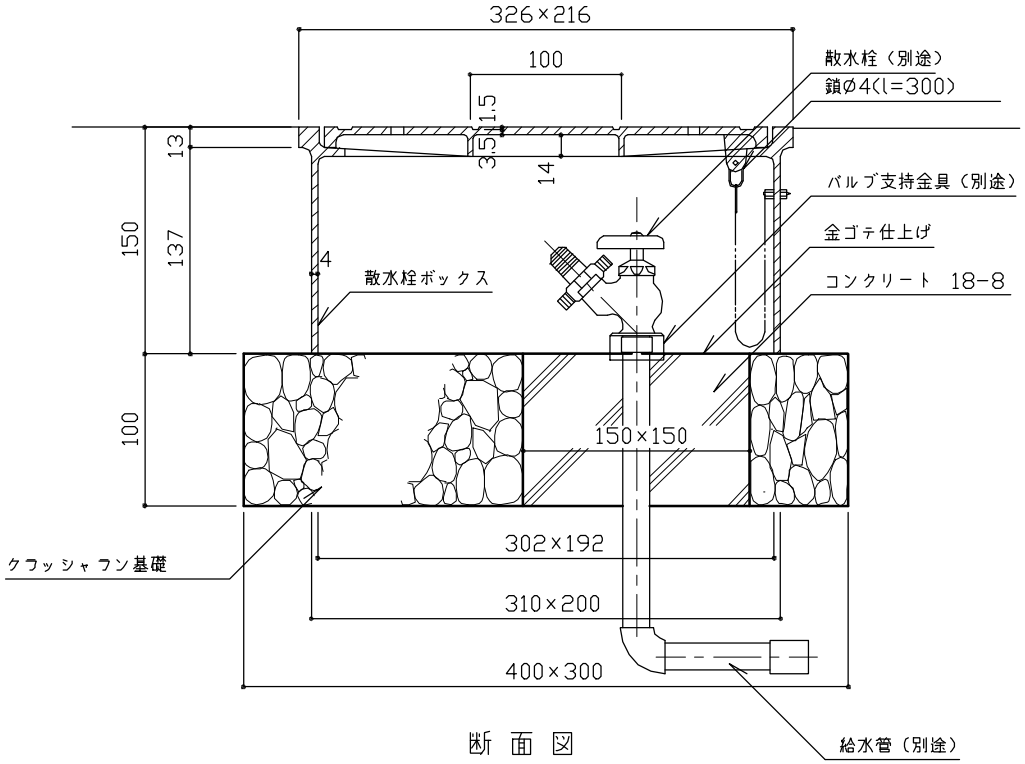
特記

- クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。
- コンクリートは、高炉Bとする。

止水栓ボックス		
縮尺	図 示	SK−C SK−D
日付	H14.4	

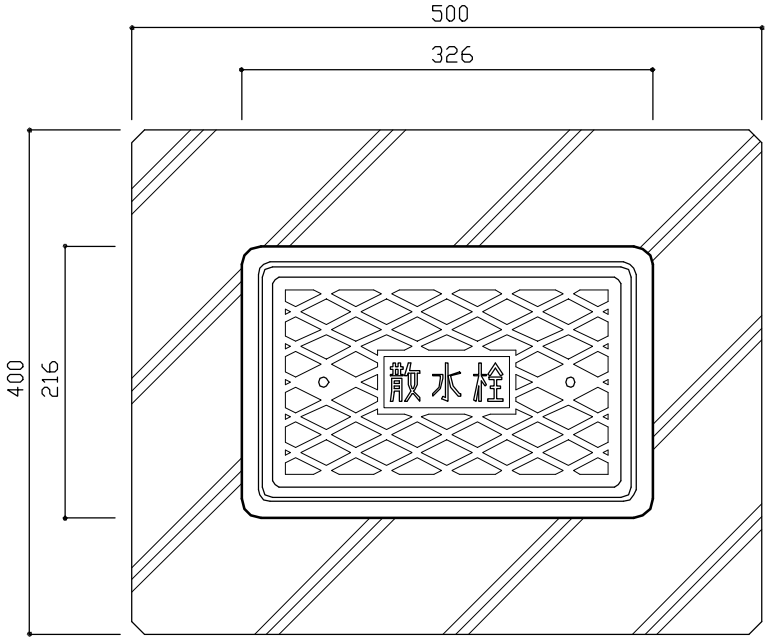


平 面 図

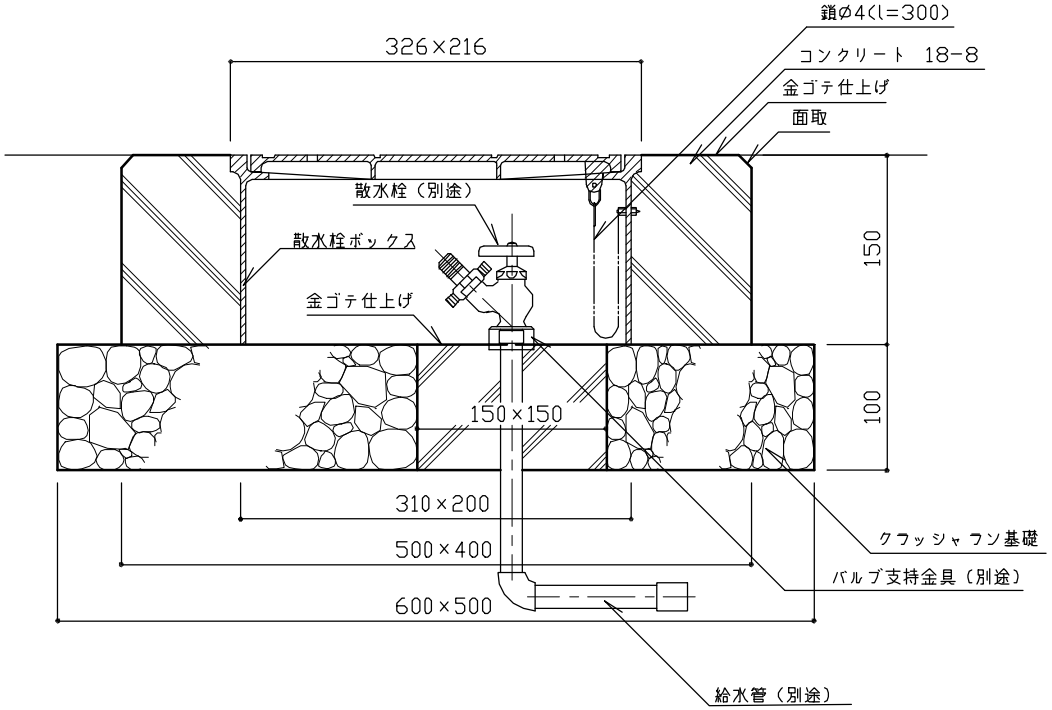


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材(RC－40)とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。	散水栓ボックス	
		縮尺 1／5	SB－A
		日付 H14.4	



平 面 図

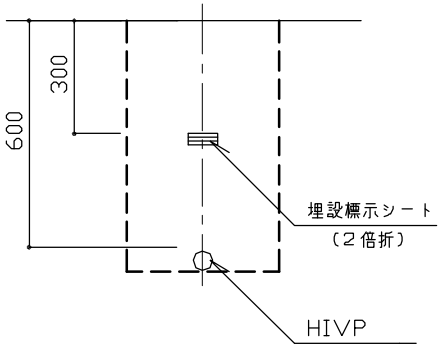


断 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。 ◦コンクリートは、高炉Bとする。	散水栓ボックス	
		縮尺 1/6	SB−B
		日付 H14.4	

水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管

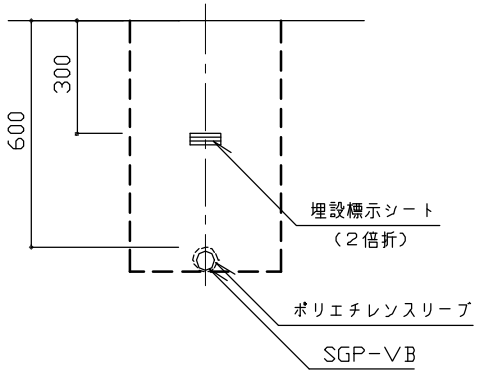
HIVP



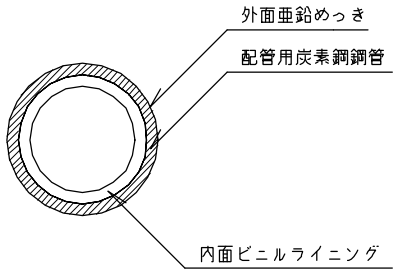
管路標準断面図 1/20

水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管

SGP-VB



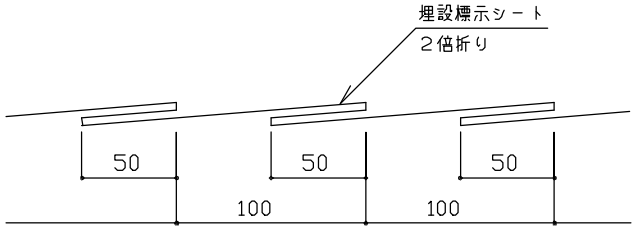
管路標準断面図 1/20



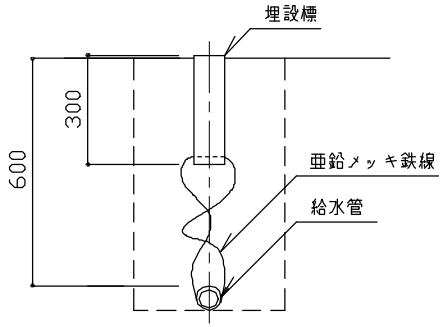
ライニング鋼管模式図

特記	・SGP-VBは、埋設部全てにポリエチレンスリーブを施すこと。	給水管		
		縮尺	図 示	SGP-VB HIVP
		日付	H14.4	

埋設標示シート WH−A

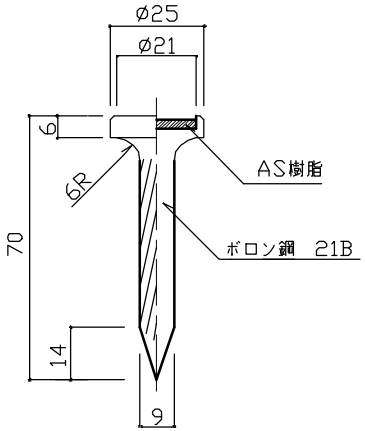


標準断面図



断 面 図 1/20

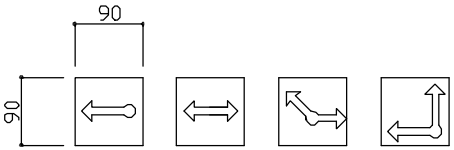
埋設鋲 WH−B



例 標示マーク

断面図 1/2

埋設標 WH−C



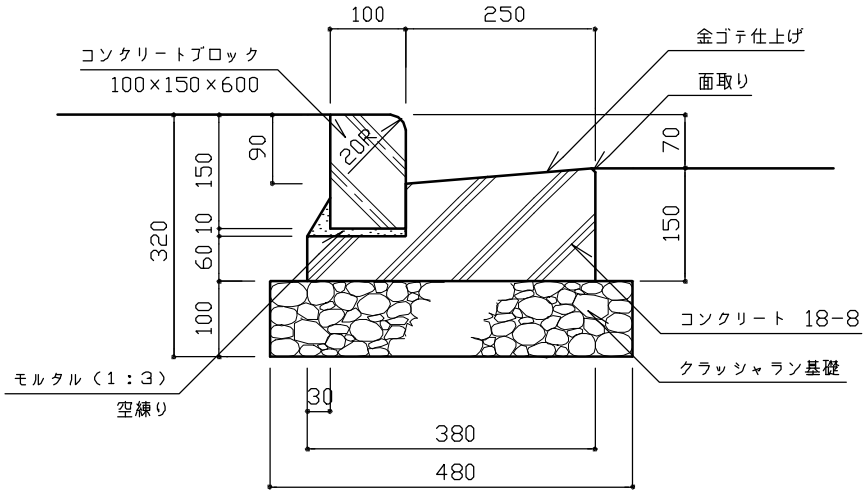
（例）

平面図 1/10

特記	◦埋設標示シートの敷き込みは、2倍折りシートを使用し、指定色は青とする。 ◦埋設鋲は、ボロン鋼製とし、AS樹脂の指定色は青とする。 ◦埋設標は、プレキャストコンクリート製とし、指定色は青とする. ◦埋設標、埋設鋲の設置位置は、別に指定する。	埋設標示シート･埋設鋲･埋設標		
		縮尺	図 示	WH−A WH−B WH−C
		日付	H14.4	

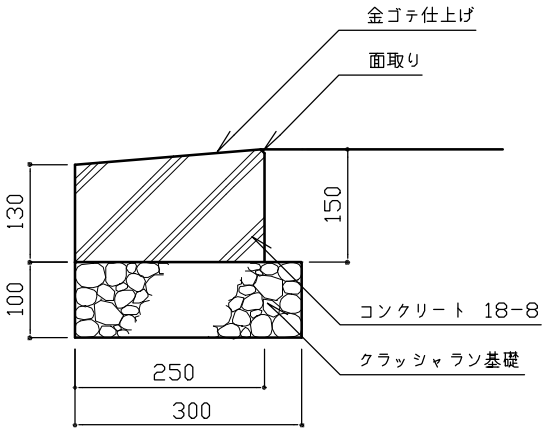
4 排　水　設　備

LS-25



断 面 図

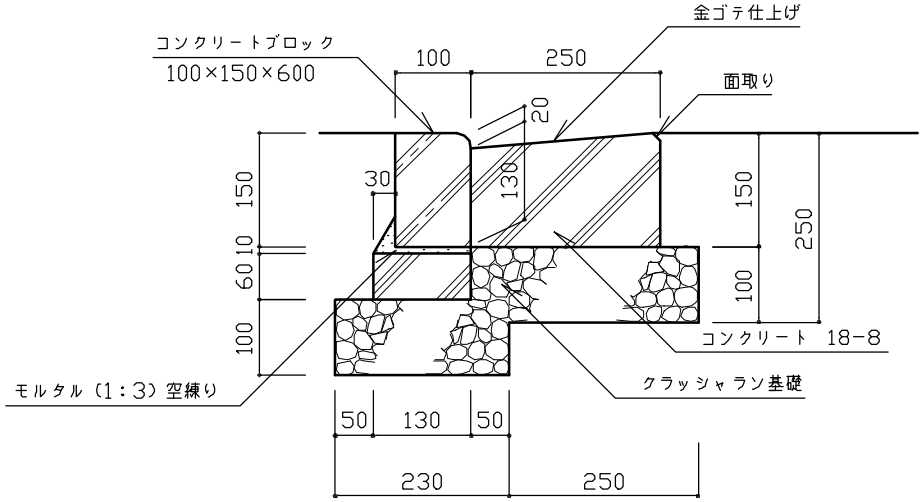
LS-25S



断 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦コンクリート部分には、伸縮目地（れき青系目地材､厚１０mm）を@２０mを標準として設ける。 ◦コンクリートブロックは、JIS表示許可工場で製造されたJIS製品に準ずる製品とする。 ◦目地モルタルは（１：２）練とし、目地幅は５mm、深さは５mmを標準とする。	L型側溝	
		縮尺 1/10	LS- 25 LS- 25S
		日付 H14.4	

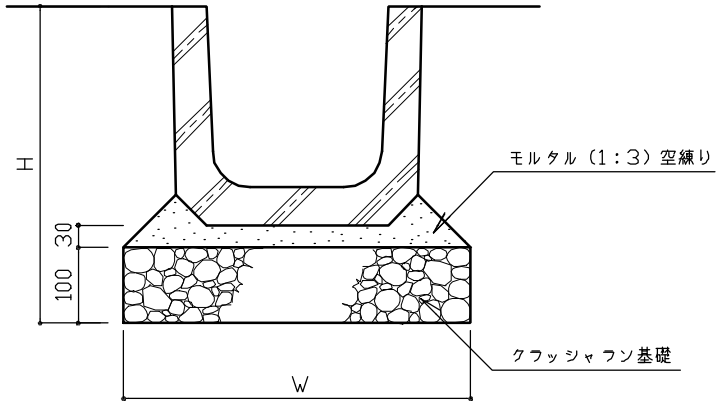
LS-25K（切下げ部）



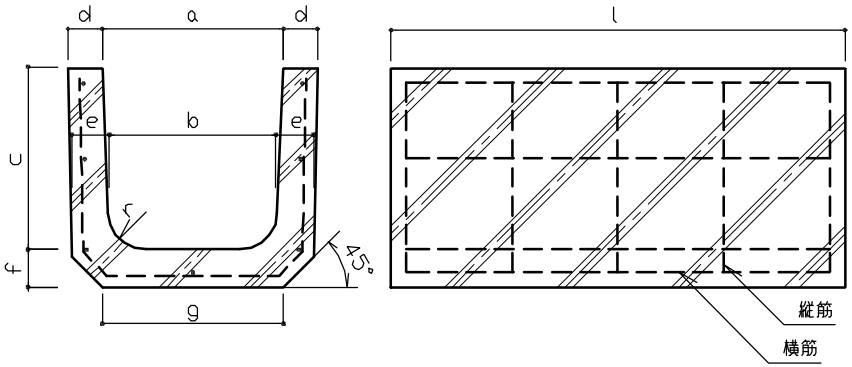
断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・コンクリート部分には、伸縮目地（れき青系目地材,厚10mm）を@20mを標準として設ける。 ・コンクリートブロックは、JIS表示許可工場で製造されたJIS製品に準ずる製品とする。 ・目地モルタルは（1：2）練とし、目地幅は5mm、深さは5mmを標準とする。	L型側溝		
		縮尺	1/10	LS- 25K
		日付	H14.4	

US-24・30A



断 面 図



詳 細 図

据付寸法表

記 号	寸 法	
	H (mm)	W (mm)
US-24A	420	460
US-30A	490	520

U型ブロック寸法表

記 号	寸 法 (単位：mm)									縦 筋		横 筋	
	a	b	c	d	e	f	g	r	l	径	本	径	本
US-24A	240	220	240	45	50	50	240	50	600	3.2	7	3.2	5
US-30A	300	260	300	50	60	60	300	50	600	3.2	9	4.0	5

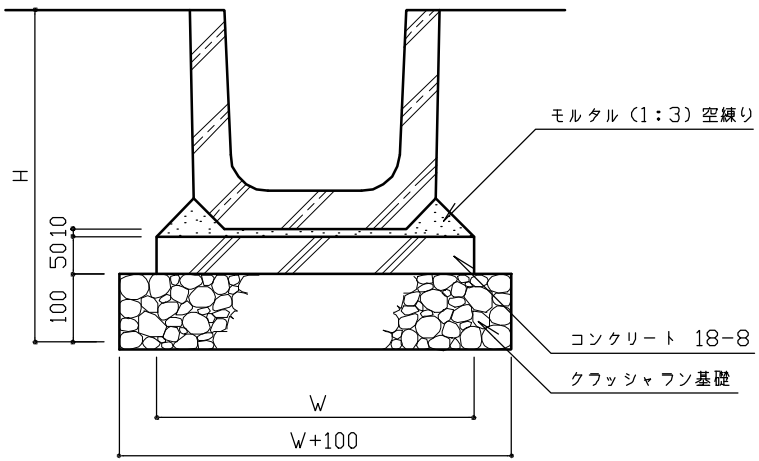
特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。
- U型ブロックは、JIS製品とする。
- 目地モルタルは、（1：2）練り とし、目地幅は10mmを標準とする。

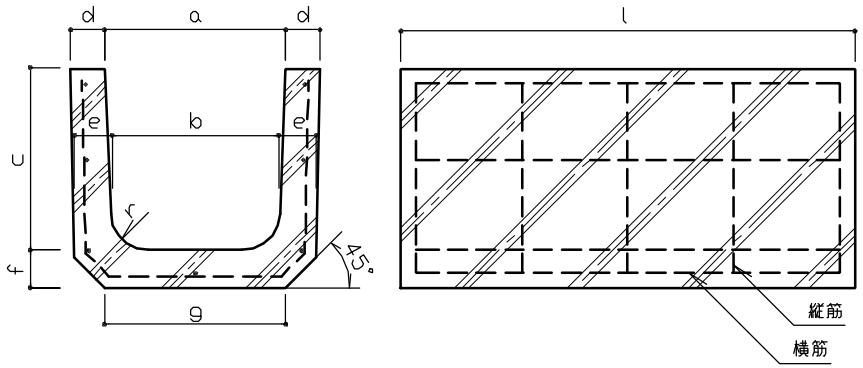
U型側溝

縮尺	1／10	US- 24A US- 30A
日付	H14.4	

US−24・30B



断 面 図



詳 細 図

据付寸法表

記 号	寸 法	
	H (mm)	W (mm)
US-24B	450	420
US-30B	520	480

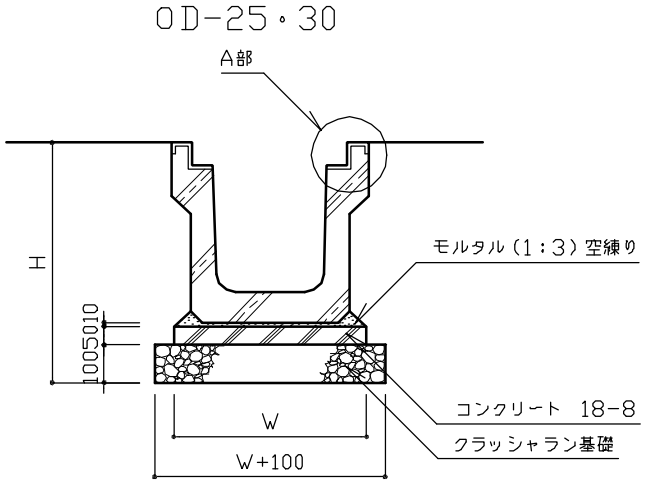
U型ブロック寸法表

記 号	寸 法 (単位：mm)									縦 筋		横 筋	
	a	b	c	d	e	f	g	r	l	径	本	径	本
US-24B	240	220	240	45	50	50	240	50	600	3.2	7	3.2	5
US-30B	300	260	300	50	60	60	300	50	600	3.2	9	4.0	5

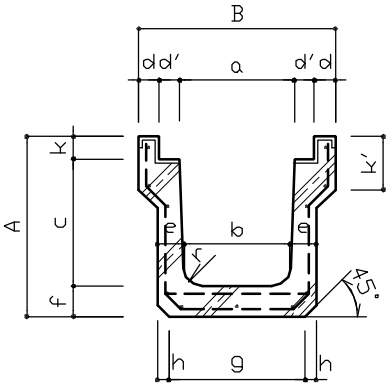
特記

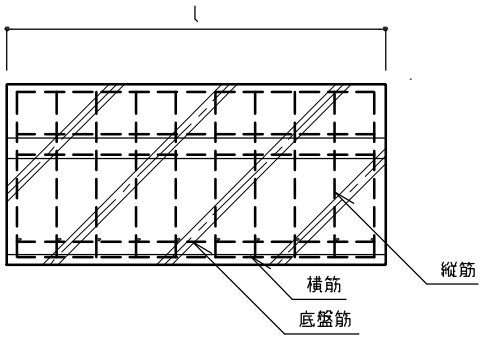
- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- コンクリートは、高炉Bとする。
- U型ブロックは、JIS製品とする。
- 目地モルタルは、（1：2）練り とし、目地幅は10mmを標準とする。

U型側溝		
縮尺	1／10	US- 24B US- 30B
日付	H14.4	

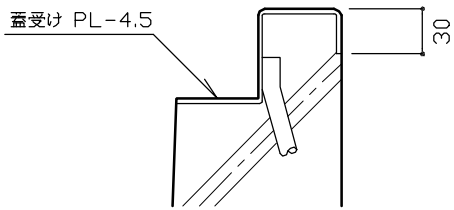


断 面 図





詳 細 図



A部詳細図　1／5

横断溝ブロック寸法表

記 号	寸 法 （単位：mm）														
	A	B	a	b	c	d	d′	e	f	g	h	k	k′	r	l
OD-25	415	460	253	230	286.5	50	53.5	65	75	300	30	53.5	120	50	1,000
OD-30	475	520	302	280	335.5	55	54.0	70	80	340	40	59.5	140	50	1,000

据付寸法表

記 号	寸 法	
	H (mm)	W (mm)
OD-25	575	440
OD-30	635	520

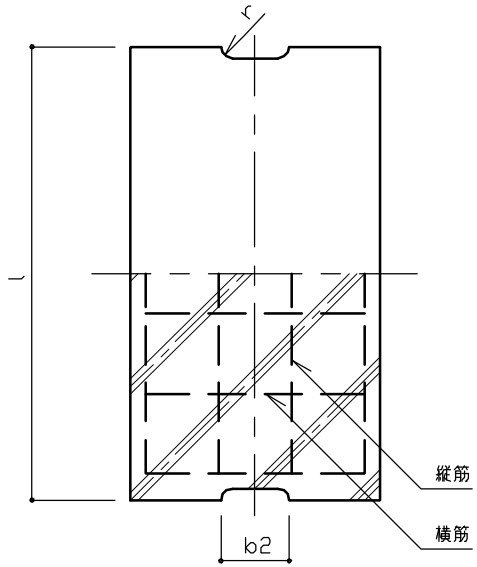
記 号	底盤筋		縦 筋		横 筋		重量
	径	本	径	本	径	本	kg
OD-25	D10	10	ø4	10	ø4	11	200
OD-30	D10	10	ø4	10	ø4	11	240

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。
- コンクリートは、高炉Bとする。
- U型ブロックは、JIS表示許可工場で製造されたJIS製品に準ずる製品とする。
- 目地モルタルは、（1：2）練り とし、目地幅は10mmを標準とする。
- 蓋受けは、一般構造用圧延鋼材（SS400）電気亜鉛めっきとする。

横断溝

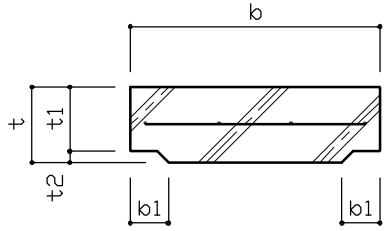
縮尺	1／20	OD- 25 OD- 30
日付	H14.4	



Aコンクリート蓋：輪荷重を受けない場所（歩行者・自転車程度）

寸 法 表

記 号	寸 法 (単位：mm)								縦 筋		横 筋		曲げ強さ荷重
	b	b1	t	t1	t2	l	r	b2	径	本	径	本	(kN)
FCU-24A	330	50	45	40	5	600	15	90	3.2	4	3.2	6	8
FCU-30A	400	55	60	50	10	600	15	100	3.2	4	4.0	6	10



詳 細 図

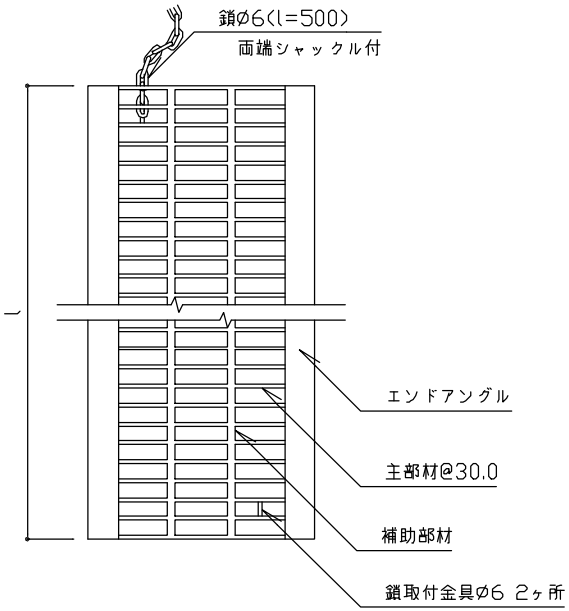
Bコンクリート蓋：管理車両の輪荷重を受ける場所

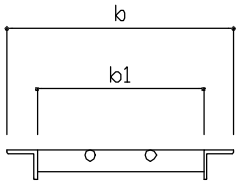
寸 法 表

記 号	寸 法 (単位：mm)								縦 筋		横 筋		曲げ強さ荷重
	b	b1	t	t1	t2	l	r	b2	径	本	径	本	(kN)
FCU-24B	330	50	100	85	15	600	15	90	6.0	5	9.0	5	35
FCU-30B	400	55	100	85	15	600	15	100	6.0	6	9.0	6	30

特記	・コンクリートブロックは、JIS製品とする。	U型側溝コンクリート蓋		
		縮尺	1／10	FCU- 24A FCU- 30A FCU- 24B FCU- 30B
		日付	H14.4	

U型側溝グレーチング蓋（並目）



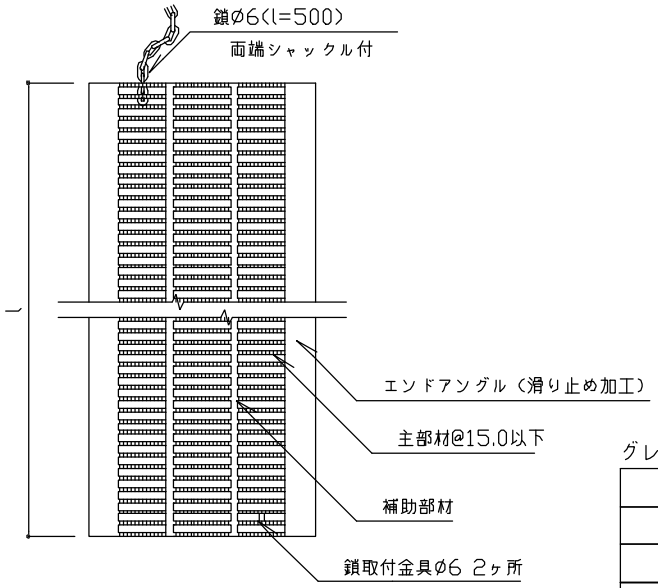


グレーチング蓋（並目）寸法表［参考］　（単位：mm）

記　号	b	b1	l	主 部 材	補助部材	エンドアングル	耐荷重
FGU-N24A	285	225	995	FB -3 x19	5	L-3 x30 x30	歩道用
FGU-N30A	345	285	995	FB -3 x19	5	L-3 x30 x30	
FGU-N24B	300	220	995	FB -4.5 x25	6	L-5 x40 x40	T- 2
FGU-N30B	360	280	995	FB -4.5 x25	6	L-5 x40 x40	
FGU-N24C	300	220	995	IB -5 x32	6	L-5 x40 x40	T- 6
FGU-N30C	360	280	995	IB -5 x38	6	L-6 x50 x50	

特記	◦グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。 ◦隣接した蓋は、シャックルを用いて鎖により互いの鎖取付金具を連結する。	U型側溝グレーチング蓋		
		縮尺	1／10	FGU-N24[A･B･C] FGU-N30[A･B･C]
		日付	H14.4	

U型側溝グレーチング蓋（ノンスリップ）



グレーチング蓋（ノンスリップ）寸法表［参考］　（単位：mm）

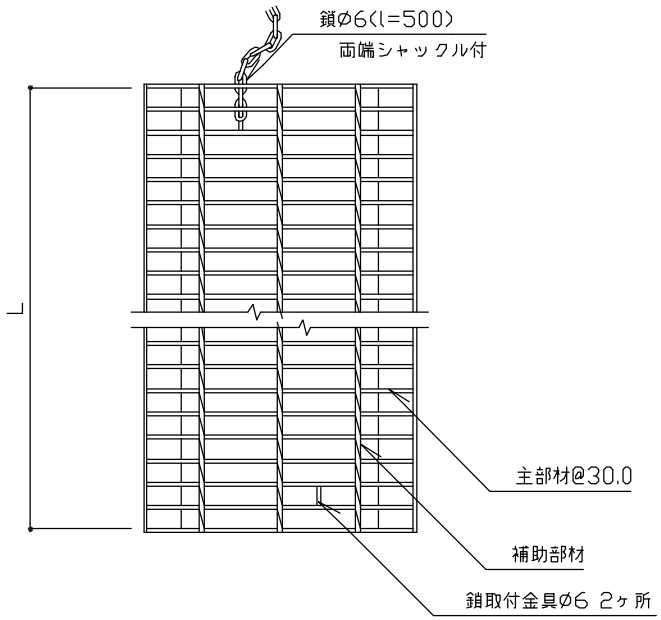
記　号	b	b1	l	主 部 材	補助部材	エンドアングル	耐荷重
FGU-H24A	300	220	995	XIB-5 x25	6	L-5 x40 x40	歩道用
FGU-H30A	360	280	995	XIB-5 x25	6	L-5 x40 x40	
FGU-H24B	300	220	995	XIB-5 x25	6	L-5 x40 x40	T- 2
FGU-H30B	360	280	995	XIB-5 x25	6	L-5 x40 x40	
FGU-H24C	300	220	995	XIB-5 x25	6	L-5 x40 x40	T- 6
FGU-H30C	360	280	995	XIB-5 x32	6	L-5 x40 x40	

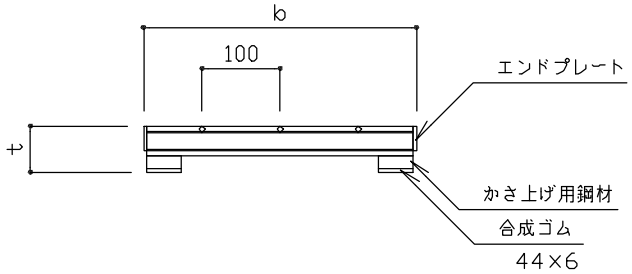
特記

- グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。
- 隣接した蓋は、シャックルを用いて鎖により互いの鎖取付金具を連結する。

U型側溝グレーチング蓋		
縮尺	1/10	FGU-H24[A･B･C] FGU-H30[A･B･C]
日付	H14.4	

横断溝グレーチング蓋（並目）





グレーチング蓋（並目）寸法表［参考］　（単位：mm）

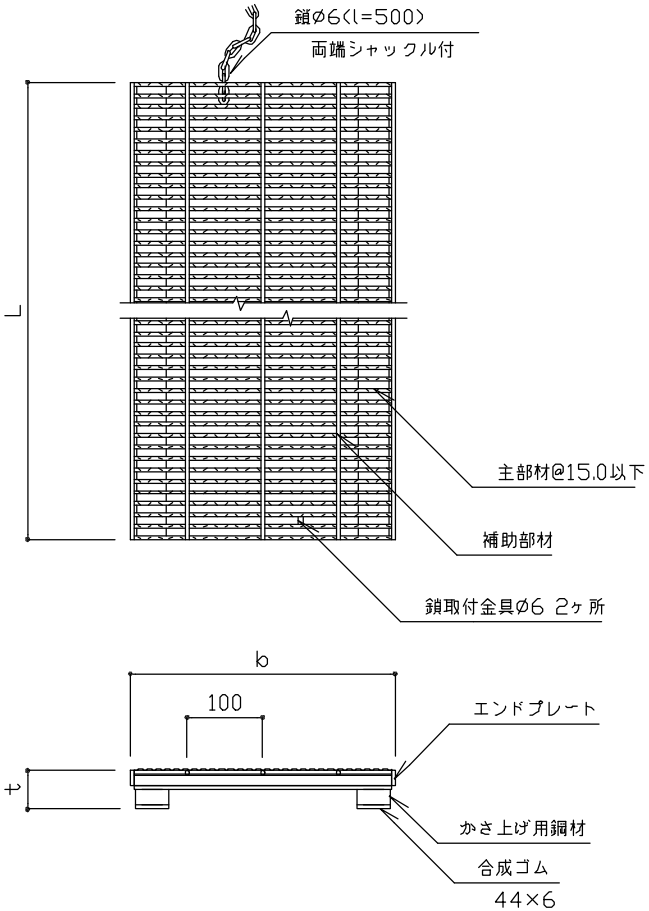
記　号	b	t	l	主 部 材	補助部材	エンドプレート	耐荷重
FGO-N25	350	53	995	IB -5 ×38	3-6×6	FB-4.5×32	T- 6
FGO-N30	400	59	995	IB -5 ×44	4-6×6	FB-4.5×38	

特記

・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45 （亜鉛付着量450ｇ／m^2）］した製品とする。
・隣接した蓋は、シャックルを用いて鎖により互いの鎖取付金具を連結する。

横断溝グレーチング蓋		
縮尺	1／10	FGO-N25 FGO-N30
日付	H14.4	

横断溝グレーチング蓋（ノンスリップ）

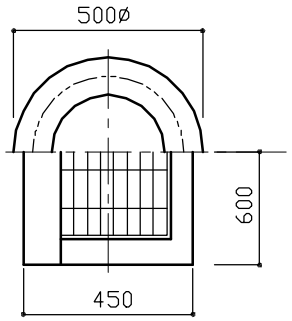


グレーチング蓋（ノンスリップ）寸法表［参考］　（単位：mm）

記　号	b	t	l	主 部 材	補助部材	エンドプレート	耐荷重
FGO-H25	350	51	995	XIB-5 x25	3-Ø6	FB4.5×19	T- 6
FGO-H30	400	58	995	XIB-5 x32	4-Ø6	FB4.5×19	

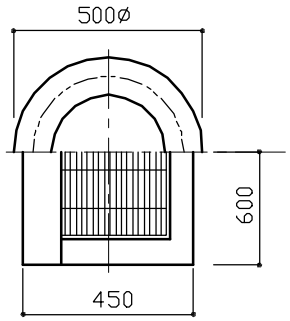
特記				
	・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400）とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。 ・隣接した蓋は、シャックルを用いて鎖により互いの鎖取付金具を連結する。	横断溝グレーチング蓋		
		縮尺	1/10	FGO-H25 FGO-H30
		日付	H14.4	

LMM-N[65・85]

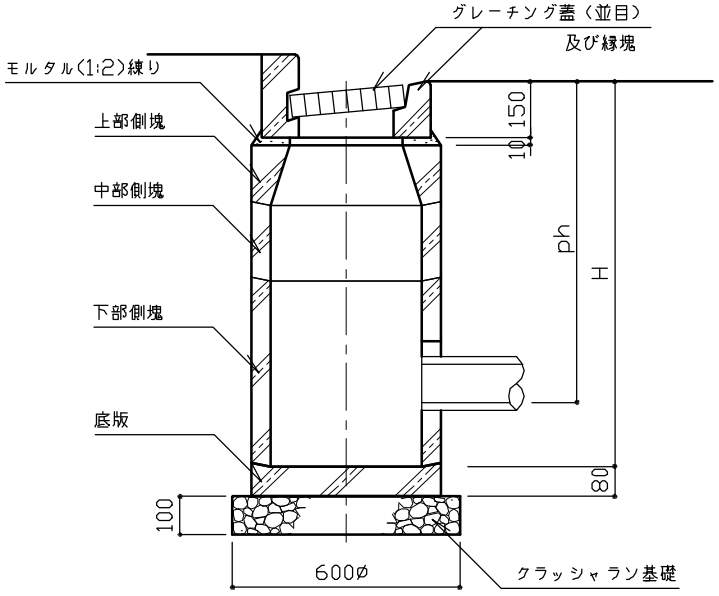


平 面 図

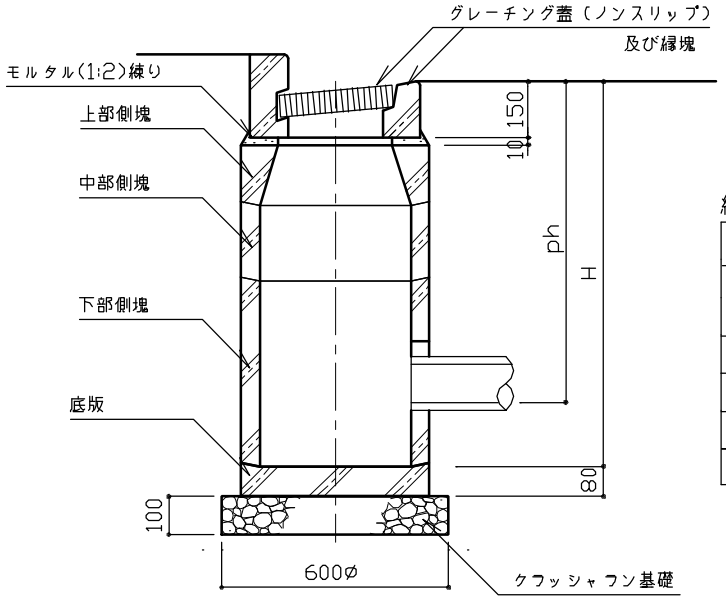
LMM-H[65・85]



平 面 図



断 面 図



断 面 図

寸 法 表

記 号	寸 法	
	H (cm)	Ph (cm)
LMM-N65	80	65以下
LMM-H65	80	65以下
LMM-N85	100	66～85
LMM-H85	100	66～85

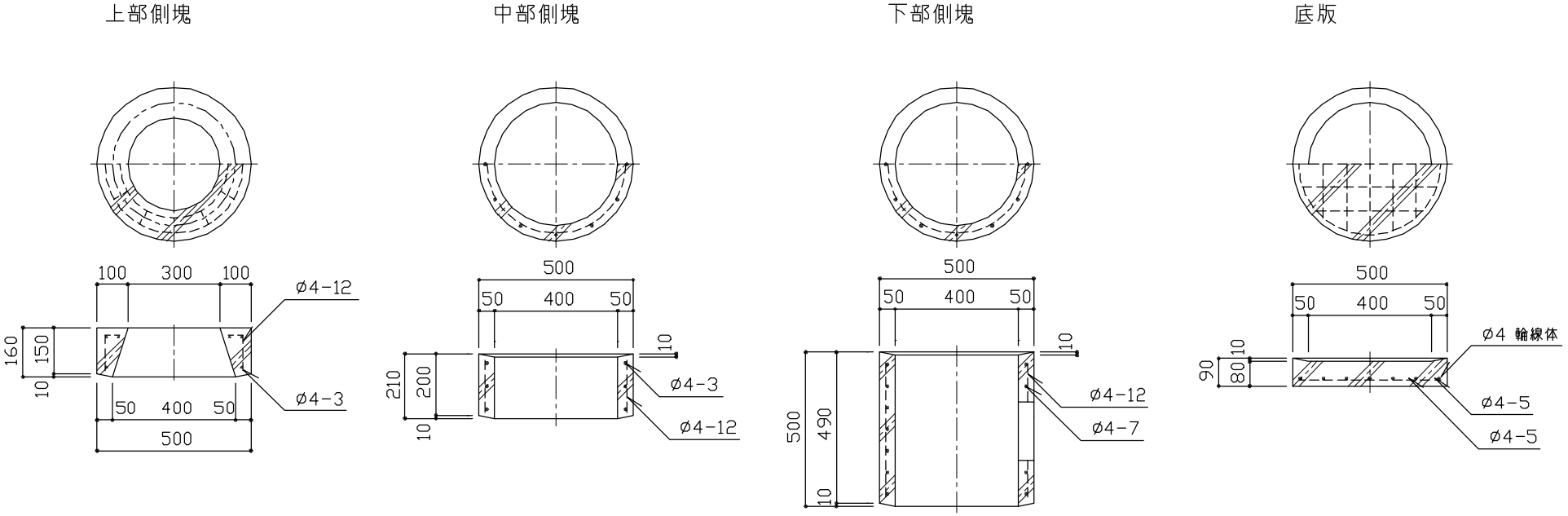
組合せ表

記 号	縁塊及びグレーチング蓋		組 合 せ			
	並目 N (組)	ノンスリップ H (組)	上部側塊 (個)	中部側塊 (個)	下部側塊 (個)	底版 (個)
LMM-N65	1	−	1	−	1	1
LMM-H65	−	1	1	−	1	1
LMM-N85	1	−	1	1	1	1
LMM-H85	−	1	1	1	1	1

特記

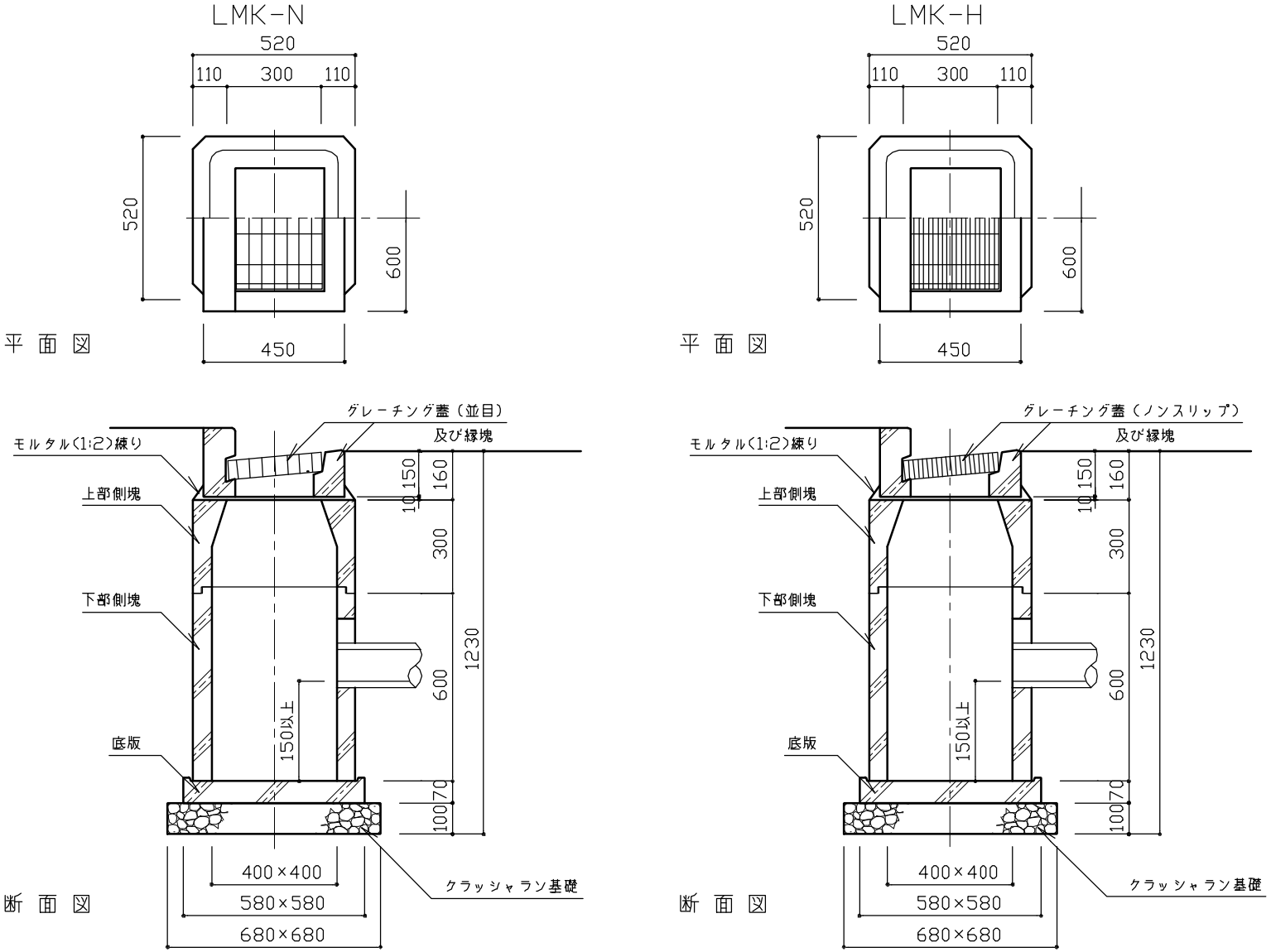
・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

L型雨水桝		
縮尺	1/20	LMM-N65 LMM-N85 LMM-H65 LMM-H85
日付	H14.4	

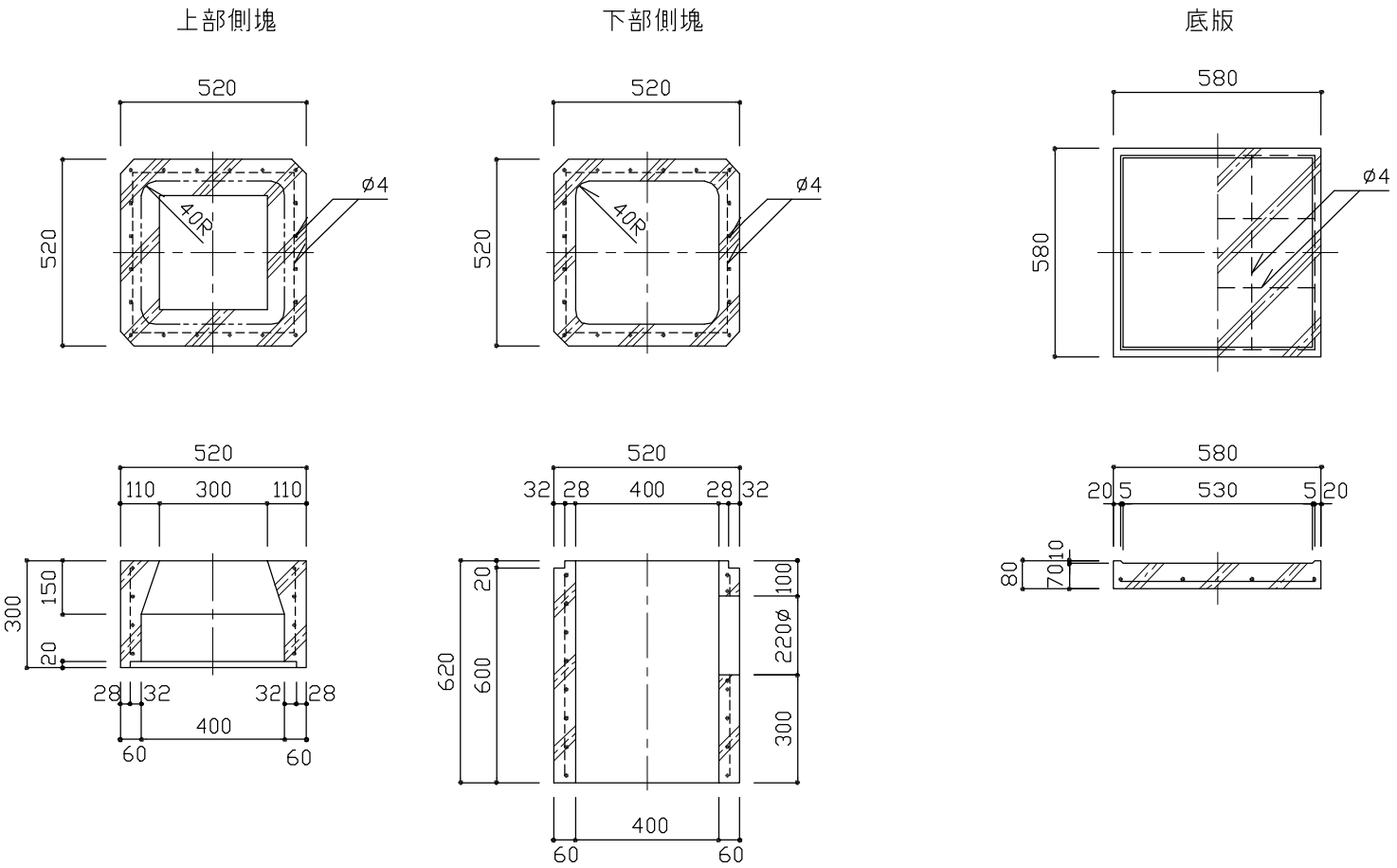


詳 細 図

特記		L型雨水桝	
	縮尺	1/20	LMM-N65 LMM-N85 LMM-H65 LMM-H85
	日付	H14.4	



特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。	L型雨水桝	
		縮尺 1／20	LMK-N LMN-H
		日付 H14.4	

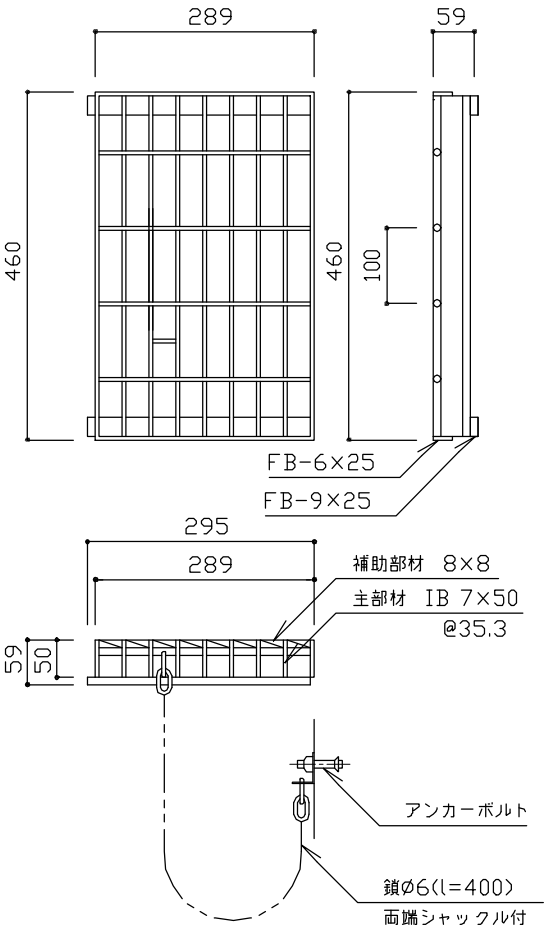


詳 細 図

特記		L型雨水桝	
	縮尺	1／20	LMK-N LMK-H
	日付	H14.4	

LMM-N[65・85], LMK-N
グレーチング蓋（並目）

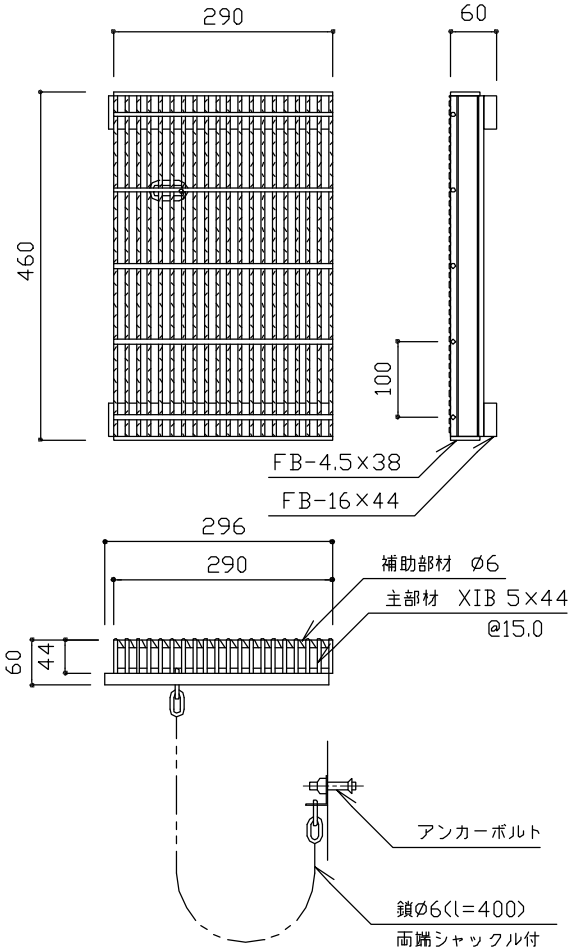
耐荷重	T-14



グレーチング蓋詳細図

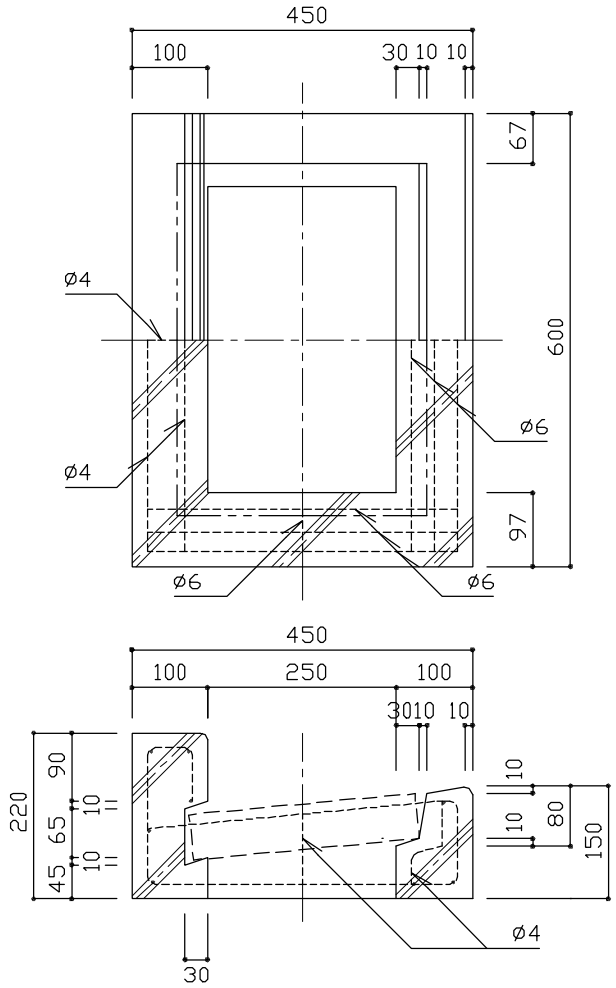
LMM-H[65・85], LMK-H
グレーチング蓋（ノンスリップ）

耐荷重	T-14



グレーチング蓋詳細図

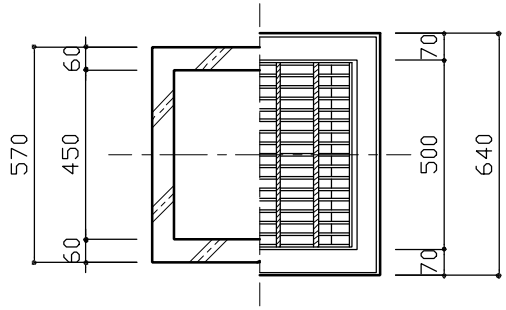
縁塊



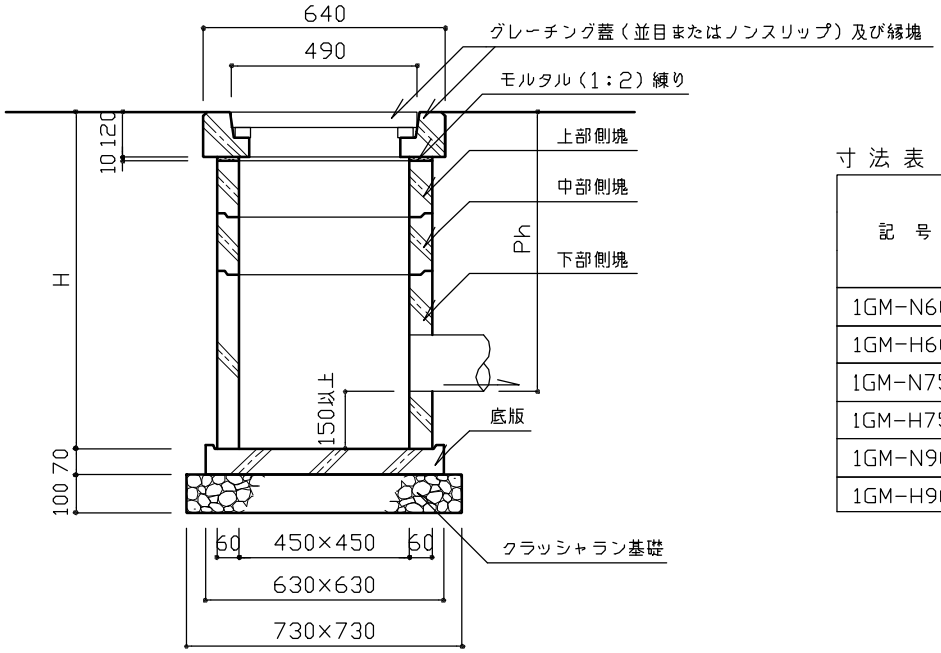
縁塊詳細図（共通）

特記	・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400）とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき[2種 HDZ 45（亜鉛付着量450g/m² 以上）]した製品とする。

L型雨水桝		
縮尺	1/10	LMM-N[65・85] LMM-H[65・85] LMK-N LMK-H
日付	H14.4	



平 面 図



断 面 図

寸 法 表

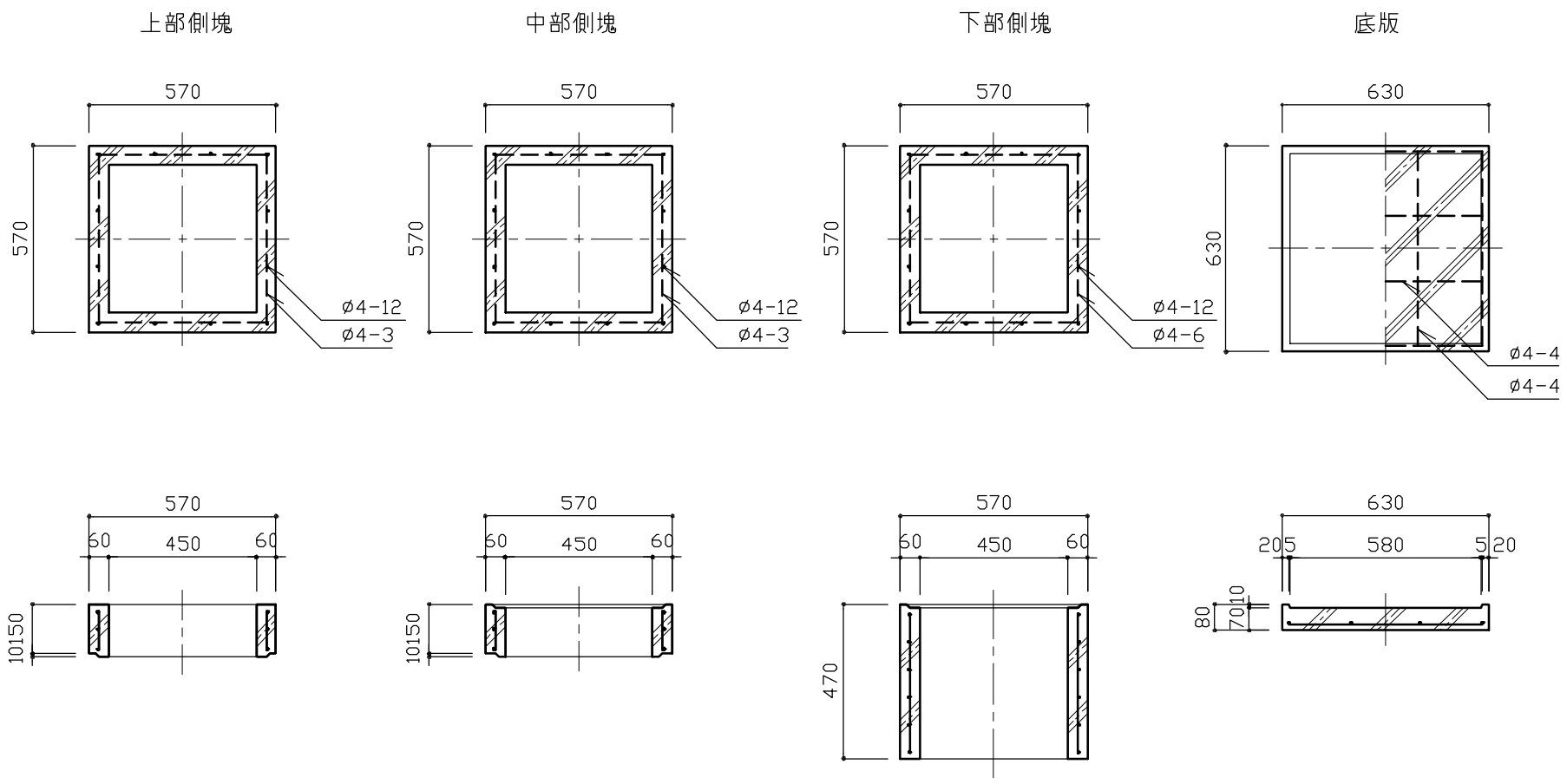
記 号	寸 法		縁塊及びｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋		組 合 せ			
	H（cm）	Ph（cm）	並目 N（組）	ノンスリップ H（組）	上部側塊（個）	中部側塊（個）	下部側塊（個）	底版（個）
1GM-N60	75	60以下	1	－	1	－	1	1
1GM-H60			－	1	1	－	1	1
1GM-N75	90	61～75	1	－	1	1	1	1
1GM-H75			－	1	1	1	1	1
1GM-N90	105	76～89	1	－	1	2	1	1
1GM-H90			－	1	1	2	1	1

特記

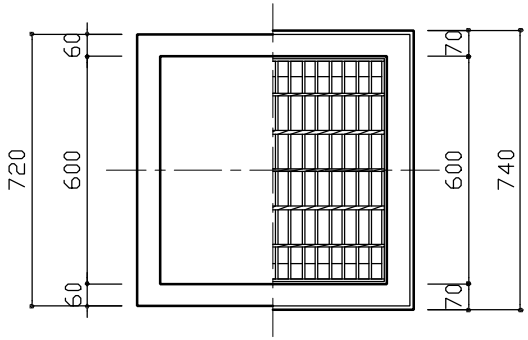
- クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

グレーチング蓋雨水桝

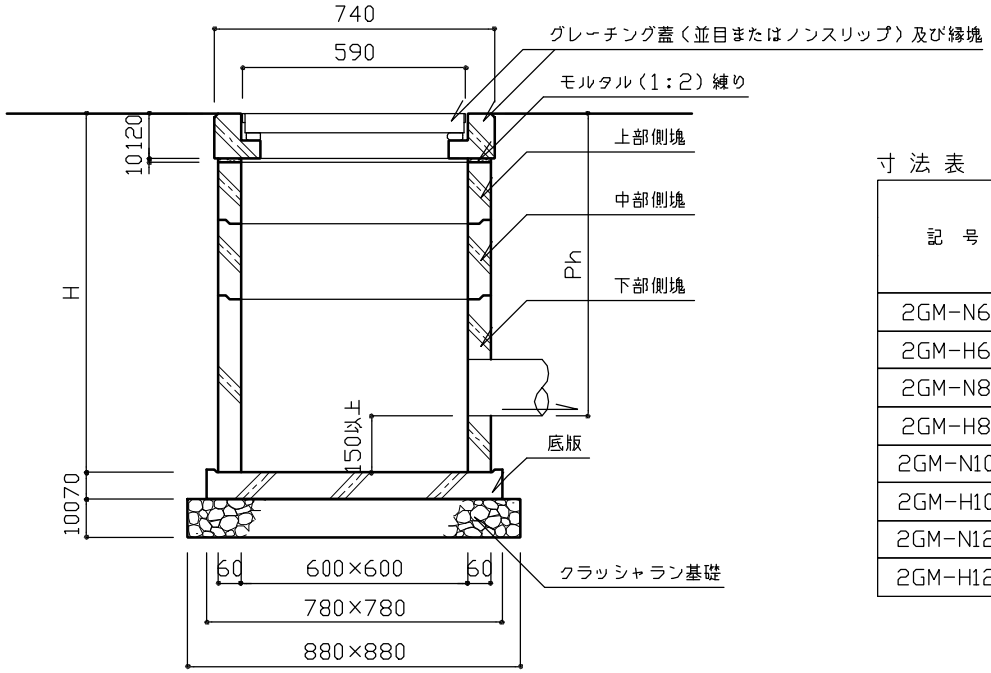
縮尺	1／20	1GM-N[60～90] 1GM-H[60～90]
日付	H14.4	



特記		グレーチング蓋雨水桝		
		縮尺	1/20	1GM-N[60～90] 1GM-H[60～90]
		日付	H14.4	



平 面 図



断 面 図

寸 法 表

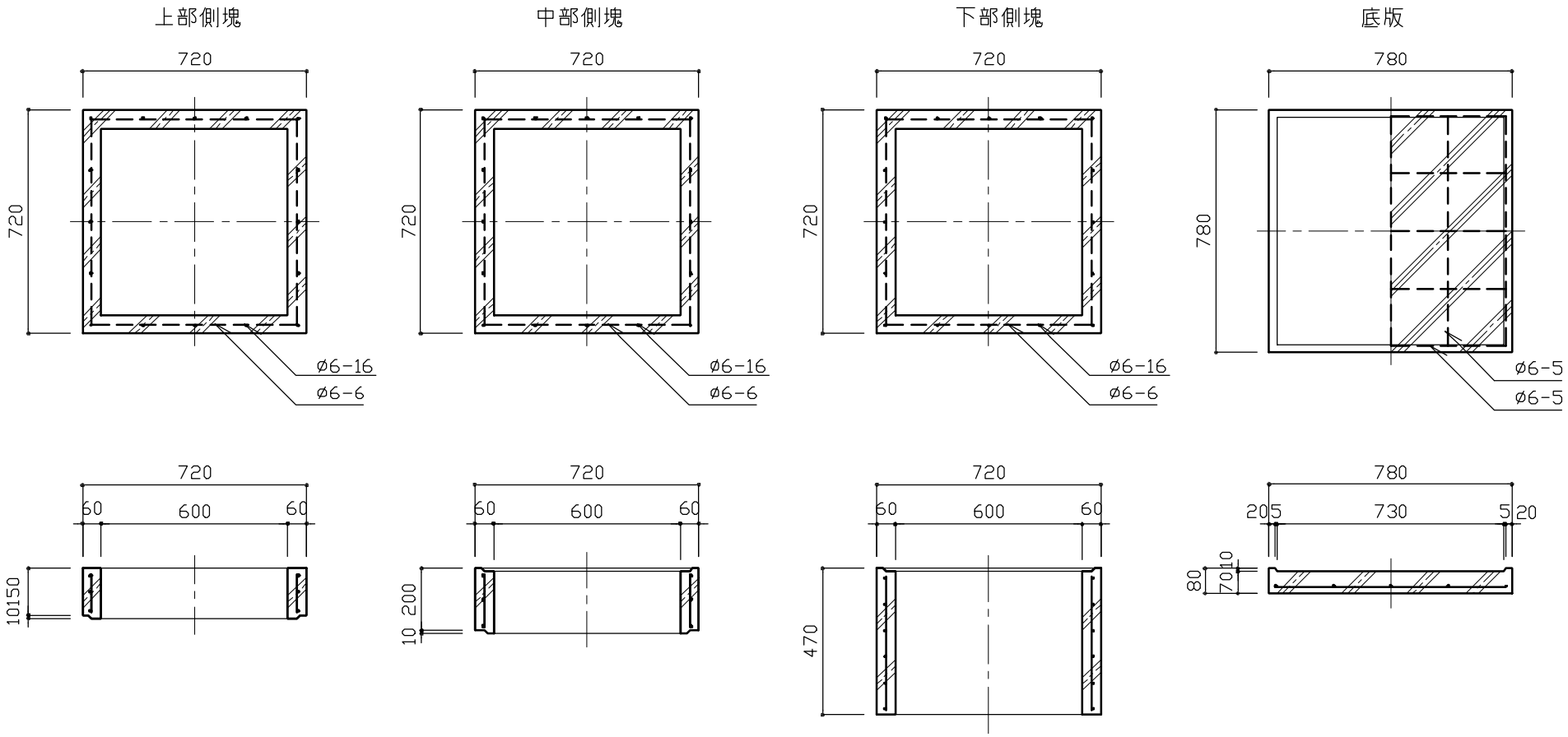
記 号	寸 法		縁塊及びグレーチング蓋		組 合 せ			
	H（cm）	Ph（cm）	並目 N（組）	ノンスリップ H（組）	上部側塊（個）	中部側塊（個）	下部側塊（個）	底版（個）
2GM-N60	75	60以下	1	－	1	－	1	1
2GM-H60			－	1	1	－	1	1
2GM-N80	95	61～80	1	－	1	1	1	1
2GM-H80			－	1	1	1	1	1
2GM-N100	115	81～100	1	－	1	2	1	1
2GM-H100			－	1	1	2	1	1
2GM-N120	135	101～119	1	－	1	3	1	1
2GM-H120			－	1	1	3	1	1

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

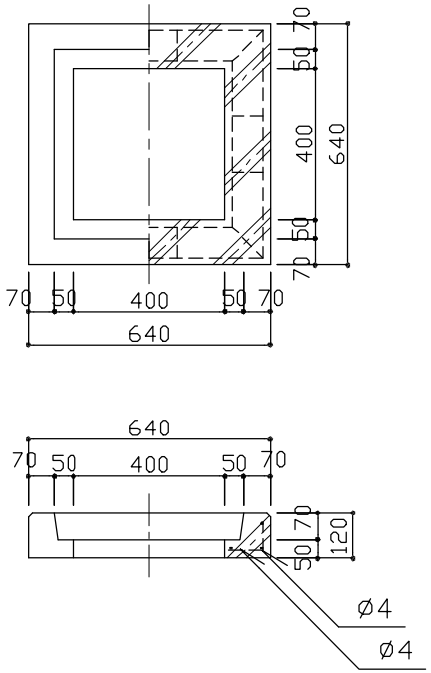
グレーチング蓋雨水桝

縮尺	1／20	2GM-N[60～120] 2GM-H[60～120]
日付	H14.4	



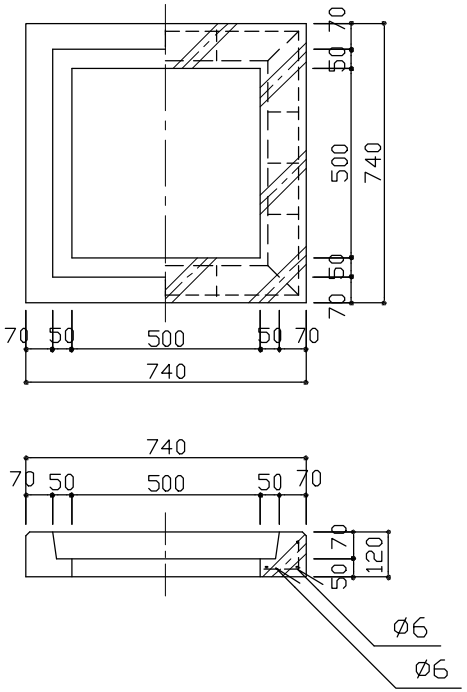
特記		グレーチング蓋雨水桝		
		縮尺	1/20	2GM-N[60～120] 2GM-H[60～120]
		日付	H14.4	

1GM-N[60~90]
1GM-H[60~90]



縁塊詳細図 1/20

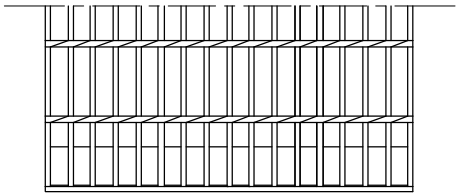
2GM-N[60~120]
2GM-H[60~120]



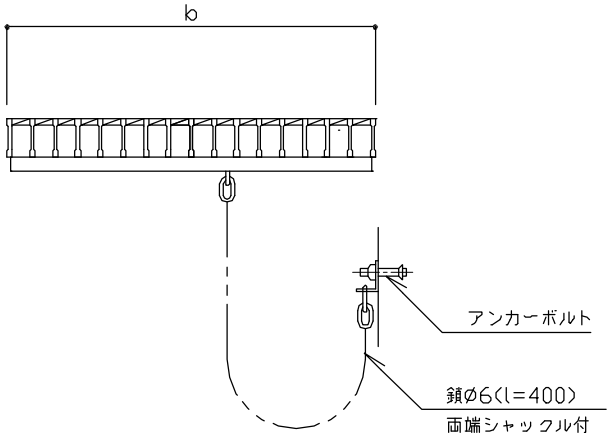
縁塊詳細図 1/20

特記		グレーチング蓋雨水桝		
		縮尺	1/20	1GM-N[60～90] 1GM-H[60～90] 2GM-N[60～120] 2GM-H[60～120]
		日付	H14.4	

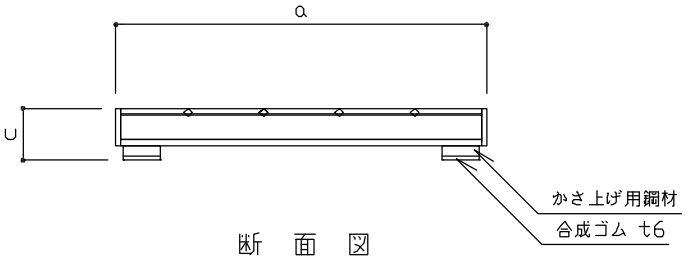
グレーチング蓋（並目）



平　面　図



断　面　図



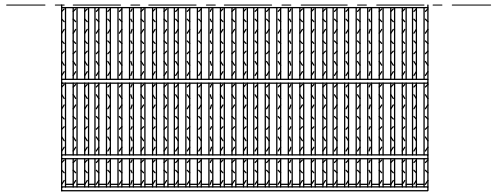
断　面　図

寸 法 表［参考］　　（単位：mm）

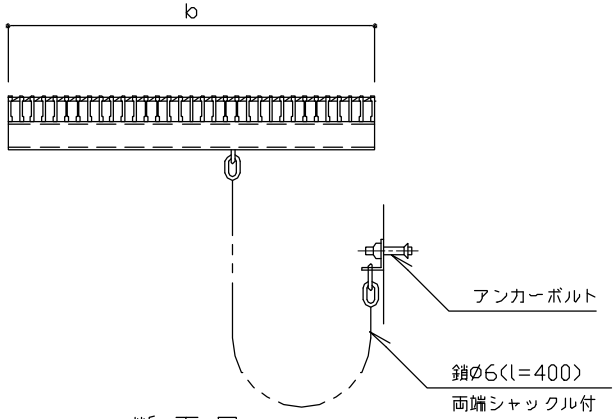
桝 記 号	枠内寸法	グ レ ー チ ン グ 蓋				重量(kg)	耐荷重
	W	a	b	c	主 部 材		
1GM-N[60~90]	500	490	487	69	IB-7×50　@30.0	27.2	T- 6
2GM-N[60~120]	600	590	583	70	IB-7×50　@35.3	29.8	

特記	・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。	グレーチング蓋雨水桝		
		縮尺	1/10	1GM-N[60・80] 2GM-N[60・120]
		日付	H14.4	

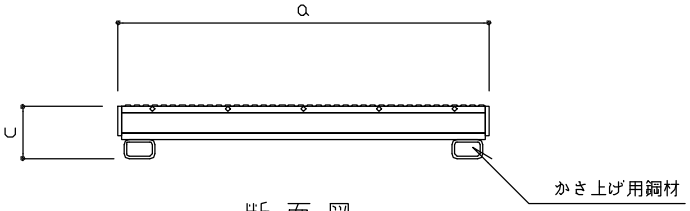
グレーチング蓋(ノンスリップ)



平 面 図



断 面 図



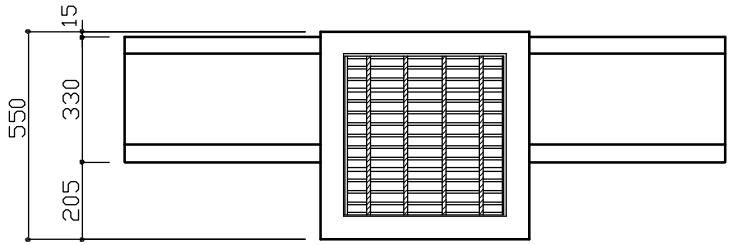
断 面 図

寸 法 表 [参考]　　(単位：mm)

桝 記 号	枠内寸法	グ レ ー チ ン グ 蓋				重量(kg)	耐荷重
	W	a	b	c	主 部 材		
1GM-H[60~90]	500	490	485	70	XIB-5×38 @15.0	25.1	T- 6
2GM-H[60~120]	600	590	590	69	XIB-5×44 @15.0	36.9	

特記	
	・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45 （亜鉛付着量450g/m² ）］した製品とする。

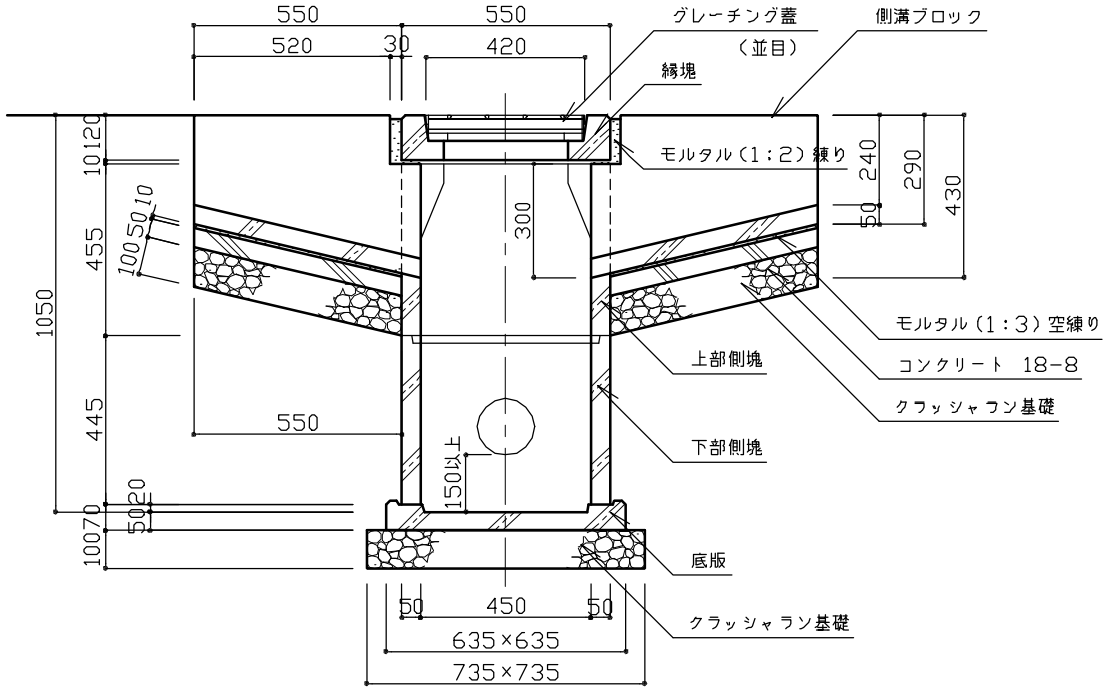
グレーチング蓋雨水桝		
縮尺	1/10	1GM-H[60～90] 2GM-H[60～120]
日付	H14.4	



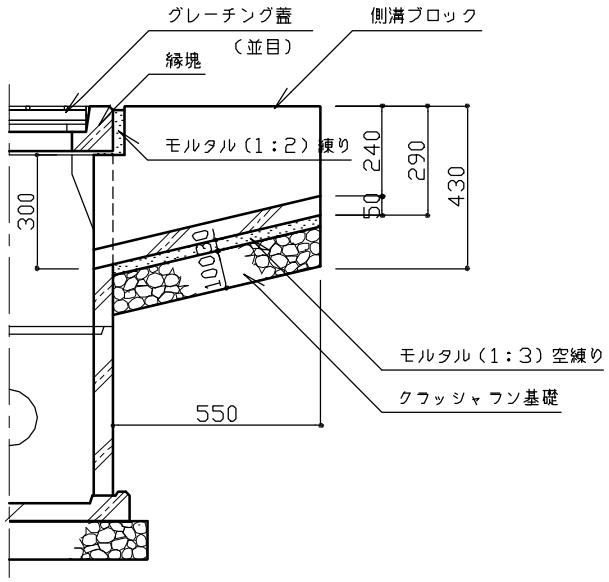
UM-N24B
コンクリート基礎

平 面 図

UM-N24A
砕石基礎

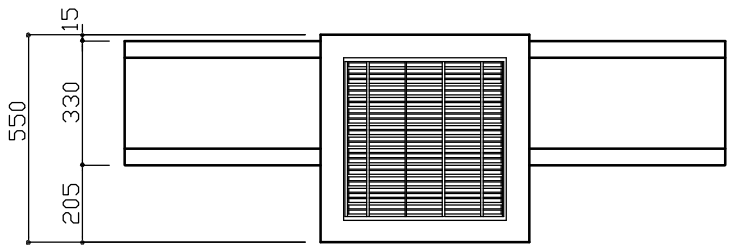


断 面 図



断 面 図

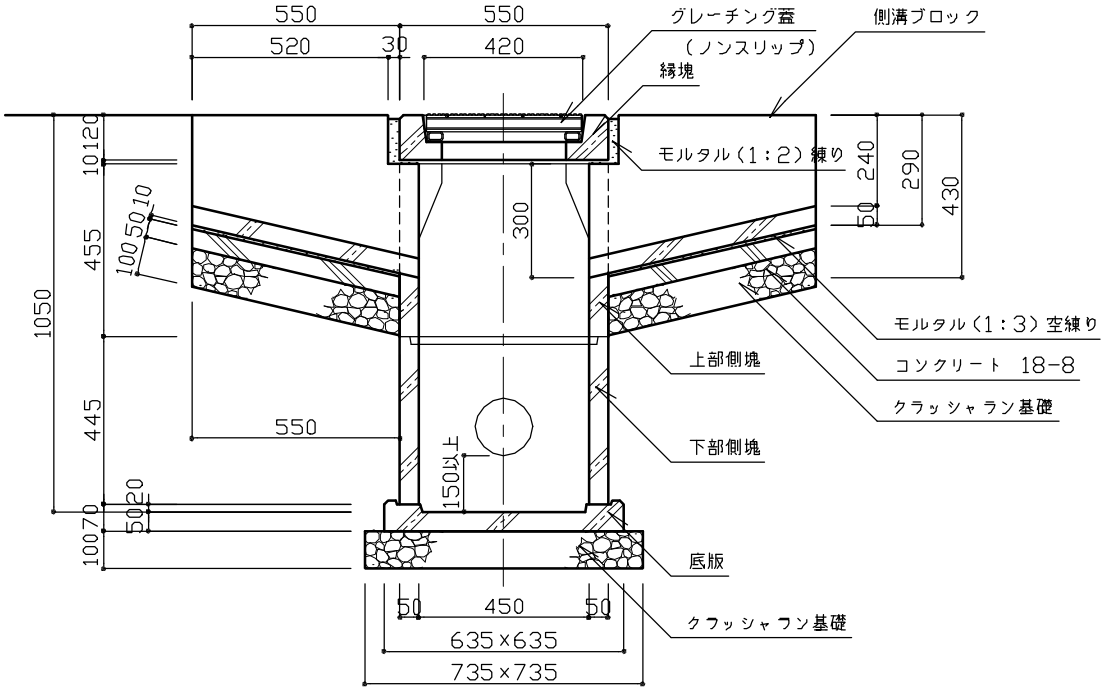
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。 ・側溝ブロックの基礎寸法は、U型側溝と同一とする。	**U型雨水桝**	
		縮尺	1／20	UM-N24A UM-N24B
		日付	H14.4	



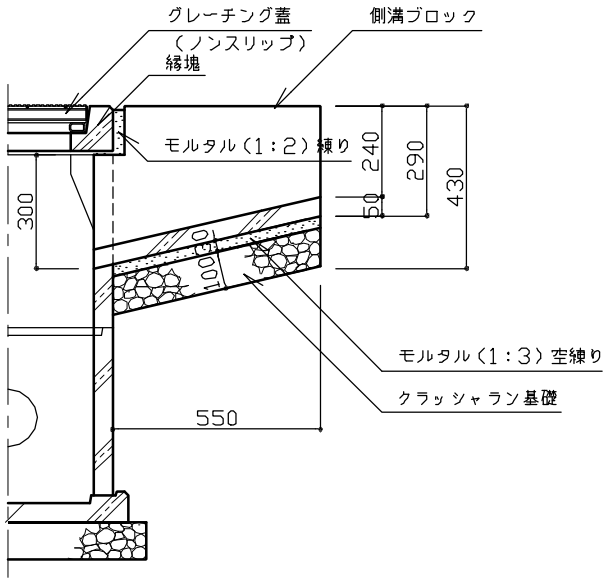
UM-H24B
コンクリート基礎

平 面 図

UM-H24A
砕石基礎



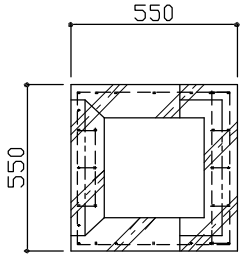
断 面 図



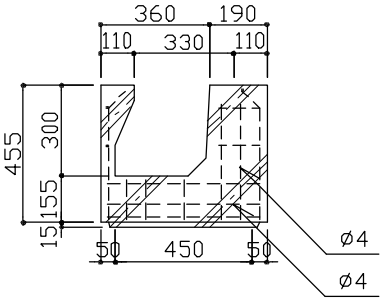
断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。 ・側溝ブロックの基礎寸法は、U型側溝と同一とする。	U型雨水桝		
		縮尺	1／20	UM-H24A UM-H24B
		日付	H14.4	

上部側塊

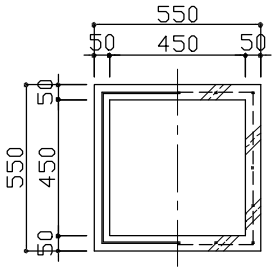


平面図

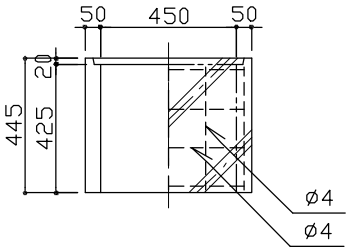


断面図

下部側塊

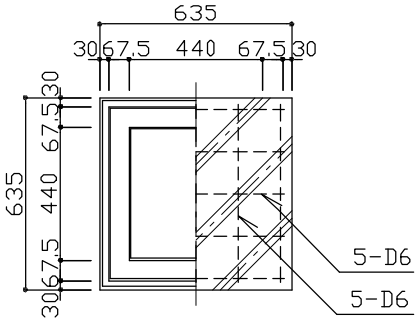


平面図

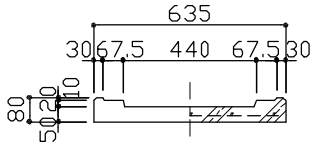


断面図

底版

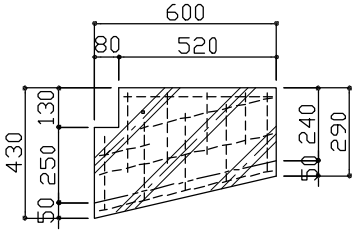


平面図

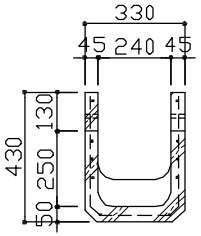


断面図

側溝ブロック

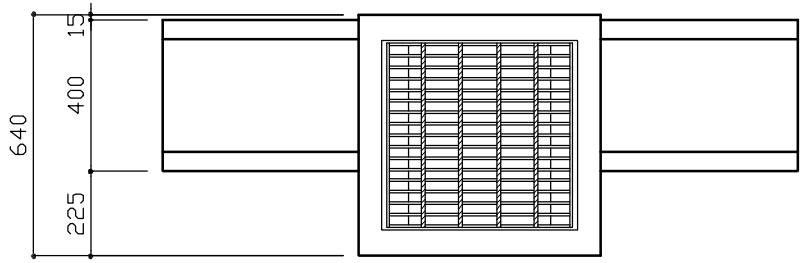


側面図



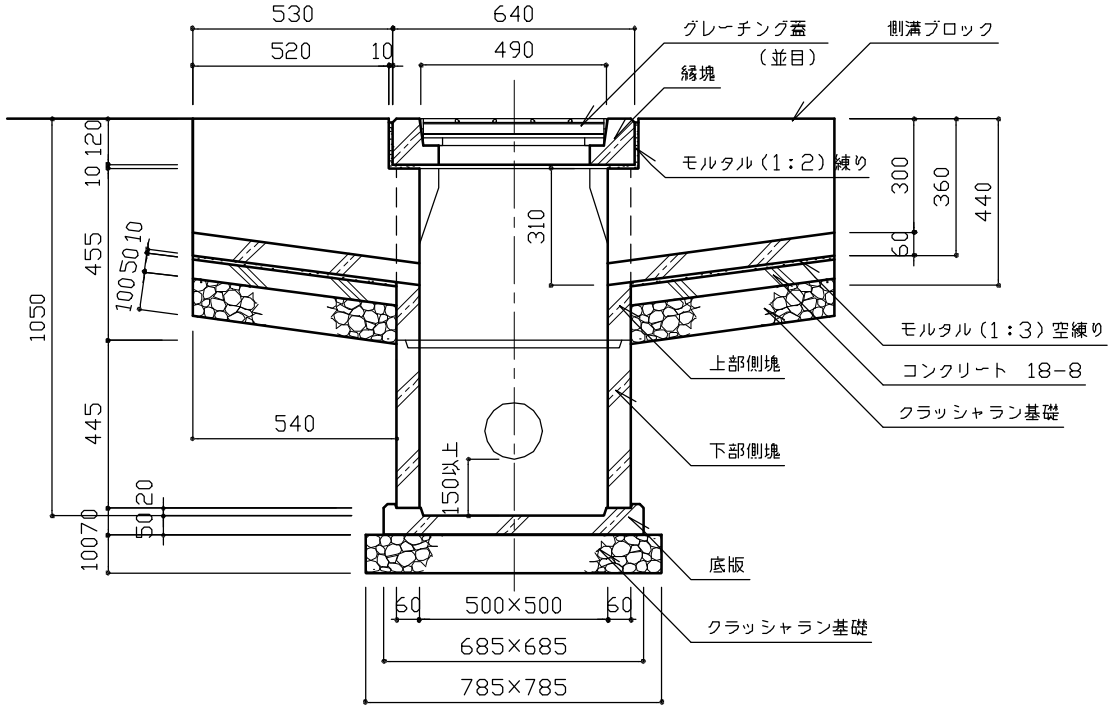
断面図

特記		U型雨水桝	
	縮尺	1／25	UM-N24A UM-N30B UM-H24A UM-H30B
	日付	H14.4	



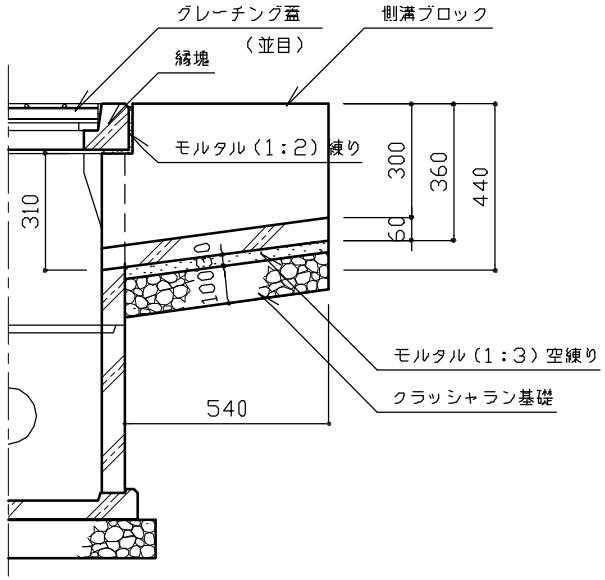
平 面 図

UM-N30B
コンクリート基礎



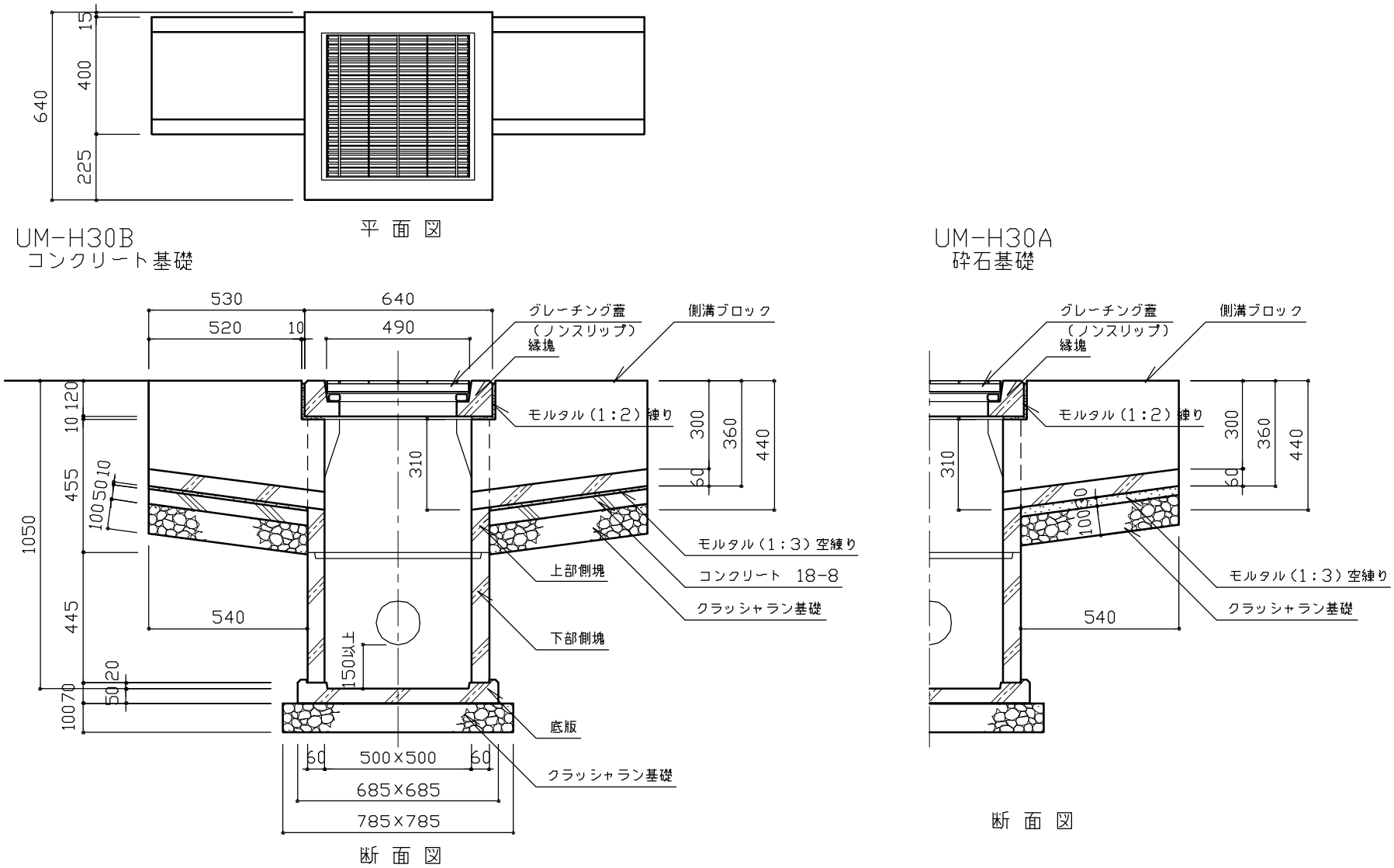
断 面 図

UM-N30A
砕石基礎



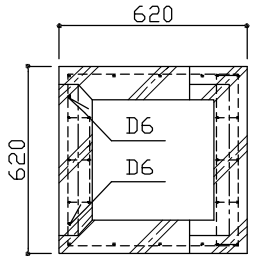
断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。 ・側溝ブロックの基礎寸法は、U型側溝と同一とする。	U型雨水桝	
		縮尺 1／20	UM-N30A UM-N30B
		日付 H14.4	



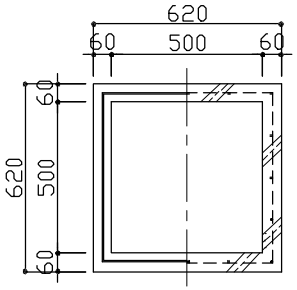
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。 ・側溝ブロックの基礎寸法は、U型側溝と同一とする。	U型雨水桝		
		縮尺	1／20	UM-H30A UM-H30B
		日付	H14.4	

上部側塊



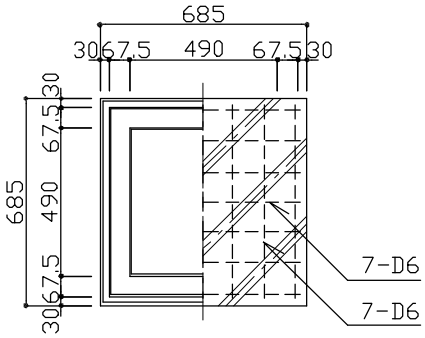
平面図

下部側塊



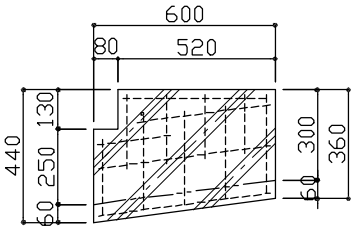
平面図

底版

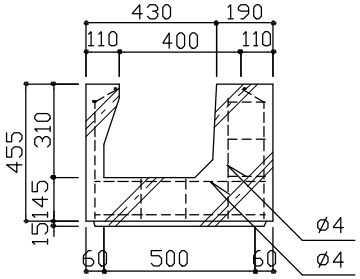


平面図

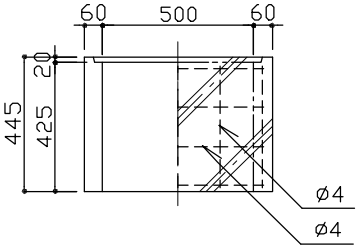
側溝部ブロック



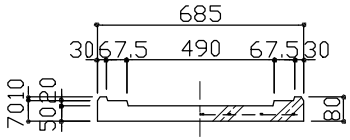
側面図



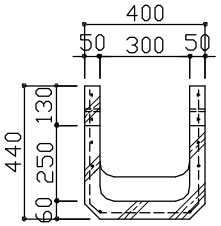
断面図



断面図



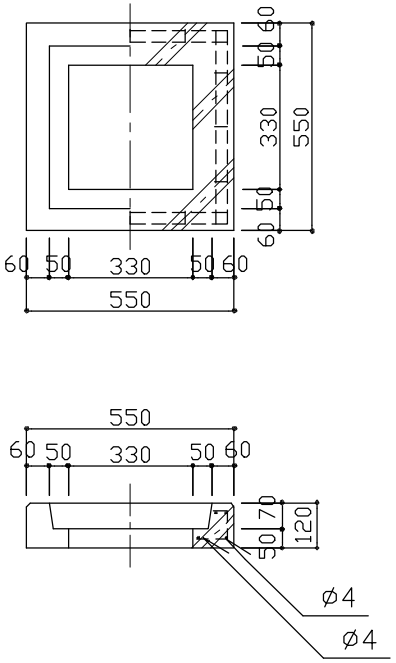
断面図



断面図

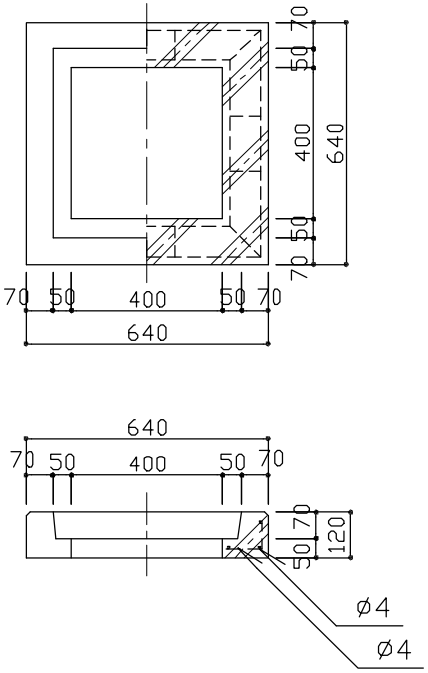
特記		U型雨水桝	
	縮尺	1/25	UM-N30A UM-N30B UM-H30A UM-H30B
	日付	H14.4	

UM-H24[A・B]
UM-N24[A・B]



縁塊詳細図 1/20

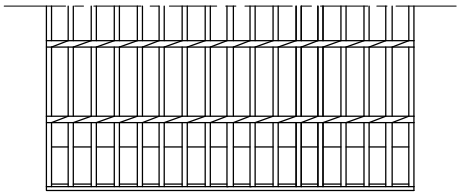
UM-H30[A・B]
UM-N30[A・B]



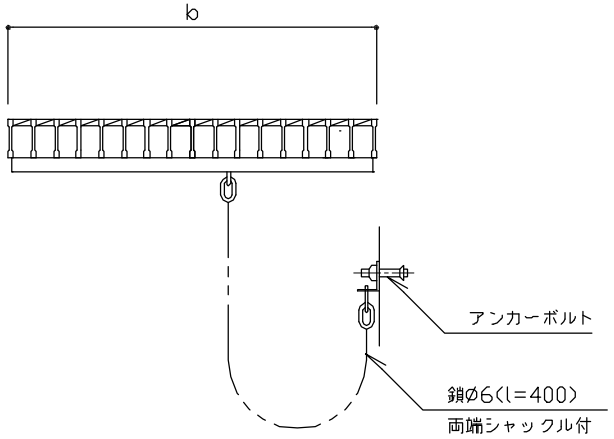
縁塊詳細図 1/20

特記		U型雨水桝		
		縮尺	1/20	UM-N24[A・B] UM-N30[A・B] UM-H24[A・B] UM-H30[A・B]
		日付	H14.4	

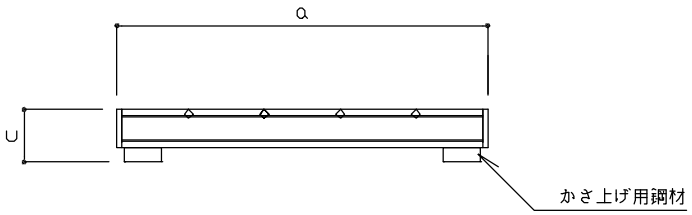
グレーチング蓋（並目）



平　面　図



断　面　図



断　面　図

寸 法 表［参考］　　（単位：mm）

桝 記 号	枠内寸法	グレーチング蓋				重量(kg)	耐荷重
	W	a	b	c	主 部 材		
UM-N24[A・B]	430	420	410	70	IB-5×38　@30.0	13.9	T- 6
UM-N30[A・B]	500	490	487	69	IB-7×50　@30.0	27.2	

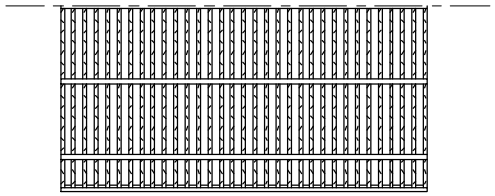
特記

・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。

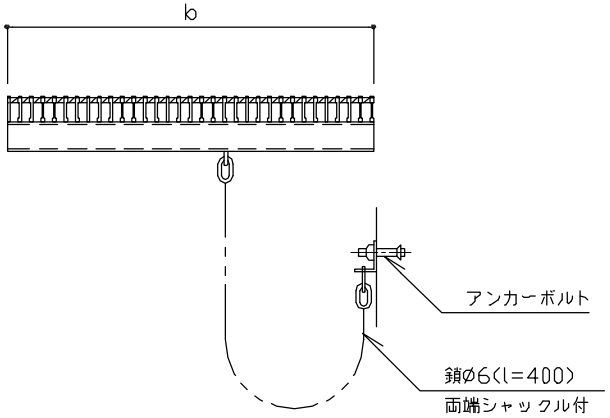
L型雨水桝

縮尺	1/10	UM-N24A UM-N24B UM-N30A UM-N30B
日付	H14.4	

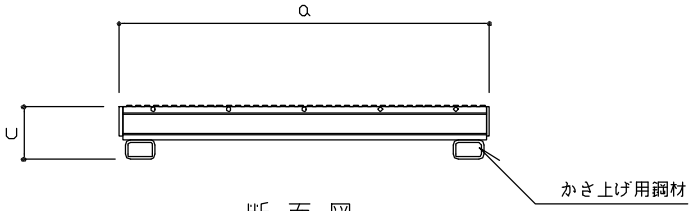
グレーチング蓋（ノンスリップ）



平 面 図



断 面 図

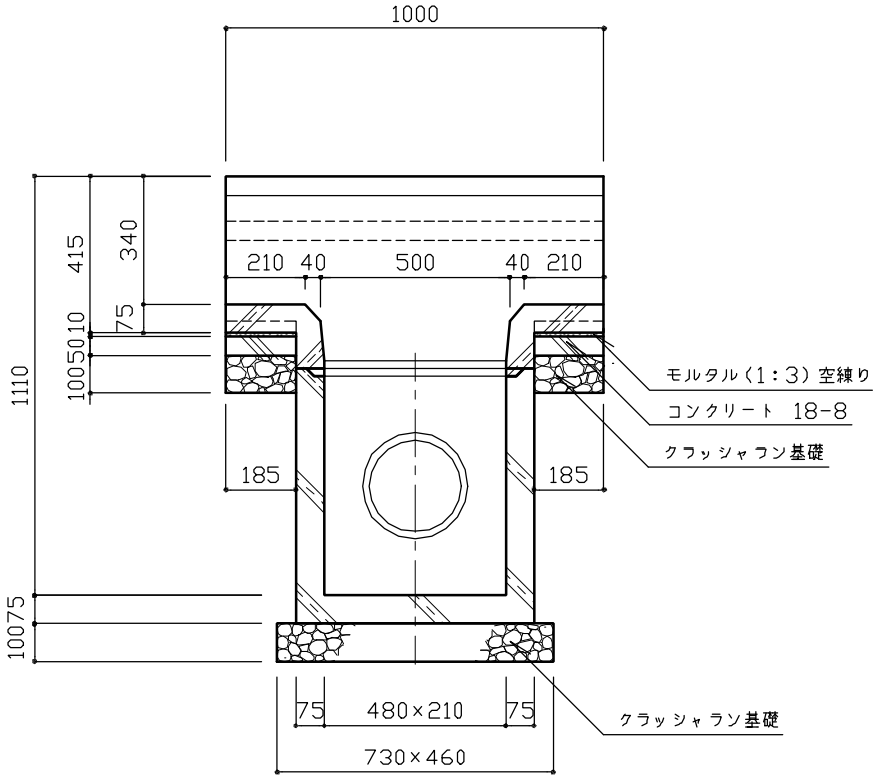


断 面 図

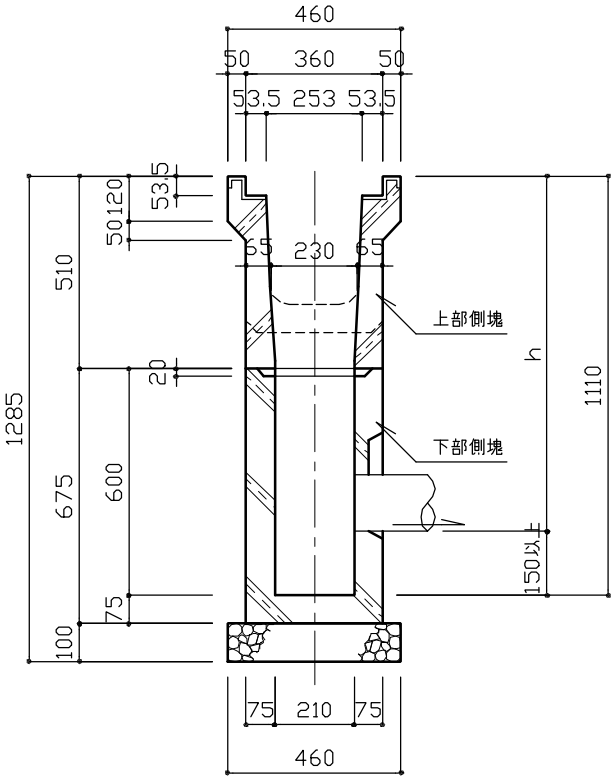
寸 法 表［参考］　　（単位：mm）

桝 記 号	枠内寸法	グ レ ー チ ン グ 蓋				重量(kg)	耐荷重
	W	a	b	c	主 部 材		
UM-H24[A・B]	430	420	408	70	XIB-5×25 @15.0	17.1	T- 6
UM-H30[A・B]	500	490	485	70	XIB-5×38 @15.0	25.1	

特記	・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m2）］した製品とする。	U型雨水桝		
		縮尺	1/10	UM-H24A UM-H24B UM-H30A UM-H30B
		日付	H14.4	



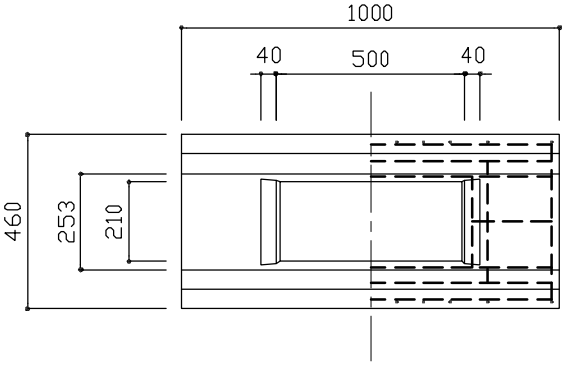
断 面 図



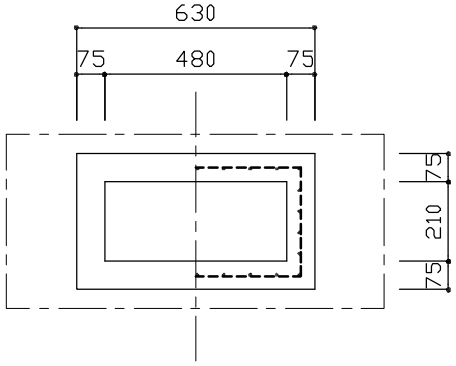
断 面 図

特記		横断溝雨水桝	
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。 ・側溝部の基礎寸法は、横断溝と同一とする。	縮尺	1／20	UMO- 25
		日付	H14.4	

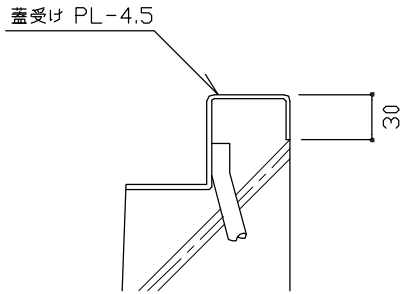
上部側塊



平 面 図

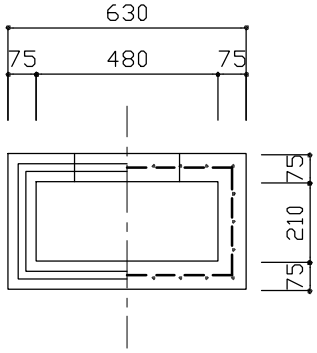


桝部平面図

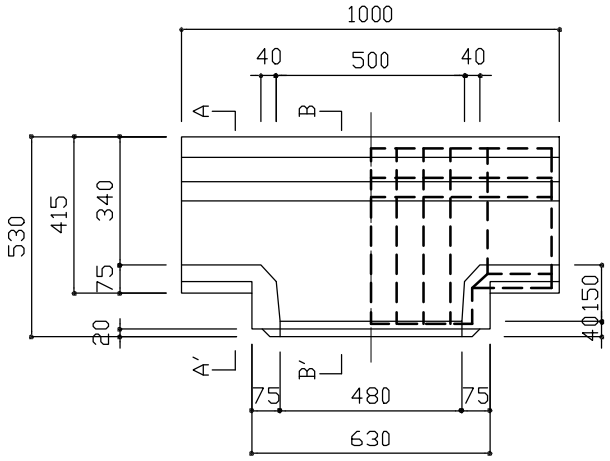


C部詳細図 1/5

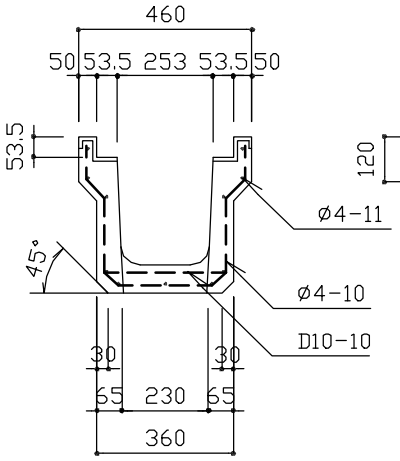
下部側塊



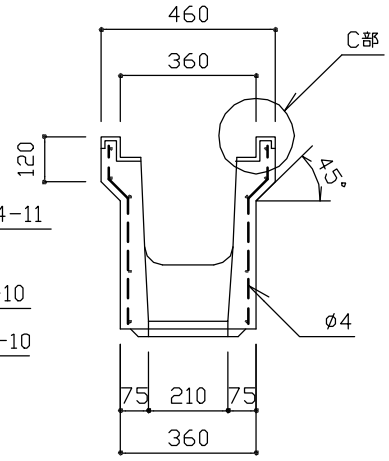
平 面 図



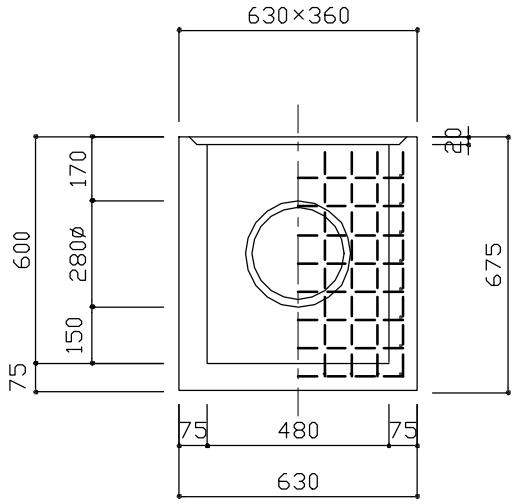
立 面 図



A-A'断面図

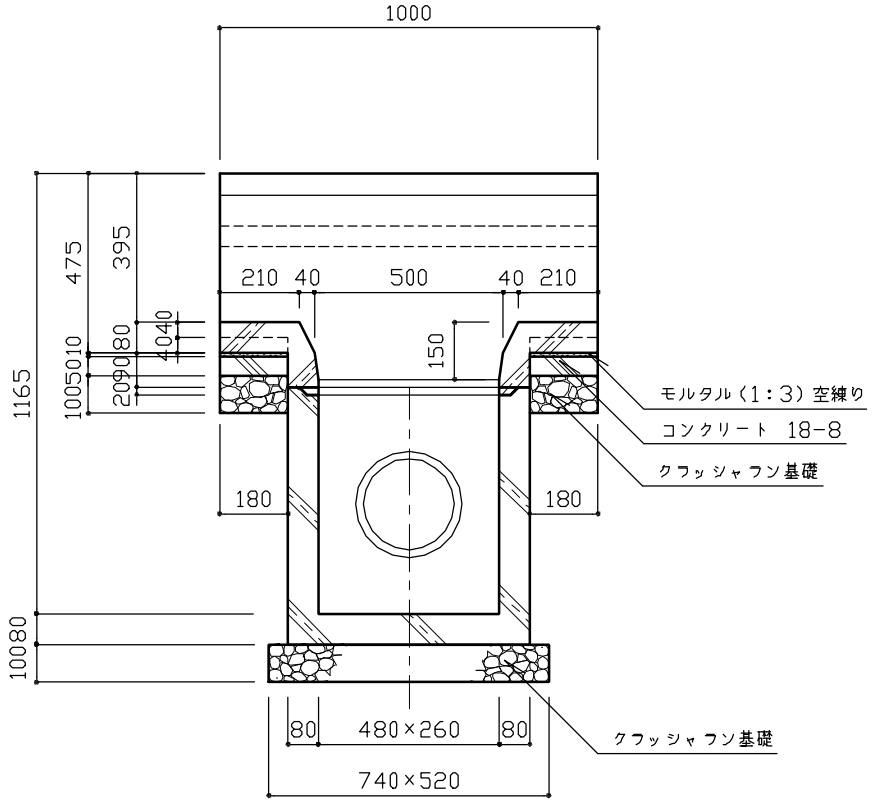


B-B'断面図

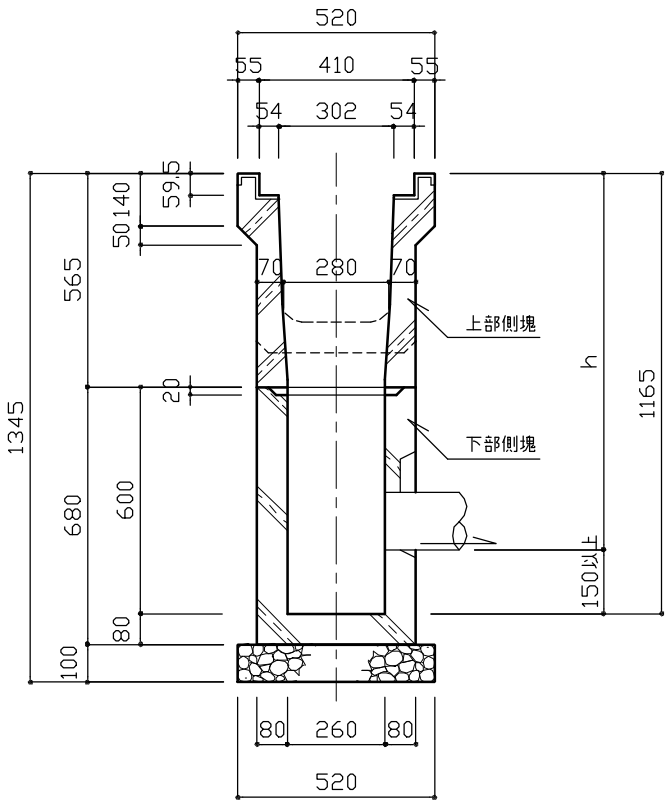


立 面 図

特記	・蓋受けは、一般構造用圧延鋼材（SS400）電気亜鉛めっきとする。	**横断溝雨水桝**	
		縮尺 1/20	UMO- 25
		日付 H14.4	



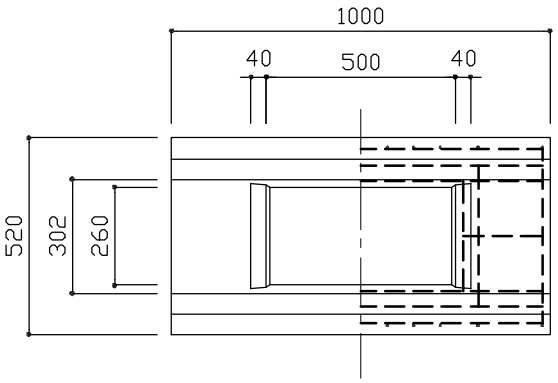
断 面 図



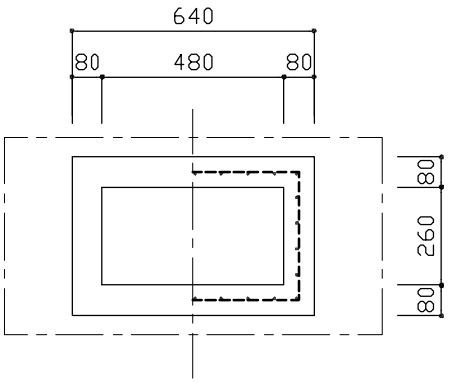
断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。 ・側溝部の基礎寸法は、横断溝と同一とする。	横断溝雨水桝		
		縮尺	1／20	UMO- 30
		日付	H14.4	

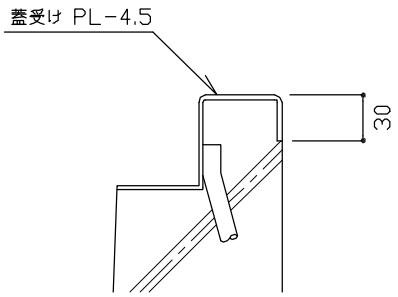
上部側塊



平 面 図

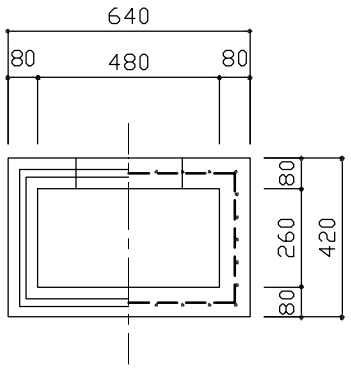


桝部平面図

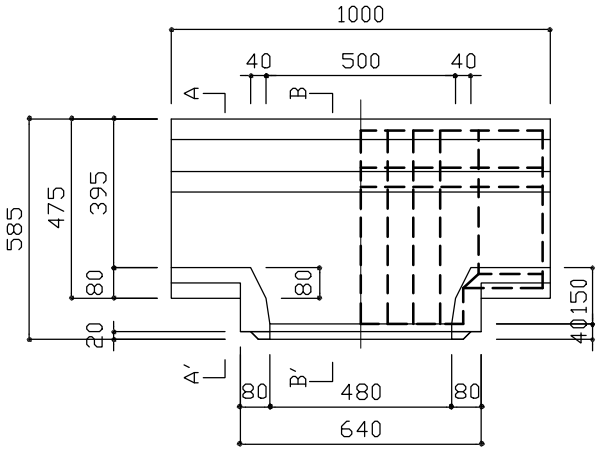


C部詳細図 1／5

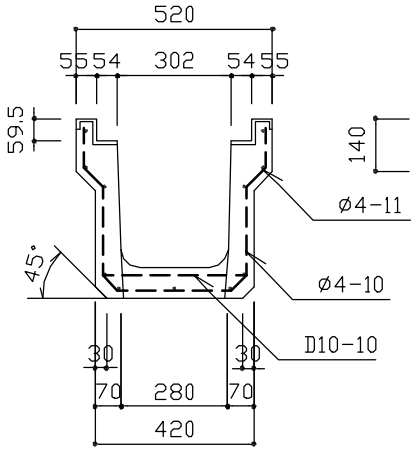
下部側塊



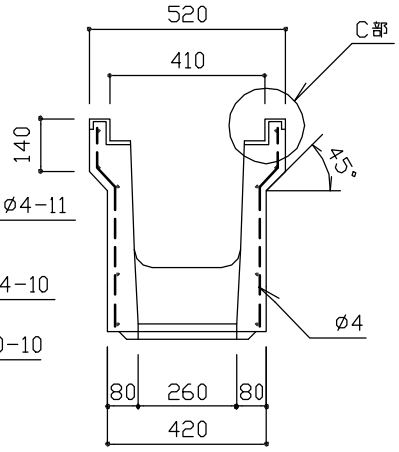
平 面 図



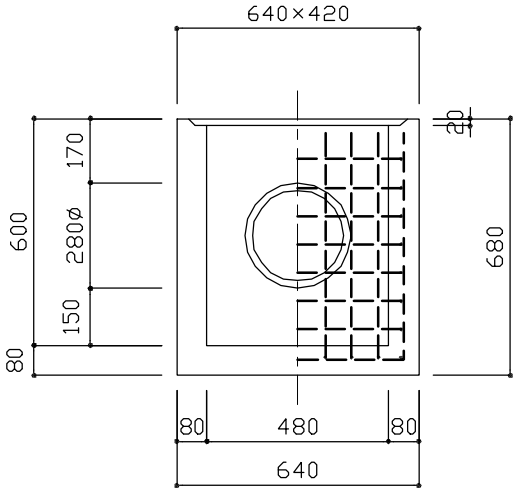
立 面 図



A−A′断面図

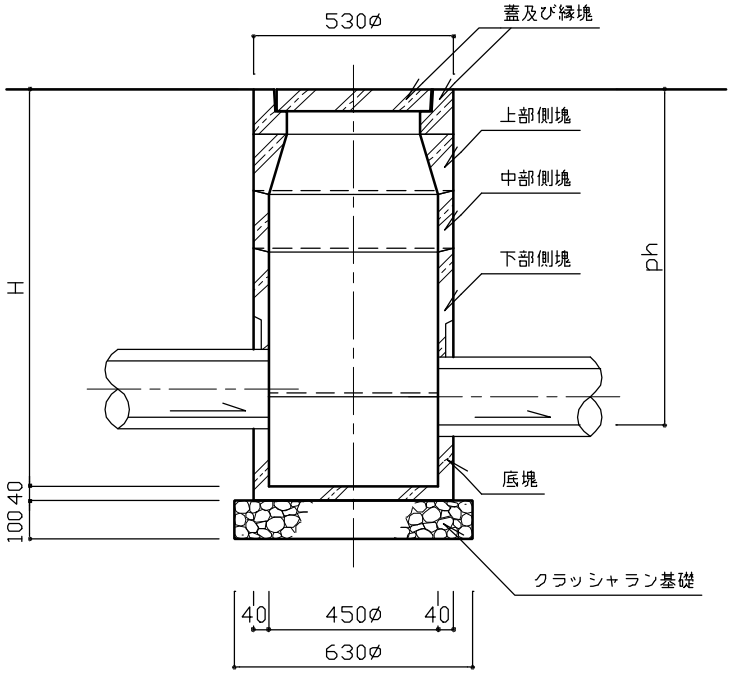


B−B′断面図



立 面 図

特記	・蓋受けは、一般構造用圧延鋼材（SS400）電気亜鉛めっきとする。	横断溝雨水桝	
		縮尺 1／20	UMO- 30
		日付 H14.4	



断 面 図

寸 法 表

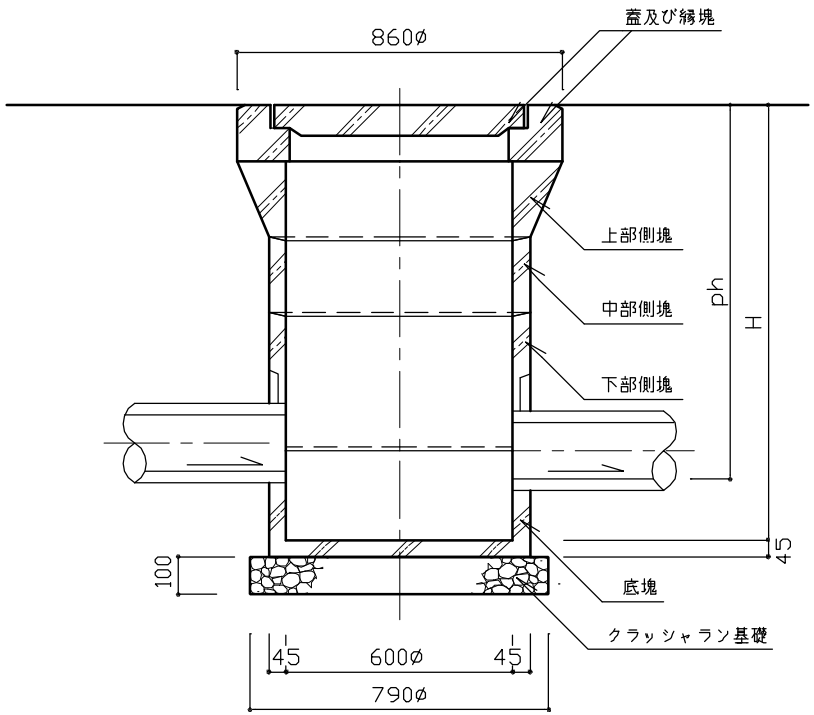
記 号	寸 法		組 合 せ				
	H (cm)	ph (cm)	上部側塊 (個)	中部側塊 (個)	下部側塊 (個)	底塊 (個)	蓋及び縁塊 (組)
1RM-75	90	75以下	1	−	1	1	1
1RM-90	105	76~89	1	1	1	1	1

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

雨水桝 (1 種)

縮尺	1/20	1RM- 75 1RM- 90
日付	H14.4	



断 面 図

寸 法 表

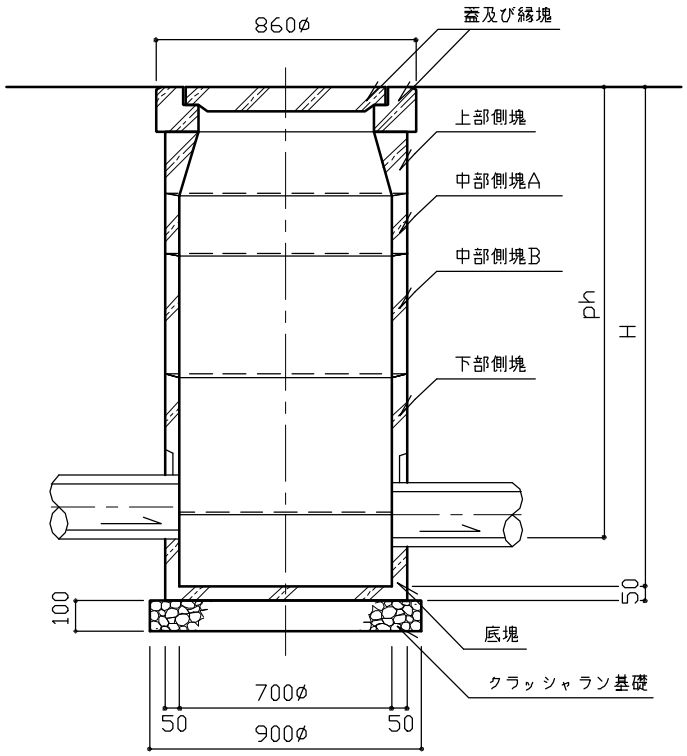
記 号	寸 法		組 合 せ				
	H (cm)	ph (cm)	上部側塊 (個)	中部側塊 (個)	下部側塊 (個)	底塊 (個)	蓋及び縁塊 (組)
2RM- 80	95	80以下	1	−	1	1	1
2RM-100	115	81～100	1	1	1	1	1
2RM-120	135	101～119	1	2	1	1	1

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

雨水桝（2種）

縮尺	1／20	2RM- 80 2RM- 100 2RM- 120
日付	H14.4	



断 面 図

寸 法 表

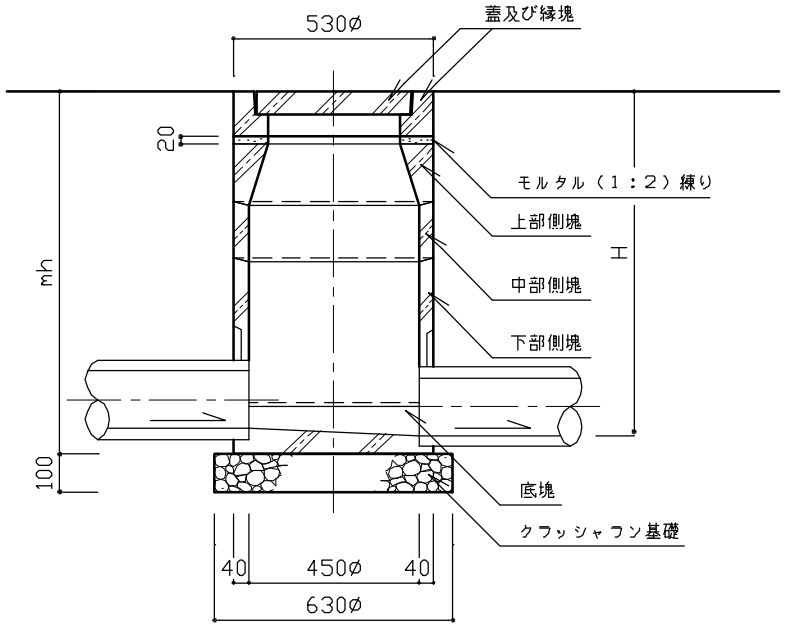
記 号	寸 法		組 合 せ					
	H (cm)	ph (cm)	上部側塊 (個)	中部側塊A (個)	中部側塊B (個)	下部側塊 (個)	底塊 (個)	蓋及び縁塊 (組)
3RM- 90	105	90以下	1	−	−	1	1	1
3RM-110	125	91~110	1	1	−	1	1	1
3RM-130	145	111~130	1	−	1	1	1	1
3RM-150	165	131~149	1	1	1	1	1	1

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

雨水桝（3種）

縮尺	1/25	3RM- 90 3RM- 110 3RM- 130 3RM- 150
日付	H14.4	



断 面 図

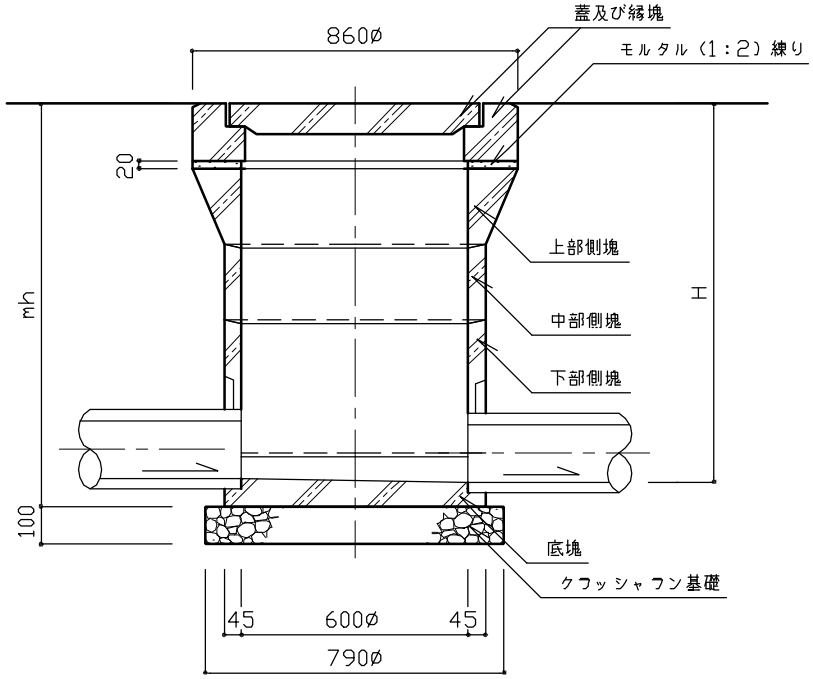
寸 法 表

記 号	寸 法		組 合 せ				
	H (cm)	mh (cm)	上部側塊 (個)	中部側塊 (個)	下部側塊 (個)	底塊 (個)	蓋及び縁塊 (組)
10M-75	75以下	81	1	−	1	1	1
10M-90	76~89	96	1	1	1	1	1

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- インバートは、モルタル（1：2）練り で仕上げること。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

汚水桝（1種）		
縮尺	1／20	10M- 75 10M- 90
日付	H14.4	



断 面 図

寸 法 表

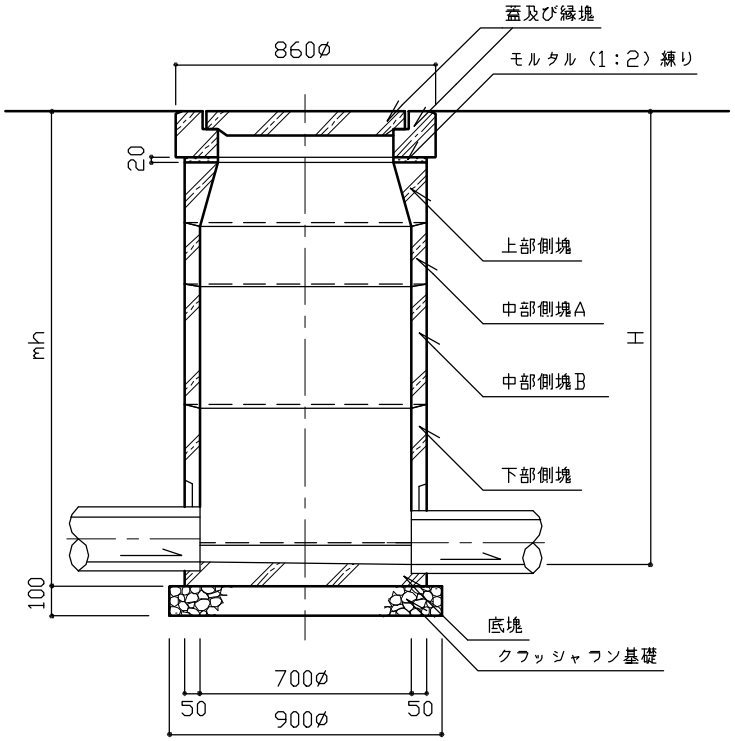
記 号	寸 法		組 合 せ				
	H（cm）	mh（cm）	上部側塊（個）	中部側塊（個）	下部側塊（個）	底塊（個）	蓋及び縁塊（組）
20M- 80	80以下	86.5	1	−	1	1	1
20M-100	81～100	106.5	1	1	1	1	1
20M-120	101～119	126.5	1	2	1	1	1

特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- インバートは、モルタル（1：2）練り で仕上げること。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

汚水桝（1種）

縮尺	1／20	20M-80 20M-100 20M-120
日付	H14.4	



断 面 図

寸 法 表

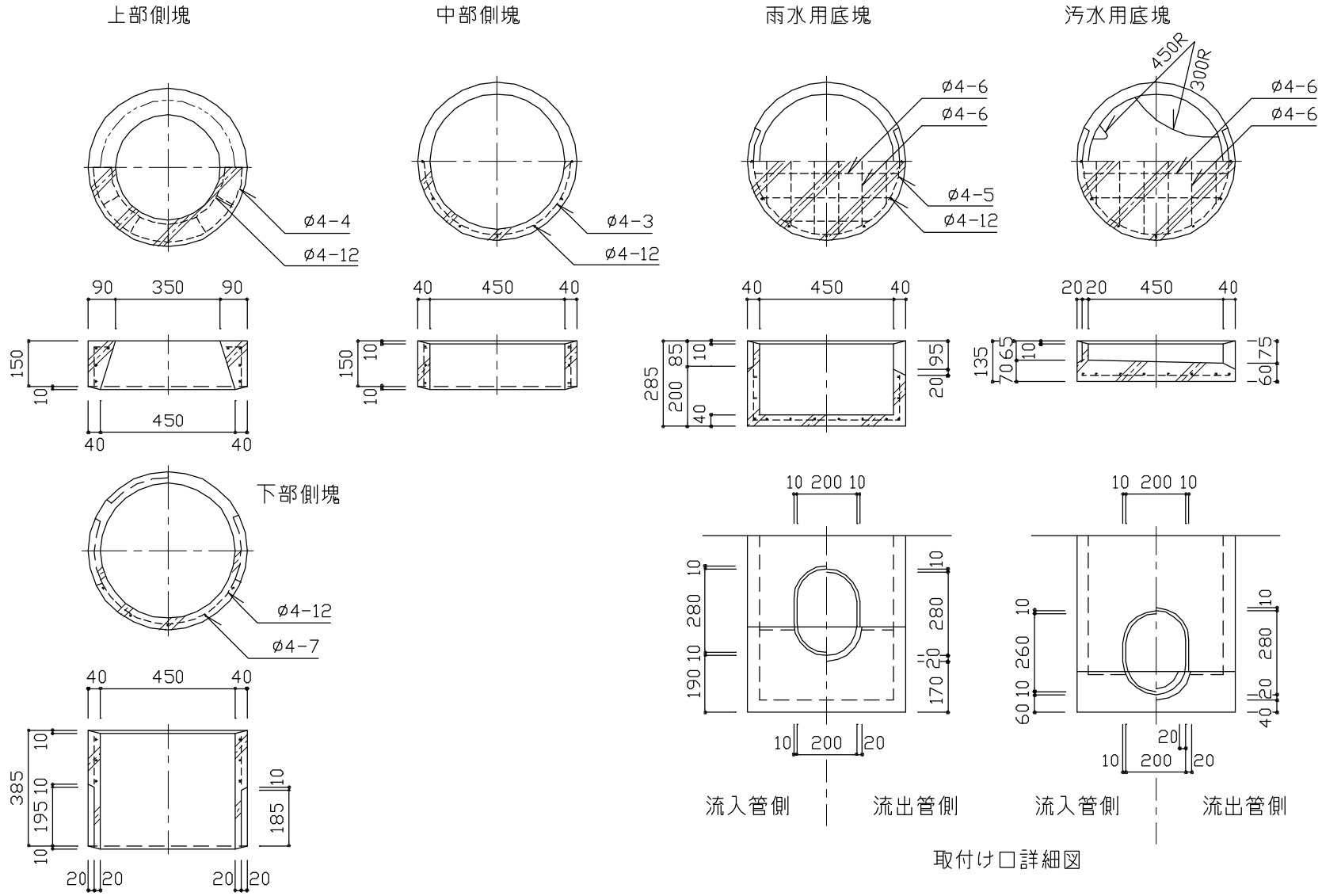
記 号	寸 法		組 合 せ					
	H (cm)	mh (cm)	上部側塊 (個)	中部側塊A (個)	中部側塊B (個)	下部側塊 (個)	底塊 (個)	蓋及び縁塊 (組)
30M- 90	90以下	97	1	−	−	1	1	1
30M-110	91~110	117	1	1	−	1	1	1
30M-130	111~130	137	1	−	1	1	1	1
30M-150	131~149	157	1	1	1	1	1	1

特記

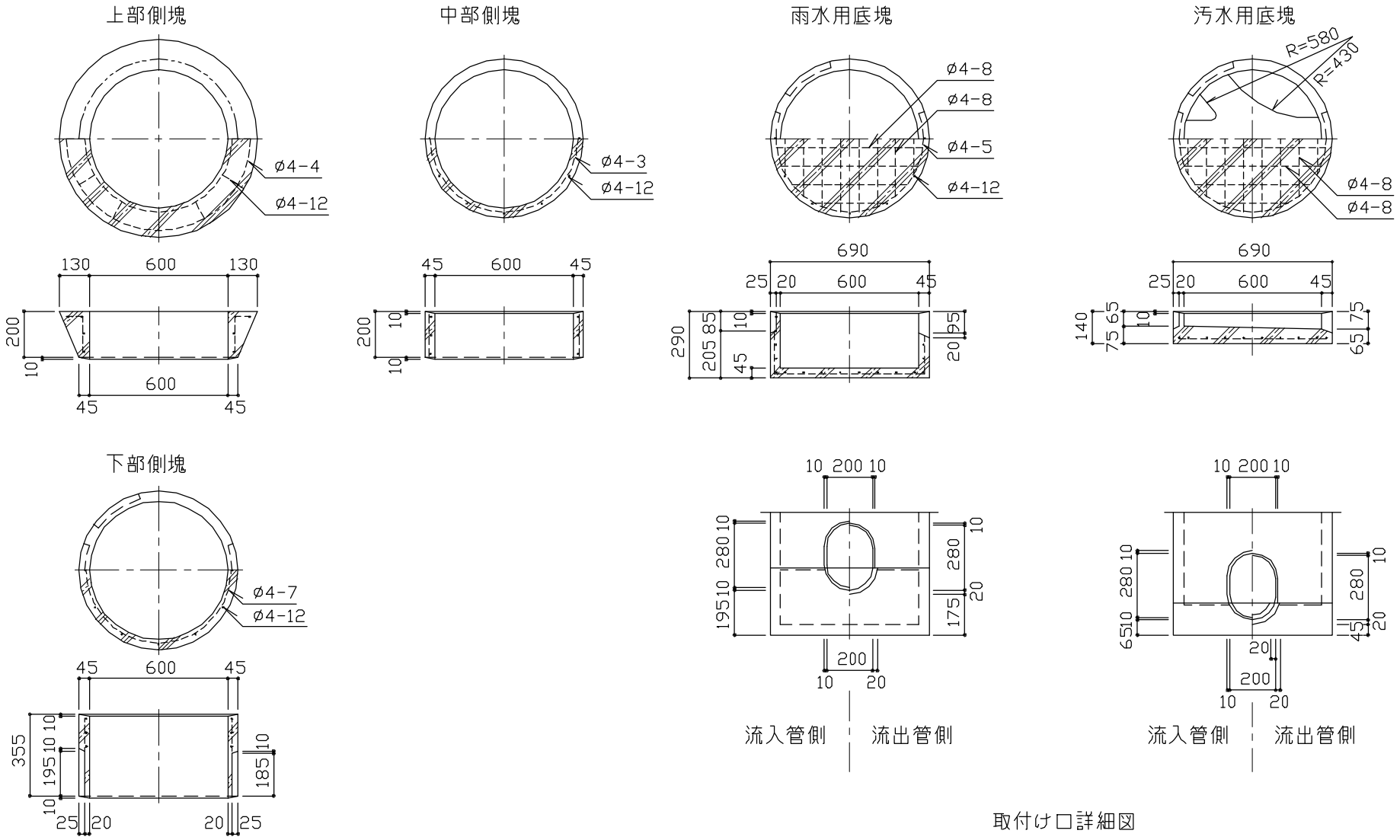
- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- インバートは、モルタル（1：2）練り で仕上げること。
- 縁塊と側壁の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。

汚水桝（3種）

縮尺	1/25	30M- 90 30M- 110 30M- 130 30M- 150
日付	H14.4	

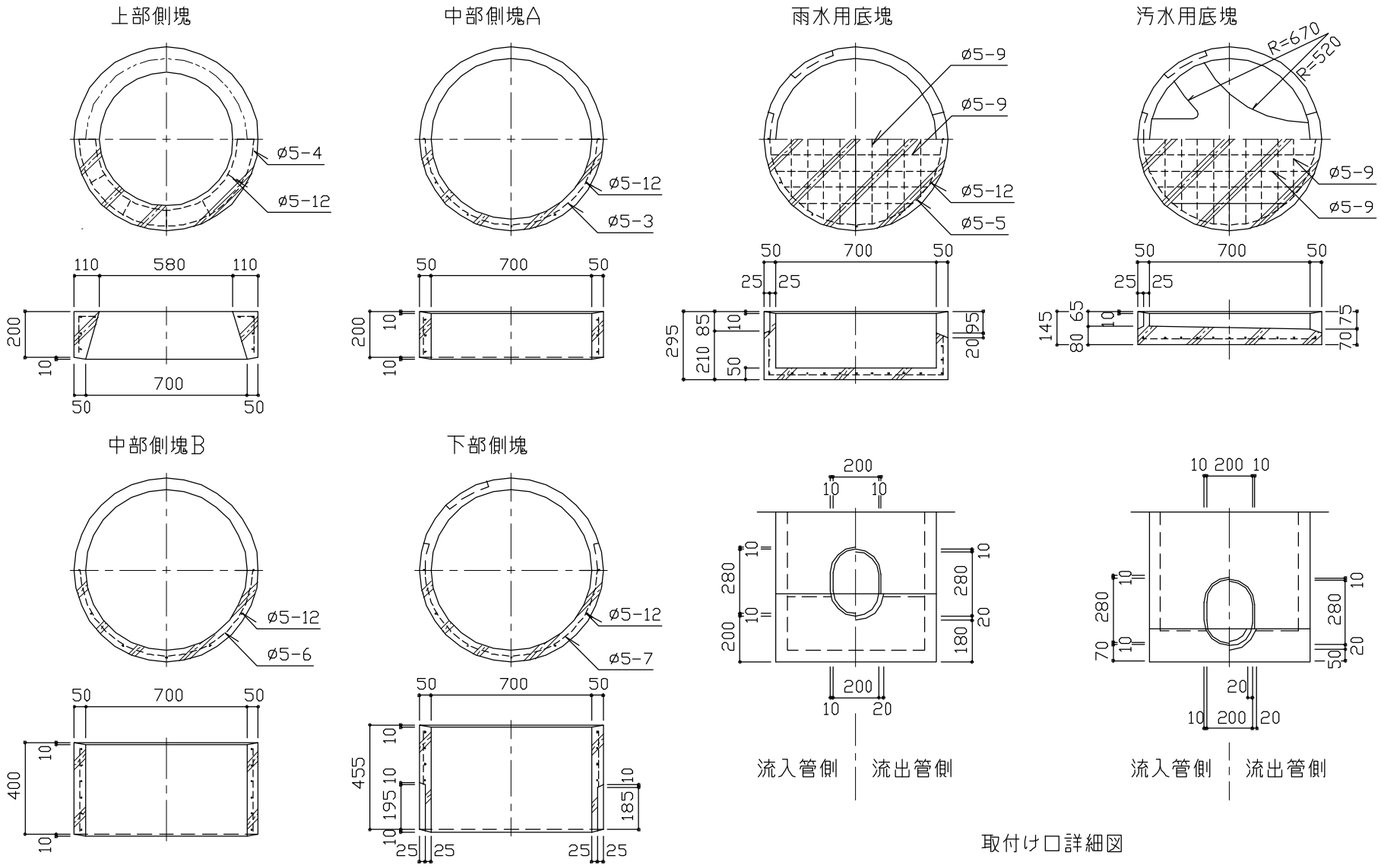


特記		雨水桝・汚水桝（1種）	
		縮尺 1/20	1RM-75・90 1OM-75・90
		日付 H14.4	



取付け口詳細図

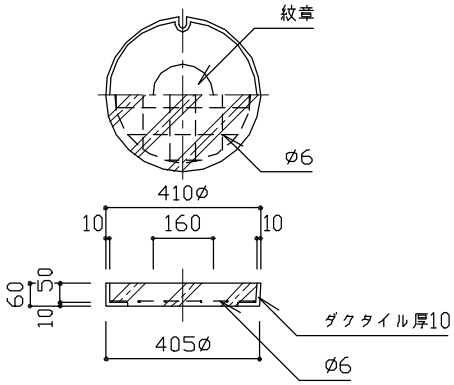
特記		雨水桝・汚水桝(2種)		
		縮尺	1/25	2RM-80～120 2OM-80～120
		日付	H14.4	



取付け口詳細図

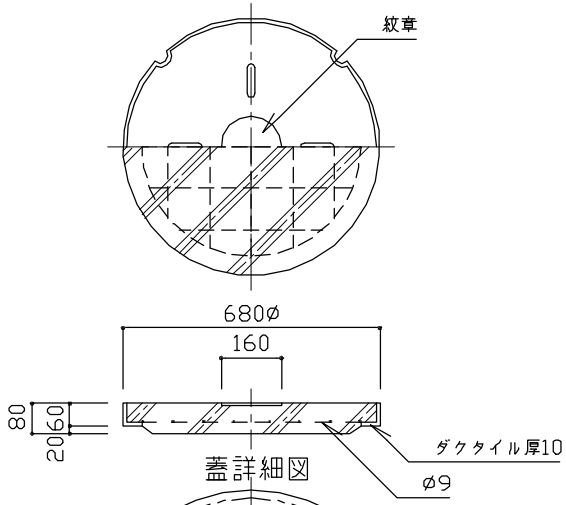
特記		雨水桝・汚水桝（3種）		
		縮尺	1／25	3RM-90～150 3OM-90～150
		日付	H14.4	

蓋及び縁塊（1種）

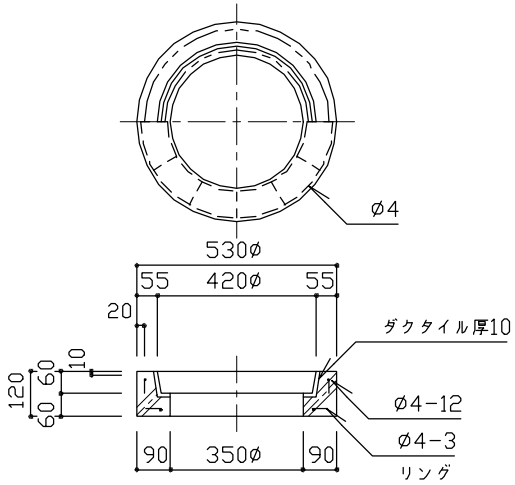


蓋詳細図

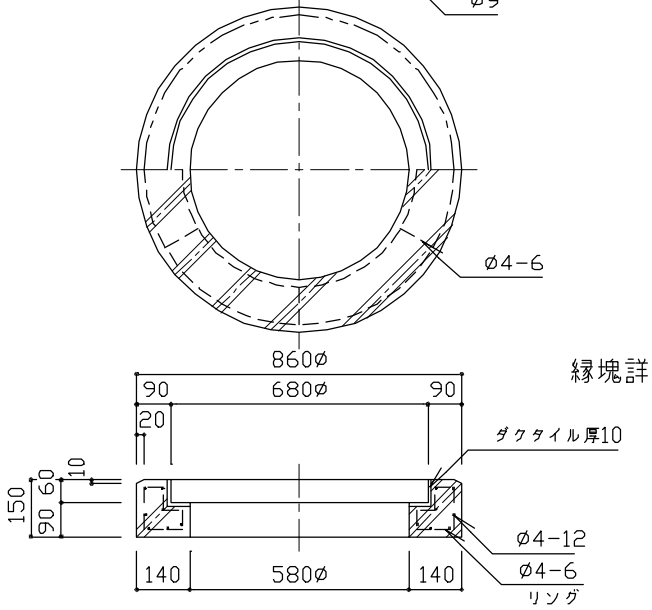
蓋及び縁塊（2・3種）



蓋詳細図



縁塊詳細図

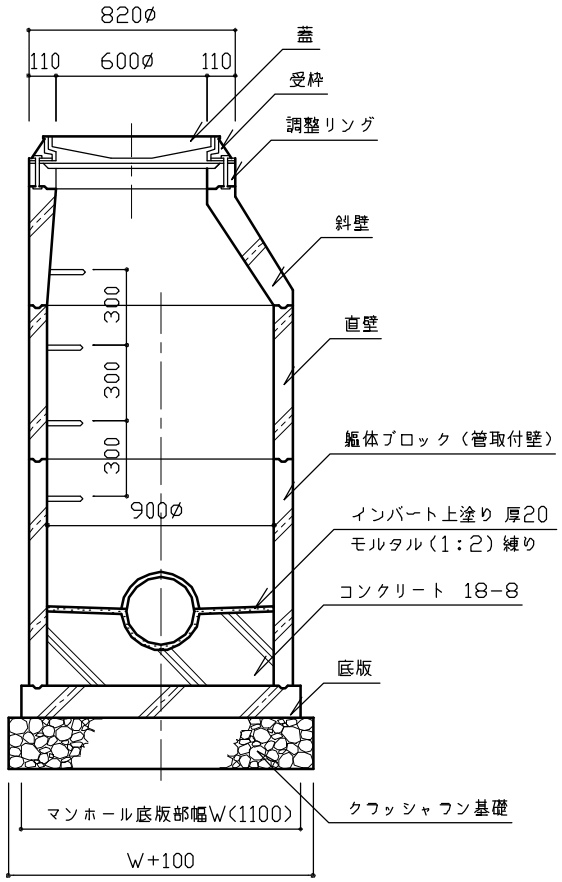


縁塊詳細図

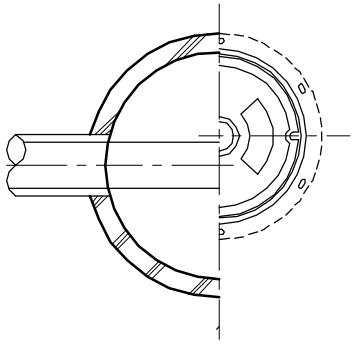
紋章種別表

合流式	分流式	
	雨水	汚水
○	あめ	おすい

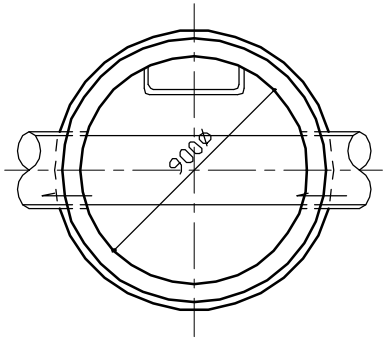
特記		雨水桝、汚水桝（1・2・3種）	
		縮尺 1／20	1RM・1OM75・90 2RM・1OM-80・120 3RM・1OM-90・150
		日付 H14.4	



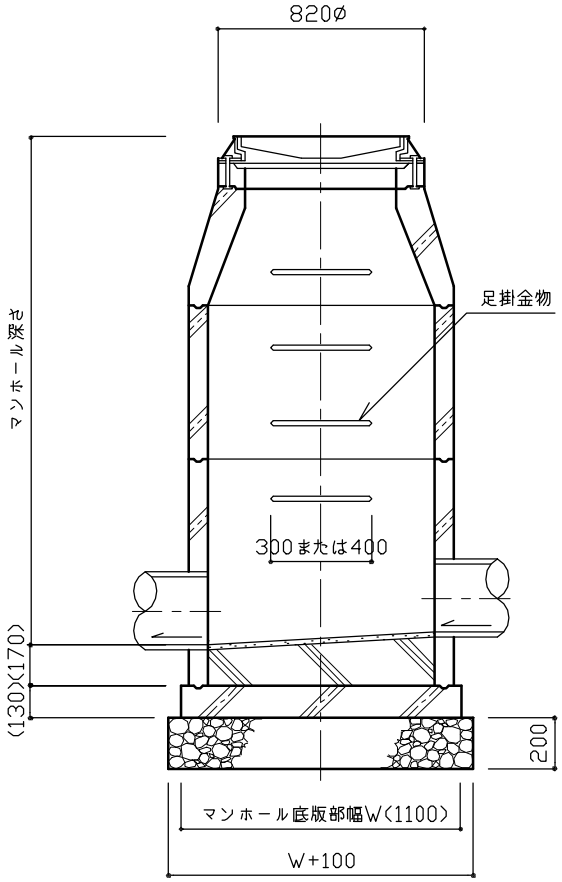
縦 断 面 図



平 面 図

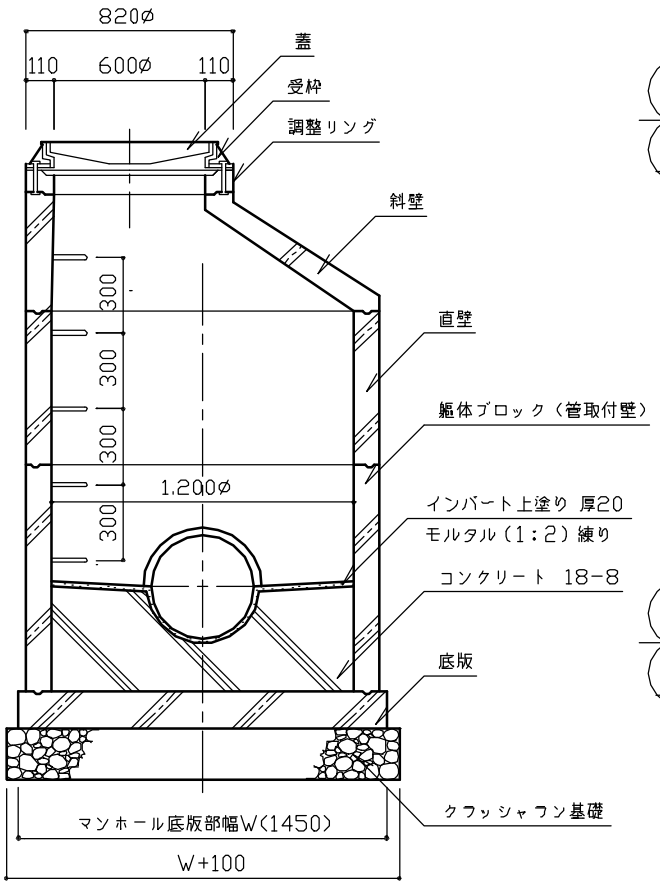


平 面 図

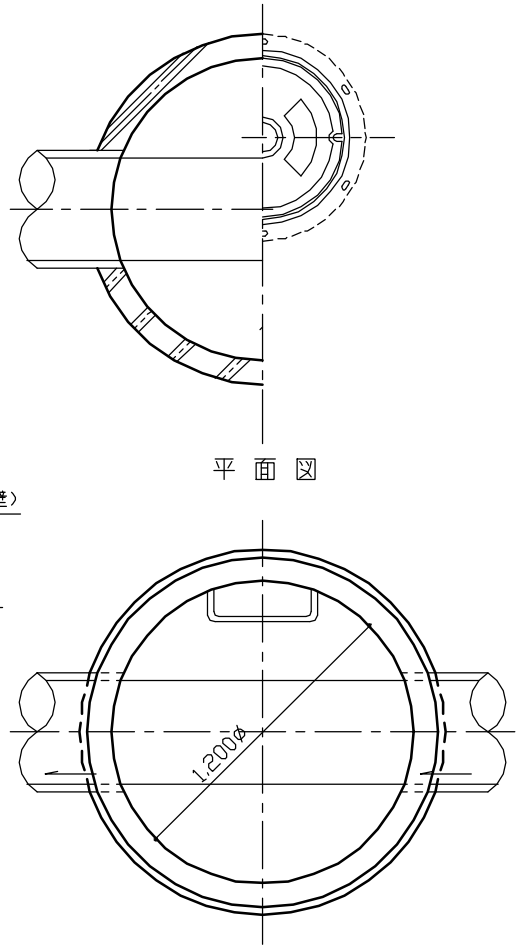


横 断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・組立てマンホールのブロック［斜壁、直壁、躯体ブロック（管取付壁）、底版］の形状については、日本下水道協会認定器材Ⅱ類による。なお管取付壁（底版付）を使用する場合のインバートは、現場打ち・工場製品のいずれでもよい。 ・現場打ちインバートは、コンクリート（高炉B）により築造し、モルタル（1：2）練りで仕上げること。	**組立てマンホール（1種）**		
		縮尺	1／30	1MH- K
		日付	H14.4	

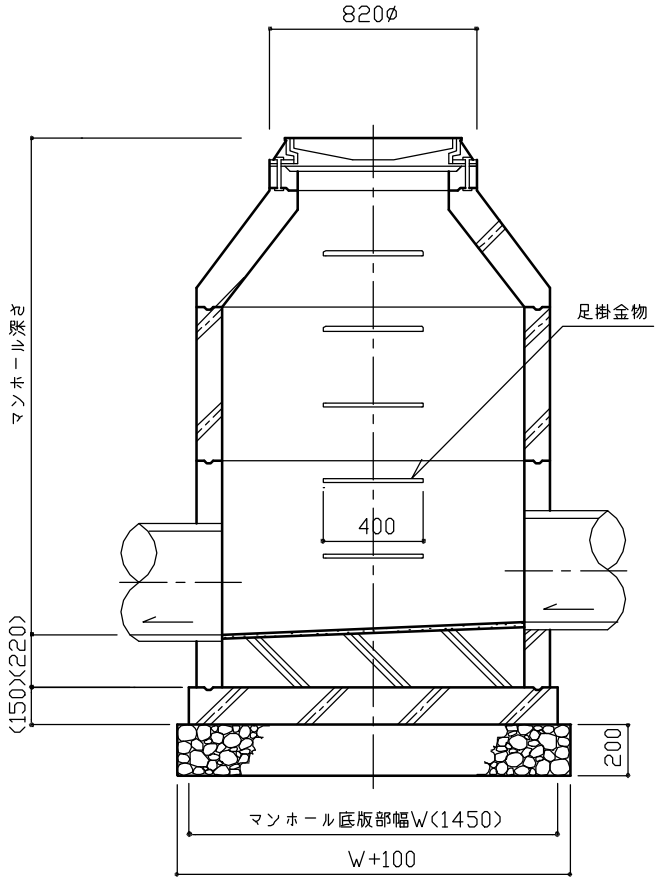


横 断 面 図



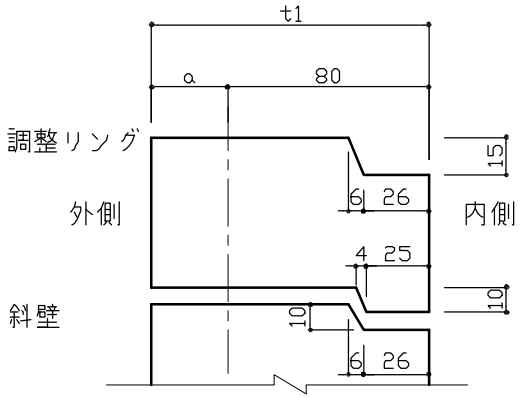
平 面 図

平 面 図

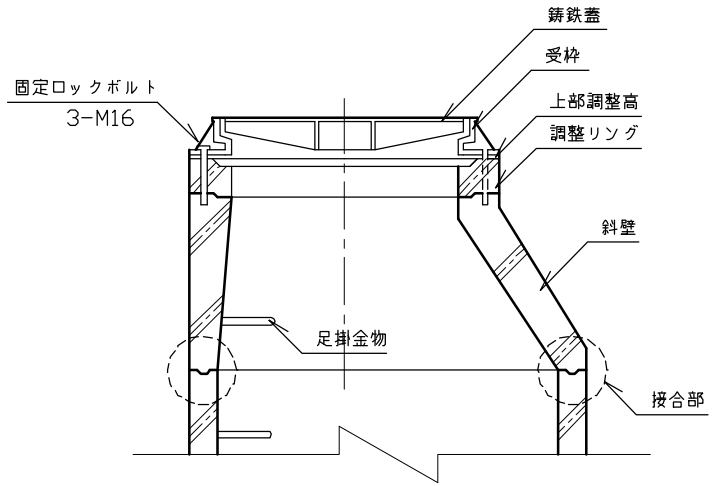


縦 断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・組立てマンホールのブロック［斜壁、直壁、躯体ブロック（管取付壁）、底版］の形状については、日本下水道協会認定器材Ⅱ類による。なお管取付壁（底版付）を使用する場合のインバートは、現場打ち・工場製品のいずれでもよい。 ・現場打ちインバートは、コンクリート（高炉B）により築造し、モルタル（1：2）練りで仕上げること。	**組立てマンホール（2種）**	
		縮尺 1／30	2MH- K
		日付 H14.4	

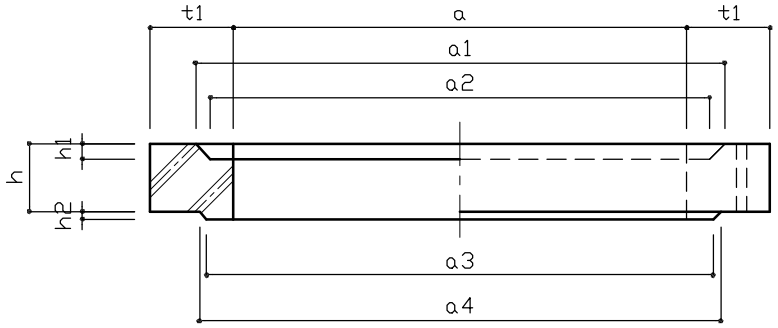


斜壁継手部詳細図 1/3



断 面 図 1/20

継手寸法の許容差



断 面 図 1/10

調整リング及びこれに接する側塊の寸法許容差　（単位：mm）

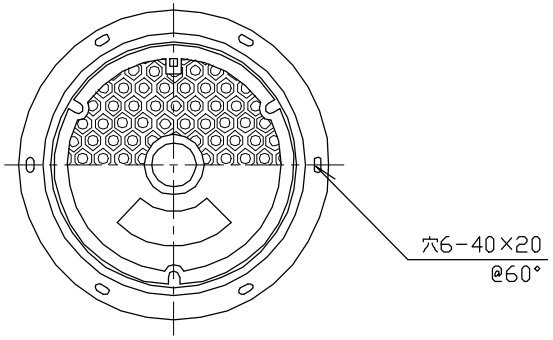
区　分	a	a1～a4	t1	h	h1,h2
調整リングの上部及び下部	±4	±3	+4 −2	±5	±2
調整リングに接合する側壁の上端部	±4	±3	+4 −2	−	±2

特記			
・接合部（斜壁継手部を除くブロックの接合面）の形状・寸法は、日本下水道協会認定器材Ⅱ類による。 ・上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャーなどにより調整を行なう。	**組立てマンホール**(1・2**種**)		
	縮尺	図　示	1MH- K 2MH- K
	日付	H14.4	

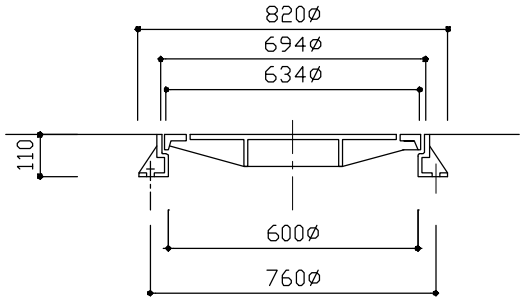
組立式マンホール部材一覧（参考）

	1種マンホール	2種マンホール
名称・仕様	規格	規格
鋳鉄蓋及び受枠	内径×高さ	内径×高さ
落蓋式（鎖付）、耐荷重T6以上 JIS 6穴	600×110	600×110
調整金具	調整高	調整高
M16ボルトナット 3本1組	25mmまで 45mmまで	25mmまで 45mmまで
調整リング	内径×高さ	内径×高さ
	600× 50 ×100 ×150 ×200	600× 50 ×100 ×150 ×200
斜壁	内径(上)×内径(下)×高さ	内径(上)×内径(下)×高さ
	600×900×300 ×900×450 ×900×600	600×1200×300 ×1200×450 ×1200×600
直壁	内径×高さ	内径×高さ
	900× 300 × 600 × 900 ×1200 ×1500 ×1800	1200× 600 × 900 ×1200 ×1500 ×1800 ×2100
躯体ブロック（管取付壁）	内径×高さ(有効高)	内径×高さ(有効高)
	900× 600(430) × 900(730) ×1200(1030) ×1500(1330) ×1800(1630)	1200× 900(680) ×1200(980) ×1500(1280) ×1800(1580) ×2100(1880) ×2400(2180)
底版	有効高	有効高
	130	150

鋳鉄蓋及び受枠



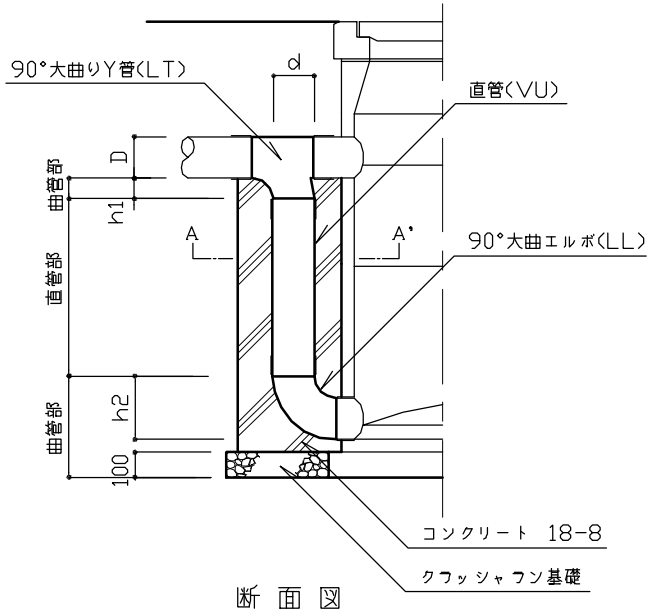
平 面 図



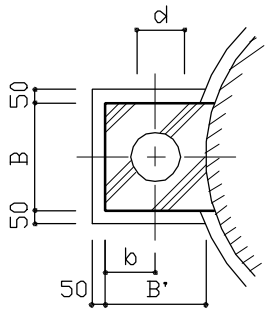
断 面 図

特記		組立てマンホール（1・2種）	
	縮尺	1/20	1MH-K 2MH-K
	日付	H14.4	

汚水桝ドロップ管(塩ビ管)FPO−A100〜200

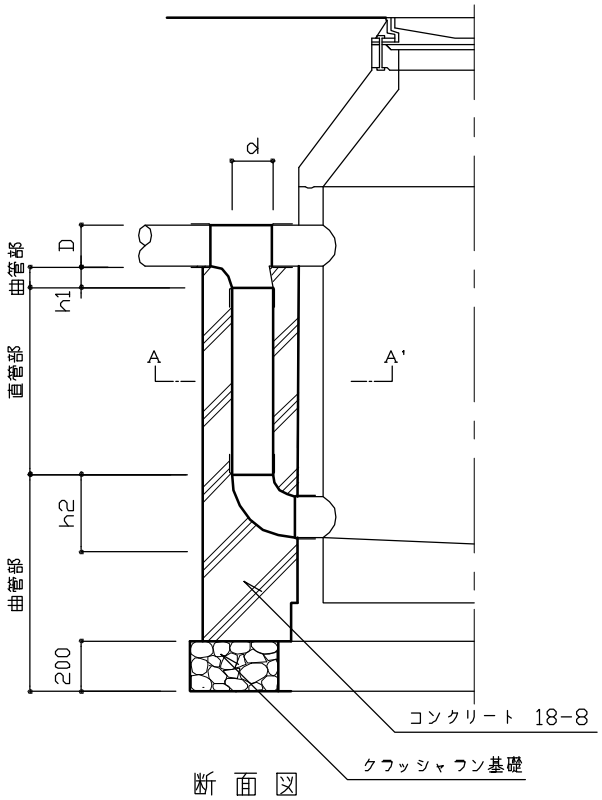


断 面 図



A − A' 断面図

人孔ドロップ管(塩ビ管)FPM−A100〜200



断 面 図

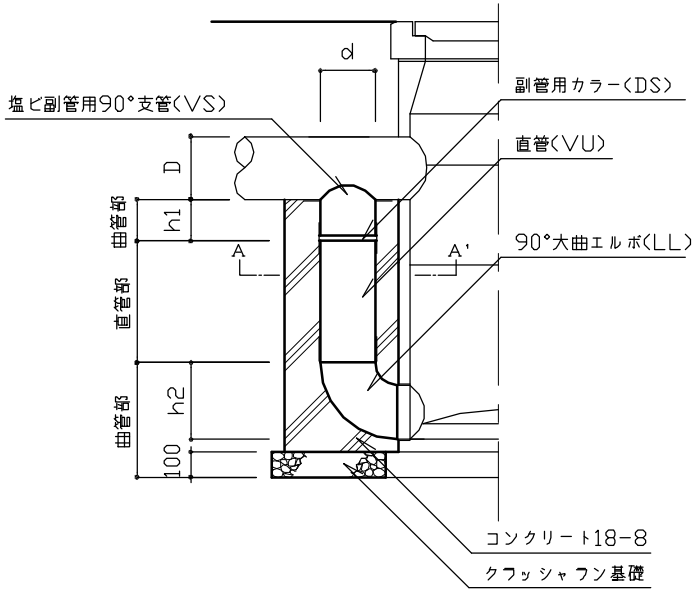
寸 法 表　　（単位：mm）

流入管径 D	ドロップ管径 d	B	B'	b	h1	h2
100	100	350	350	150	75	232
150	150	400	400	200	93	297
200	200	450	450	250	95	347

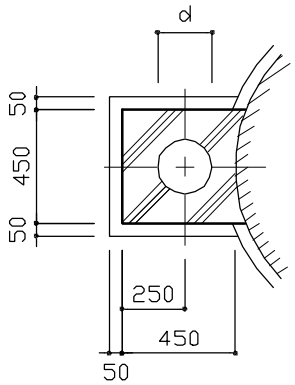
＊直管部＝ドロップ管（汚水桝・マンホールの流入管底高−流出管底高）−曲管部（h1+h2）
＊h2は流出管底からの高さとする。

特記
- クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。
- コンクリートは、高炉Bとする。
- 塩ビ管の直管及び継手類は、JIS製品及びこれに準ずる製品とする。
- 90°曲管（LL）は、日本下水道協会規格JSWASK−1に準ずる製品とする。
- 90°Y管（LT）は、塩化ビニル管・継手協会規格AS38（呼び径200はAS12）に準ずる製品とする。
- ドロップ管の管底高は、流出管底から5cm以上の段差を確保すること。

汚水桝・マンホールドロップ管		
縮尺	1/30	FPO- A100〜200 FPM- A100〜200
日付	H14.4	



断 面 図



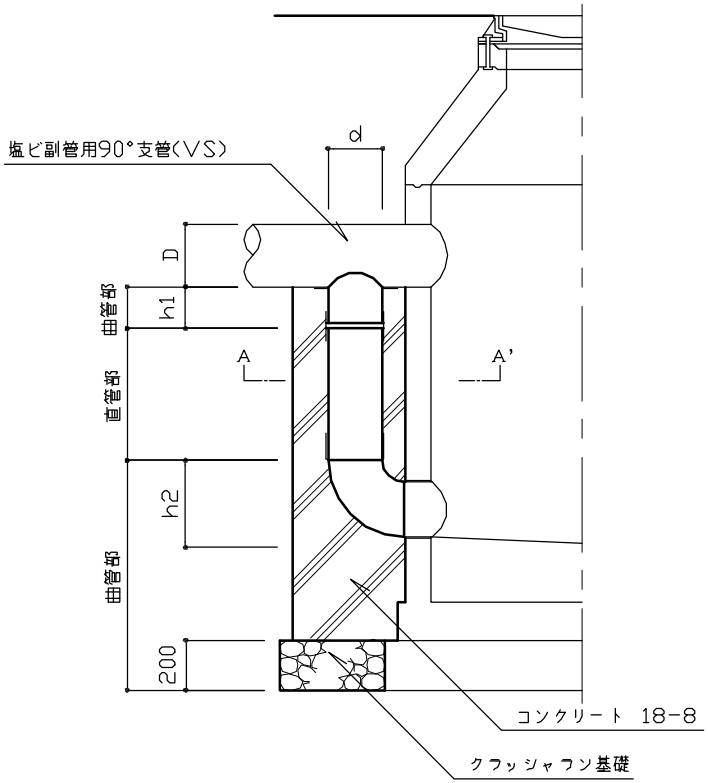
A－A' 断面図

寸 法 表　　（単位：mm）

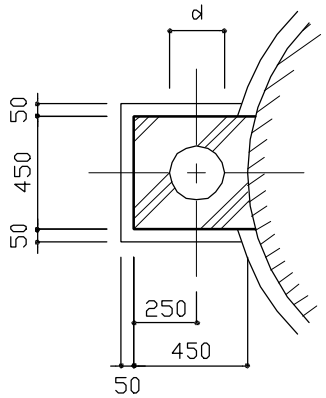
記 号	流入管径 D	副管径 d	h1	h2
FPO-B200	250~350	200	165	347

※直管部＝副管（汚水桝の流入管底高－流出管底高）－曲管部（h1+h2）
※h2は流出管底からの高さとする。

特記		汚水桝副管	
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・塩ビ管の直管及び継手類は、JIS製品及びこれに準ずる製品とする。 ・90°曲管（LL）、副管用カラー（DS）、90°支管（VS）は、日本下水道協会規格JSWASK-1に準ずる製品とする。 ・副管の管底高は、流出管底から5cm以上の段差を確保すること。	縮尺 1/30	FPO- B200
		日付 H14.4	



断 面 図



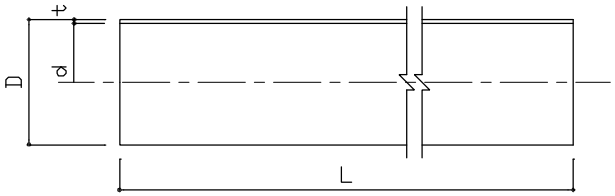
A－A' 断面図

寸 法 表　　（単位：mm）

記 号	流入管径 D	副管径 d	h1	h2
FPM-B200	250~350	200	165	347

＊直管部＝副管（マンホールの流入管底高－流出管底高）－曲管部（h1+h2）
＊h2は流出管底からの高さとする。

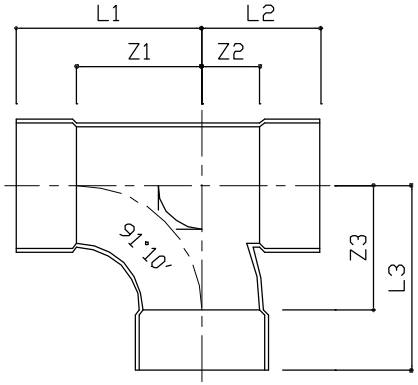
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・塩ビ管の直管及び継手類は、JIS製品及びこれに準ずる製品とする。 ・90°曲管（LL）、副管用カラー（DS）、90°支管（VS）は、日本下水道協会規格JSWASK-1に準ずる製品とする。 ・副管の管底高は、流出管底から5cm以上の段差を確保すること。	マンホール副管		
		縮尺	1／30	FPM- B200
		日付	H14.4	



直管(VU)詳細図

[直管] 寸 法 表　　(単位：mm)

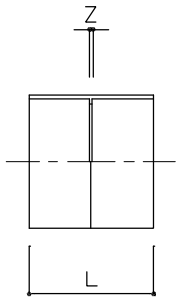
呼び	外 径 D	厚 さ t	長 さ L	近似内径 d	参考重量 kg/m
100	114±0.4	3.1+0.8	4000±10	107	1.737
150	165±0.5	5.1+0.8	4000±10	154	3.941
200	216±0.7	6.5+1.0	4000±10	202	6.572



90°大曲りY管(LT)詳細図

[90° 大曲りY管] 寸 法 表　　(単位：mm)

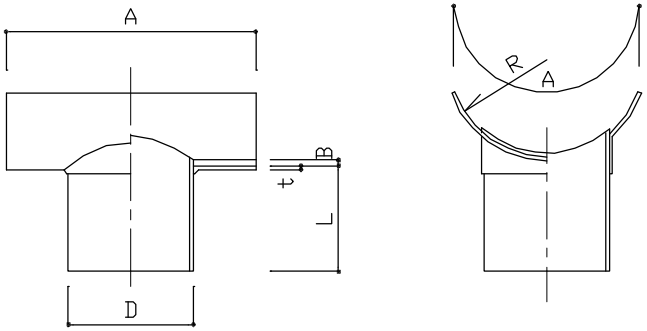
呼び 記号	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3
100×100	128	45	128	178	95	178
150×150	170	65	170	250	145	250
200×200	196	88	196	301	193	301



副管用カラー(DS)詳細図

[副管用カラー] 寸法表(単位：mm)

呼び	Z	L
200	5	235



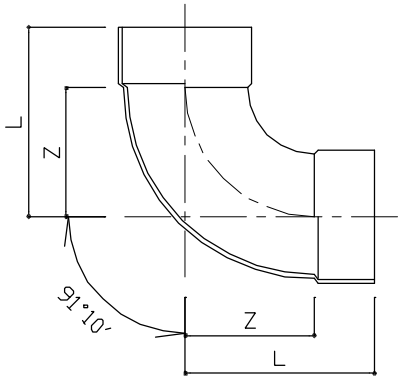
副管用90°支管=本管VU用(VS)

[塩ビ副管用90° 支管] 寸 法 表(VS) 参考　　(単位：mm)

呼 び	外 径 D	直管部長さ L	クラ部厚さ t(最小)	クラ部長さ A(最小)	差込長さ B(最大)	クラ部半径 R(参考)
250×200	216±0.7	160±10	4.0	300±15	7.8	133.5
300×200	216±0.7	160±10	4.0	300±15	9.2	159.0
350×200	216±0.7	160±10	4.0	300±15	10.5	185.0

特記	
	・塩ビ管の直管及び継手類は、JIS製品及びこれに準ずる製品とする。 ・90° 曲管(LL)、副管用カラー(DS)、90° 支管(VS)は、日本下水道協会規格JSWASK-1に準ずる製品とする。 ・90° Y管(LT)は、塩化ビニル管・継手協会規格AS38(呼び径200はAS12)に準ずる製品とする。

汚水桝・マンホールドロップ管・副管		
縮尺	―	FPO- A100～200 FPM- A100～200 FPO- B200 FPM- B200
日付	H14.4	

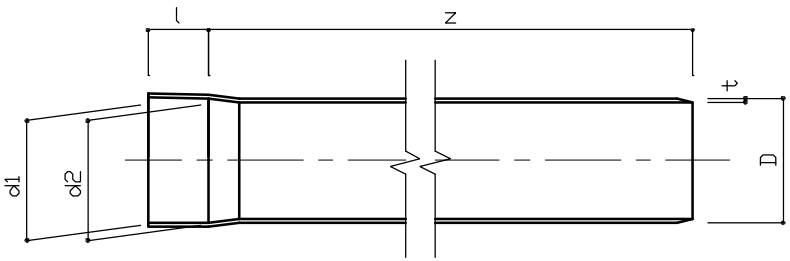


90°大曲エルボ(LL)詳細図

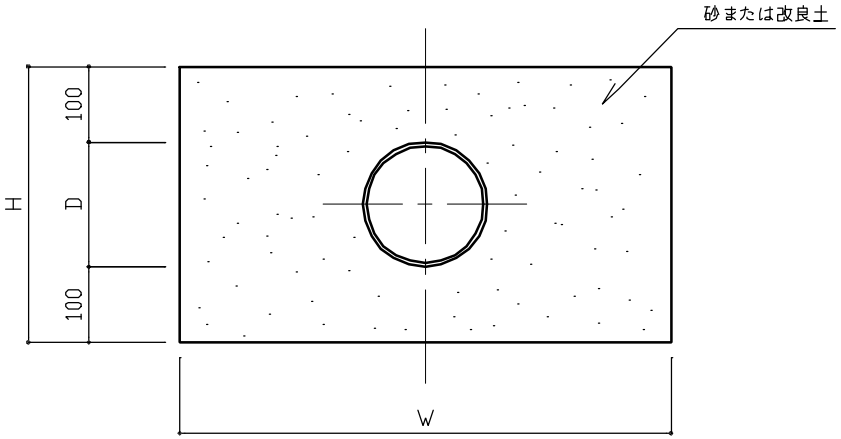
[90° 曲管] 寸法表 (単位：mm)

呼び	Z	L
100	128	178
150	170	250
200	196	301

特記			
◦塩ビ管の直管及び継手類は、JIS製品及びこれに準ずる製品とする。 ◦90° 曲管(LL)、副管用カラー(DS)、90° 支管(VS)は、日本下水道協会規格JSWASK-1に準ずる製品とする。 ◦90° Y管(LT)は、塩化ビニル管・継手協会規格AS38(呼び径200はAS12)に準ずる製品とする。	汚水桝・マンホールドロップ管・副管		
	縮尺	—	FPO- A100～200 FPM- A100～200 FPO- B200 FPM- B200
	日付	H14.4	



断 面 図



埋設標準断面図

寸 法 表

記 号	寸 法							(単位：mm)
	外径	厚さ	受口内径		受口長さ	有効長さ	基礎高	—
	D	t	d1	d2	l	Z	H	W
VU-100	114±0.4	3.1+0.8	114.8	113.2	50	4,000±10	314	600
VU-150	165±0.5	5.1+0.8	166.1	163.9	80	4,000±10	365	650
VU-200	216±0.7	6.5+1.0	217.4	214.6	115	4,000±10	416	700
VU-250	267±0.9	7.8+1.2	268.6	265.4	140	4,000±10	467	750
VU-300	318±1.0	9.2+1.4	319.8	316.2	165	4,000±10	518	750
VU-350	370±1.2	10.5+1.4	372.0	368.7	200	4,000±10	570	800

特記

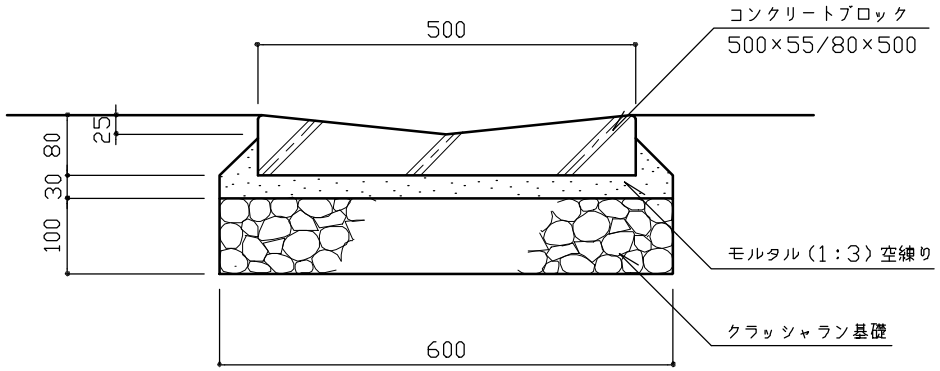
- 硬質塩化ビニル管は、JIS製品とする。
- 砂（埋め戻し用）は、0.074mmフルイ通過量が10％以下のものを使用する。

硬質塩化ビニル管

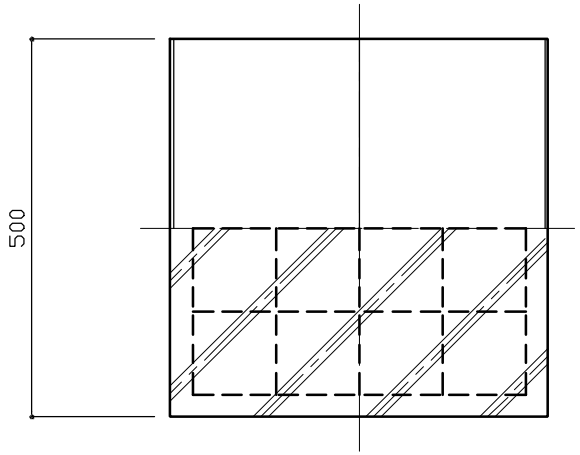
縮尺	1／10	VU- 100～350
日付	H14.4	

S4 排水設備:参考図

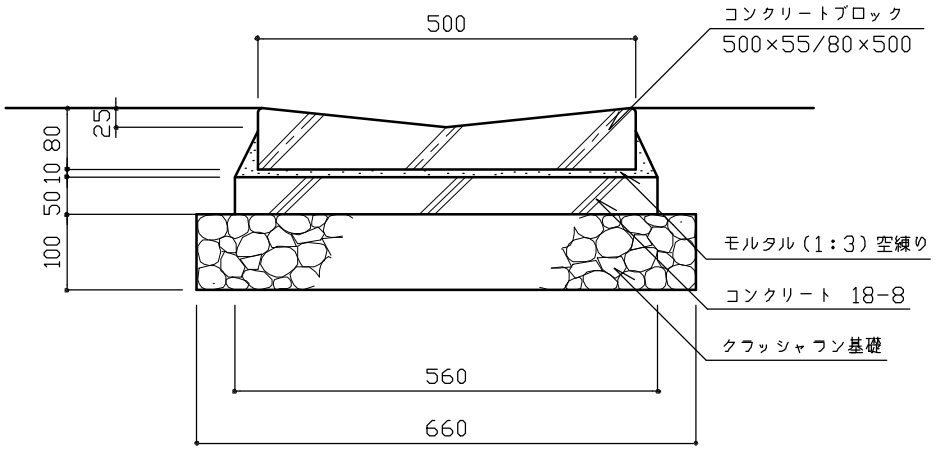
VS-50A



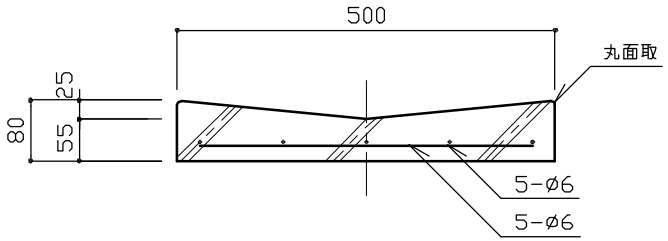
断 面 図



VS-50B



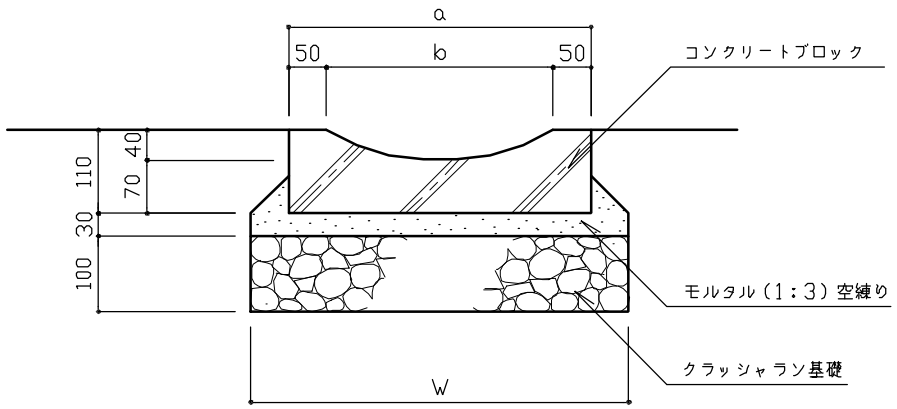
断 面 図



詳 細 図

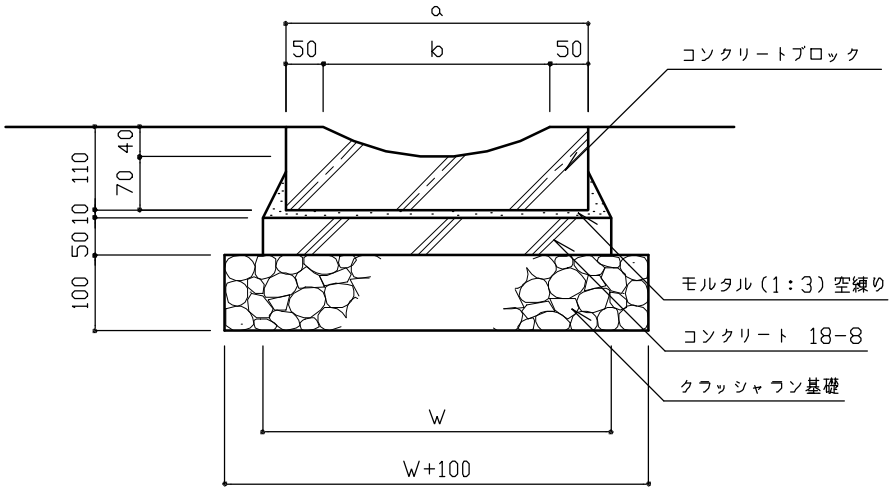
特記			
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・目地モルタルは、（１：２）練り とし、目地幅は１０mmを標準とする。 ・コンクリートブロックは、JIS表示許可工場で製造されたJIS製品に準ずる製品とする。	V型側溝 [参考図]	
		縮尺 1／10	VS-50A VS-50B
		日付 H14.4	

SS-40A・45A

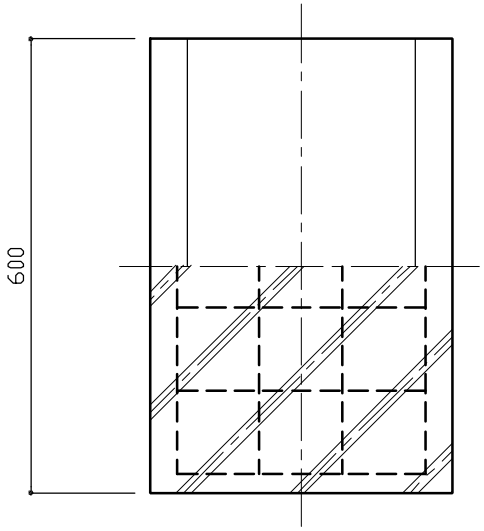


断 面 図

SS-40B・45B

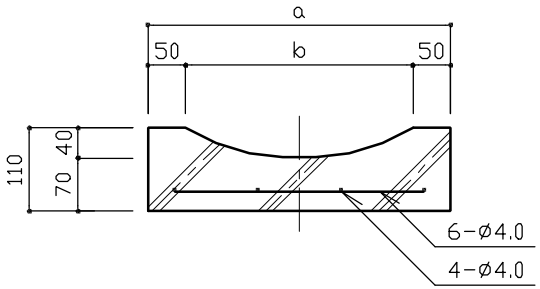


断 面 図



寸法表 （単位：mm）

タイプ	a	b	W
SS-40A	400	300	500
SS-40B	400	300	460
SS-45A	450	350	550
SS-45B	450	350	510



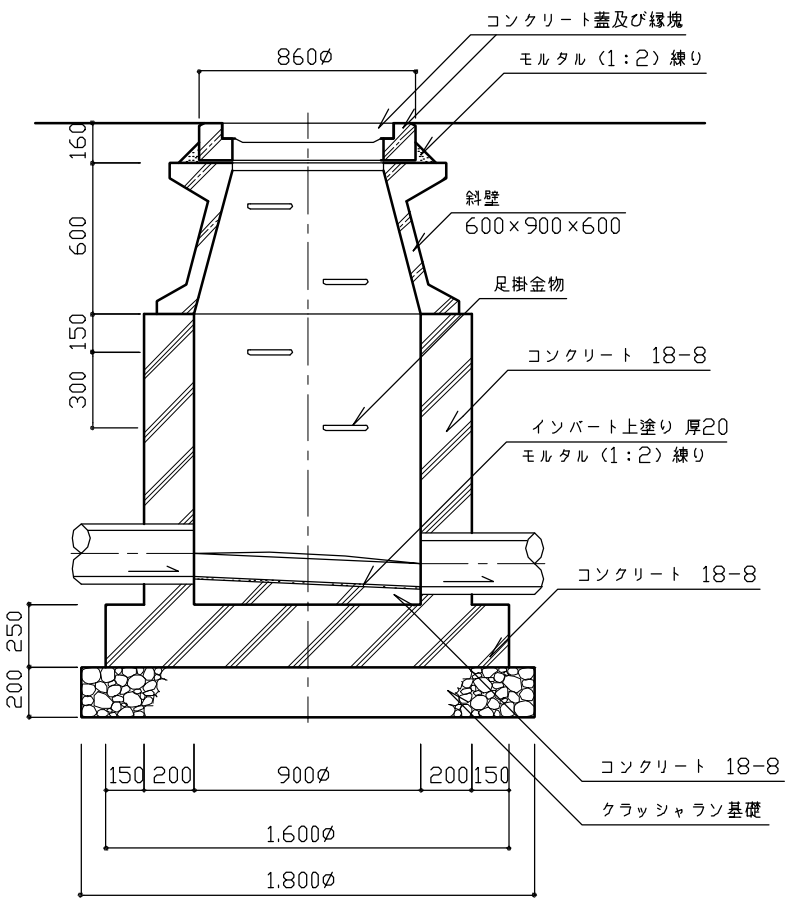
詳 細 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・目地モルタルは、（1：2）練り とし、目地幅は10mmを標準とする。 ・コンクリートブロックは、JIS表示許可工場で製造されたJIS製品に準ずる製品とする。

皿型側溝 [参考図]

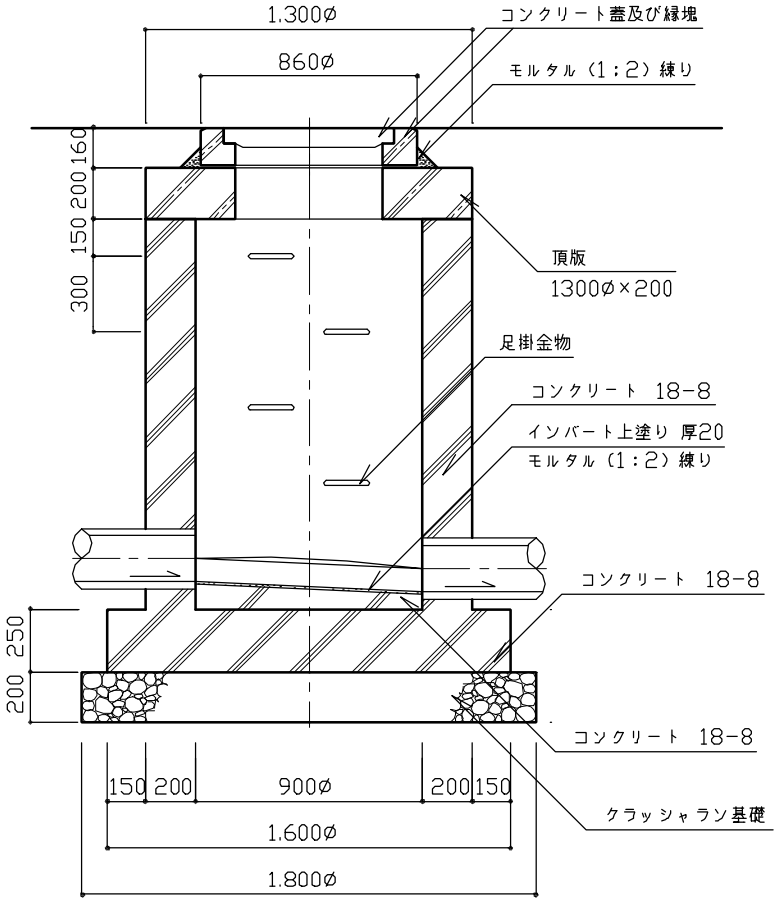
縮尺	1／10	SS-40A SS-45A SS-40B SS-45B
日付	H14.4	

斜壁使い　1MH-GA



断　面　図

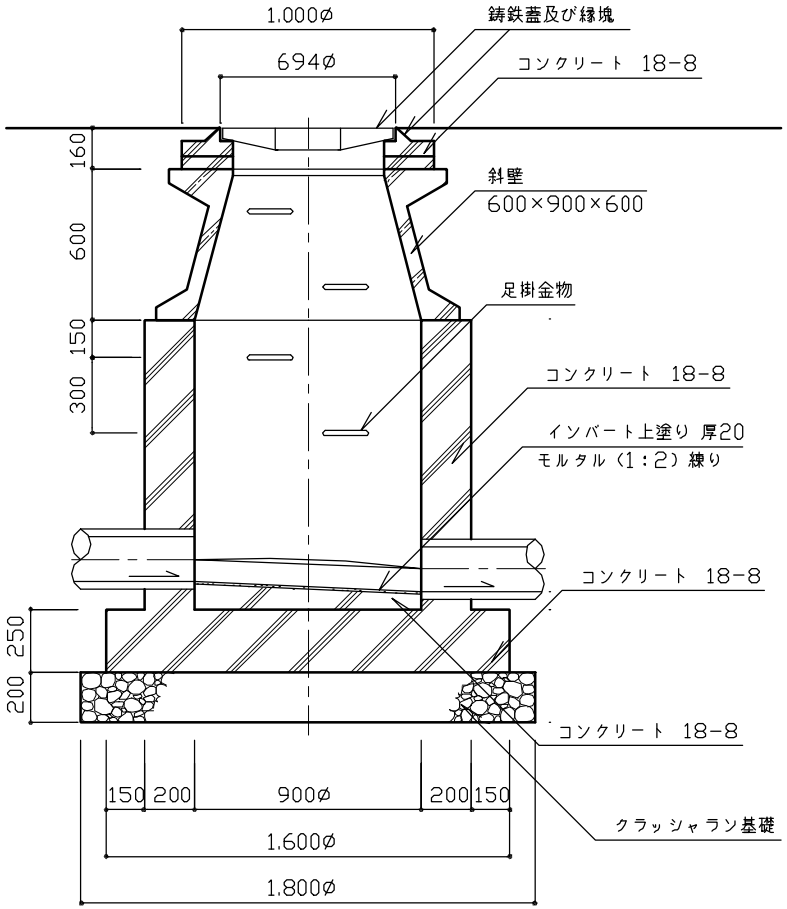
頂版使い　1MH-GB



断　面　図

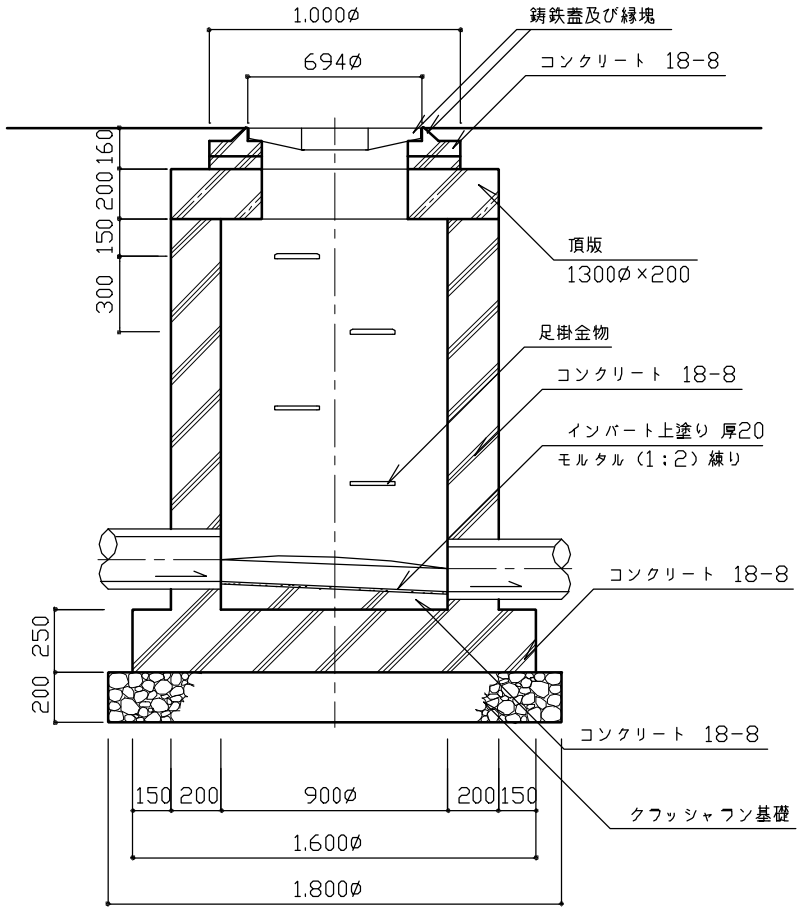
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・斜壁は、JIS製品とする。 ・縁塊と斜壁・頂版の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。	**マンホール(1種) [参考図]**	
		縮尺 1／30	1MH-GA 1MH-GB
		日付 H14.4	

斜壁使い　1MH-GC



断 面 図

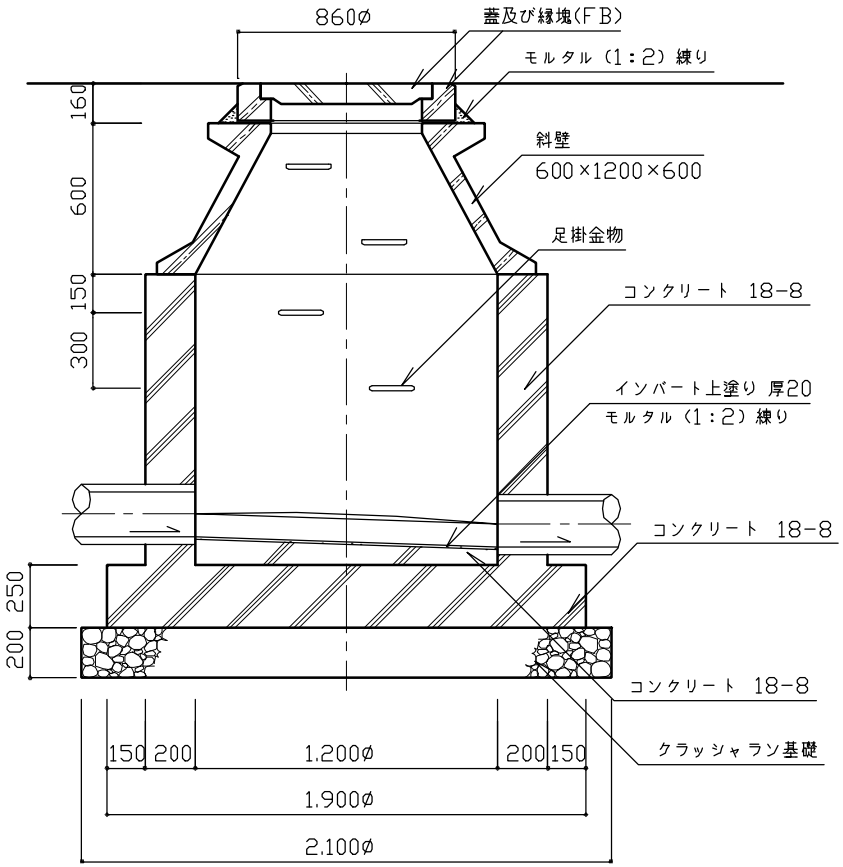
頂版使い 1MH-GD



断 面 図

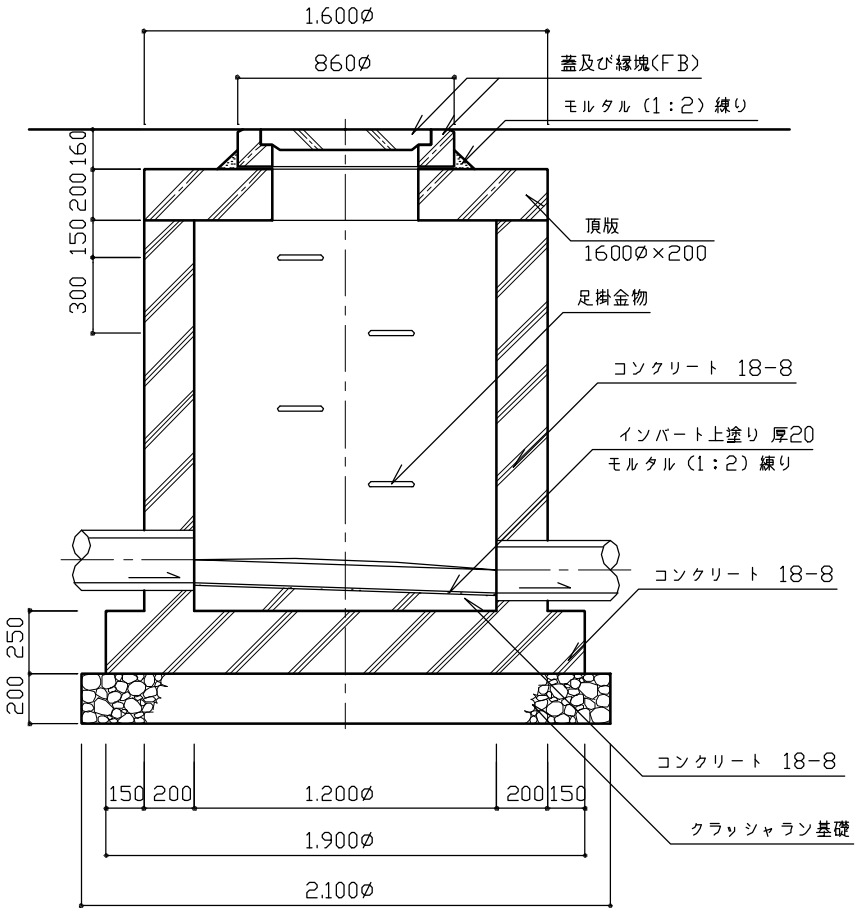
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・斜壁は、JIS製品とする。 ・縁塊と斜壁・頂版の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。	マンホール（1種）［参考図］		
		縮尺	1／30	1MH- GC 1MH- GD
		日付	H14.4	

斜壁使い　2MH-GA



断 面 図

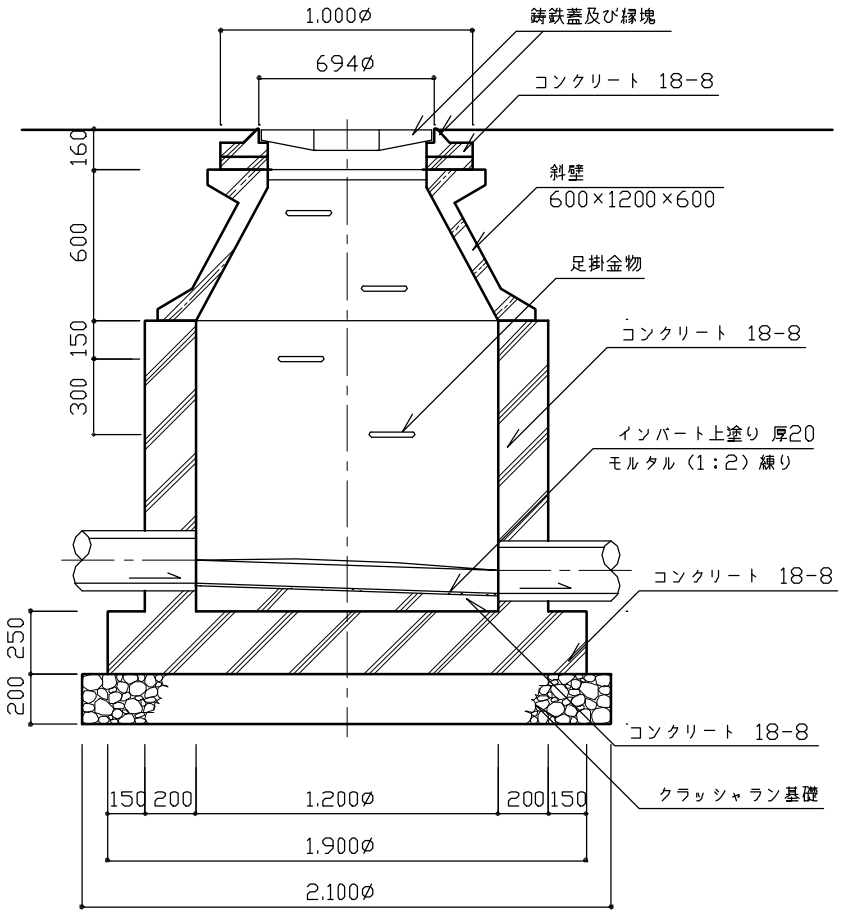
頂版使い　2MH-GB



断 面 図

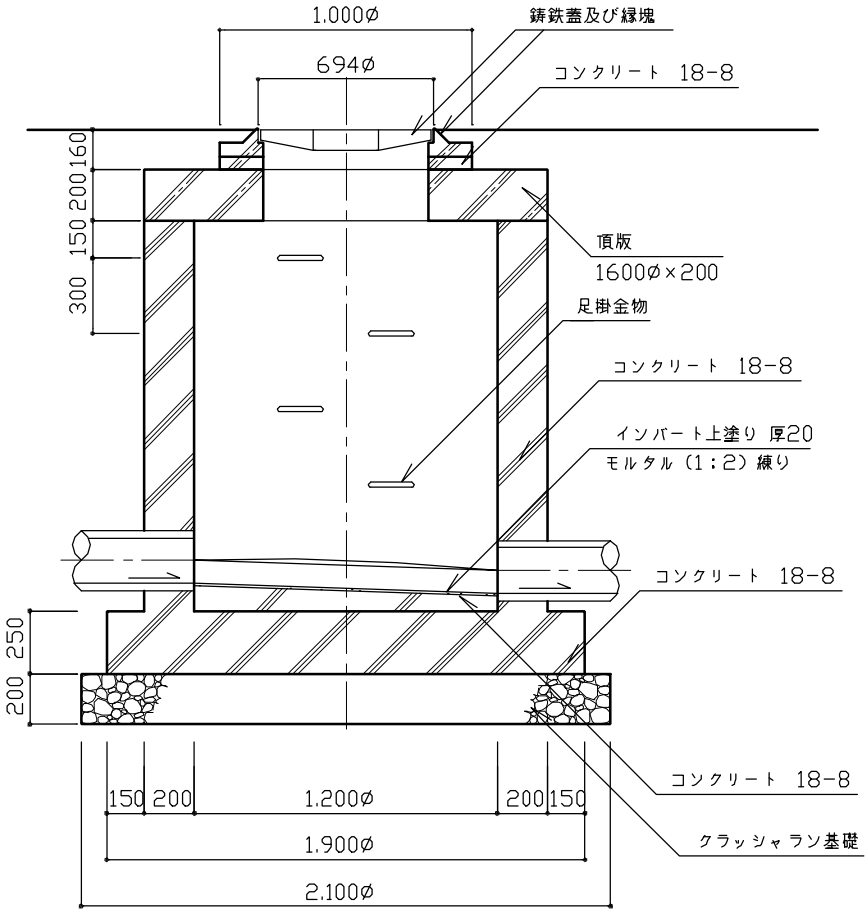
特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ◦コンクリートは、高炉Bとする。 ◦斜壁は、JIS製品とする。 ◦縁塊と斜壁・頂版の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。	**マンホール(2種)　[参考図]**	
		縮尺	1／30	2MH- GA 2MH- GB
		日付	H14.4	

斜壁使い　2MH-GC



断 面 図

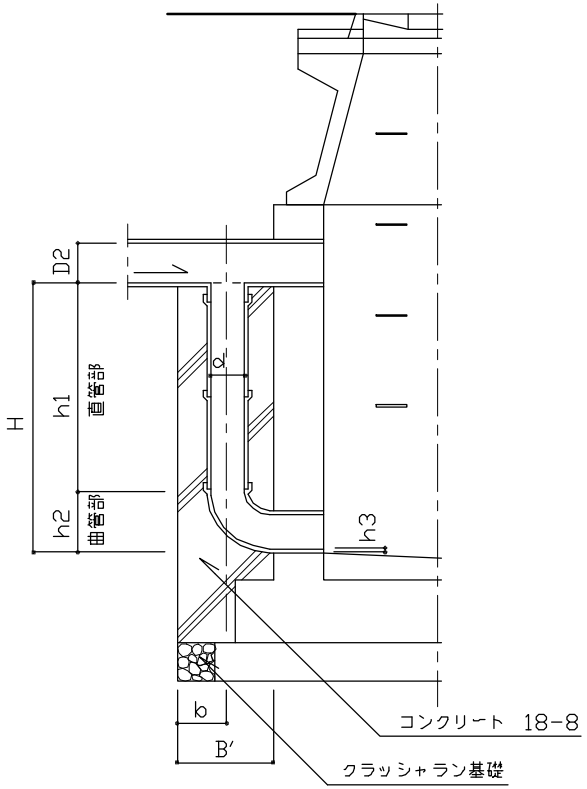
頂版使い　2MH-GD



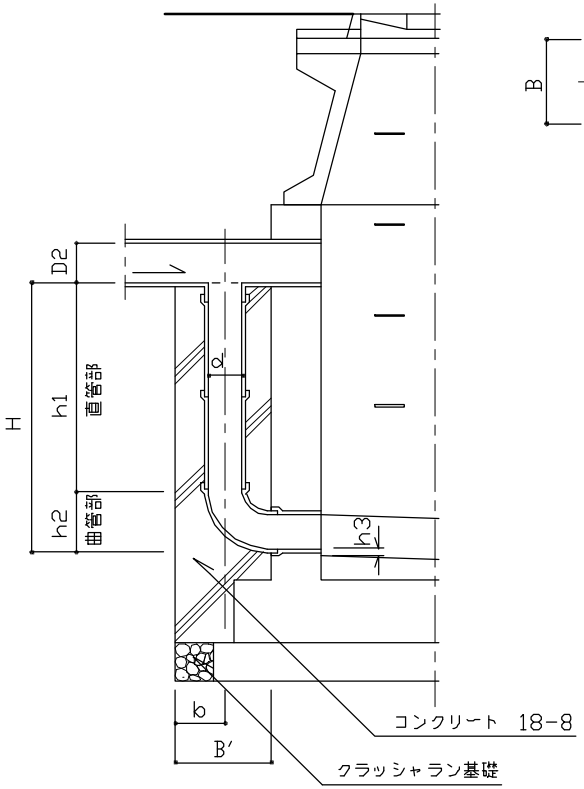
断 面 図

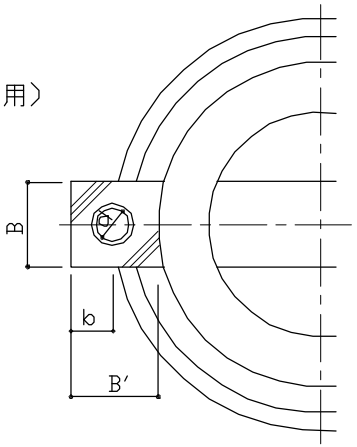
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・斜壁は、JIS製品とする。 ・縁塊と斜壁・頂版の接合部は、モルタルまたはコンクリートにより補強する。	マンホール(2種) [参考図]		
		縮尺	1／30	2MH- GC 2MH- GD
		日付	H14.4	

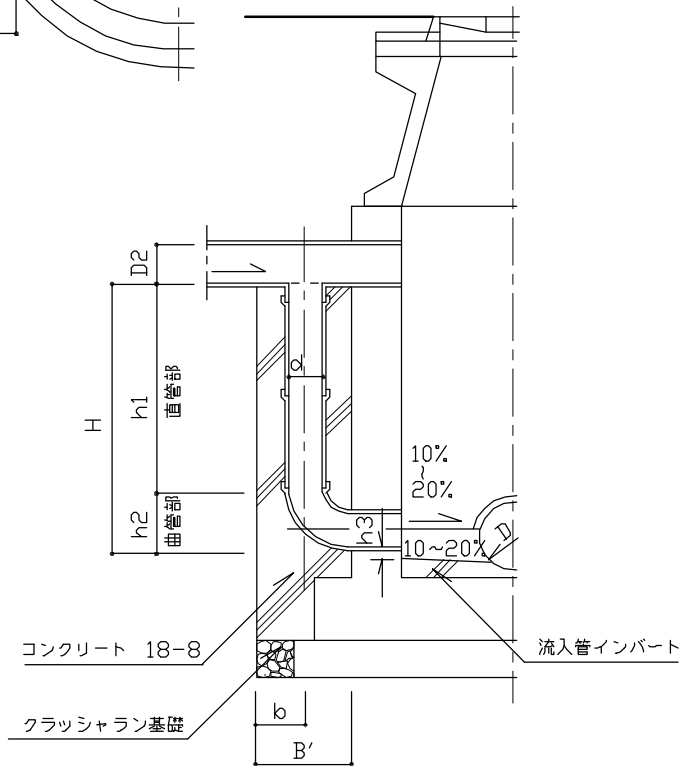
（副管径φ150mm,200mm,長曲管使用）



（副管径φ250mm,300mm,短曲管使用）







寸 法 表　（単位:mm）

副管径d	B	B′	b	h2
150	400	400	200	400
200	450	450	250	425
250	500	500	275	500
300	550	550	300	555

＊曲管部高h2は流出管底からの高さを示す。

副管断面選定基準　（単位:mm）

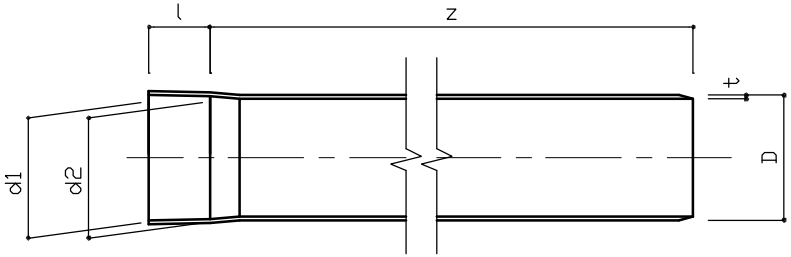
本 管 の 内 径 D2	副管径d
φ200以下	150
φ250～φ350	200
φ400～φ500	250
φ600以上	300

特記

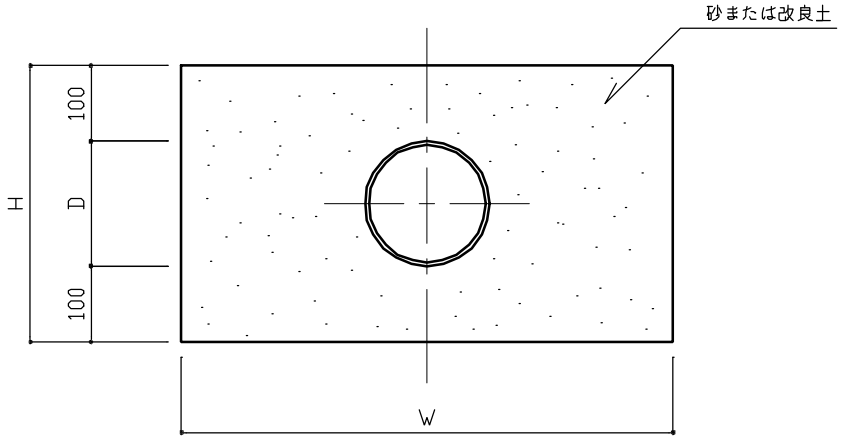
・h3は5cmの段差を確保する。但し、段差が5cm以上確保できる場合は、副管管頂とインバートの天端を一致させる。

マンホール副管（陶管）[参考図]

縮尺	―	横浜市下水道 設計標準図による。
日付	H14.4	



断 面 図



埋設標準断面図

寸 法 表

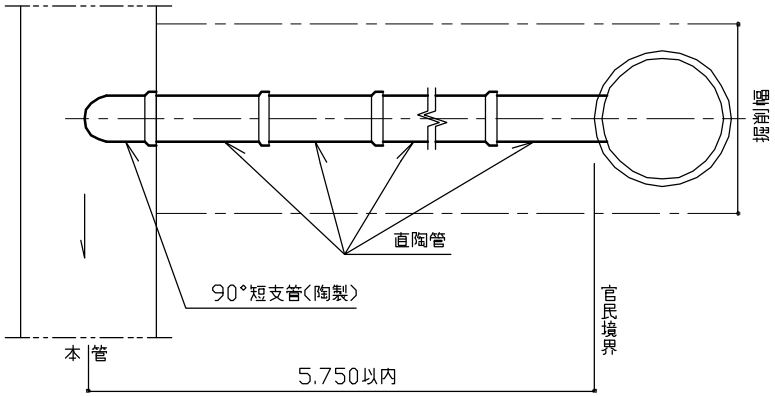
記 号	寸 法 (単位：mm)							
	外径	厚さ	受口内径		受口長さ	有効長さ	基礎高	—
	D	t	d1	d2	l	Z	H	W
VU-400	420	11.8	422.3	418.4	220	4,000	620	850
VU-450	470	13.2	472.6	468.1	250	4,000	670	900
VU-500	520	14.6	522.8	518.2	280	4,000	720	950
VU-600	630	17.8	634.3	626.7	330	4,000	830	1,150

特記

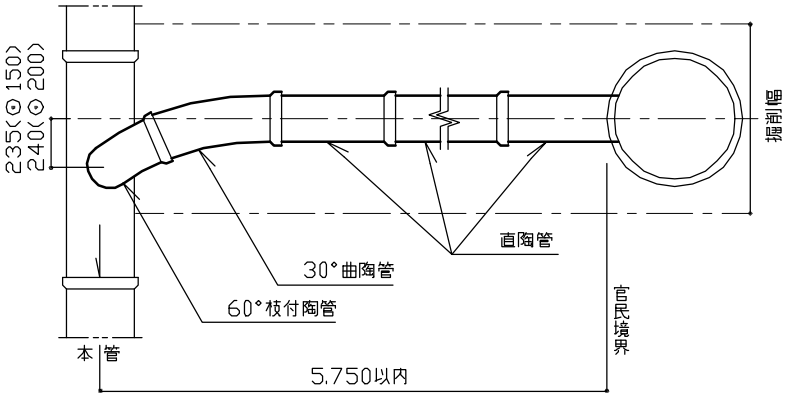
・硬質塩化ビニル管は、JIS製品とする。

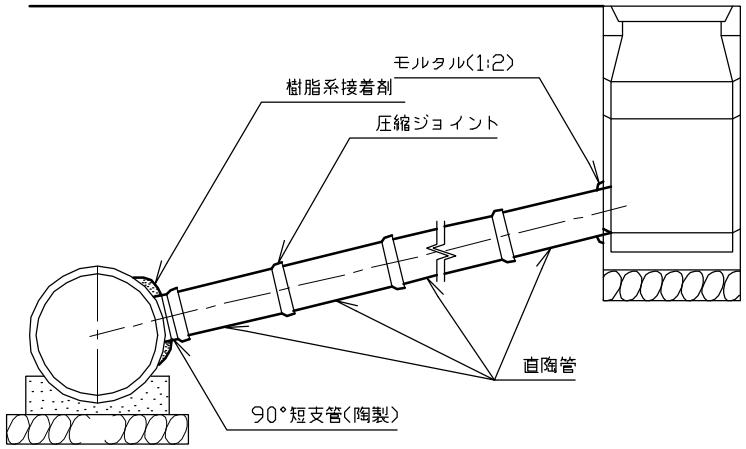
硬質塩化ビニル管		
縮尺	1／10	VU400～600
日付	H14.4	

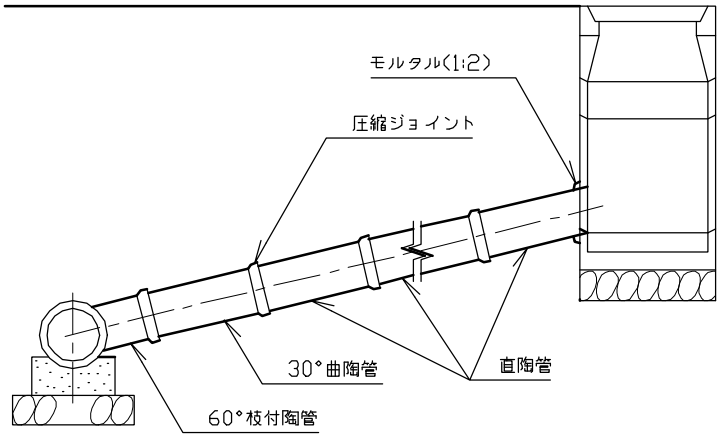
本管(遠心力鉄筋コンクリート管)－取付管(陶管)



本管(陶管)－取付管(陶管)

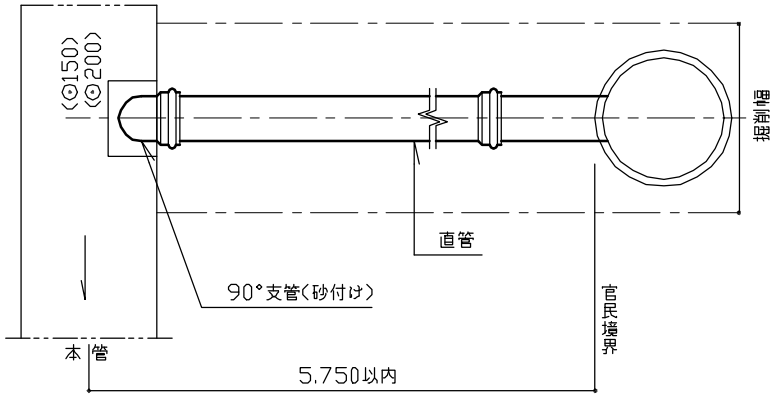




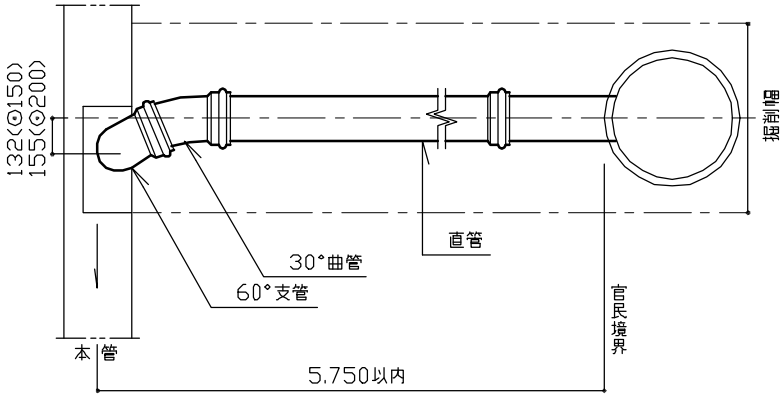


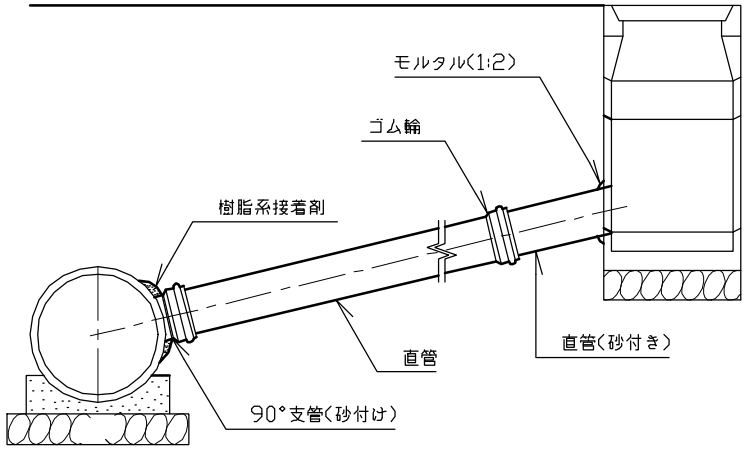
特記	・雨水桝取付管布設についても上図に準ずる。	**取付管布設図 (陶管) [参考図]**	
		縮尺	―
		日付	H14.4
		横浜市下水道設計標準図による。	

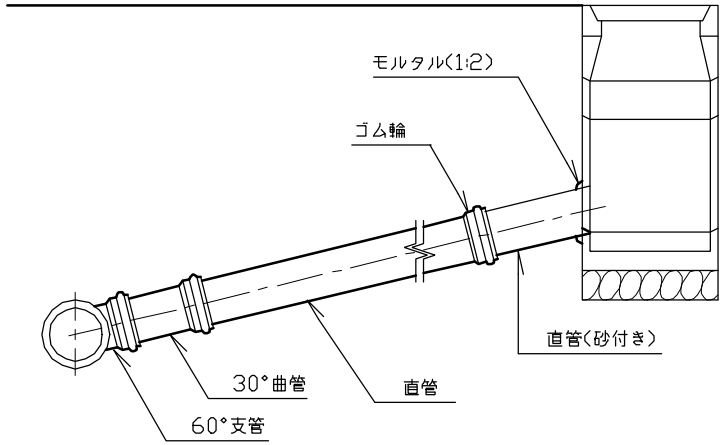
本管(遠心力鉄筋コンクリート管)－取付管(硬質塩化ビニル管)



本管(硬質塩化ビニル管)－取付管(硬質塩化ビニル管)

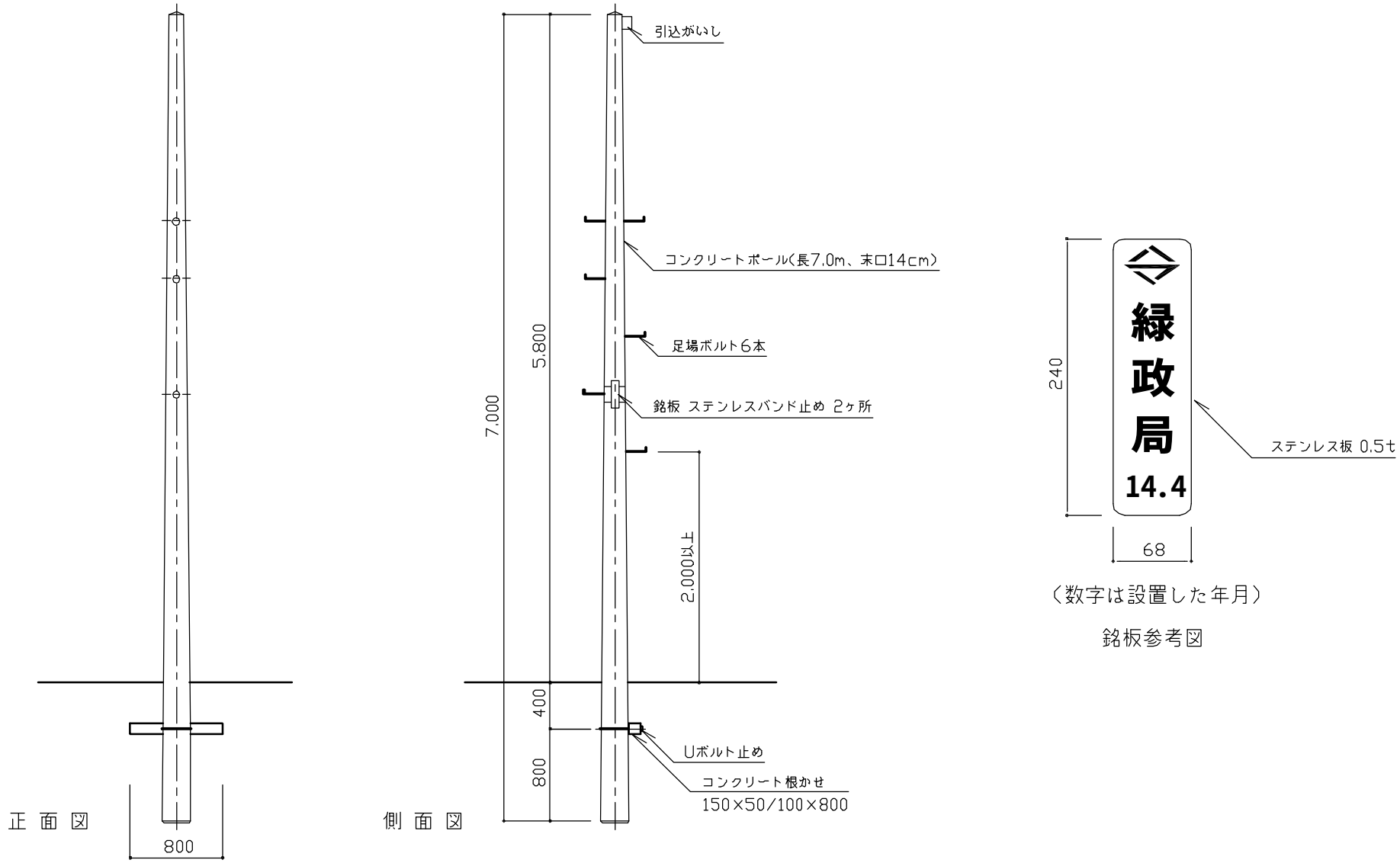






特記	・雨水桝取付管布設についても上図に準ずる。	取付管布設図 (塩ビ管) [参考図]		
		縮尺	―	横浜市下水道 設計標準図による。
		日付	H14.4	

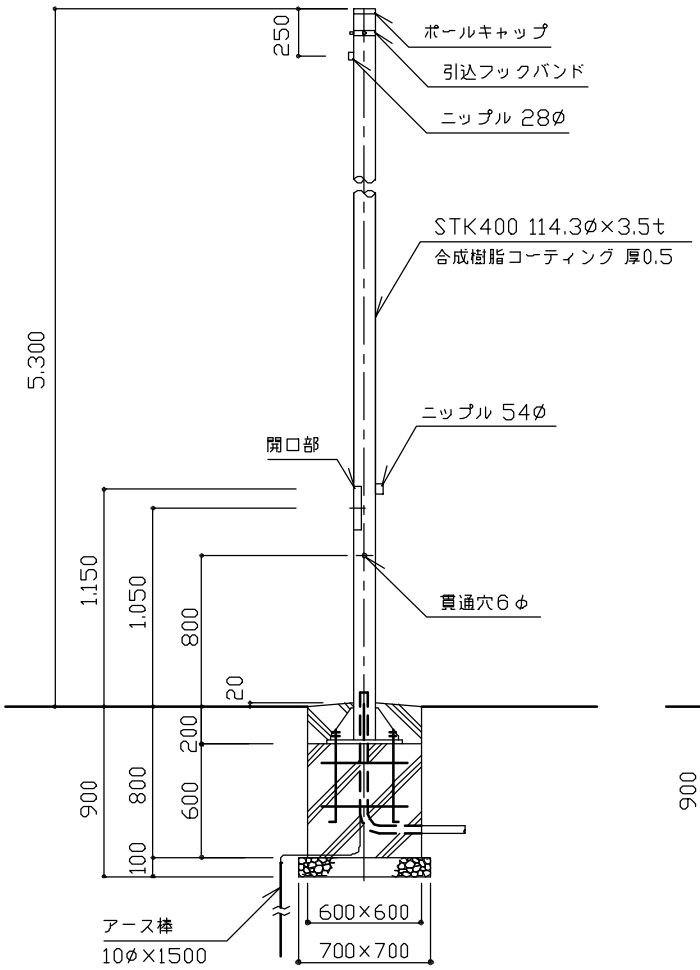
5 電 気 設 備



〈数字は設置した年月〉

銘板参考図

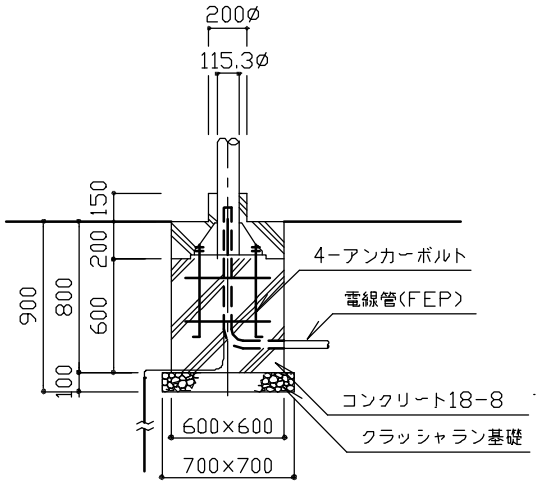
特記	・同等品以上とする.	引込柱 [コンクリートポール]		
		縮尺	1/50	EP-C
		日付	H14.4	



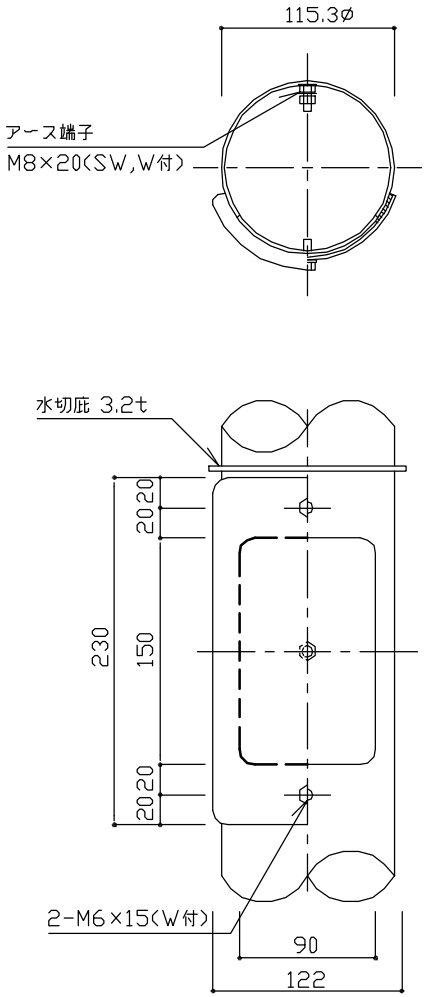
立 面 図 1/40
EP-KAH基礎

（数字は設置した年月）

ポールステッカー参考図

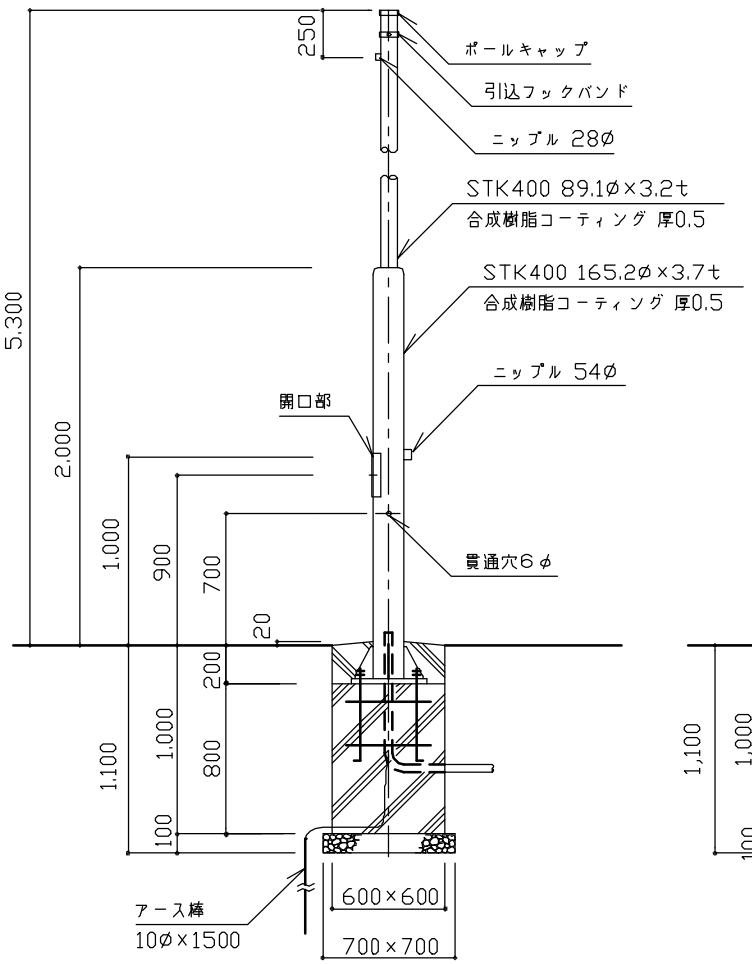


立 面 図 1/40
EP-KAS基礎



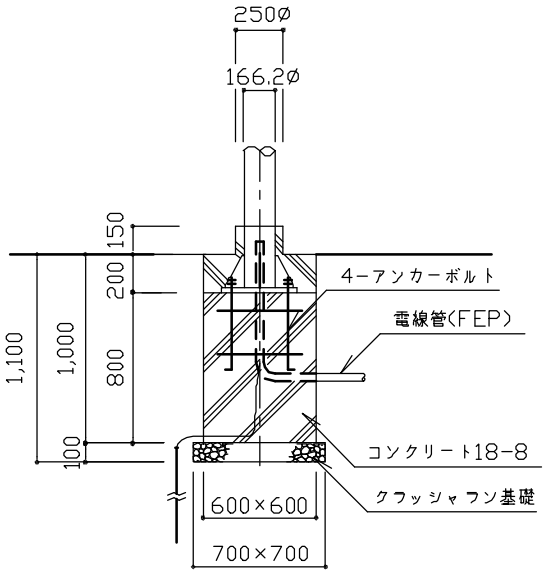
開口部詳細図 1/5

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ◦コンクリートは、高炉Bとする。 ◦引込柱は溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管ポール（外面は、合成樹脂コーティング）とする。また合成樹脂の色は7.5YR2/2（ブラウン）とする。 ◦同等品以上とする。 ◦接地埋設標はEH−BまたはEH−Cとし、別途計上とする。	**引込柱 [鋼管ポール]**	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		EP-KAH EP-KAS	

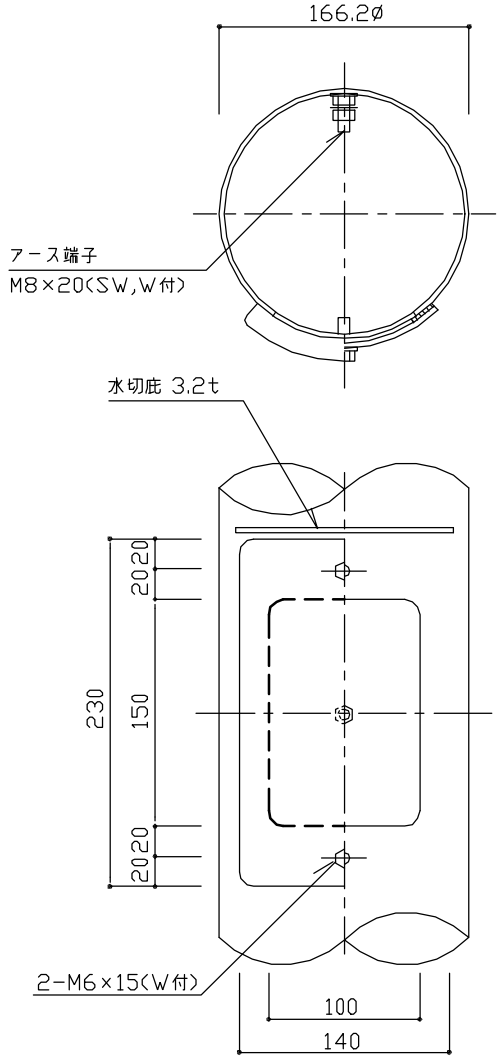


立 面 図 1/40
EP-KBH基礎

（数字は設置した年月）
ポールステッカー参考図



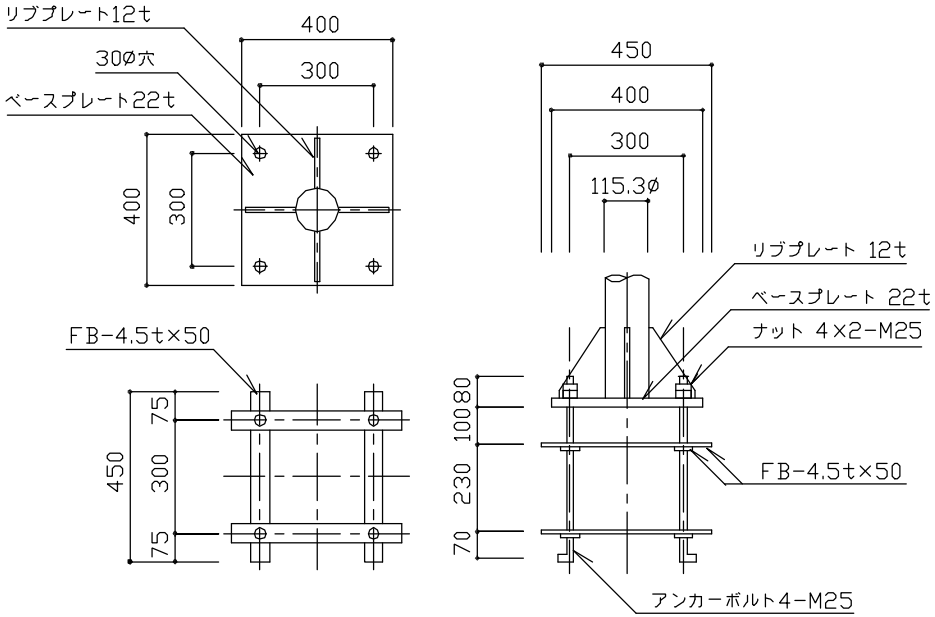
立 面 図 1/40
EP-KBS基礎



開口部詳細図 1/5

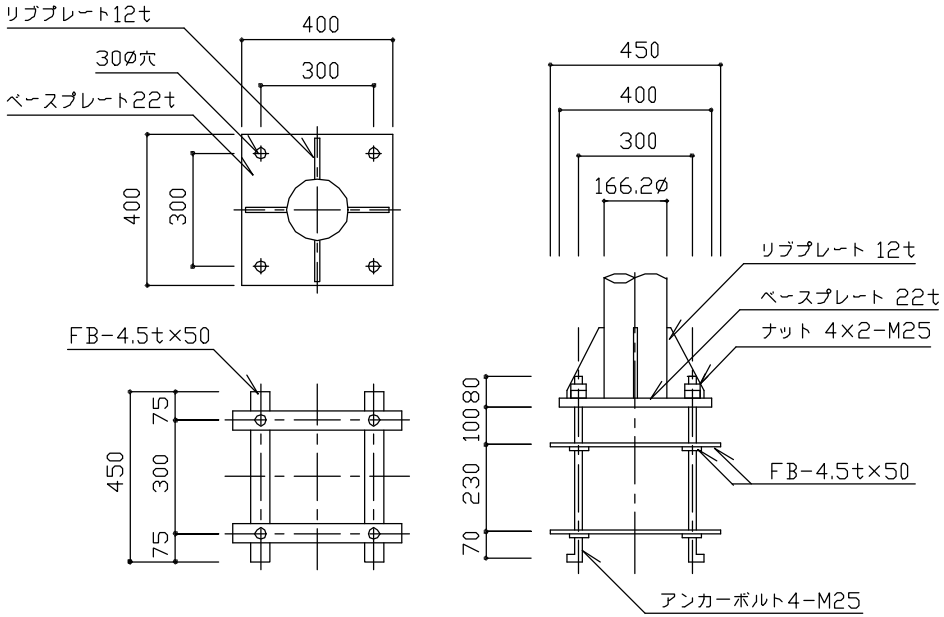
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・引込柱は溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管ポール（外面は、合成樹脂コーティング）とする。また合成樹脂の色は7.5ＹＲ2/2（ブラウン）とする。 ・同等品以上とする。 ・接地埋設標はＥＨ－ＢまたはＥＨ－Ｃとし、別途計上とする。	**引込柱 [鋼管ポール]**	
		縮尺 図 示	**EP-KBH EP-KBS**
		日付 H15.4	

EP-KA[H・S]



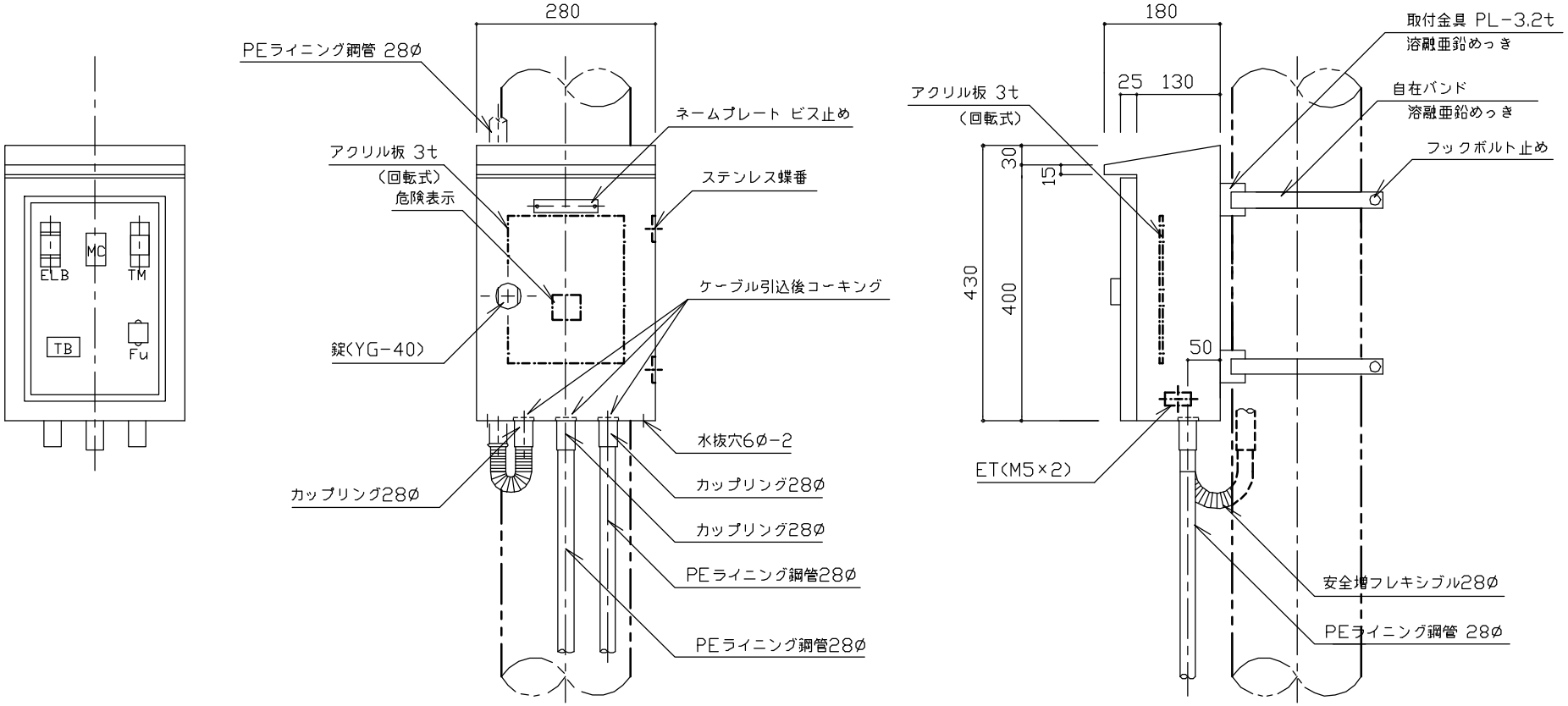
ベースプレート詳細図

EP-KB[H・S]



ベースプレート詳細図

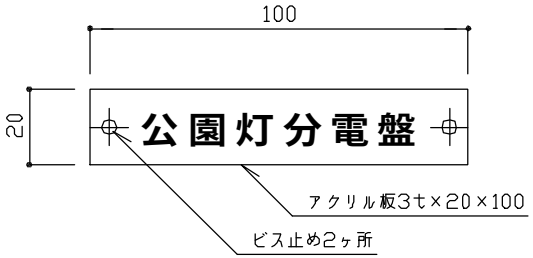
特記	・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。	引込柱 [鋼管ポール]	
		縮尺 1/20	EP-KAH EP-KAS EP-KBH EP-KBS
		日付 H14.4	



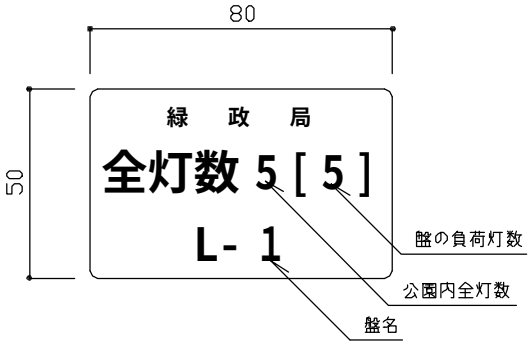
正 面 図

側 面 図

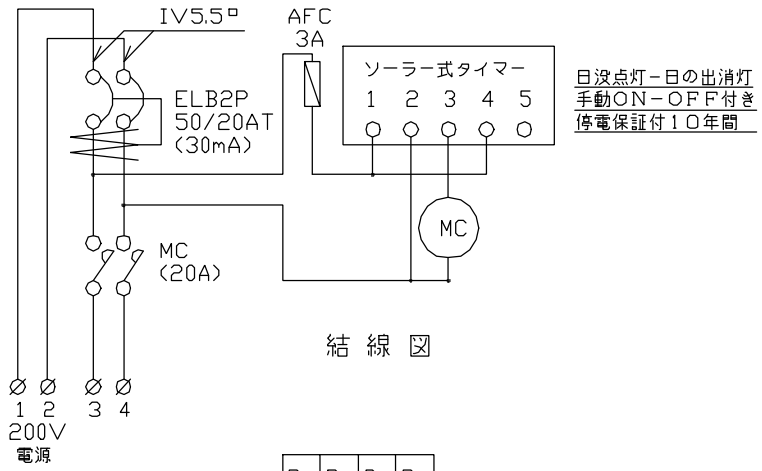
特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2（ブラウン）、内面 2.5YR 6/13（ 205 ）とする。 ・ターミナルはケーブル（ SV 5.5□ または SV 8□ ）に相当する大きさのものを使用する。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・蓋の裏側に、B6のカードホルダーが固定できる構造とする。 ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・同等品以上とする。	**定額分電盤 (1回路)**	
		縮尺 1/10	**BT-AT**
		日付 H14.4	



ネームプレート詳細図1/2



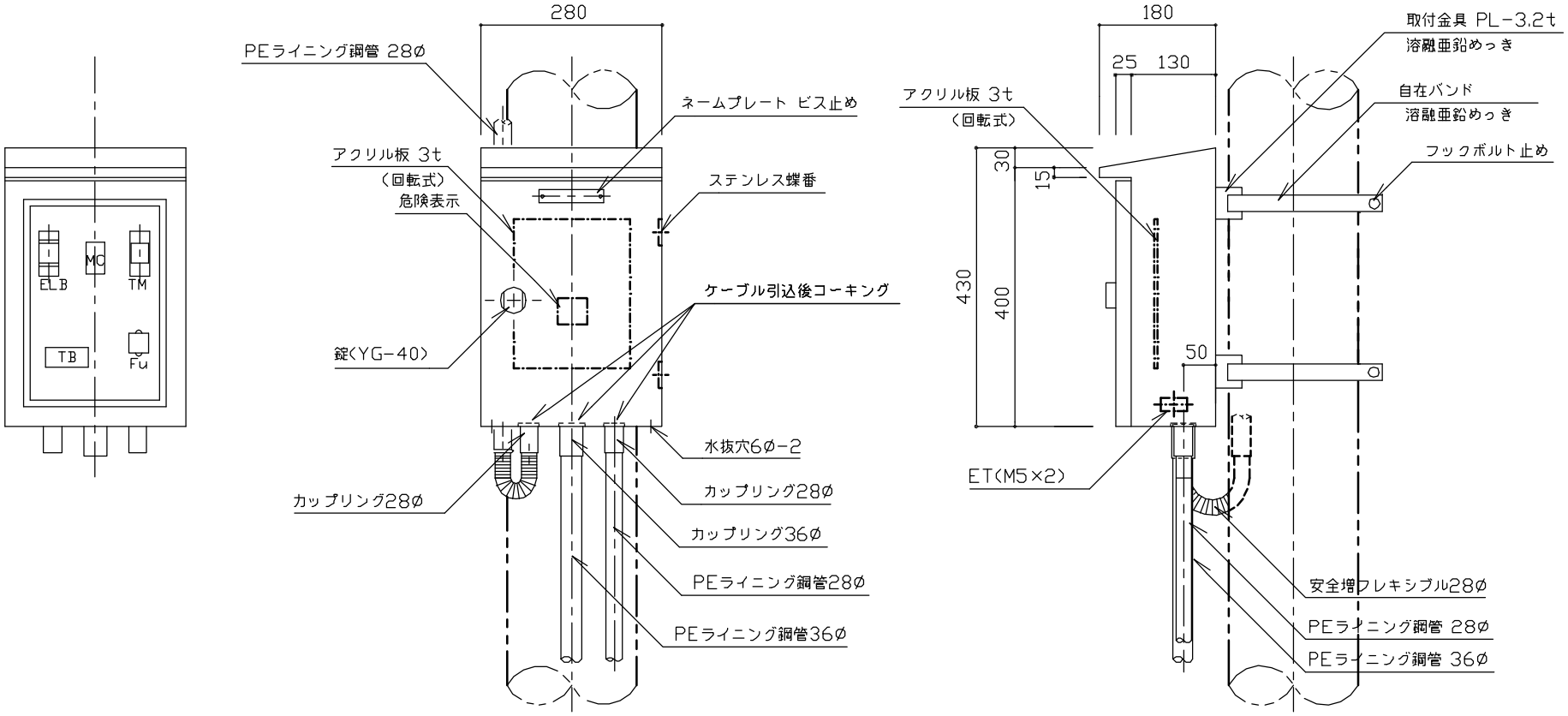
ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）



結 線 図

端子配列

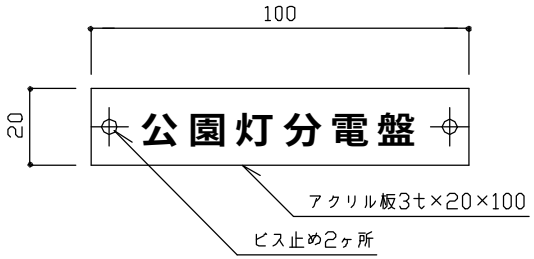
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	定額分電盤（1回路）	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		BT-AT	



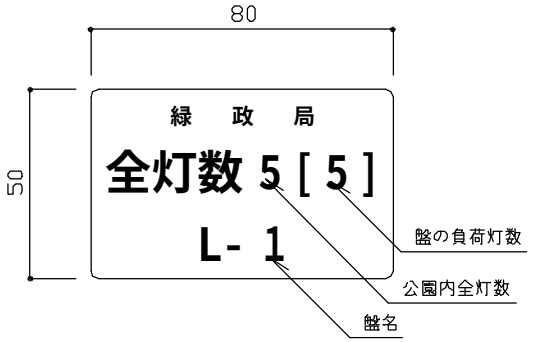
正 面 図

側 面 図

特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2(ブラウン)、内面 2.5YR 6/13(205)とする。 ・ターミナルはケーブル(SV 5.5□ または SV 8□)に相当する大きさのものを使用する。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・蓋の裏側に、B6のカードホルダーが固定できる構造とする。 ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・同等品以上とする。	定額分電盤(2回路)	
		縮尺 1/10	BT-BT
		日付 H14.4	

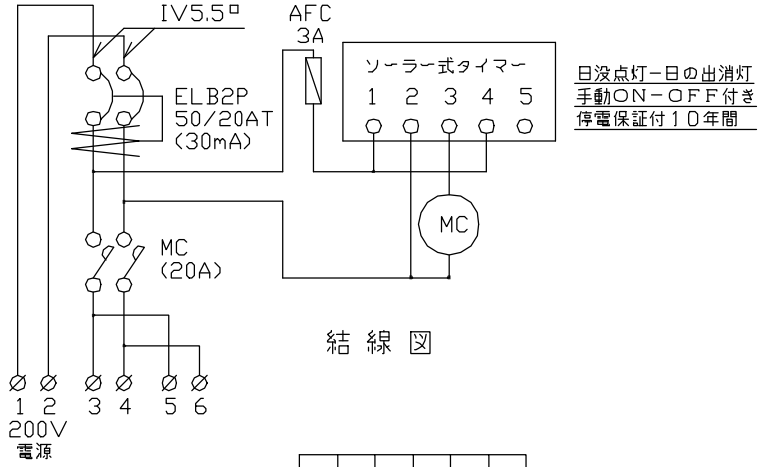


ネームプレート詳細図1/2

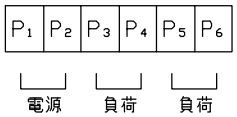


ステッカー詳細図1/2

（数字は記入例）

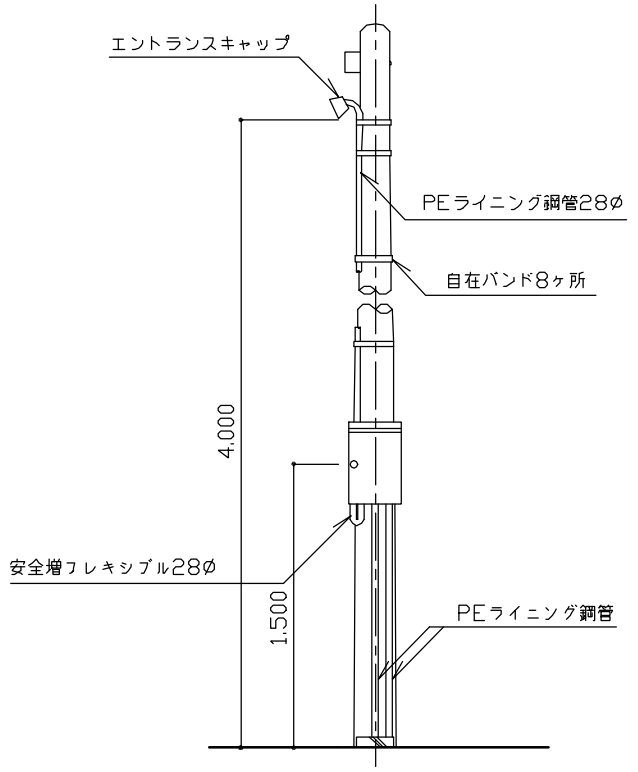


結 線 図

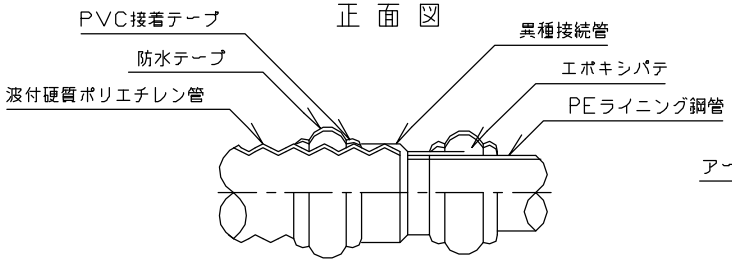


端子配列

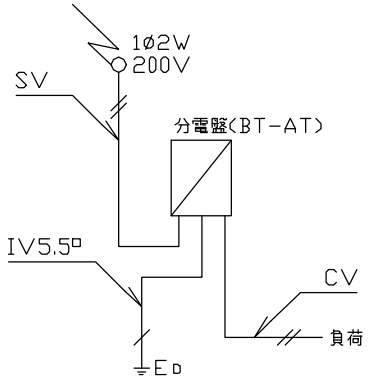
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	定額分電盤（2回路）		
		縮尺	図 示	BT-BT
		日付	H14.4	



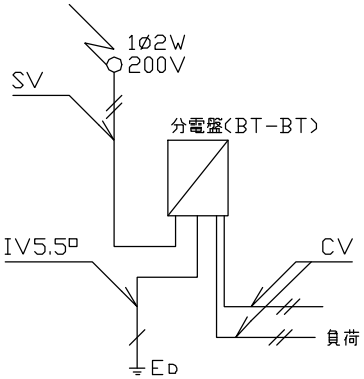
正 面 図



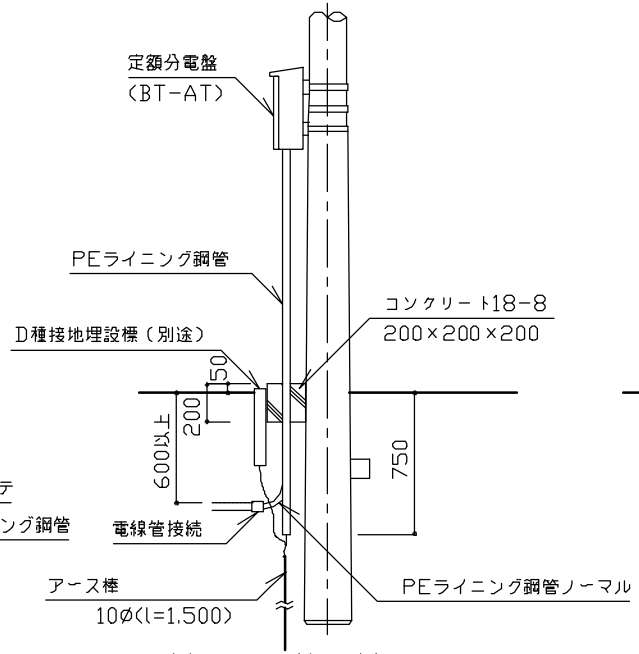
電線管接続詳細図



結 線 図（1回路）

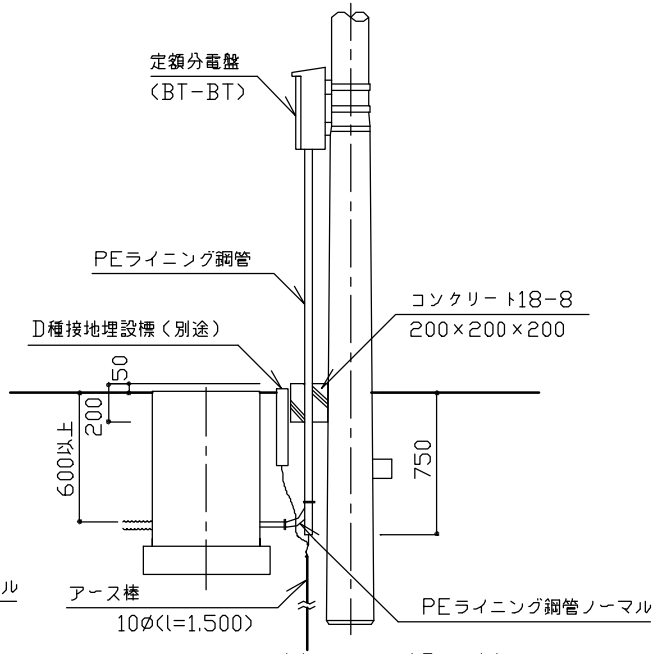


結 線 図（2回路）



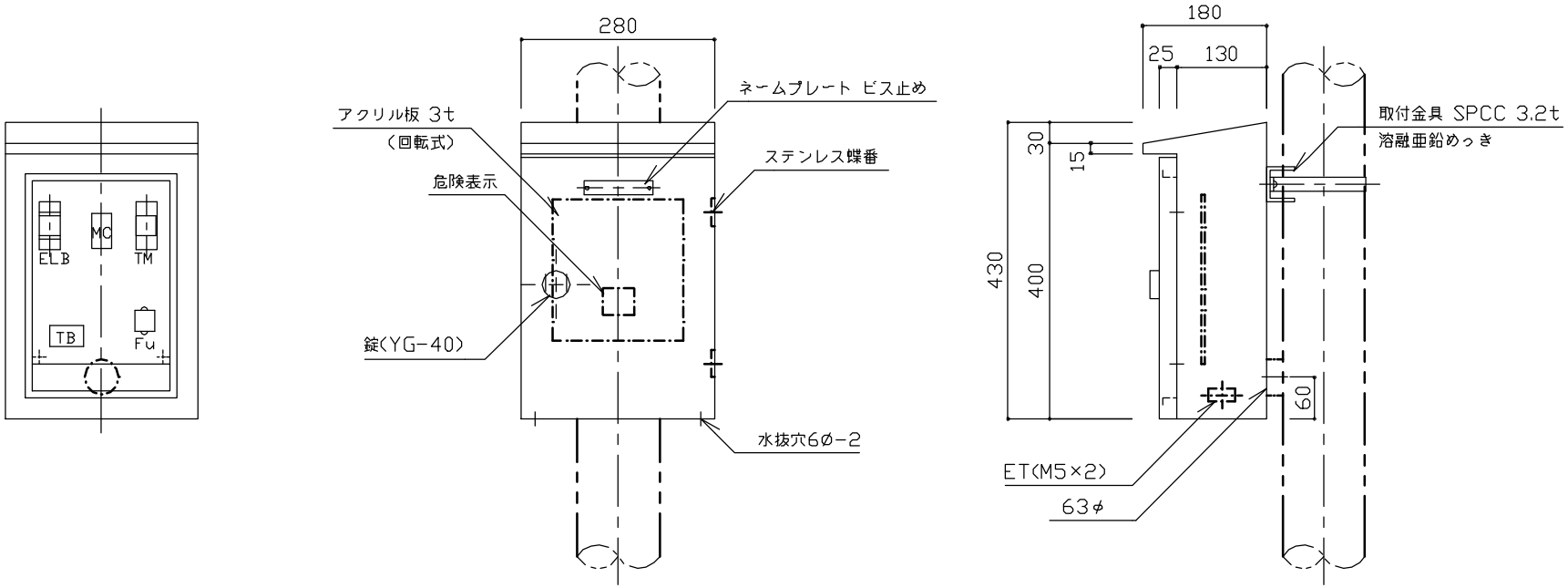
側 面 図（1回路）

取付け詳細図1/40



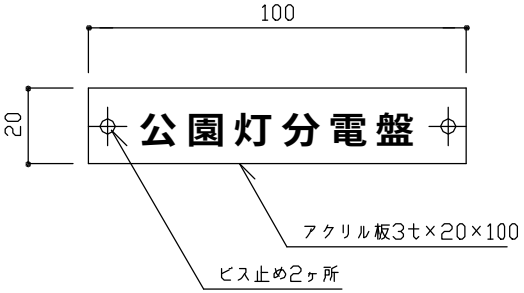
側 面 図（2回路）

特記	・CV ケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きのうえ、色別ビニルテープ巻きとする。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・エントランスキャップは引込ケーブル通線後にコーキングする。 ・盤内のケーブルには行き先表示札を付ける。 ・接地埋設標はＥＨ－ＢまたはＥＨ－Ｃとし、別途計上とする。	**定額分電盤**		
		縮尺	図 示	**BT-AT** **BT-BT**
		日付	H14.4	

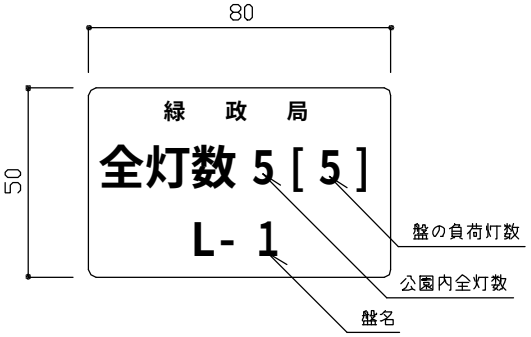


正 面 図　　側 面 図

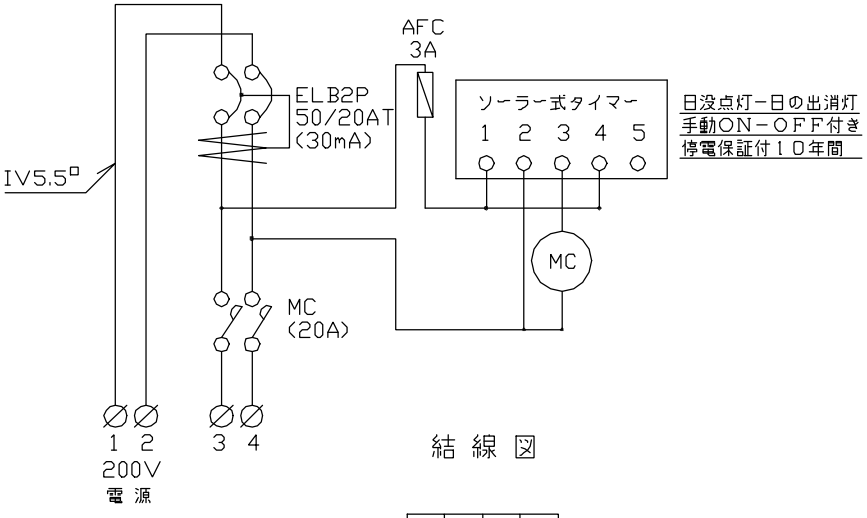
特記	◦分電盤の外箱は PL−2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする．色は表面 7.5YR 2/2（ブラウン）、内面 2.5YR 6/13（ 205 ）とする． ◦ターミナルはケーブル（ SV 5.5□または SV 8□ ）に相当する大きさのものを使用する． ◦蓋の裏側に、B6のカードホルダーが固定できる構造とする． ◦接地は、引込柱の接地に連結する． ◦同等品以上とする．	**定額分電盤（1回路）[鋼管ポール用]**		
		縮尺	1／10	**BT-CT**
		日付	H14.4	



ネームプレート詳細図1/2



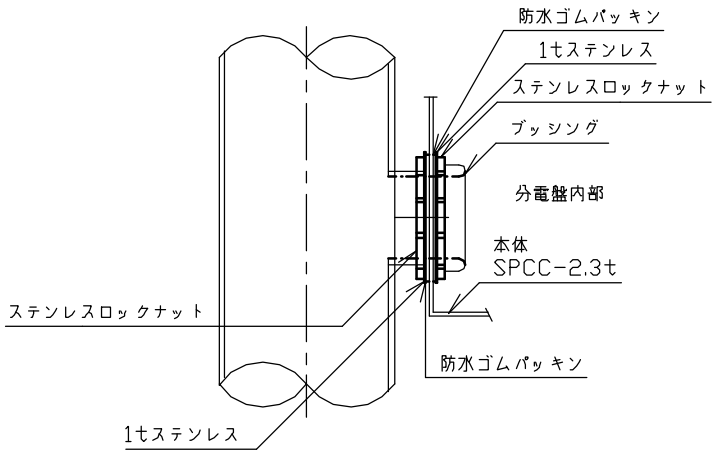
ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）



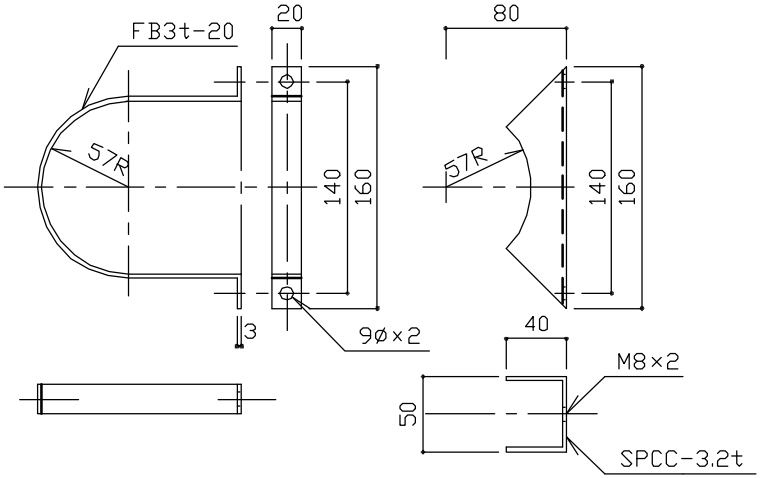
結線図

端子配列

特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	定額分電盤（1回路）[鋼管ポール用]		
		縮尺	図示	BT-CT
		日付	H14.4	

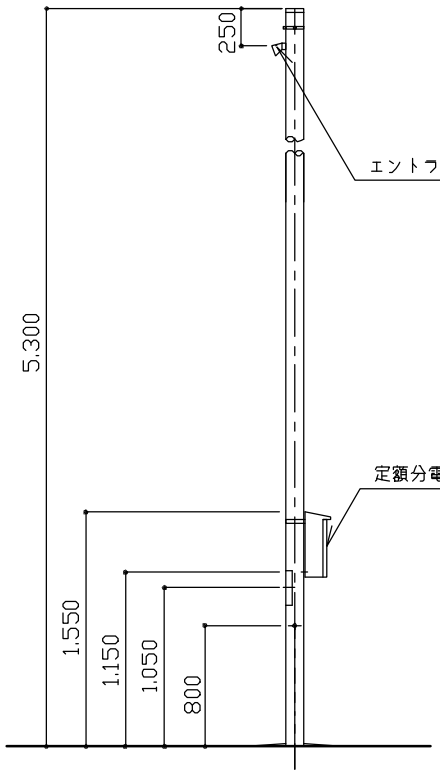


ニップル接続部詳細図 1/5

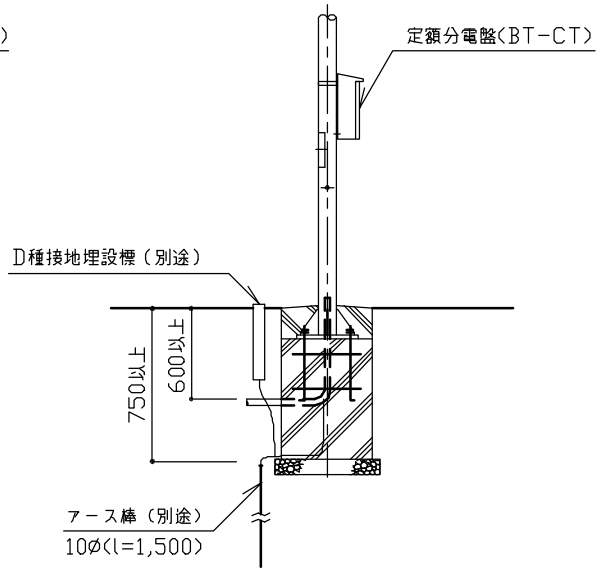


取付金具詳細図 1/5

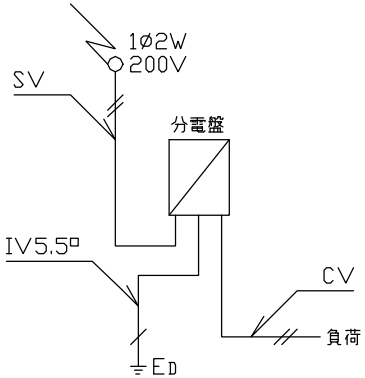
特記		定額分電盤（1回路）[鋼管ポール用]	
		縮尺 図示	BT-CT
		日付 H14.4	



立 面 図



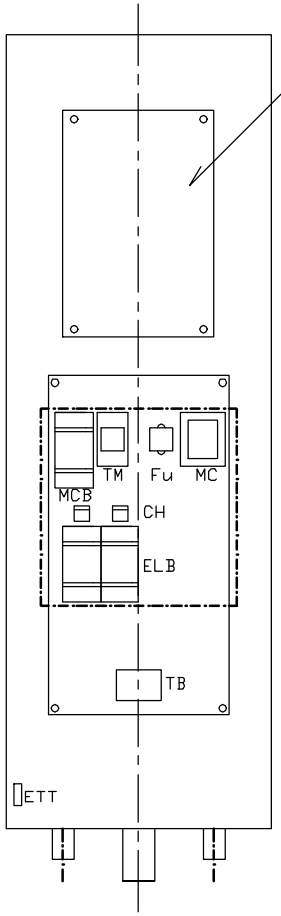
側 面 図



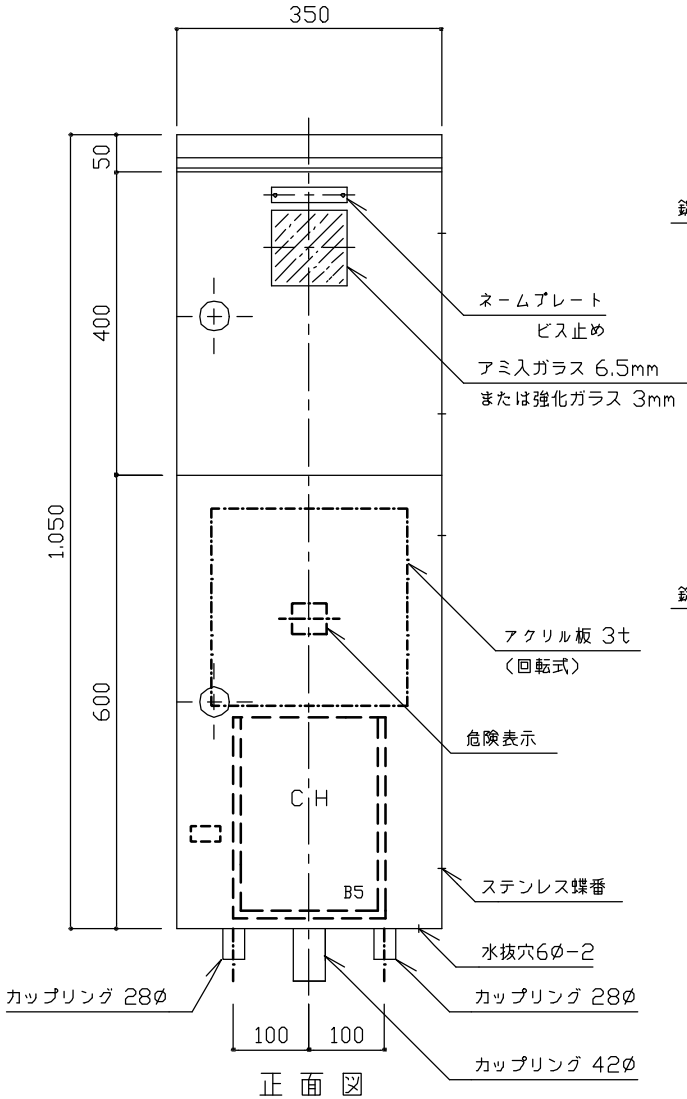
結 線 図

取付け詳細図 1/50

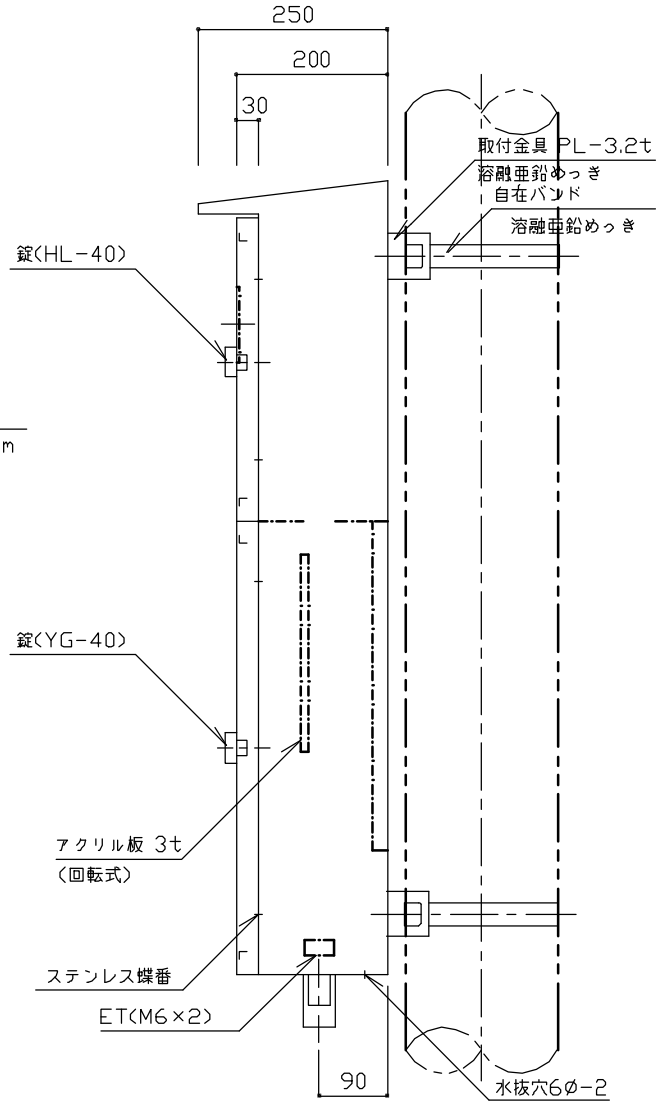
特記	・CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きのうえ、色別ビニルテープ巻きとする。 ・エントランスキャップは、引込ケーブル通線後にコーキングする。 ・引込柱内のFEPの管口はコーキングする。 ・盤内のケーブルには行き先表示札を付ける。 ・接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上する。	**定額分電盤 [鋼管ポール]**	
		縮尺 図 示	**BT-CT**
		日付 H14.4	



正 面 図

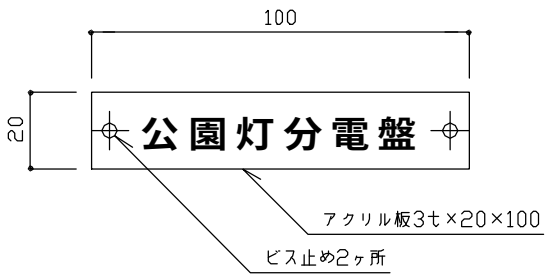


正 面 図

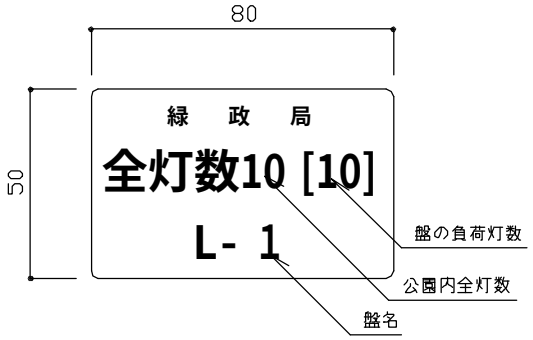


側 面 図

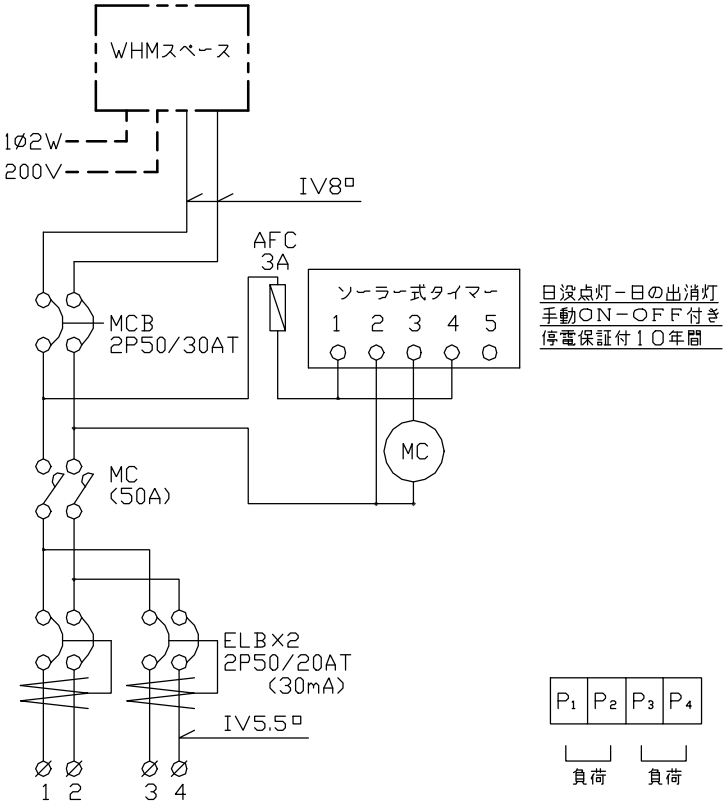
特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2(ブラウン)、内面 2.5YR 6/13(205)とする。 ・ターミナルはケーブル(SV 5.5□ または SV 8□)に相当する大きさのものを使用する。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする。 ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・同等品以上とする。	メーター分電盤(2回路)	
		縮尺 1/10	BM-AT
		日付 H14.4	



ネームプレート詳細図1/2



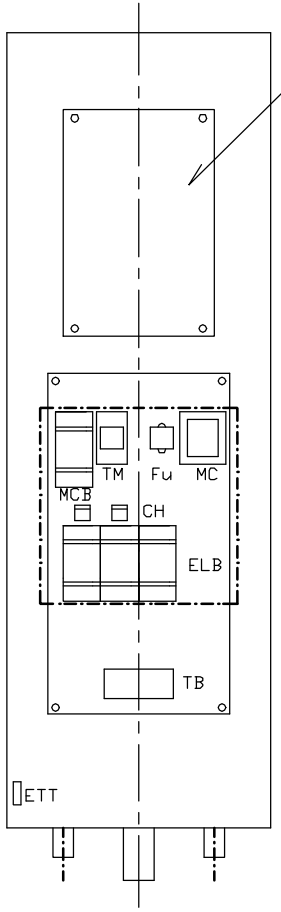
ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）



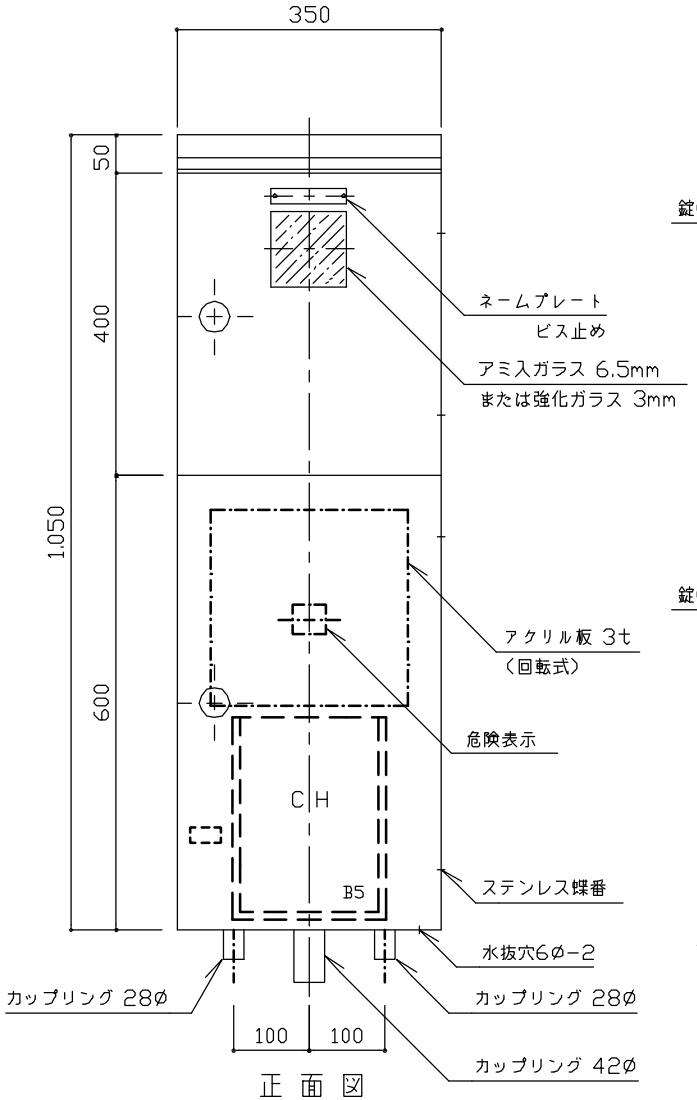
結線図

端子配列

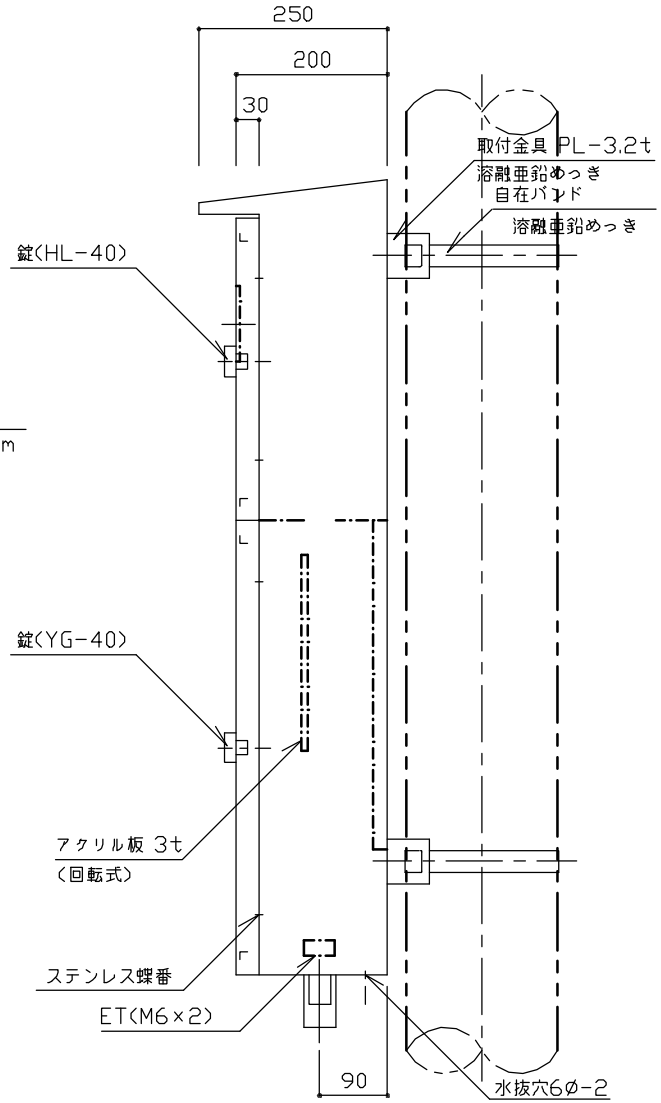
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	メーター分電盤（2回路）		
		縮尺	図示	BM-AT
		日付	H14.4	



正 面 図

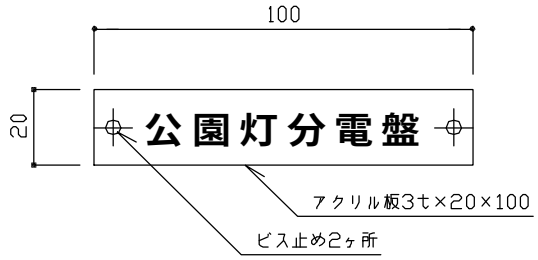


正 面 図

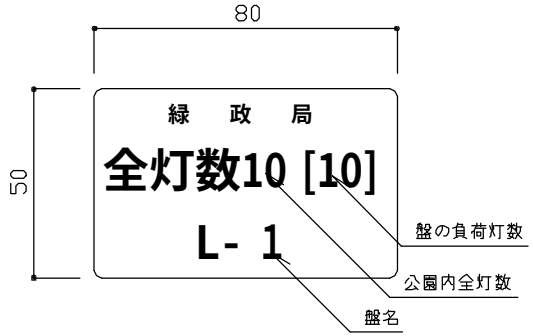


側 面 図

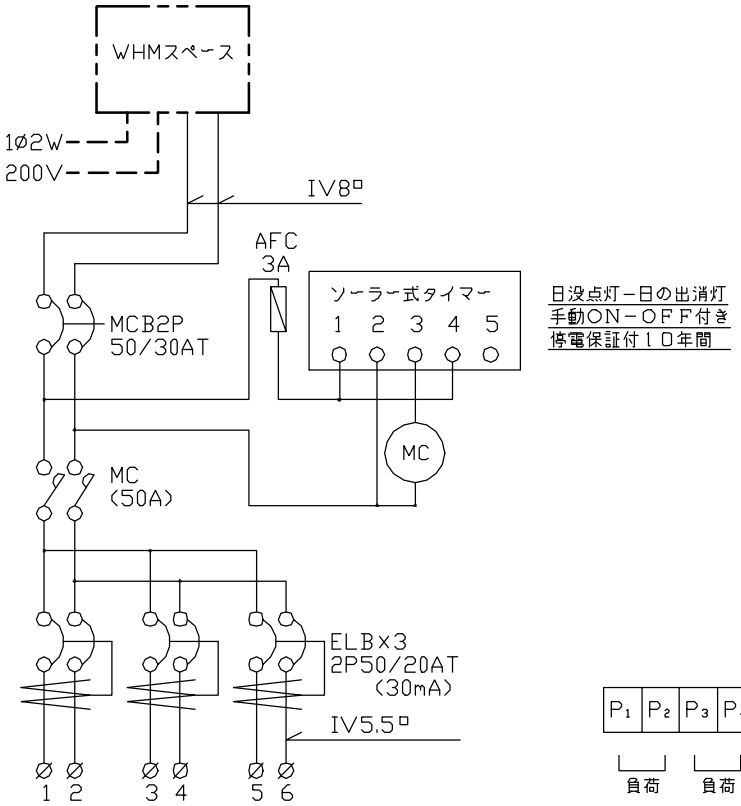
特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする．色は表面 7.5YR 2/2（ブラウン）、内面 2.5YR 6/13（ 205 ）とする． ・ターミナルはケーブル（ SV 5.5□または SV 8□）に相当する大きさのものを使用する． ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る． ・蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする． ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・同等品以上とする．	メーター分電盤（3回路）	
		縮尺 1/10	BM-BT
		日付 H14.4	



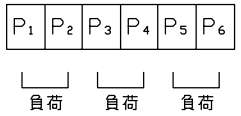
ネームプレート詳細図1/2



ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）

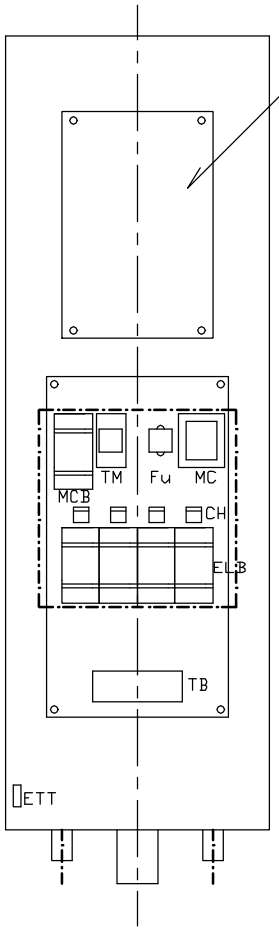


結線図

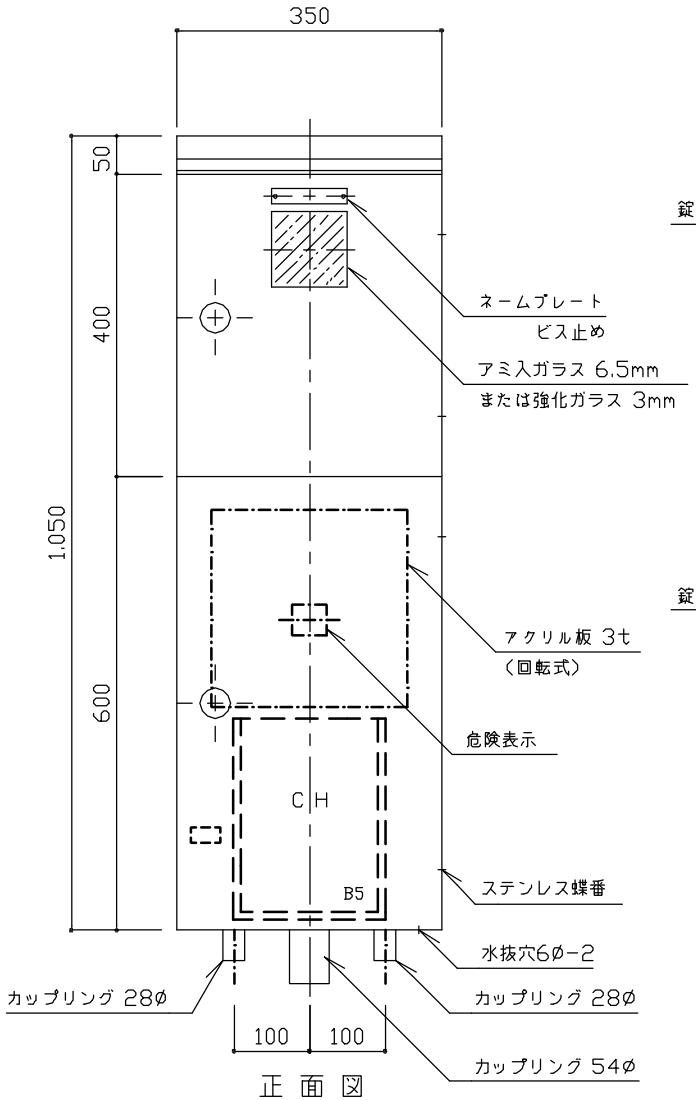


端子配列

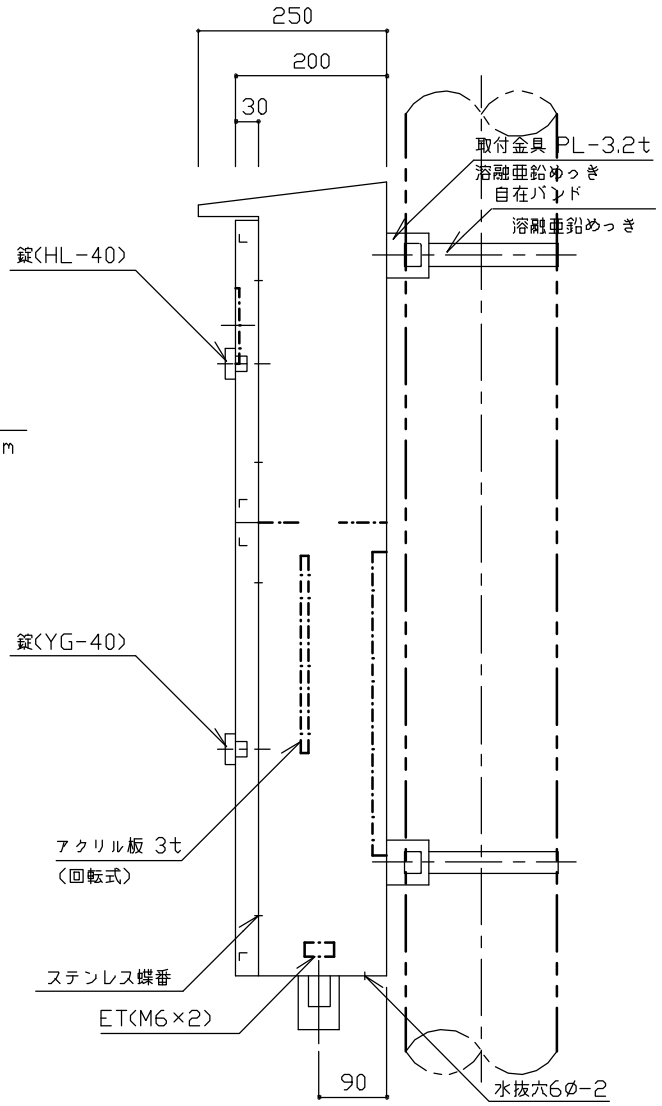
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	メーター分電盤（3回路）	
		縮尺	図示
		日付	H14.4
		BM-BT	



正 面 図

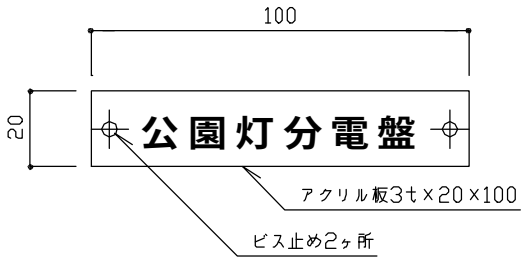


正 面 図

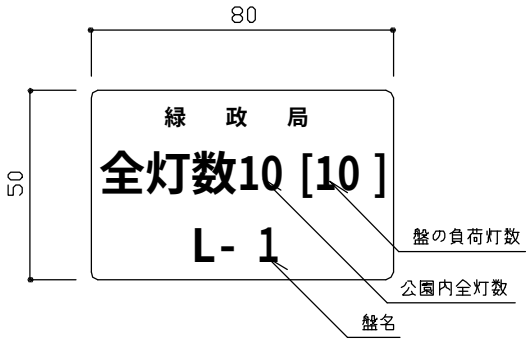


側 面 図

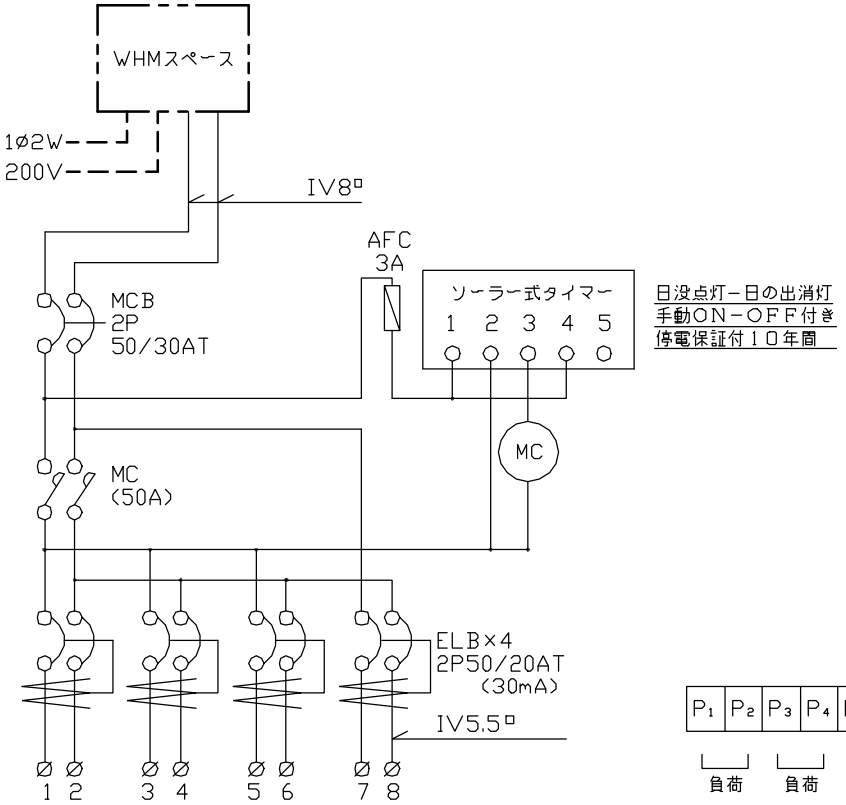
特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2(ブラウン)、内面 2.5YR 6/13(205)とする。 ・ターミナルはケーブル(SV 5.5□または SV 8□)に相当する大きさのものを使用する。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする。 ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・同等品以上とする。	メーター分電盤(4回路)	
		縮尺 1/10	BM-CT
		日付 H14.4	



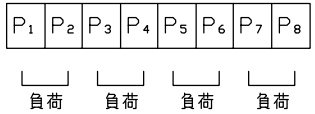
ネームプレート詳細図1/2



ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）

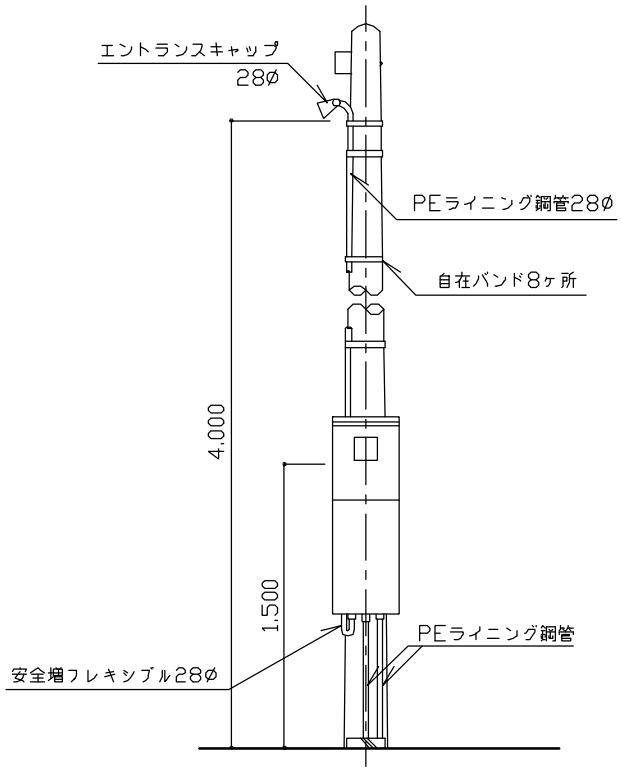


結線図

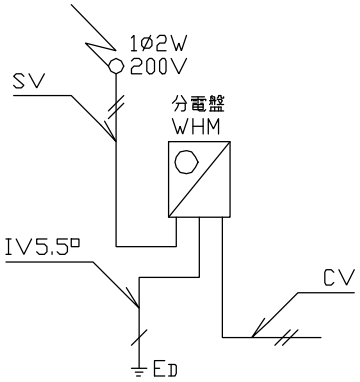


端子配列

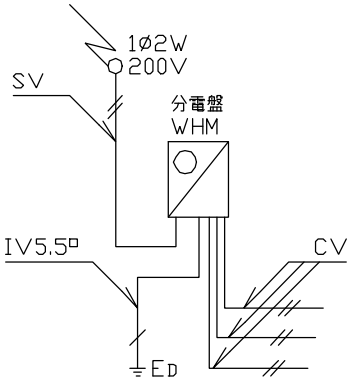
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	メーター分電盤（4回路）	
		縮尺	図示
		日付	H14.4
		BM-CT	



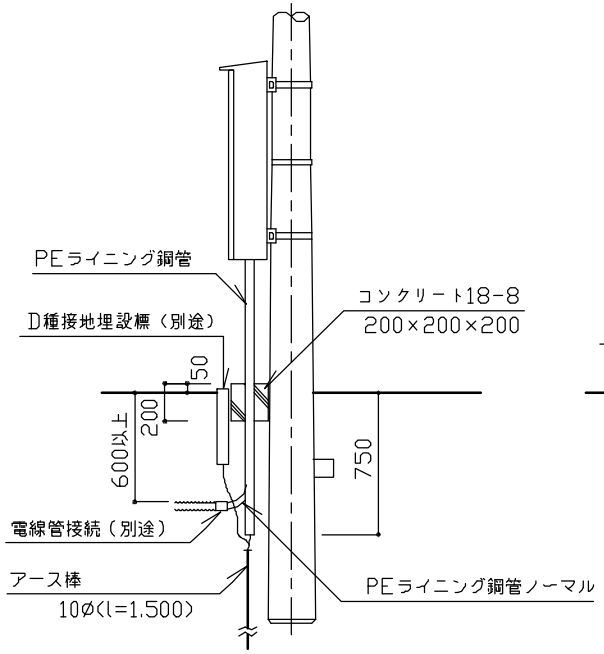
正 面 図



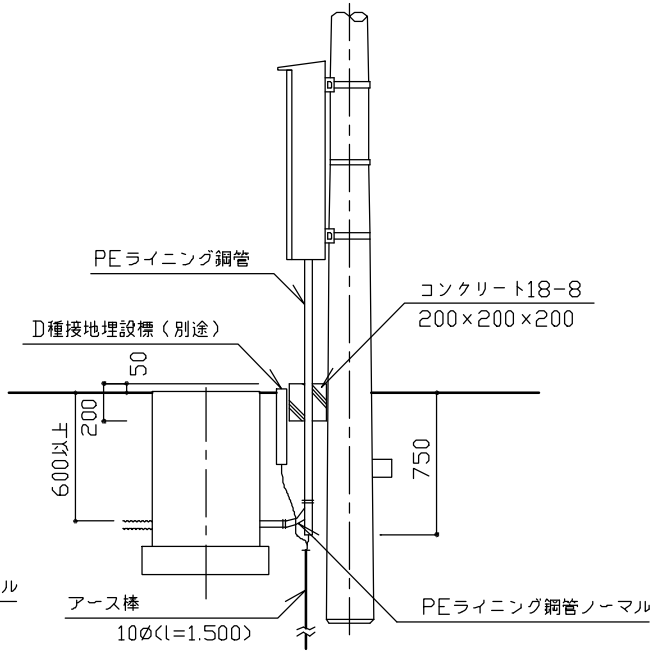
結 線 図（1回路）



結 線 図（複数回路）

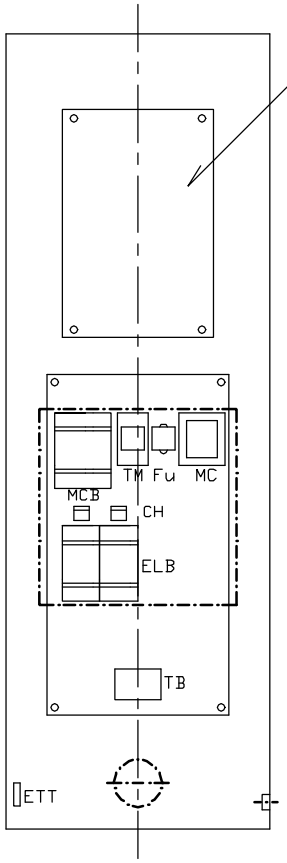


側 面 図（1回路）
取付け詳細図1/40

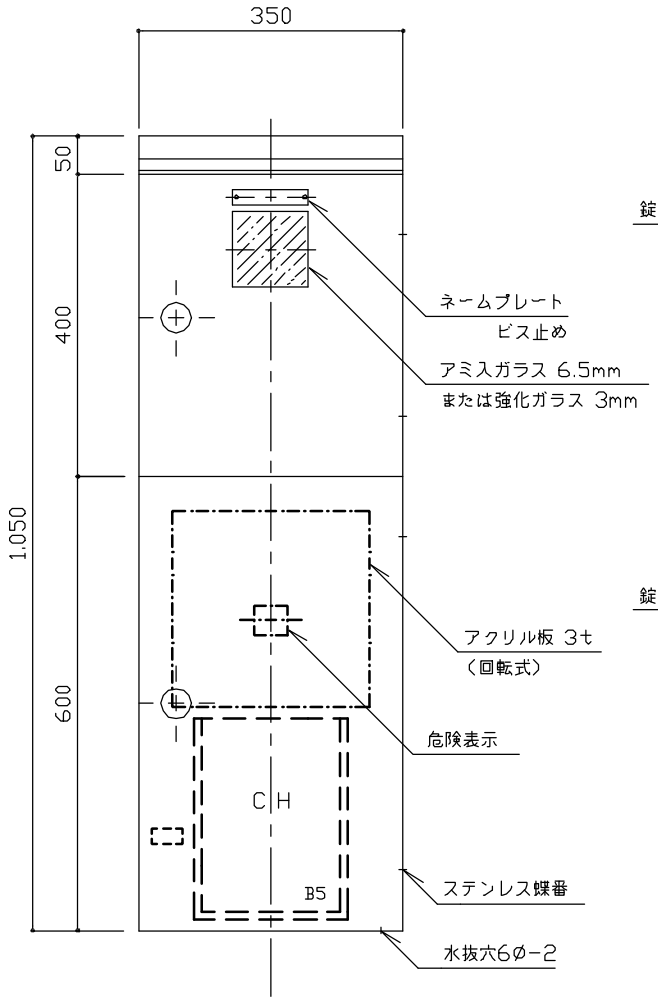


側 面 図（複数回路）

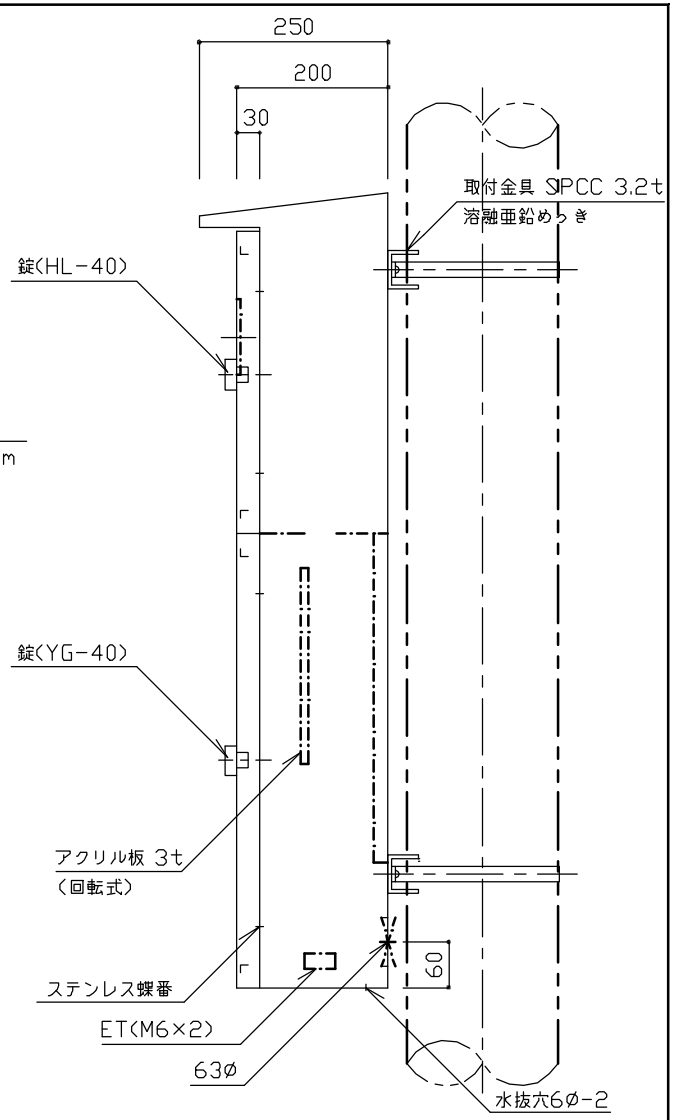
特記	◦CV ケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きのうえ、色別ビニルテープ巻きとする。 ◦自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ◦安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ◦エントランスキャップは引込ケーブル通線後にコーキングする。 ◦盤内のケーブルには行き先表示札を付ける。 ◦接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。	メーター分電盤		
		縮尺	図 示	BM-AT BM-BT BM-CT
		日付	H14.4	



正 面 図

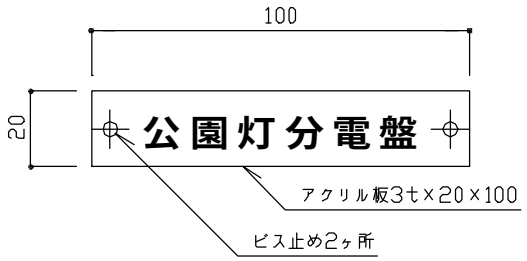


正 面 図

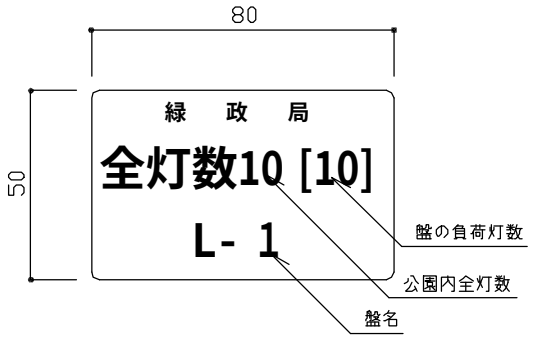


側 面 図

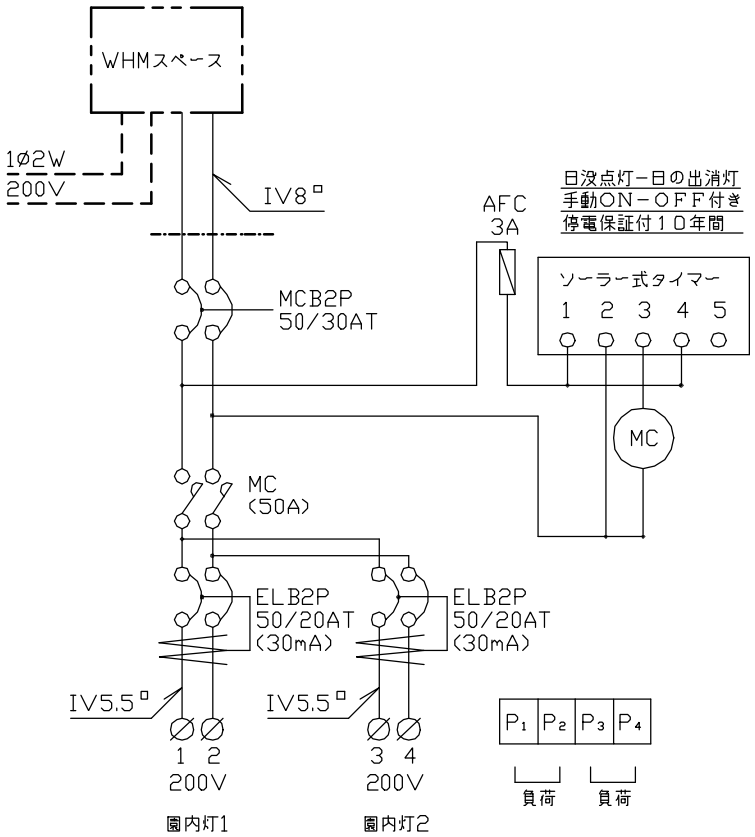
特記	◦分電盤の外箱はPL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2(ブラウン)、内面 2.5YR 6/13(205)とする。 ◦ターミナルはケーブル(SV 5.5□または SV 8□)に相当する大きさのものを使用する。 ◦蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする。 ◦接地は、引込柱の接地に連結する。 ◦同等品以上とする。	メーター分電盤(2回路)[鋼管ポール用]	
		縮尺 1/10	BM-DT
		日付 H14.4	



ネームプレート詳細図1/2

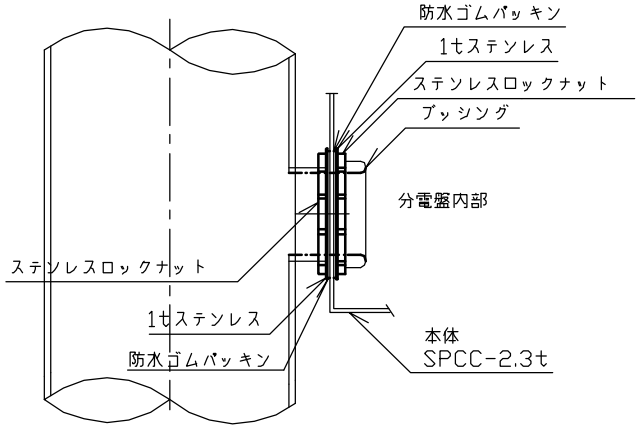


ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）

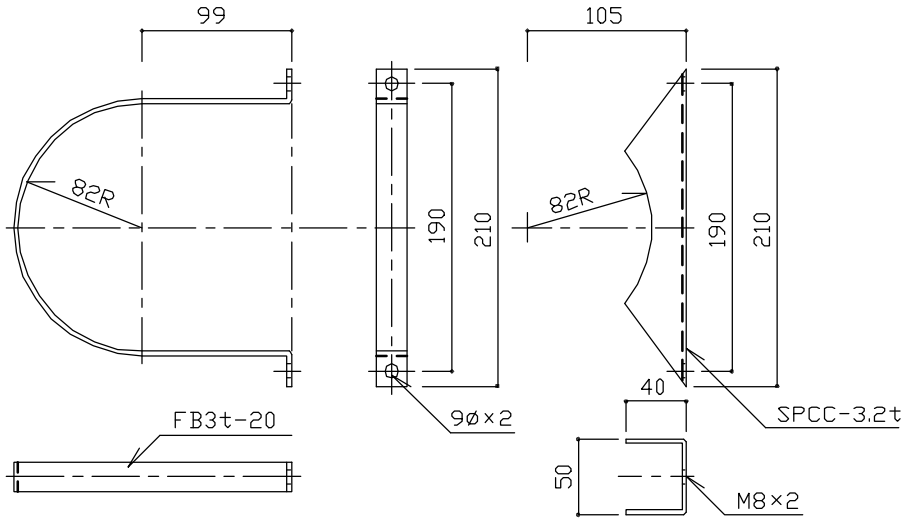


結線図　　端子配列

特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	メーター分電盤（2回路）[鋼管ポール用]	
		縮尺	図示	BM-DT
		日付	H14.4	

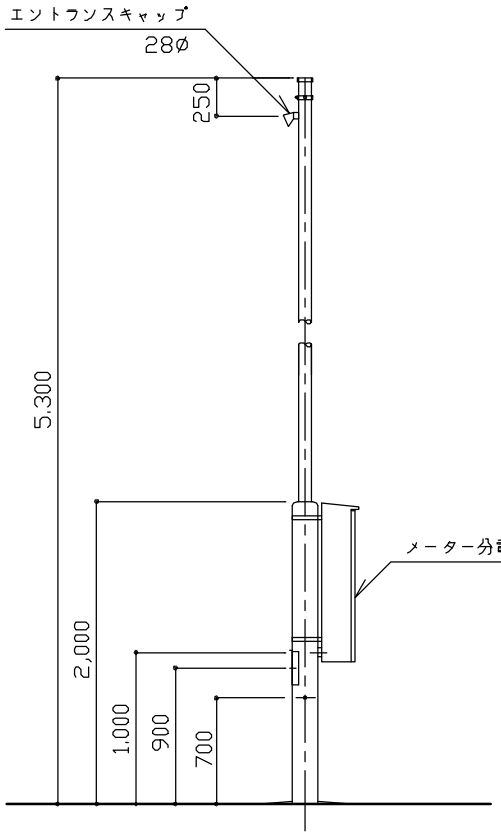


ニップル接続部詳細図 1/5

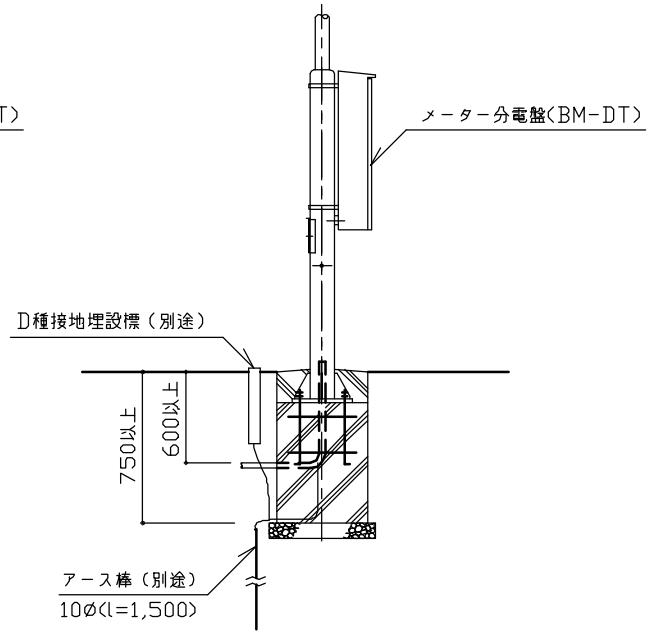


取付金具詳細図 1/5

特記		メーター分電盤 (2回路) [鋼管ポール用]		
		縮尺	図 示	BM-DT
		日付	H14.4	

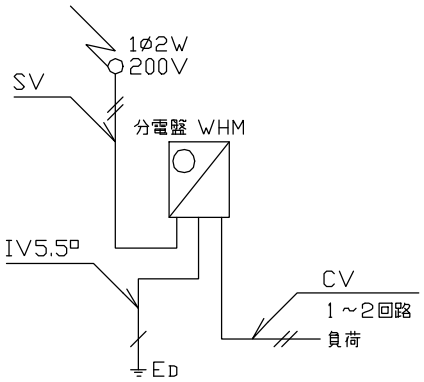


立 面 図



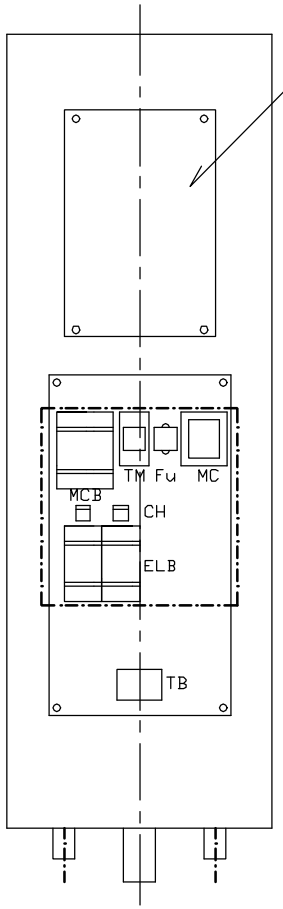
側 面 図

取付け詳細図 1/50

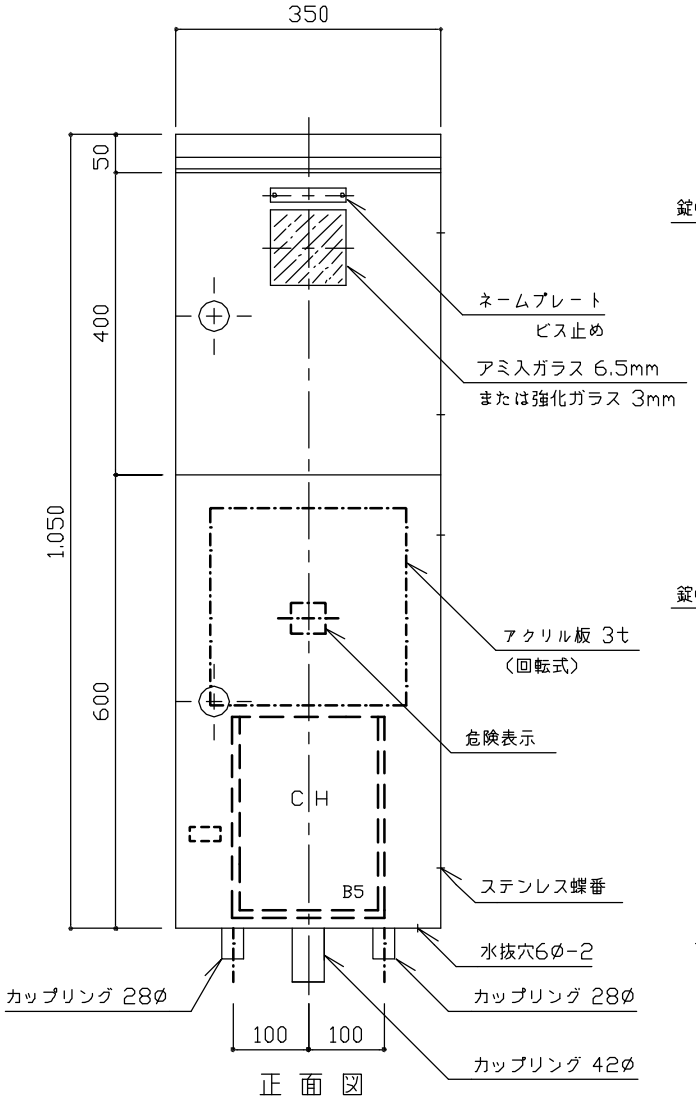


結 線 図

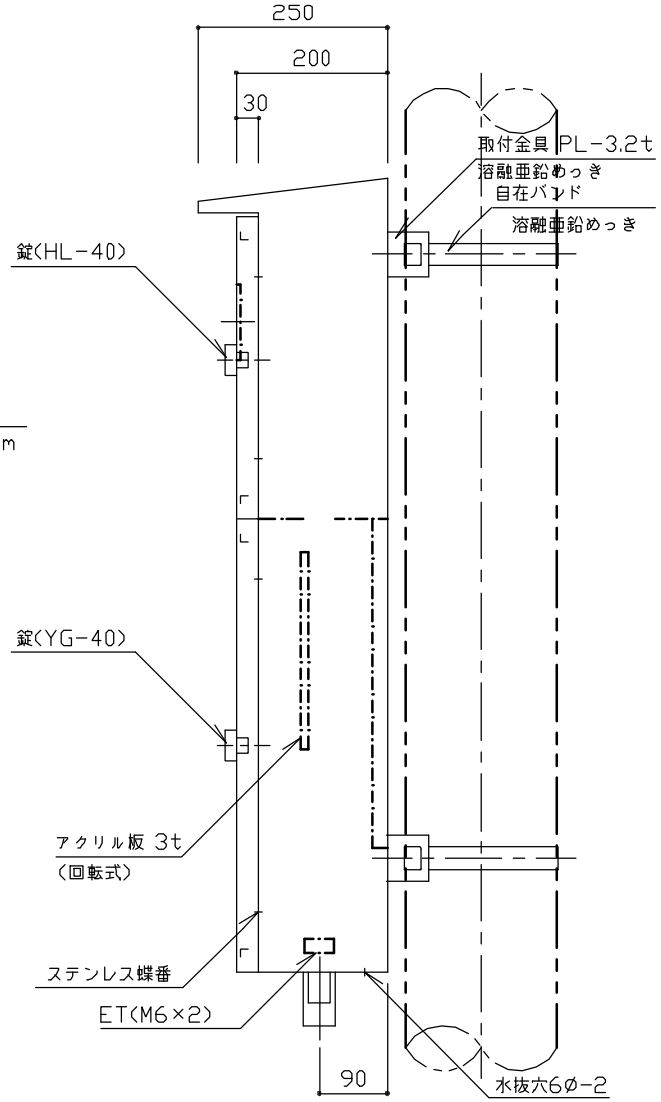
特記	◦CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きのうえ、色別ビニルテープ巻きとする。 ◦エントランスキャップは引込ケーブル通線後にコーキングする。 ◦引込柱内のFEPの管口はコーキングする。 ◦盤内のケーブルには行き先表示札を付ける。 ◦接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。	**メーター分電盤 (2回路) [鋼管ポール]**	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		BM-DT	



正 面 図

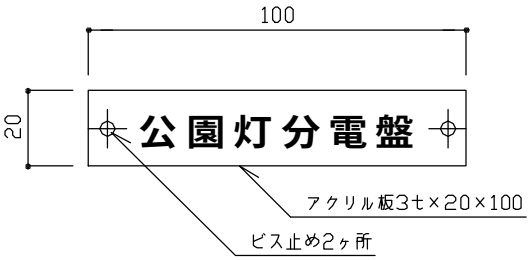


正 面 図

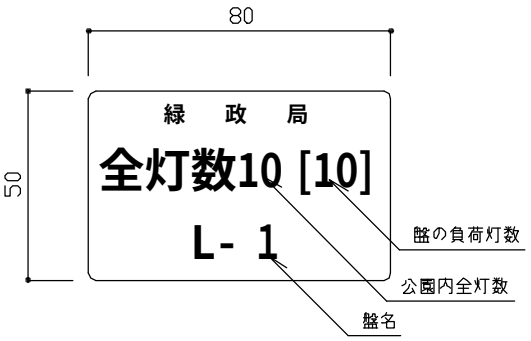


側 面 図

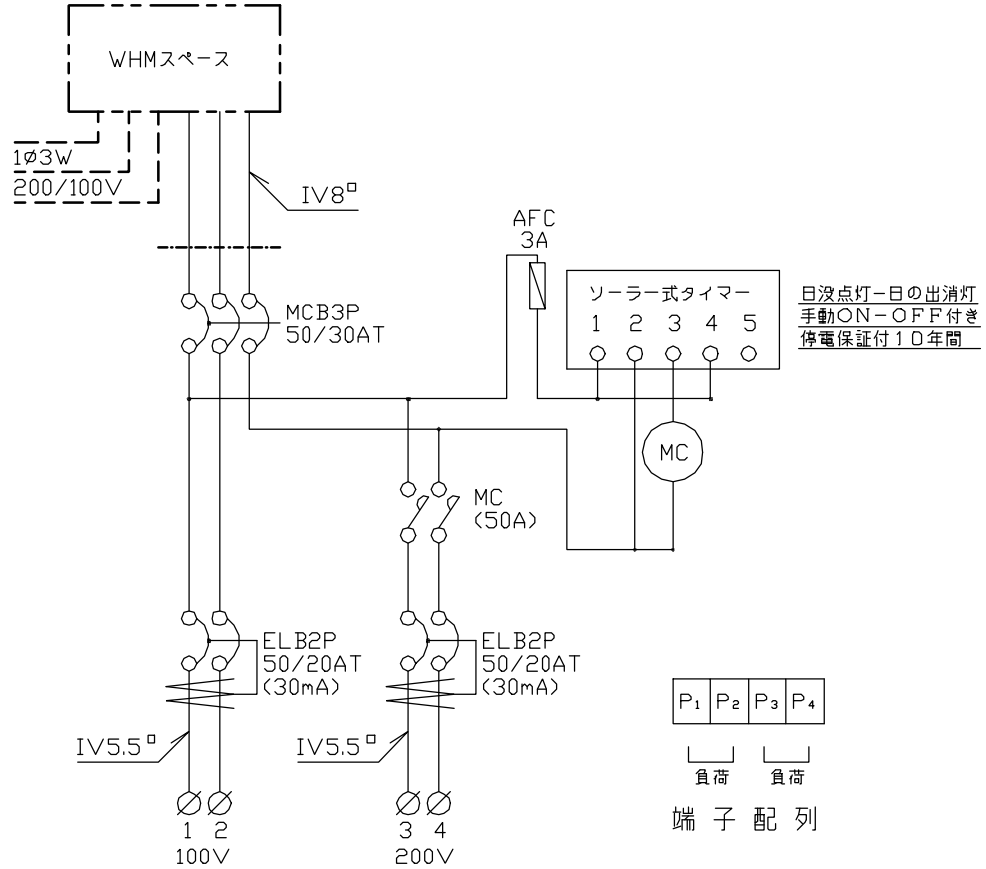
特記	◦分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2(ブラウン)、内面 2.5YR 6/13(205)とする。 ◦ターミナルはケーブル(SV 5.5□または SV 8□)に相当する大きさのものを使用する。 ◦自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ◦蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする。 ◦同等品以上とする。	**トイレ用メーター分電盤(2回路)**	
		縮尺 1/10	**TBM-AT**
		日付 H14.4	



ネームプレート詳細図1/2

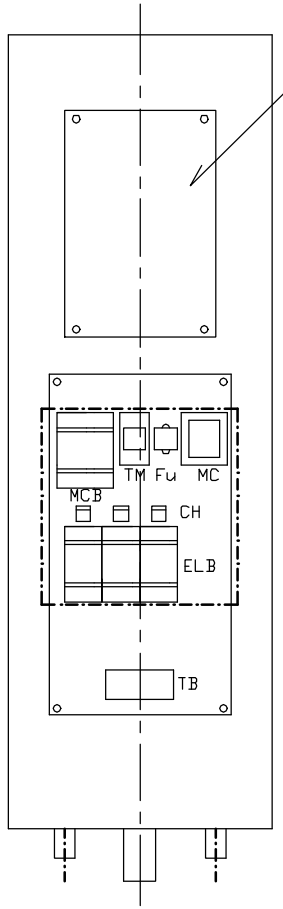


ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）

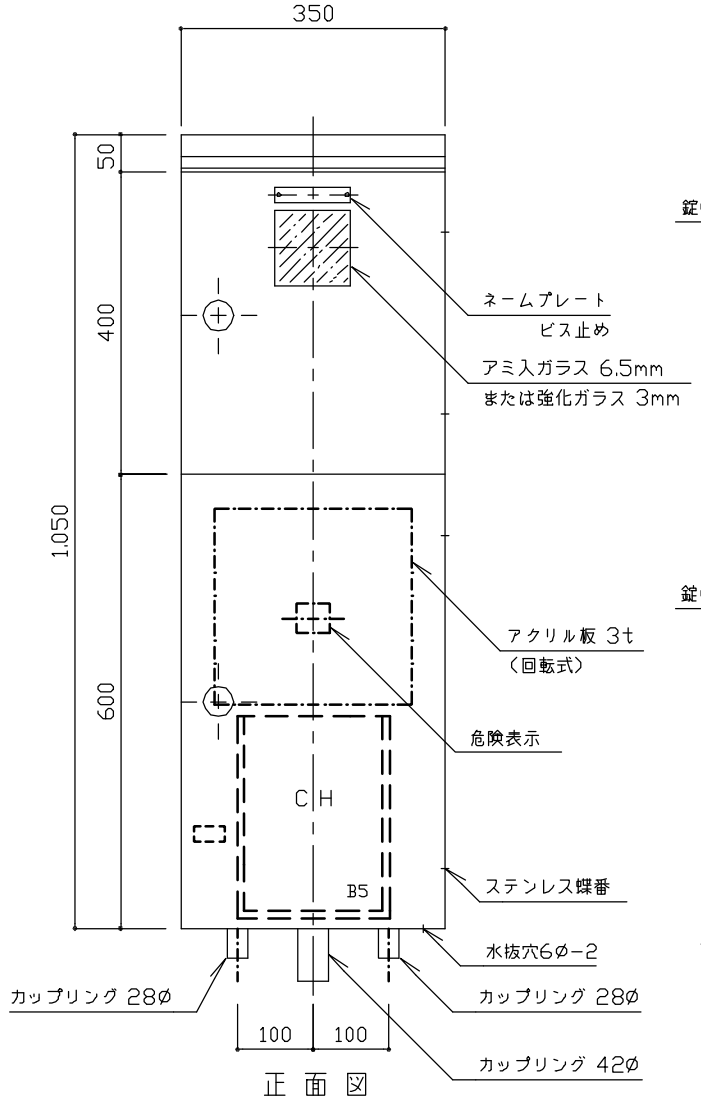


結線図　　便所　　園内灯1

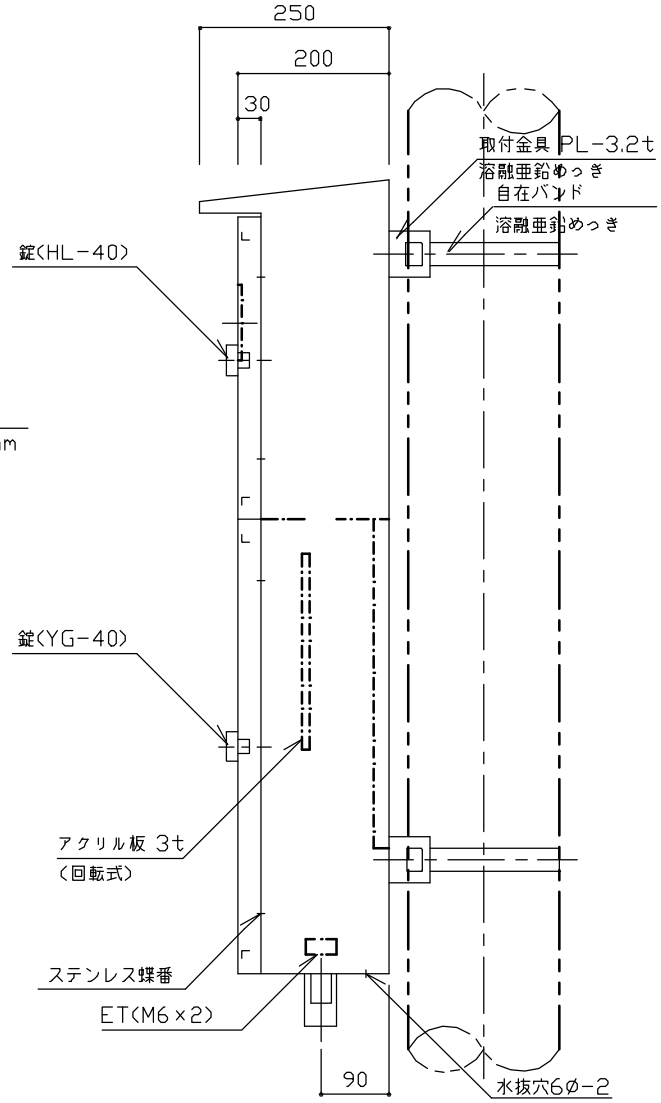
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	トイレ用メーター分電盤（2回路）		
		縮尺	図示	TBM-AT
		日付	H14.4	



正 面 図

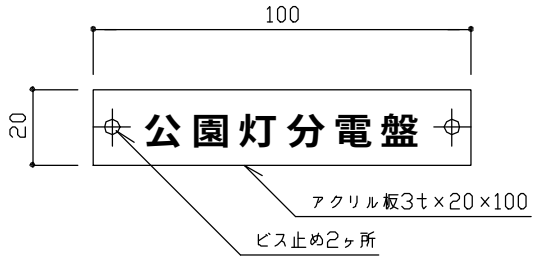


正 面 図

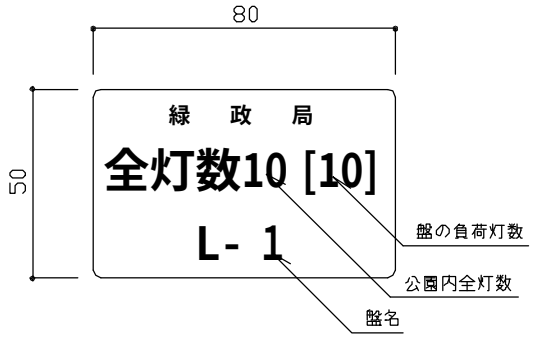


側 面 図

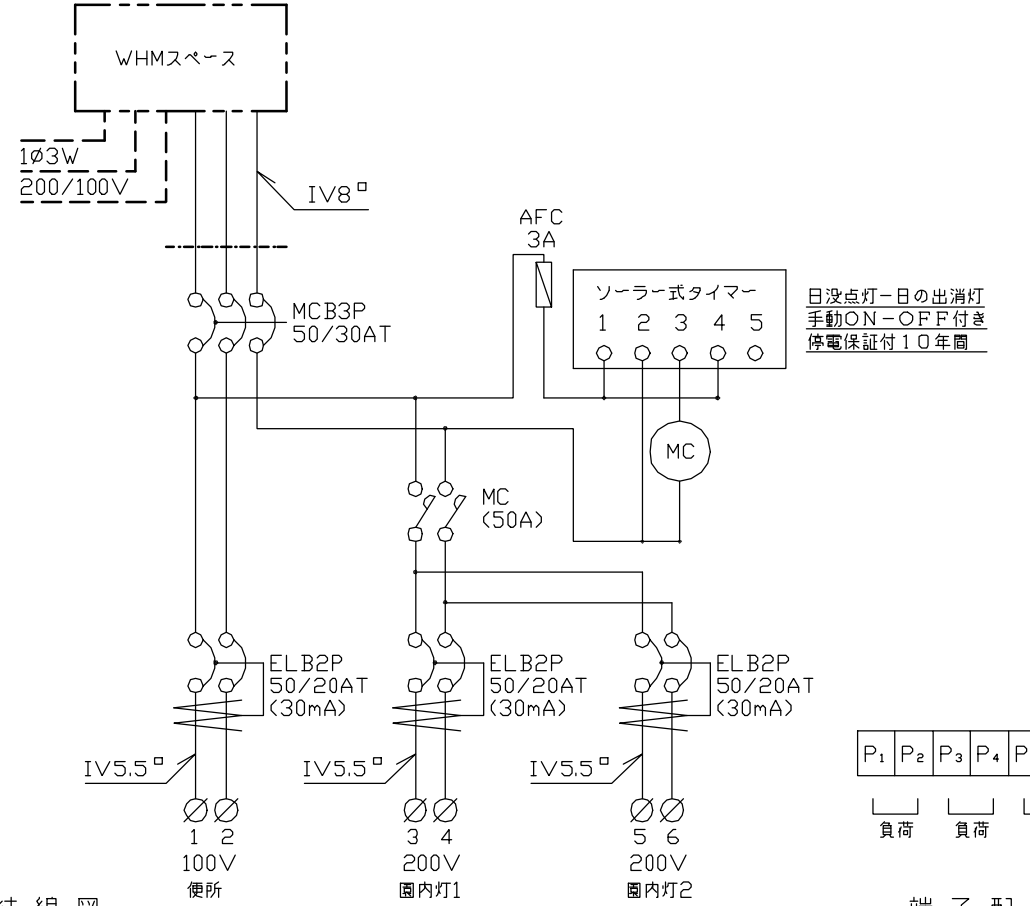
特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2（ブラウン）、内面 2.5YR 6/13（ 205 ）とする。 ・ターミナルはケーブル（ SV 5.5□または SV 8□ ）に相当する大きさのものを使用する。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする。 ・同等品以上とする。	**トイレ用メーター分電盤（3回路）**	
		縮尺 1/10	**TBM-BT**
		日付 H14.4	



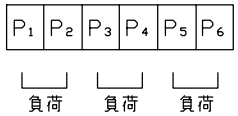
ネームプレート詳細図1/2



ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）

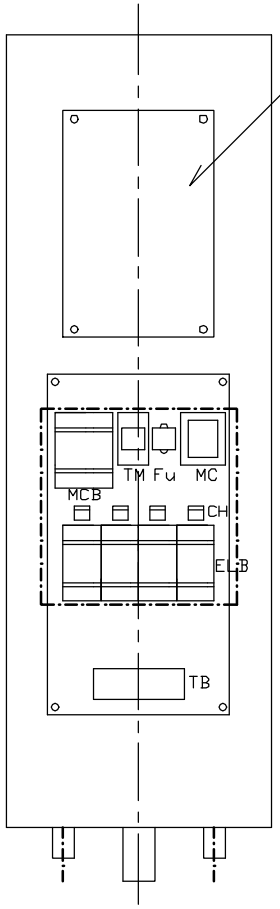


結線図

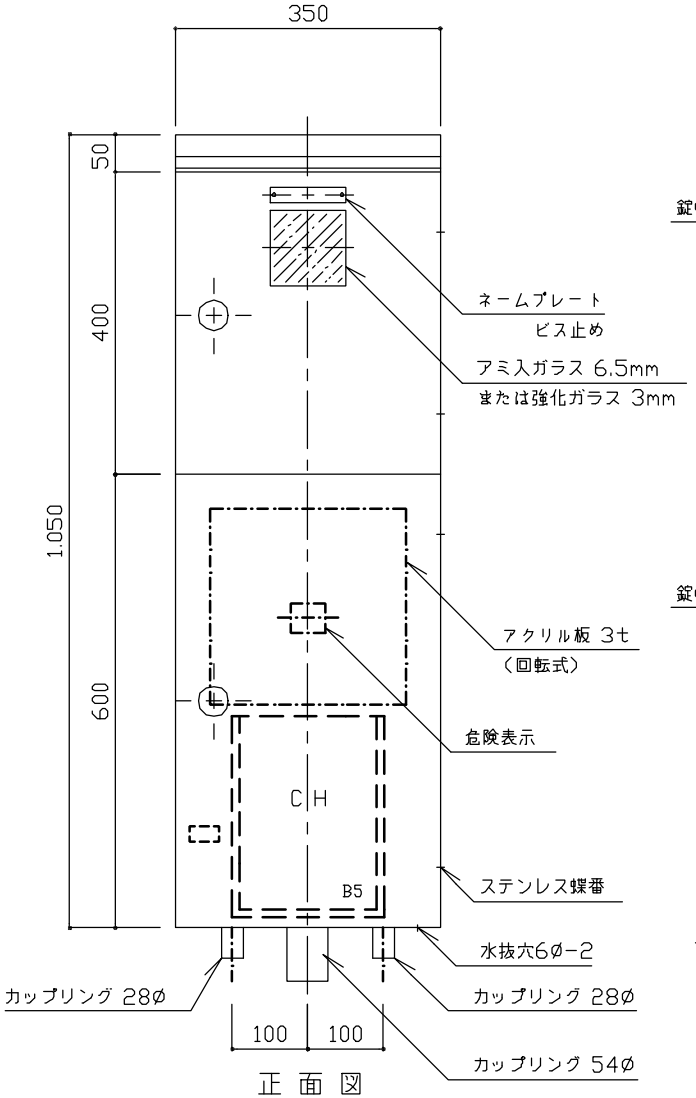


端子配列

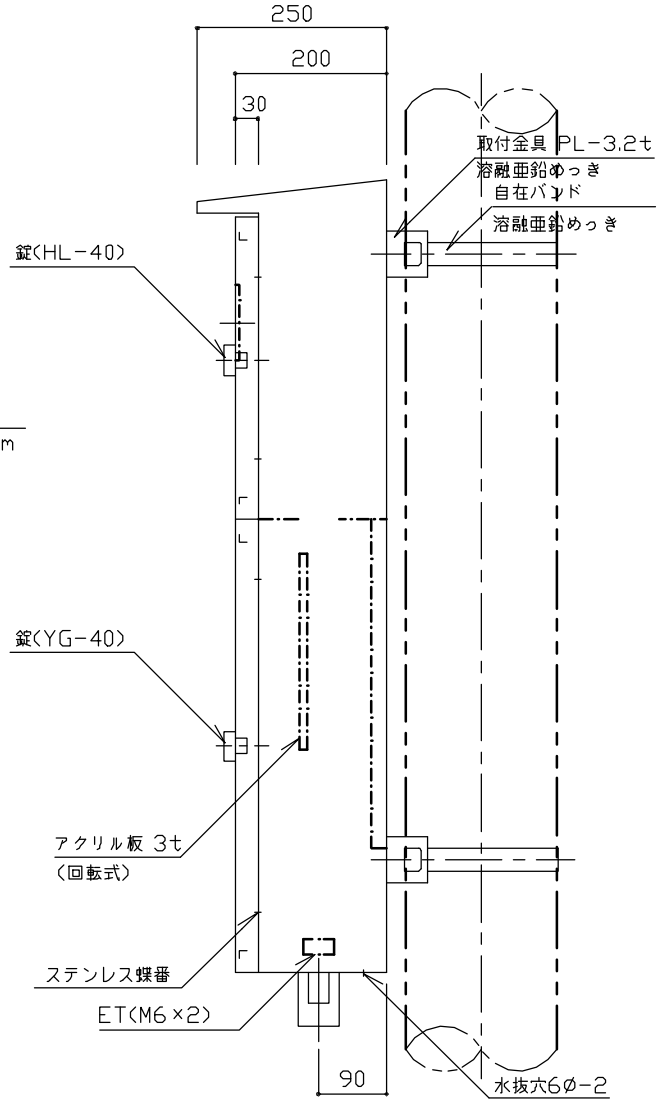
特記	・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	トイレ用メーター分電盤（3回路）		
		縮尺	図示	TBM-BT
		日付	H14.4	



正 面 図

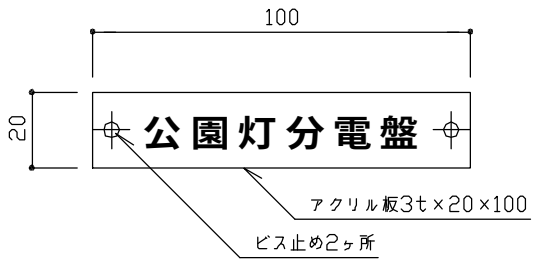


正 面 図

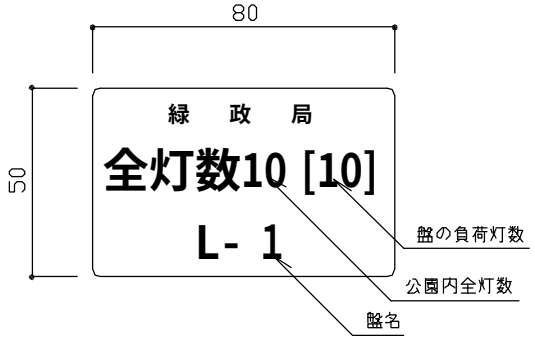


側 面 図

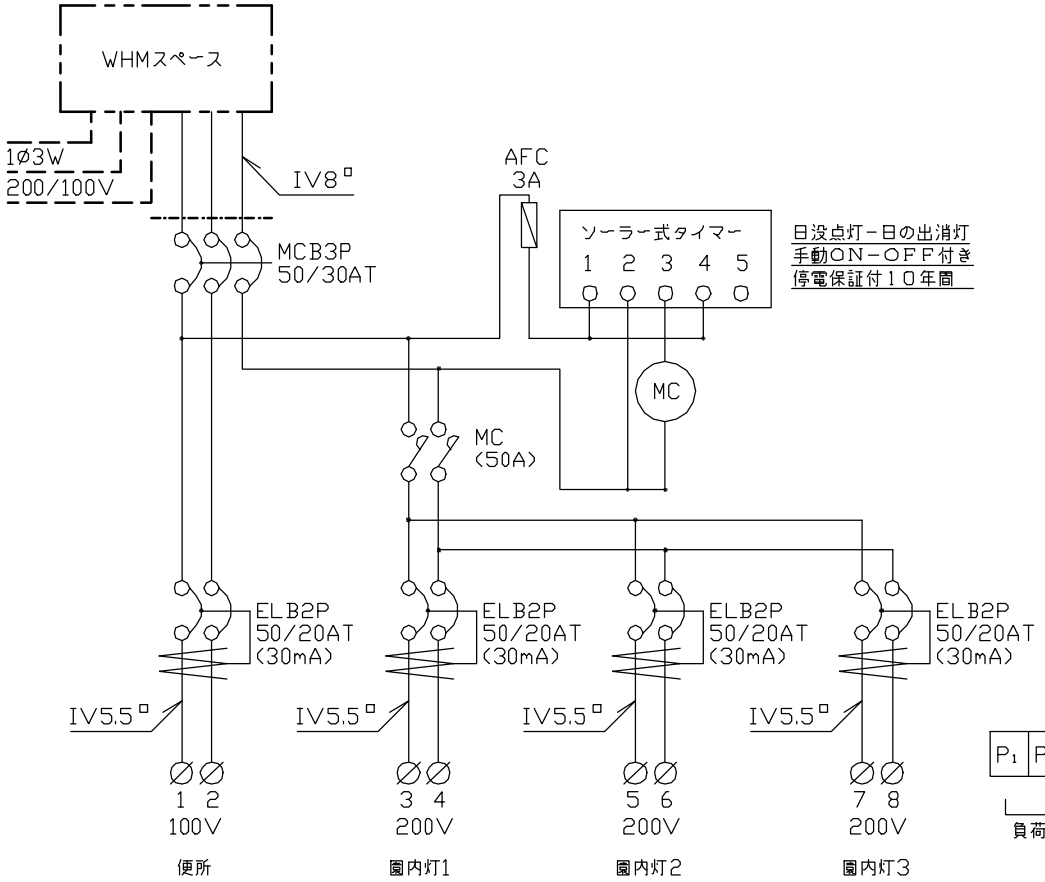
特記	・分電盤の外箱は PL-2.3、亜鉛溶射のうえメラミン樹脂焼付塗装仕上げ品とする。色は表面 7.5YR 2/2（ブラウン）、内面 2.5YR 6/13（ 205 ）とする。 ・ターミナルはケーブル（ SV 5.5□または SV 8□ ）に相当する大きさのものを使用する。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・蓋の裏側に、B5のカードホルダーが固定できる構造とする。 ・同等品以上とする。	**トイレ用メーター分電盤（4回路）**	
		縮尺 1/10	**TBM-CT**
		日付 H14.4	



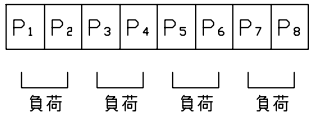
ネームプレート詳細図1/2



ステッカー詳細図1/2
（数字は記入例）

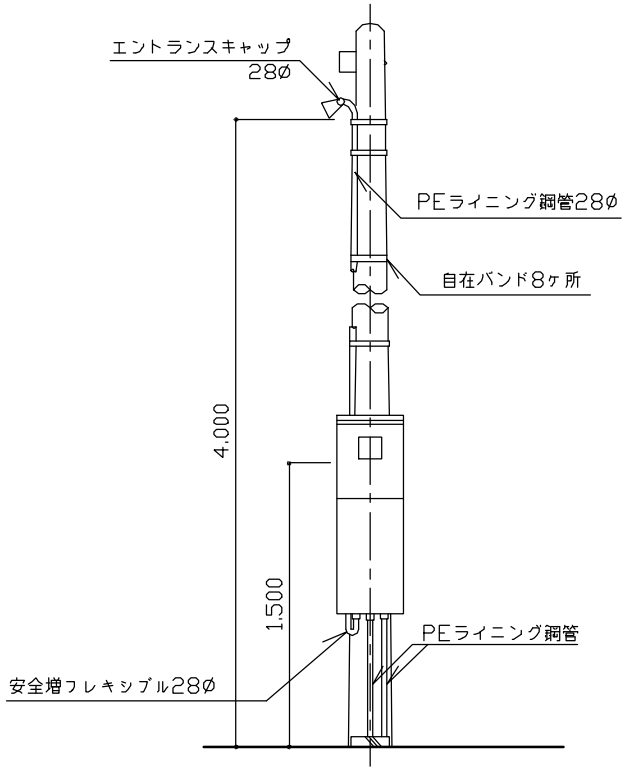


結 線 図

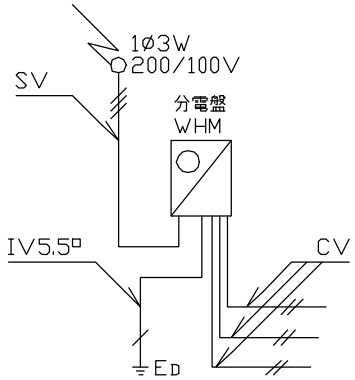


端 子 配 列

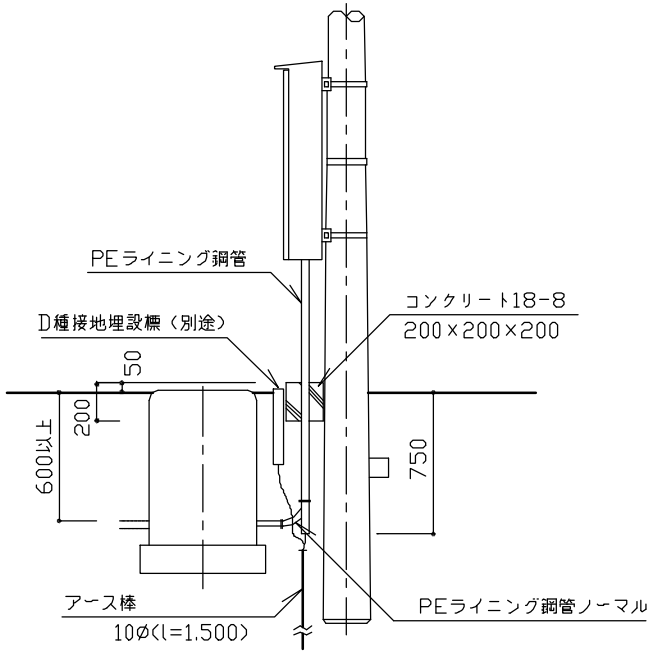
特記	◦ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とする。	トイレ用メーター分電盤（4回路）	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		TBM-CT	



正 面 図



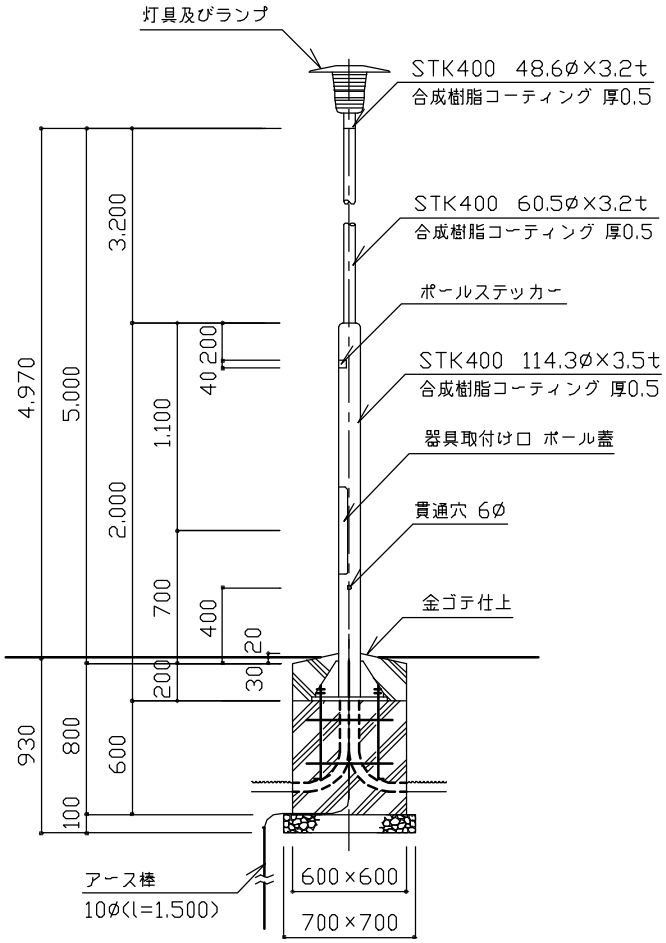
結 線 図（複数回路）



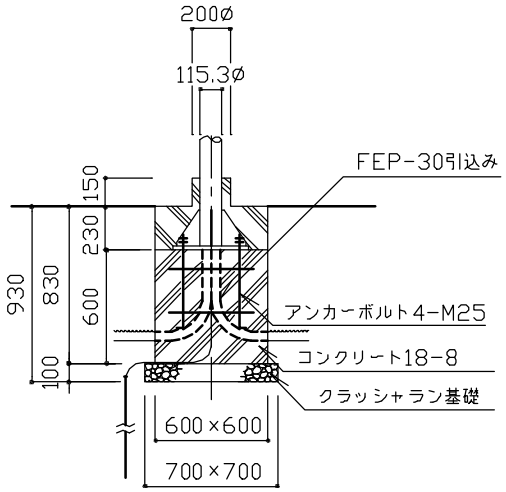
側 面 図（複数回路）

取付け詳細図1/40

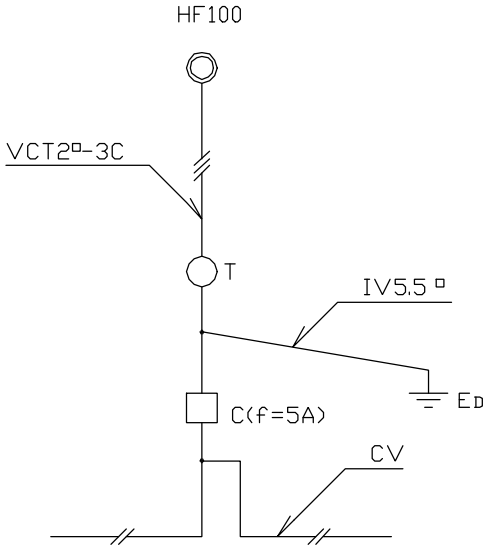
特記	・CV ケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きのうえ、色別ビニルテープ巻きとする。 ・自在バンドのボルトは適正な長さとし、必要以上の余長は切る。 ・安全増フレキシブルの金具部分は塗装する。色は黒とする。 ・エントランスキャップは引込ケーブル通線後にコーキングする。 ・盤内のケーブルには行き先表示札を付ける。 ・接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。	**トイレ用メーター分電盤**		
		縮尺	図 示	**TBM-AT** **TBM-BT** **TBM-CT**
		日付	H14.4	



立面図1/40
HL-A100H基礎

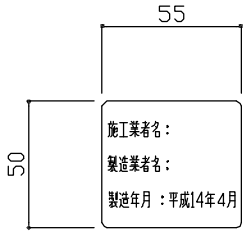


断面図1/40
HL-A100S基礎

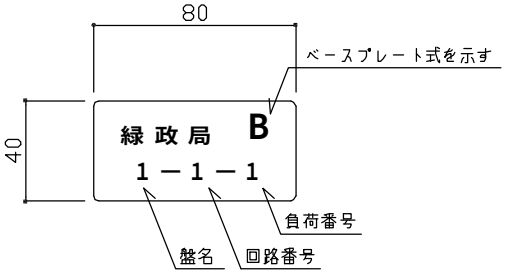


結 線 図

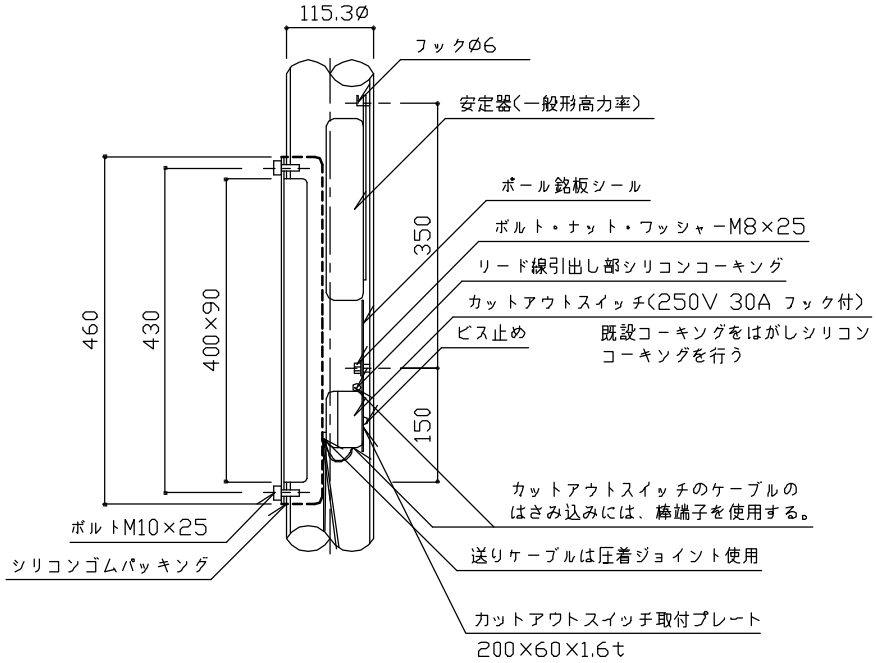
特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ◦照明ポールは溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管ポール（外面は、合成樹脂コーティング）とする。また合成樹脂の色は7.5YR 2/2（ブラウン）とする。 ◦CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きの上、色別ビニルテープ巻きとする。 ◦CVケーブルは灯柱内に20cmの余長を取って引きいれ、電線管とケーブルの隙間部分にコーキングする。 ◦同等品以上とする。 ◦接地埋設標はEH−BまたはEH−Cとし、別途計上とする。	**照明灯（丸型）**	
		縮尺 図 示	**HL-A100H HL-A100S**
		日付 H15.4	



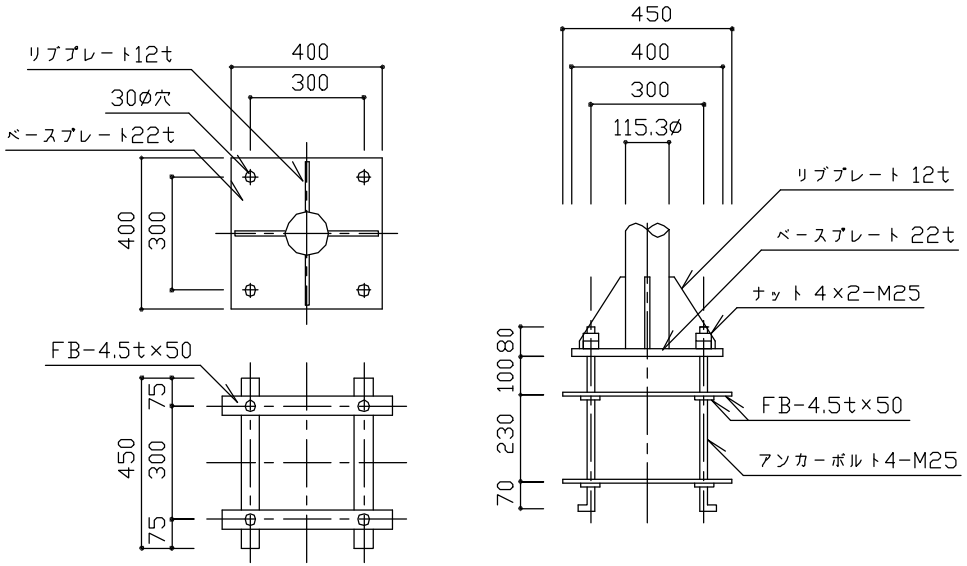
ポール銘板シール参考図1/3
（数字は記入例）



ポールステッカー詳細図1/3
（数字は記入例）

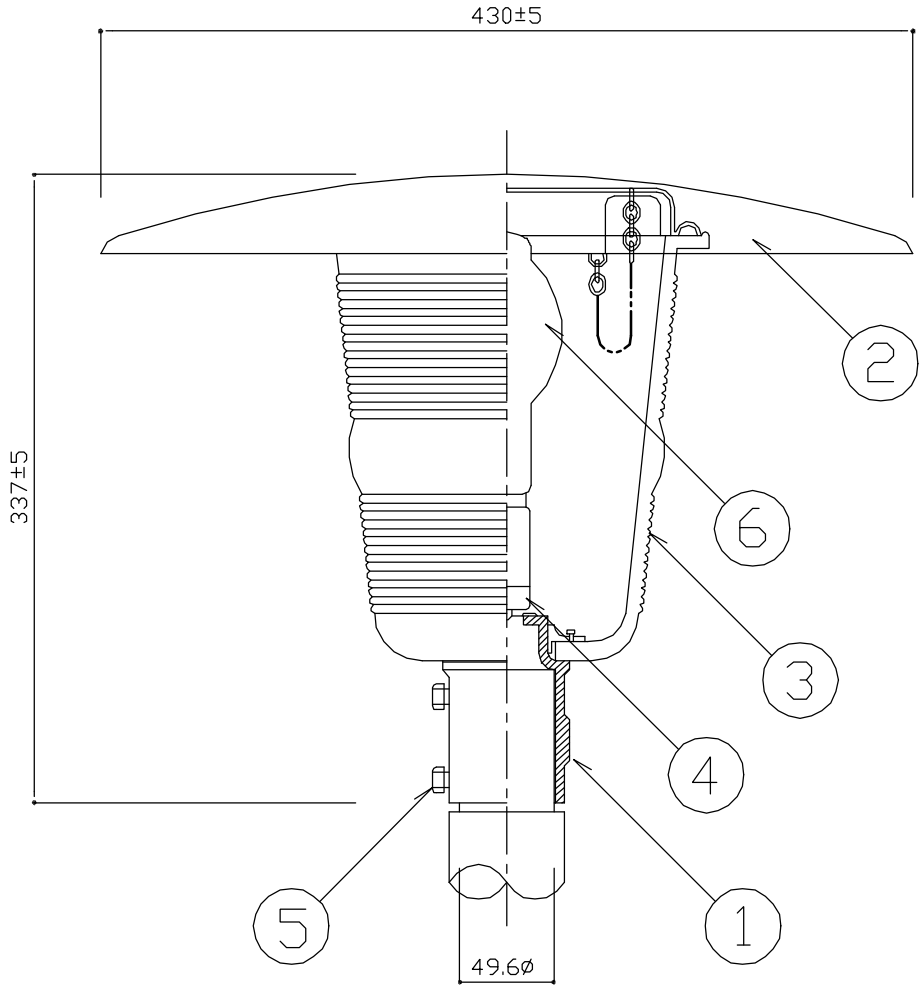


器具取付け口詳細図1/10



ベースプレート詳細図1/20

特記	・ヒューズは、つめ付きのものを使用する。 ・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。 ・同等品以上とする。 ・銘板シール・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とし、銘板シールはカットアウトスイッチ取付プレートの上部に貼付する。	照明灯（丸型）	
		縮尺	図 示
		日付	H15.4
		HL-A100H HL-A100S	



灯具及びランプ詳細図1/4

仕上	メラミン樹脂焼付塗装	指定色	7.5YR2/2(ブラウン)
		重　量	16.5kg

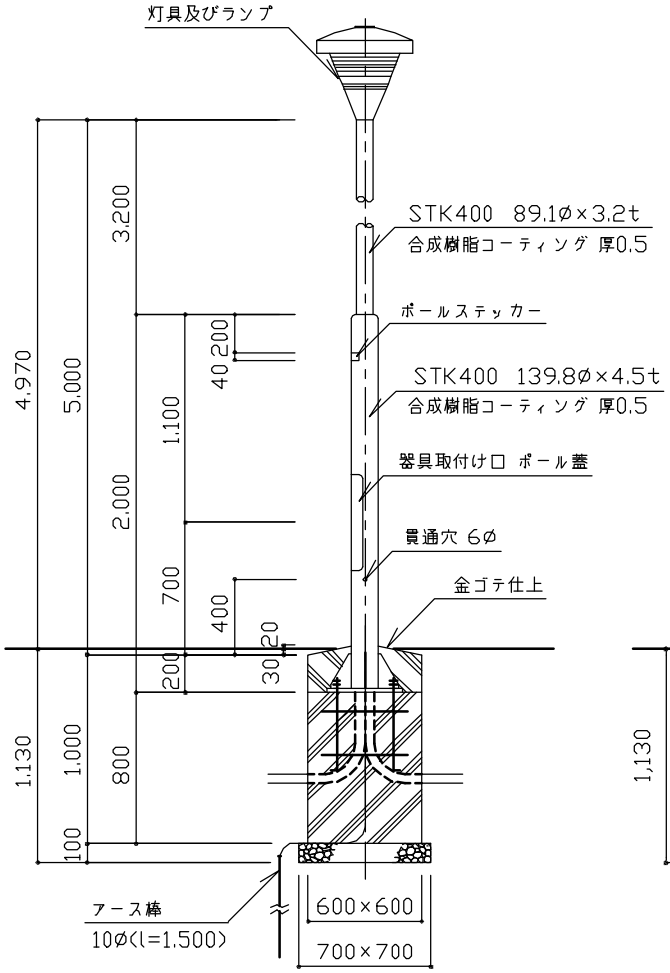
［灯具及びランプ部］部　材　表

部番	名　称	数量	材　質	備　考
1	ベ　ー　ス	1	アルミダイキャスト	2.5G　5.5/6
2	セ　ー　ド	1	鋼板0.6t	2.5G　5.5/6 内面白色塗装
3	グ　ロ　ー　ブ	1	硬質ガラス	2方向型
4	ソ　ケ　ッ　ト	1	磁　　器	E26
5	取　付　ボ　ル　ト	2	ステンレス	M8×16
6	ラ　ン　プ	1	HF100X	

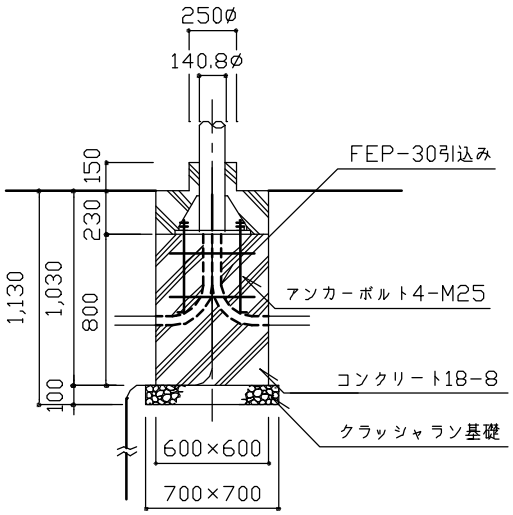
特記

・同等品以上とする。

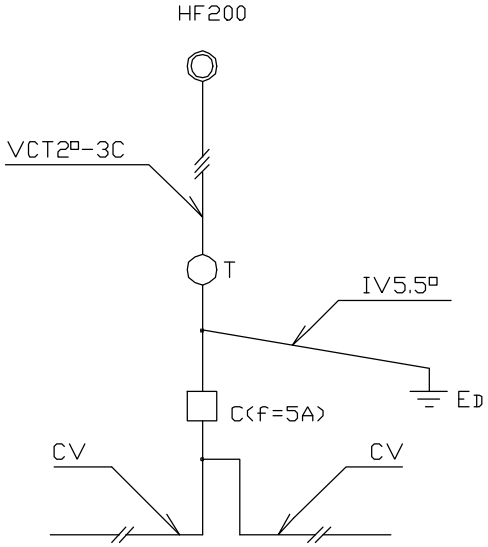
照明灯（丸型）		
縮尺	図　示	HL-A100H HL-A100S
日付	H14.4	



立面図1/40
HL-A200H基礎

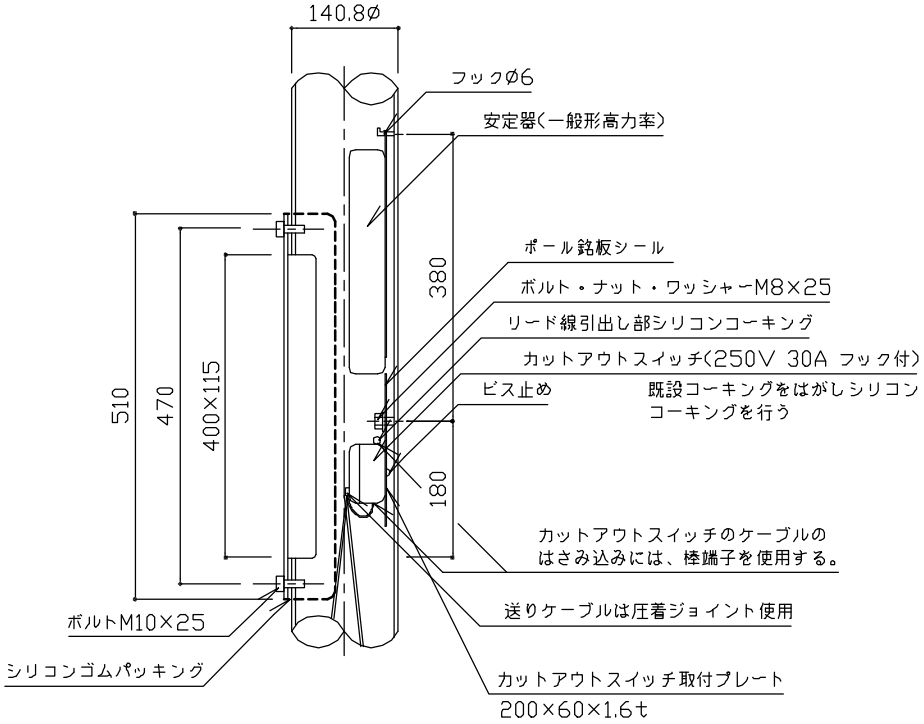


断面図1/40
HL-A200S基礎

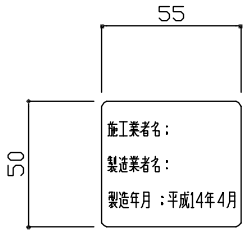


結線図

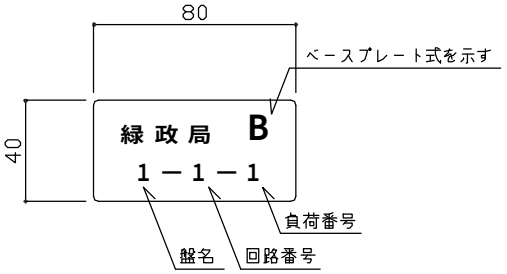
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・照明ポールは溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管ポール（外面は、合成樹脂コーティング）とする。また合成樹脂の色は7.5YR 2/2（ブラウン）とする。 ・CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きの上、色別ビニルテープ巻きとする。 ・CVケーブルは灯柱内に20cmの余長を取って引きいれ、電線管とケーブルの隙間部分にコーキングする。 ・同等品以上とする。 ・接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。	**照明灯（丸型）**	
		縮尺 図示	**HL-A200H HL-A200S**
		日付 H15.4	



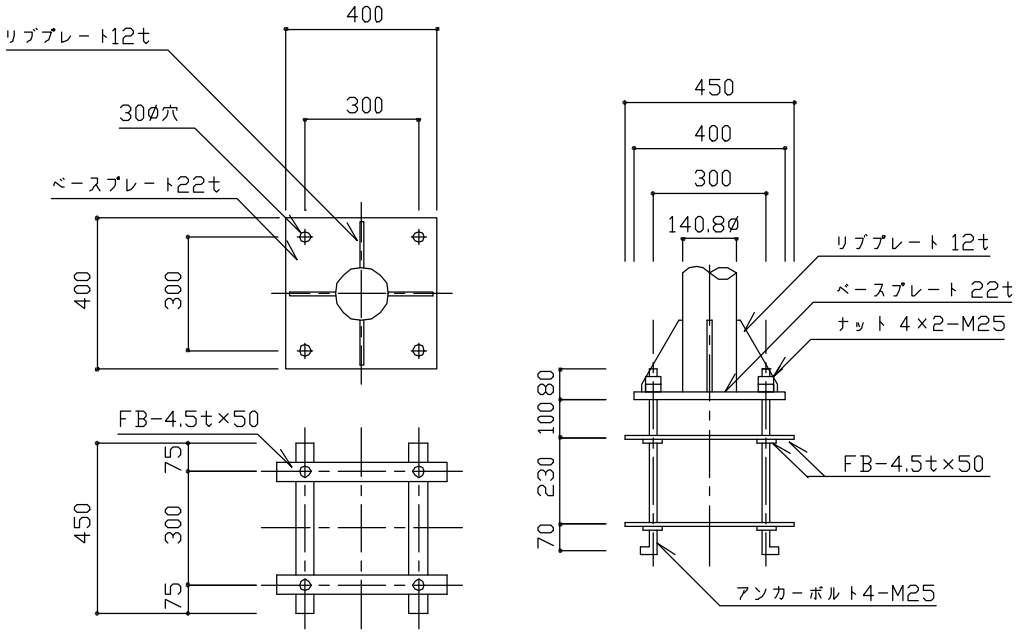
器具取付け口詳細図1/10



ポール銘板シール参考図1/3
(数字は記入例)

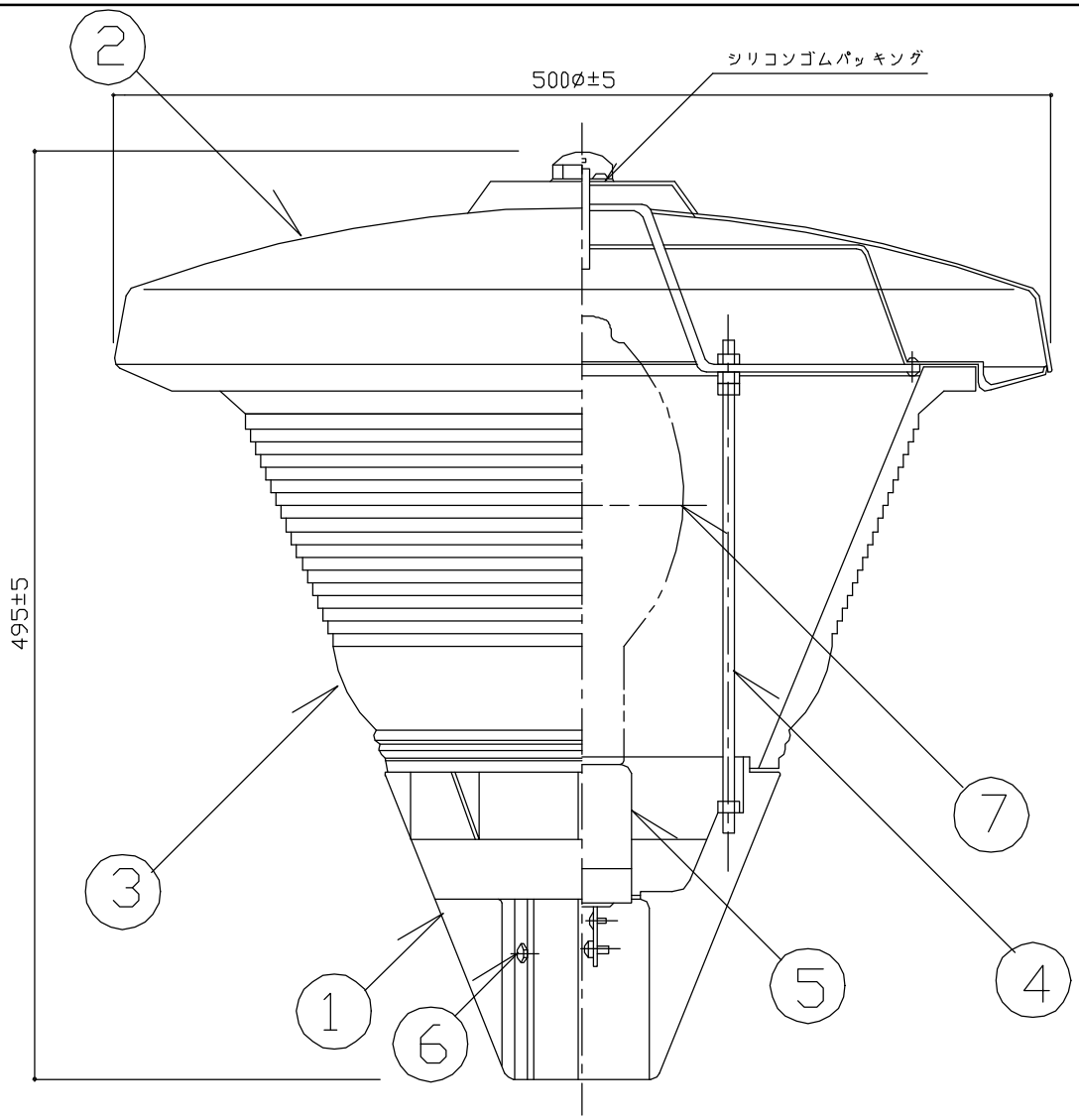


ポールステッカー詳細図1/3
(数字は記入例)



ベースプレート詳細図1/20

特記	・ヒューズは、つめ付きのものを使用する。 ・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。 ・同等品以上とする。 ・銘板シール・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール(つや消し)とし、銘板シールはカットアウトスイッチ取付プレートの上部に貼付する。	照明灯(丸型)		
		縮尺	図 示	HL-A200H HL-A200S
		日付	H15.4	

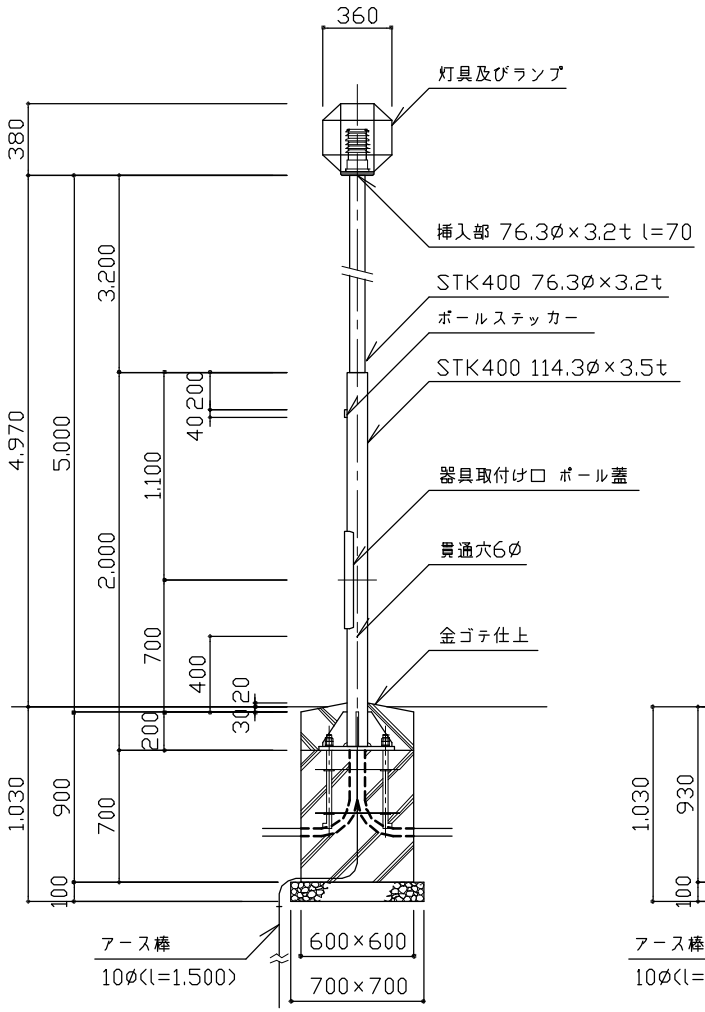


仕上	メラミン樹脂焼付塗装	指定色	7.5YR2/2(ブラウン)
		重　量	16.5kg

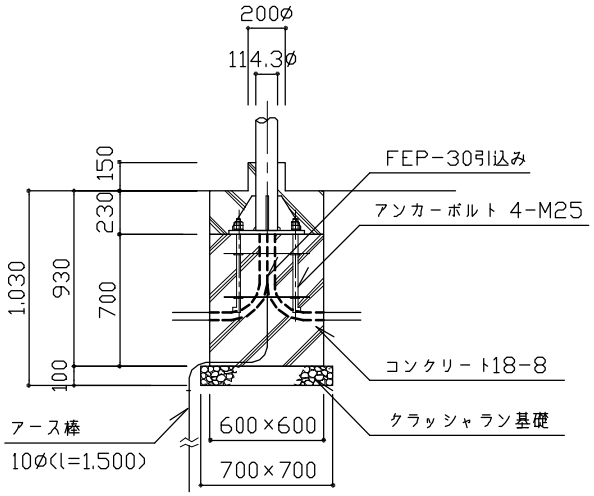
[灯具及びランプ部] 部　材　表

部番	名　称	数量	材　質	備　考
1	ベ　ー　ス	1	アルミダイキャスト	2.5G　5.5/6
2	セ　ー　ド	1	冷間圧延鋼版	2.5G　5.5/6
3	グ　ロ　ー　ブ	1	硬質ガラス	全方向型
4	支　持　棒	2	軟　鋼　線　材	
5	ソ　ケ　ッ　ト	1	磁　　器	E39
6	取付ボルト	4	ステンレス	M8×16
7	ラ　ン　プ	1	HF200X	

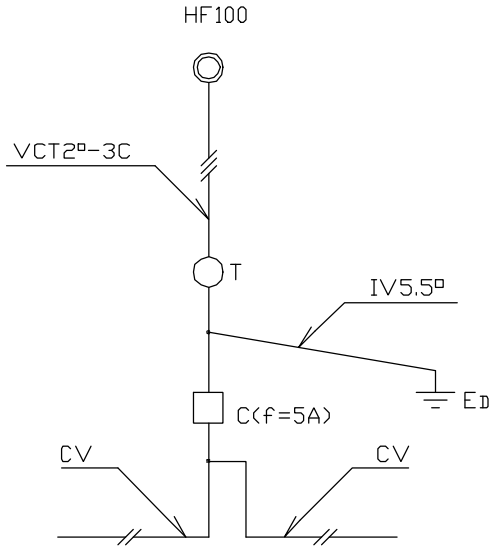
特記	・同等品以上とする。	照明灯(丸型)	
		縮尺 1/4	HL-A200H HL-A200S
		日付 H14.4	



立面図 1/40
HL-B100H基礎



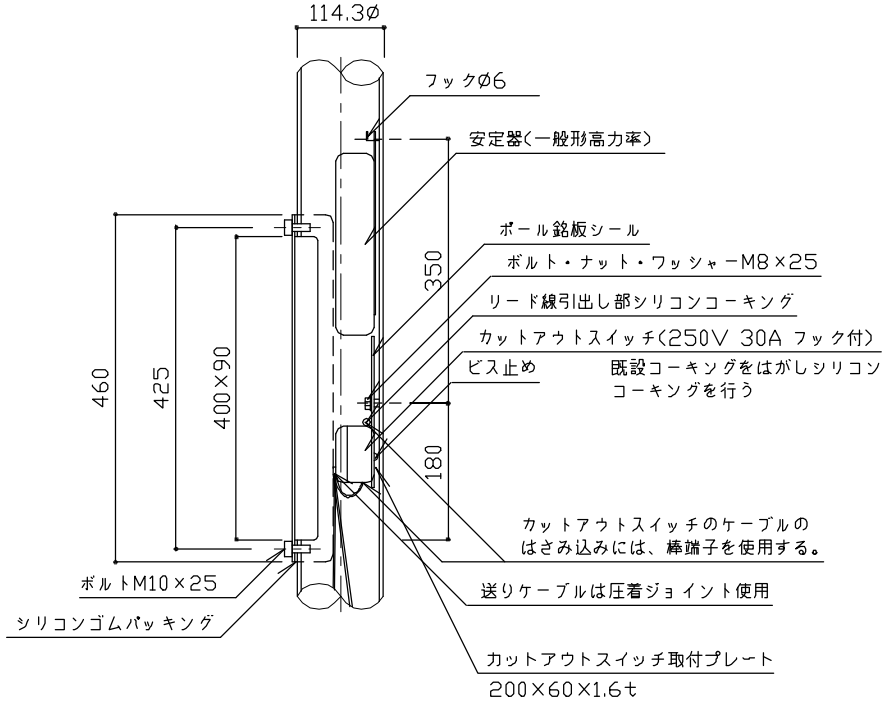
断面図 1/40
HL-B100S基礎



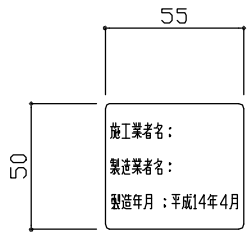
結 線 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・照明ポールは溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管ポール（外面は、ステンレスフレーク入り合成樹脂塗装）とする。色は7.5YR2/2.2（ブラウン）とする。 ・CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きの上、色別ビニルテープ巻きとする。 ・CVケーブルは灯柱内に20cmの余長を取って引きいれ、電線管とケーブルの隙間部分にコーキングする。 ・同等品以上とする。 ・接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。

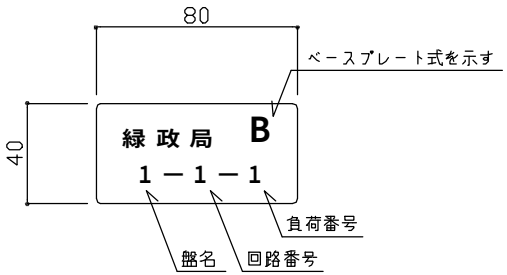
照明灯（角型）		
縮尺	図 示	HL-B100H HL-B100S
日付	H14.4	



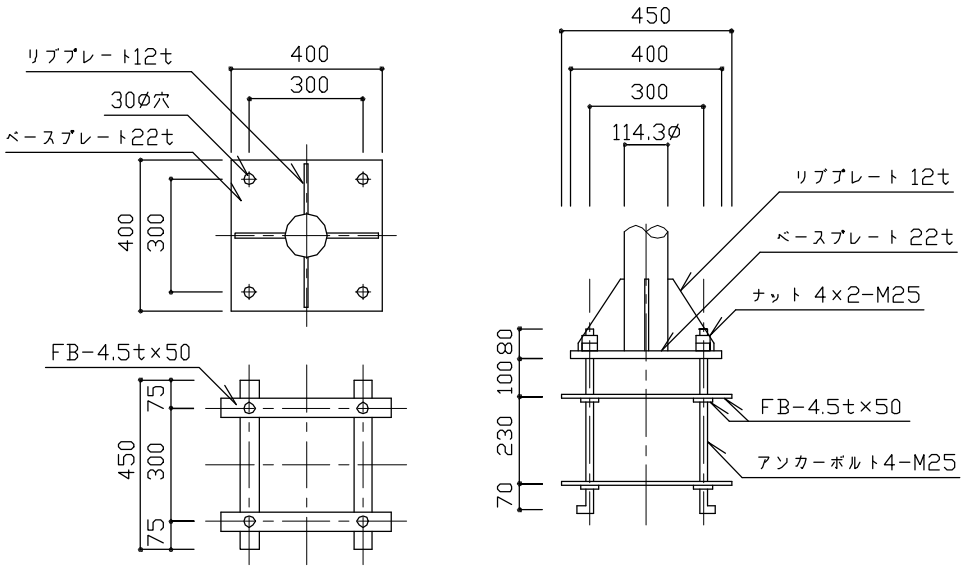
器具取付け口詳細図1/10



ポール銘板シール参考図1/3
(数字は記入例)

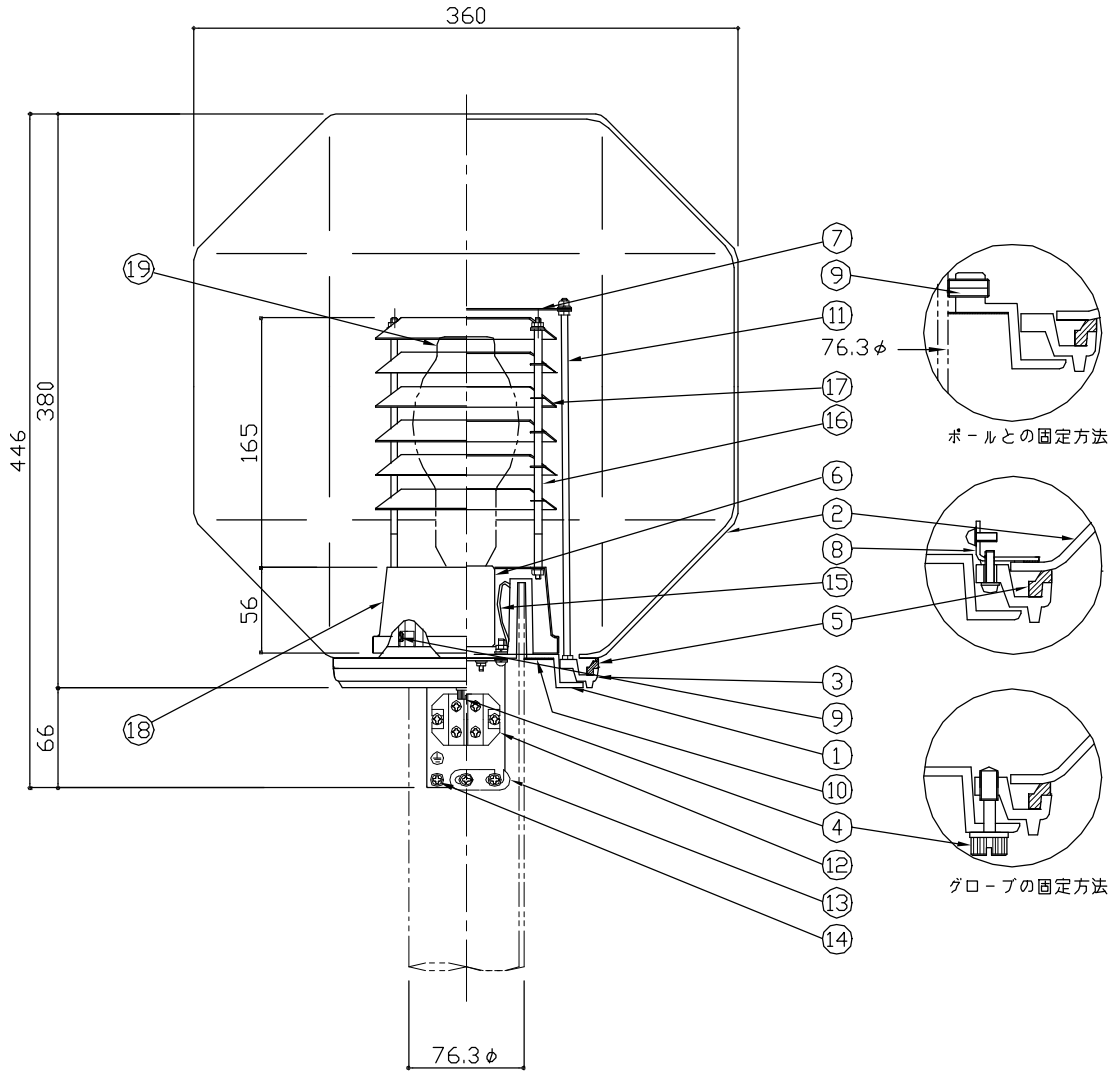


ポールステッカー詳細図1/3
(数字は記入例)



ベースプレート詳細図1/20

特記	・ヒューズは、つめ付きのものを使用する。 ・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。 ・同等品以上とする。 ・銘板シール・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール(つや消し)とし、銘板シールはカットアウトスイッチ取付プレートの上部に貼付する。	照明灯(角型)		
		縮尺	図 示	HL-B100H HL-B100S
		日付	H15.4	

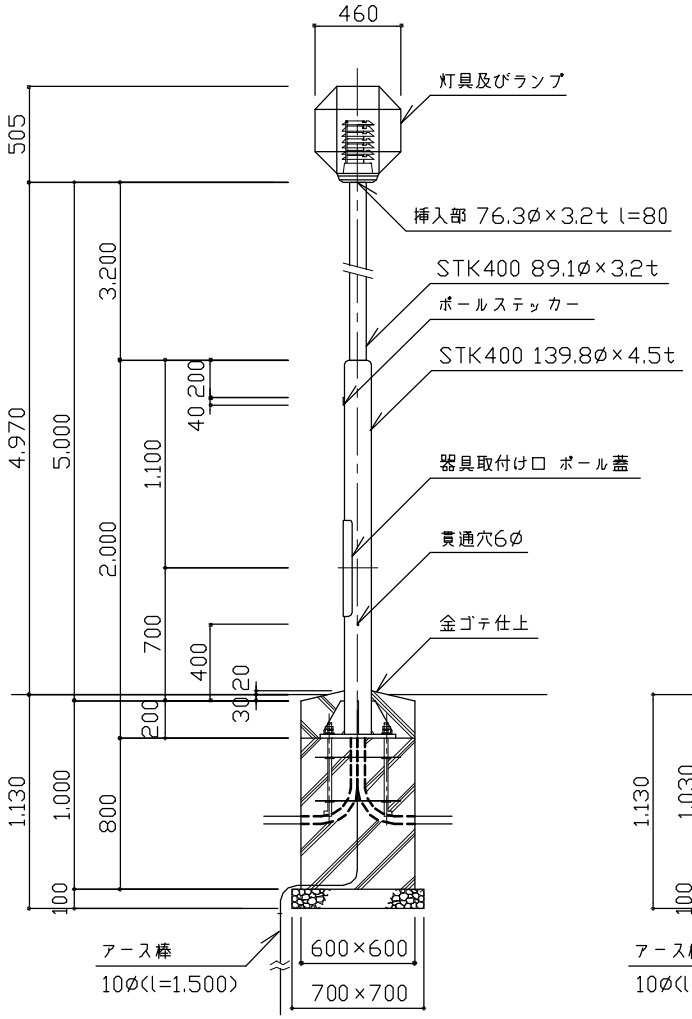


仕上	アクリル樹脂焼付塗装	指定色	外面：7.5YR2/2.2（ブラウン）
		重量	3.4kg

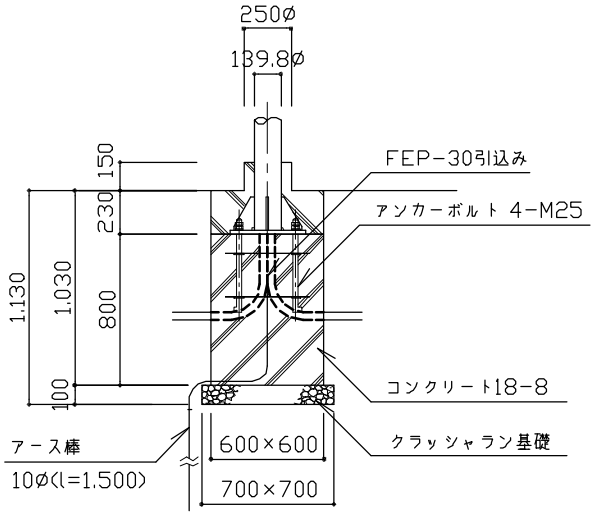
［灯具及びランプ部］部　材　表

部番	部品名	材質・材厚	数量	備　考
1	ホルダー	アルミダイカスト	1	指定色塗装
2	グローブ	ポリカボネート	1	クリア
3	グローブ枠	アルミダイカスト	1	指定色塗装
4	グローブ止めネジ	ステンレス	2	M6X23
5	グローブパッキン	シリコンゴム	1	黒色
6	ソケット	磁器	1	E26
7	遮熱板	アルミ板	1	
8	グローブ押え金具	ステンレス t1.0	3	
9	ホルダー固定ネジ	ステンレス	3	M6（六角穴付）
10	パッキン	シリコンゴム	1	
11	支柱	ステンレス	2	両端M4ネジ切り
12	端子台	磁器	1	2P
13	線押え	ファイバー	2	
14	アースねじ	ステンレス	1	M4
15	ワイヤー	ステンレス φ1.5	1	
16	スペーサ	軟鋼線材	14	白色塗装
17	ルーバ	鋼板 t0.6	6	白色塗装
18	台座	鋼板 t1.0	1	白色塗装
19	水銀ランプ	HF100X	1	

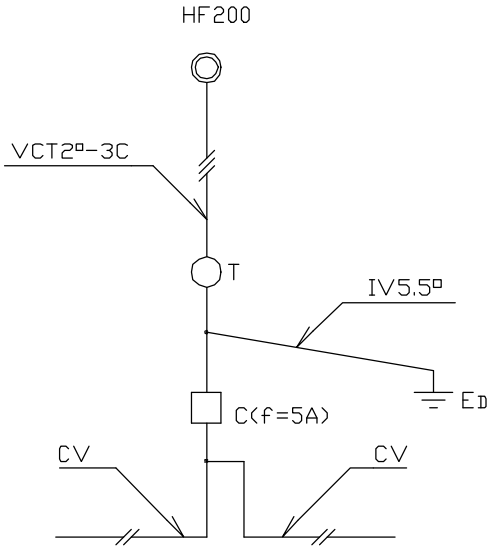
特記	・同等品以上とする。	照明灯（角型）	
		縮尺 1/5	HL-B100H HL-B100S
		日付 H14.4	



立面図 1/40
HL-B200H基礎

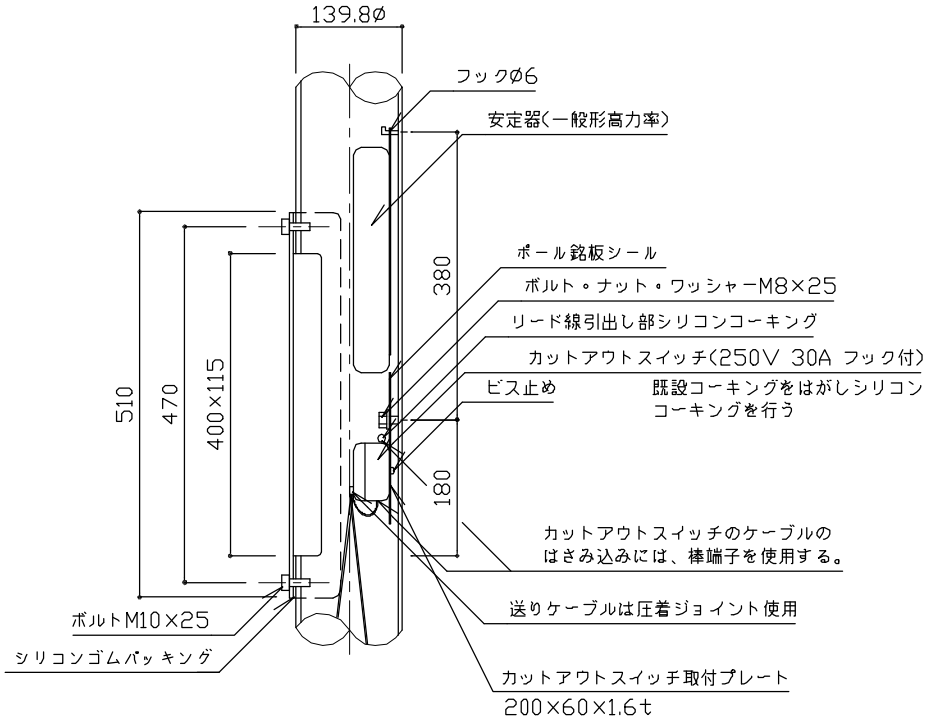


断面図 1/40
HL-B200S基礎

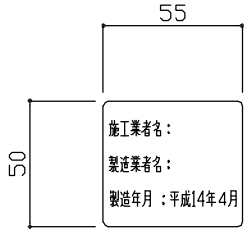


結 線 図

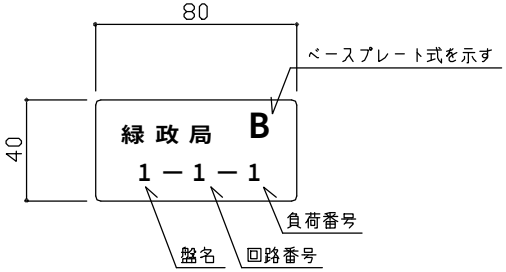
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・照明ポールは溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管ポール（外面は、ステンレスフレーク入り合成樹脂塗装）とする。色は7.5YR2/2.2（ブラウン）とする。 ・CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きの上、色別ビニルテープ巻きとする。 ・CVケーブルは灯柱内に20cmの余長を取って引きいれ、電線管とケーブルの隙間部分にコーキングする。 ・同等品以上とする。 ・接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。	**照明灯（角型）**	
		縮尺	図 示
		日付	H15.4
		HL-B200H HL-B200S	



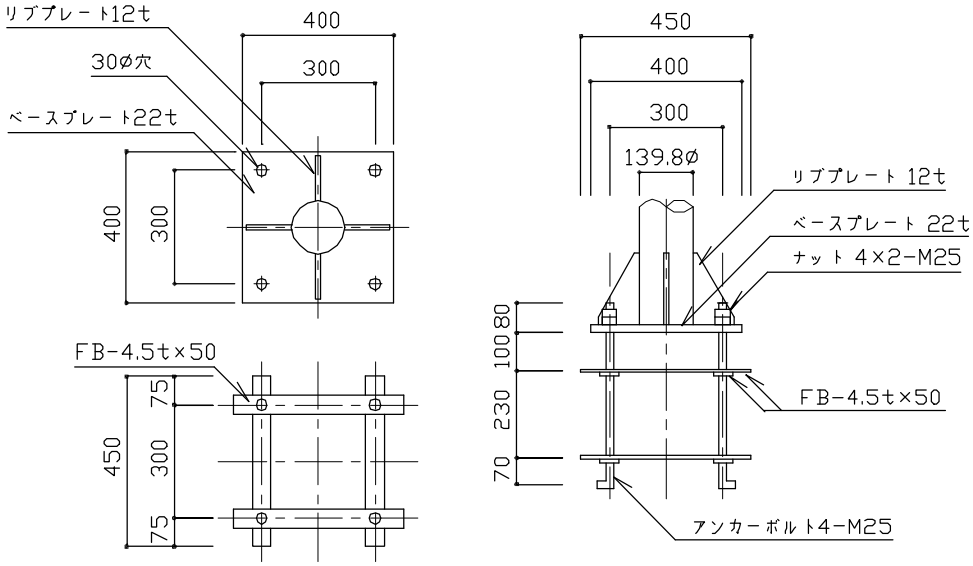
器具取付け口詳細図1/10



ポール銘板シール参考図1/3
(数字は記入例)

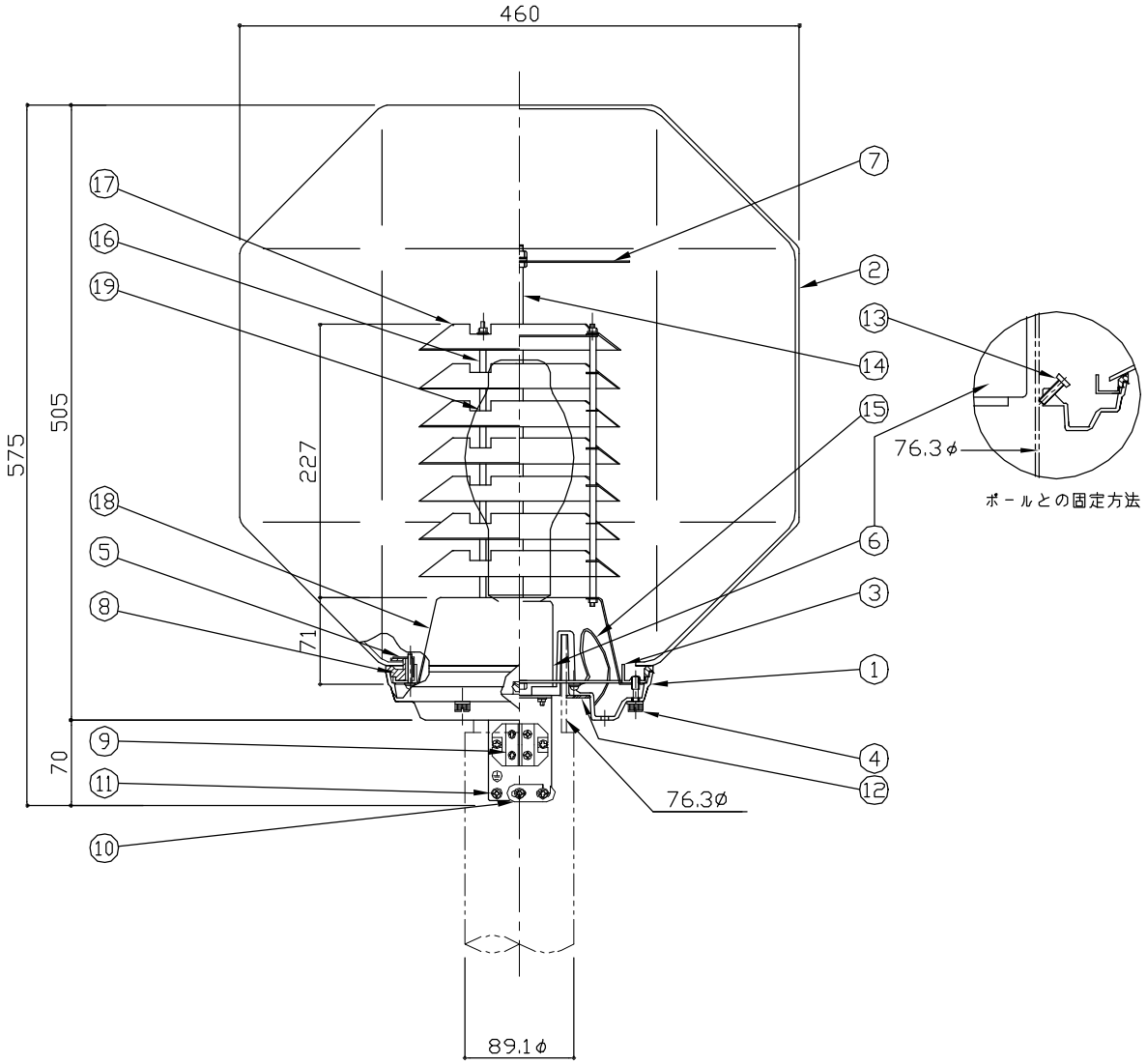


ポールステッカー詳細図1/3
(数字は記入例)



ベースプレート詳細図1/20

特記	・ヒューズは、つめ付きのものを使用する。 ・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。 ・同等品以上とする。 ・銘板シール・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール(つや消し)とし、銘板シールはカットアウトスイッチ取付プレートの上部に貼付する。	照明灯(角型)		
		縮尺	図 示	HL-B200H HL-B200S
		日付	H15.4	

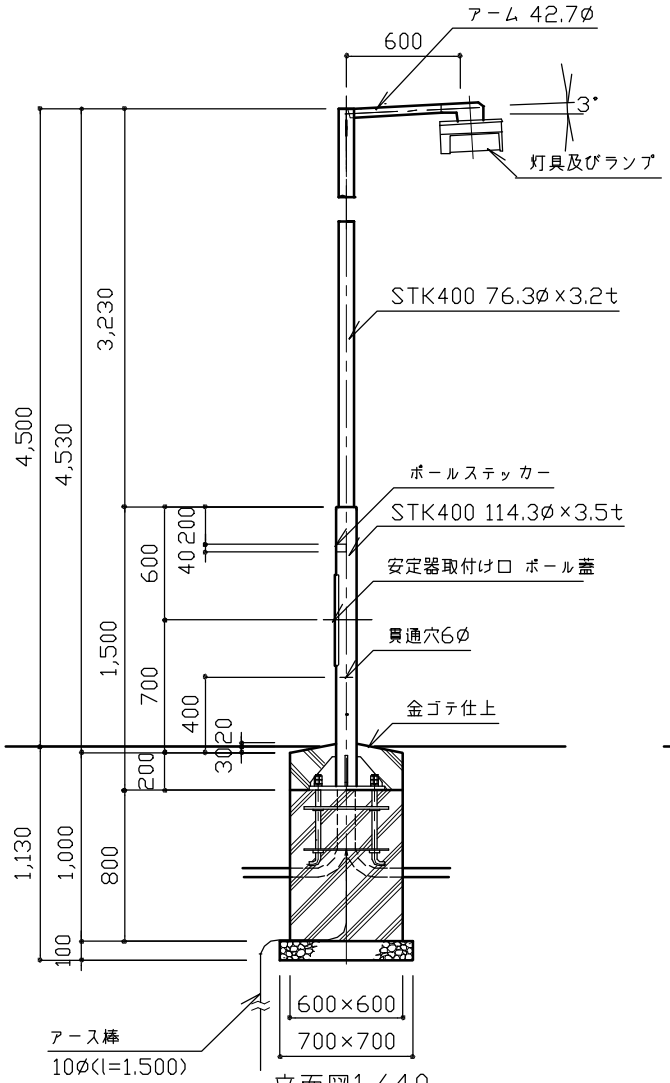


仕上	アクリル樹脂焼付塗装	指定色	外面：7.5YR2/2.2（ブラウン）
		重量	6.1kg

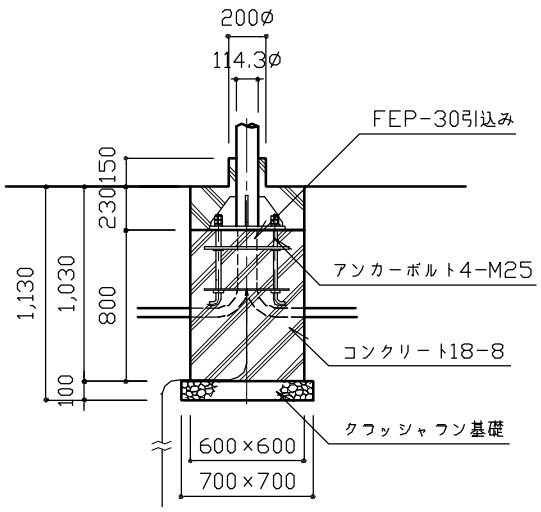
［灯具及びランプ部］部　材　表

部番	部品名	材質・材厚	数量	備　考
1	ホルダー	アルミダイカスト	1	指定色塗装
2	グローブ	ポリカボネート	1	クリア
3	グローブ枠	ステンレス t1.5	1	
4	グローブ止めネジ	ステンレス	3	M6X23
5	グローブ押え	ステンレス t1.0	3	
6	ソケット	磁器	1	E39
7	遮熱板	アルミ板	1	
8	パッキン	シリコンゴム	1	黒色
9	端子台	磁器	1	2P
10	線押え	ファイバー	2	
11	アースねじ	ステンレス	1	M4
12	パッキン	シリコンゴム	1	黒色
13	ホルダー固定ネジ	ステンレス	3	M6
14	支柱	ステンレス	2	両端M6ネジ切り
15	ワイヤー	ステンレス φ1.5	1	
16	スペーサ	軟鋼線材	21	白色塗装
17	ルーバ	鋼板 t0.6	7	白色塗装
18	台座	鋼板 t1.0	1	白色塗装
19	水銀ランプ	HF200X	1	

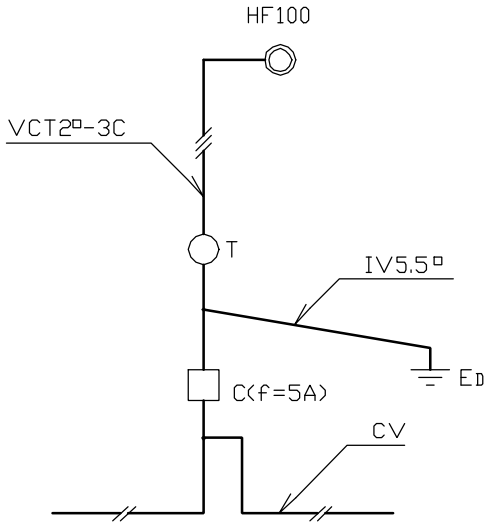
特記	・同等品以上とする．	照明灯（角型）	
		縮尺 1/6	HL-B200H HL-B200S
		日付 H14.4	



立面図1/40
HL-C100H基礎

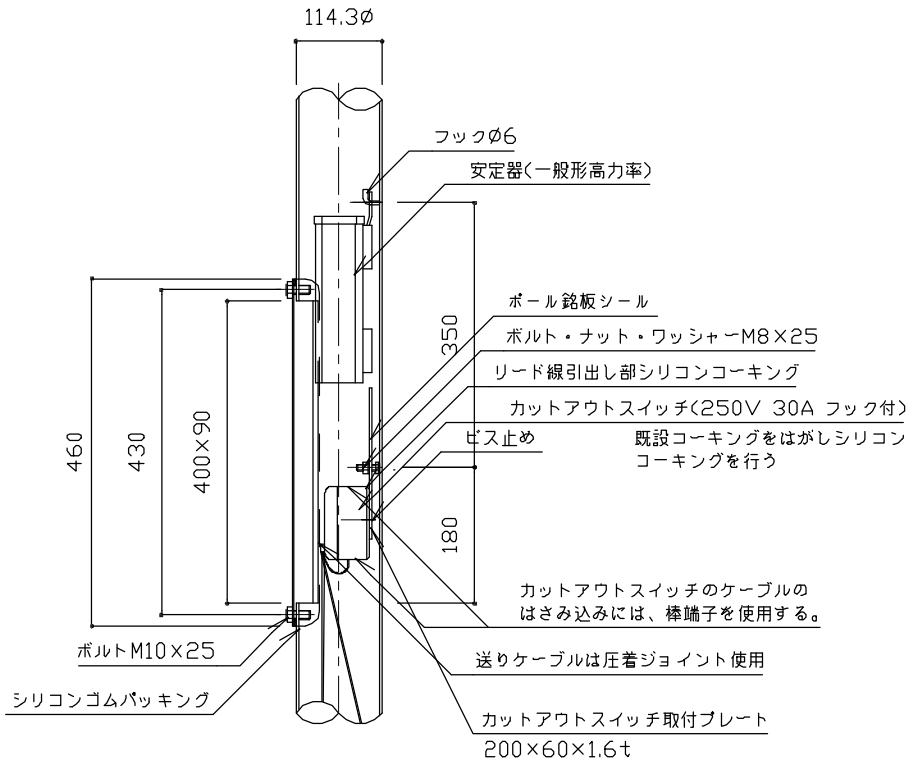


断面図1/40
HL-C100S基礎

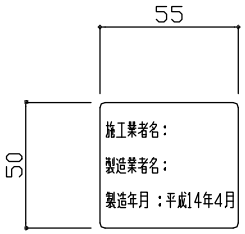


結 線 図

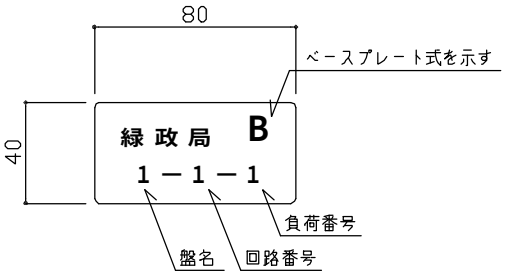
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・照明ポール、アームは溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管（外面はSUSフレーク入り合成樹脂塗装）とする。塗装色は7.5YR 2/2（ブラウン）とする。 ・CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きの上、色別ビニルテープ巻きとする。 ・CVケーブルは灯柱内に20cmの余長を取って引きいれ、電線管とケーブルの隙間部分にコーキングする。 ・同等品以上とする。 ・接地埋設標はEH−BまたはEH−Cとし、別途計上とする。	**照明灯（アーム型）**		
		縮尺	図 示	**HL-C100H HL-C100S**
		日付	H14.4	



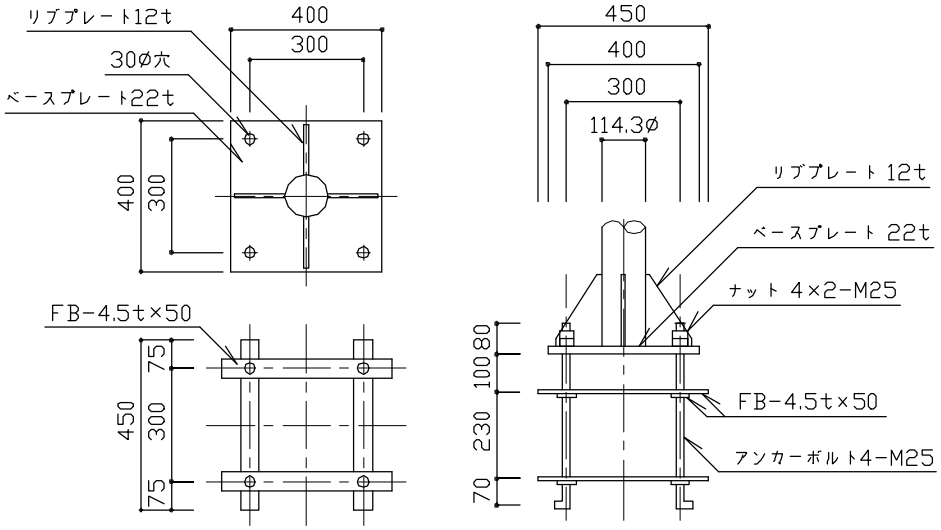
器具取付け口詳細図1/10



ポール銘板シール参考図1/3
（数字は記入例）

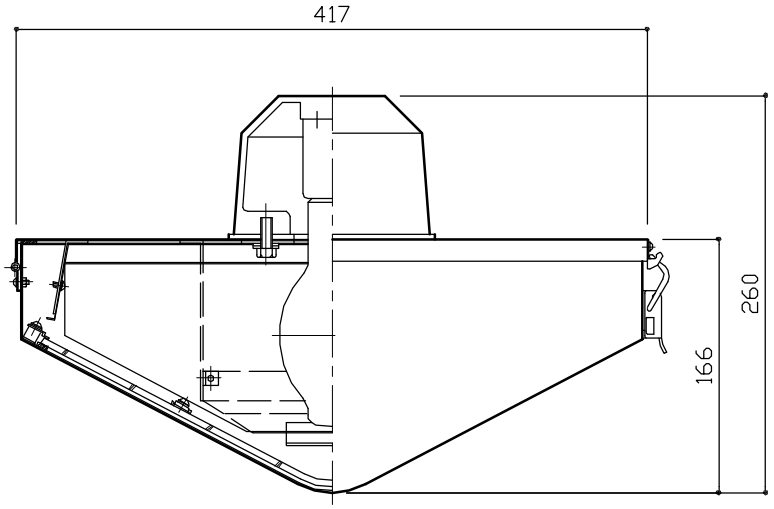


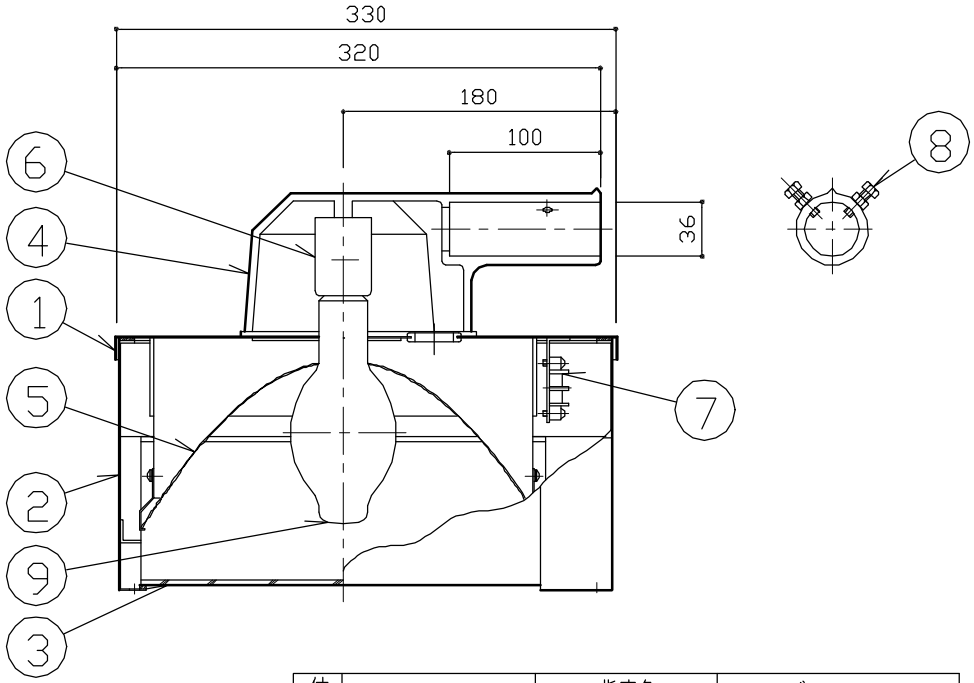
ポールステッカー詳細図1/3
（数字は記入例）



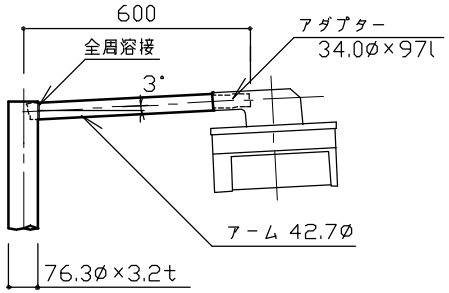
ベースプレート詳細図1/20

特記	・ヒューズは、つめ付きのものを使用する。 ・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。 ・同等品以上とする。 ・銘板シール・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール（つや消し）とし、銘板シールはカットアウトスイッチ取付プレートの上部に貼付する。	**照明灯（アーム型）**	
		縮尺	図 示
		日付	H15.4
		HL-C100H HL-C100S	





灯具及びランプ詳細図 1/5



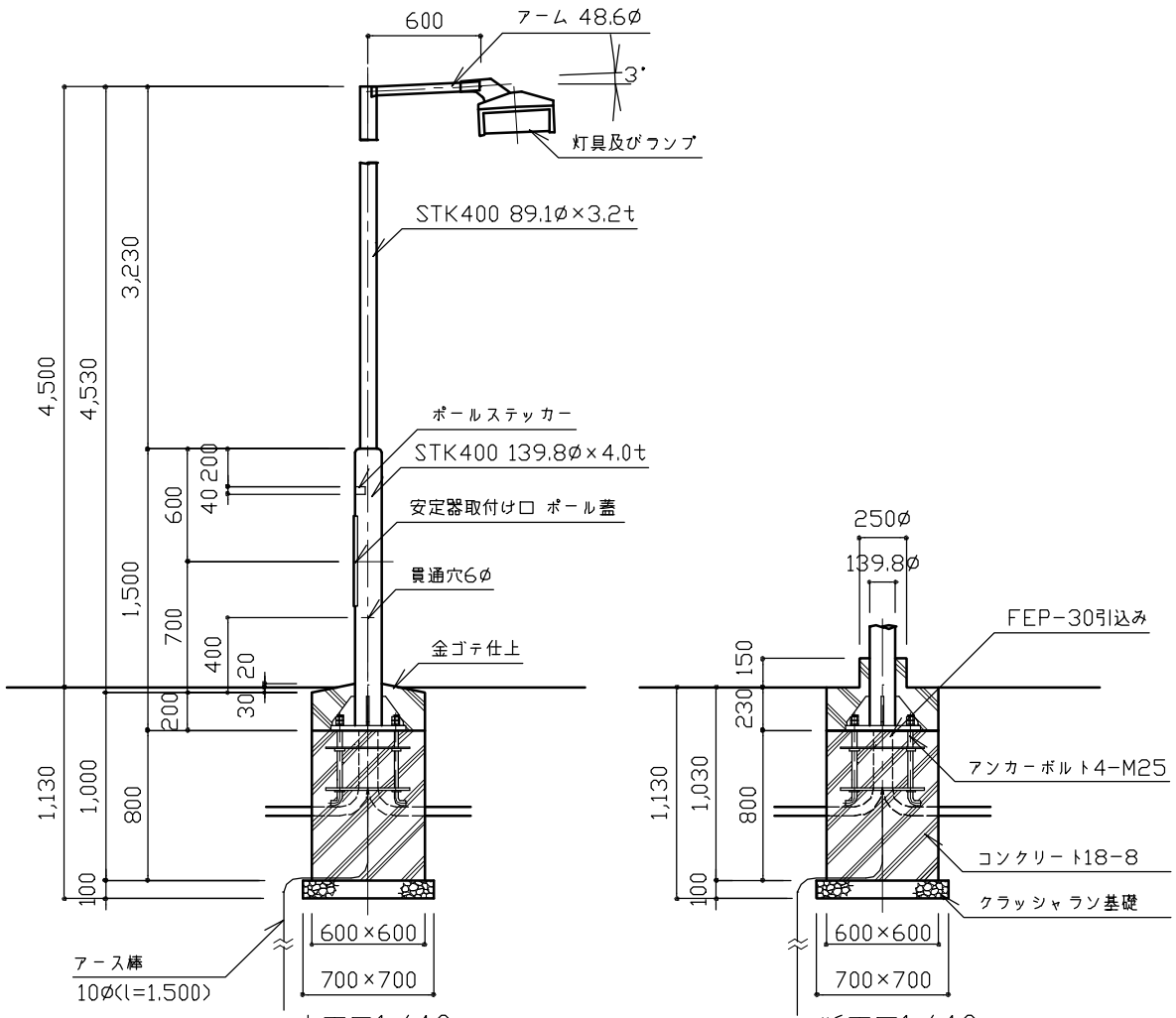
アーム及び継手詳細図 1/20

仕上	アクリル樹脂焼付塗装	指定色	ブラウン
		重　量	8．9kg

［灯具及びランプ部］部 材 表

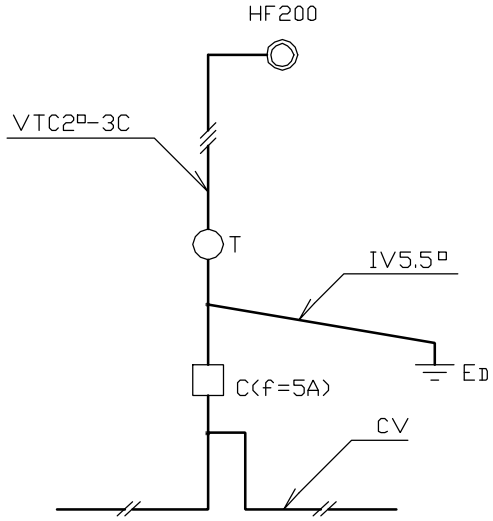
部番	部品名	材質・材厚	数量	備　考
1	本体	鋼　板	1	アクリル樹脂焼付塗装
2	枠	鋼　板	1	アクリル樹脂焼付塗装
3	グローブ	強化処理ガラス	1	透明
4	ホルダー	アルミ鋳物	1	アクリル樹脂焼付塗装
5	反射板	アルミニウム	1	電解研磨鏡面仕上
6	ソケット	磁　器	1	E26
7	端子台	磁　器	1	
8	器具取付ボルト	ステンレス	2	M6×20
9	水銀ランプ	HF100X	1	

特記	・同等品以上とする。	照明灯（アーム型）	
		縮尺	図 示	HL-C100H HL-C100S
		日付	H14.4	



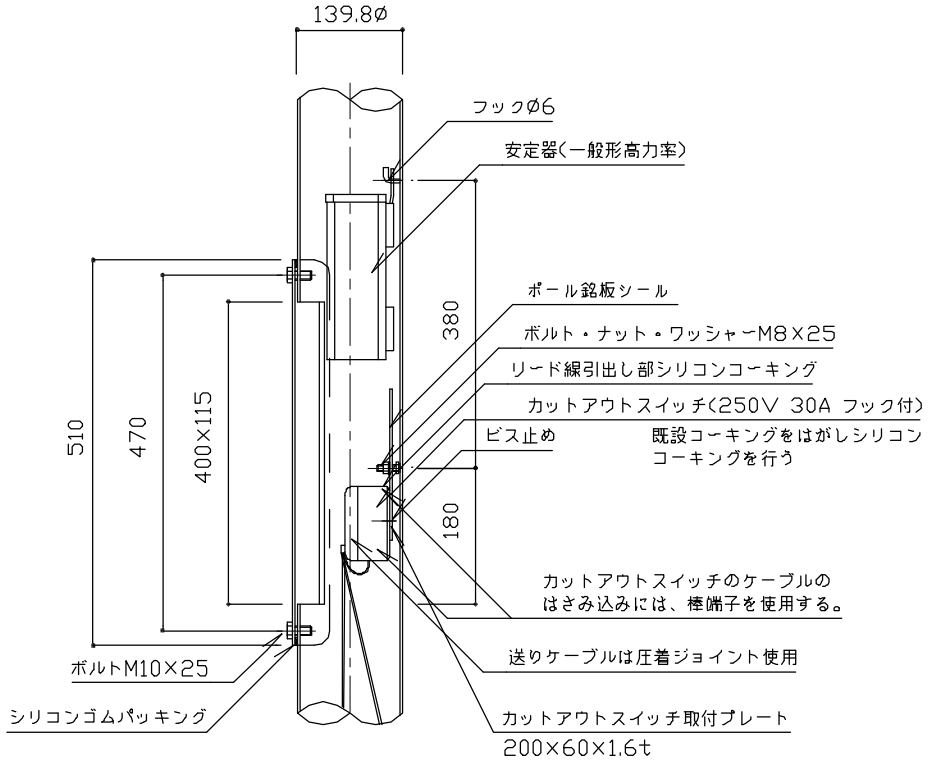
立面図1/40
HL-C200H基礎

断面図1/40
HL-C200S基礎

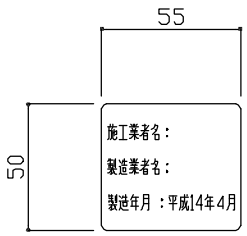


結 線 図

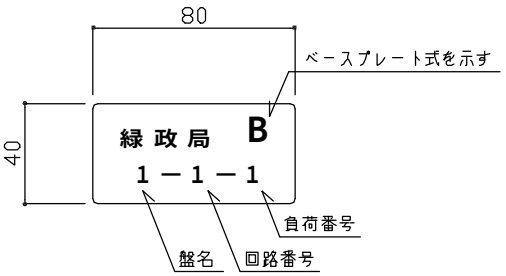
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・照明ポール、アームは溶融亜鉛めっき仕上げ鋼管（外面はSUSフレーク入り合成樹脂塗装）とする。塗装色は7.5YR 2/2（ブラウン）とする。 ・CVケーブルの絶縁体が露出している部分は、自己融着性絶縁テープ巻きの上、色別ビニルテープ巻きとする。 ・CVケーブルは灯柱内に20cmの余長を取って引きいれ、電線管とケーブルの隙間部分にコーキングする。 ・同等品以上とする。 ・接地埋設標はEH-BまたはEH-Cとし、別途計上とする。	**照明灯（アーム型）**	
		縮尺 図示	**HL-C200H HL-C200S**
		日付 H14.4	



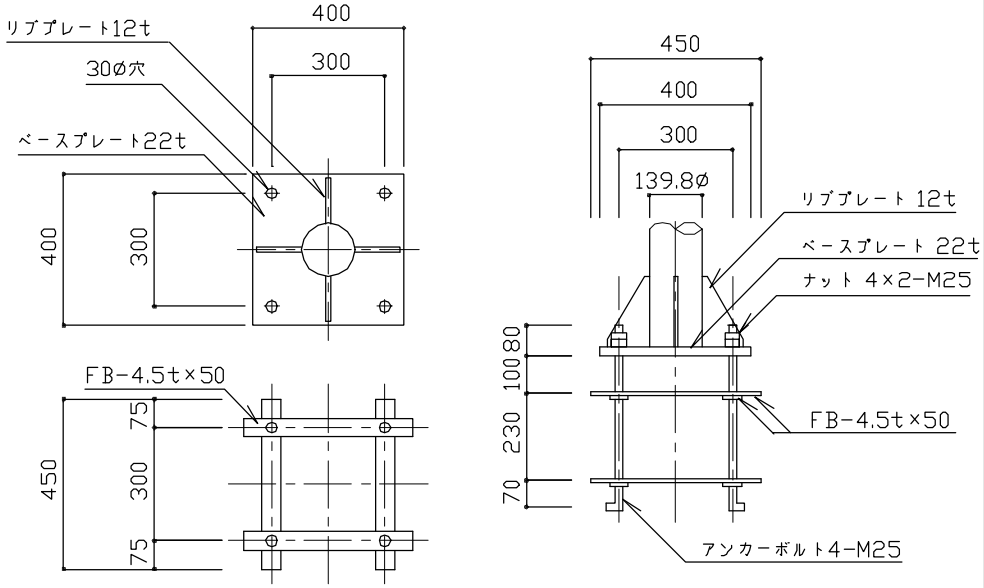
器具取付け口詳細図1/10



ポール銘板シール参考図1/3
(数字は記入例)

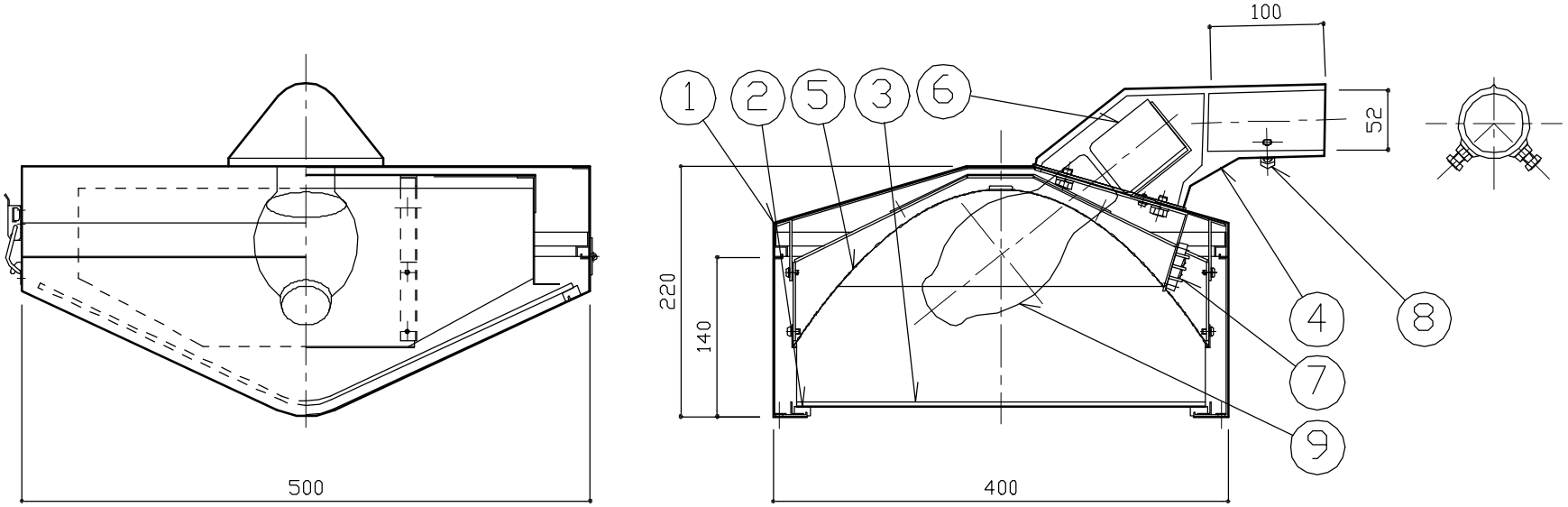


ポールステッカー詳細図1/3
(数字は記入例)

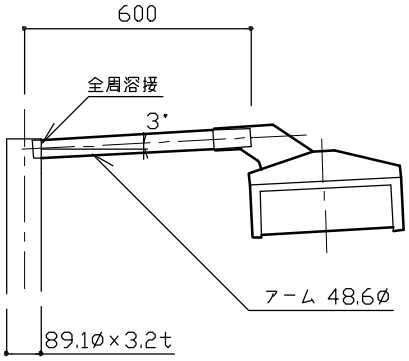


ベースプレート詳細図1/20

特記	・ヒューズは、つめ付きのものを使用する。 ・ベースプレート・リブプレート・FBはSS400とする。 ・同等品以上とする。 ・銘板シール・ステッカーはポリエステル製蒸着銀シール(つや消し)とし、銘板シールはカットアウトスイッチ取付プレートの上部に貼付する。	照明灯(アーム型)		
		縮尺	図 示	HL-C200H HL-C200S
		日付	H15.4	



灯具及びランプ詳細図1/6



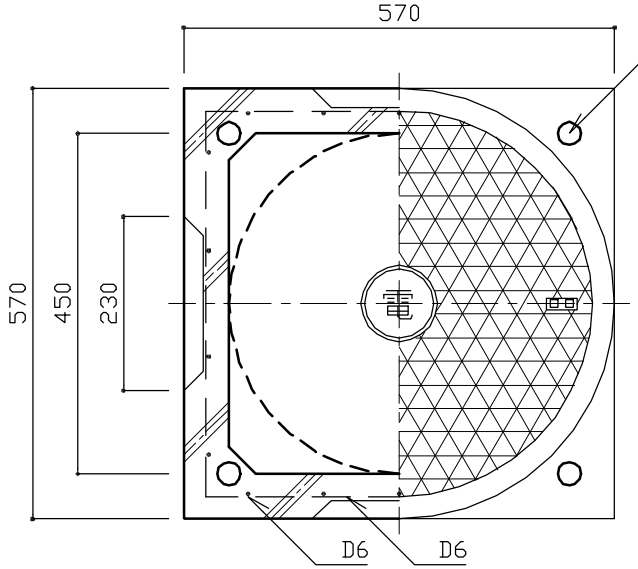
アーム及び継手詳細図 1/20

仕上	アクリル樹脂焼付塗装	指定色	ブラウン
		重　量	14.2kg

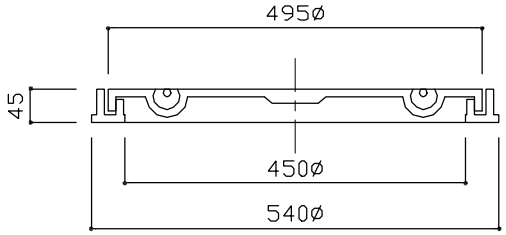
[灯具及びランプ部] 部 材 表

部番	部品名	材質・材厚	数量	備　考
1	本体	鋼　板	1	アクリル樹脂焼付塗装
2	枠	鋼　板	1	アクリル樹脂焼付塗装
3	グローブ	強化処理ガラス	1	透明
4	ホルダー	アルミ鋳物	1	アクリル樹脂焼付塗装
5	反射板	アルミニウム	1	電解研磨鏡面仕上
6	ソケット	磁　器	1	E39
7	端子台	磁　器	1	
8	器具取付ボルト	ステンレス	2	M8×25
9	水銀ランプ	HF200X	1	

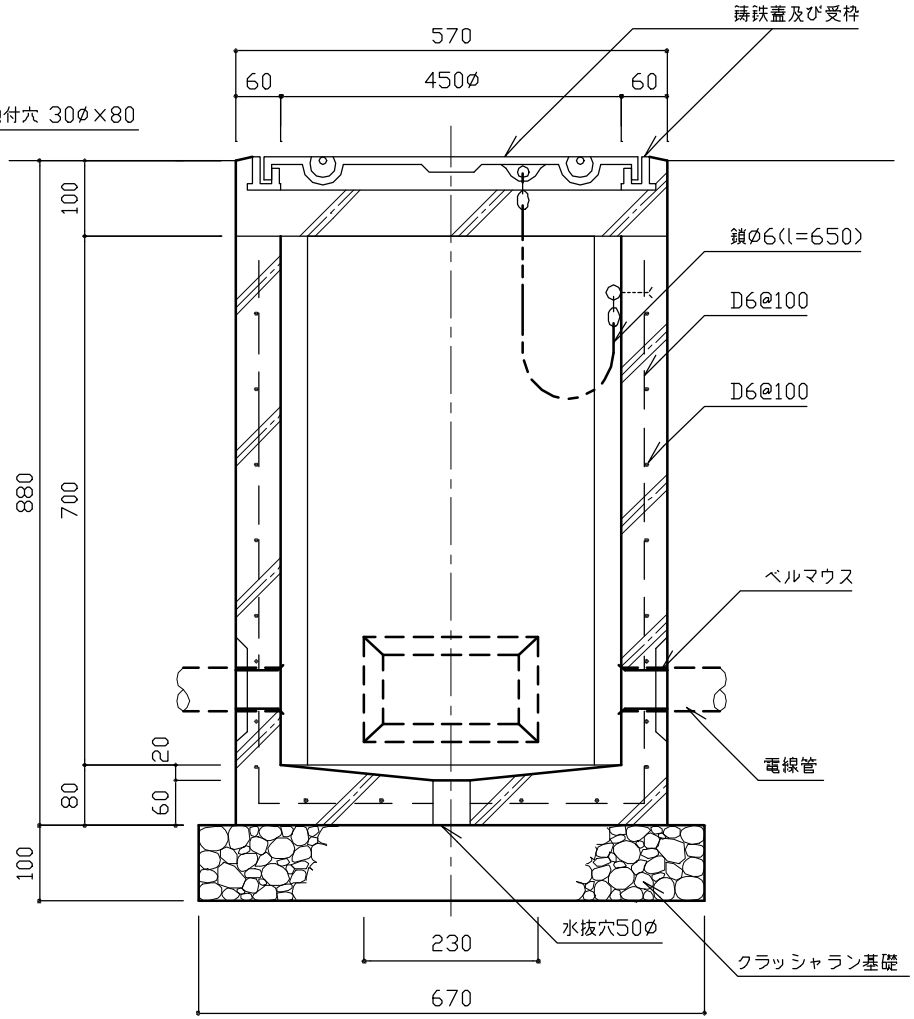
特記	・同等品以上とする。	照明灯（アーム型）	
		縮尺 図　示	HL-C200H HL-C200S
		日付 H14.4	



平 面 図

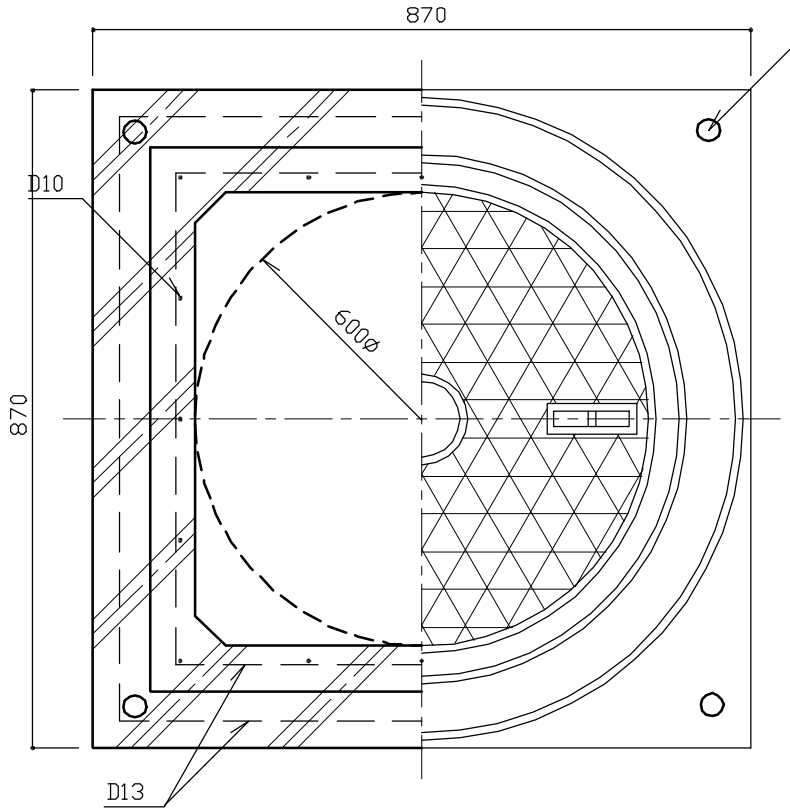


鋳鉄蓋及び受枠詳細図

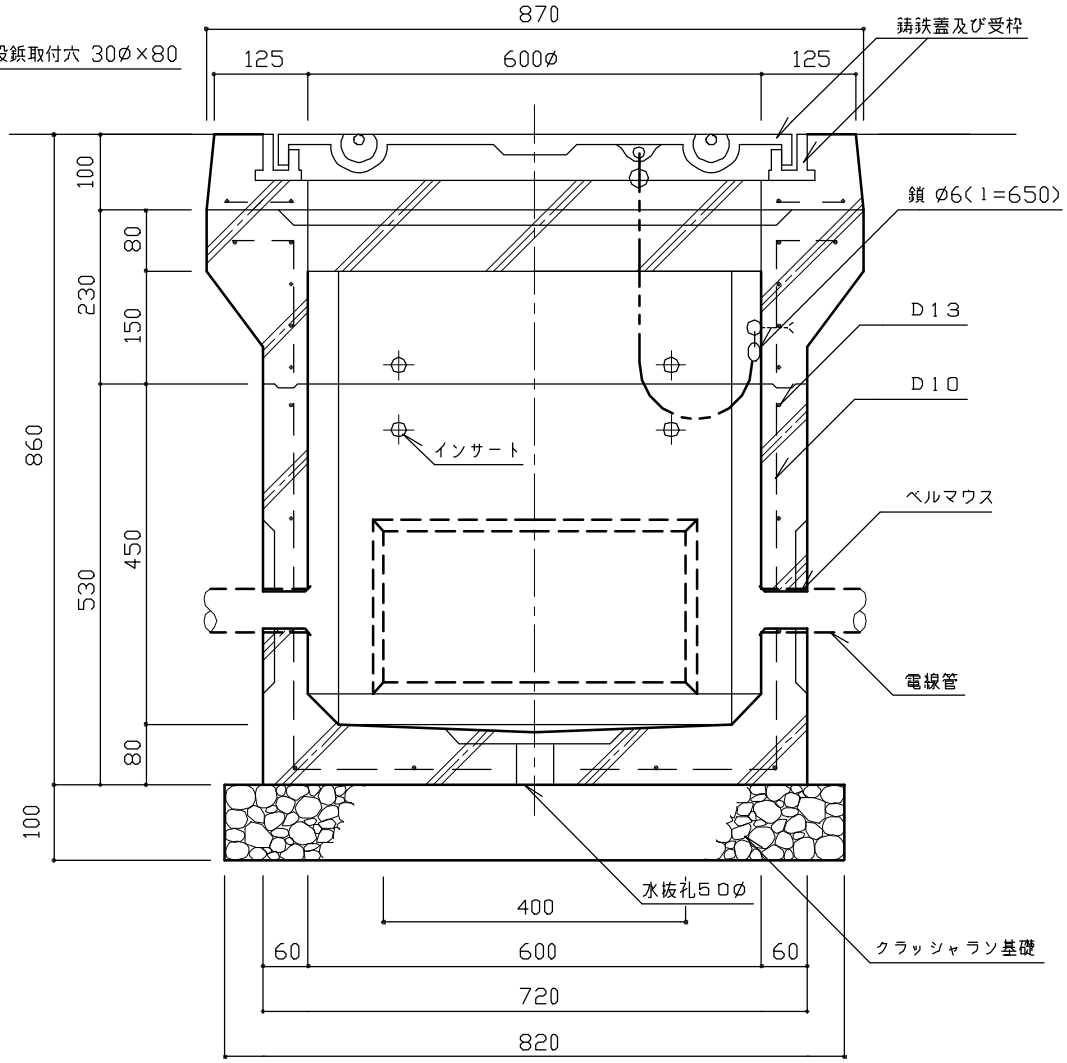


断 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦鋳鉄蓋及び受枠は、破壊荷重６，０００ｋｇ以上、簡易防水型、合成樹脂塗料塗装仕上げ品とする。 ◦鋳鉄蓋と本体を鎖で連結する。 ◦ハンドホールの出口には、ベルマウスを使用する。 ◦ハンドホール内のケーブルには、行先表示札をつける。 ◦不要な埋設鋲取付穴にはモルタルを充填する。 ◦同等品以上とする。	ハンドホール		
		縮尺	1／10	HH-45
		日付	H14.4	

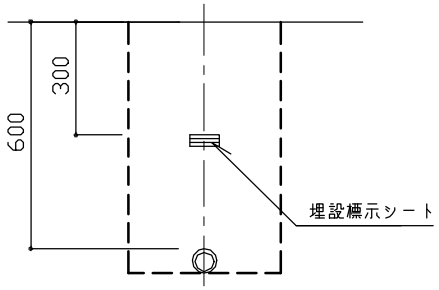


平 面 図

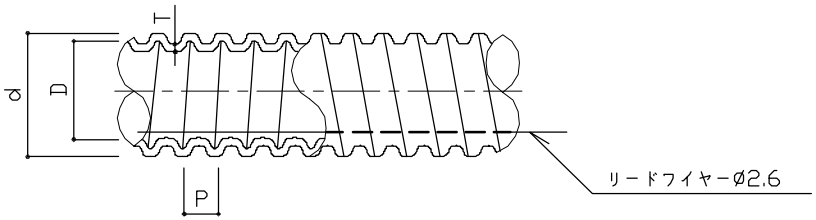


断 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ◦鋳鉄蓋及び受枠は、破壊荷重8，000kg以上、簡易防水型、合成樹脂塗料塗装仕上げ品とする。 ◦鋳鉄蓋と本体を鎖で連結する。 ◦ハンドホールの出口には、ベルマウスを使用する。 ◦ハンドホール内のケーブルには、行先表示札をつける。 ◦不要な埋設鋲取付穴にはモルタルを充填する。 ◦同等品以上とする。	**ハンドホール**	
		縮尺 1／10	**HH-60**
		日付 H14.4	



管路標準断面図 1/20



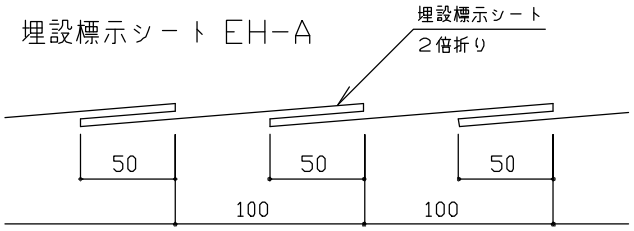
波付硬質ポリエチレン管詳細図

寸法表(参考)

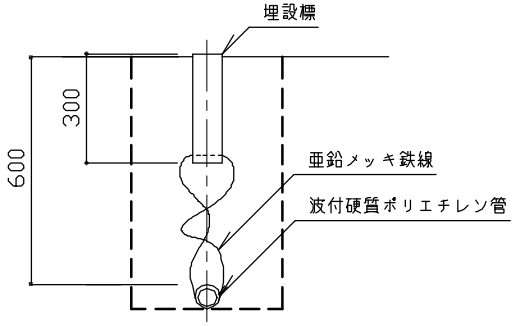
記号	寸法		
	内径 D (mm)	外径 d (mm)	ピッチ P (mm)
FEP-30	30	40	10
FEP-50	50	65	17

特記	・ポリエチレン電線管は波付け加工を施した硬質ポリエチレン管とする。	波付硬質ポリエチレン管		
		縮尺	図 示	FEP-30 FEP-50
		日付	H14.4	

埋設標示シート EH-A

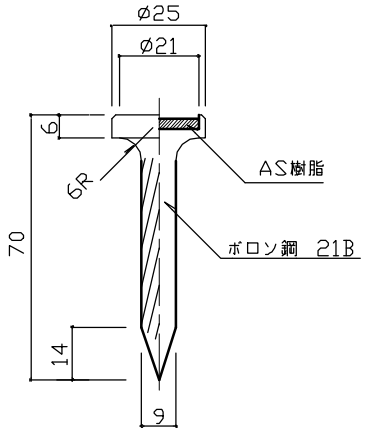


標準断面図（参考図）



断 面 図 1/20

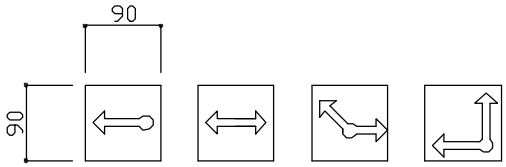
埋設鋲 EH-B



断 面 図 1/2

例 標示マーク

埋設標 EH-C



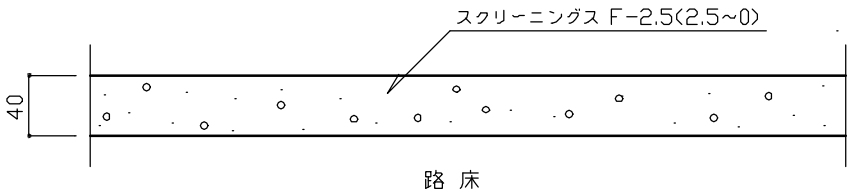
（例）

ケーブル埋設標平面図 1/10

D種接地埋設標平面図 1/10

特記	◦埋設標示シートの敷き込みは２倍折りシートを使用し、指定色はオレンジとする。 ◦埋設鋲はボロン鋼製とし、指定色は赤とする。 ◦埋設標はプレキャストコンクリート製とし、指定色は赤とする。 ◦埋設標、埋設鋲の設置位置は、別に指定する。	**埋設標示シート･埋設鋲･埋設標**	
		縮尺	図 示	**EH-A EH-B EH-C**
		日付	H14.4	

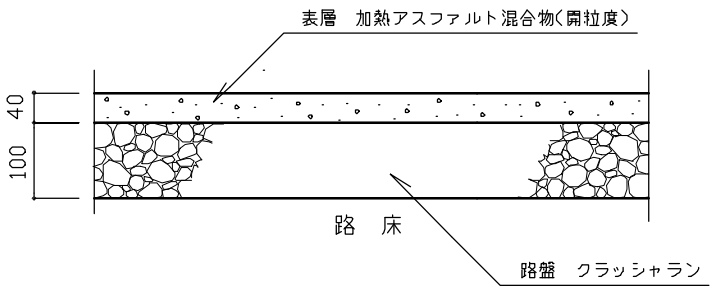
6 園 路 広 場



断 面 図

特記	・表示寸法は、転圧後の寸法とする。	ダスト舗装		
		縮尺	1/5	DH
		日付	H14.4	

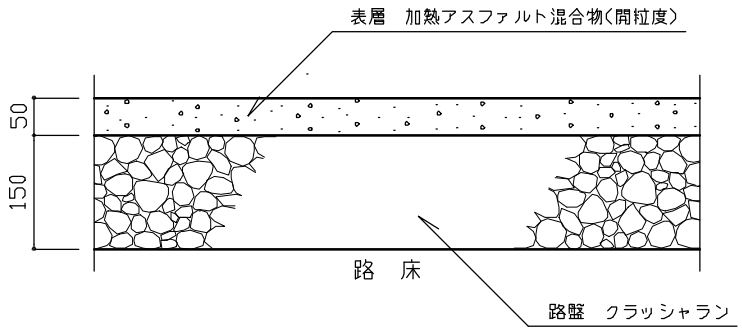
KAH-A



断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

KAH-B

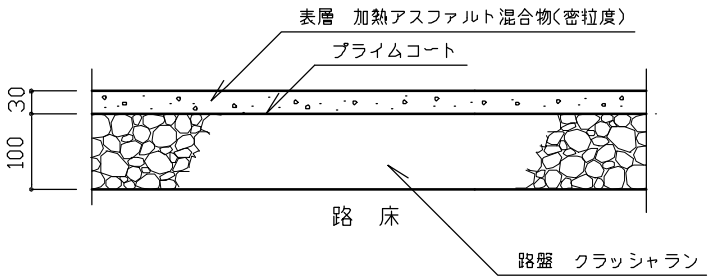


断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ/m^3 とする。 ・加熱アスファルト混合物は、開粒度アスファルトまたは再生開粒度アスファルトとし、最大粒径13ｍｍ、アスファルト量4.5％、設計密度　2,000ｋｇ/m^3 とする。 ・透水係数は、10^{-2} ｃｍ/ｓｅｃ以上とする。	**開粒度アスファルト舗装**		
		縮尺	1/10	**KAH-A** **KAH-B**
		日付	H14.4	

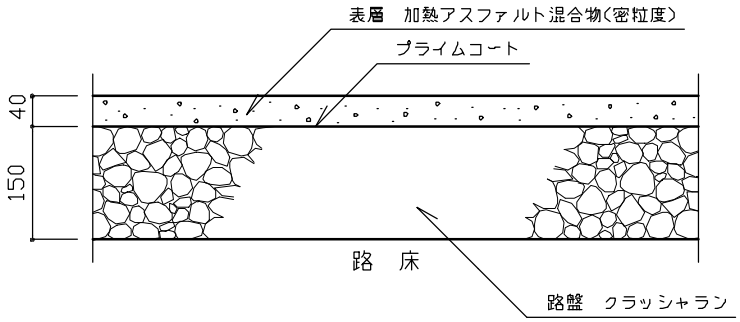
MAH−A



断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

MAH−B

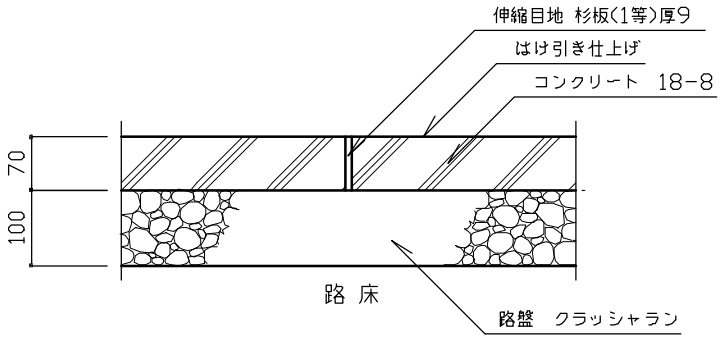


断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記		密粒度アスファルト舗装		
	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ−４０）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ/m^3 とする。 ・加熱アスファルト混合物は、密粒度アスファルトまたは再生密粒度アスファルトとし、最大粒径13ｍｍ、アスファルト量5.5％、設計密度　2,200ｋｇ/m^3 とする。	縮尺	1／10	MAH-A MAH-B
		日付	H14.4	

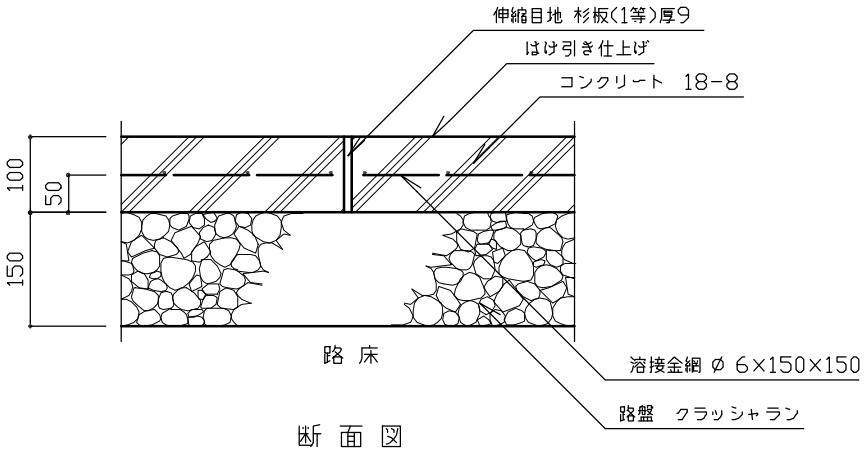
CH-A



断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

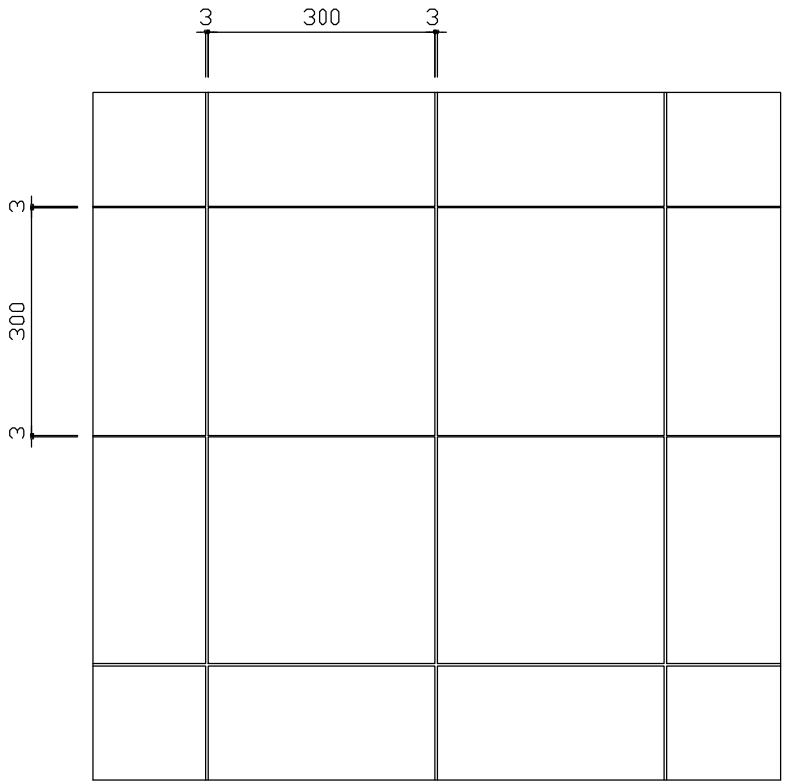
CH-B



断 面 図

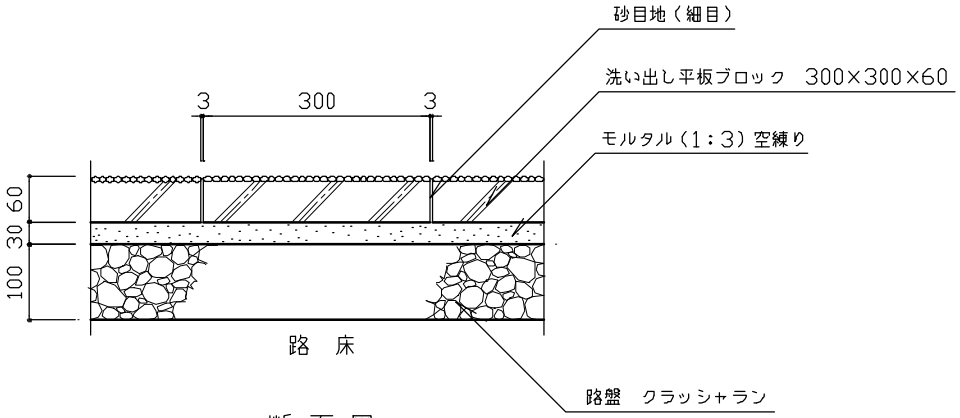
区分Ⅱ:歩行者・自転車及び最大積載量４ｔ以下の
管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１,８４０ｋｇ／m^3 とする。 ・伸縮目地は、杉板（１等）厚９ｍｍとし、@5.0ｍを標準とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。	コンクリート舗装		
		縮尺	1／10	CH-A CH-B
		日付	H14.4	



平 面 図

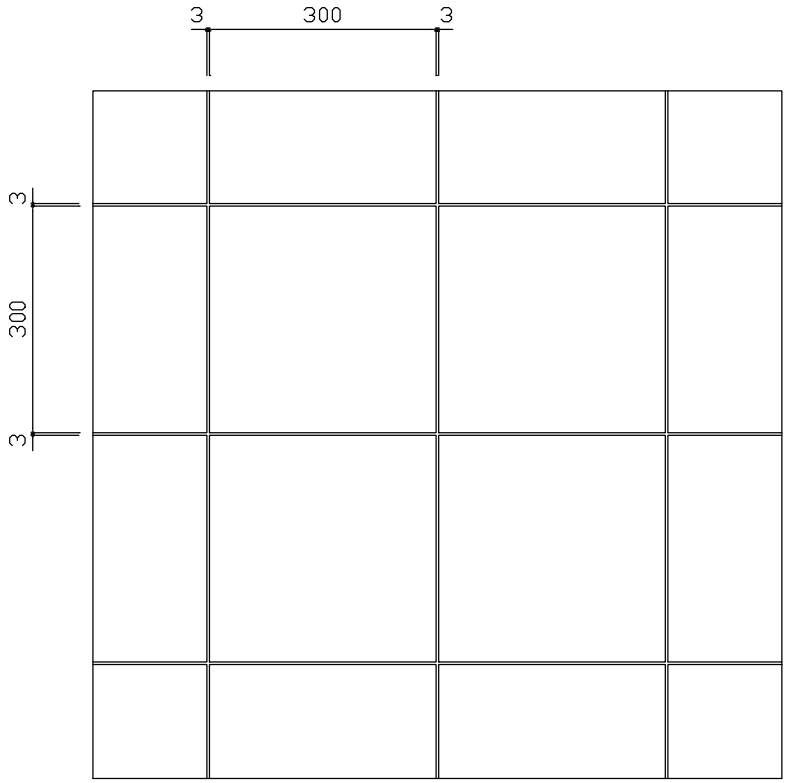
FH−A



断 面 図

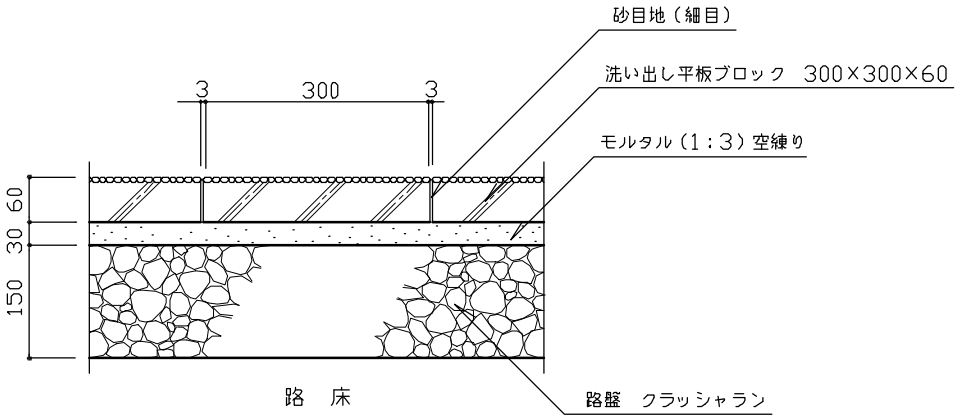
区分Ⅰ:歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC−40）とする。 ・路盤の設計密度は、1，840kg/m³ とする。 ・洗い出し平板ブロックは、コンクリート平板ブロックのJIS規格に準ずる製品とする。 ・洗い出し平板ブロックの種石は、金華（鹿島）・白みかげ・蛇紋とする。 ・目地砂は、粒径2.5mm以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**洗い出し平板舗装**		
		縮尺	1／10	**FH-A**
		日付	H14.4	



平 面 図

FH-B

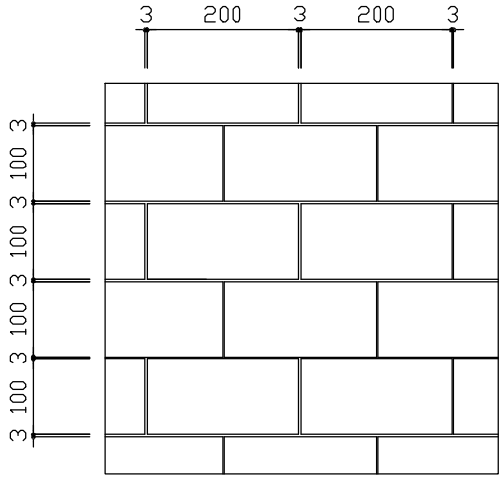


断 面 図

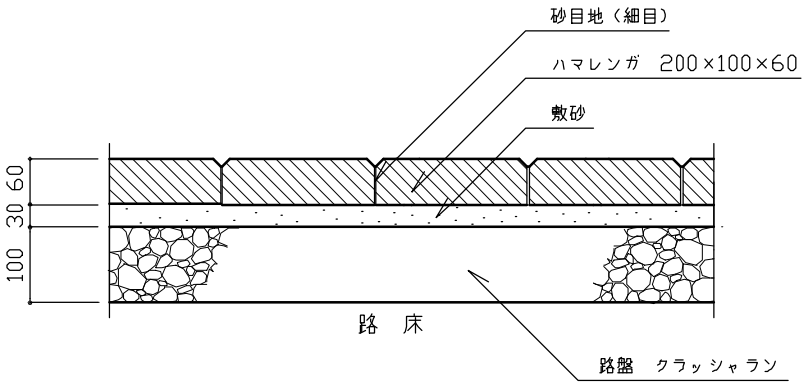
区分Ⅱ：歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ/ｍ^3 とする。 ・洗い出し平板ブロックは、コンクリート平板ブロックのJIS規格に準ずる製品とする。 ・洗い出し平板ブロックの種石は、金華（鹿島）・白みかげ・蛇紋とする。 ・目地砂は、粒径2.5ｍｍ以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**洗い出し平板舗装**	
		縮尺 1/10	**FH-B**
		日付 H14.4	

YH-KA



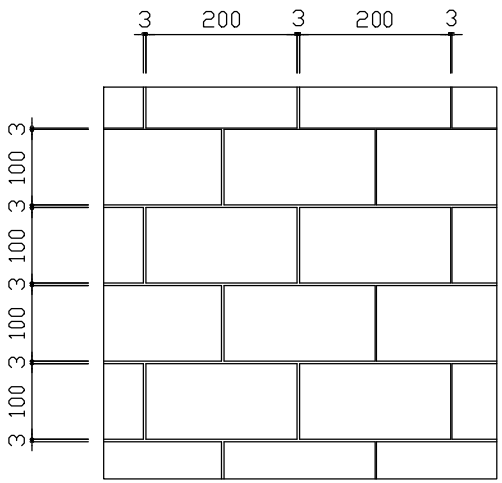
平 面 図



断 面 図

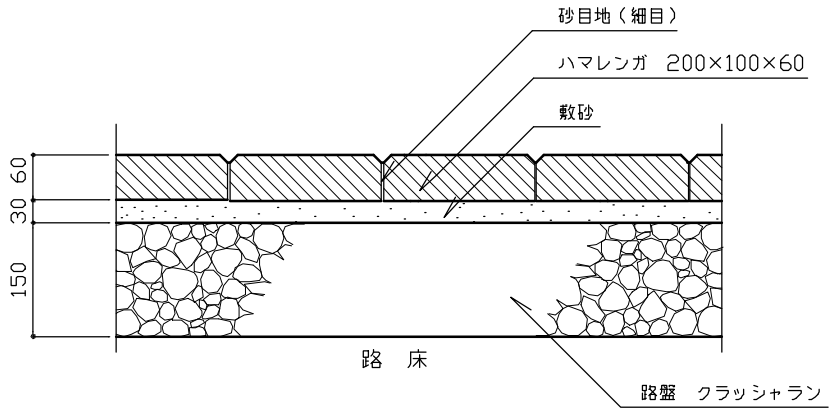
区分Ⅰ:歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840kg／m^3 とする。 ・敷砂は、砂（クッション用）とし、0.074mmフルイ通過量　4％以下のものを使用する。 ・ハマレンガは、横浜市下水道局の製品とし、ブロックの表面仕上げ(プレーン・割肌)は、監督員の指示による。 ・目地砂は、粒径2.5mm以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**ハマレンガ舗装**	
		縮尺 1／10	**YH-KA**
		日付 H14.4	



平 面 図

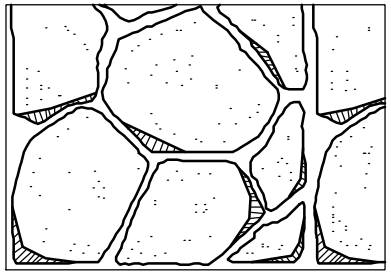
YH-KB



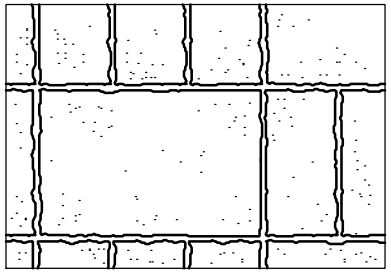
断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／ｍ³ とする。 ・敷砂は、砂（クッション用）とし、0.074ｍｍフルイ通過量 ４％以下のものを使用する。 ・ハマレンガは、横浜市下水道局の製品とし、ブロックの表面仕上げ(プレーン・割肌)は、監督員の指示による。 ・目地砂は、粒径2.5ｍｍ以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	ハマレンガ舗装		
		縮尺	1／10	YH-KB
		日付	H14.4	



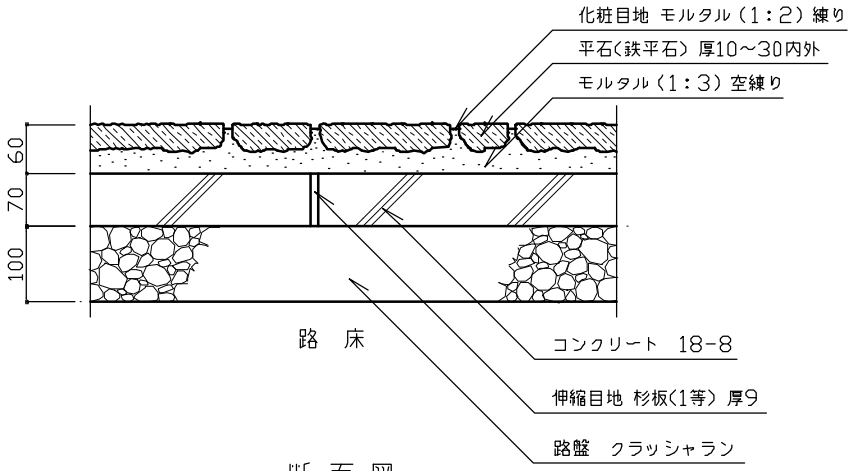
乱形石張り IH−RA



方形石張り IH−HA

平 面 図

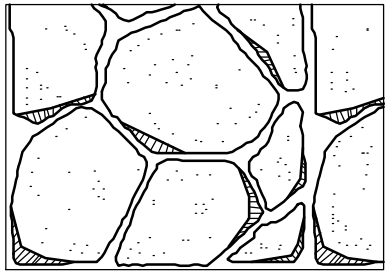
IH−RA・HA



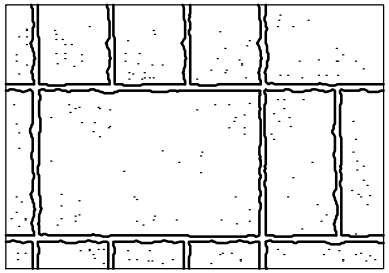
断 面 図

区分Ⅰ：歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC−40）とする。 ・路盤の設計密度は、1，840kg/m³ とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・伸縮目地は、杉板（1等）厚9mmとし、@5.0mを標準とする。 ・乱形石は径200〜450内外、厚10〜30mm内外、方形石は150×300内外、300×450内外、厚10〜30mm内外とする。 また石張りのパターンは、監督員の指示による。 ・化粧目地は、幅10mm程度、深さ3〜5mmを標準とする。	石張り舗装	
		縮尺 1／10	IH-RA IH-HA
		日付 H14.4	



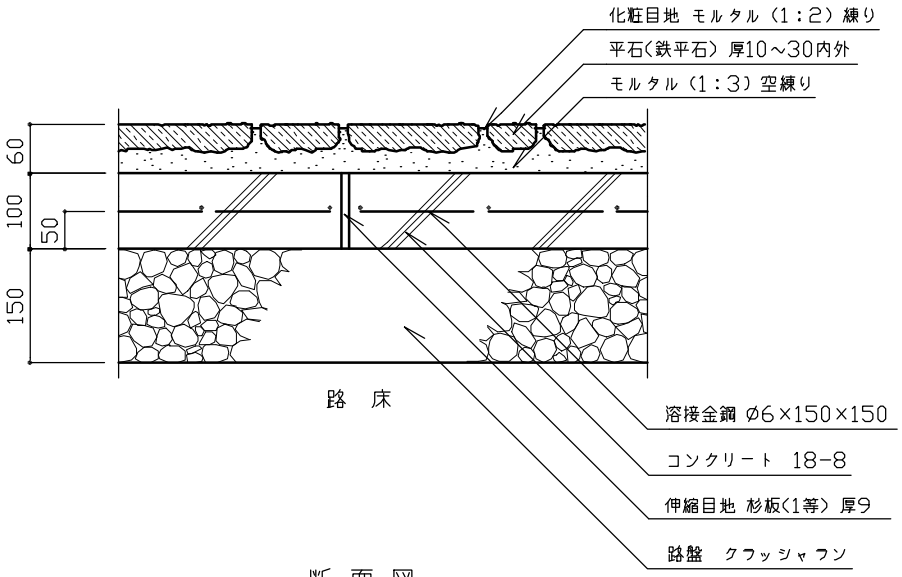
乱形石張り IH-RB



方形石張り IH-HB

平 面 図

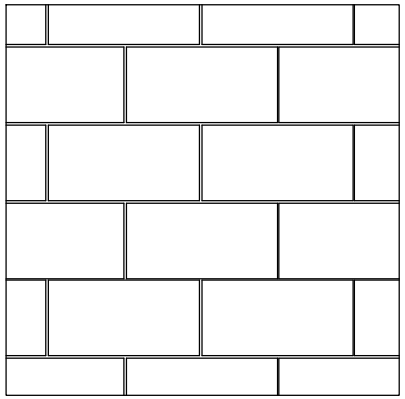
IH-RB・HB



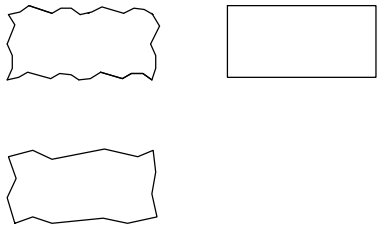
断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１，８４０ｋｇ／ｍ³ とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・伸縮目地は、杉板（１等）厚９ｍｍとし、@5.0ｍを標準とする。 ・乱形石は径２００～４５０内外、厚１０～３０ｍｍ内外、方形石は１５０×３００内外、３００×４５０内外、厚１０～３０ｍｍ内外とする。 また石張りのパターンは、監督員の指示による。 ・化粧目地は、幅１０ｍｍ程度、深さ３～５ｍｍを標準とする。	石張り舗装	
	縮尺	1／10	IH-RB IH-HB
	日付	H14.4	

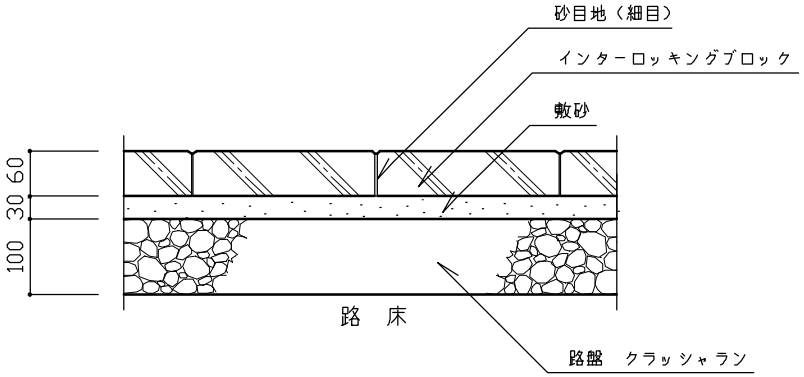


平面図



ブロック例（参考）

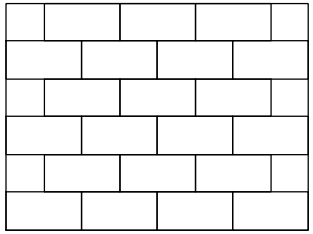
LH-A



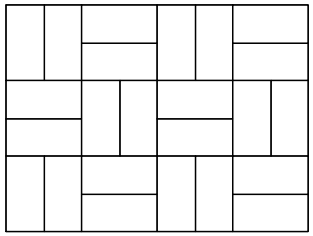
断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

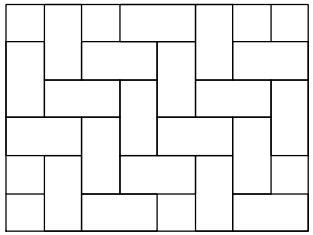
舗装パターン（参考）



れんが目地（ａ）

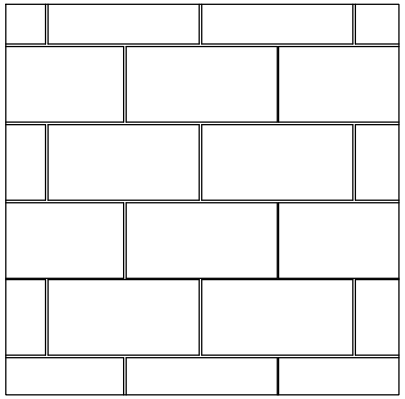


市松目地（ｂ）

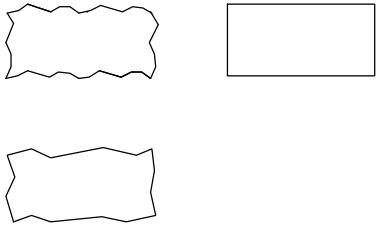


網代目地（ｃ）

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１，８４０ｋｇ／ｍ³ とする。 ・敷砂は、砂（クッション用）とし、0.074ｍｍフルイ通過量 ４％以下のものを使用する。 ・インターロッキングブロックは、その品質がインターロッキングブロック品質規格に合格した製品とする。 ・ブロックの種類、仕上げ、及び舗装パターンは、監督員の指示による。 ・目地砂は、粒径2.5ｍｍ以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**インターロッキング舗装**		
		縮尺	1／10	**LH-A**
		日付	H14.4	

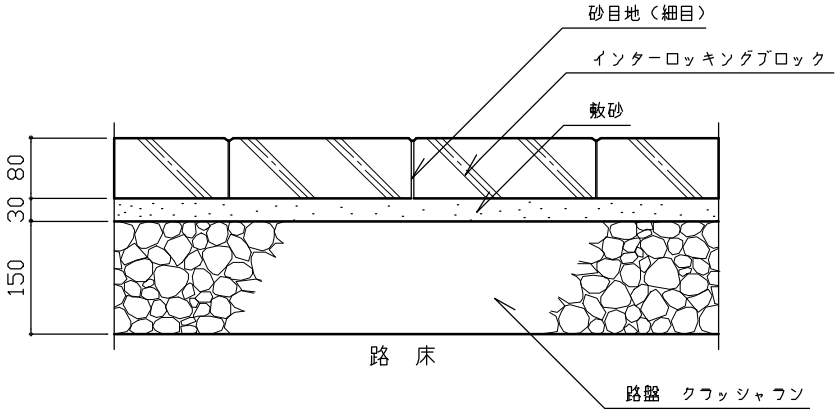


平 面 図



ブロック例（参考）

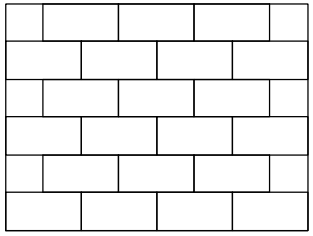
LH-B



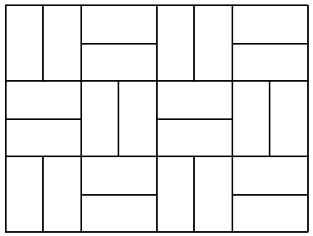
断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

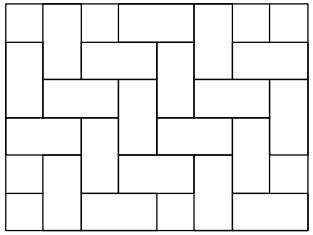
舗装パターン（参考）



れんが目地（ａ）



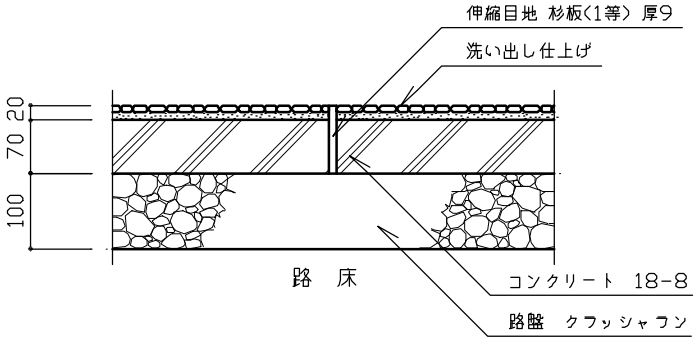
市松目地（ｂ）



網代目地（ｃ）

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１，８４０ｋｇ／ｍ³ とする。 ・敷砂は、砂（クッション用）とし、0.074mmフルイ通過量　４％以下のものを使用する。 ・インターロッキングブロックは、その品質がインターロッキングブロック品質規格に合格した製品とする。 ・ブロックの種類、仕上げ、及び舗装パターンは、監督員の指示による。 ・目地砂は、粒径２．５ｍｍ以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**インターロッキング舗装**		
		縮尺	1／10	**LH-B**
		日付	H14.4	

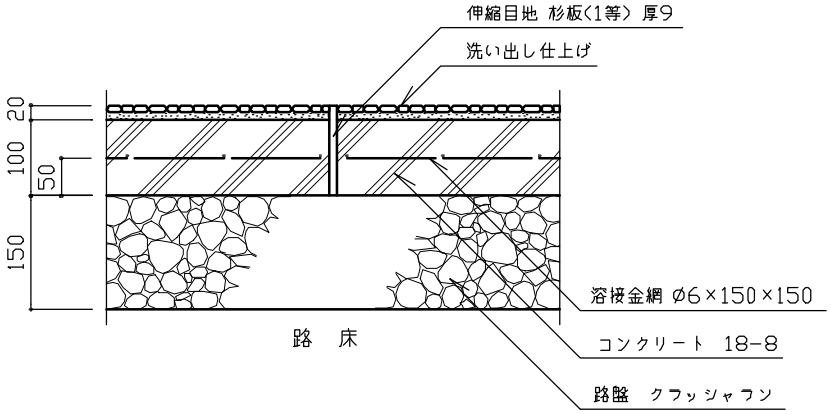
JH−A



断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

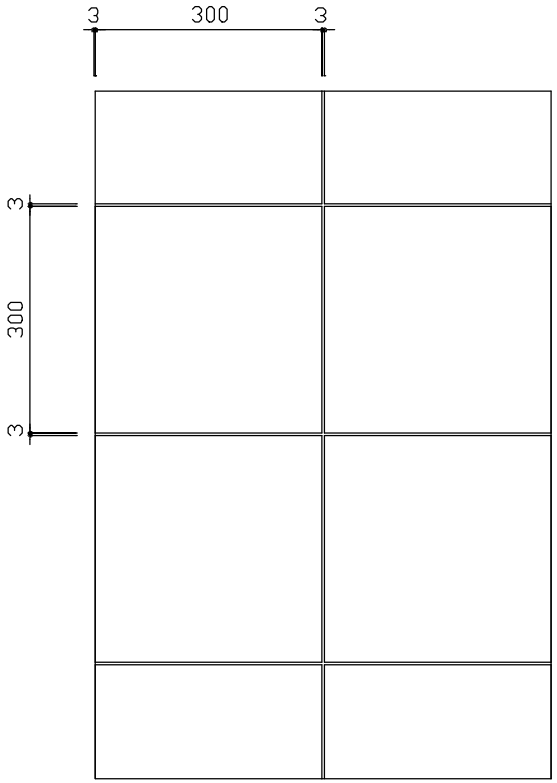
JH−B



断 面 図

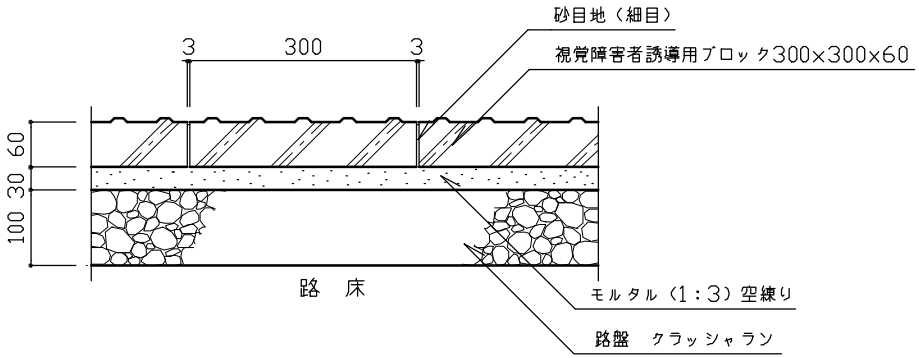
区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１，８４０ｋｇ／m^3 とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・伸縮目地は、杉板（１等）厚９ｍｍとし、１０m^2 単位を標準とする。 ・洗い出し仕上げは、種石の粒径９ｍｍ内外、仕上げ厚２０ｍｍ内外とし、種石の種類は、大磯・金華(鹿島)・茶仙・桃山・白みかげ・桜みかげ・錆みかげ・蛇紋とする。	**洗い出し舗装**		
		縮尺	1／10	**JH-A** **JH-B**
		日付	H14.4	



平 面 図

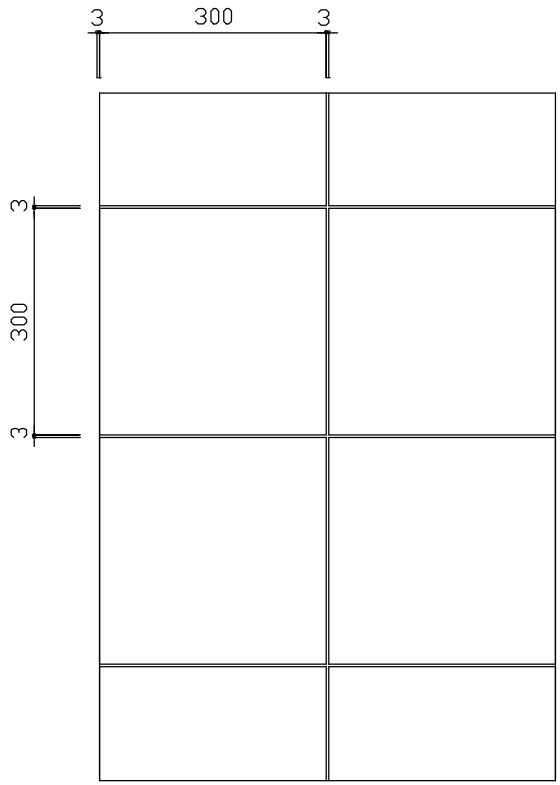
YB-FA



断 面 図

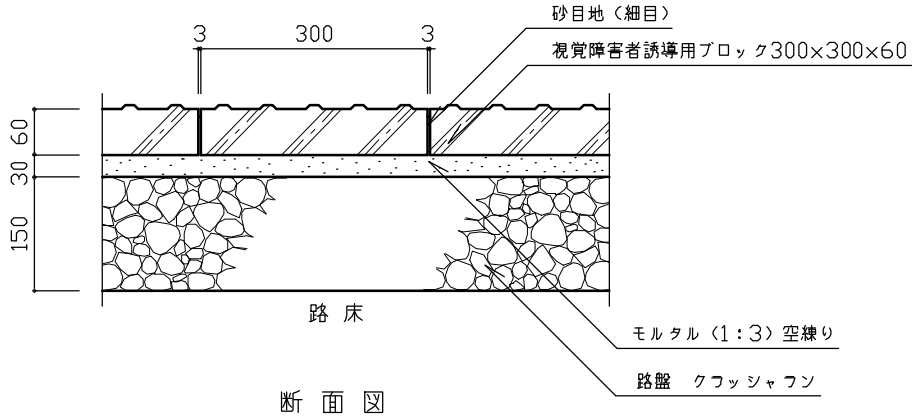
区分Ⅰ：歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1，840kg／m³とする。 ・視覚障害者誘導用ブロックは，コンクリート平板のJIS規格に準ずる製品とする。 ・目地砂は、粒径2.5mm以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	視覚障害者誘導用ブロック舗装	
		縮尺 1／10	YB-FA
		日付 H14.4	



平 面 図

YB-FB

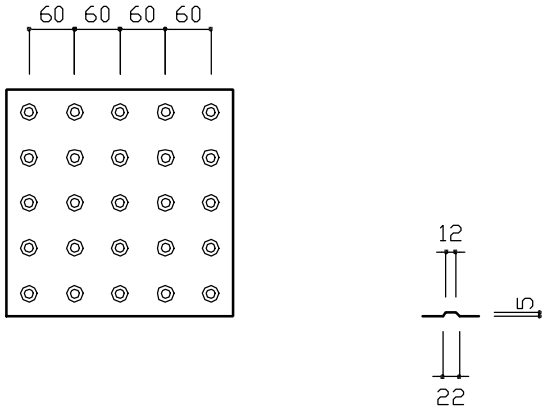


断 面 図

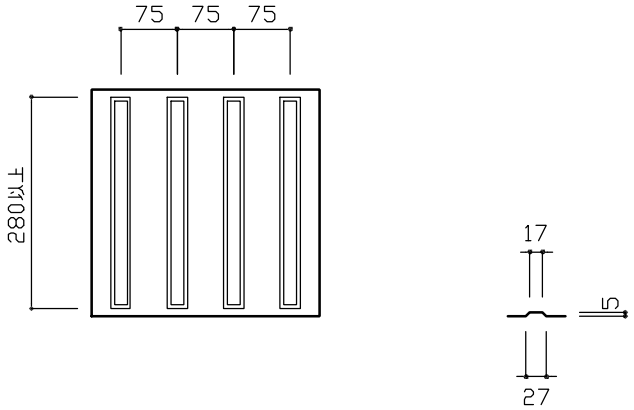
区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量４ｔ以下の
管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1，840ｋｇ／ｍ³とする。 ・視覚障害者誘導用ブロックは，コンクリート平板のJIS規格に準ずる製品とする。 ・目地砂は、粒径2.5ｍｍ以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**視覚障害者誘導用ブロック舗装**	
		縮尺 1／10	**YB-FB**
		日付 H14.4	

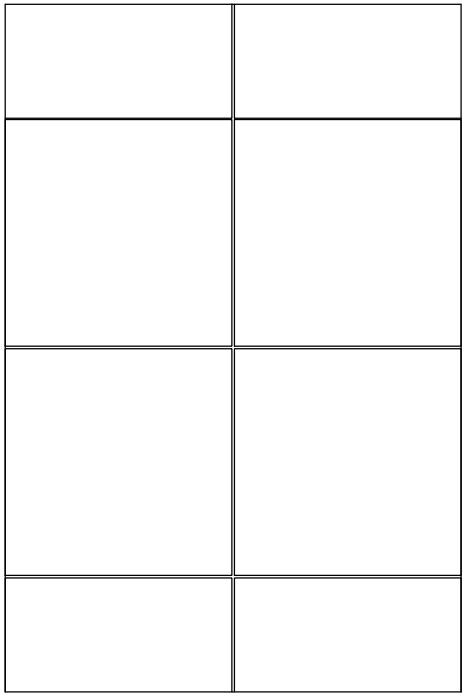
点状ブロック



線状ブロック

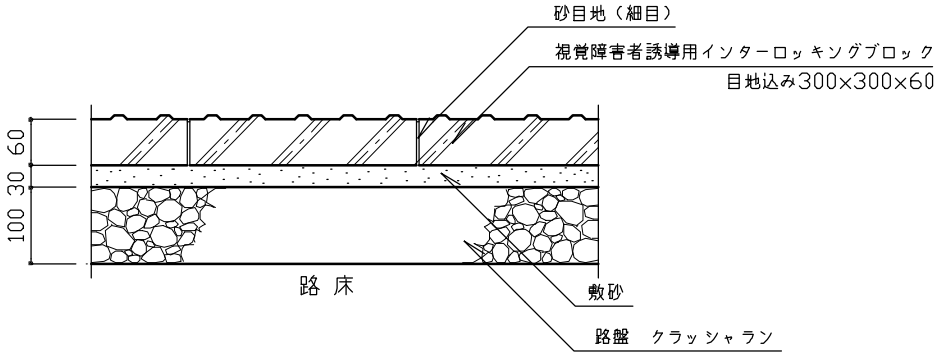


特記	・ブロックの突起の形状寸法およびその配列はＪＩＳ規格による。	視覚障害者誘導用ブロック舗装		
		縮尺	1／10	YB-FA YB-FB
		日付	H14.4	



平 面 図

YB-LA

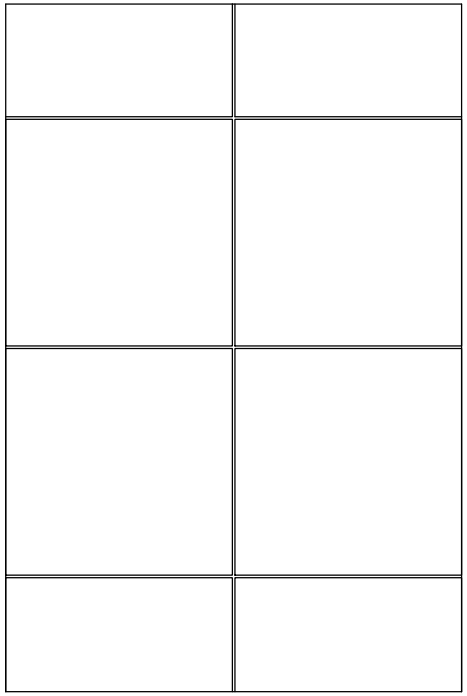


断 面 図

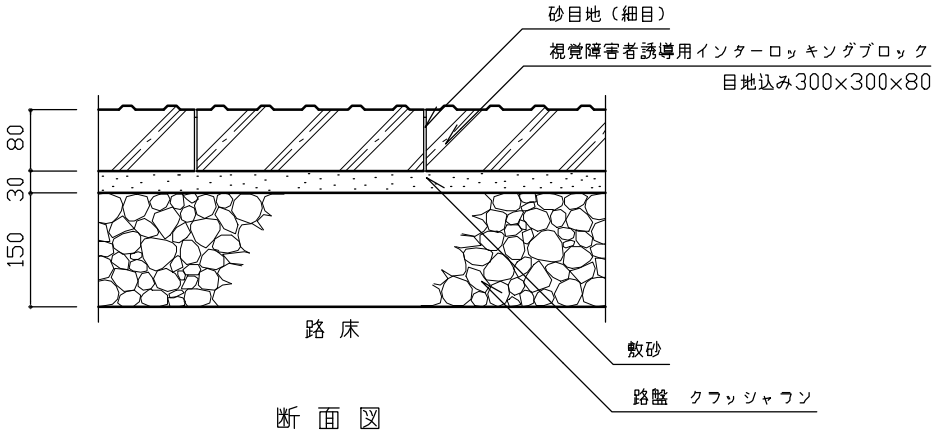
区分Ⅰ: 歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1，840kg／m3 とする。 ・敷砂は、砂（クッション用）とし、0.074mmフルイ通過量4％以下のものを使用する。 ・視覚障害者誘導用インターロッキングブロックは、インターロッキングブロックの規格に準ずる製品とする。 ・目地幅は3mmを標準とする。 ・目地砂は、粒径2.5mm以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	視覚障害者誘導用インターロッキング舗装		
		縮尺	1／10	YB-LA
		日付	H14.4	

YB-LB



平 面 図

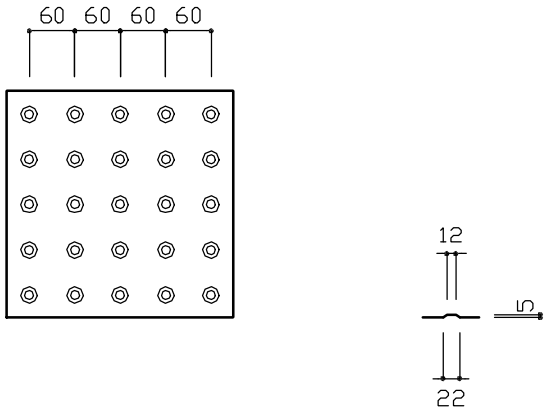


断 面 図

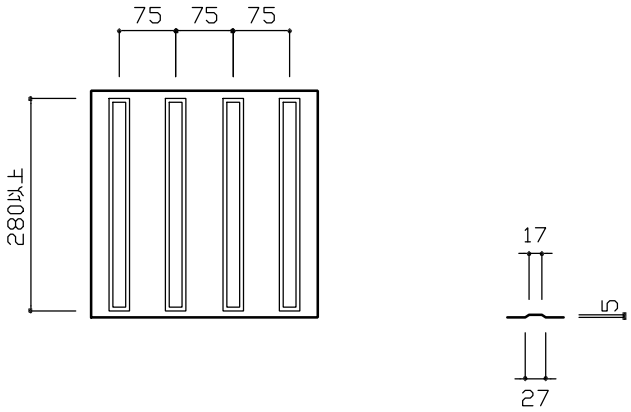
区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量４ｔ以下の
管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１，８４０ｋｇ／ｍ³ とする。 ・敷砂は、砂（クッション用）とし、0.074ｍｍフルイ通過量 ４％以下のものを使用する。 ・視覚障害者誘導用インターロッキングブロックは、インターロッキングブロックの規格に準ずる製品とする。 ・目地幅は３ｍｍを標準とする。 ・目地砂は、粒径2.5ｍｍ以下とし、シルト分を含まないものを使用する。	**視覚障害者誘導用インターロッキング舗装**		
		縮尺	1／10	**YB-LB**
		日付	H14.4	

点状ブロック

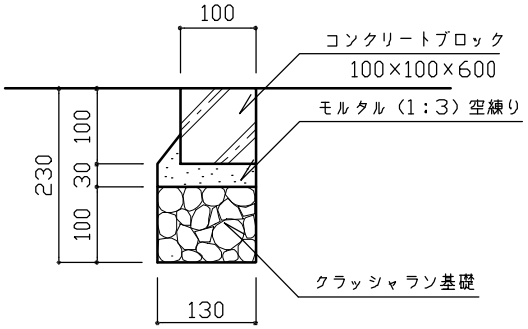


線状ブロック



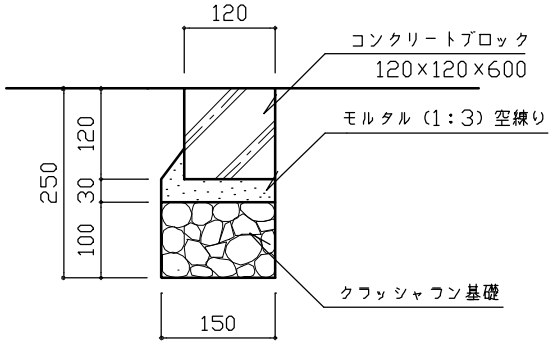
特記	・ブロックの突起の形状寸法およびその配列はＪＩＳ規格による。	視覚障害者誘導用インターロッキング舗装		
		縮尺	1／10	YB-LA YB-LB
		日付	H14.4	

TE-A1



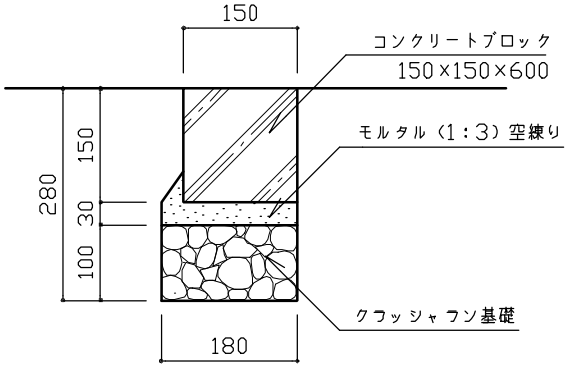
断面図

TE-A2



断面図

TE-A3

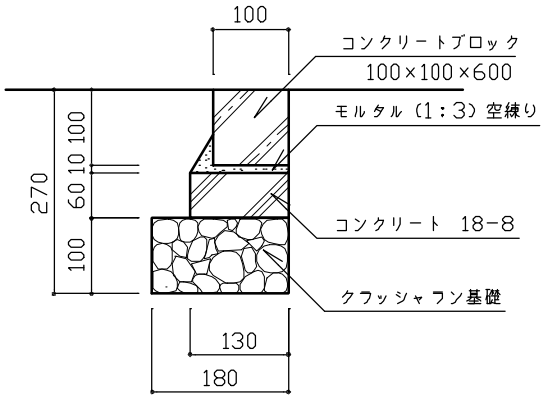


断面図

特記	
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートブロックは、JIS製品またはJIS表示許可工場で製造されたこれに準ずる製品とする。 ・目地モルタルは（1：2）練とし、目地幅は5mm、深さは5mmを標準とする。

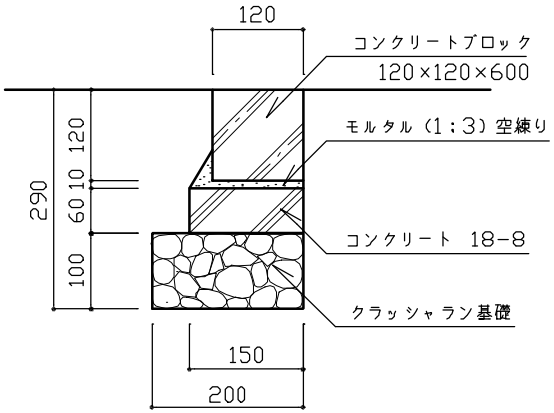
コンクリート縁石（地先）		
縮尺	1／10	TE-A1 TE-A2 TE-A3
日付	H14.4	

TE-B1



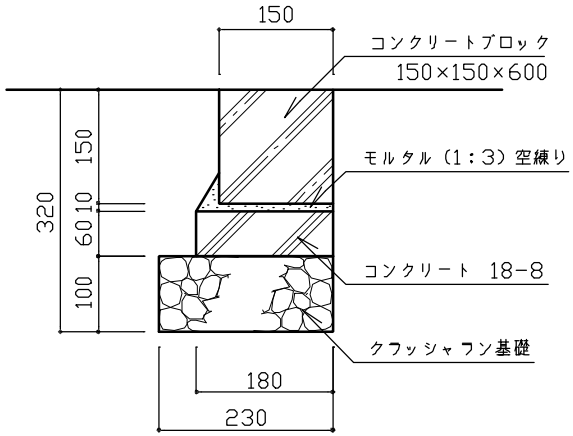
断面図

TE-B2



断面図

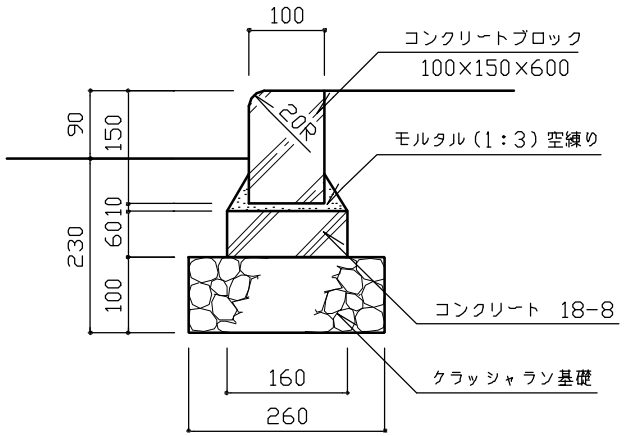
TE-B3



断面図

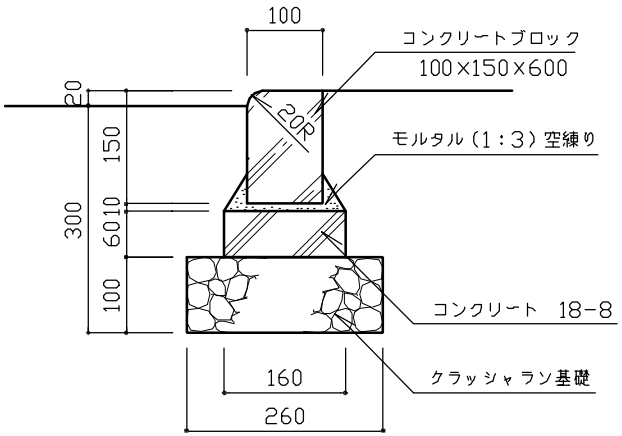
特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。 ◦コンクリートは、高炉Bとする。 ◦コンクリートブロックは、JIS製品またはJIS表示許可工場で製造されたこれに準ずる製品とする。 ◦目地モルタルは（1：2）練とし、目地幅は5mm、深さは5mmを標準とする。	コンクリート縁石（地先）	
		縮尺 1/10	TE-B1 TE-B2 TE-B3
		日付 H14.4	

KE-B



断 面 図

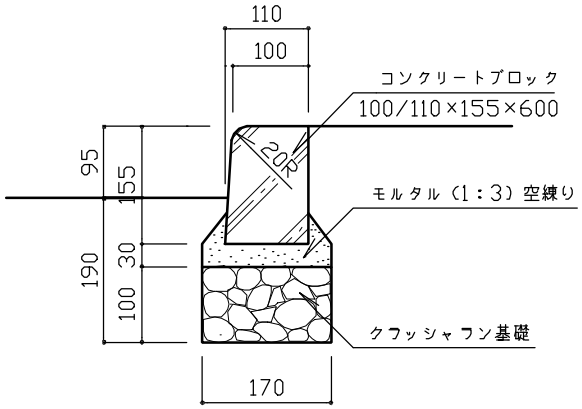
KE-BK（切下げ部）



断 面 図

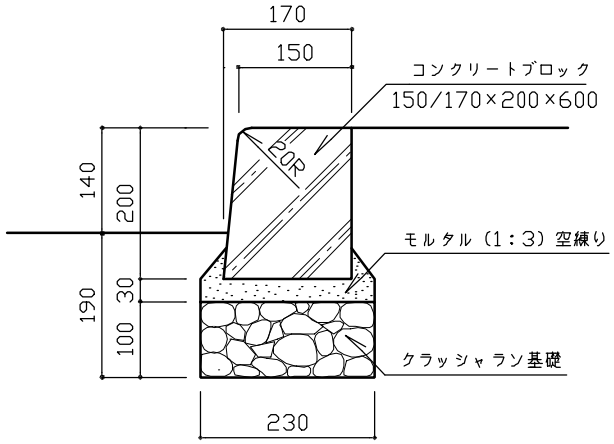
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・コンクリートブロックは、JIS表示許可工場で製造されたJIS製品に準ずる製品とする。 ・目地モルタルは（1：2）練とし、目地幅は5mm、深さは5mmを標準とする。	コンクリート縁石（公園）		
		縮尺	1／10	KE-B KE-BK
		日付	H14.4	

HE-A1



断 面 図

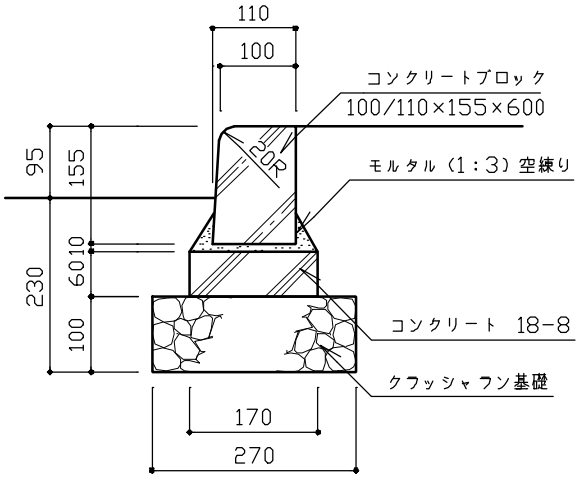
HE-A2



断 面 図

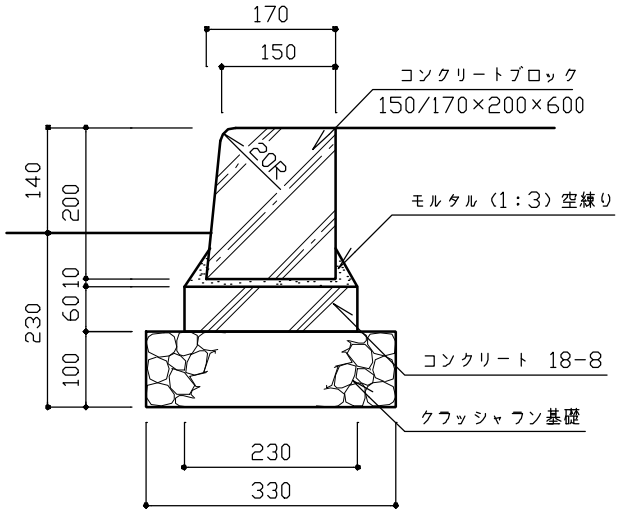
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックは、JIS製品またはJIS表示許可工場で製造されたこれに準ずる製品とする。 ・目地モルタルは（１：２）練とし、目地幅は5mm、深さは5mmを標準とする。	コンクリート縁石（歩車道）		
		縮尺	1／10	HE-A1 HE-A2
		日付	H14.4	

HE－B1



断面図

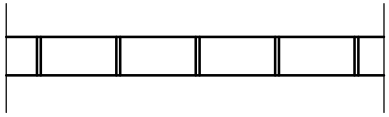
HE－B2



断面図

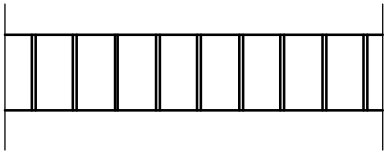
特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ◦コンクリートは、高炉Bとする。 ◦コンクリートブロックは、JIS製品またはJIS表示許可工場で製造されたこれに準ずる製品とする。 ◦目地モルタルは（1：2）練とし、目地幅は5mm、深さは5mmを標準とする。	コンクリート縁石（歩車道）	
		縮尺 1／10	HE-B1 HE-B2
		日付 H14.4	

YE-T

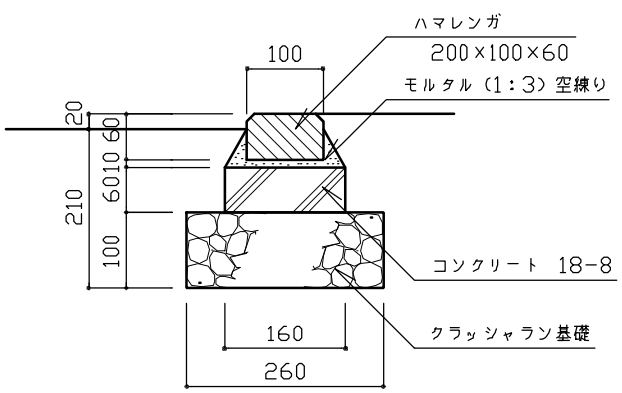


平 面 図 1/20

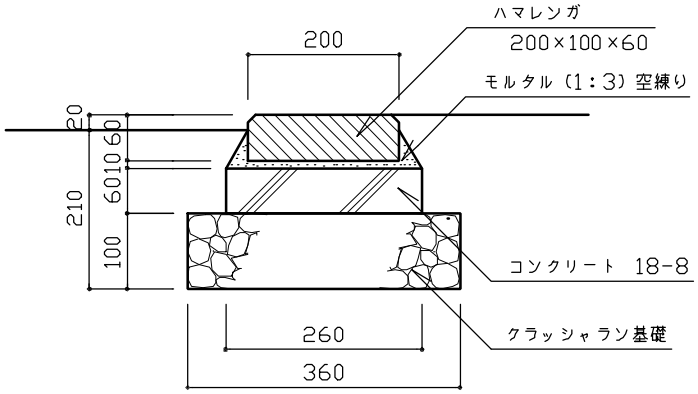
YE-Y



平 面 図 1/20

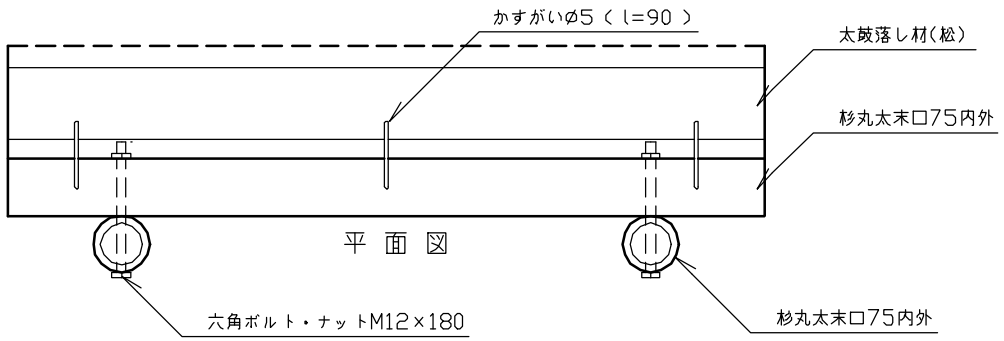


断 面 図 1/10

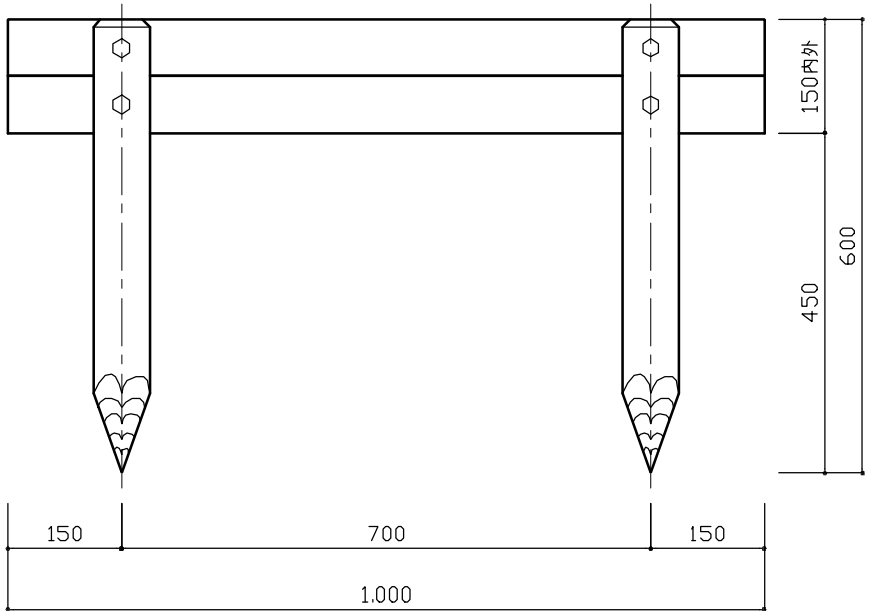


断 面 図 1/10

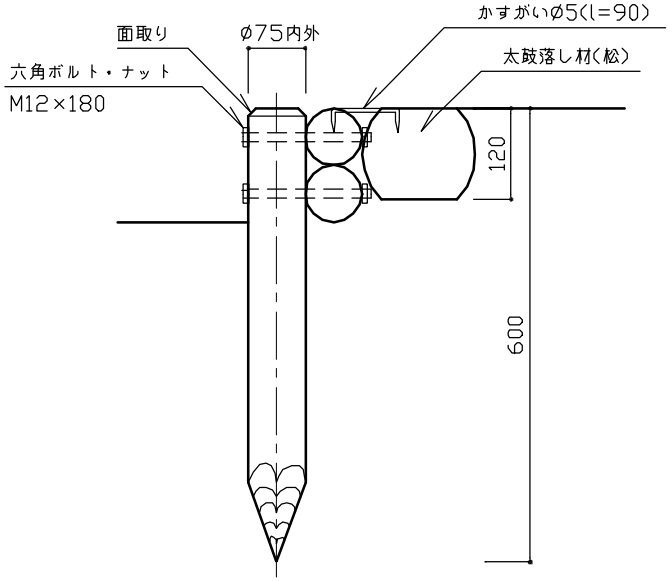
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・ハマレンガは、横浜市下水道局の製品とし、ブロックの表面仕上げ（プレーン､割肌）は、監督員の指示による。 ・目地モルタルは、（１：２）練り とし、目地幅は１０mm、深さは5mmを標準とする。	**ハマレンガ縁石**	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		YE-T YE-Y	



平 面 図

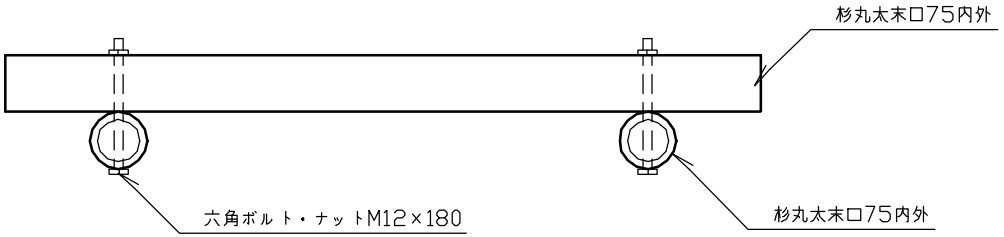


正 面 図

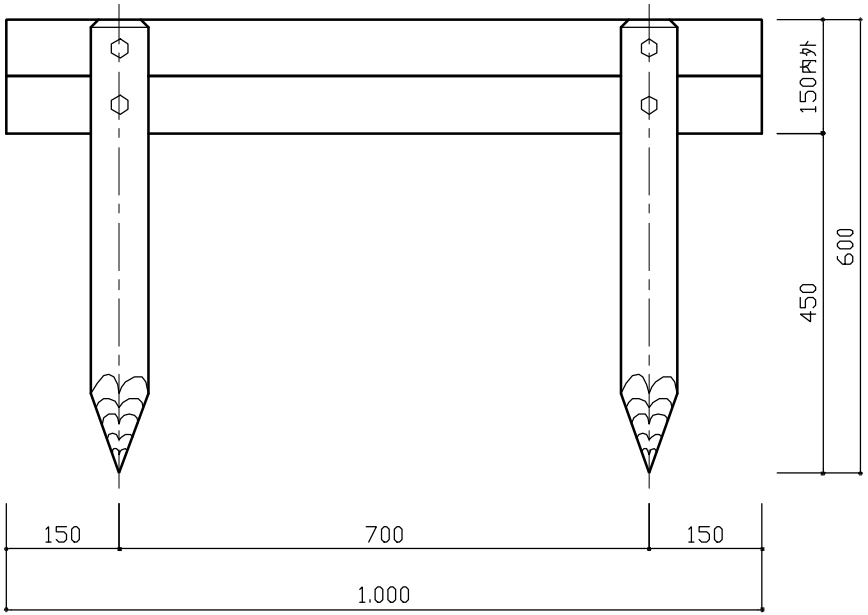


断 面 図

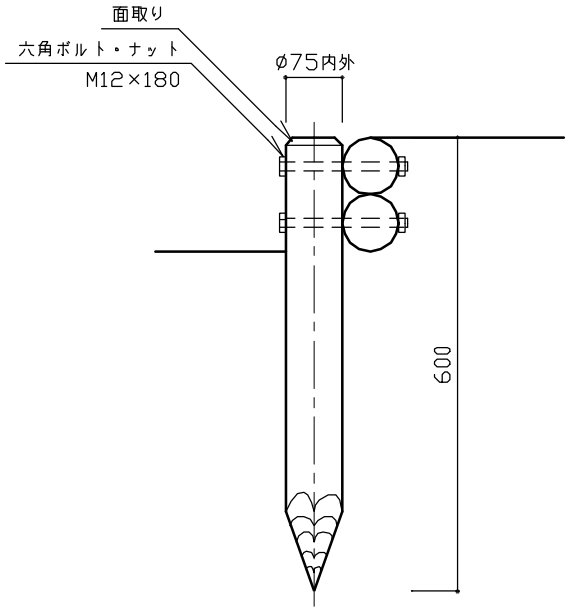
特記	・木部は、加工後、クレオソート加圧注入処理とする。注入量は、木部防腐処理基準による。 ・六角ボルト・ナットは、SUS304とする。	丸太階段	
		縮尺 1/10	KD-MA
		日付 H14.4	



平 面 図

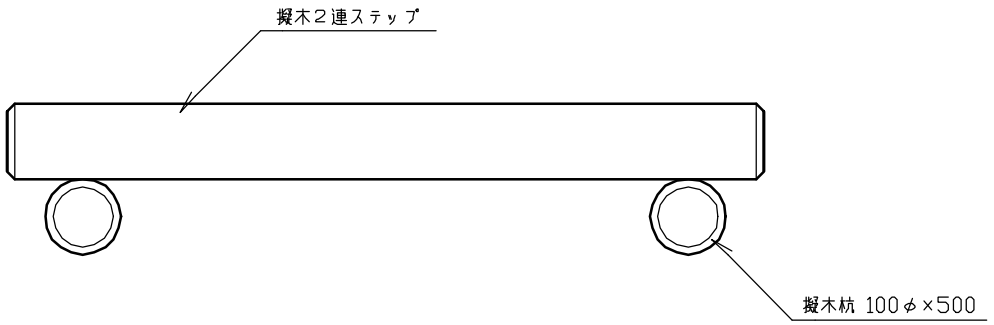


正 面 図



断 面 図

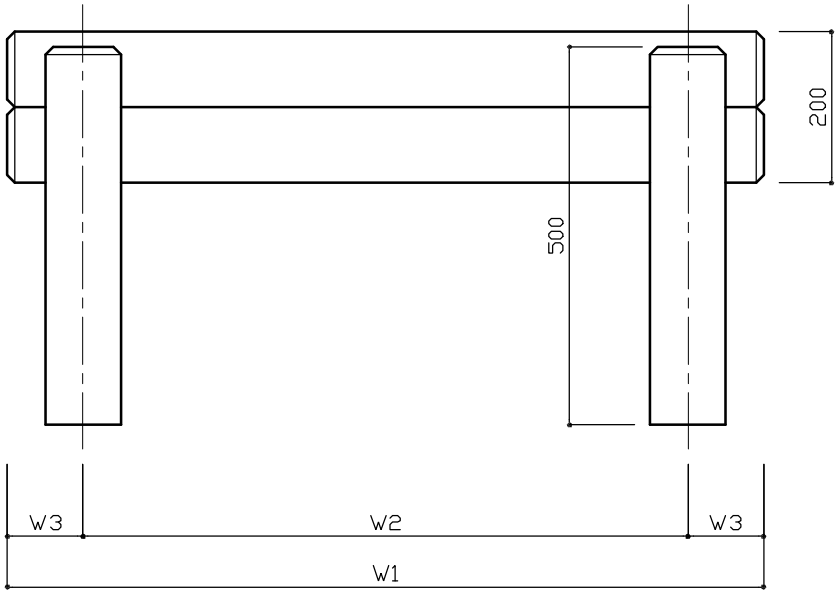
特記	・木部は、加工後、クレオソート加圧注入処理とする。注入量は、木部防腐処理基準による。 ・六角ボルト・ナットは、SUS304とする。	丸太階段	
		縮尺 1/10	KD-MB
		日付 H14.4	



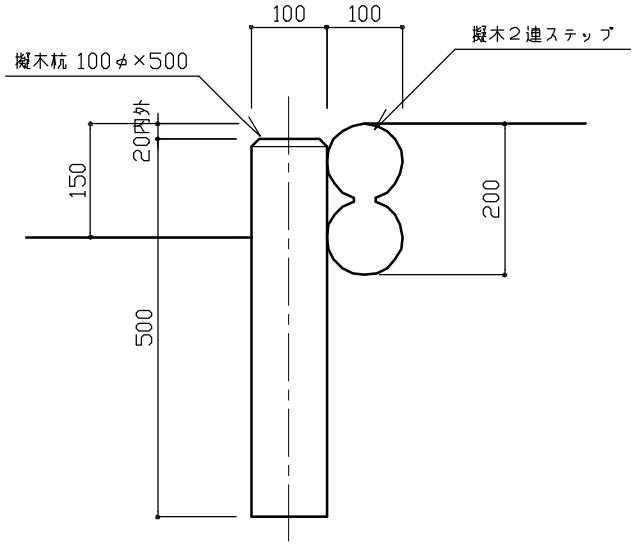
平 面 図

寸 法 表　　（単位 mm）

記 号	W1	W2	W3
KD-G100	1,000	800	100
KD-G150	1,500	1,200	150
KD-G200	2,000	1,700	150



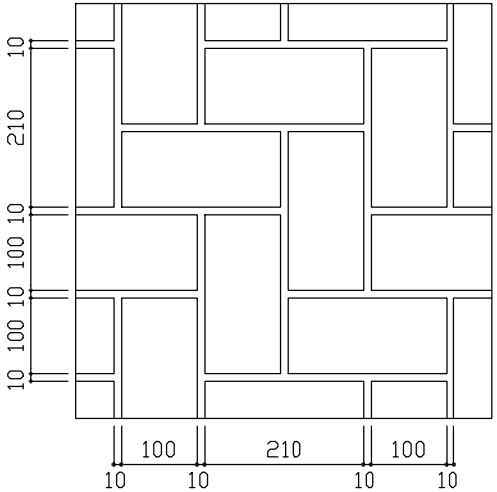
正 面 図



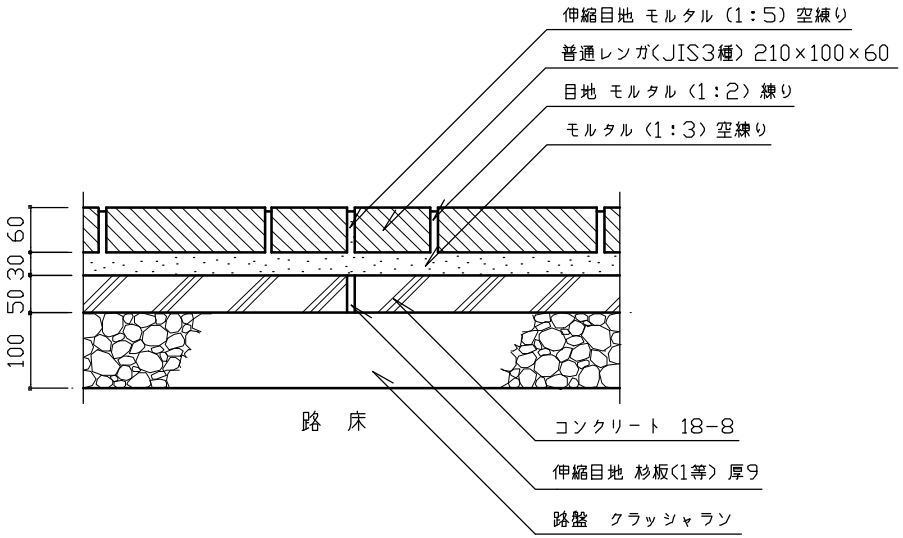
断 面 図

特記	◦擬木はコンクリート擬木くぬぎ肌とする。 ◦擬木の配筋は、ステップ：主筋D10 2本 補強筋φ4@200、杭：主筋φ4 3本 フープφ3.2@200または同等以上とする。	擬木階段	
		縮尺 1／10	KD-G100 KD-G150 KD-G200
		日付 H14.4	

S6 園路広場:参考図



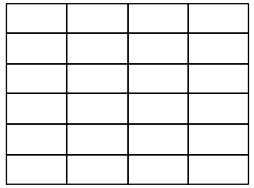
平 面 図



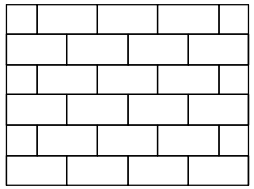
断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

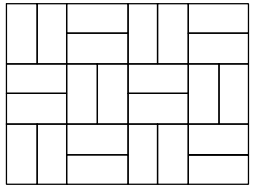
舗装パターン



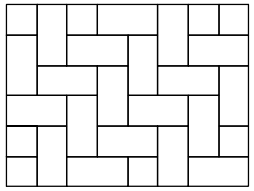
いも目地(a)



れんが目地(b)

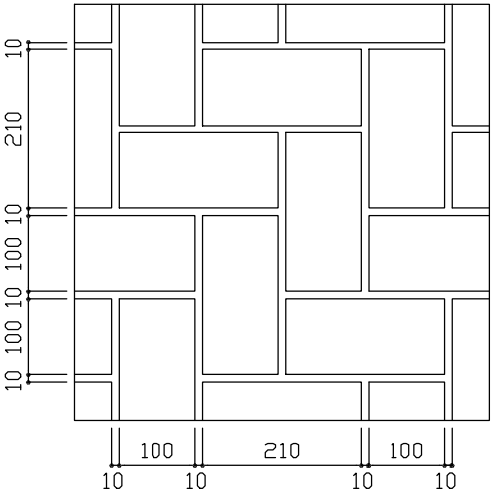


市松目地(c)

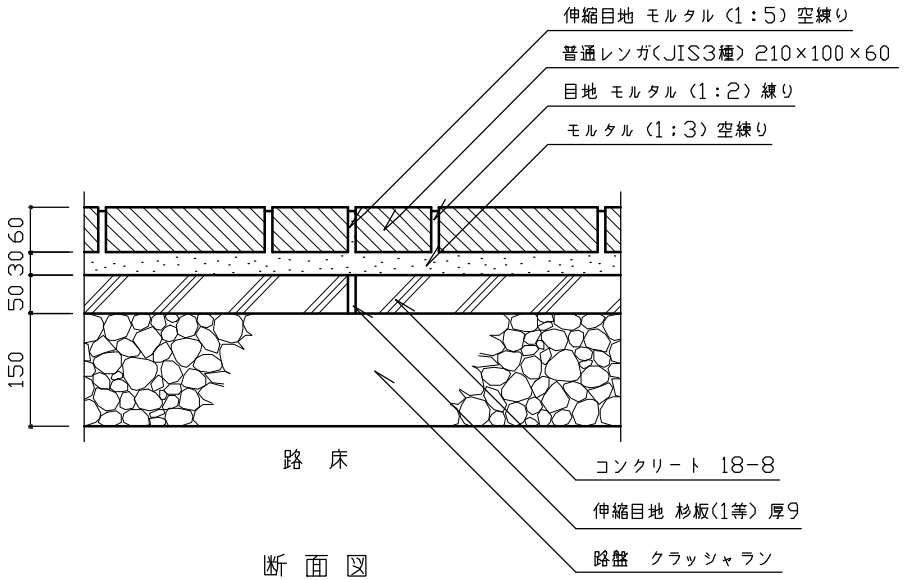


網代目地(d)

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／m³とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・コンクリート部の伸縮目地は、杉板（1等）厚9ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・レンガ部の伸縮目地は、モルタル（1：5）空練とし、幅10ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・目地の深さは、5ｍｍを標準とする。	**レンガ舗装（平敷き）[参考図]**	
		縮尺 1／10	**RH-HA**
		日付 H14.4	



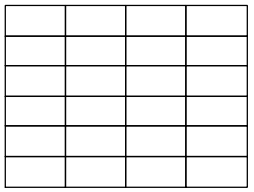
平 面 図



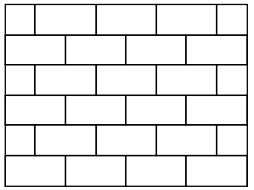
断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

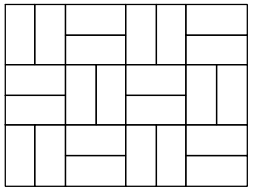
舗装パターン



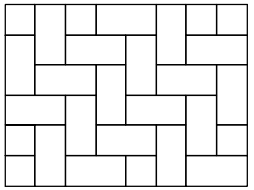
いも目地(a)



れんが目地(b)

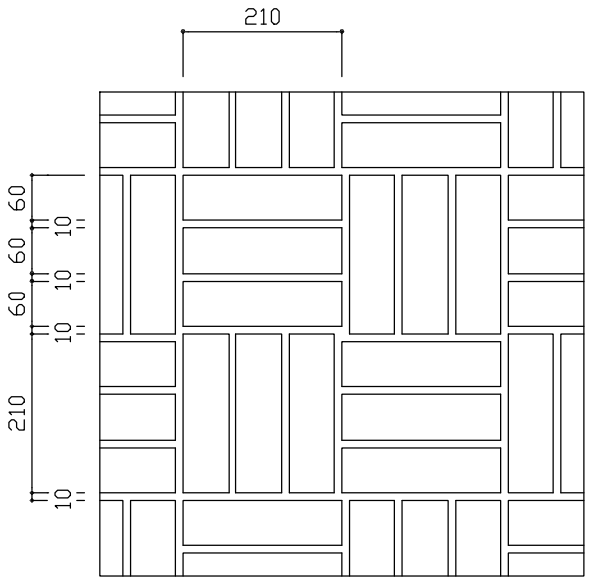


市松目地(c)

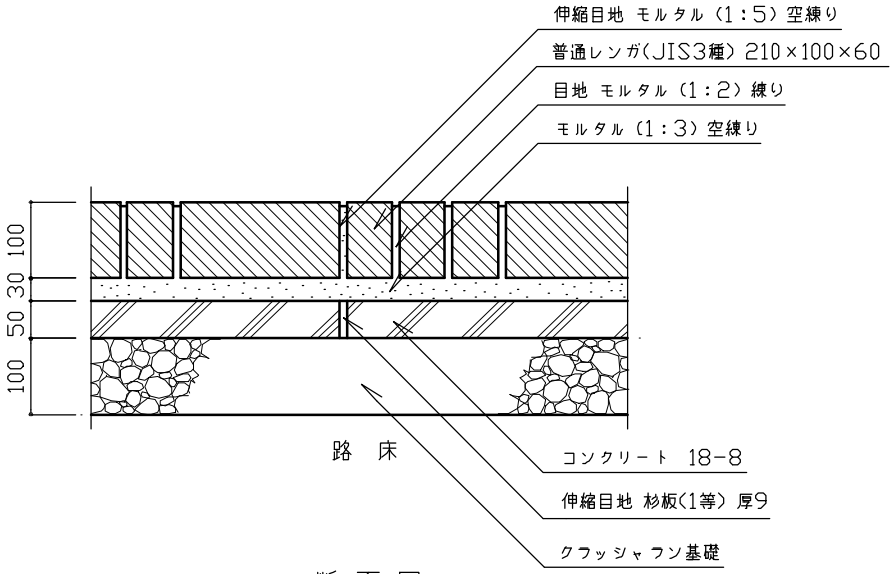


網代目地(d)

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／m^3とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・コンクリート部の伸縮目地は、杉板（1等）厚9ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・レンガ部の伸縮目地は、モルタル（1：5）空練とし、幅10ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・目地の深さは、5ｍｍを標準とする。	**レンガ舗装（平敷き）[参考図]**		
		縮尺	1／10	**RH-HB**
		日付	H14.4	



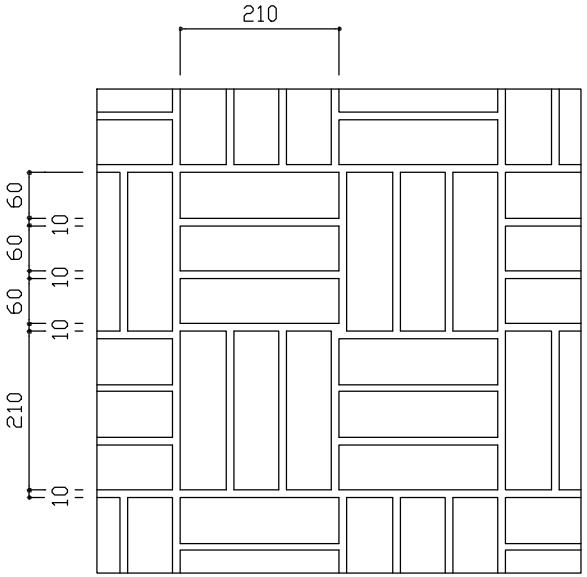
平 面 図



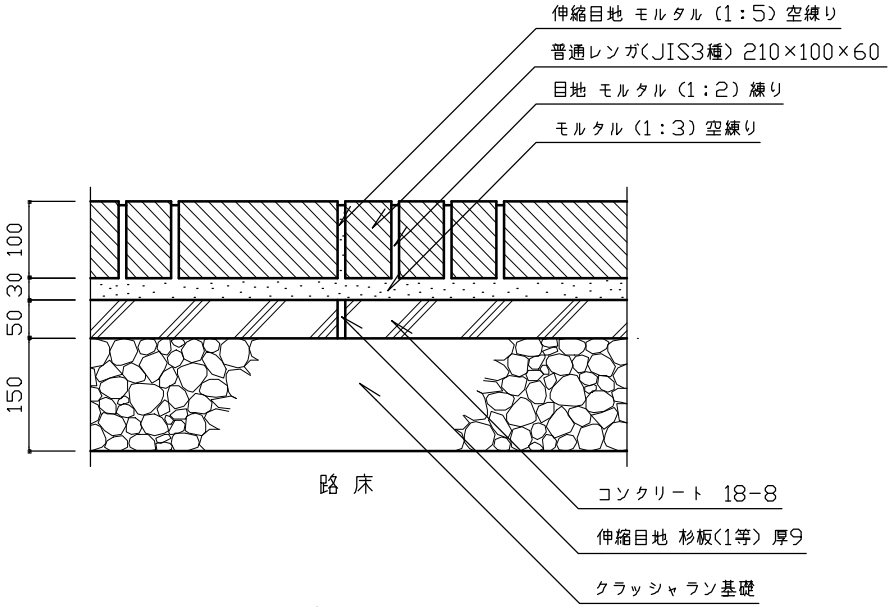
断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／m^3とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・コンクリート部の伸縮目地は、杉板（1等）厚9ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・レンガ部の伸縮目地は、モルタル（1：5）空練とし、幅10ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・目地の深さは、5ｍｍを標準とする。	**レンガ舗装(小端立て敷き) [参考図]**		
		縮尺	1／10	**RH-KA**
		日付	H14.4	



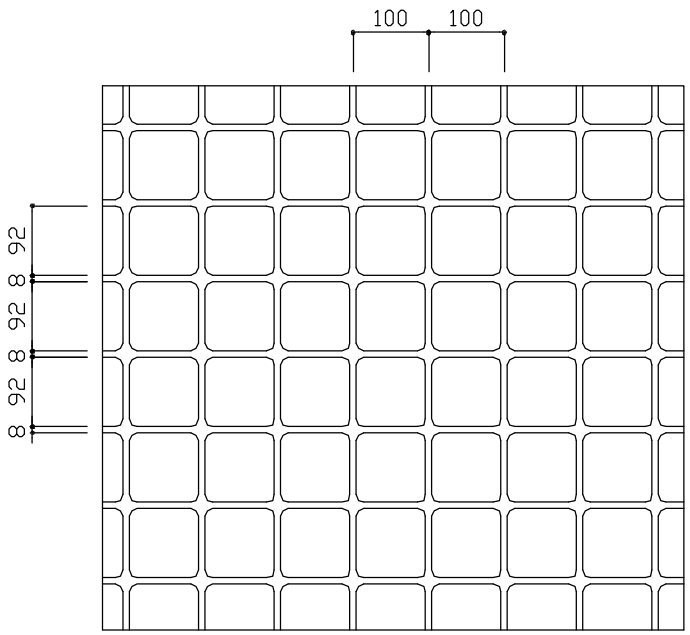
平 面 図



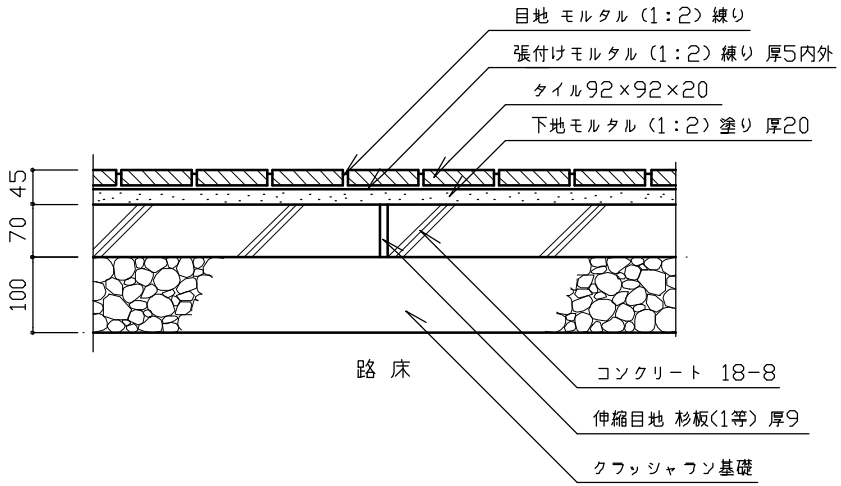
断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／m³とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・コンクリート部の伸縮目地は、杉板（1等）厚9ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・レンガ部の伸縮目地は、モルタル（1：5）空練とし、幅10ｍｍ、@5.0ｍを標準とする。 ・目地の深さは、5ｍｍを標準とする。	**レンガ舗装(小端立て敷き) [参考図]**	
		縮尺 1／10	**RH-KB**
		日付 H14.4	



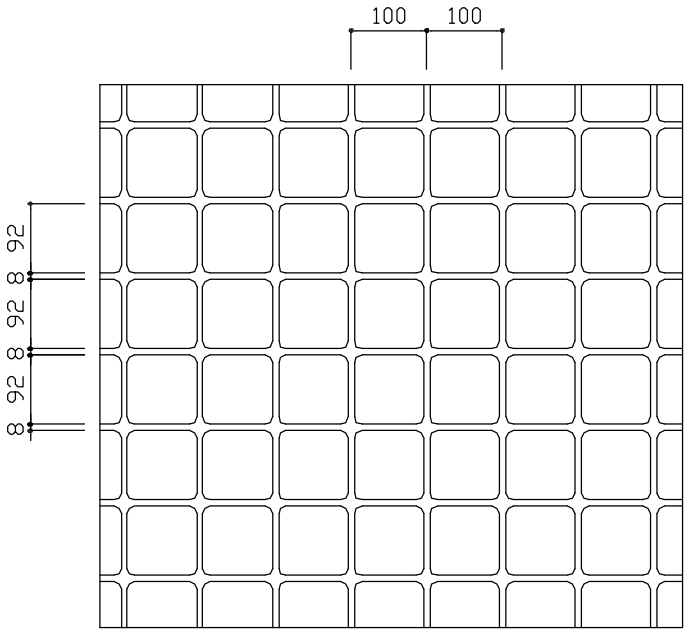
平 面 図



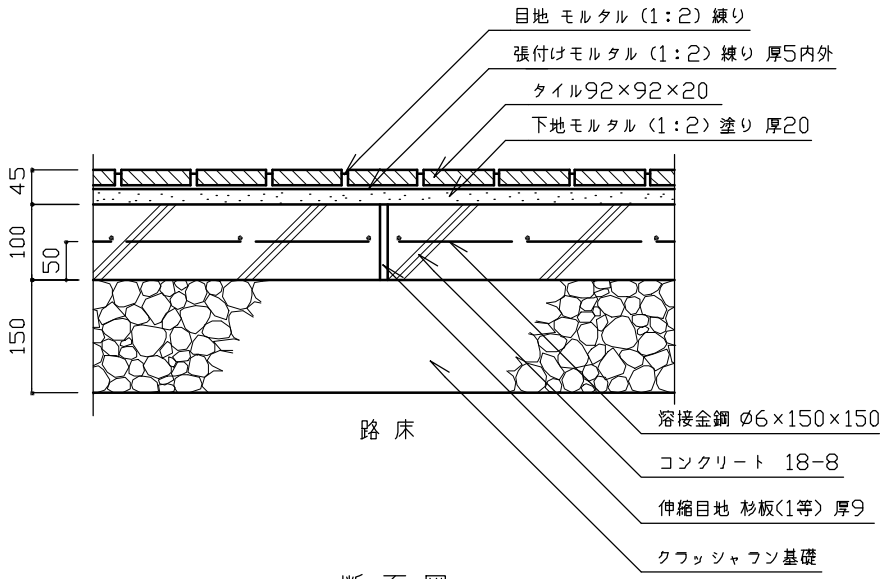
断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840kg／m³とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・伸縮目地は、杉板（1等）厚9mmとし、@5.0mを標準とする。 ・タイルは、御影石調、外装床用、磁器質とする。 ・目地の深さは、5mmを標準とする。	タイル舗装 [参考図]		
		縮尺	1／10	TH-SA
		日付	H14.4	



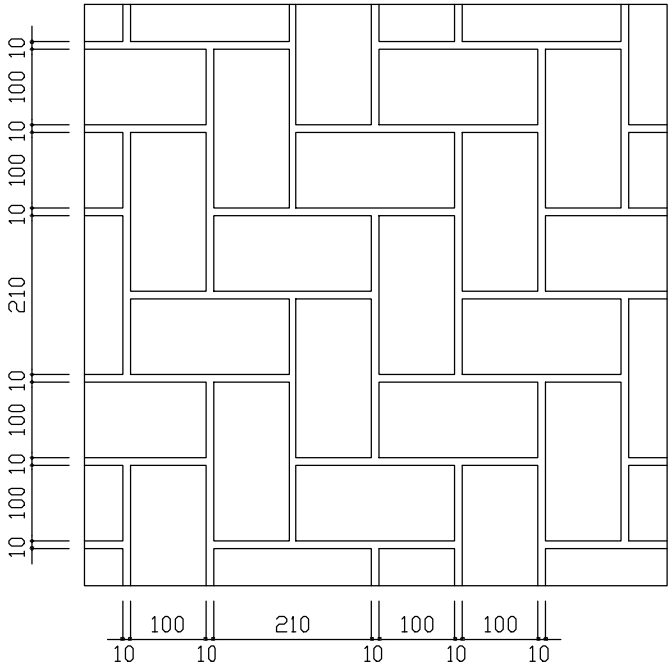
平 面 図



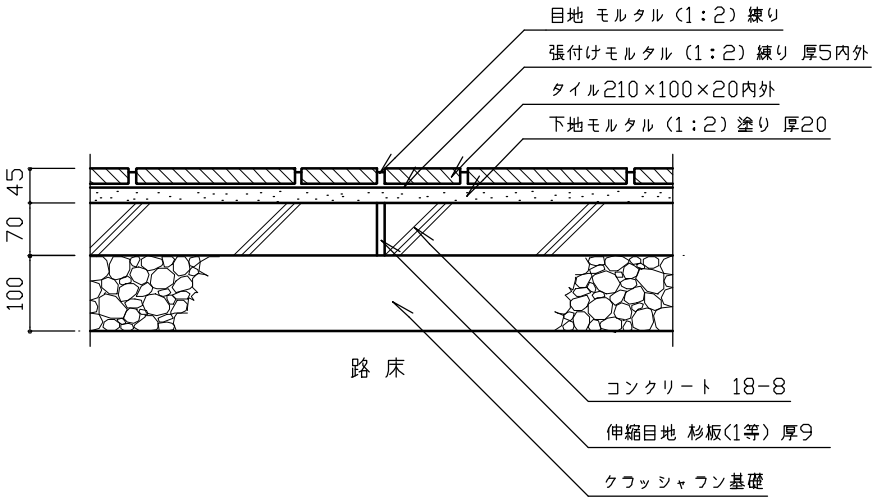
断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／m^3とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・伸縮目地は、杉板（1等）厚９ｍｍとし、@5.0ｍを標準とする。 ・タイルは、御影石調、外装床用、磁器質とする。 ・目地の深さは、５ｍｍを標準とする。	**タイル舗装 [参考図]**	
		縮尺 1／10	**TH-SB**
		日付 H14.4	



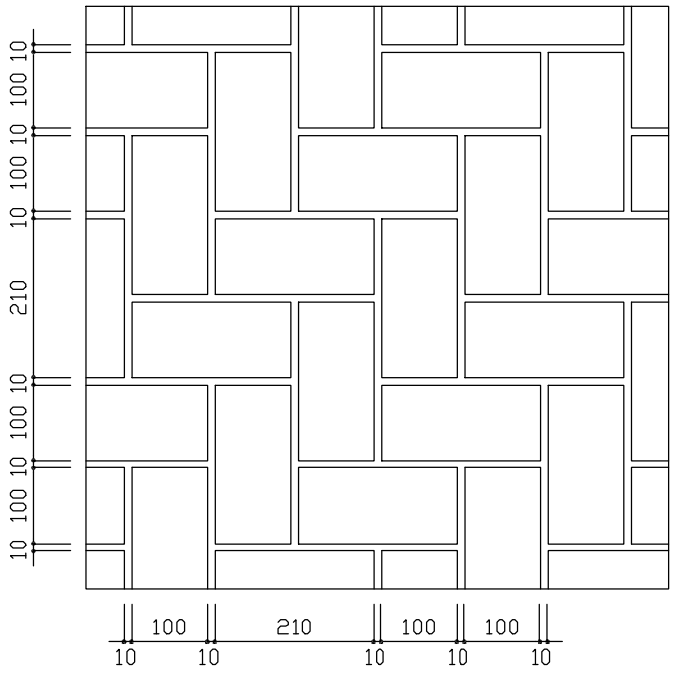
平 面 図



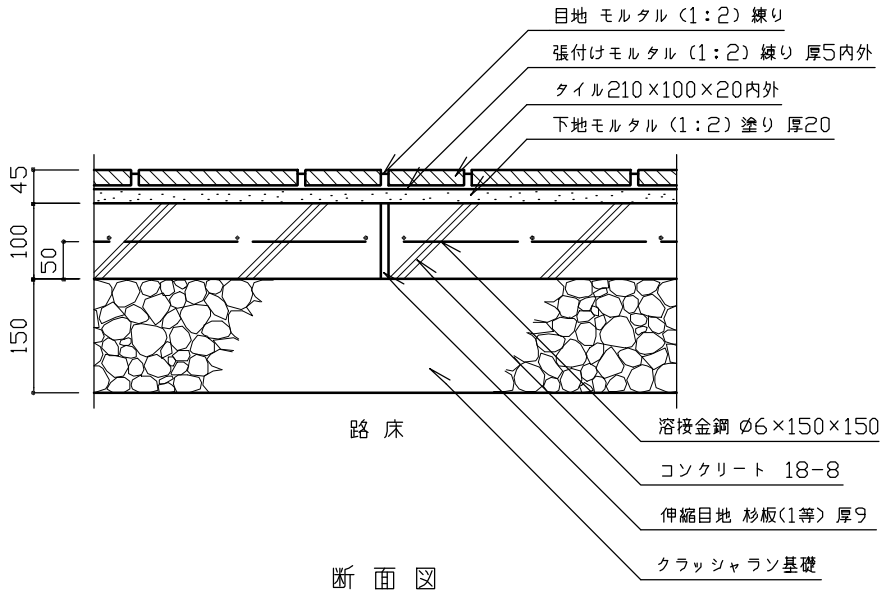
断 面 図

区分Ⅰ:歩行者・自転車道

特記	◦路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ◦路盤の設計密度は、1,840kg／m³とする。 ◦コンクリートは、高炉Bとする。 ◦伸縮目地は、杉板（1等）厚9mmとし、@5.0mを標準とする。 ◦タイルは、レンガ調、外装床用、せっ器質とする。 ◦目地の深さは、5mmを標準とする。	タイル舗装 [参考図]		
		縮尺	1／10	TH-RA
		日付	H14.4	



平 面 図

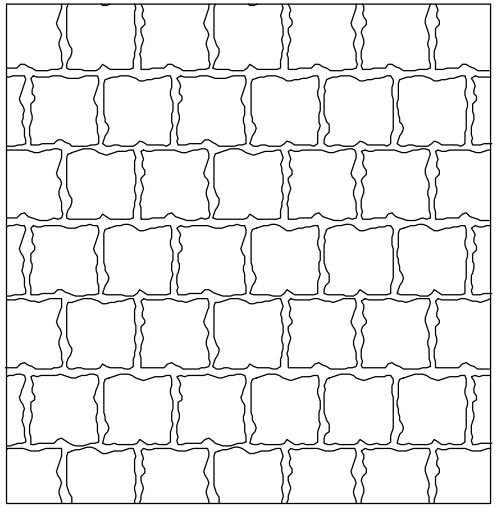


断 面 図

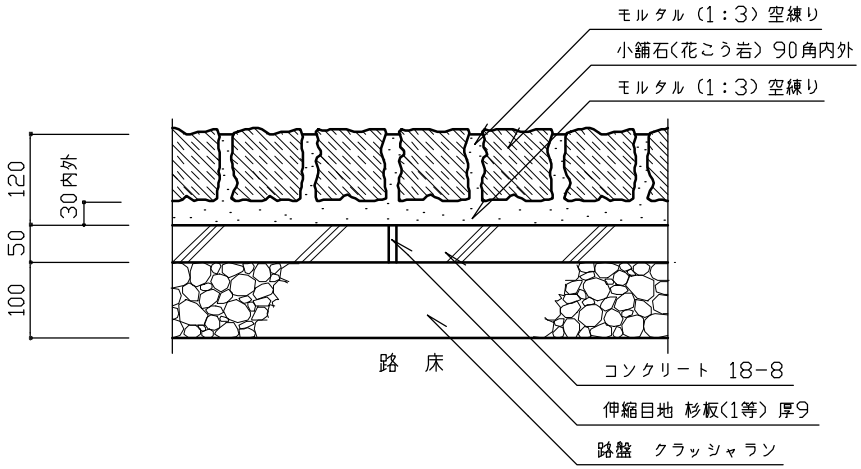
区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量
４ｔ以下の管理用車両道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、1,840ｋｇ／m^3とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・伸縮目地は、杉板（1等）厚９ｍｍとし、@5.0ｍを標準とする。 ・タイルは、レンガ調、外装床用、せっ器質とする。 ・目地の深さは、５ｍｍを標準とする。	**タイル舗装 [参考図]**	
		縮尺 1／10	**TH-RB**
		日付 H14.4	

SH-A



平 面 図

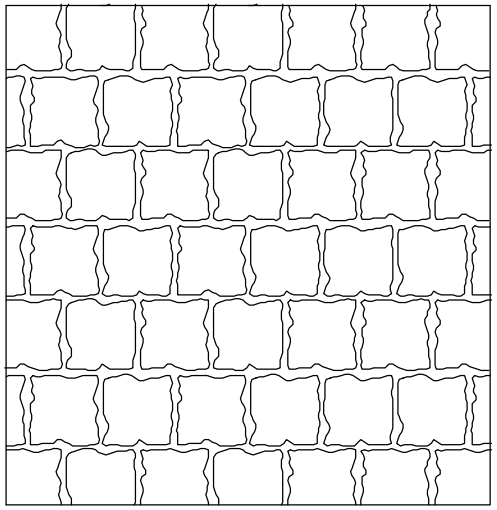


断 面 図

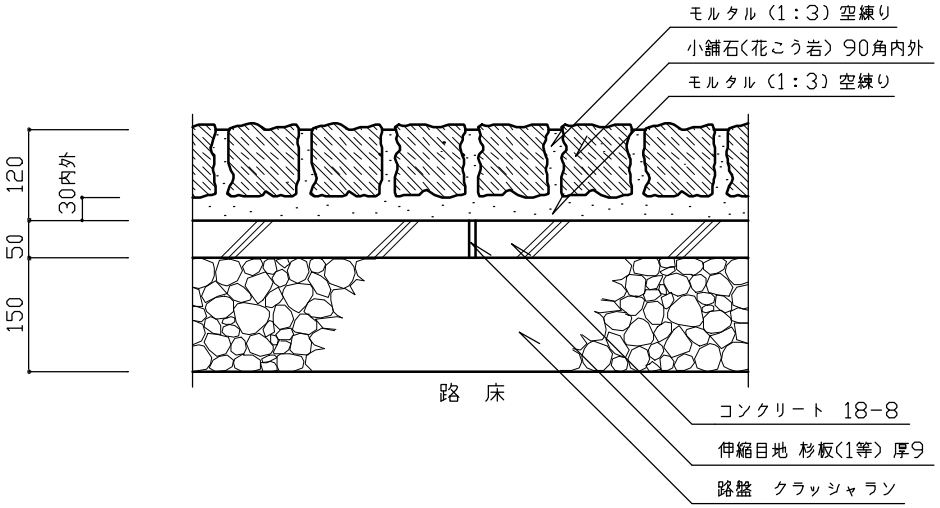
区分Ⅰ:歩行者・自転車道

特記	・路盤は、再生クラッシャラン（RC－40）とする。 ・路盤の設計密度は、1，840kg／m³ とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・伸縮目地は、杉板（1等）厚9mmとし、@5.0mを標準とする。 ・目地は、幅10mm程度とする。	小舗石舗装［参考図］		
		縮尺	1／10	SH-A
		日付	H14.4	

SH-B



平 面 図

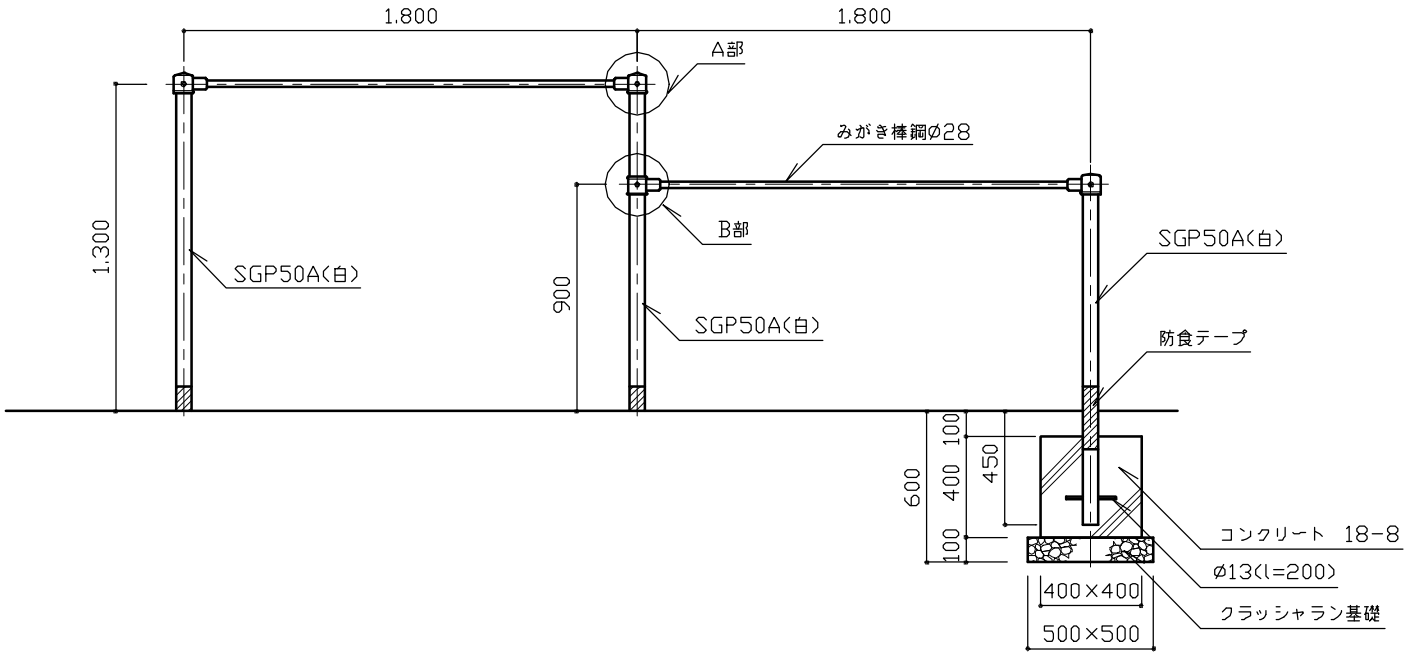


断 面 図

区分Ⅱ:歩行者・自転車道及び最大積載量４ｔ以下の
管理用車両道

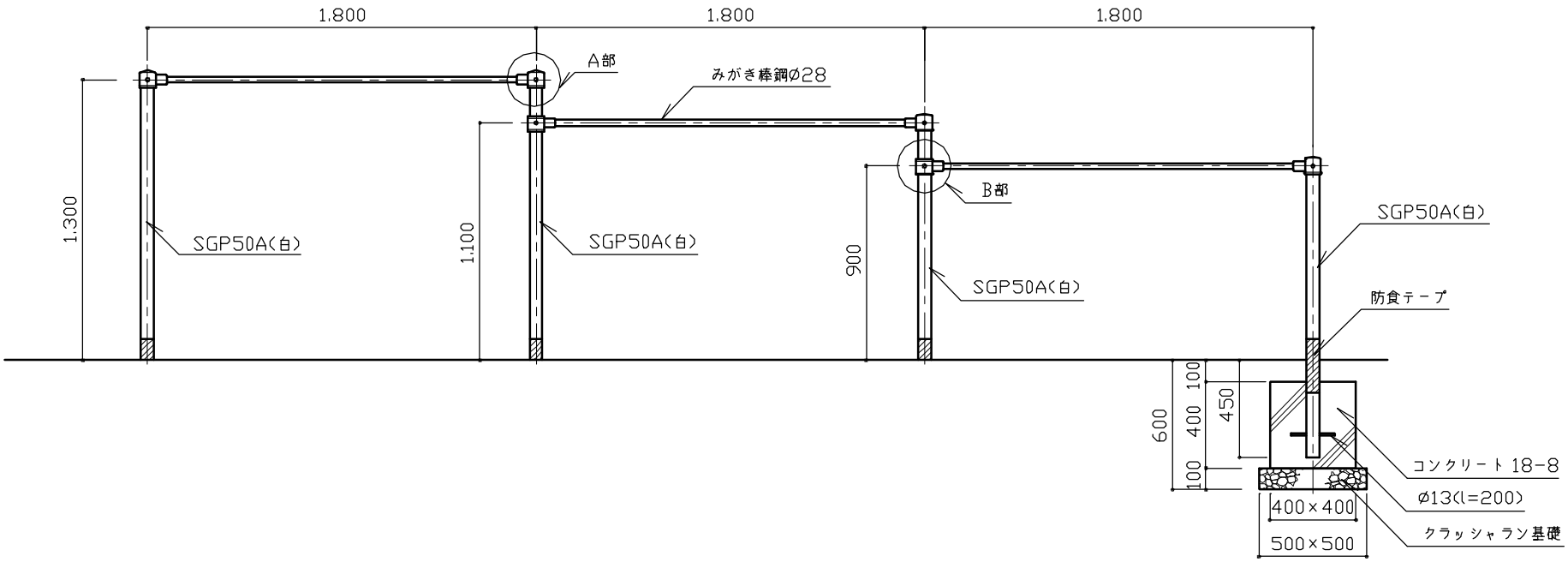
特記	・路盤は、再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）とする。 ・路盤の設計密度は、１，８４０ｋｇ／m^3 とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・伸縮目地は、杉板（１等）厚９ｍｍとし、@5.0ｍを標準とする。 ・目地は、幅10ｍｍ程度とする。	小舗石舗装 [参考図]		
		縮尺	1／10	SH-B
		日付	H14.4	

7 遊　戯　施　設



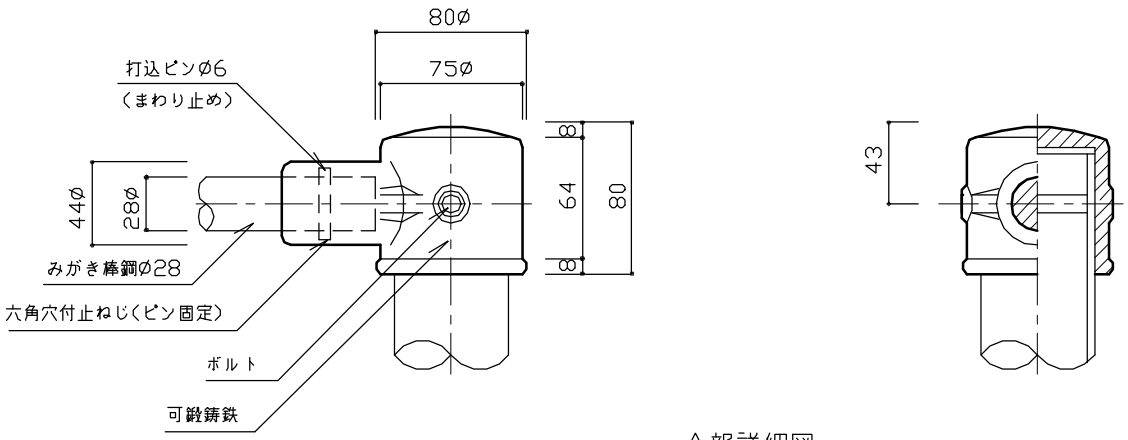
立 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。ただし、みがき棒鋼［φ２８］は除く。 ◦防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始め箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	**低鉄棒（2段）**		
		縮尺	1／30	**LTE-2**
		日付	H15.4	

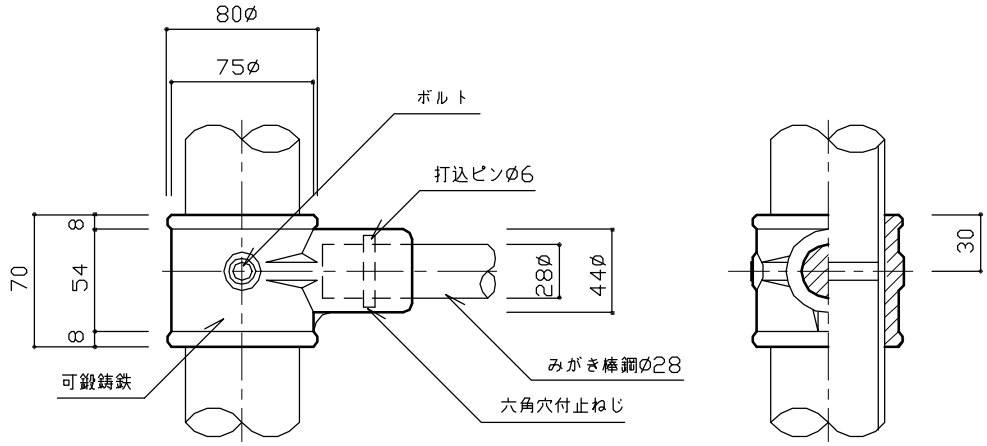


立 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。ただし、みがき棒鋼［φ２８］は除く。 ・防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始め箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	低鉄棒（3段）		
		縮尺	1／30	LTE-3
		日付	H15.4	

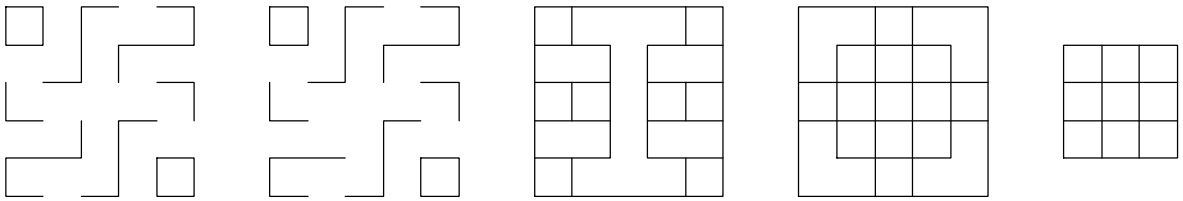


A部詳細図

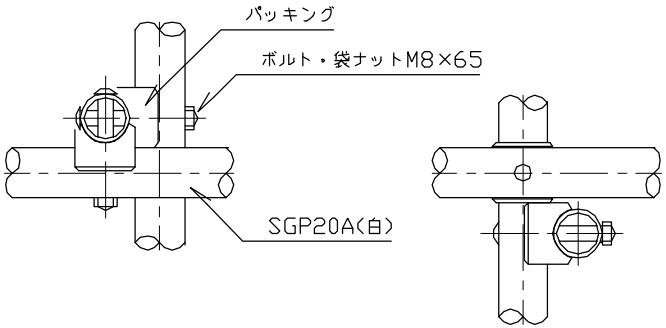


B部詳細図

特記	・ボルト、ピン類は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・可鍛鋳鉄はダクタイル鋳鉄（FCD400以上）も可とする。 ・ボルトは、六角穴付ボタンボルト、六角穴付止ねじ等、引っ掛かりのおそれのないものとする。	低鉄棒（2段・3段）	
		縮尺 1／4	LTE-2 LTE-3
		日付 H15.4	

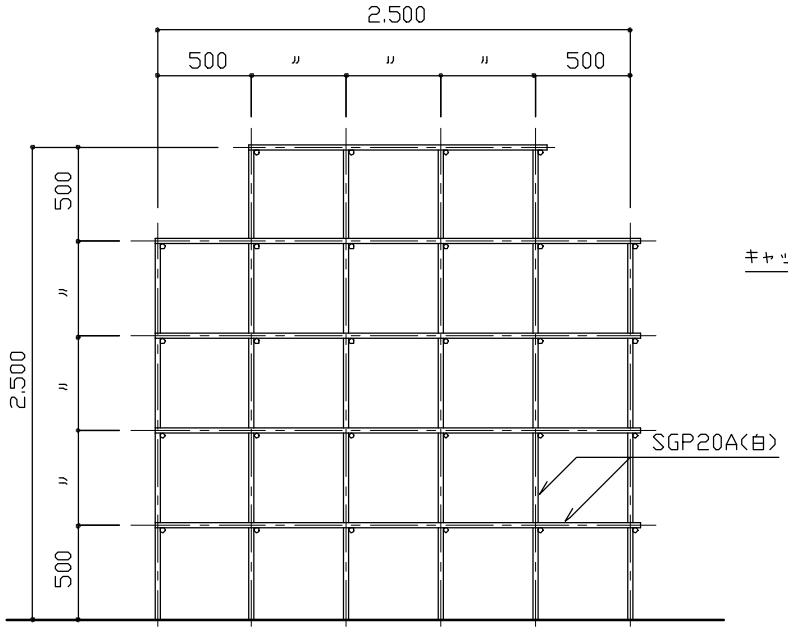


各段平面図 1/100

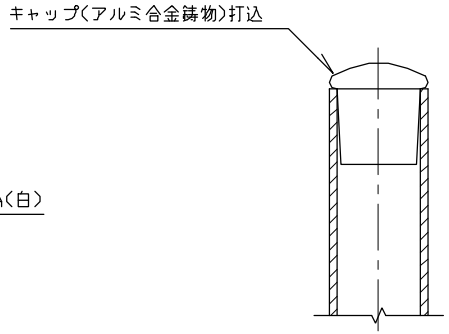


平 面 図　　立 面 図

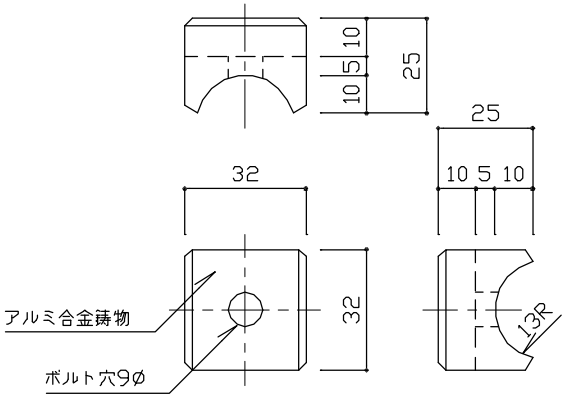
ジョイント詳細図 1/4



立 面 図 1/40

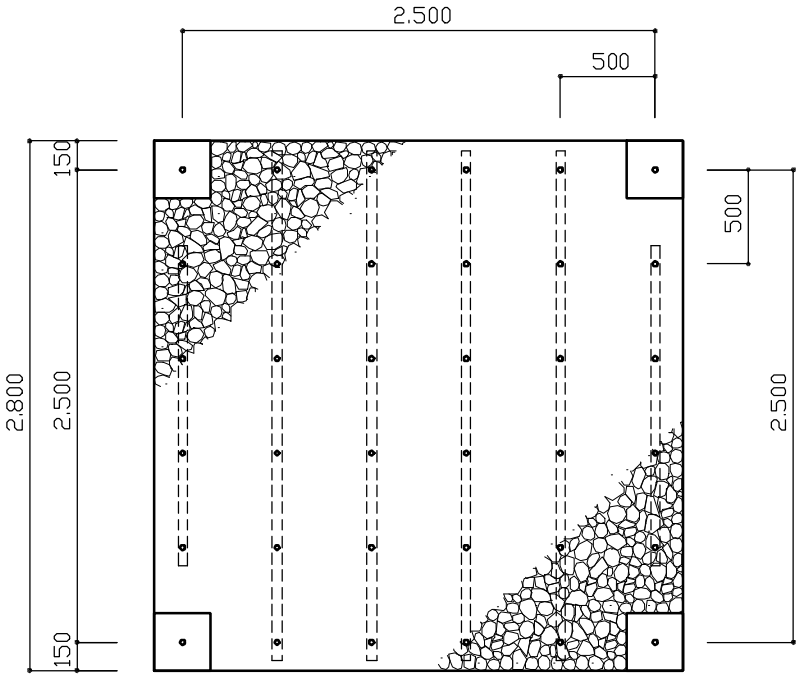


キャップ詳細図 1/2

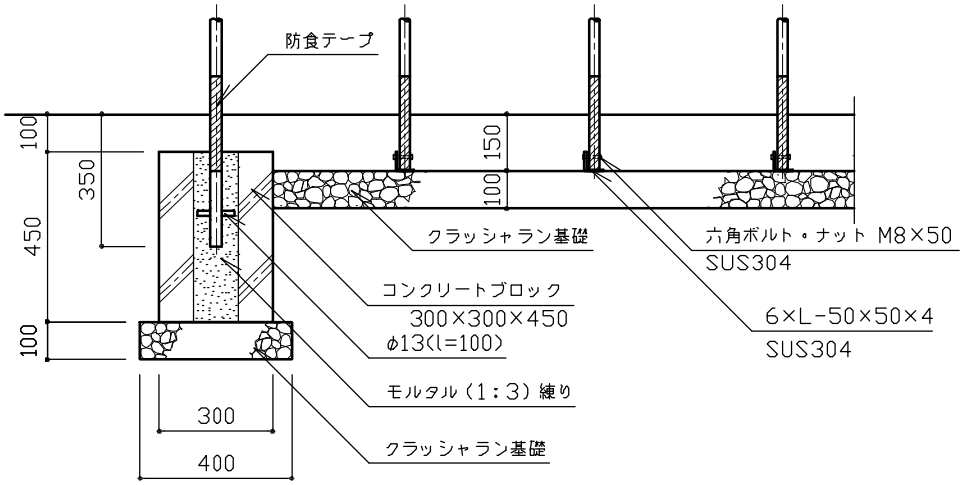


パッキング詳細図 1/2

特記	・ボルト、ナットは、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。ただし、地中部のボルトナットはSUS304とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。 ・ボルトは六角穴付ボタンボルト、丸頭ボルト等、引っ掛かりのおそれのないものとする。	**ジャングルジム**	
		縮尺	図 示
		日付	H15.4
		JA	



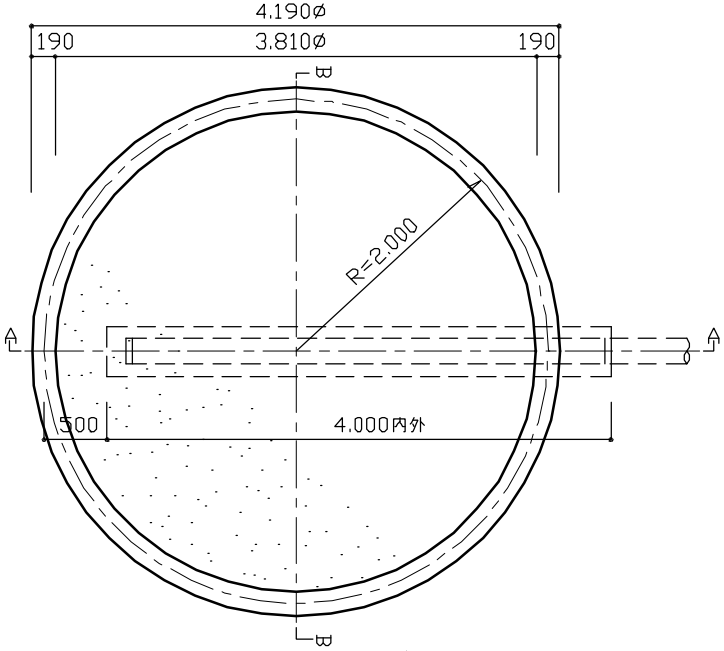
基礎平面図1/40



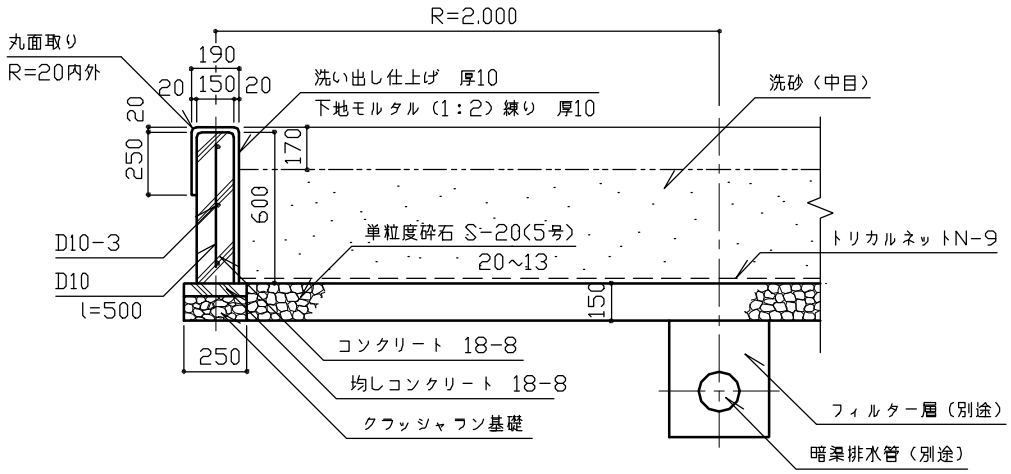
基礎詳細図 1/20

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。 ◦コンクリートブロックの中穴は、上面　□160、下面　□130とする。 ◦鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装2回もしくは粉体塗装(指定色)とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。 ◦防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高+100mmから基礎内50mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始め箇所まで巻き下ろす。(防食テープ層4層)	ジャングルジム		
		縮尺	図 示	JA
		日付	H15.4	

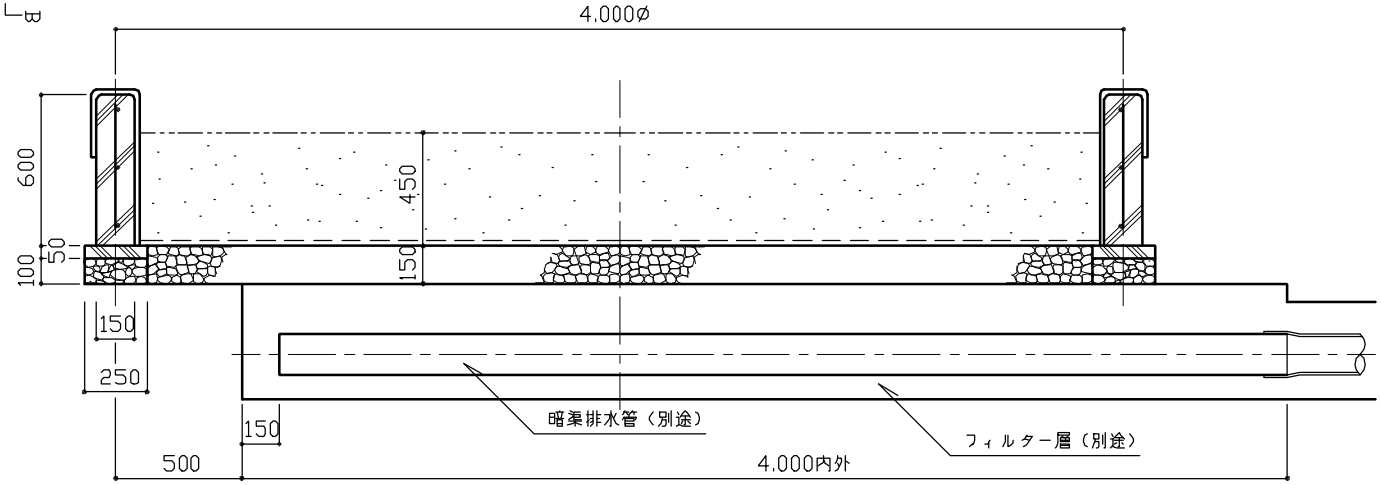
S7 遊戯施設:参考図



平 面 図 1/60



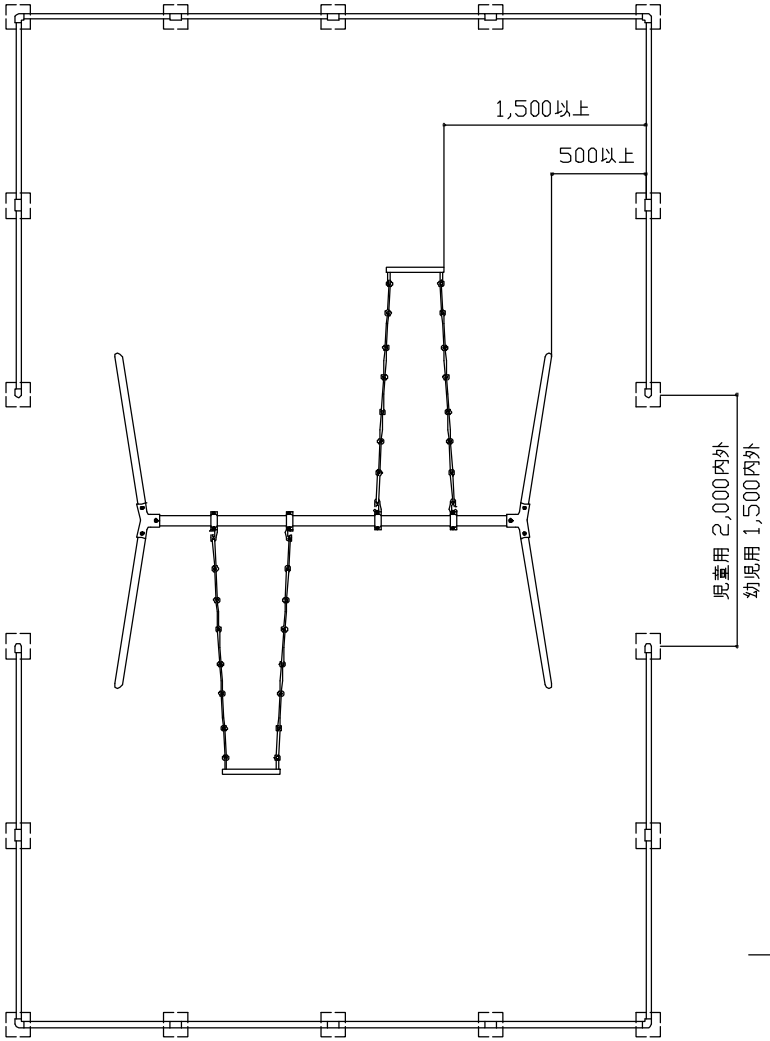
B-B 断 面 図 1/30



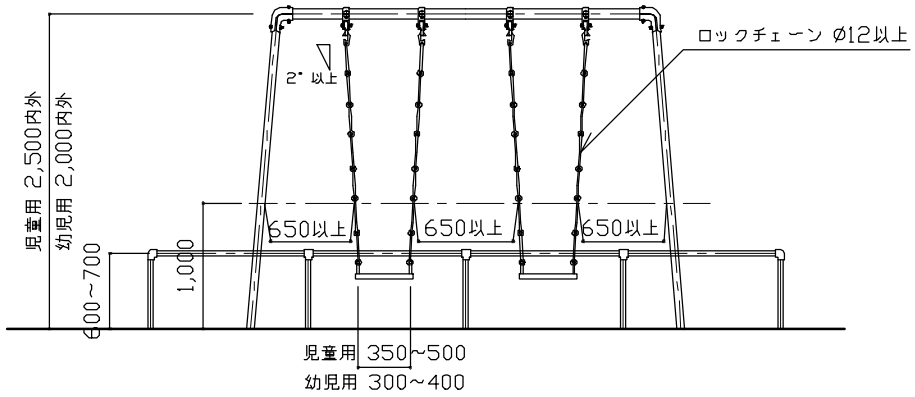
A-A 断 面 図 1/30

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC-40）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・洗い出し仕上げは、種石の粒径3～6mmとし、種石の種類は別に指定する。	砂場 [参考図]	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4

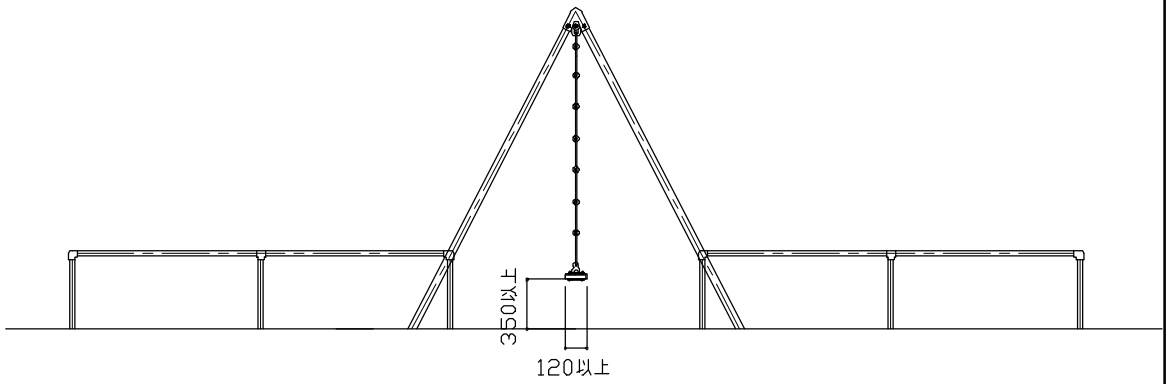
SN



平 面 図

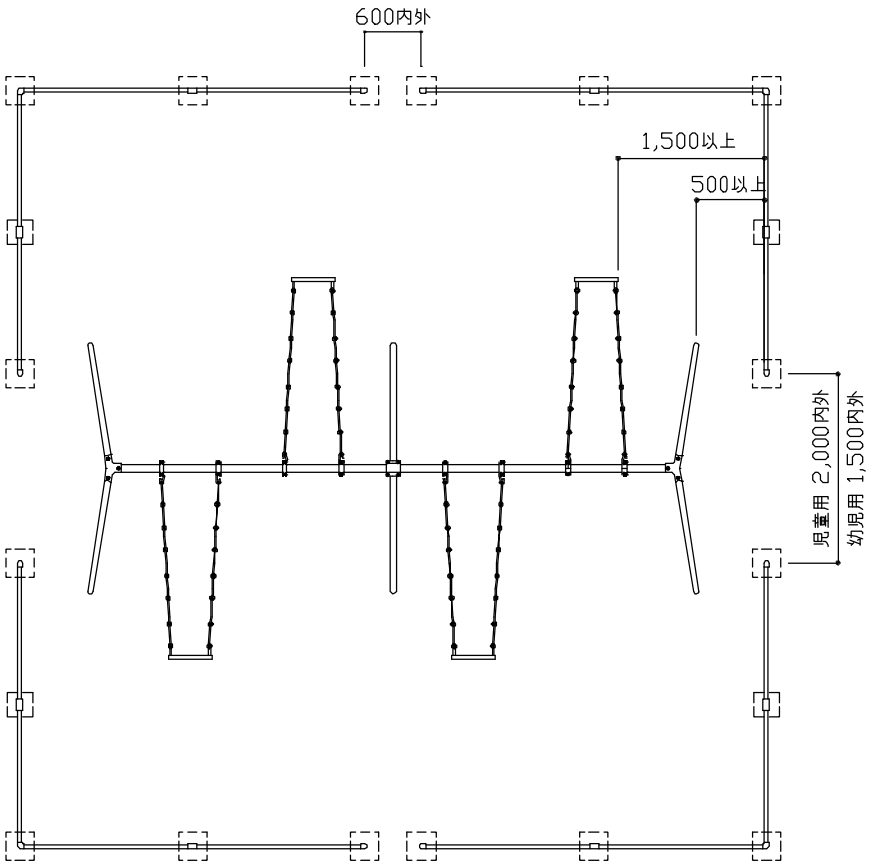


正 面 図

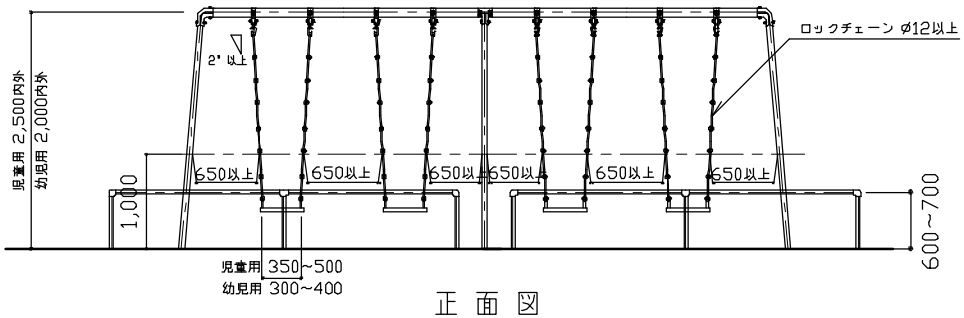


側 面 図

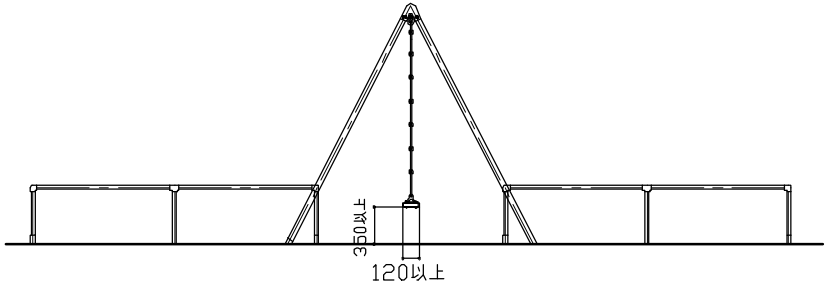
特記	◦ブランコ本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準（案）」に適合した製品とする。 ◦細部の形状、仕様は特定しない。 ◦支柱および梁はＳＧＰ（白）とする。 ◦鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。 ◦着座部は平板型とし、表面はソフトな素材で覆われているものとする。 ◦境界柵は、安全領域内に設置しないこととする。	**ブランコ (2連) [参考図]**	
		縮尺 1/60	**BU-2**
		日付 H15.4	



平 面 図

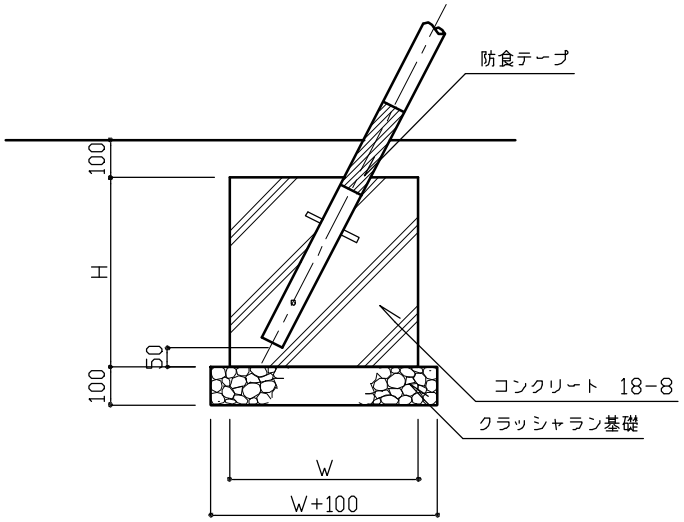


正 面 図

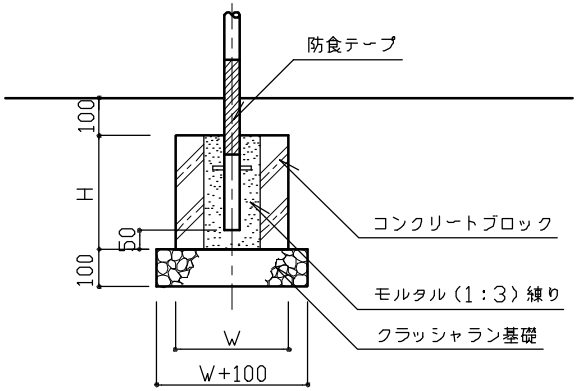


側 面 図

特記	◦ブランコ本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準（案）」に適合した製品とする。 ◦細部の形状、仕様は特定しない。 ◦支柱および梁はＳＧＰ（白）とする。 ◦鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。 ◦着座部は平板型とし、表面はソフトな素材で覆われているものとする。 ◦境界柵は、安全領域内に設置しないこととする。	**ブランコ (4連) [参考図]**	
		縮尺 1／80	**BU-4**
		日付 H15.4	



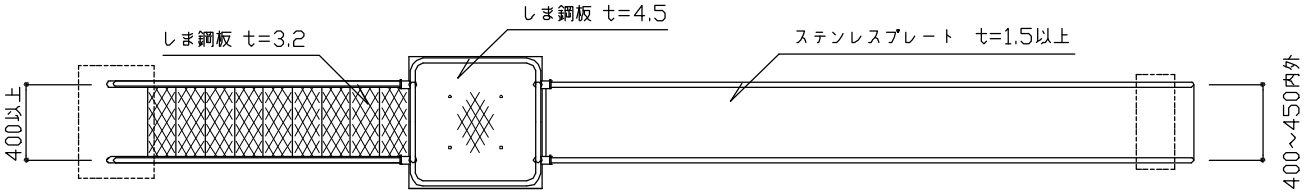
ブランコ基礎断面図



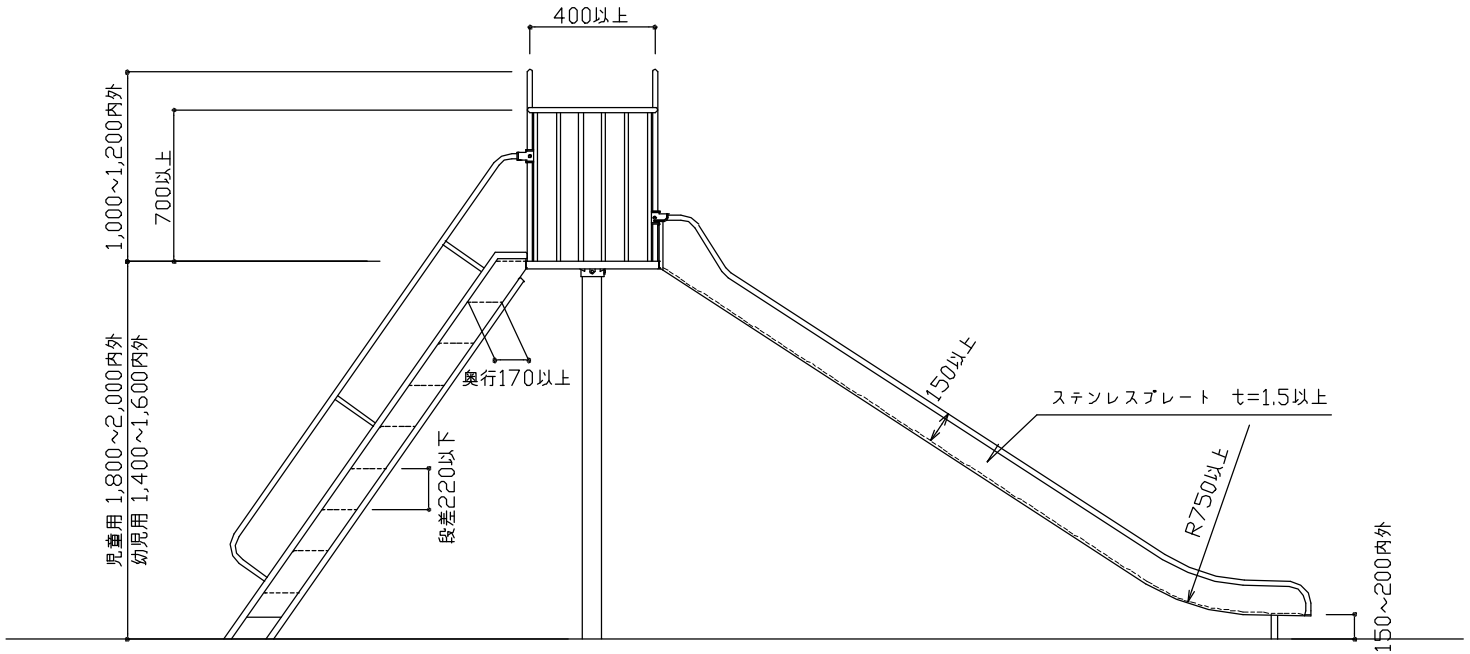
柵基礎断面図

基礎詳細図

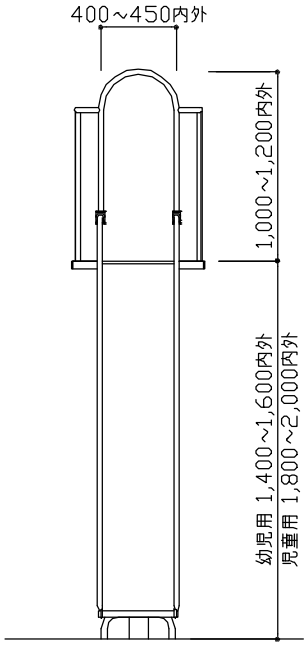
特記	◦基礎寸法は構造計算に基づいて決定する。 ◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始めた箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	**ブランコ（2連）（4連）［参考図］**		
		縮尺	1／20	**BU-2** **BU-4**
		日付	H15.4	



平 面 図

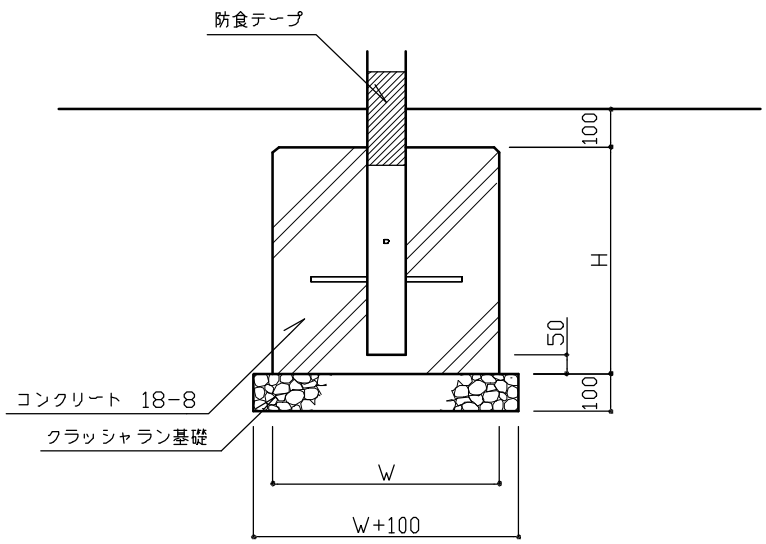


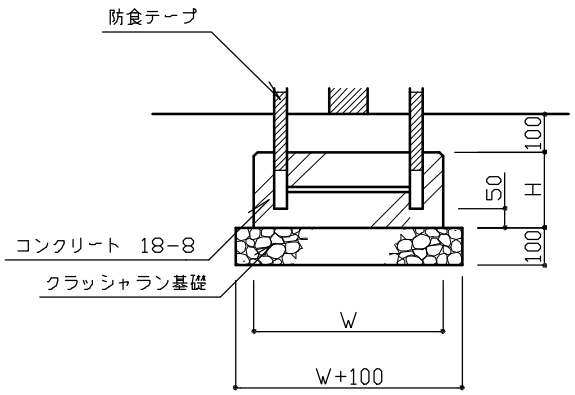
側 面 図



正 面 図

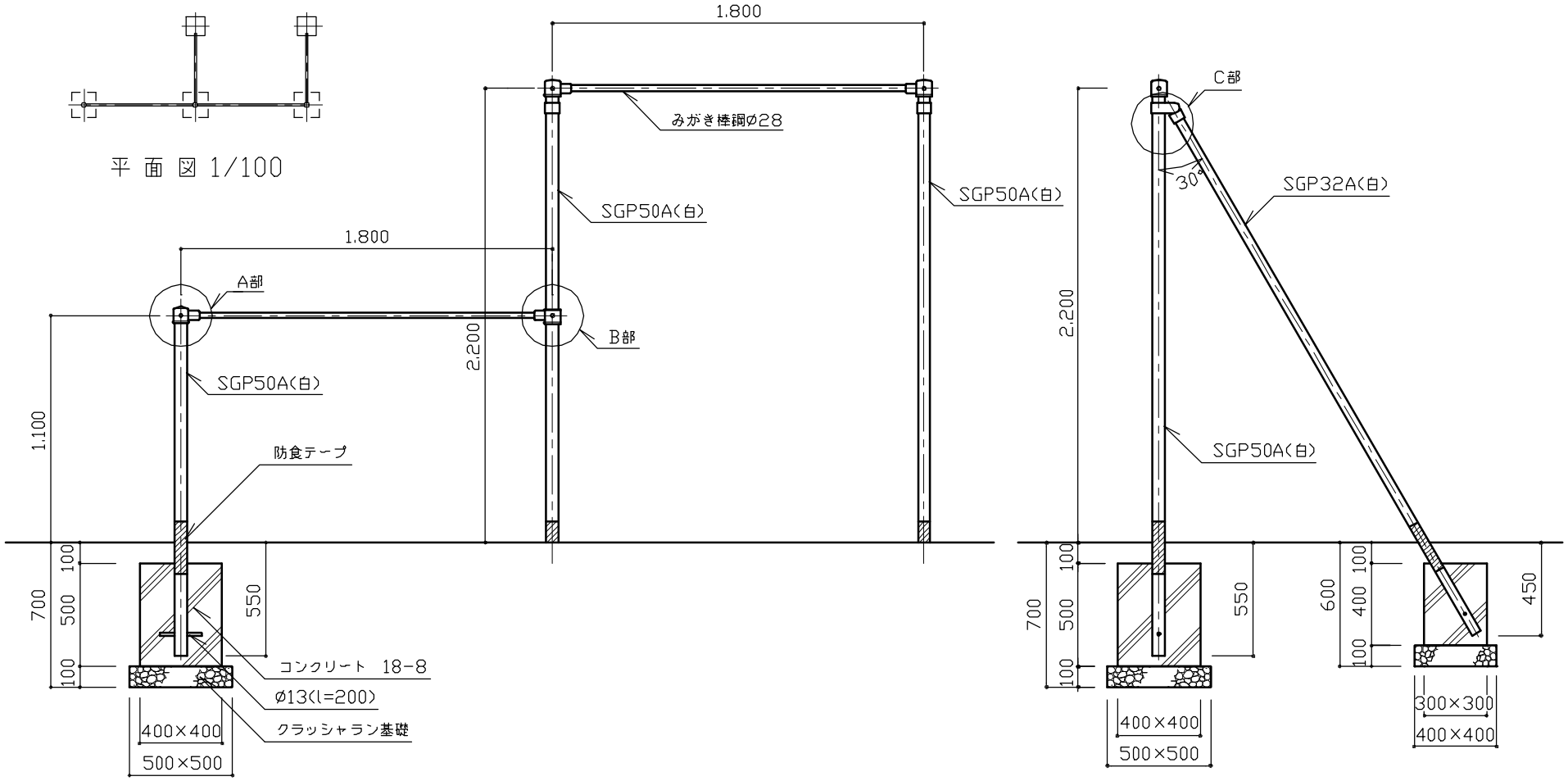
特記	・すべり台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準（案）」に適合した製品とする。 ・細部の形状、仕様は特定しない。 ・鉄部（ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。 ・防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始め箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	すべり台 [参考図]	
		縮尺 1／40	SU
		日付 H15.4	



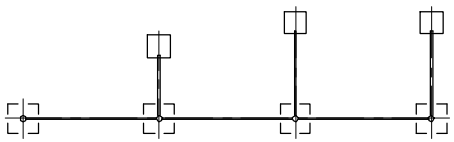


基礎詳細図

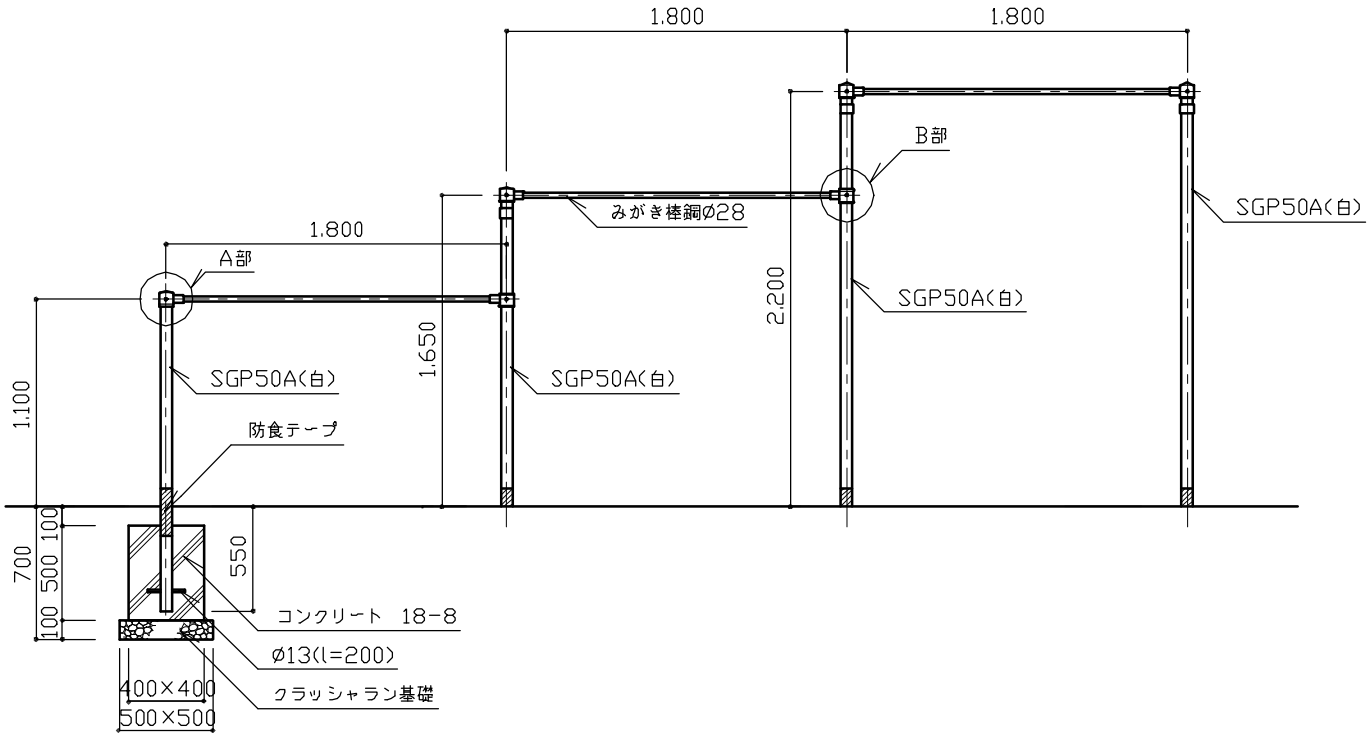
特記	◦基礎寸法は構造計算に基づいて決定する。 ◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始めた箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	すべり台 [参考図]		
		縮尺	1／20	SU
		日付	H15.4	



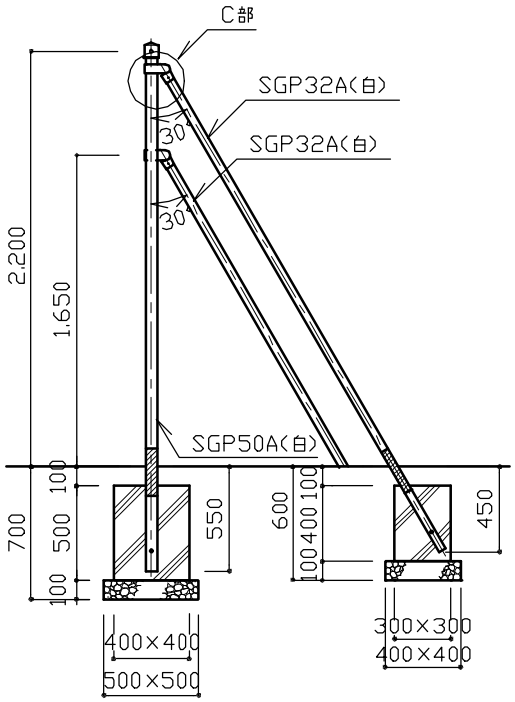
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。ただし、みがき棒鋼［φ２８］は除く。 ・防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始め箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	**中鉄棒（2段）［参考図］**		
		縮尺	図 示	**MTE-2**
		日付	H15.4	



平 面 図 1/100

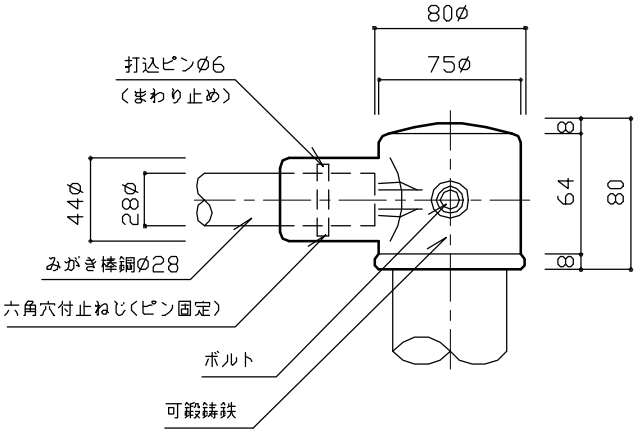


正 面 図 1/40

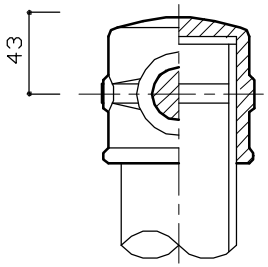


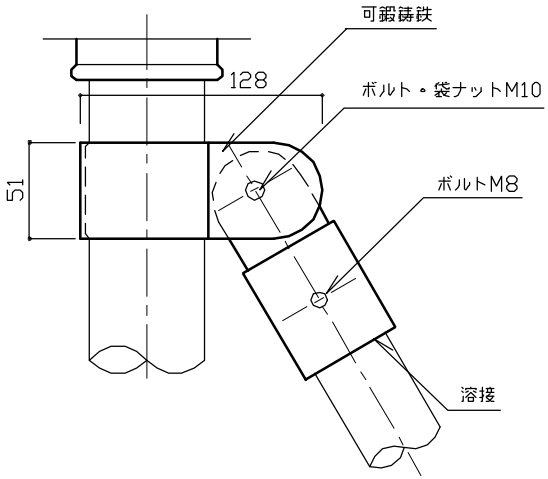
側 面 図 1/40

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚４０ミクロン以上とする。ただし、みがき棒鋼［φ２８］は除く。 ◦防食テープは、防食用ポリ塩化ビニル粘着テープとし、仕上高＋１００mmから基礎内５０mmまで、密着して貼り付ける。巻き方は半重ね巻きとし、下部から巻き上げ、上部で折り返して巻き始め箇所まで巻き下ろす。（防食テープ層４層）	**中鉄棒 (3段) [参考図]**		
		縮尺	図 示	**MTE-3**
		日付	H15.4	

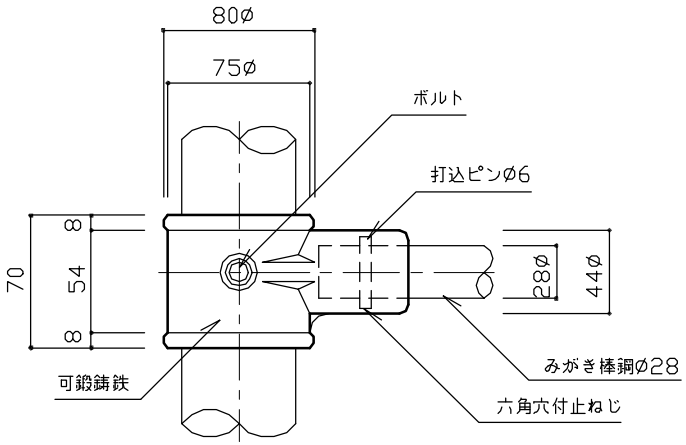


A部詳細図

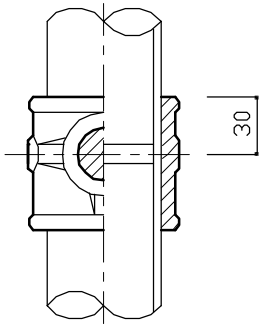




C部詳細図

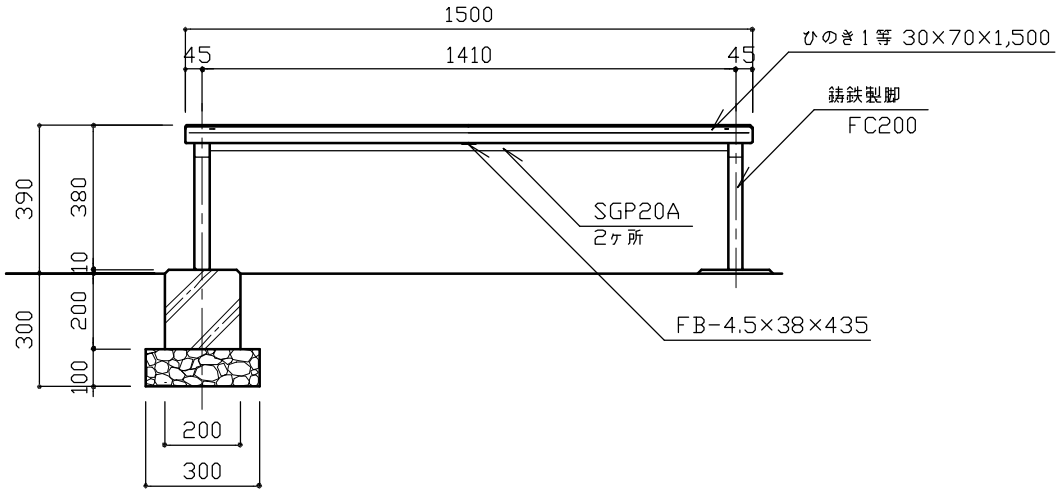


B部詳細図

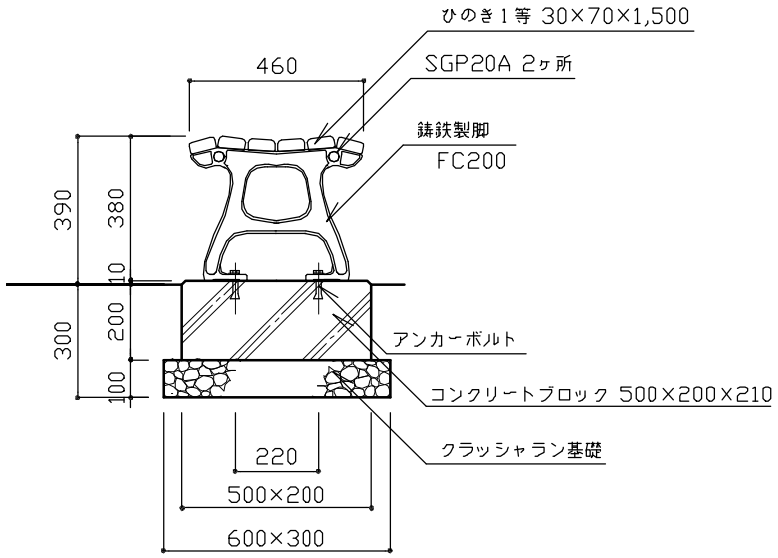


特記	・ボルト、ナット、ピン類は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・可鍛鋳鉄はダクタイル鋳鉄（FCD400以上）も可とする。 ・ボルトは、六角穴付ボタンボルト、六角穴付止ねじ、丸頭ボルト等、引っ掛かりのおそれのないものとする。	**中鉄棒（2段・3段）［参考図］**	
		縮尺 1／4	**MTE-2** **MTE-3**
		日付 H15.4	

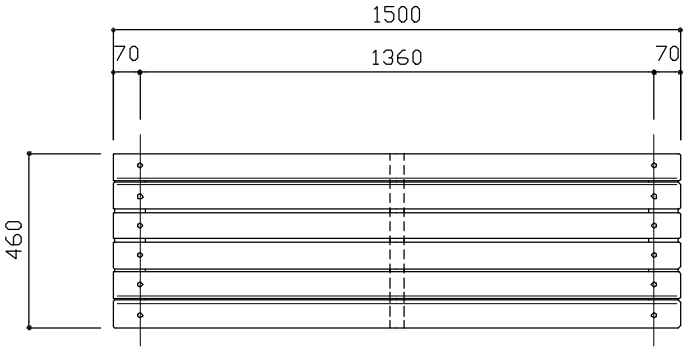
8 サービス施設



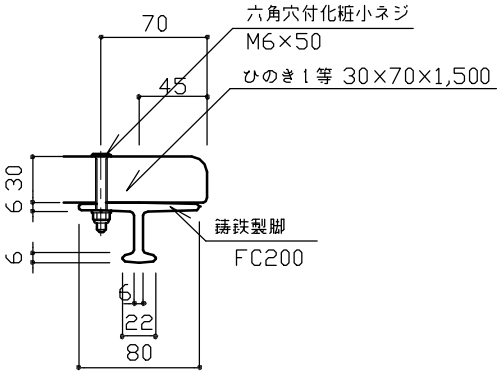
正 面 図 1/20



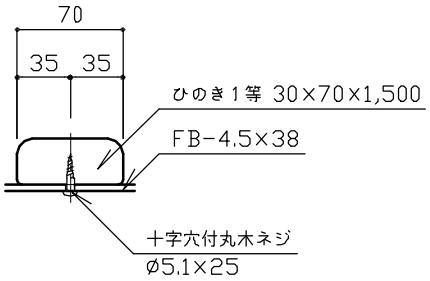
側 面 図 1/20



平 面 図 1/20

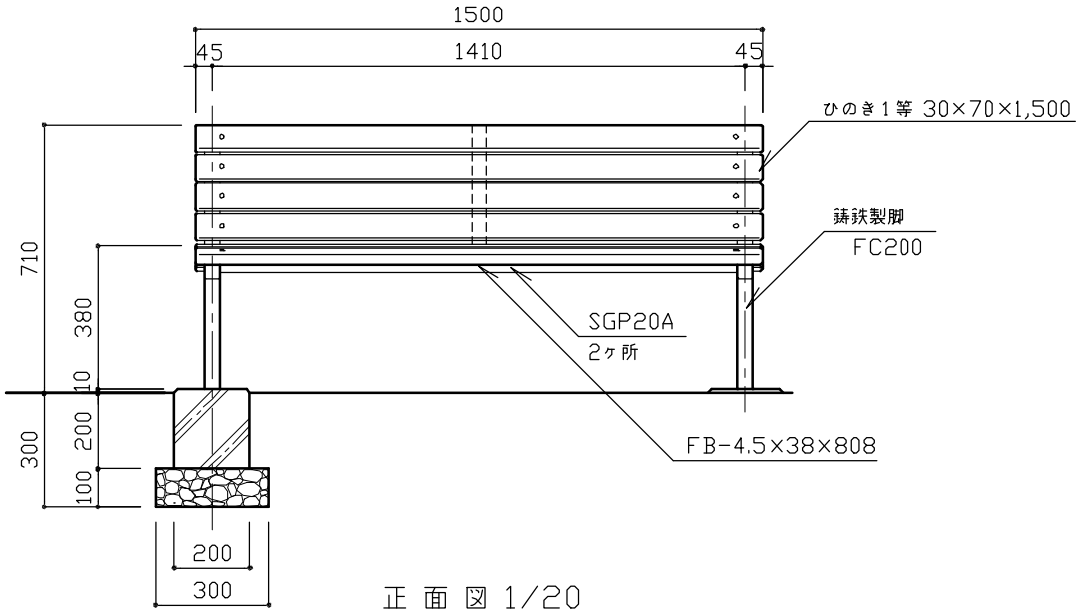


座板取付詳細図 1/5

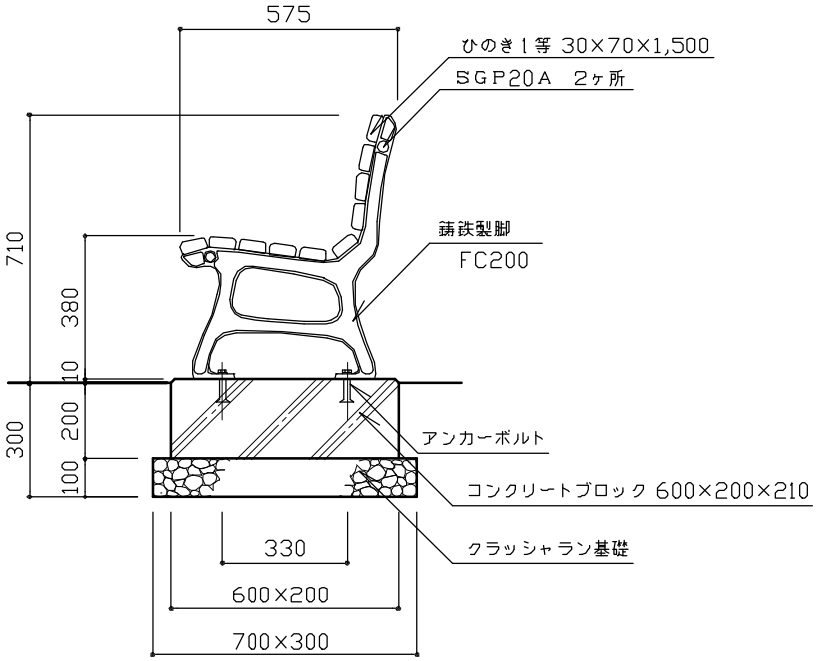


ＦＢ取付標準図 1/5

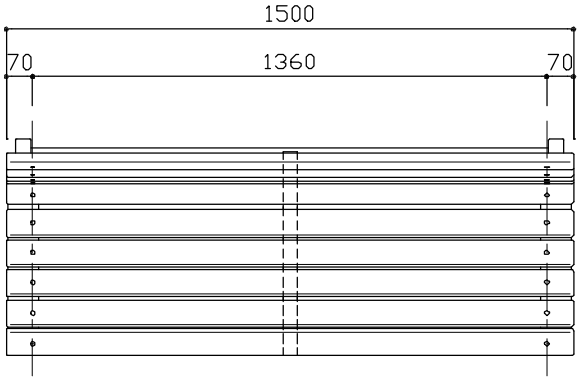
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンブルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）3回塗りとする。 ・ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**ベンチ**	
		縮尺	図 示	**TB-AF**
		日付	H14.4	



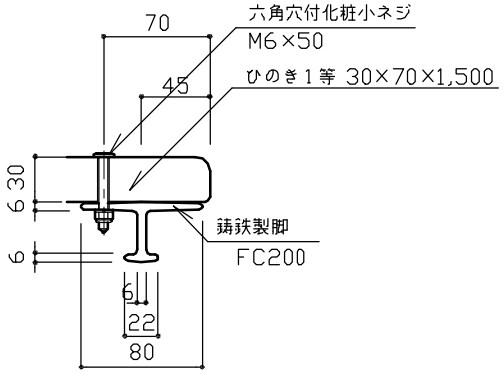
正 面 図 1/20



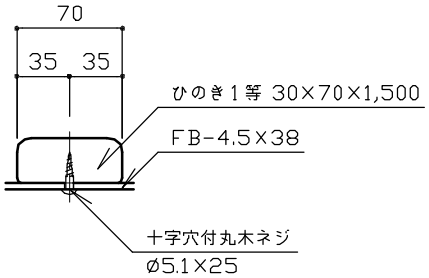
側 面 図 1/20



平 面 図 1/20

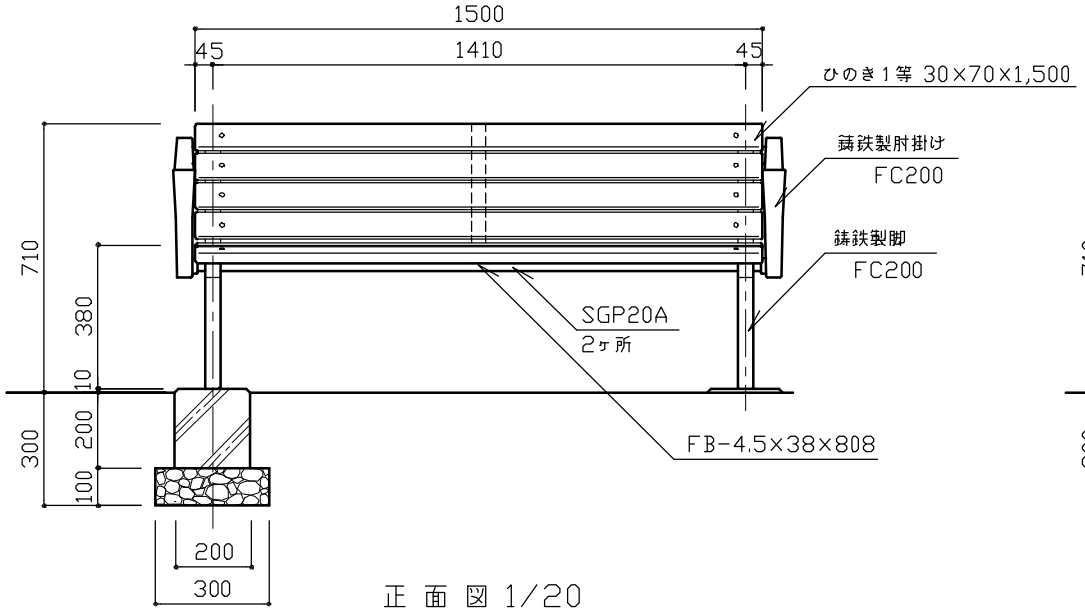


座板取付詳細図 1/5

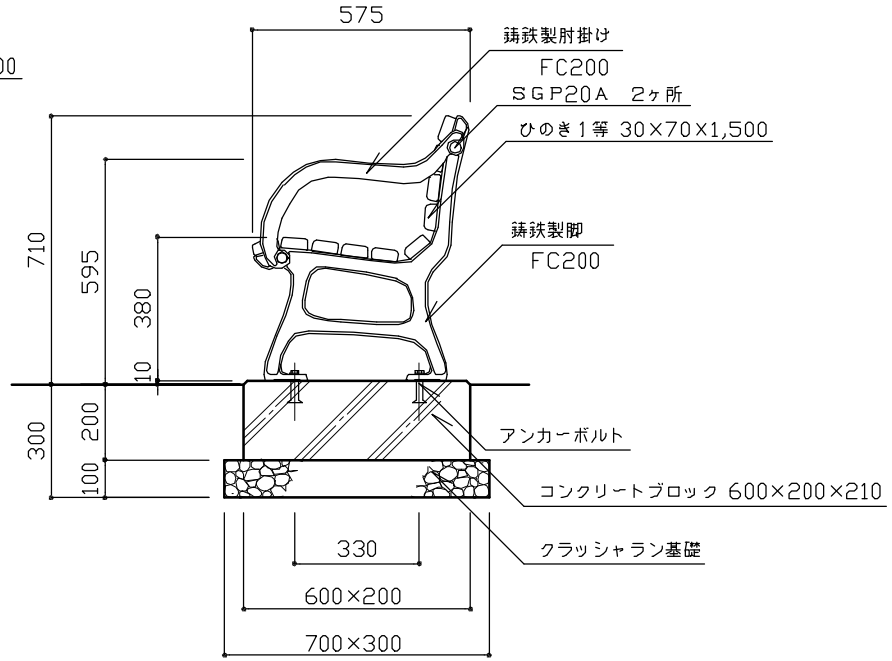


FB取付標準図 1/5

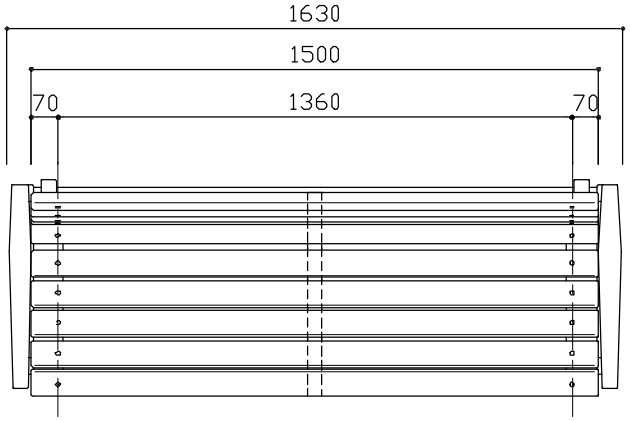
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンブルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）３回塗りとする。 ・ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**ベンチ**	
		縮尺 図 示	**TB-AB**
		日付 H14.4	



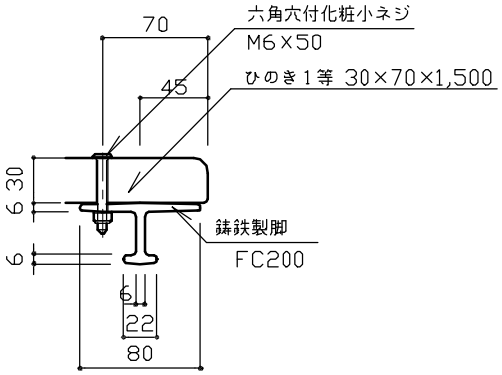
正 面 図 1/20



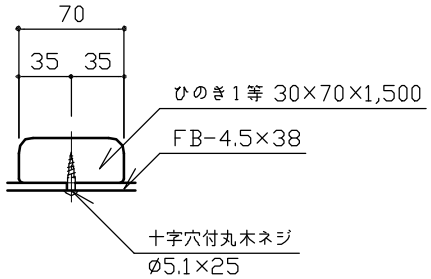
側 面 図 1/20



平 面 図 1/20

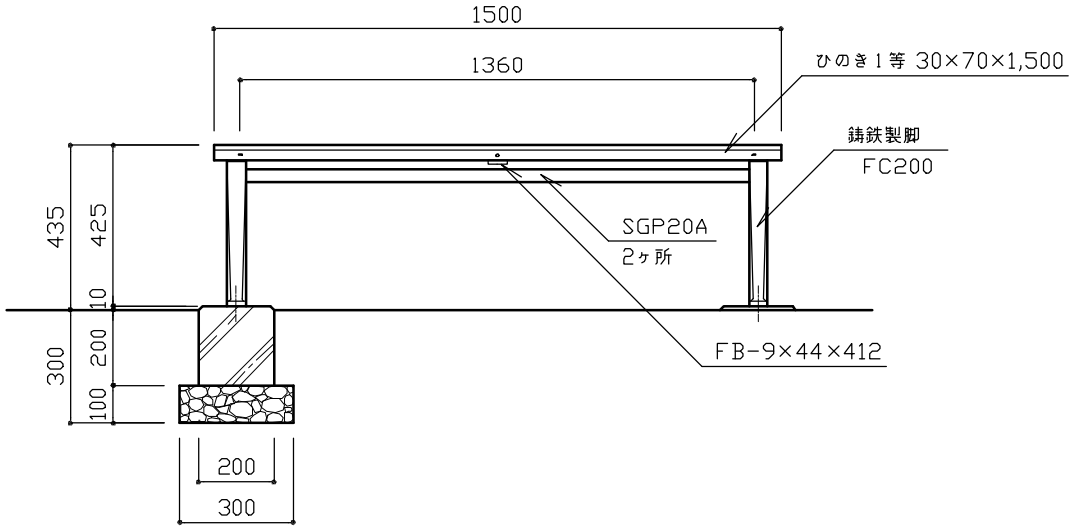


座板取付詳細図 1/5

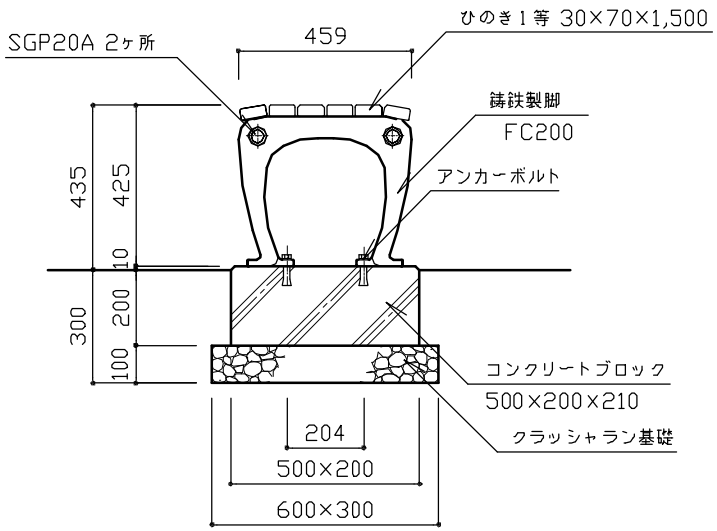


FB取付標準図 1/5

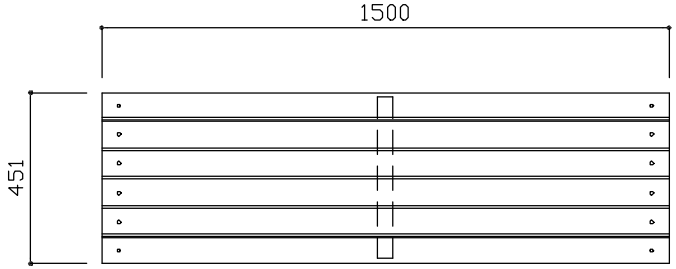
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンプルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）３回塗りとする。 ・ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**ベンチ**	
		縮尺 図 示	**TB-AH**
		日付 H14.4	



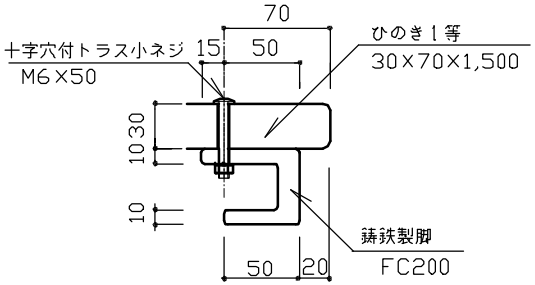
正 面 図 1/20



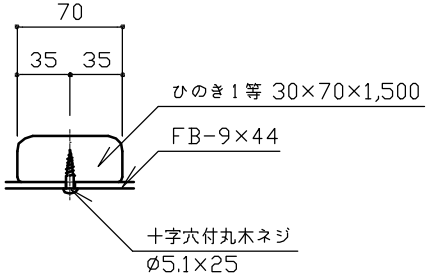
側 面 図 1/20



平 面 図 1/20

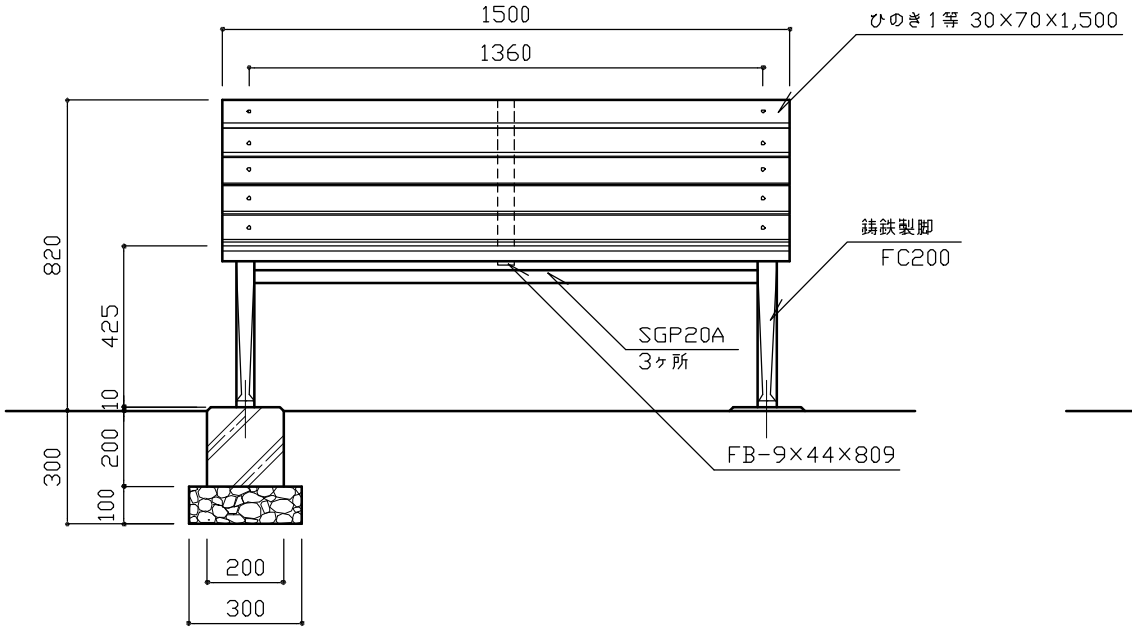


座板取付詳細図 1/5

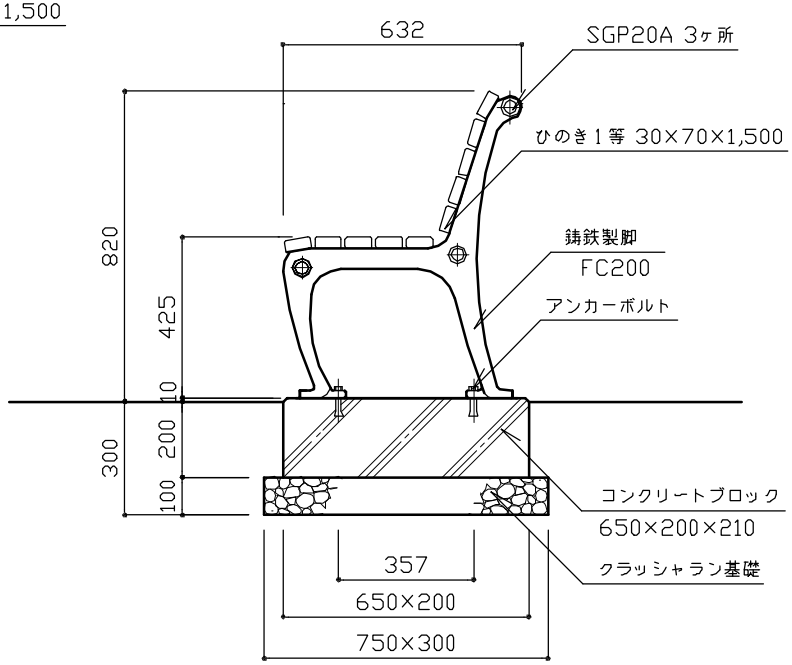


FB取付標準図 1/5

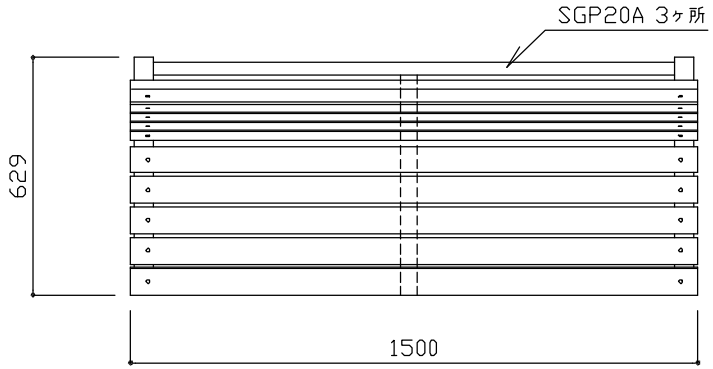
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンプルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）３回塗りとする。 ・ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	ベンチ		
		縮尺	図 示	TB-BF
		日付	H14.4	



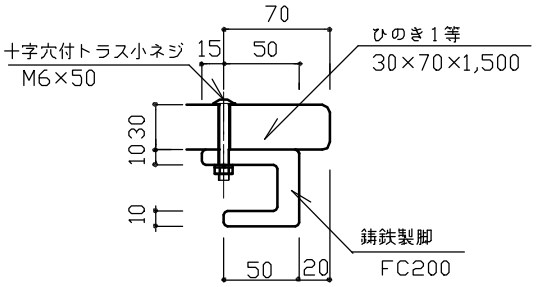
正 面 図 1/20



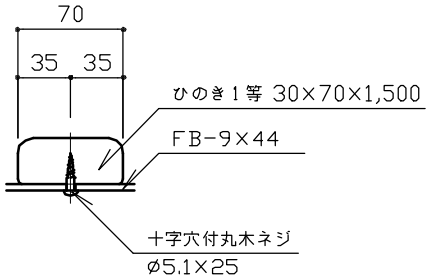
側 面 図 1/20



平 面 図 1/20

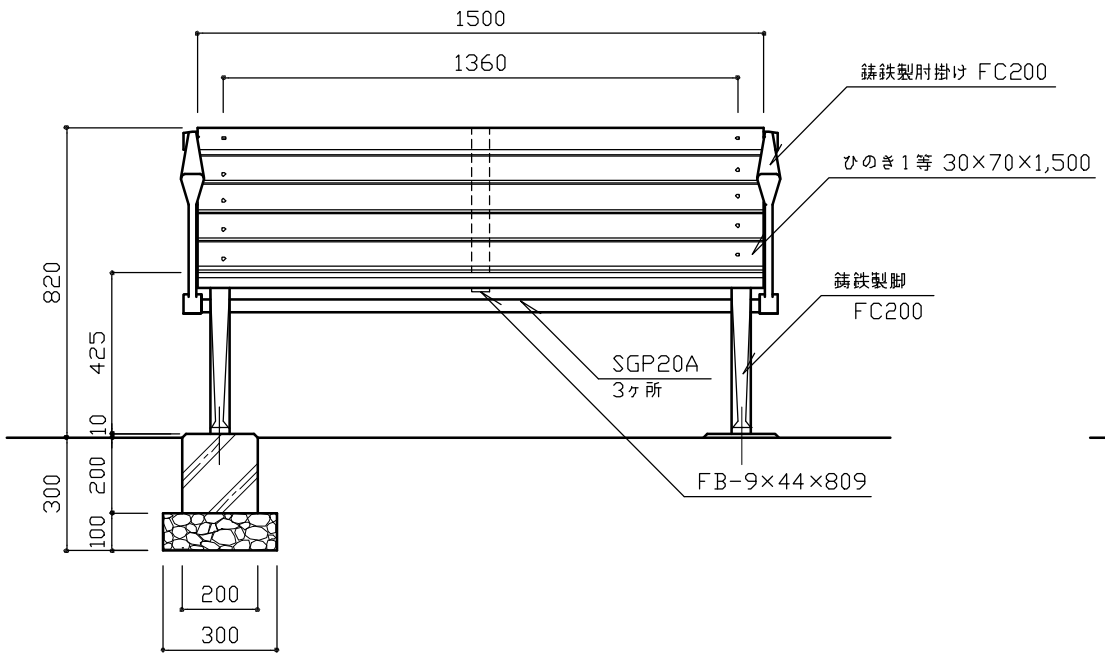


座板取付詳細図 1/5

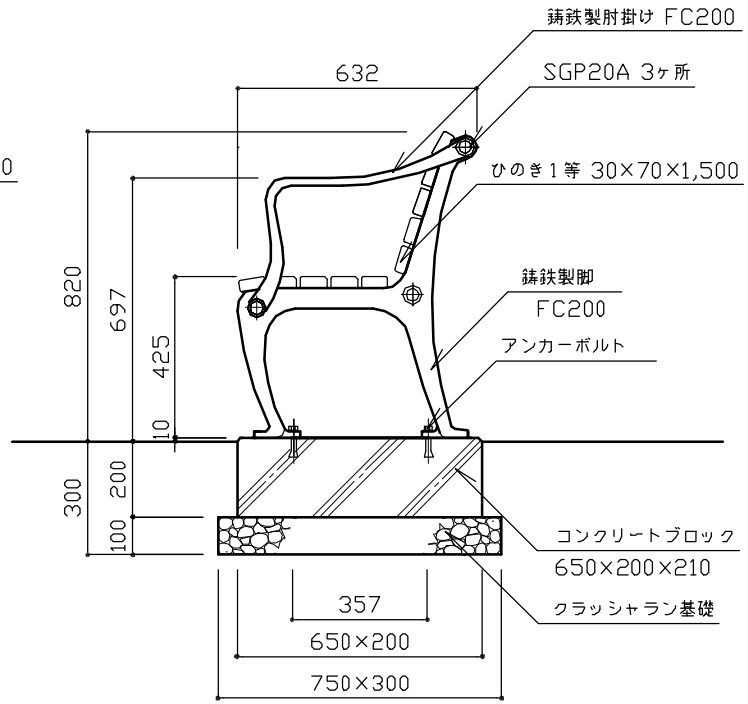


FB取付標準図 1/5

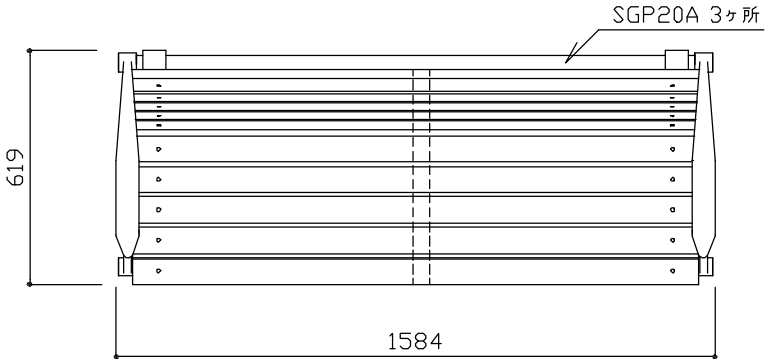
特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ◦木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ◦木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ◦木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンプルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）3回塗りとする。 ◦ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ◦鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ◦鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**ベンチ**	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		TB-BB	



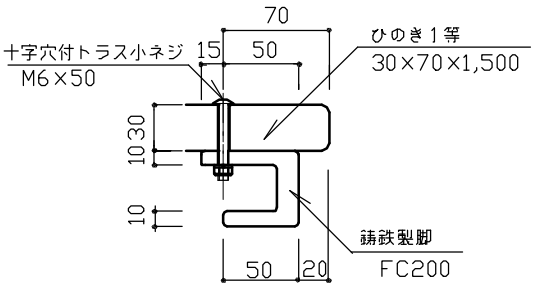
正 面 図 1/20



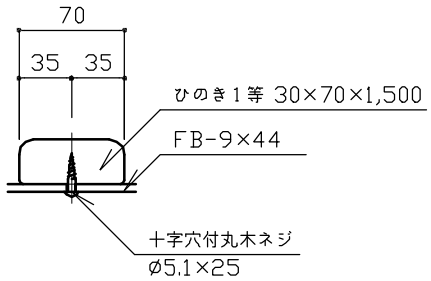
側 面 図 1/20



平 面 図 1/20

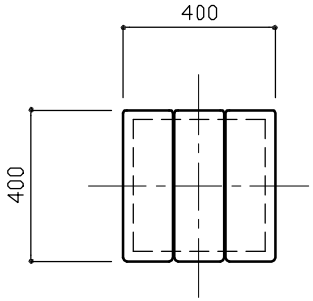


座板取付詳細図 1/5

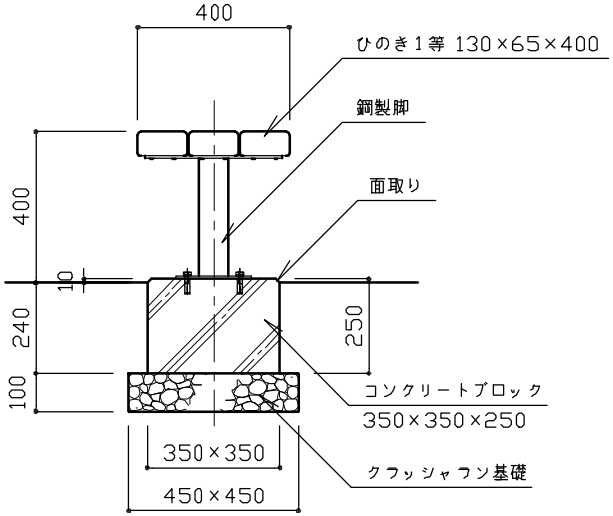


FB取付標準図 1/5

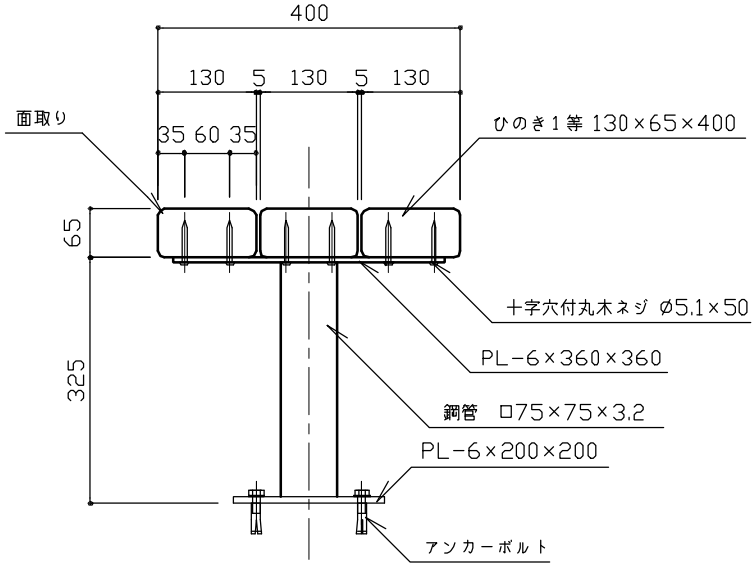
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・木部は、かんながけ後AACまたはNZN加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18%以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンプルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）3回塗りとする。 ・ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（2種4級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装2回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	ベンチ	
		縮尺 図 示	TB-BH
		日付 H14.4	



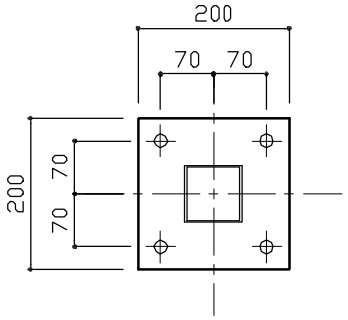
平 面 図 1/20



断 面 図 1/20

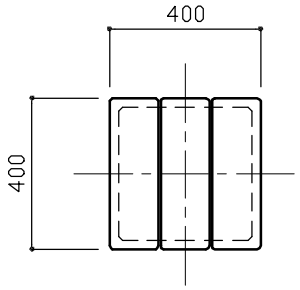


詳 細 図 1/10

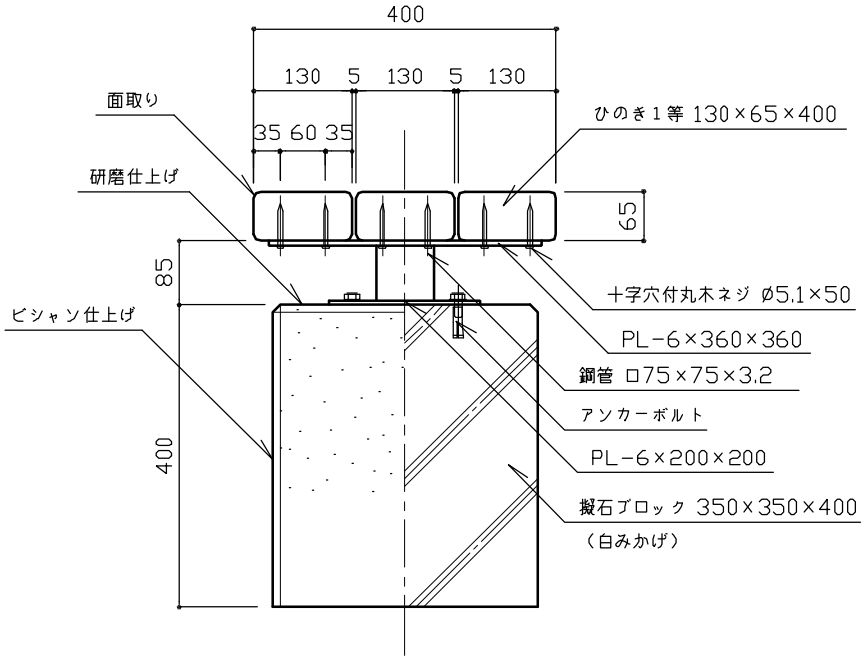


ベースプレート詳細図 1/10

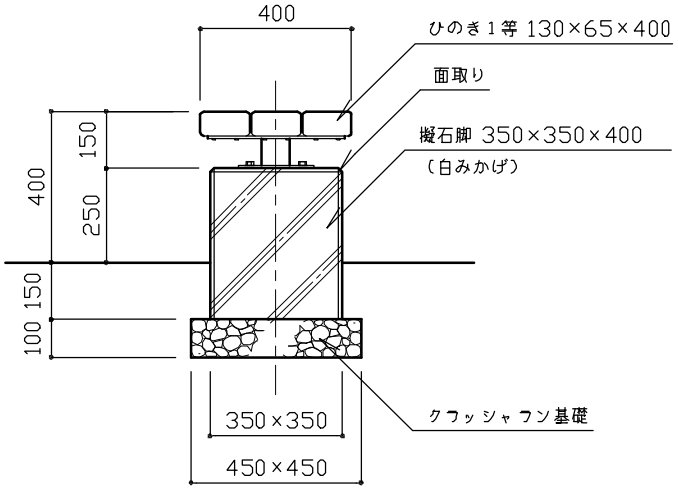
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンブルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）3回塗りとする。 ・木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**スツール**	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
			ST-A



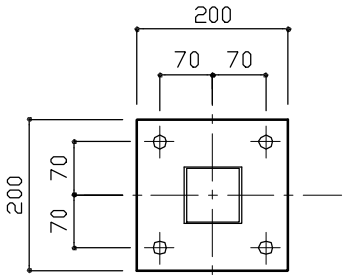
平 面 図 1/20



詳 細 図 1/10

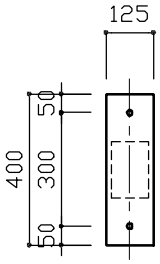


断 面 図 1/20

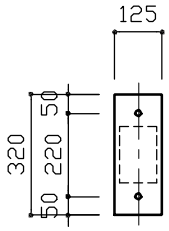


ベースプレート詳細図 1/10

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンプルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）3回塗りとする。 ・木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（2種4級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装2回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**スツール**		
		縮尺	図 示	**ST-B**
		日付	H14.4	

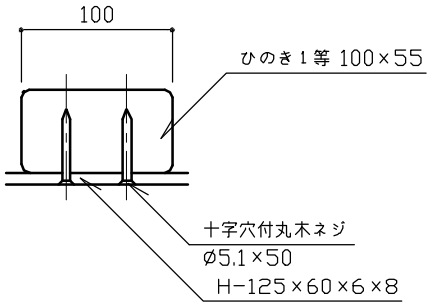


テーブル

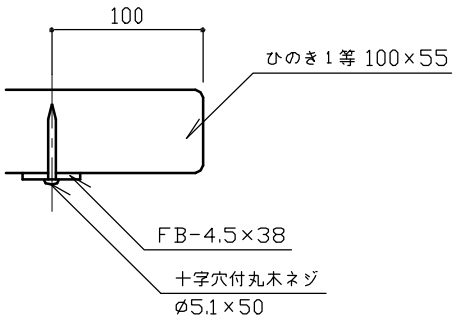


ベンチ

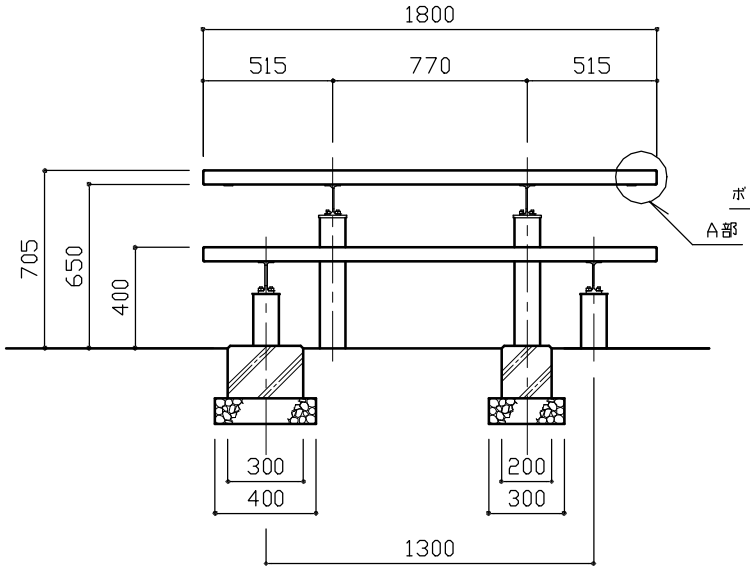
ベースプレート詳細図 1/20



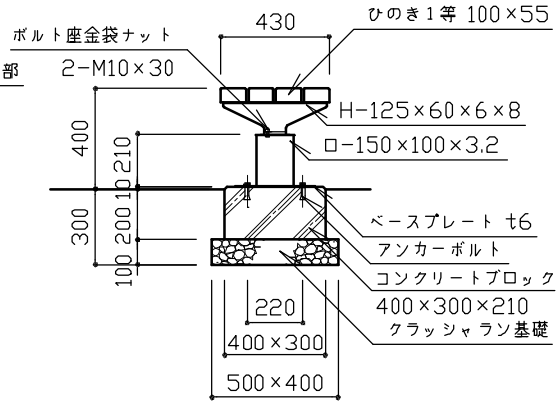
木部取付標準図 1/5



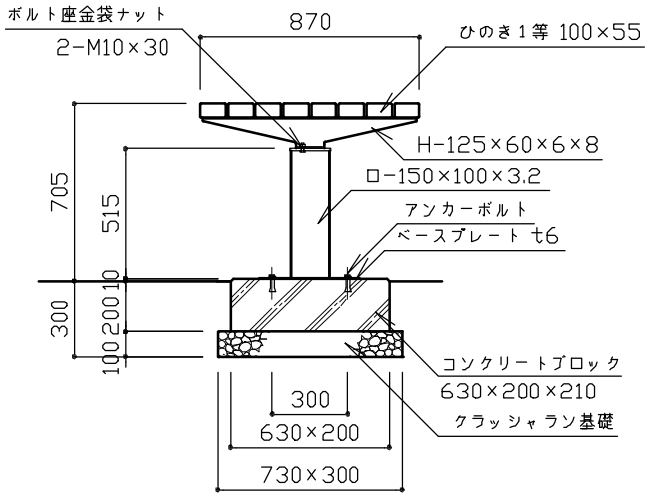
A部詳細図 1/5



立 面 図 1/30

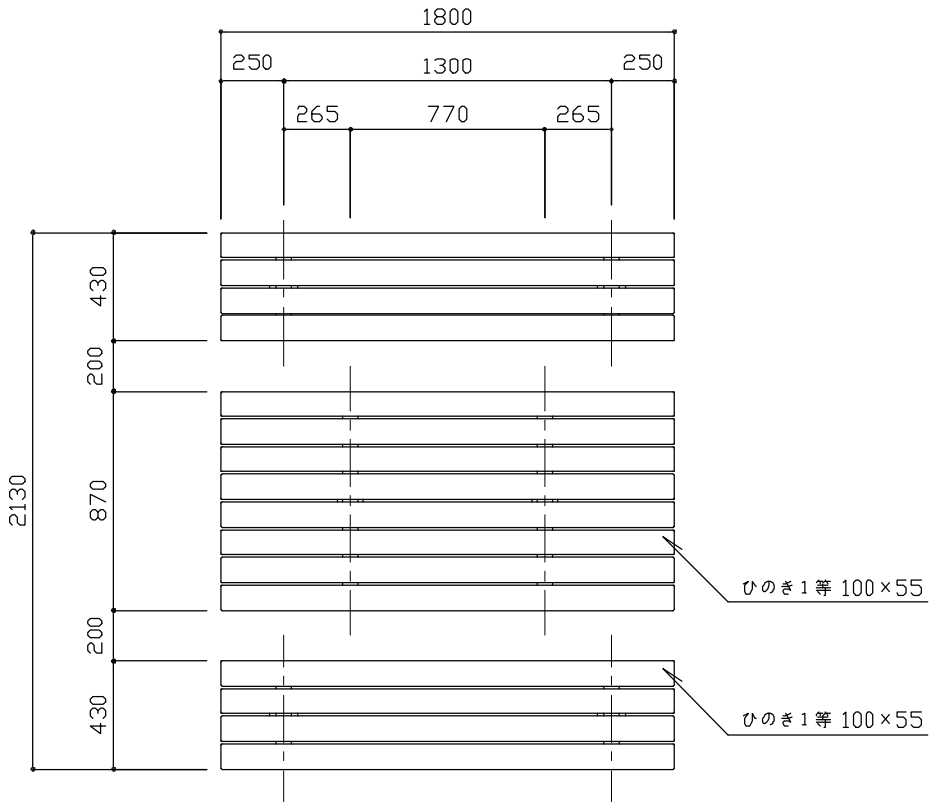


ベンチ側面図 1/30

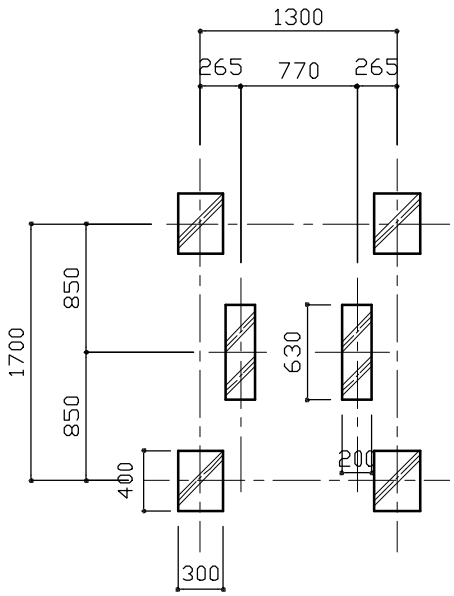


テーブル側面図 1/30

特記		野外卓	
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・木部は、かんながけ後ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は、木部防腐処理基準による。 ・木部の含水率は、塗装時において18％以下とする。 ・木部の塗装は、素地ごしらえのうえ浸透型はっ水性木材保護着色塗料（ステンプルーフ、キシラデコールまたは同等品）（指定色）3回塗りとする。 ・ボルト、ナット、座金、木ネジ、アンカーボルトは、ステンレス（SUS304）とする。 ・鉄部（鋳鉄、ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	縮尺	図　示	YT
		日付	H14.4	

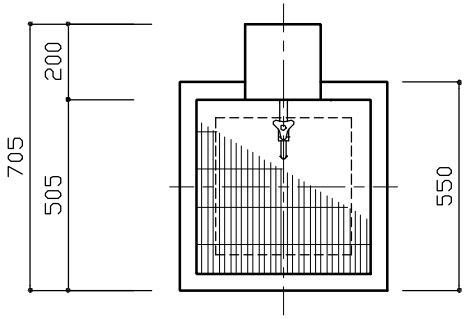


平 面 図 1/30

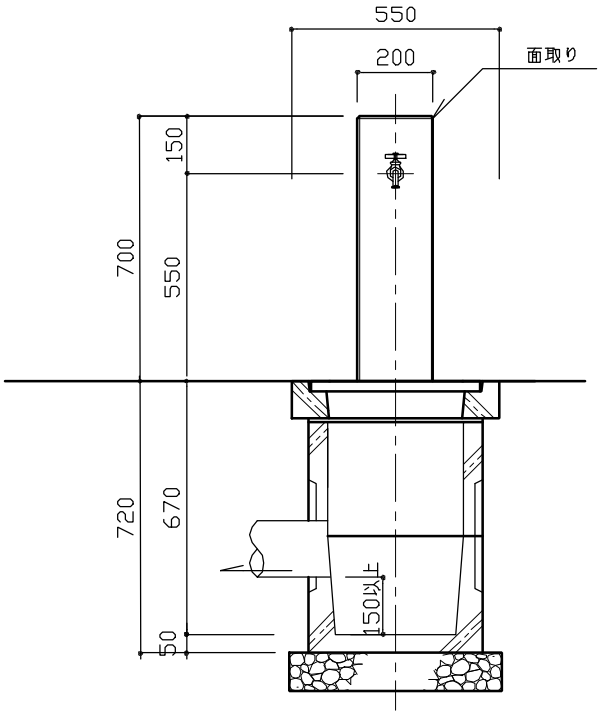


基礎伏図 1/50

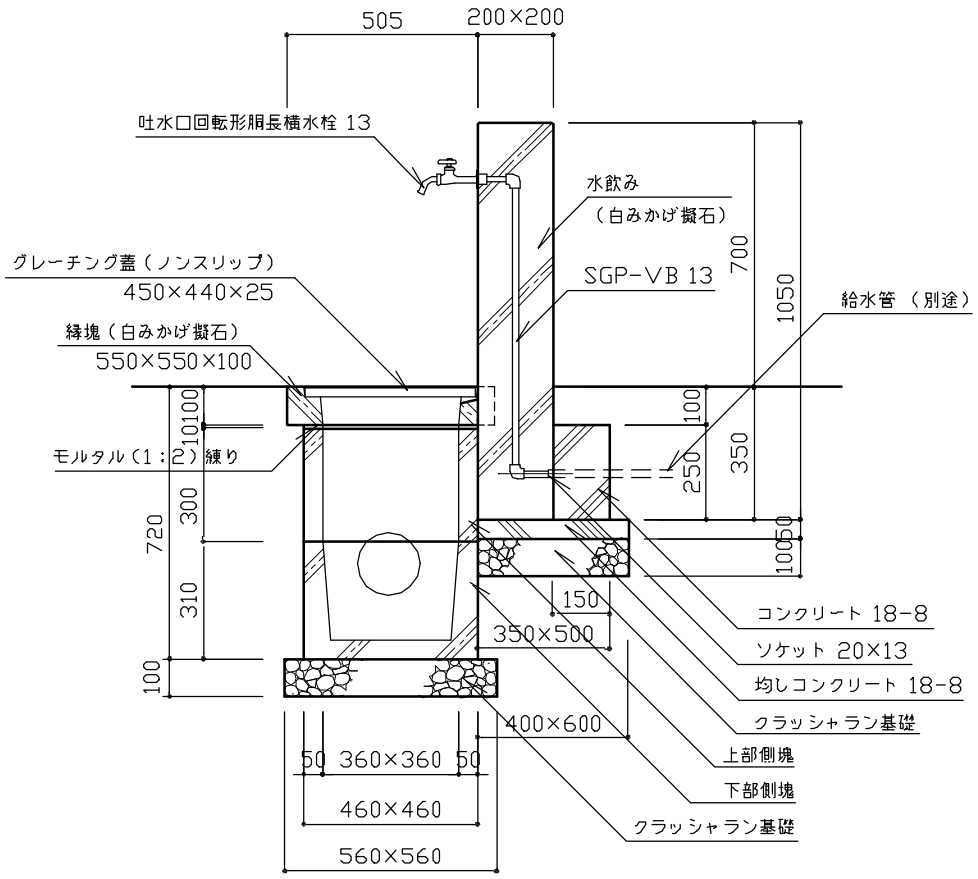
特記		野外卓	
	縮尺	図 示	YT
	日付	H14.4	



平 面 図

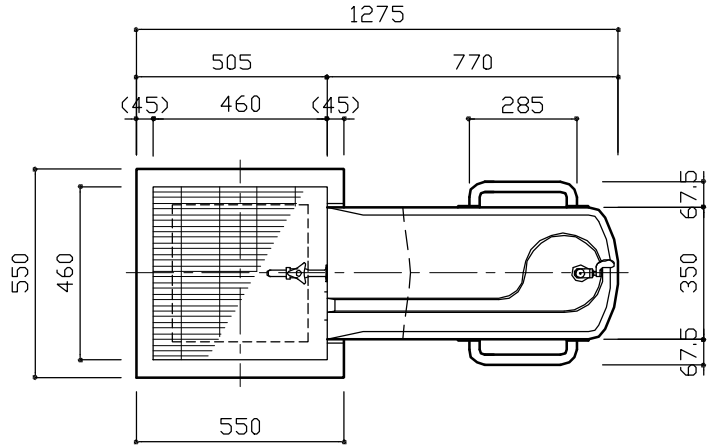


断 面 図

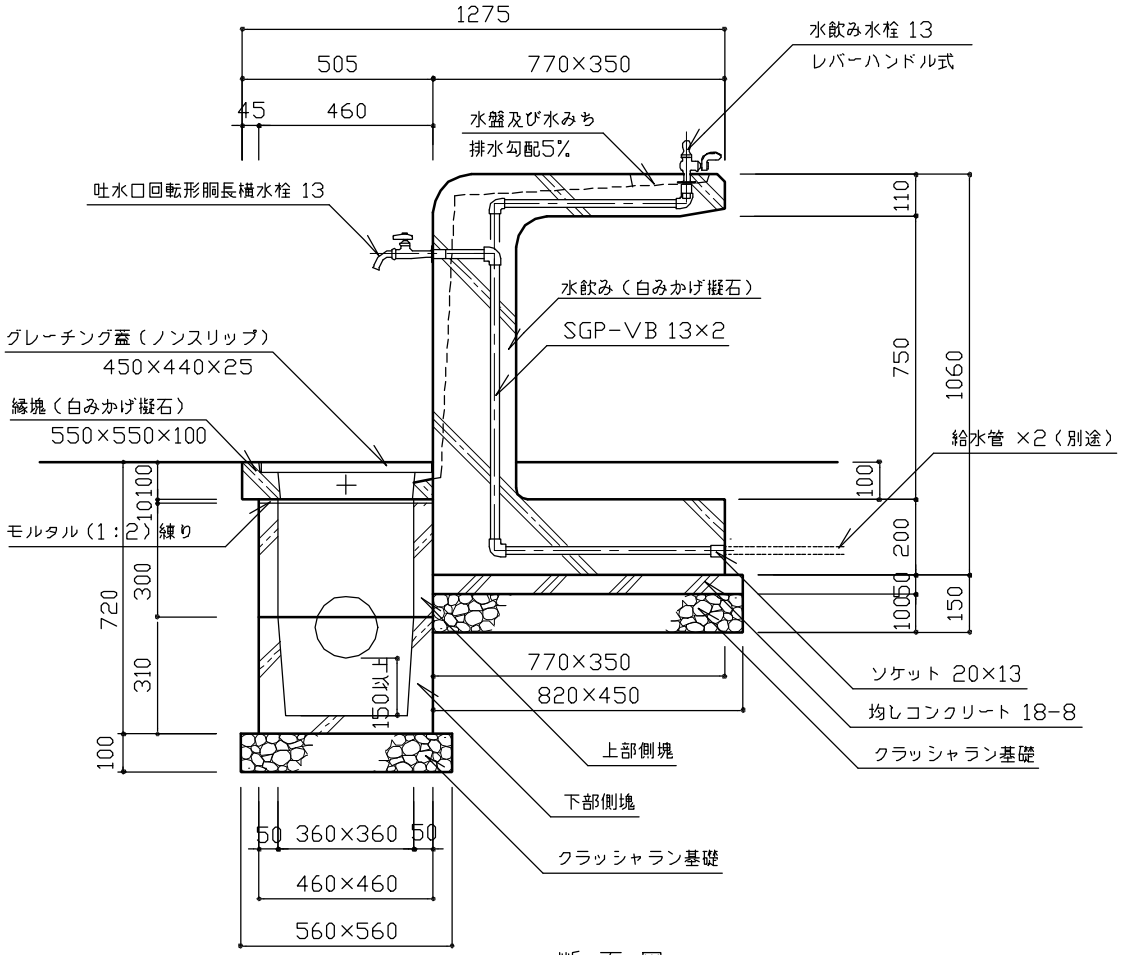


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・本体の水栓取付面は磨き仕上げ、以外はビシャン仕上げとする。 ・縁塊の表面はビシャン仕上げとする。 ・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400)とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。グレーチング蓋の主部材の間隔は、@15.0とする。	水飲み	
		縮尺 1/20	MN-A
		日付 H14.4	

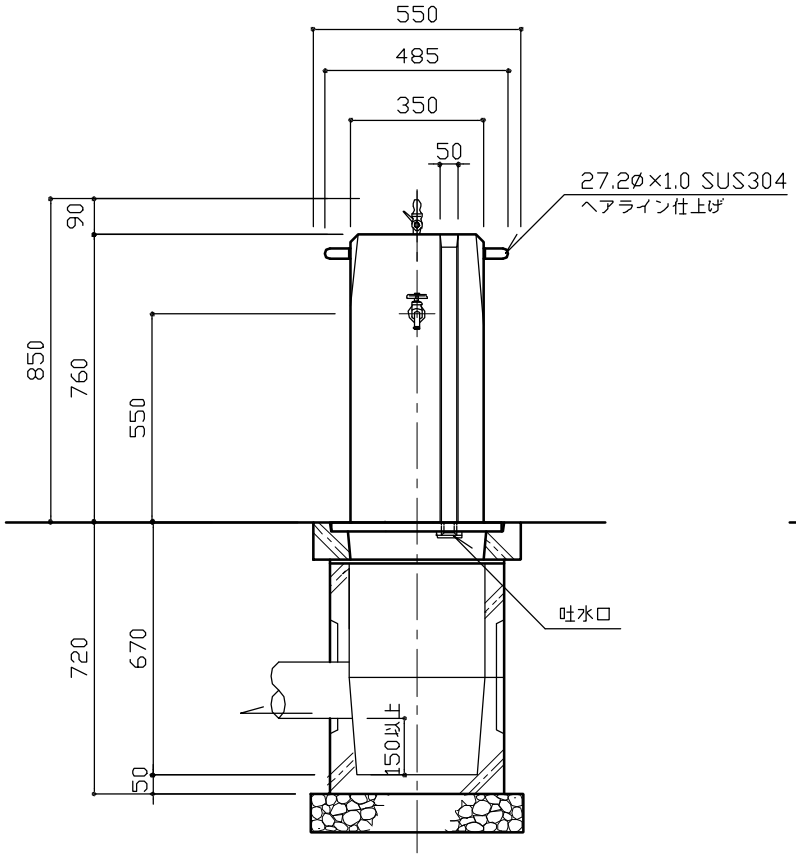


平 面 図

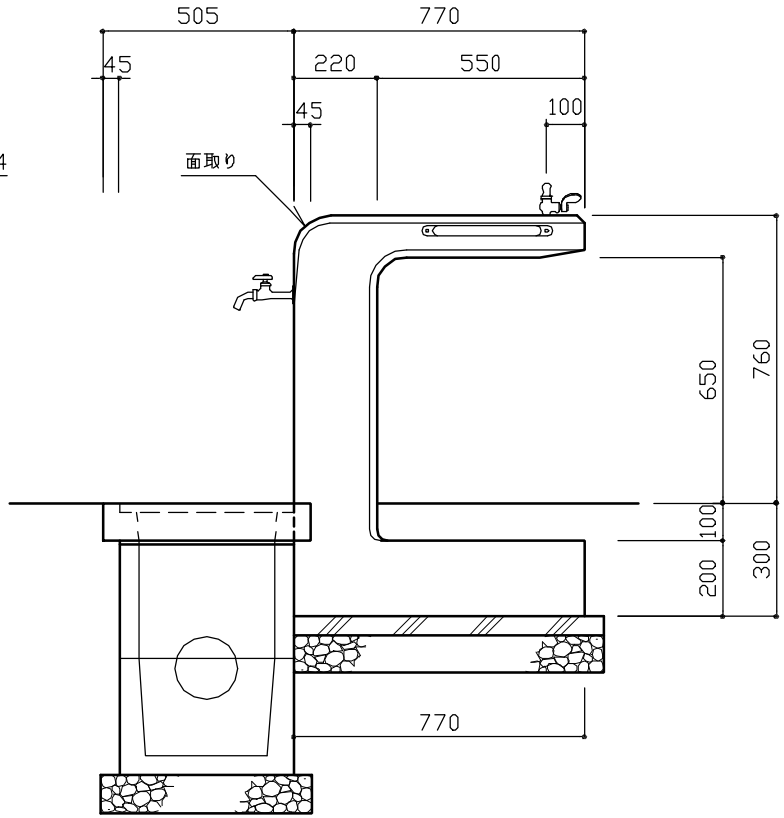


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。 ・縁塊の表面はビシャン仕上げとする。 ・本体の水栓取付面は磨き仕上げ、水盤及び水みちは打放し仕上げとし、以外はビシャン仕上げとする。 ・水飲み水栓は、T241SV33X（TOTO）同等品以上とする。 ・グレーチング蓋の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS400）とし、鎖取付金具溶接のうえ溶融亜鉛めっき［2種 HDZ45（亜鉛付着量450g/m²）］した製品とする。グレーチング蓋の主部材の間隔は、@15.0とする。	水飲み		
		縮尺	1/20	MN-B
		日付	H14.4	



断 面 図

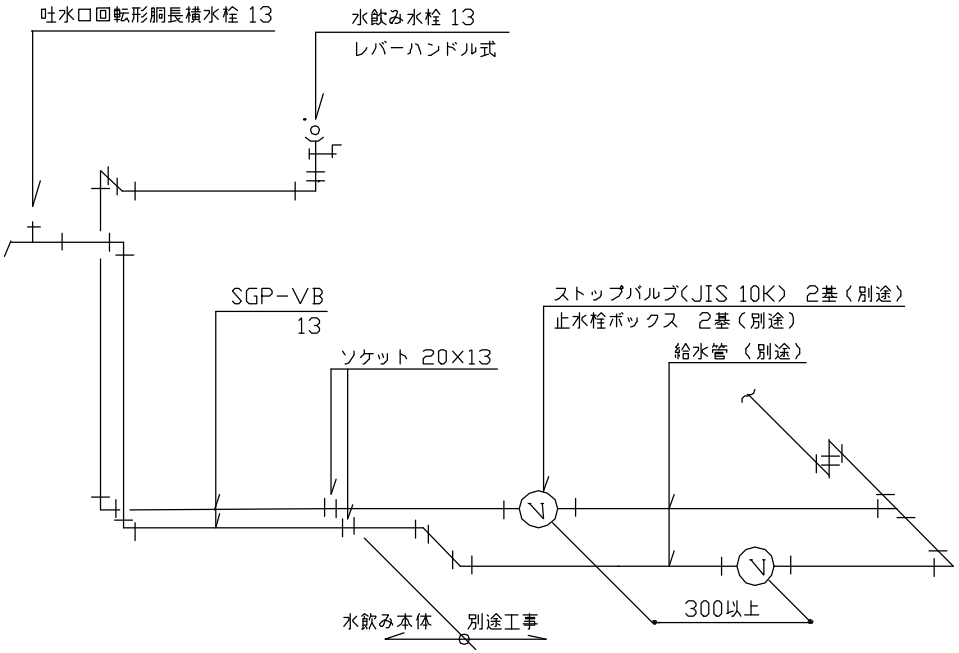


排水桝　　本体

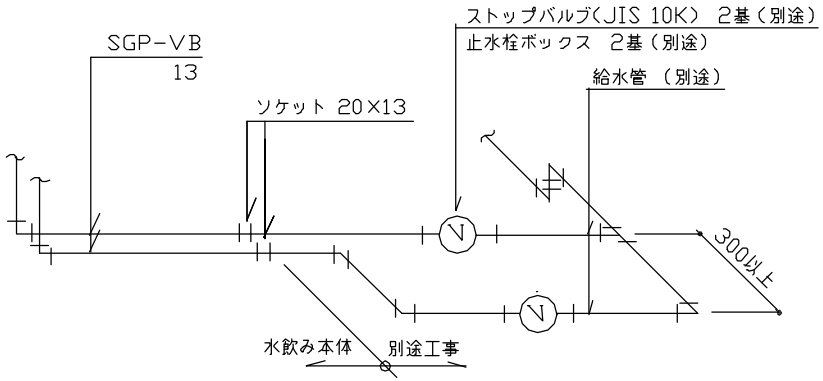
断 面 図

特記		水飲み	
	縮尺	1／20	MN-B
	日付	H14.4	

水飲み及び水飲みまわり配管:参考図



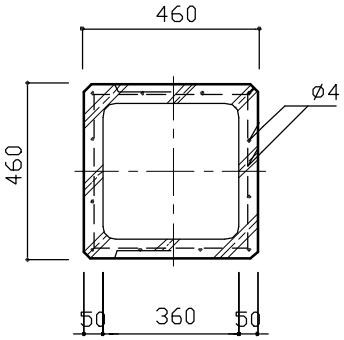
立 体 図 (止水栓を千鳥に設置する場合)



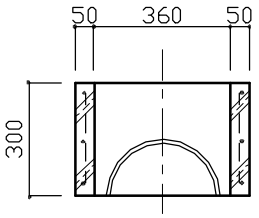
立 体 図 (止水栓を平行に設置する場合)

特記	・ストップバルブおよびこれより下流側の給水管は、管径20mmを標準とする。	水飲み		
		縮尺	——	MN-B
		日付	H14.4	

上部側塊

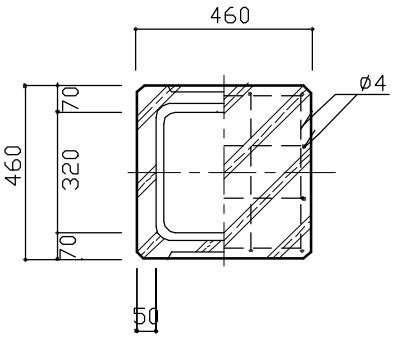


平 面 図

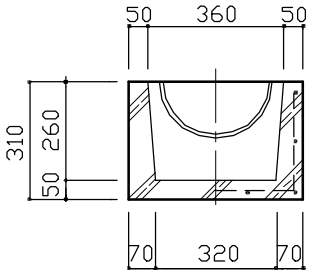


断 面 図

下部側塊



平 面 図



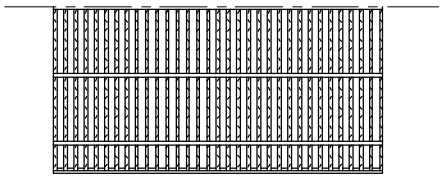
断 面 図

特記		水飲み	
	縮尺	1／20	MN-A MN-B
	日付	H14.4	

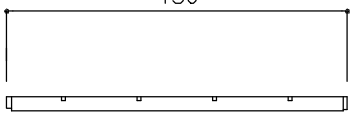
寸法表（単位：mm）

記号	W
MN-A	220
MN-B	370

グレーチング蓋（ノンスリップ）

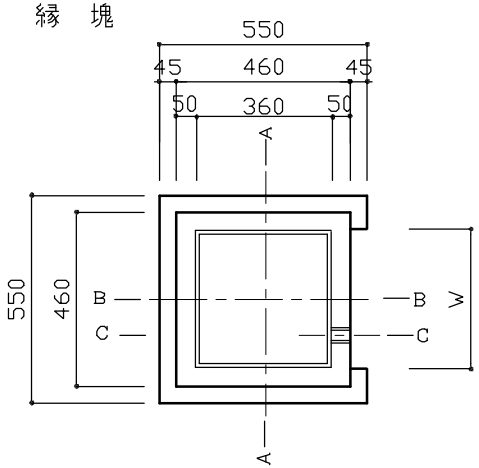


平面図 1/10

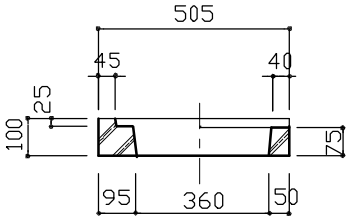


断面図 1/10

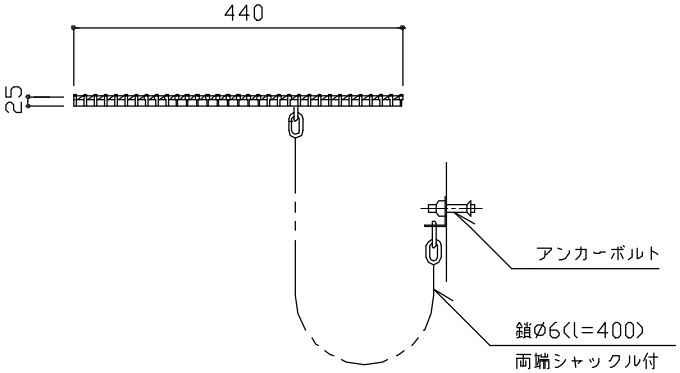
縁塊



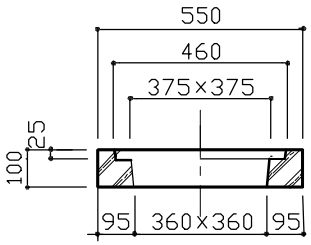
平面図 1/20



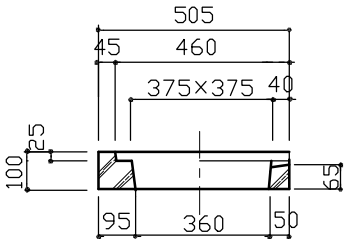
B−B断面図 1/20



グレーチング蓋詳細図 1/10

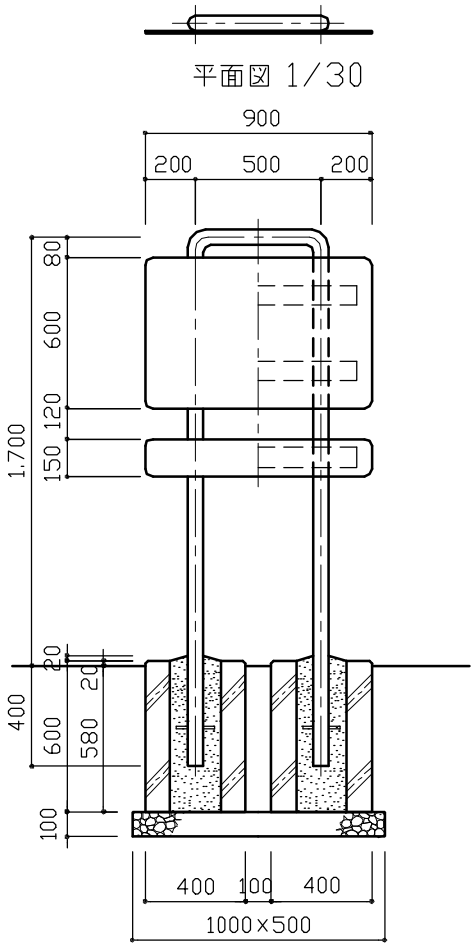


A−A断面図 1/20



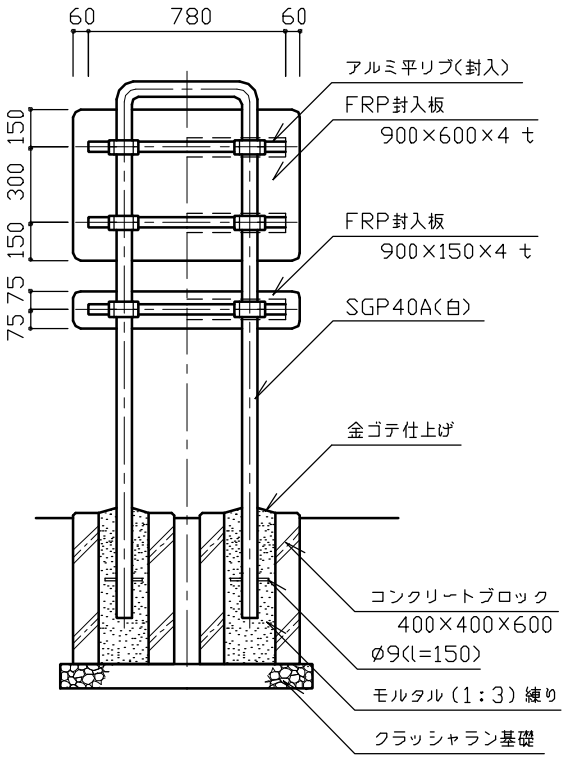
C−C断面図 1/20

特記		水飲み		
		縮尺	図　示	MN-A MN-B
		日付	H14.4	

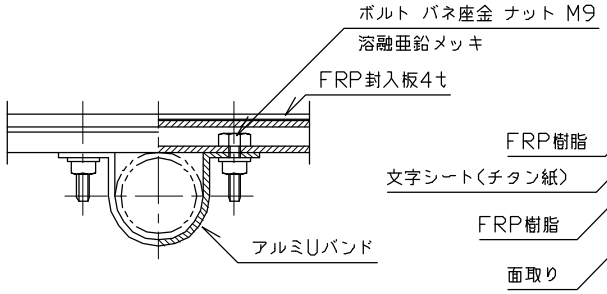


平面図 1/30

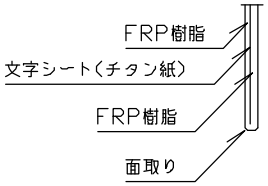
断面図 1/30



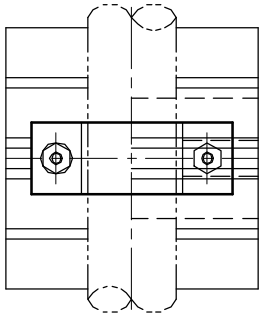
断面図 1/30



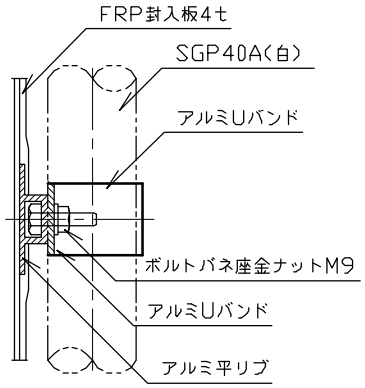
平面図 1/3



FRP封入板詳細図 1/3



正面図 1/3



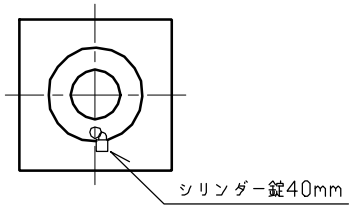
側面図 1/3

取付部詳細図

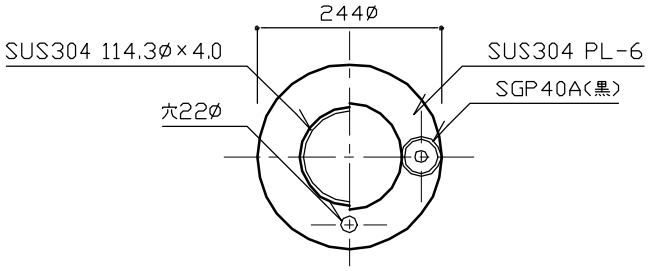
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面 □185、下面 □150とする。 ・FRP封入板は、文字入シートの全面をガラス繊維強化ポリエステル樹脂で被覆加工したものとし、平リブ(アルミ合金製型材)を一体に封入した製品とする。 ・文字シートは、チタン紙に文字250字内外を書き入れたものとし、内容は別に指定する。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装2回もしくは粉体塗装(指定色)とし、塗膜厚40ミクロン以上とする。	**制札板**	
		縮尺	図 示	**SE**
		日付	H14.4	

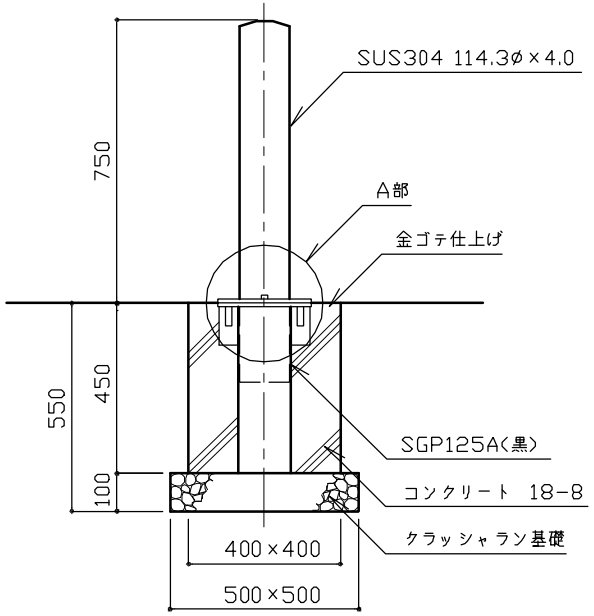
9 管 理 施 設 - 1

《車止め・門柱》

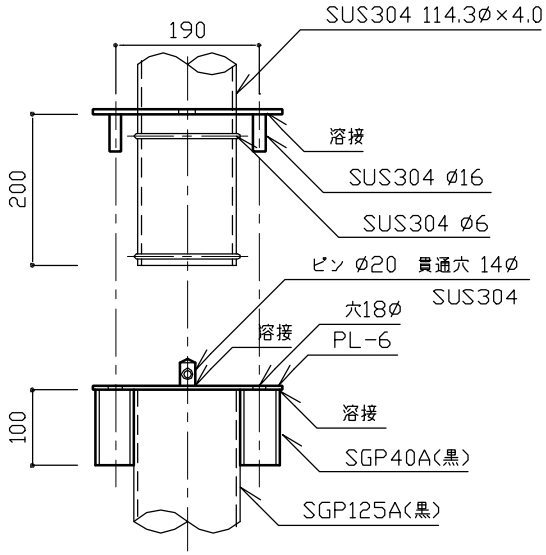


平 面 図 1/20



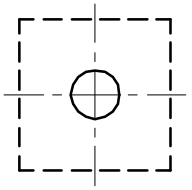


立 面 図 1/20

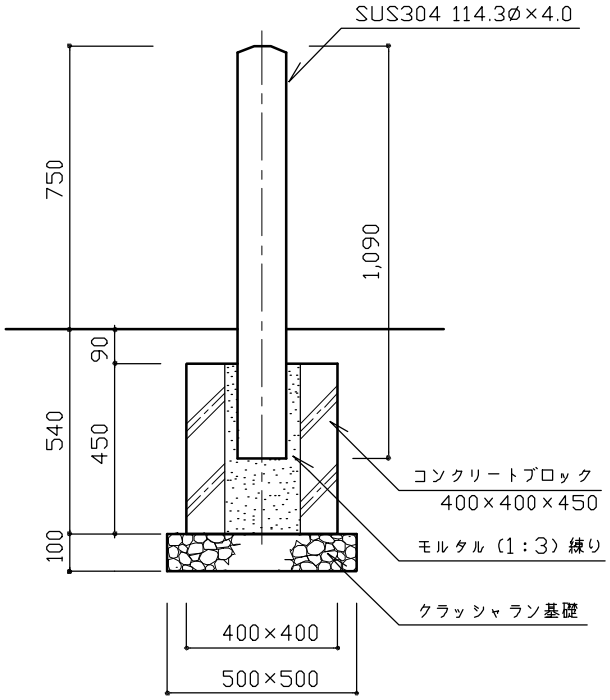


A部詳細図 1/10

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦本体の仕上げは、ヘアライン仕上げ､または､磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。 ◦鉄部（ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）のうえ、メラミン樹脂焼付塗装（色：黒）とする。 ◦シリンダー錠は、アルファ社製ＮＯ.1000－40とし、鍵は別に指定する。 ◦錠取付け用ピンの位置は、公園内側とする。 ◦ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、コンクリート基礎の天端に面取りを行う。	車止め		
		縮尺	図 示	KU-AS
		日付	H14.4	

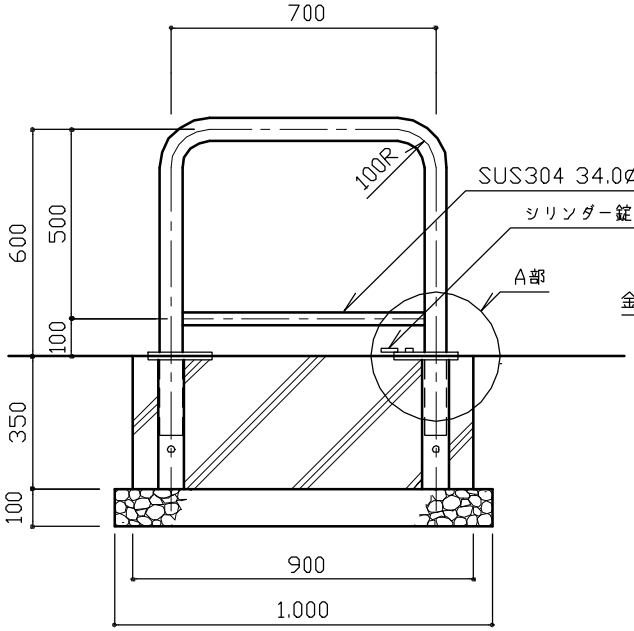


平 面 図

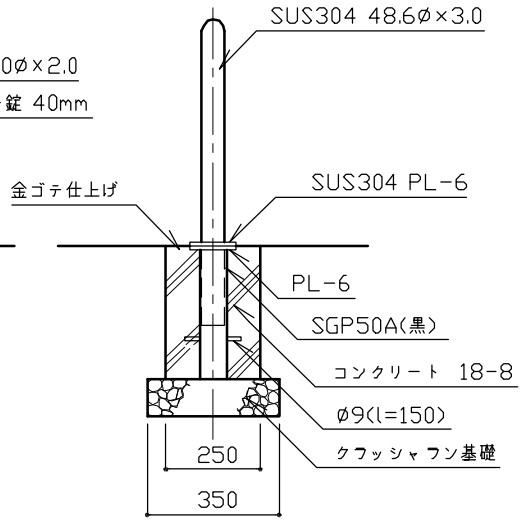


立 面 図

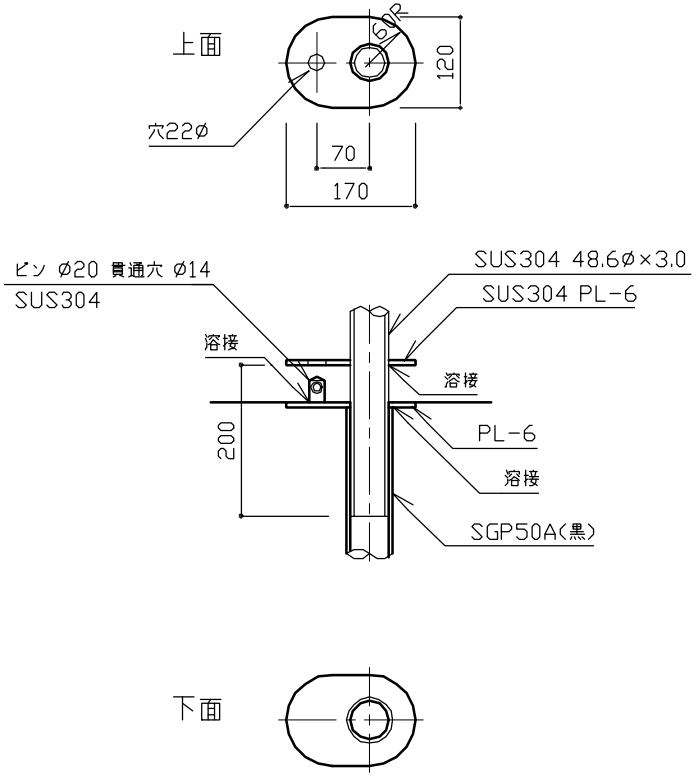
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□160、下面　□130とする。	車止め	
		縮尺 1／20	KU-AK
		日付 H14.4	



立 面 図 1/20

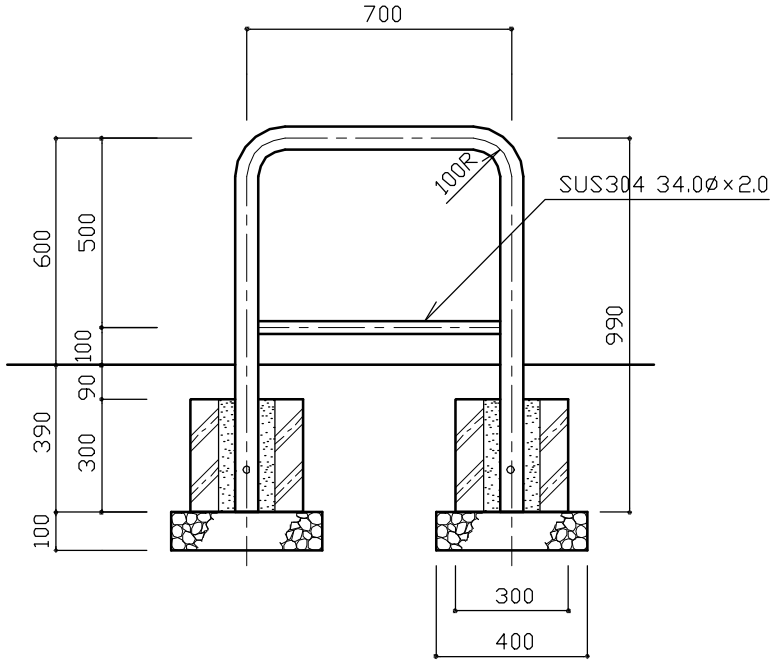


断 面 図 1/20

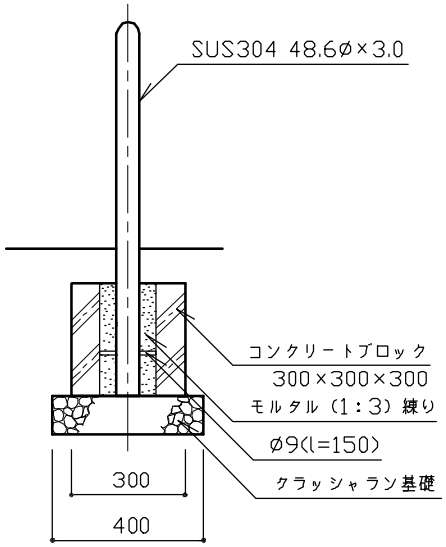


A部詳細図 1/10

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦本体の仕上げは、ヘアライン仕上げ､または､磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。 ◦鉄部（ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）のうえ、メラミン樹脂焼付塗装（色：黒）とする。 ◦シリンダー錠は、アルファ社製ＮＯ.1000−40とし、鍵は別に指定する。 ◦ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、コンクリート基礎の天端に面取りを行う。	車止め		
		縮尺	図 示	KU-BS
		日付	H14.4	

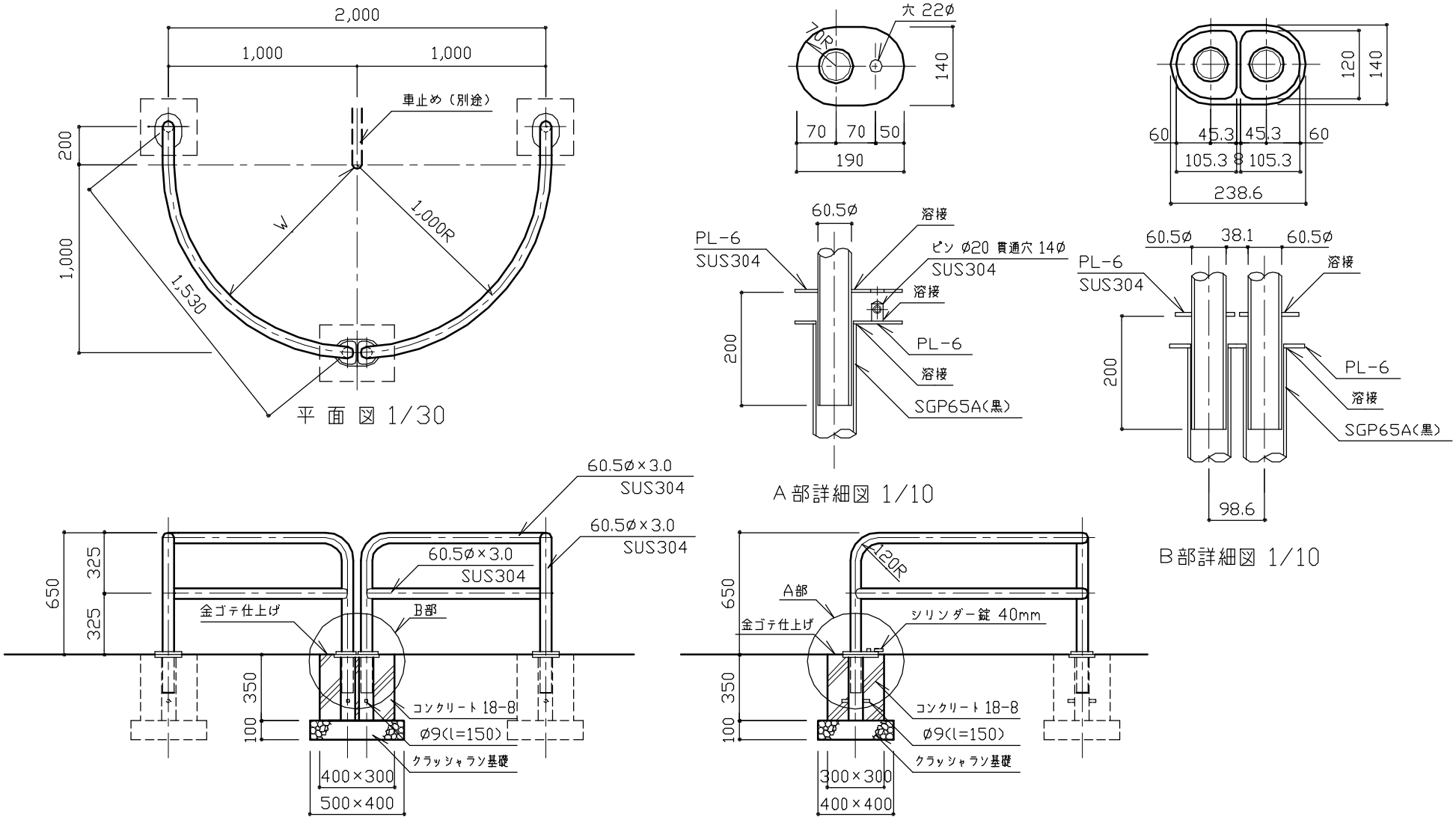


立 面 図

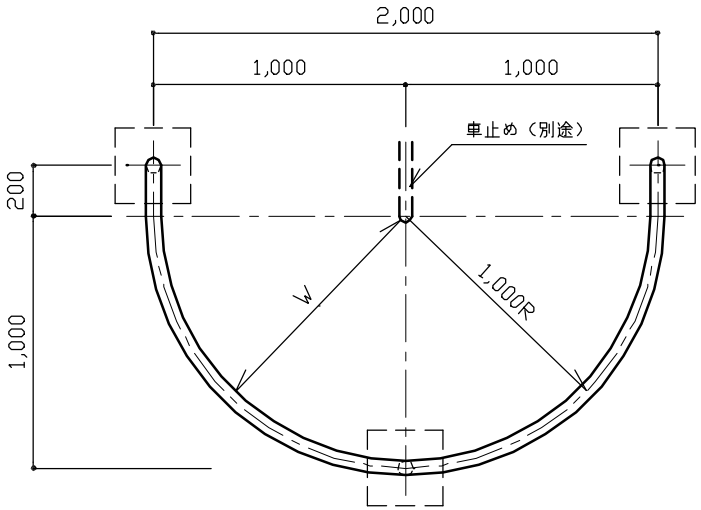


断 面 図

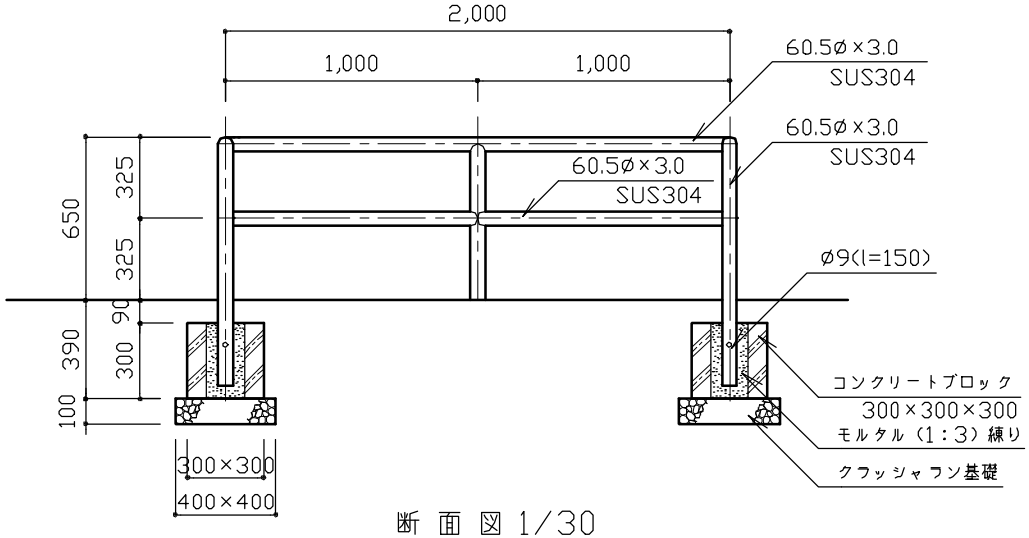
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□150～160、下面　□130とする。 ・本体の仕上げは、ヘアライン仕上げ､または､磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。	車止め	
		縮尺 1/20	KU-BK
		日付 H14.4	



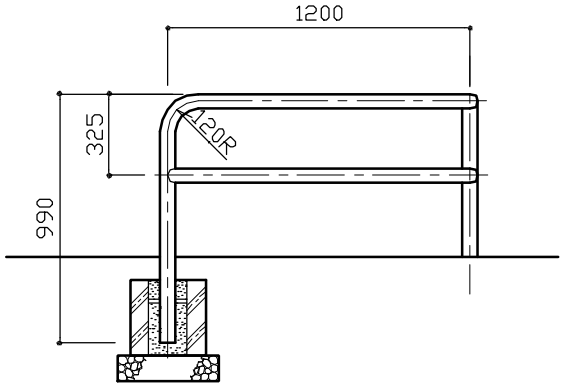
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・本体の仕上げは、ヘアライン仕上げ､または磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。 ・鉄部（ステンレスを除く）は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）のうえ、メラミン樹脂焼付塗装（色：黒）とする。 ・組み合わせて設置する車止めは、有効幅員（W）900が確保できるものとする。 ・シリンダー錠は、アルファ社製NO.1000－40とし、鍵は別に指定する。 ・ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、コンクリート基礎の天端に面取りを行う。	車止め		
		縮尺	図　示	KU-CS
		日付	H14.4	



平 面 図 1/30

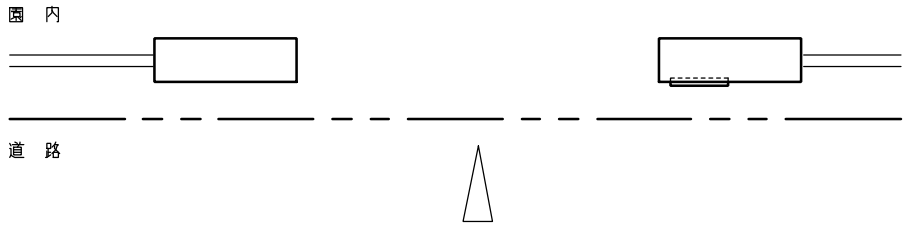


断 面 図 1/30

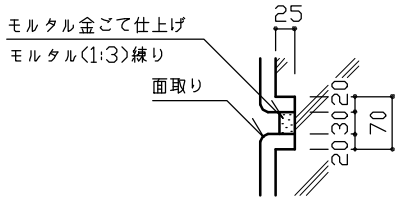


断 面 図 1/30

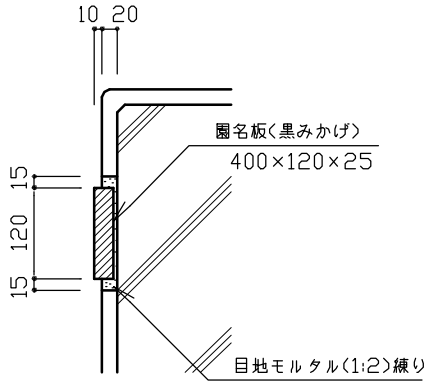
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□150～□160、下面　□130とする。 ・本体の仕上げは、ヘアライン仕上げ､または磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。 ・組み合わせて設置する車止めは、有効幅員（W）900が確保できるものとする。	車止め	
		縮尺	図　示
		日付	H14.4
		KU-CK	



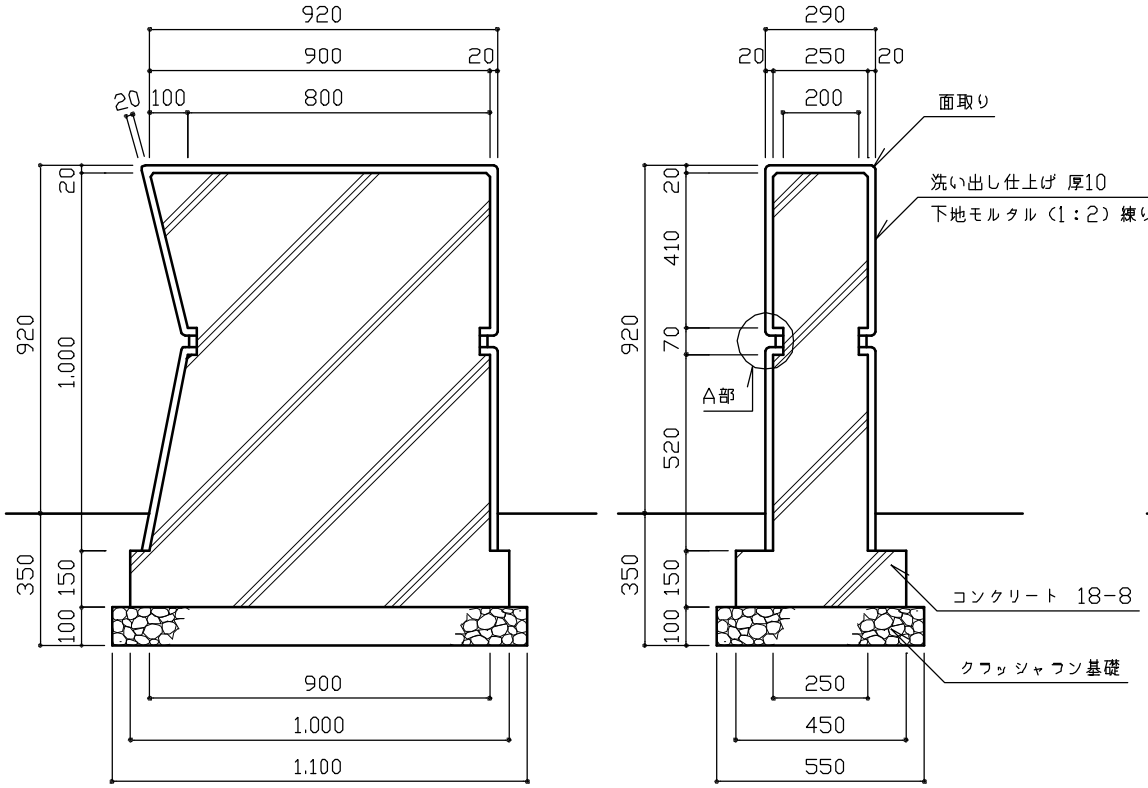
平 面 図 1/50



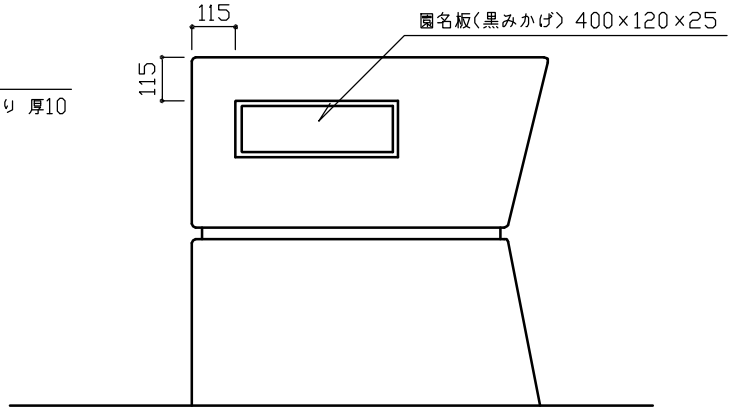
A部詳細図 1/10



園名板取付け詳細図 1/10

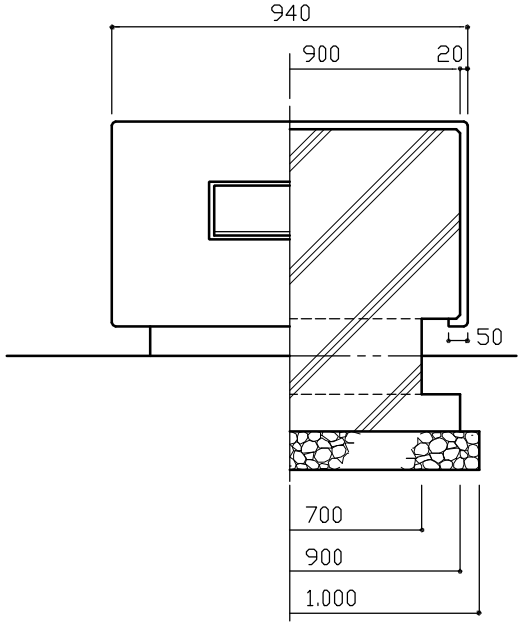


断 面 図 1/20

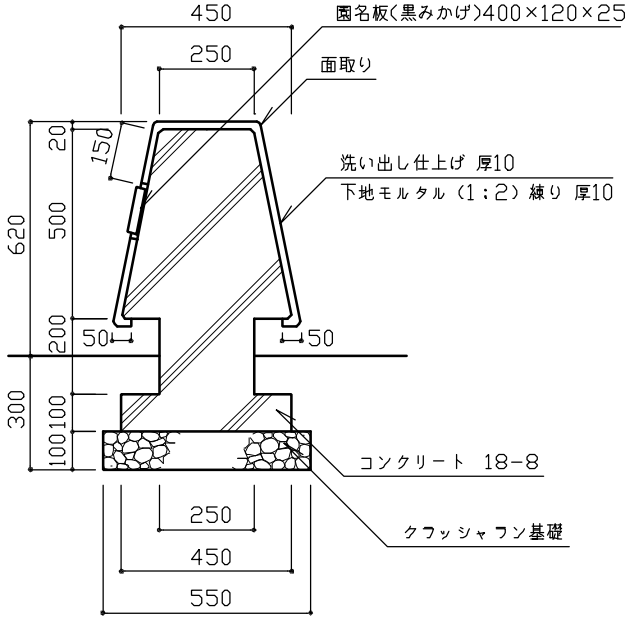


右側立面図 1/20

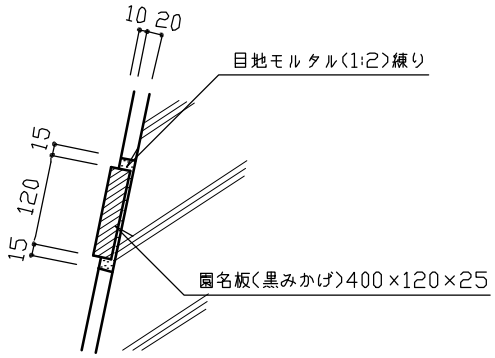
特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Bとする。 ・洗い出し仕上げは、種石の粒径は３～６mmとし、種石の種類は、大磯・金華(鹿島)・茶仙・桃山・白みかげ・桜みかげ・錆みかげ・蛇紋とする。 ・園名板（黒みかげ）は、１面本磨きとし、文字および字体は別に指定する。	門 柱	
		縮尺	図 示
		日付	H14.4
		MO-A	



正 面 図 1/20



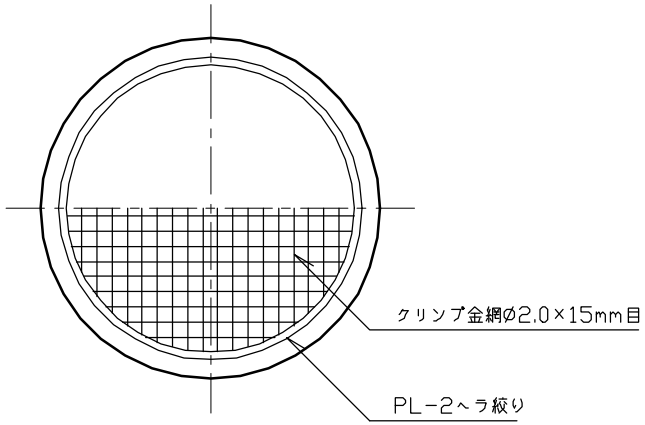
断 面 図 1/20



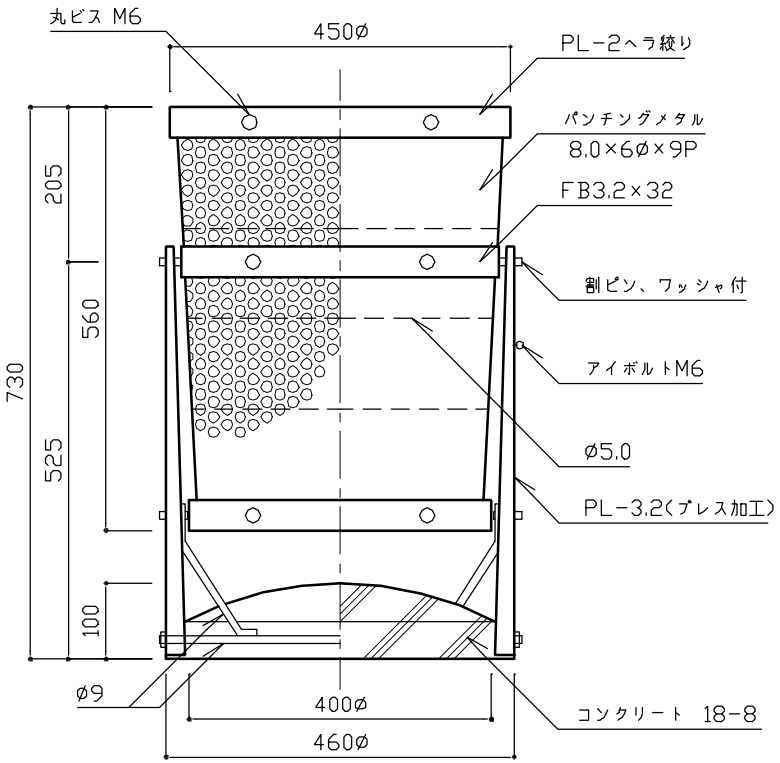
園名板取付け詳細図1/10

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦洗い出し仕上げは、種石の粒径は３～６mmとし、種石の種類は、大磯・金華(鹿島)・茶仙・桃山・白みかげ・桜みかげ・錆みかげ・蛇紋とする。 ◦園名板（黒みかげ）は、１面本磨きとし、文字および字体は別に指定する。	門 柱		
		縮尺	図 示	MO-B
		日付	H14.4	

S9 管理施設-1:参考図

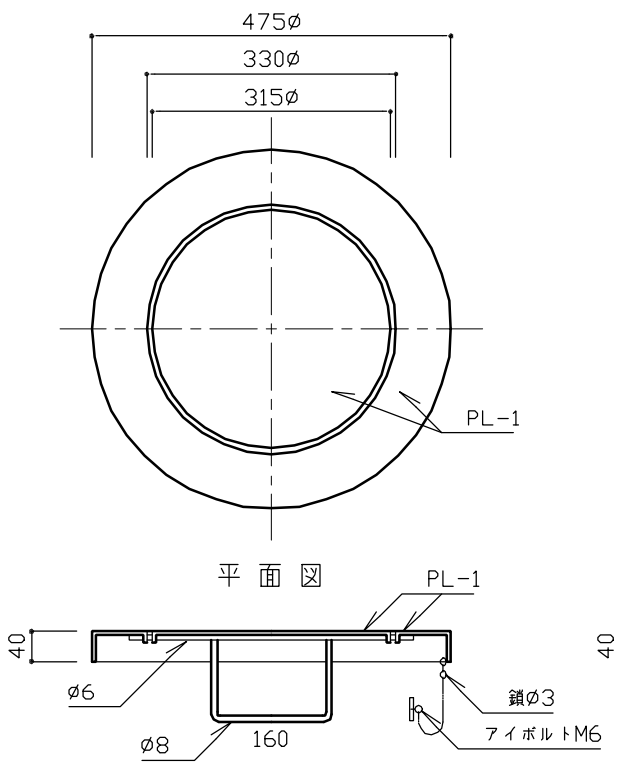


平 面 図

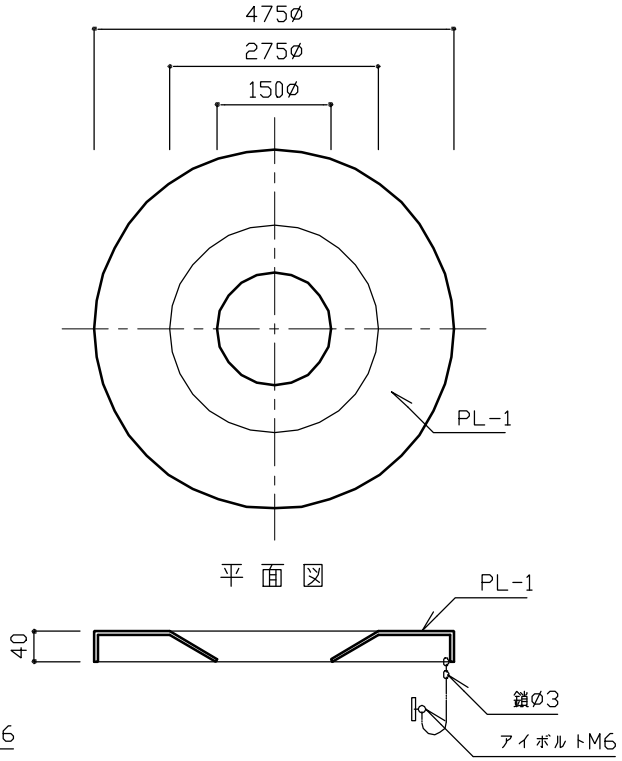


立 面 図

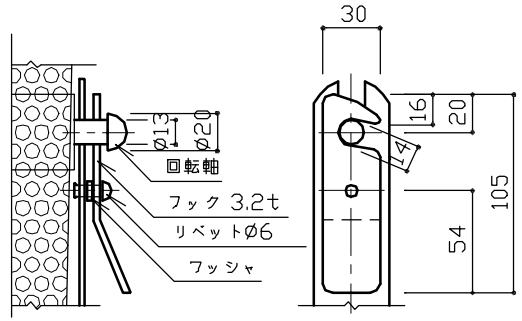
特記	・ＫＫ－Ａは本体のみ、ＫＫ－Ｂは回転蓋付、ＫＫ－Ｃは固定蓋付とする。 ・パンチングメタルおよび蓋（PL－１）は亜鉛めっき鋼板（防錆処理品）、クリンプ金網および鉄線（φ５）は亜鉛めっき品とし、粉体塗装（指定色）とする。 ・その他の鉄部は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）のうえ、粉体塗装（指定色）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。	〈ずかご[参考図]		
		縮尺	1／10	KK-A KK-B KK-C
		日付	H15.4	



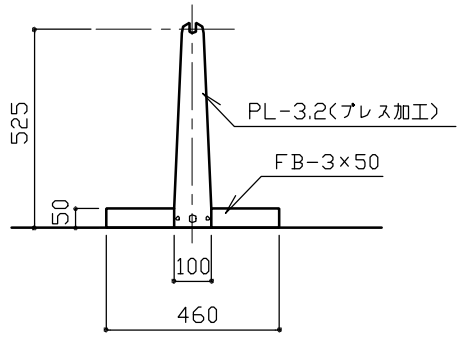
回転蓋詳細図1/10



固定蓋詳細図1/10



フック詳細図1/4

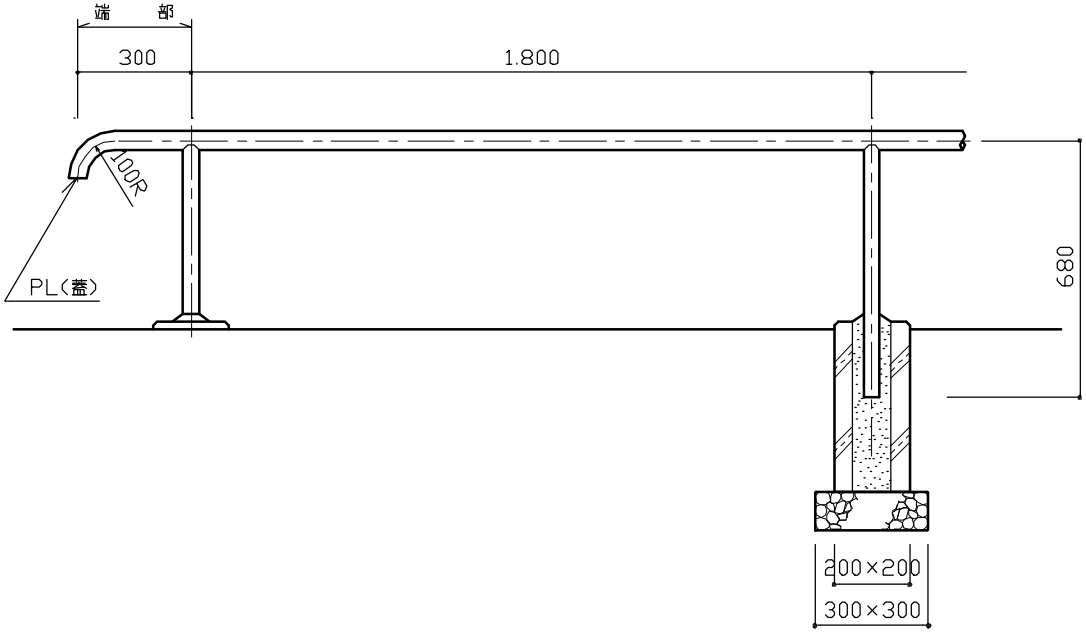


脚詳細図1/20

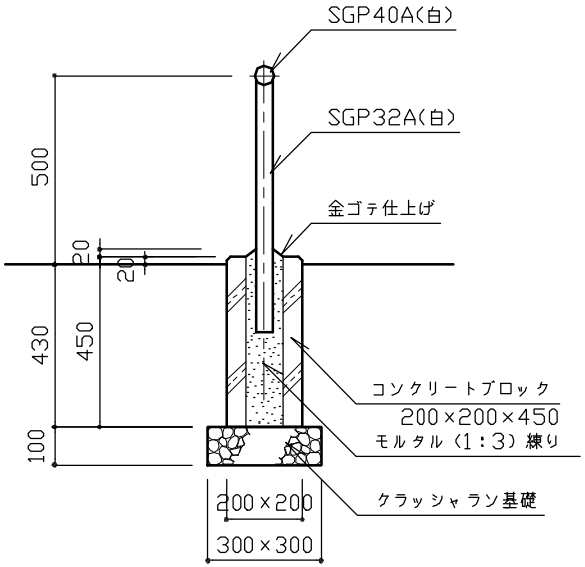
特記		くずかご[参考図]	
	縮尺	図 示	KK-A KK-B KK-C
	日付	H15.4	

10 管 理 施 設 - 2

《柵・手すり》

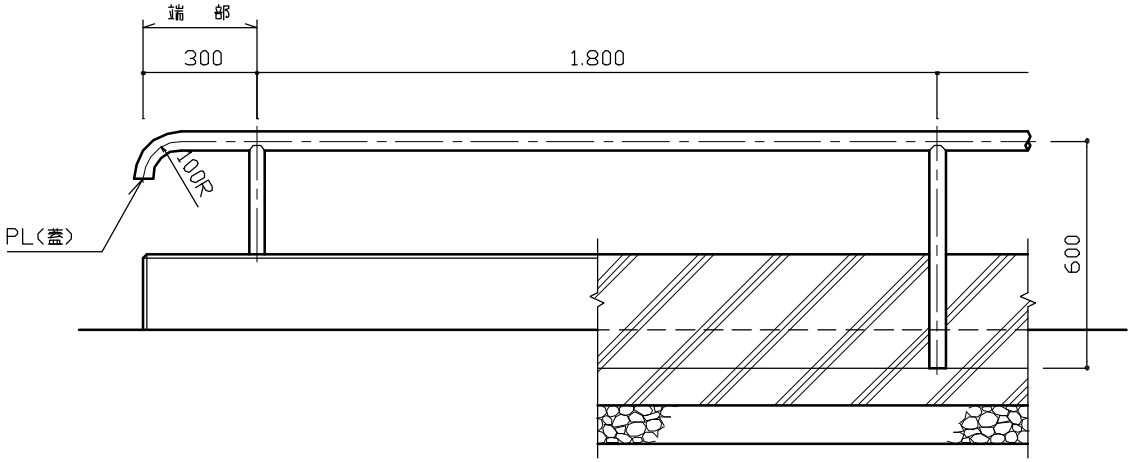


立面図

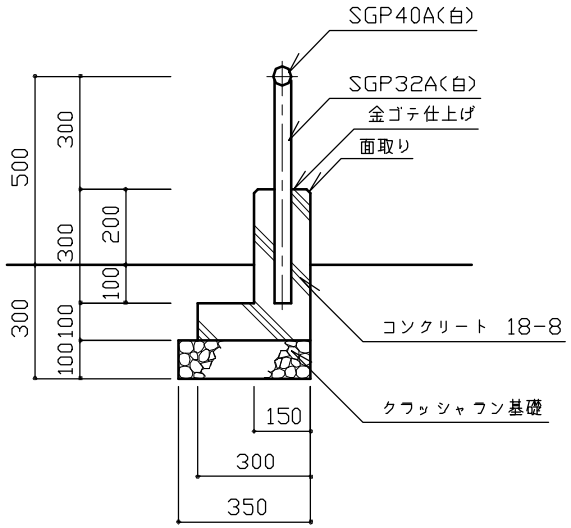


断面図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面 □100〜120、下面 □80〜90とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー1回、合成樹脂調合ペイント(指定色)2回塗りとする。	パイプ柵(1段)		
		縮尺	1/20	PF-1S
		日付	H15.4	

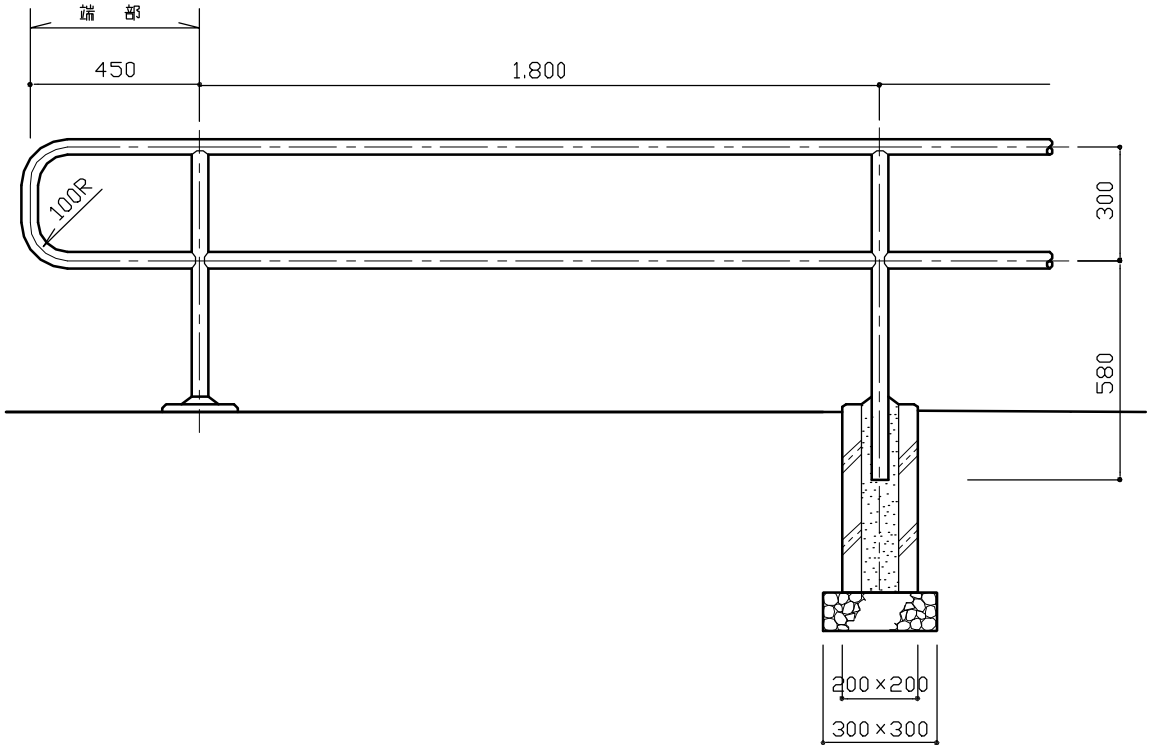


立 面 図

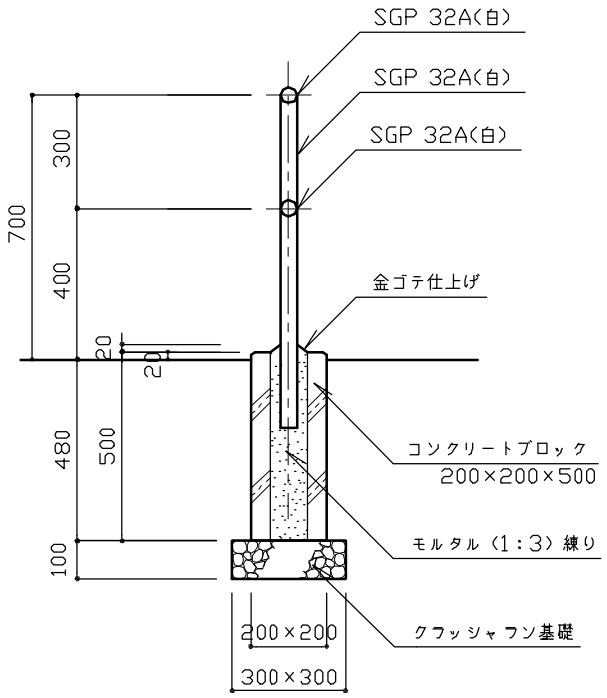


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・布基礎には、@２０mを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚９mmとする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	パイプ柵(1段)		
		縮尺	1/20	PF-1W
		日付	H15.4	

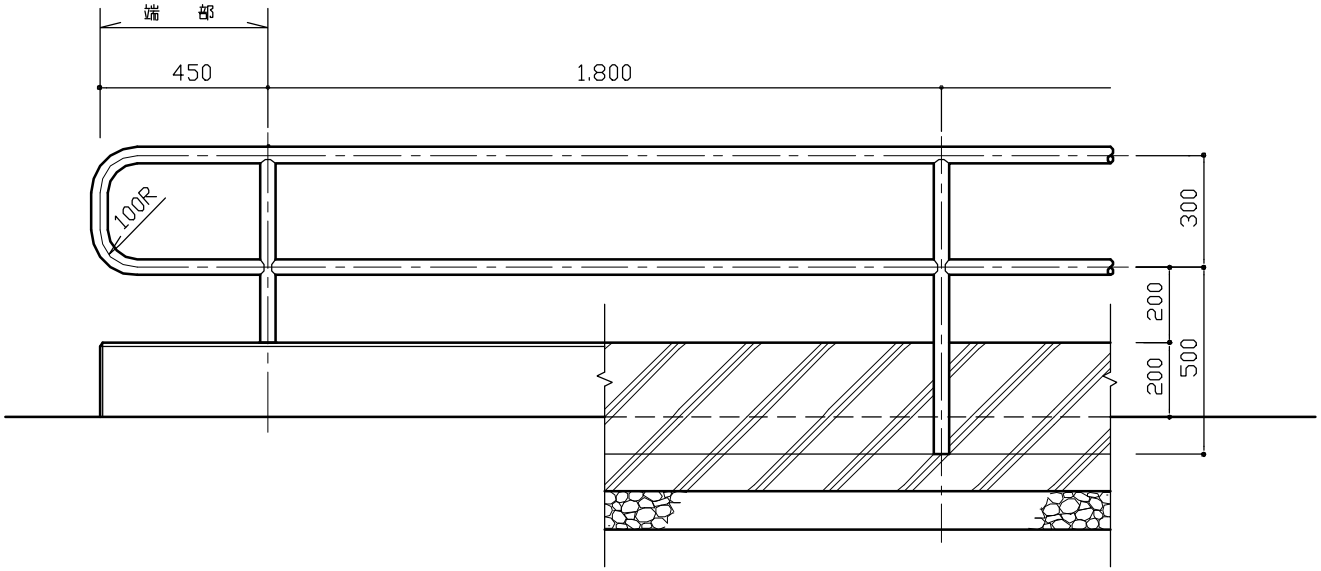


立 面 図

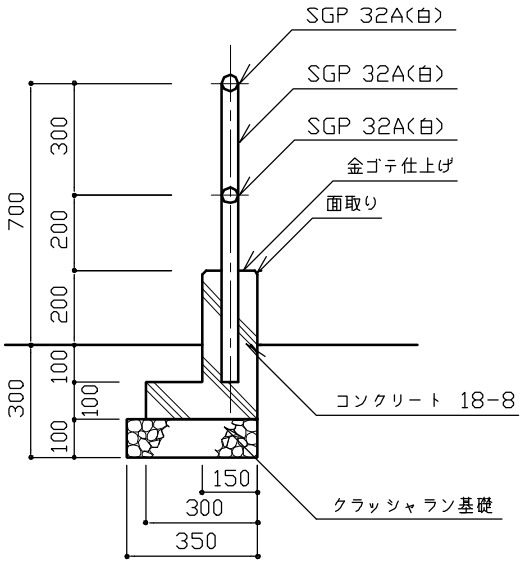


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□100～120、下面　□80～90とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	パイプ柵（2段）	
		縮尺 1／20	PF-2S
		日付 H15.4	

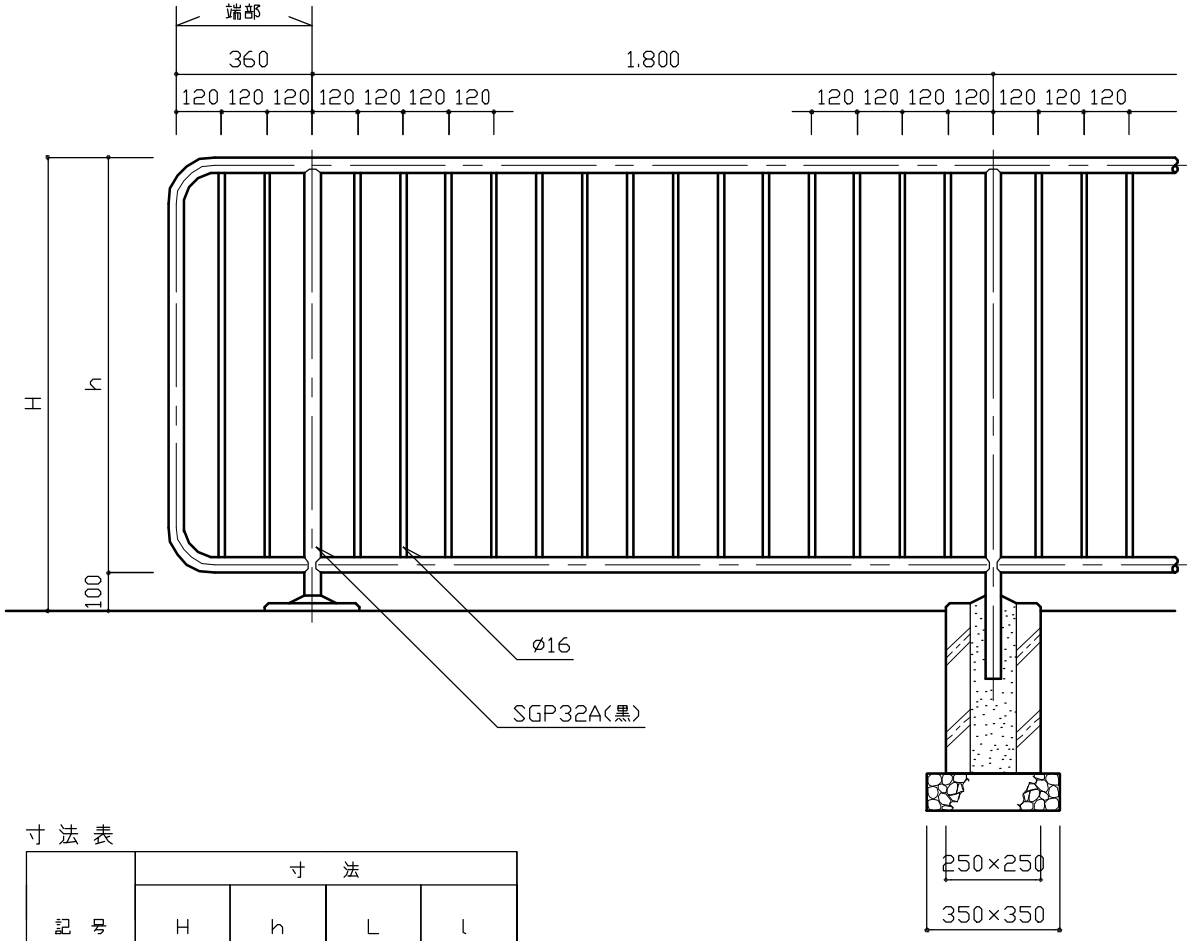


立 面 図

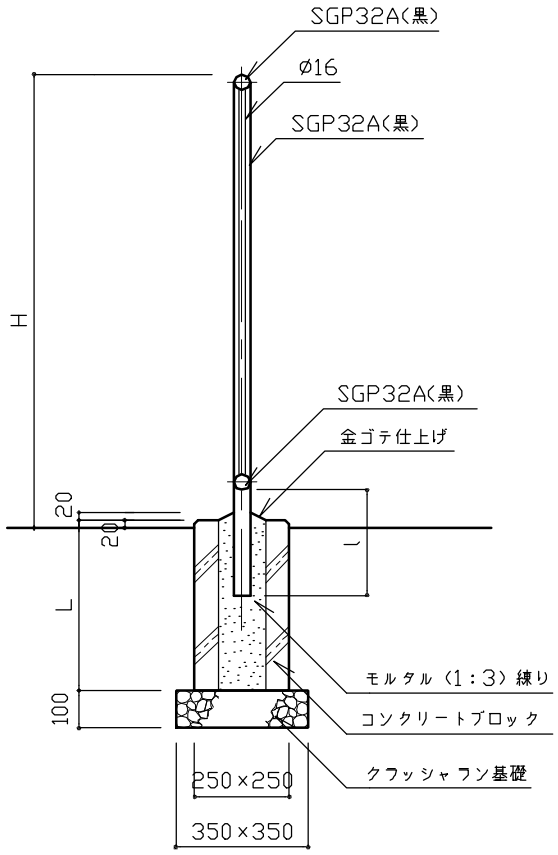


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・布基礎には、@２０mを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚９mmとする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	パイプ柵（2段）		
		縮尺	1／20	PF-2W
		日付	H15.4	



立 面 図

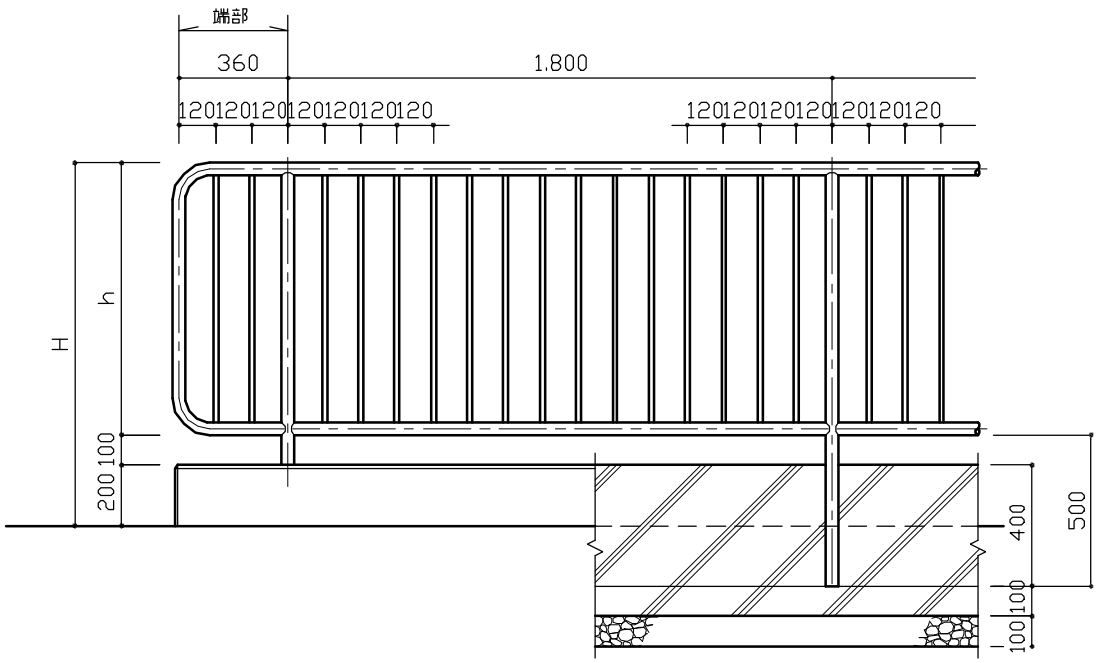


断 面 図

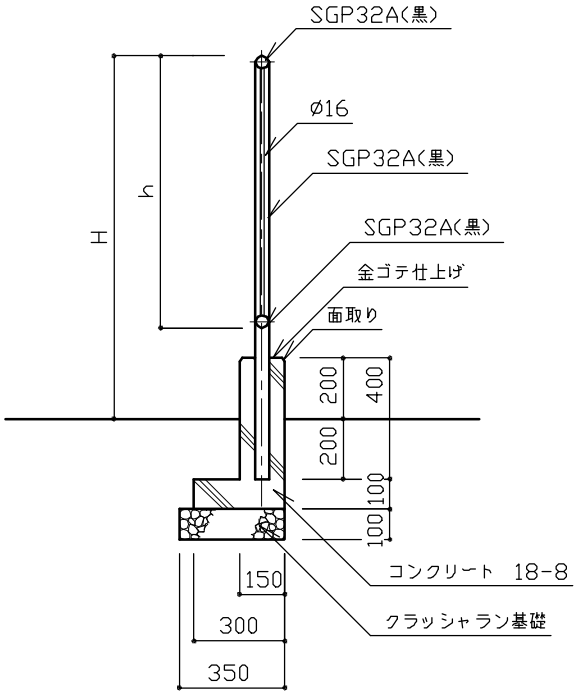
寸 法 表

記 号	寸 法			
	H (mm)	h (mm)	L (mm)	l (mm)
TF- 90S	900	800	450	280
TF-120S	1,200	1,100	500	330

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−40）とする。 ・コンクリートブロック(250×250×450)の中穴は、上面 □130～150、下面 □100～110とする。 ・コンクリートブロック(250×250×500)の中穴は、上面 □135～150、下面 □100～110とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	縦格子柵		
		縮尺	1／20	TF-90S TF-120S
		日付	H15.4	



立 面 図



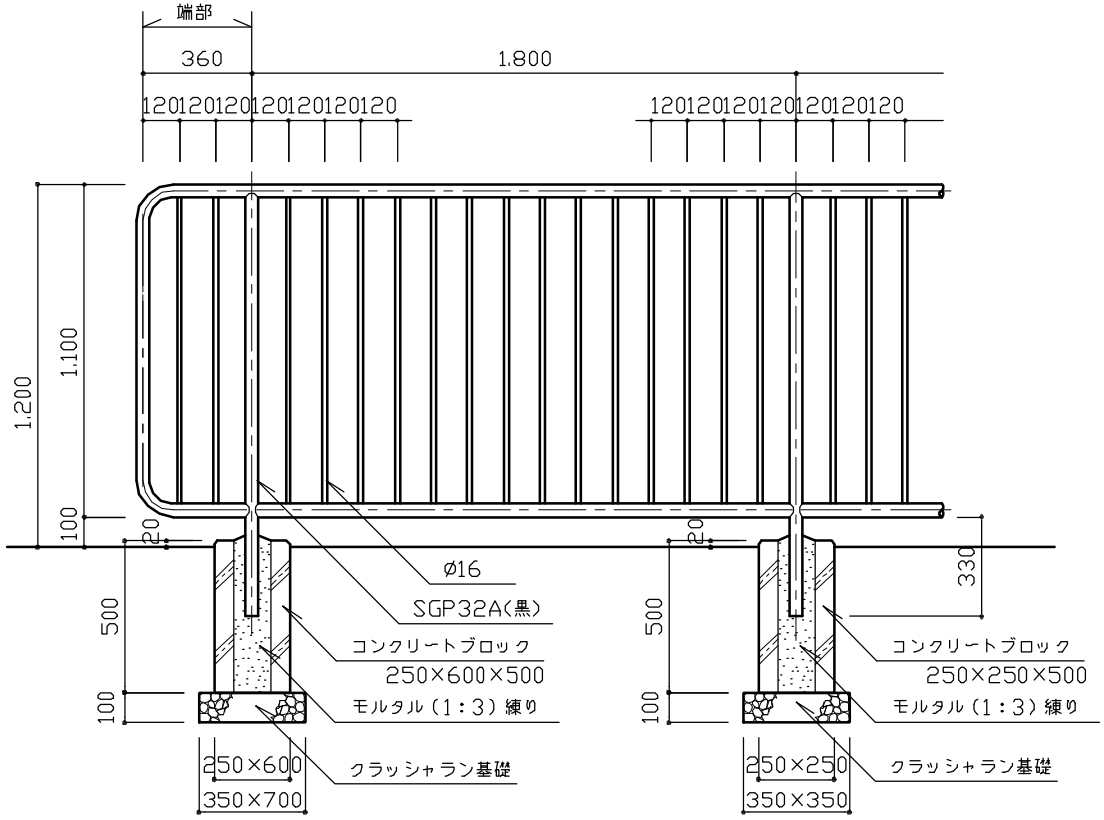
断 面 図

寸 法 表

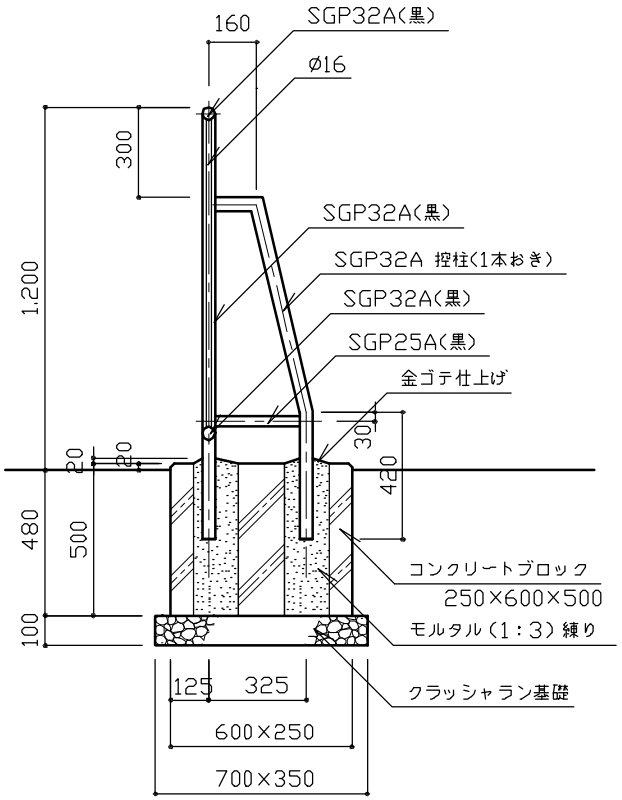
記 号	寸 法	
	H (mm)	h (mm)
TF- 90W	900	600
TF-120W	1,200	900

特記	
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。
	・コンクリートは、高炉Ｂとする。
	・布基礎には、@２０ｍを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚９mmとする。
	・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。
	・鉄部は電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。
	・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。

縦格子柵		
縮尺	1／25	TF-90W TF-120W
日付	H15.4	



立 面 図

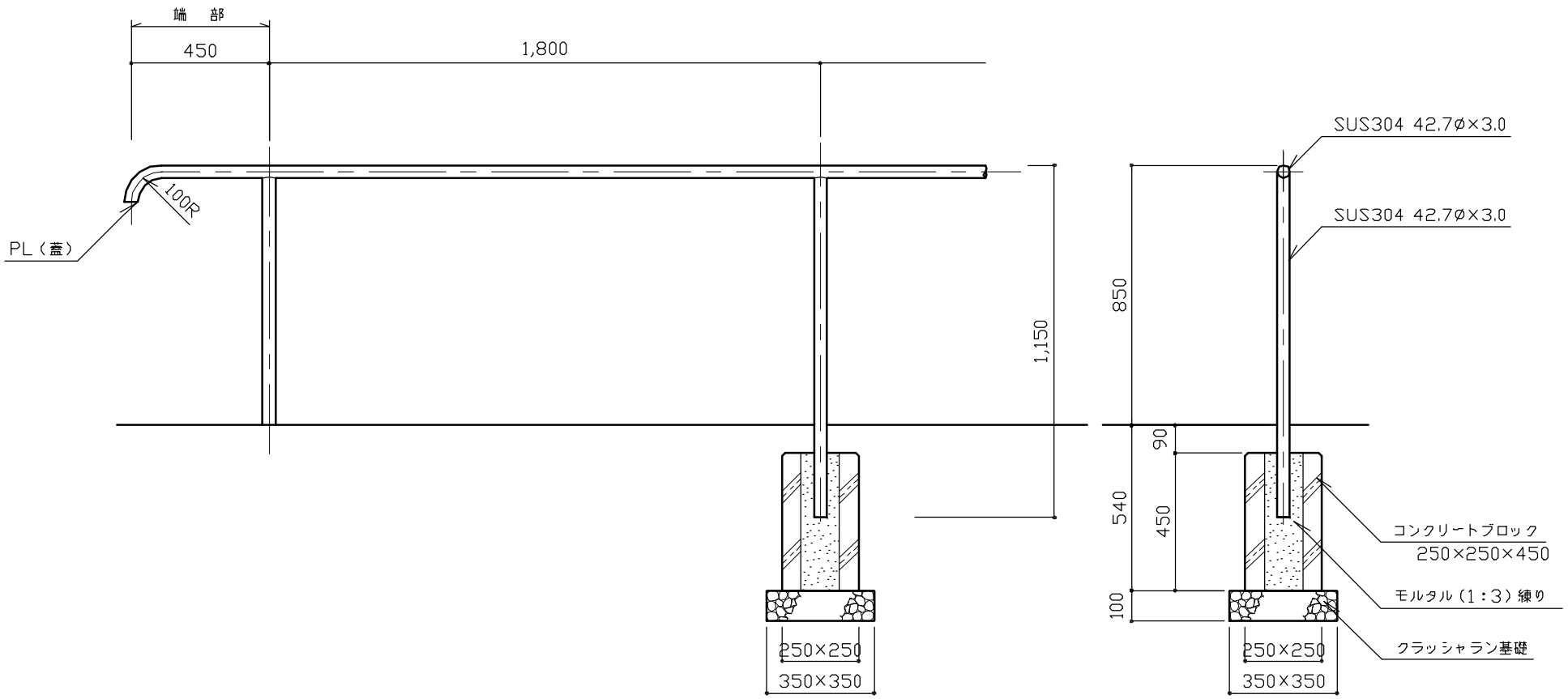


断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートブロック(250×250×500)の中穴は、上面　□135～150、下面　□100～110とする。 ・コンクリートブロック(250×600×500)の中穴は、（主柱）上面　□150、下面　□120 および（控柱）上面　150×290、下面　120×270 とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。 ・端部は、控柱付きとする。	縮尺	1／25
		日付	H15.4

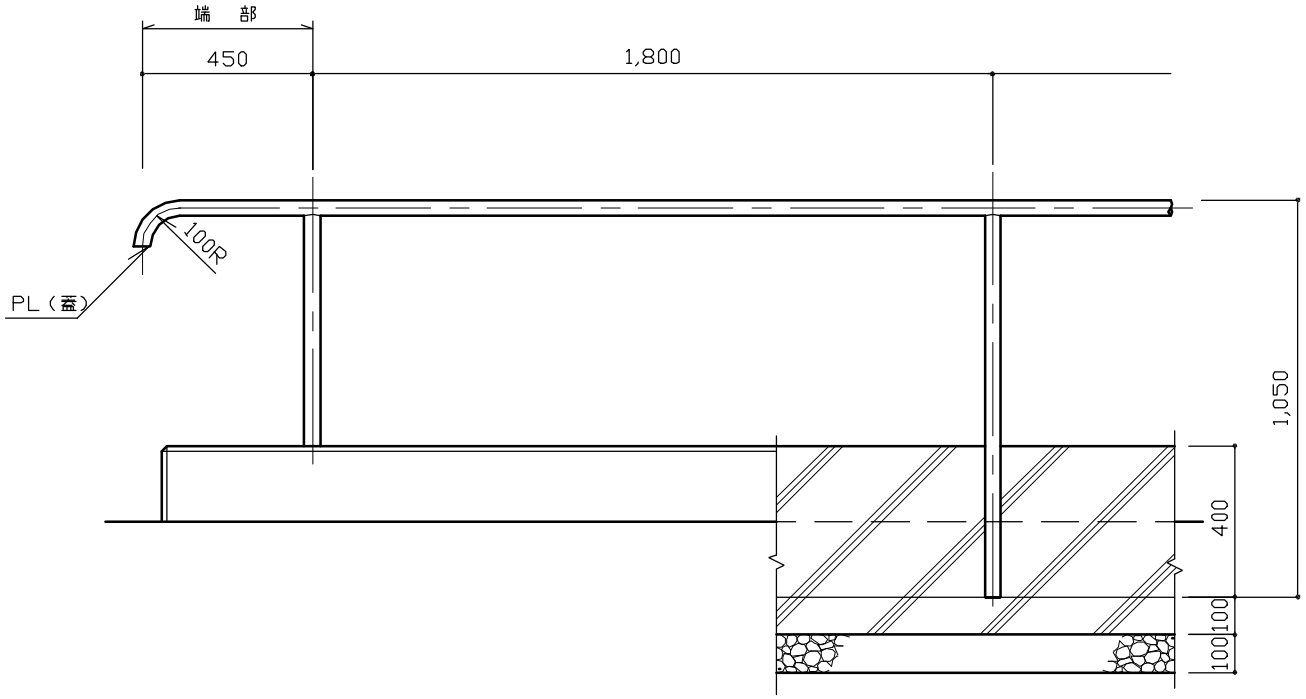
縦格子柵

TF-120SS

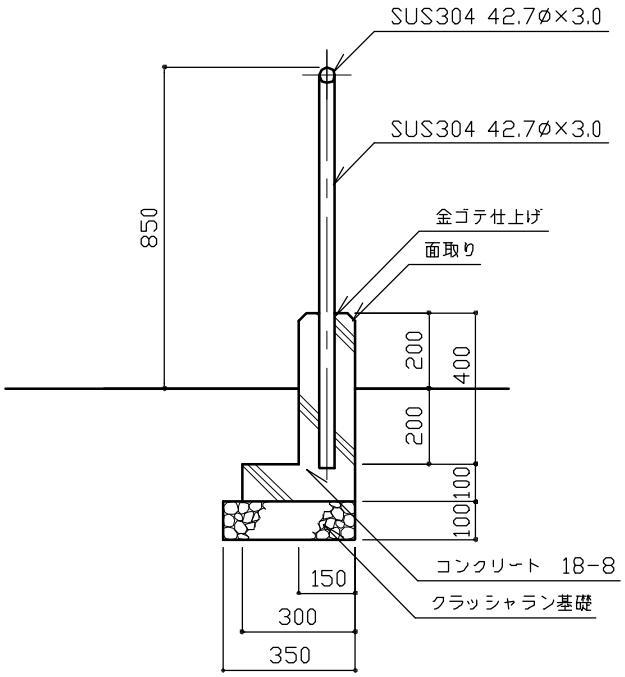


立 面 図　　断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□130～150、下面　□100～110とする。 ・ステンレス鋼管（配管用ステンレス鋼管）の接合は、全周溶接とする。 ・ステンレスの仕上げは、ヘアライン仕上げ、または磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。	手すり（1段）	
		縮尺 1／20	TR-1S
		日付 H14.4	

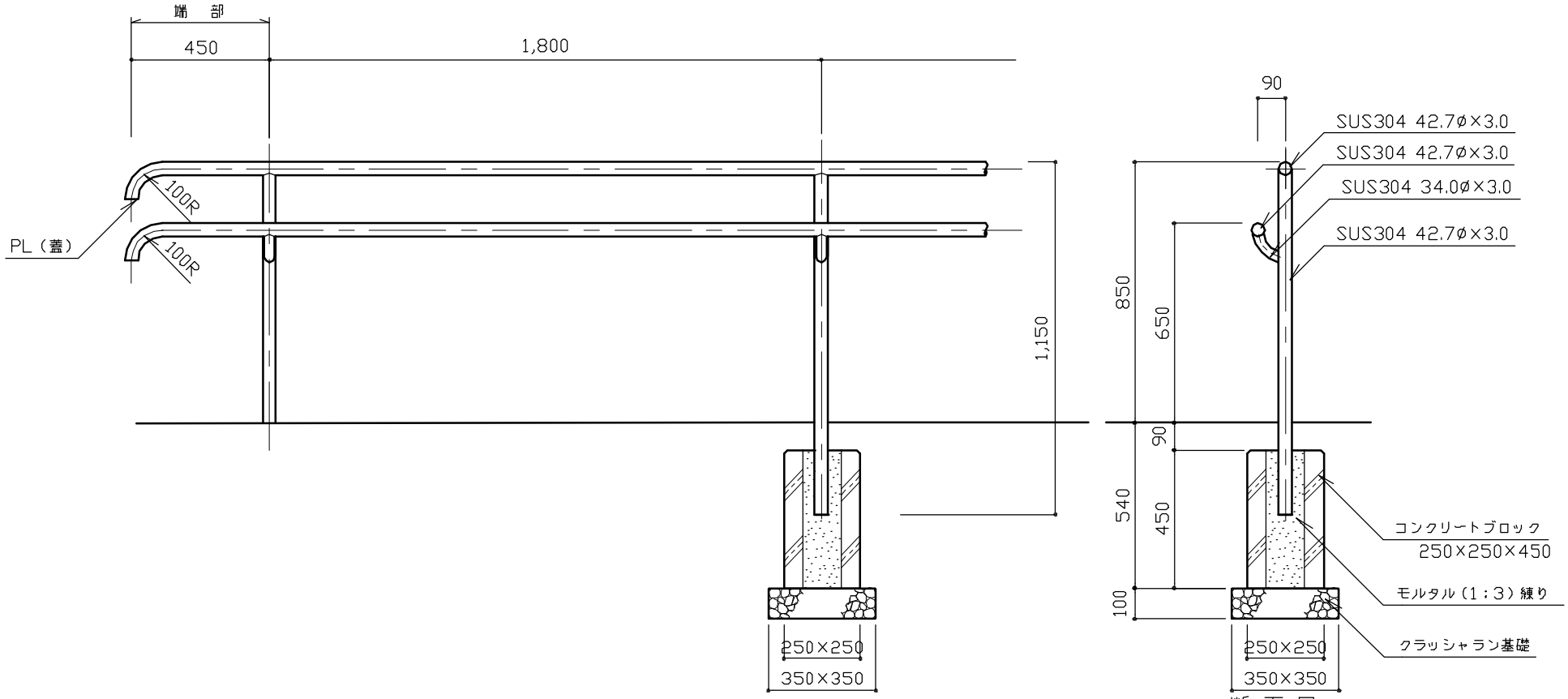


立 面 図



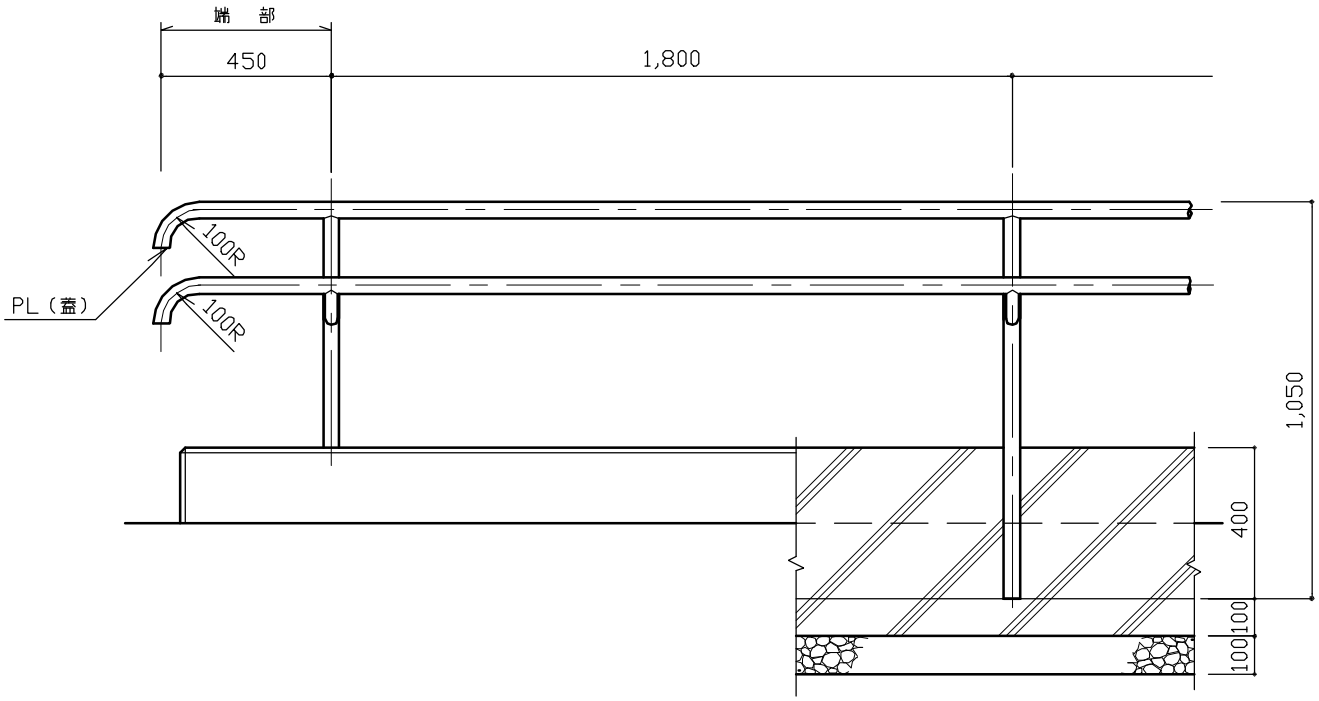
断 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦布基礎には、@２０ｍを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚９mmとする。 ◦ステンレス鋼管（配管用ステンレス鋼管）の接合は、全周溶接とする。 ◦ステンレスの仕上げは、ヘアライン仕上げ､または磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。	手すり(1段)	
		縮尺 1／20	TR-1W
		日付 H14.4	

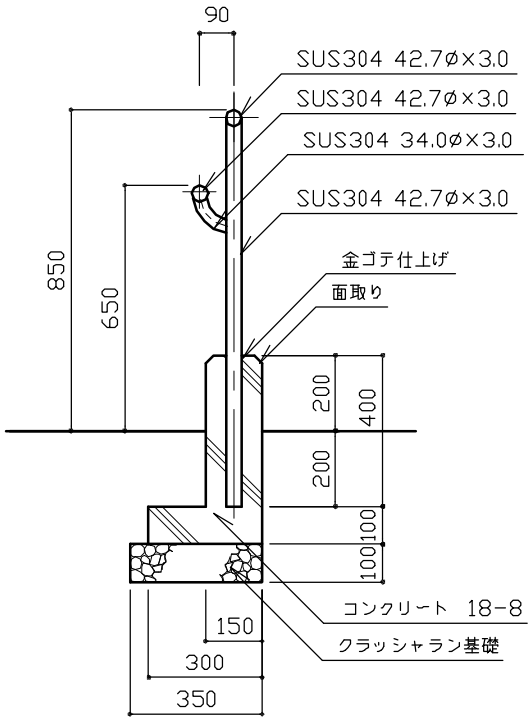


立 面 図　　断 面 図

特記		手すり（2段）	
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□130～150、下面　□100～110とする。 ・ステンレス鋼管（配管用ステンレス鋼管）の接合は、全周溶接とする。 ・ステンレスの仕上げは、ヘアライン仕上げ､または磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。	縮尺	1／20	TR-2S
		日付	H14.4	

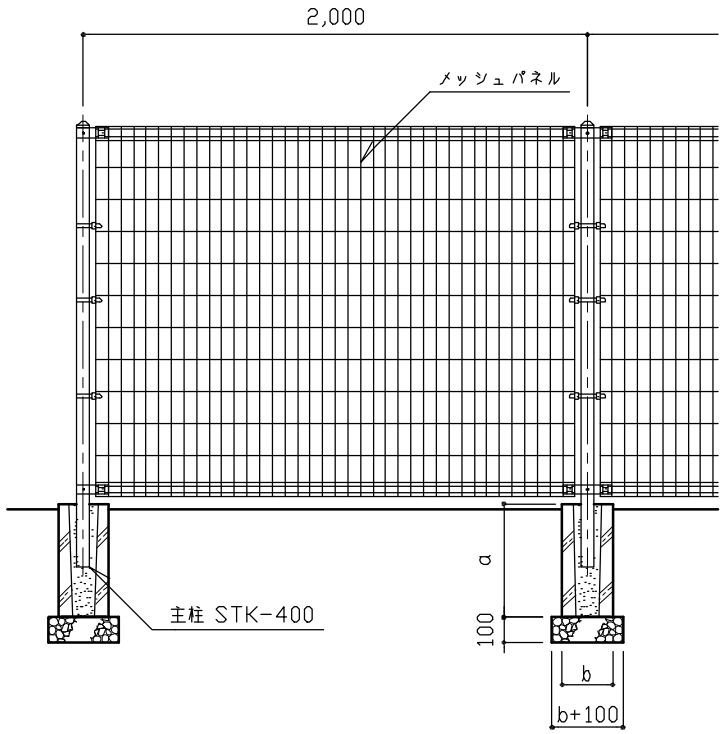


立 面 図

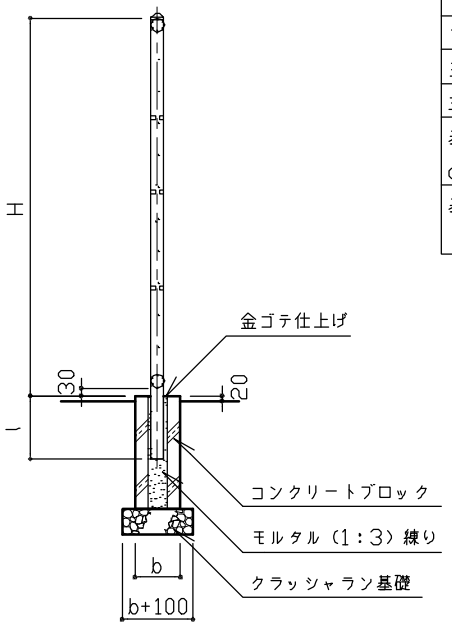


断 面 図

特記	◦クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ◦コンクリートは、高炉Ｂとする。 ◦布基礎には、@２０mを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚９mmとする。 ◦ステンレス鋼管（配管用ステンレス鋼管）の接合は、全周溶接とする。 ◦ステンレスの仕上げは、ヘアライン仕上げ､または磨き仕上げ（＃４００）とし、別に指定する。	手すり（2段）		
		縮尺	1／20	TR-2W
		日付	H14.4	



正 面 図 1/30

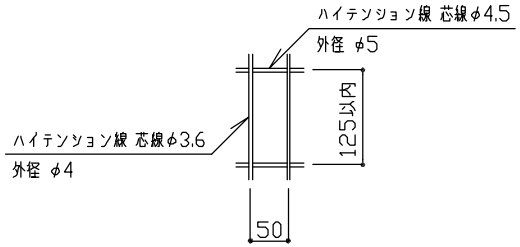


断 面 図 1/30

寸 法 表 (mm)

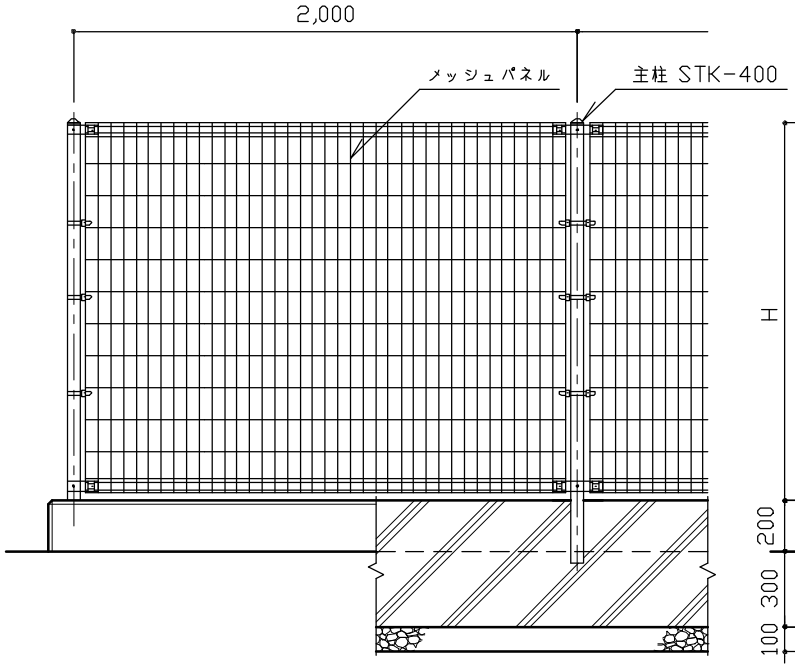
	ME-120S	ME-150S	ME-180S	ME-200S
フェンス高（H）	1,200	1,500	1,800	2,000
主柱の根入れ（l）	200	250	300	300
主柱の断面	50.8φ×1.6	50.8φ×2.3	50.8φ×2.3	50.8φ×2.3
基礎ブロック（b×a）	200×450	200×450	200×450	250×450
基礎ブロックの中穴（上面×下面）	100～120×80～90	100～120×80～90	100～120×80～90	130～150×100～110

メッシュパネル断面図 1/10

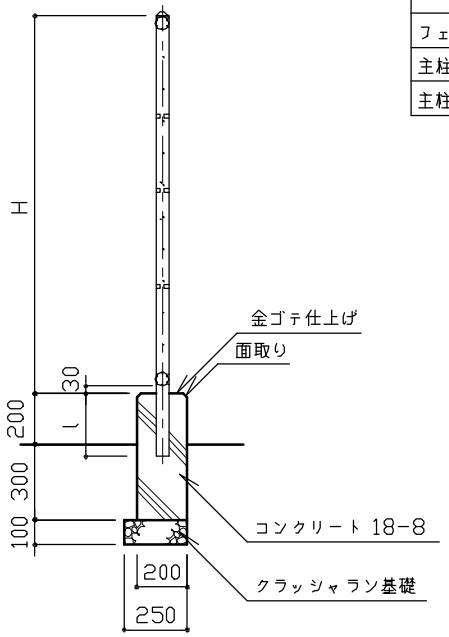


メッシュ詳細図 1/10

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・主柱頭部の形状、メッシュパネルの取付方法、中間胴縁の有無とその形状は製造メーカーの仕様による。 ・胴縁はメッシュパネルを円形に加工したものとし、横方向の鉄線が円の外側につく形でもよい。 ・主柱及びメッシュパネルは、溶融亜鉛めっきまたは亜鉛アルミ合金めっきのうえ粉体塗装とする。 ・取付金具は、溶融亜鉛めっきまたは亜鉛アルミ合金めっきのうえ粉体塗装または焼付塗装とする。 ・ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきとする。 ・塗装色はホワイト・グリーン・ダークブラウンとし、別に指定する。 ・傾斜地に設置する場合は、傾斜にあわせたメッシュを製作する。なお、本図の基礎寸法は傾斜角5°以下に適用する。	メッシュフェンス	
		縮尺 図 示	ME-120S～200S
		日付 H14.4	



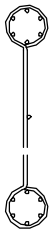
正面図 1/30



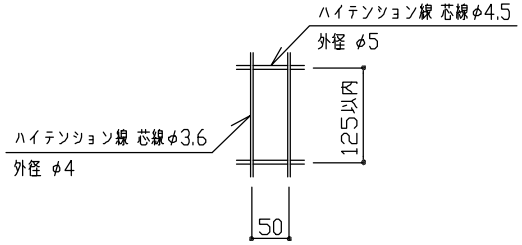
断面図 1/30

寸法表 (mm)

	ME-120W	ME-150W	ME-180W
フェンス高 (H)	1,200	1,500	1,800
主柱の根入れ (l)	200	250	300
主柱の断面	50.8φ×1.6	50.8φ×2.3	50.8φ×2.3



メッシュパネル断面図 1/10

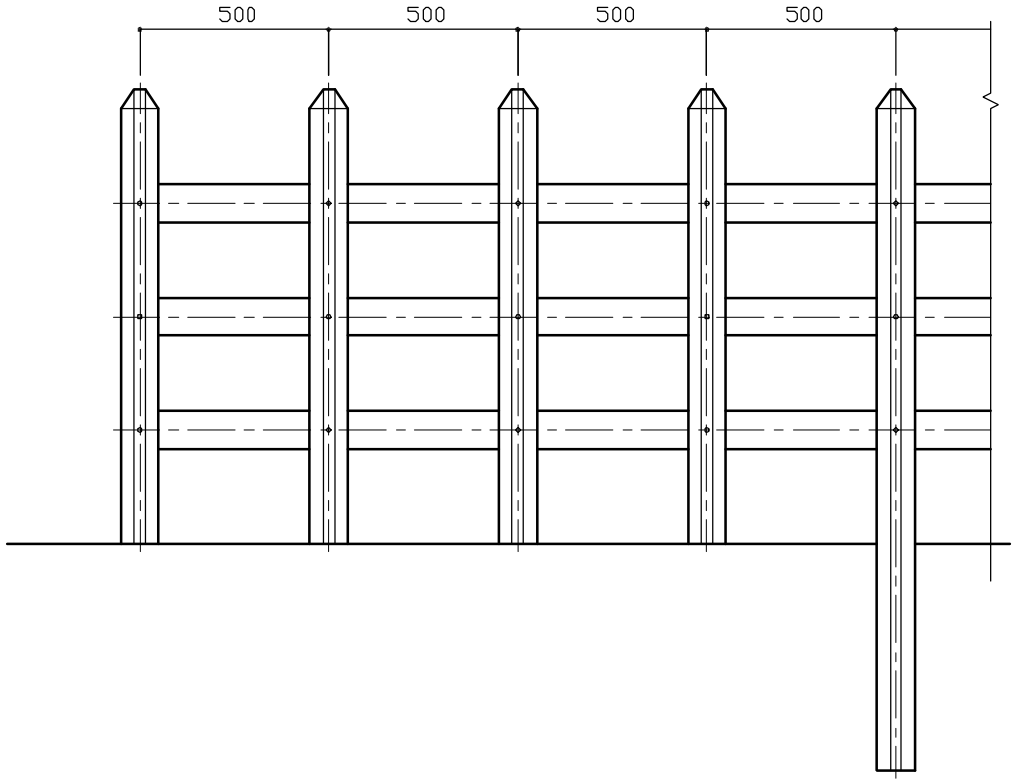


メッシュ詳細図 1/10

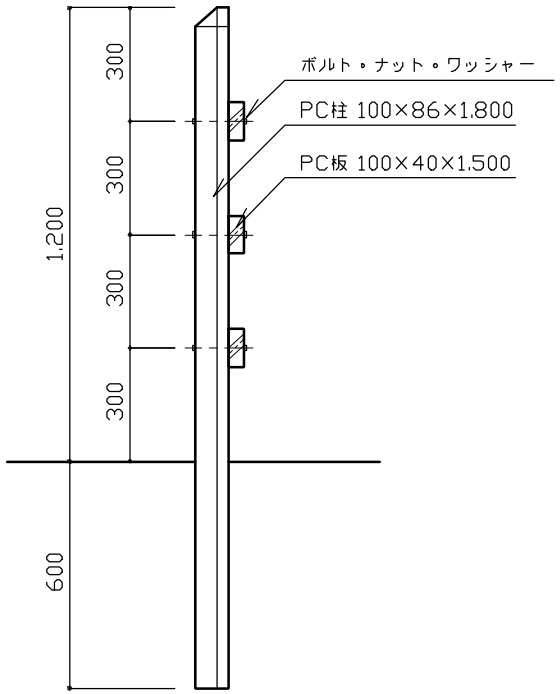
特記

- クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。またコンクリートは、高炉Bとする。
- 布基礎には、@20mを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（1等）厚9mmとする。
- 主柱頭部の形状、メッシュパネルの取付方法、中間胴縁の有無とその形状は製造メーカーの仕様による。
- 胴縁はメッシュパネルを円形に加工したものとし、横方向の鉄線が円の外側につく形でもよい。
- 主柱及びメッシュパネルは、溶融亜鉛めっきまたは亜鉛アルミ合金めっきのうえ粉体塗装とする。
- 取付金具は、溶融亜鉛めっきまたは亜鉛アルミ合金めっきのうえ粉体塗装または焼付塗装とする。
- ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきとする。
- 塗装色はホワイト・グリーン・ダークブラウンとし、別に指定する。
- 傾斜地に設置する場合は、傾斜にあわせたメッシュを製作する。なお、本図の基礎寸法は傾斜角5°以下に適用する。

メッシュフェンス		
縮尺	図示	ME-120W～180W
日付	H14.4	

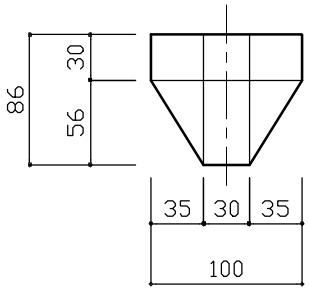


立 面 図

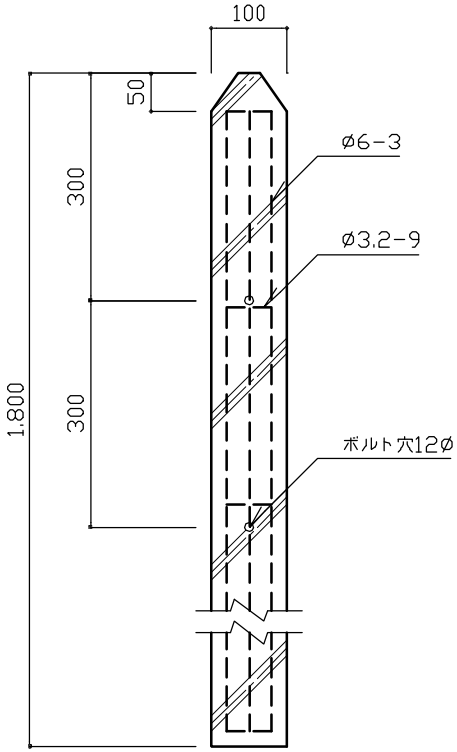


側 面 図

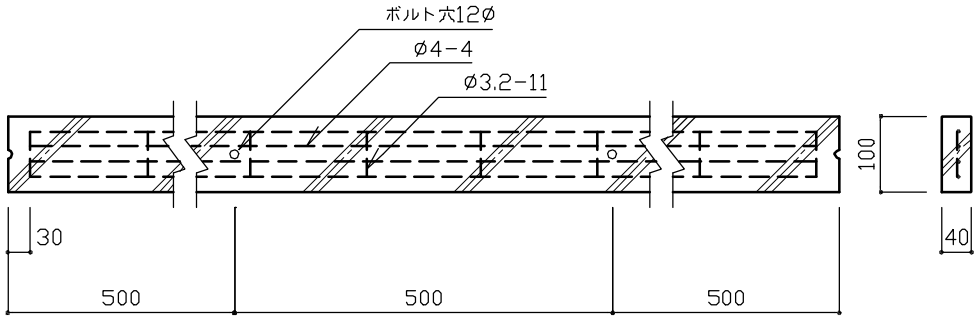
特記	・ボルト・ナット・ワッシャーは、溶融亜鉛めっき品とする。	コンクリート柵	
		縮尺 1/20	CF
		日付 H14.4	



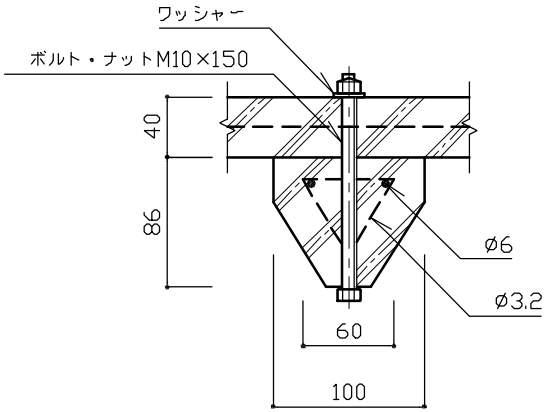
PC柱平面図1/5



PC柱詳細図1/5

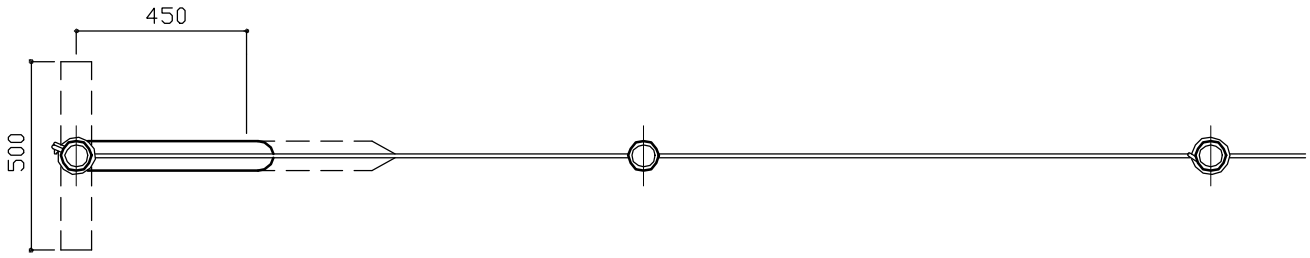


PC板詳細図1/10

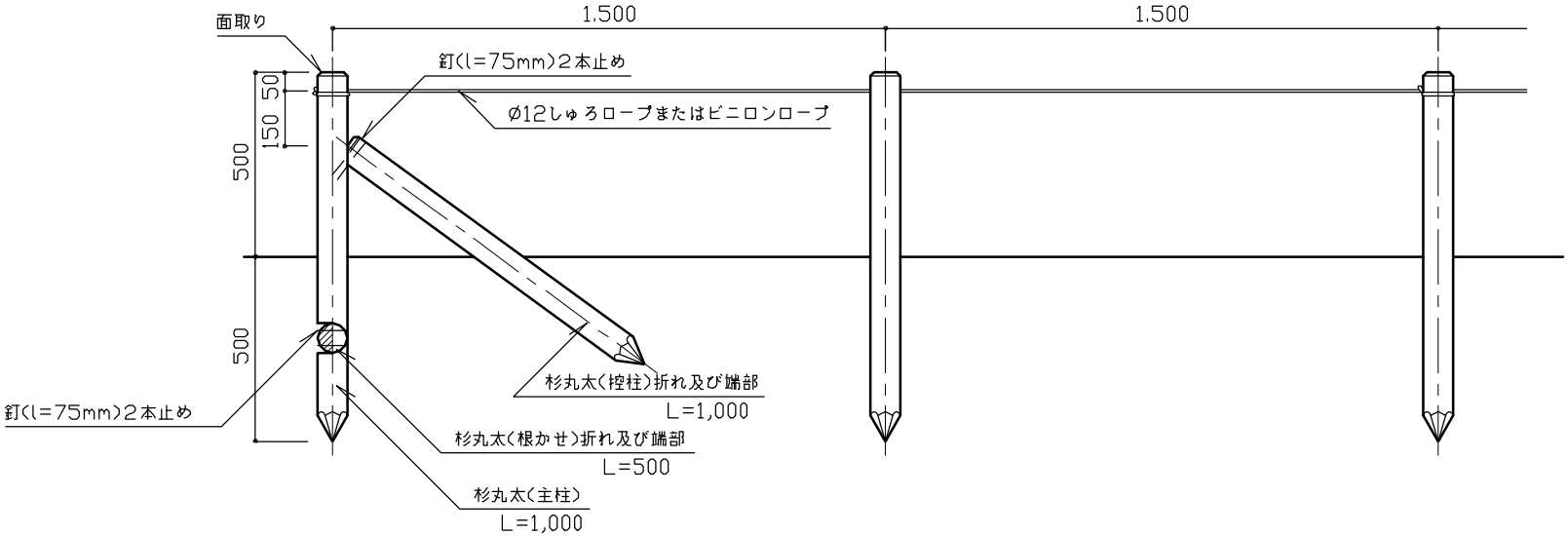


ボルト取付け詳細図1/5

特記		コンクリート柵	
	縮尺	図 示	CF
	日付	H14.4	

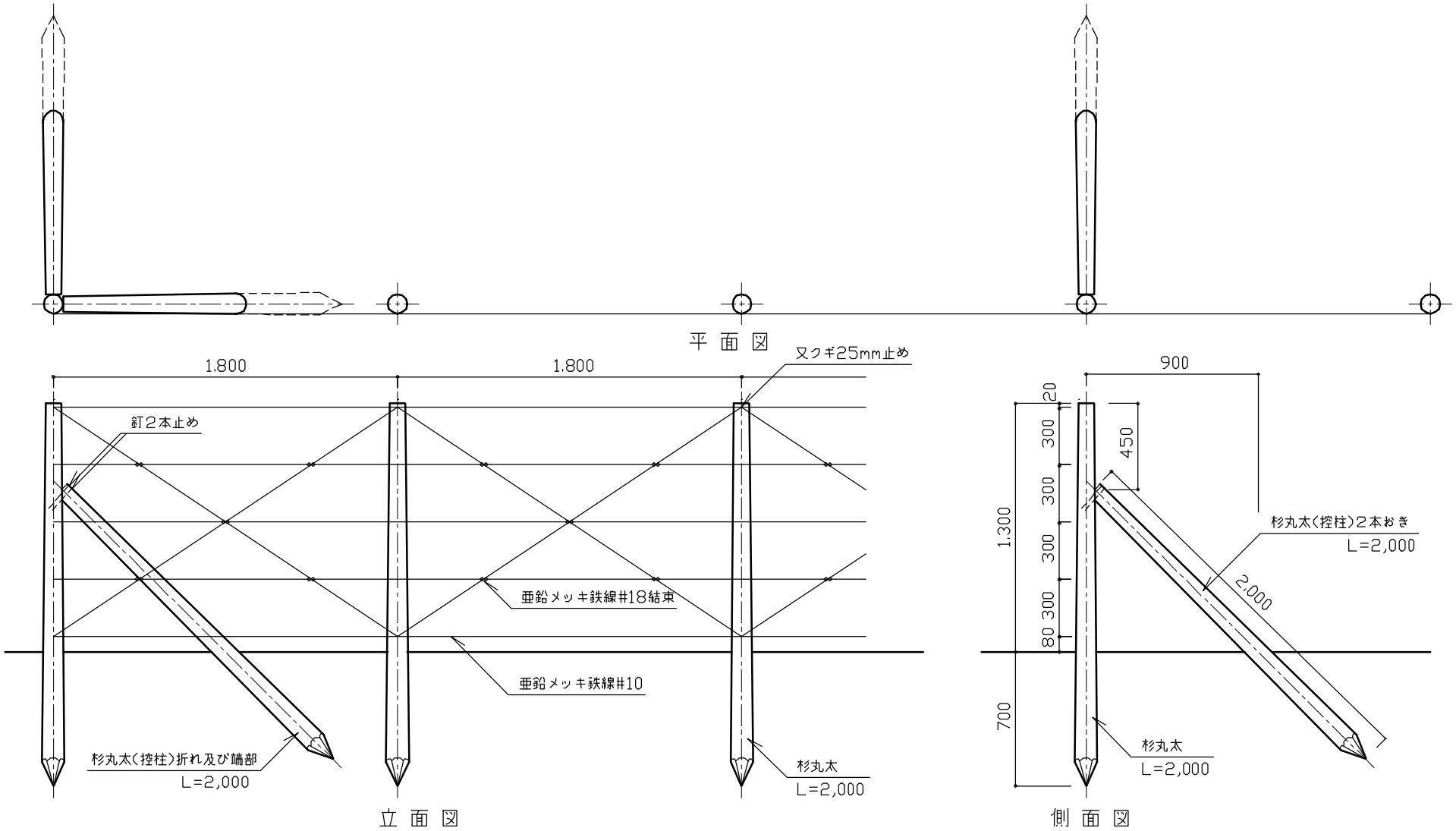


平 面 図

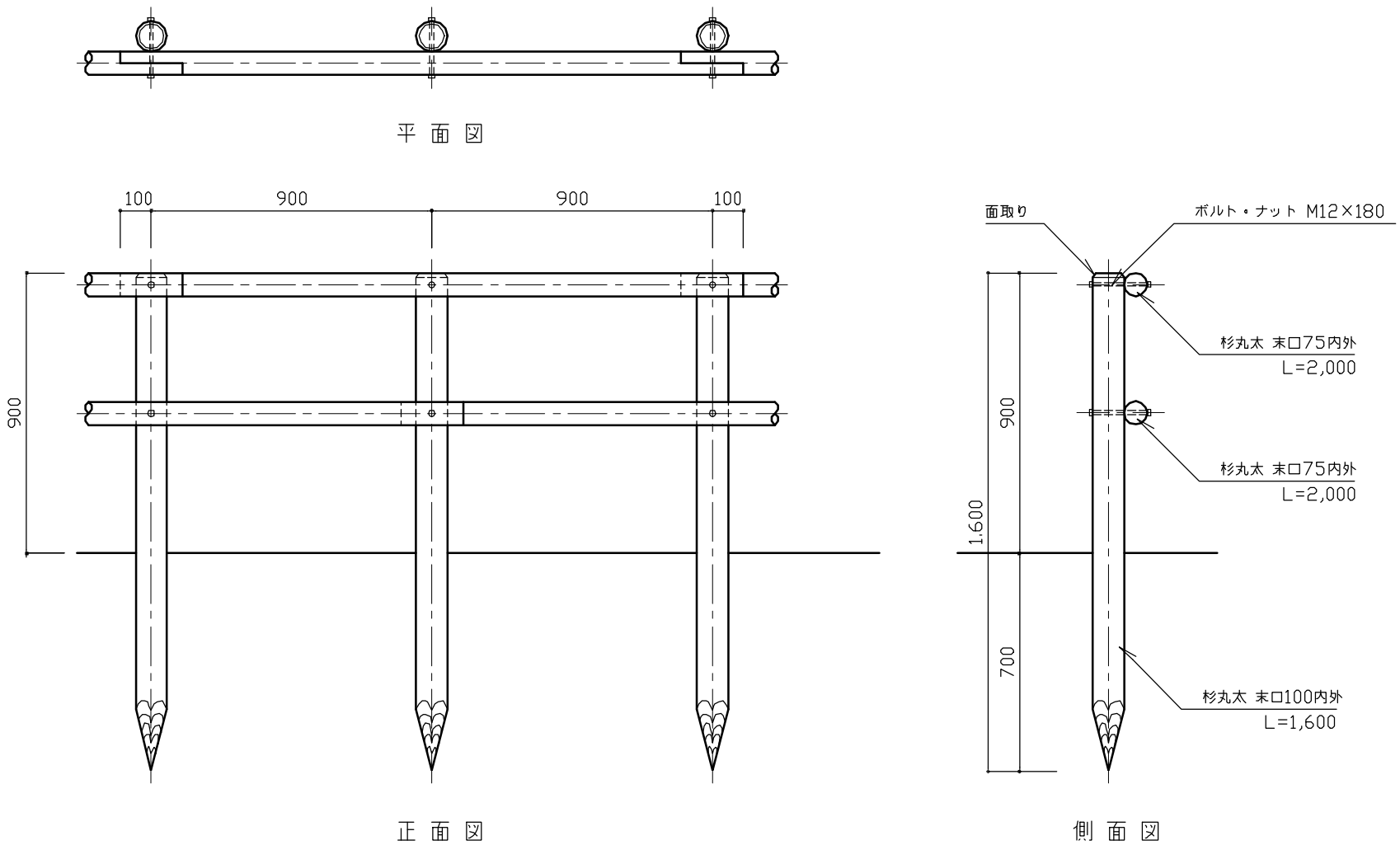


立 面 図

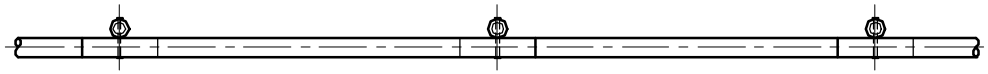
特記	◦杉丸太は末口7.5cm内外とする。 ◦杉丸太は、無処理品とする。 ◦柱2本に1本の割で ロープを1巻きさせること。 ◦ロープは、しゅろロープまたはビニロンロープとし、継ぎは、薩摩結び等とする。	ロープ柵		
		縮尺	1/20	RF
		日付	H15.4	



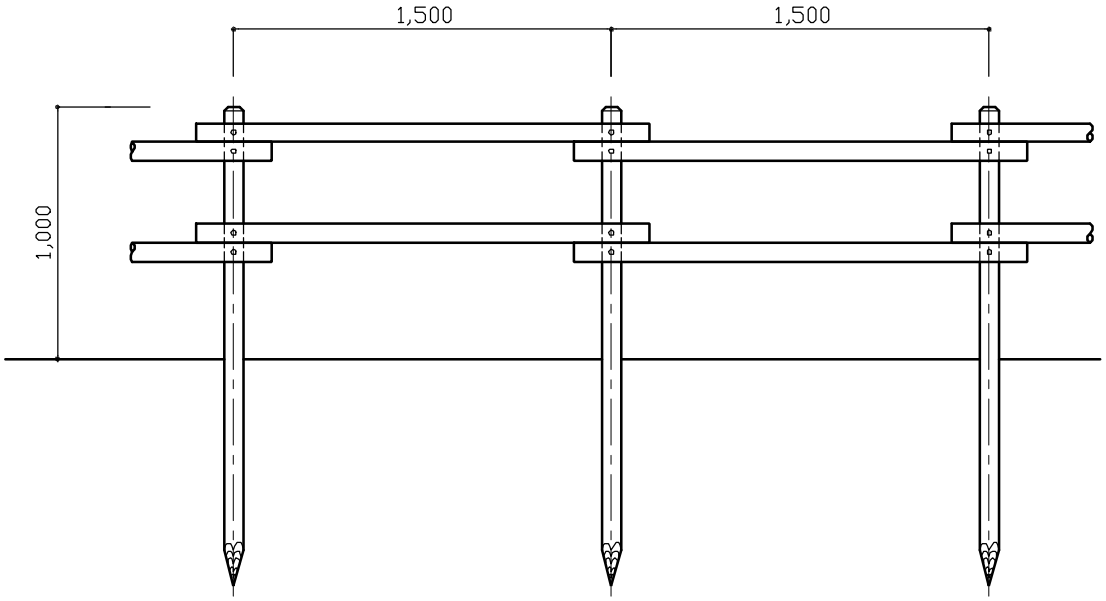
特記	・杉丸太は末口7.5cm内外とする。	番線柵		
		縮尺	1／30	WF
		日付	H14.4	



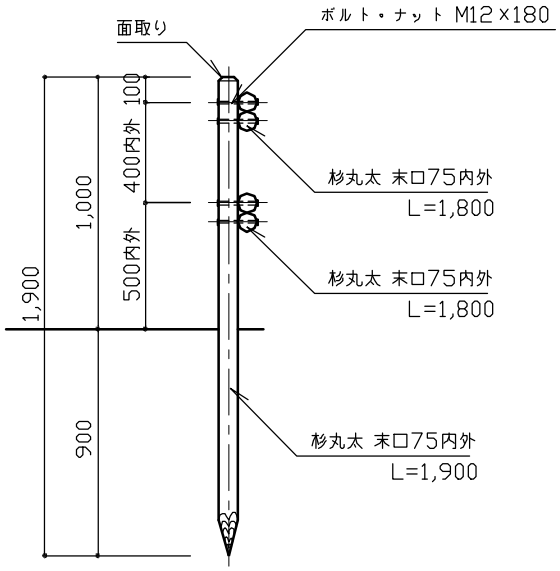
特記	・木部は、加工後、ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は木部防腐処理基準による。 ・やむを得ず現場加工を行った部分は、塗布用ＮＺＮ２回塗りとする。 ・柱の根入れ部分およびＧＬから１００mmまでの部分は、クレオソート２回塗りとする。 ・六角ボルト・ナットは、SUS304とする。	木柵		
		縮尺	1／20	MF-A
		日付	H14.4	



平 面 図

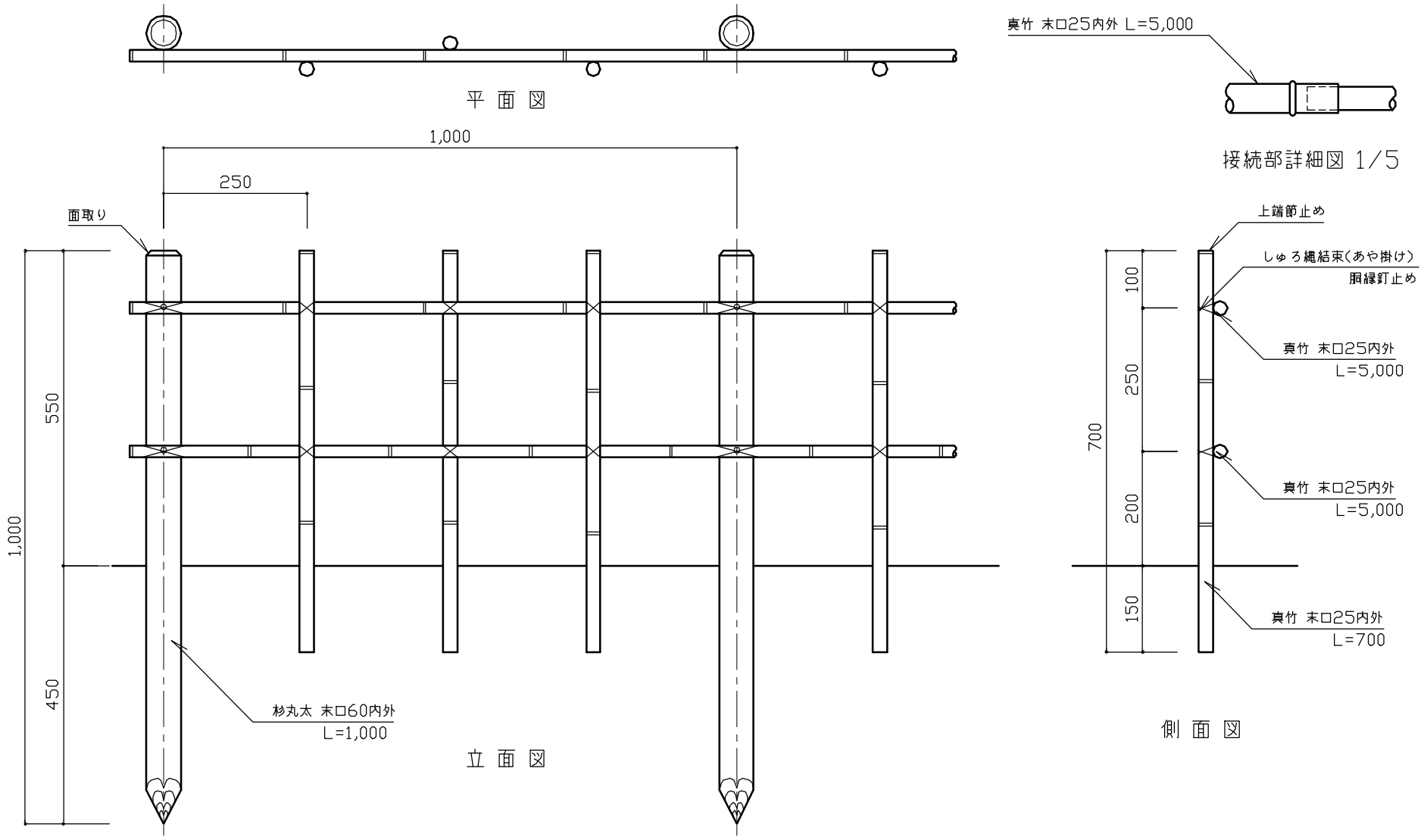


立 面 図



側 面 図

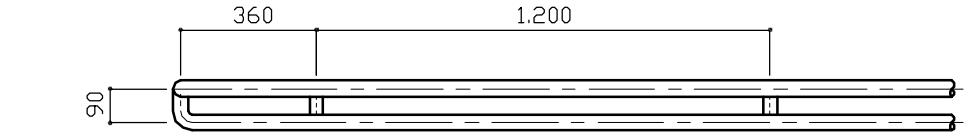
特記	・木部は、加工後、ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理とする。浸潤度および吸収量は木部防腐処理基準による。 ・やむを得ず現場加工を行った部分は、塗布用ＮＺＮ２回塗りとする。 ・柱の根入れ部分およびＧＬから１００mmまでの部分は、クレオソート２回塗りとする。 ・六角ボルト・ナットは、SUS304とする。	木 柵	
		縮尺 1／30	MF-B
		日付 H14.4	



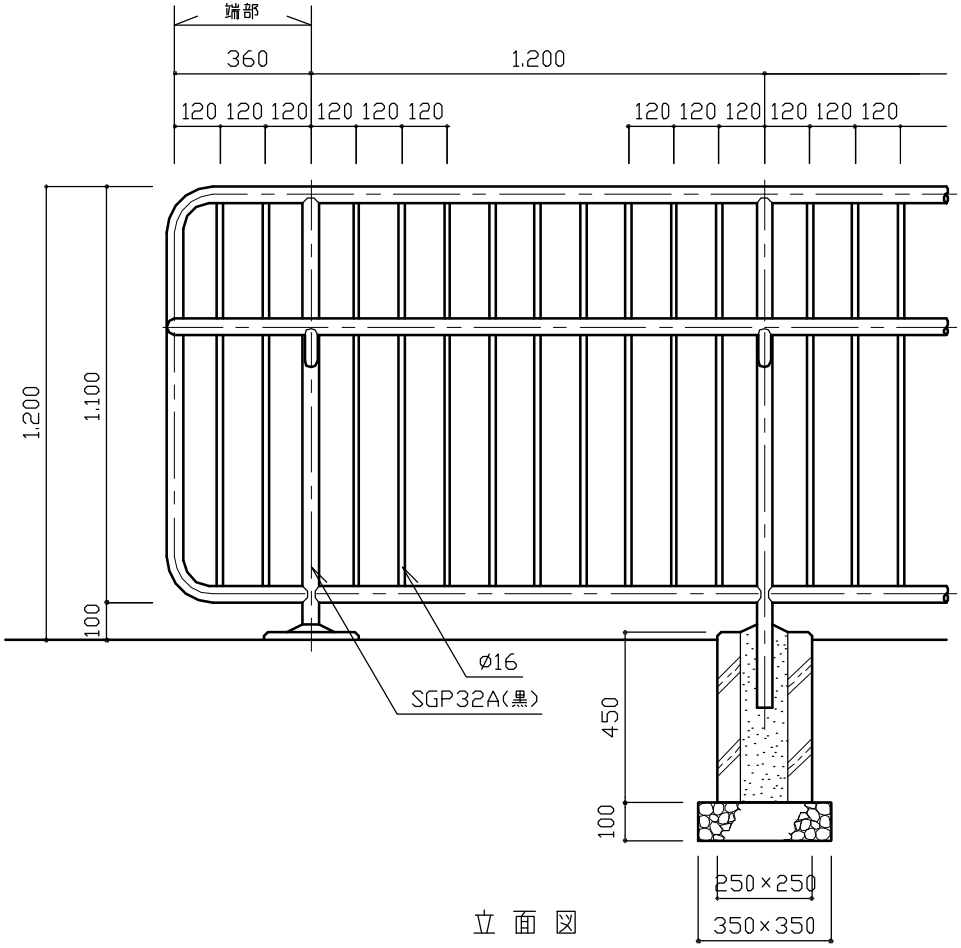
特記	・杉丸太は、無処理品とする。	竹 柵		
		縮尺	1/10	BF
		日付	H15.4	

S10 管理施設-2:参考図

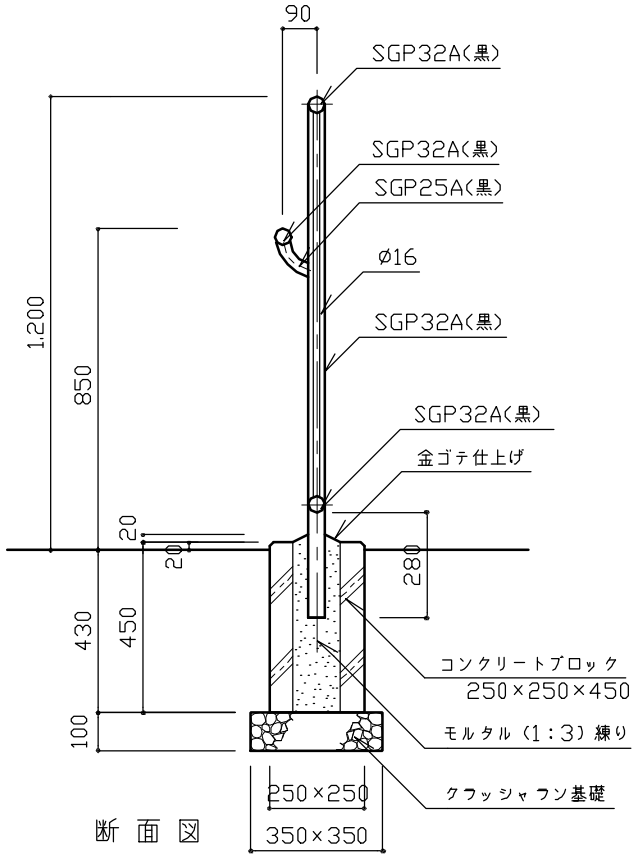
《柵・手すり》



平 面 図

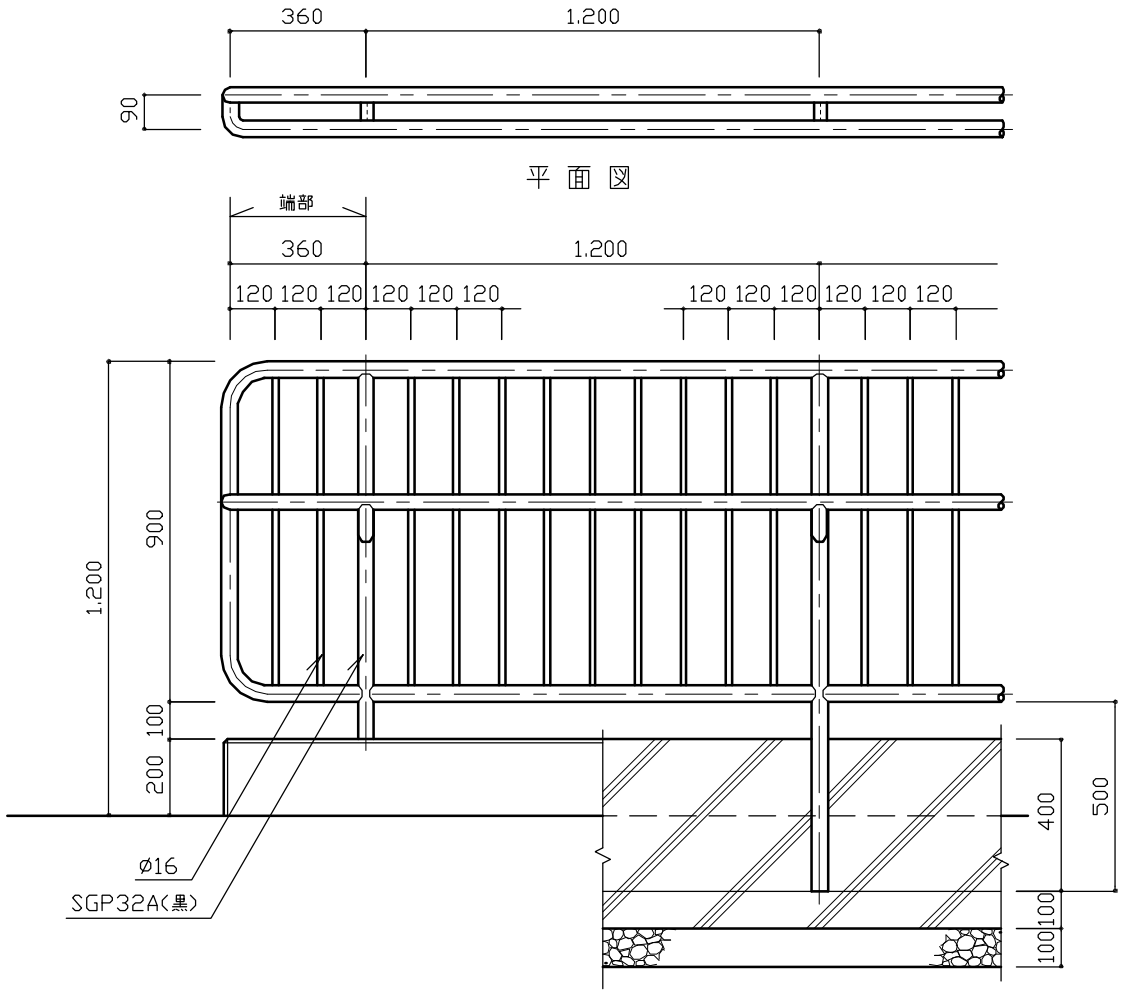


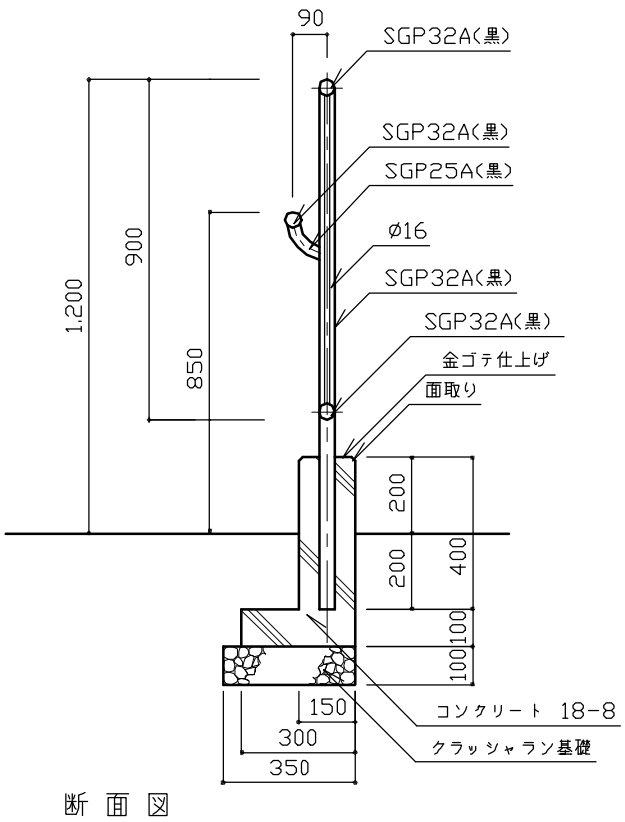
立 面 図



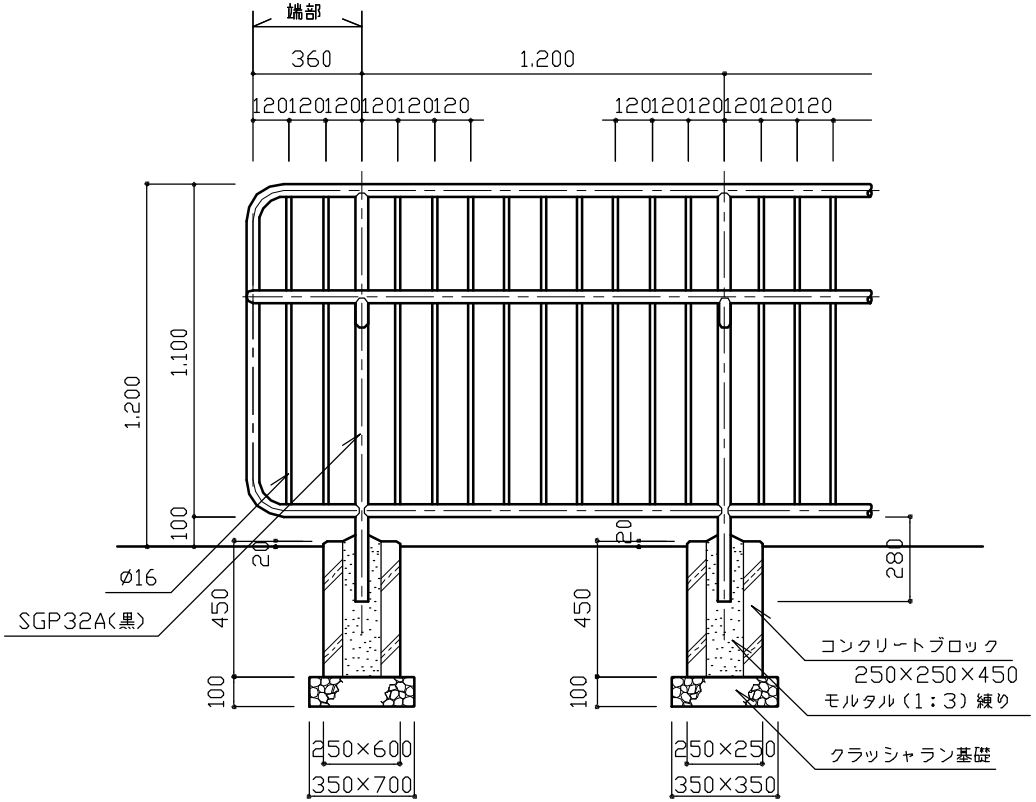
断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□130～150、下面　□100～110とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	縦格子柵（手すり付）[参考図]	
		縮尺 1／20	TFT-1S
		日付 H15.4	

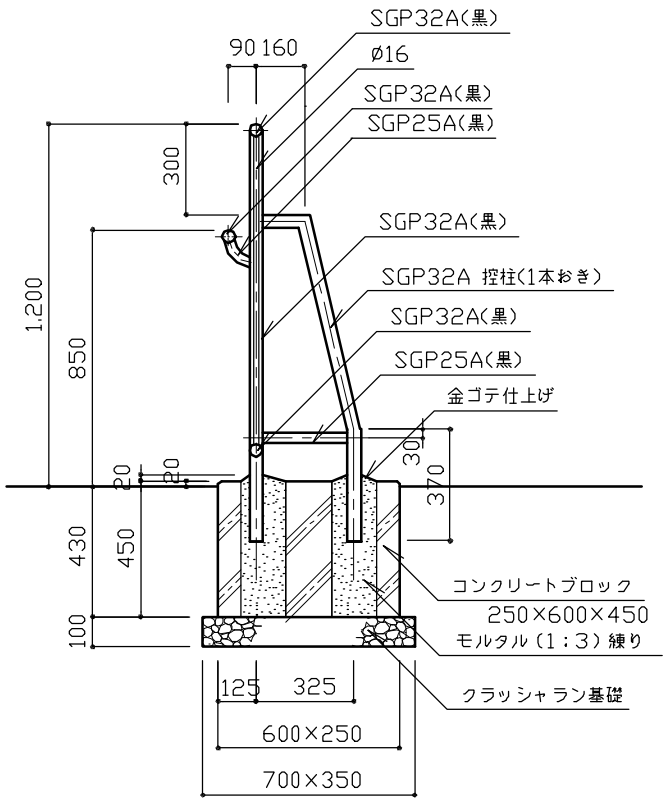




特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・布基礎には、@２０mを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚９mmとする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	縦格子柵（手すり）[参考図]		
		縮尺	1／20	TFT-1W
		日付	H15.4	

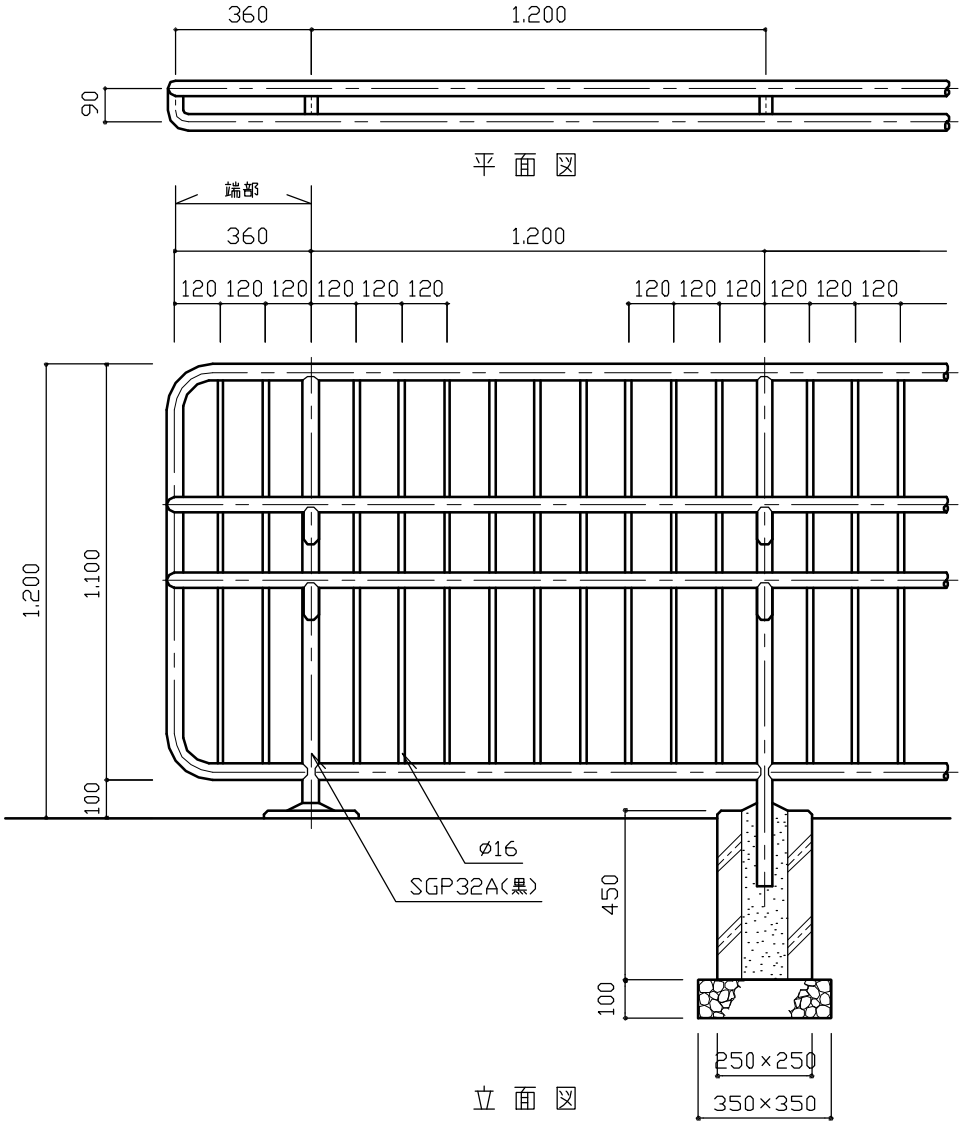


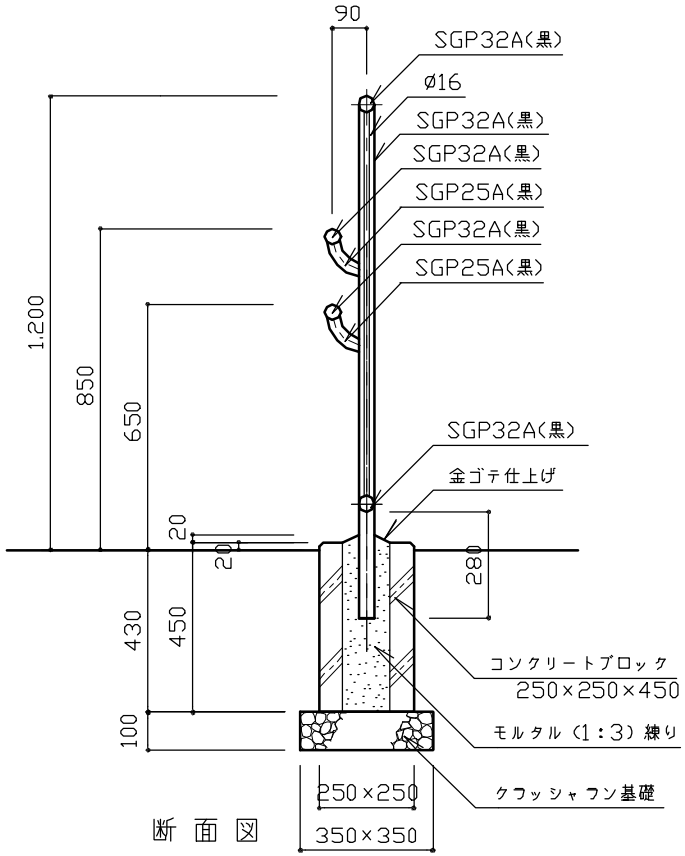
立 面 図



断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材(RC−40)とする。 ・コンクリートブロック(250×250×450)の中穴は、上面 □130~150、下面 □100~110とする。 ・コンクリートブロック(250×600×450)の中穴は、(主柱)上面 □150、下面 □100~120 および(控柱)上面 150×(200~300)、下面(100~120)×(150~270) とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は、電気亜鉛めっき(2種4級以上)とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー1回、合成樹脂調合ペイント(指定色)2回塗りとする。 ・端部は、控柱付きとする。	縦格子柵(手すり付)[参考図]	
		縮尺 1/25	TFT-1SS
		日付 H15.4	

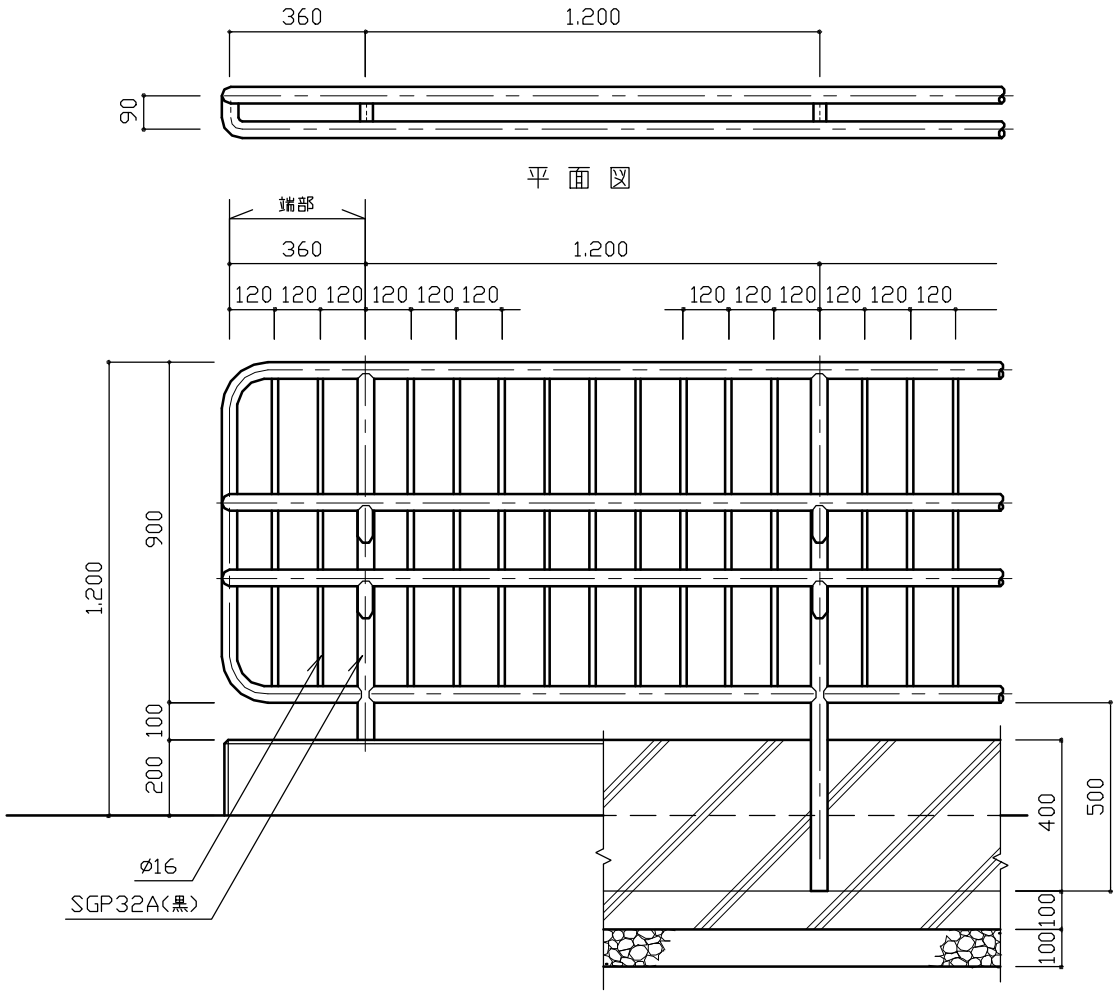


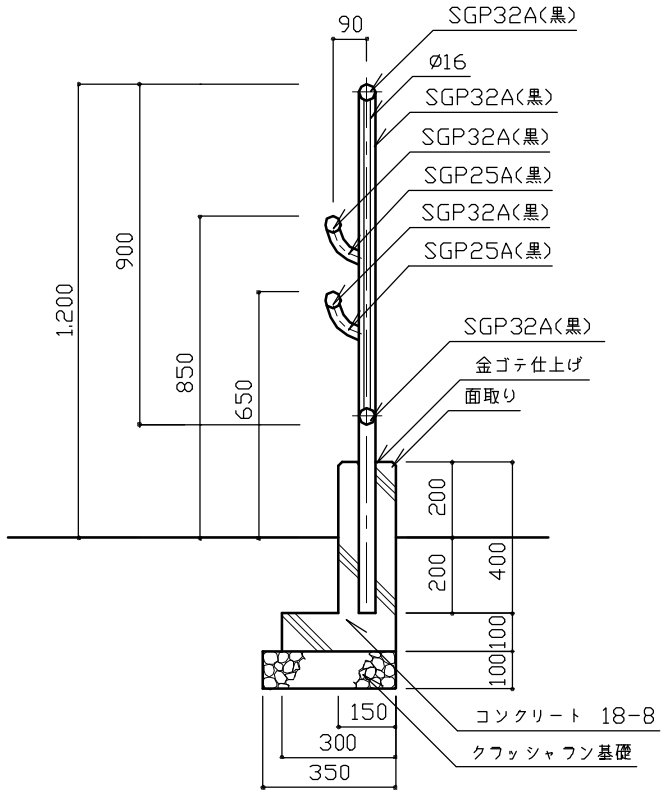


特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－４０）とする。 ・コンクリートブロックの中穴は、上面　□130～150、下面　□100～110とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	縮尺	1／20
		日付	H15.4

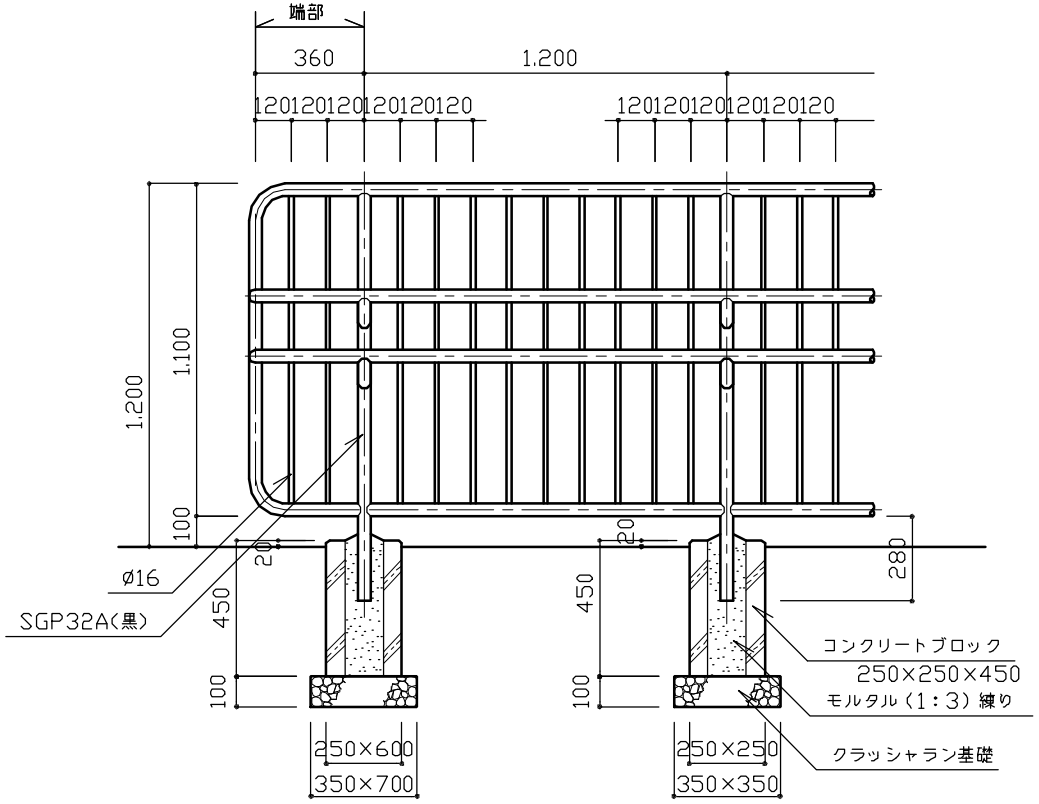
縦格子柵（手すり付）[参考図]

TFT-2S

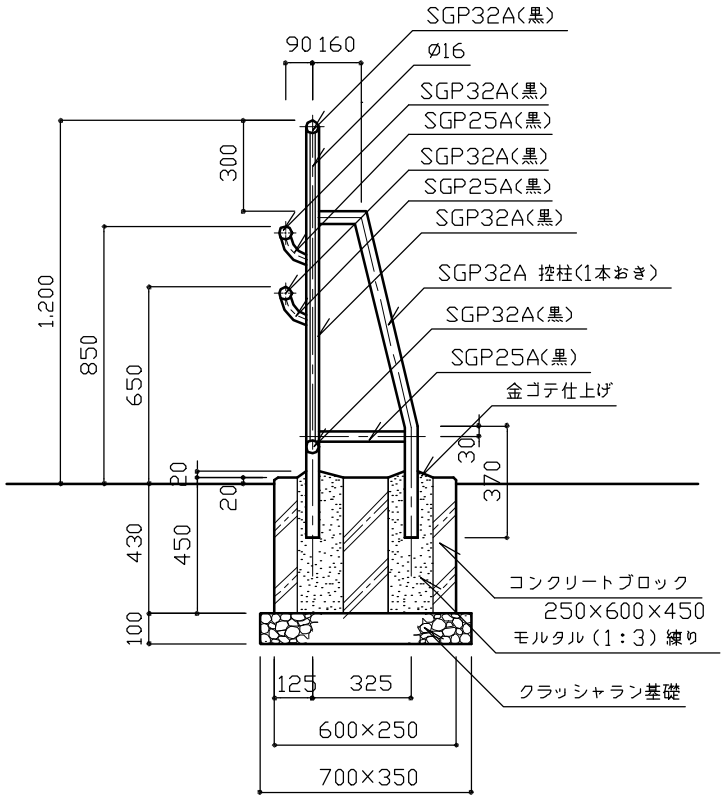




特記		縦格子柵(手すり付)[参考図]		
	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC−４０）とする。 ・コンクリートは、高炉Ｂとする。 ・布基礎には、@２０mを標準として伸縮目地を設ける。目地材は杉板（１等）厚9mmとする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。	縮尺	1／20	TFT-2W
		日付	H15.4	



立 面 図



断 面 図

特記	・クラッシャラン基礎は、再生材（RC－40）とする。 ・コンクリートブロック(250×250×450)の中穴は、上面　□130～150、下面　□100～110とする。 ・コンクリートブロック(250×600×450)の中穴は、（主柱）上面　□150、下面　□100～120 および（控柱）上面　150×（200～300）、下面（100～120）X（150～270）　とする。 ・鉄部の接合は、全周溶接とし、溶接部は亜鉛粉末塗料を塗布のうえ塗装すること。 ・鉄部は、電気亜鉛めっき（２種４級以上）とする。 ・鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえ、変性エポキシ樹脂プライマー１回、合成樹脂調合ペイント（指定色）２回塗りとする。 ・端部は、控柱付きとする。	縮尺	1／25
		日付	H15.4

縦格子柵（手すり付）[参考図]

TFT-2SS

Z　材　料　表

1. 擁壁

割石積　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			W1
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 55
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0. 45
胴込コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0. 94
割石	控350内外×高さ250×長300	個	33. 3
割石（笠石）	控350内外×高さ250×長300	個	33. 3
伸縮目地	杉板（1等）厚9mm	m^2	0. 12

2. 植栽

真竹三本支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			MD-3L
真竹	末口2.5cm　L=2.5m	本	30. 0
真竹	末口2.5cm　L=0.45m	本	30. 0

鳥居支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量		
			TS-SM	TS-S	TS-L
杉丸太	末口4.5cm L=1.5m 先端仕拵え	本	20. 0	20. 0	
杉丸太	末口4.5cm　L=0.5m	本	10. 0	10. 0	
杉丸太	末口6.0cm　L=2.0 先端仕拵え	本			20. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m	本			10. 0
真竹	末口2.5cm　L=2.0m	本	10. 0		

合掌支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			GS
杉丸太	末口6.0cm　L=2.4m 先端仕拵え	本	40. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m	本	80. 0

やぐら支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			YS
杉丸太	末口6.0cm　L=3.8m	本	40. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=1.8m	本	40. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m	本	40. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m　先端仕拵え	本	40. 0

杉丸太三本支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MS-AS	MS-AL
杉丸太	末口3.0cm　L=3.0m	本	30. 0	
杉丸太	末口4.5cm　L=3.0m	本		30. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m 先端仕拵え	本	30. 0	30. 0

杉丸太三本支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MS-BS	MS-BL
杉丸太	末口3.0cm　L=3.5m	本	30. 0	
杉丸太	末口4.5cm　L=3.5m	本		30. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m 先端仕拵え	本	30. 0	30. 0

杉丸太三本支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MS-CS	MS-CL
杉丸太	末口3.0cm　L=4.0m	本	30. 0	
杉丸太	末口4.5cm　L=4.0m	本		30. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m 先端仕拵え	本	30. 0	30. 0

杉丸太三本支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MS-DS	MS-DL
杉丸太	末口4.5cm　L=5.0m	本	30. 0	
杉丸太	末口6.0cm　L=5.0m	本		30. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m 先端仕拵え	本	30. 0	30. 0

杉丸太三本支柱　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MS-ES	MS-EL
杉丸太	末口6.0cm　L=5.5m	本	30. 0	
杉丸太	末口7.5cm　L=5.5m	本		30. 0
杉丸太	末口6.0cm　L=0.6m 先端仕拵え	本	30. 0	30. 0

張芝：目地張（目土あり）　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HS-KA	HS-NA
コウライシバ		㎡	78. 8	
ノシバ		㎡		78. 8
黒土		m^3	2. 4	2. 4

張芝：目地張（目土・床土あり）　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HS-KB	HS-NB
コウライシバ		㎡	78. 8	
ノシバ		㎡		78. 8
黒土		m^3	5. 4	5. 4

張芝：全面張（目土あり）　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			HS-KC	HS-NC
コウライシバ		㎡	100.0	
ノシバ		㎡		100.0
黒土		m^3	2.0	2.0

張芝：全面張（目土・床土あり）　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			HS-KD	HS-ND
コウライシバ		㎡	100.0	
ノシバ		㎡		100.0
黒土		m^3	5.0	5.0

張芝：全面張（芝串あり）　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			HS-KD	HS-ND
コウライシバ		㎡	100.0	
ノシバ		㎡		100.0
芝串		本	1984.1	1984.1

3. 給水設備

メーターきょう　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			MK-A	MK-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.19	0.23
メーターきょう	13㎜用	基	10.0	
メーターきょう	20・25㎜用	基		10.0

止水栓きょう　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			SK-A	SK-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.03	0.05
止水栓きょう	H300	基	10.0	
止水栓きょう	H600	基		10.0

止水栓ボックス　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			SK-C	SK-D
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.10	0.10
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.10	0.10
硬質塩化ビニル管	VU200	本	0.59	1.3
鋳鉄蓋及び受枠		組	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	0.76	0.76

散水栓ボックス　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			SB-A	SB-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.10	0.28
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.02	0.23
散水栓ボックス		基	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	0.21	1.6

4. 排水設備

L型側溝　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			LS-25	LS-25S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.48	0.30
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.43	0.35
伸縮目地	れき青系	m^2	0.02	0.02
モルタル	均し用　1:3空練り	m^3	0.02	
モルタル	目地用　1:2練り	m^3	0.001	
コンクリートブロック	100X150X600	本	16.5	
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	2.5	2.5

L型側溝　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			LS-25K
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.53
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.43
伸縮目地	れき青系	m^2	0.02
モルタル	均し用　1:3空練り	m^3	0.02
モルタル	目地用　1:2練り	m^3	0.001
コンクリートブロック	100X150X600	本	16.5
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	2.5

U型側溝:砕石基礎　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			US-24A	US-30A
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.46	0.52
モルタル	均し用　1:3空練り	m^3	0.16	0.18
モルタル	目地用　1:2練り	m^3	0.01	0.01
U型ブロック		個	16.4	16.4

U型側溝:コンクリート基礎　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			US-24B	US-30B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.52	0.58
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.21	0.24
モルタル	均し用　1:3空練り	m^3	0.07	0.08
モルタル	目地用　1:2練り	m^3	0.01	0.01
U型ブロック		個	16.4	16.4

横断溝　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			OD-25	OD-30
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.54	0.62
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.22	0.26
モルタル	均し用　1:3空練り	m^3	0.06	0.08
モルタル	目地用　1:2練り	m^3	0.01	0.01
横断溝ブロック		個	9.9	9.9

U型側溝コンクリート蓋　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			FCU-24A～30B
コンクリート蓋		枚	16.7

U型側溝グレーチング蓋　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			FGU-N24A～H30B
グレーチング蓋		枚	10.0
鎖	φ6	m	5.0
シャックル	φ6	個	20.0

横断溝グレーチング蓋　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			FGO-N25～H30
グレーチング蓋		枚	10.0
鎖	φ6	m	5.0
シャックル	φ6	個	20.0

L型雨水桝　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			LMM-N65	LMM-N85
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.28	0.28
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.01	0.01

L型雨水桝　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			LMM-H65	LMM-H85
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.28	0.28
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.01	0.01

L型雨水桝　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			LMK-N	LMK-H
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.46	0.46
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚		10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.01	0.01

グレーチング蓋雨水桝：内径45cm（並目蓋）　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			1GM-N60	1GM-N75	1GM-N90
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.53	0.53	0.53
底版		個	10.0	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0	20.0
上部側塊		個	10.0	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.01	0.01	0.01

グレーチング蓋雨水桝：内径60cm（並目蓋）　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			2GM-N60	2GM-N80
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.77	0.77
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.02	0.02

グレーチング蓋雨水桝：内径45cm（ノンスリップ蓋）　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			1GM-H60	1GM-H75	1GM-H90
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.53	0.53	0.53
底版		個	10.0	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0	20.0
上部側塊		個	10.0	10.0	10.0
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚	10.0	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.01	0.01	0.01

グレーチング蓋雨水桝：内径60cm（並目蓋）　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			2GM-N100	2GM-N120
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.77	0.77
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個	20.0	30.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.02	0.02

グレーチング蓋雨水桝：内径60cm（ノンスリップ蓋）　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			2GM-H60	2GM-H80
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.77	0.77
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1：2練り	m^3	0.02	0.02

グレーチング蓋雨水桝：内径60cm（ノンスリップ蓋）　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			2GM-H100	2GM-H120
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.77	0.77
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個	20.0	30.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	1：2練り	m^3	0.02	0.02

U型雨水桝：内径45cm（並目蓋）　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			UM-N24A	UM-N24B
クラッシャラン	RC-40	m^3	1.0	1.1
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	目地用　1：2練り	m^3	0.02	0.02
コンクリート	18-8　高炉B	m^3		0.23
モルタル	均し用　1：3空練り	m^3	0.18	0.08
側溝ブロック		個	20.0	20.0

U型雨水桝：内径45cm（ノンスリップ蓋）　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			UM-H24A	UM-H24B
クラッシャラン	RC-40	m^3	1.0	1.1
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	目地用　1：2練り	m^3	0.02	0.02
コンクリート	18-8　高炉B	m^3		0.23
モルタル	均し用　1：3空練り	m^3	0.18	0.08
側溝ブロック		個	20.0	20.0

U型雨水桝：内径60cm（並目蓋）　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			UM-N30A	UM-N30B
クラッシャラン	RC-40	m^3	1.2	1.2
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	並目	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	目地用　1：2練り	m^3	0.02	0.02
コンクリート	18-8　高炉B	m^3		0.26
モルタル	均し用　1：3空練り	m^3	0.19	0.09
側溝ブロック		個	20.0	20.0

U型雨水桝：内径60cm（ノンスリップ蓋）　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			UM-H30A	UM-H30B
クラッシャラン	RC-40	m^3	1.2	1.2
底版		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	ノンスリップ	枚	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
モルタル	目地用　1：2練り	m^3	0.02	0.02
コンクリート	18-8　高炉B	m^3		0.26
モルタル	均し用　1：3空練り	m^3	0.19	0.09
側溝ブロック		個	20.0	20.0

横断溝雨水桝：ＯＤ－２５用　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			UMO-25
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.54
下部側塊		個	10.0
上部側塊		個	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08
モルタル	1：3空練り	m^3	0.02

横断溝雨水桝：ＯＤ－３０用　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			UMO-30
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.61
下部側塊		個	10.0
上部側塊		個	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.09
モルタル	1：3空練り	m^3	0.03

雨水桝（1種）　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			1RM-75	1RM-90
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.31	0.31
底塊		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0

雨水桝（2種）　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			2RM－80	2RM－100	2RM-120
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49	0.49
底塊		個	10.0	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0	20.0
上部側塊		個	10.0	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0	10.0

雨水桝（3種）　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			3RM-90	3RM-110
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.64	0.64
底塊		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊A		個		10.0
中部側塊B		個		
上部側塊		個	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0

雨水桝（3種）　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			3RM-130	3RM-150
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.64	0.64
底塊		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊A		個		10.0
中部側塊B		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0

汚水桝（1種）　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			1OM-75	1OM-90
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.31	0.31
底塊		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.04	0.04
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	0.62	0.62

汚水桝（2種）　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			2OM－80	2OM－100	2OM-120
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49	0.49
底塊		個	10.0	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0	10.0
中部側塊		個		10.0	20.0
上部側塊		個	10.0	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.09	0.09	0.09
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	0.85	0.85	0.85

汚水桝（3種）　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			3OM-90	3OM-110
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.64	0.64
底塊		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊A		個		10.0
中部側塊B		個		
上部側塊		個	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.09	0.09
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	1.0	1.0

汚水桝（3種）　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			3OM-130	3OM-150
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.64	0.64
底塊		個	10.0	10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
中部側塊A		個		10.0
中部側塊B		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
蓋及び縁塊		組	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.09	0.09
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	1.0	1.0

組立マンホール（1種）：基礎・インバート部　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量
			1MH-K
クラッシャラン	RC-40	m^3	2.3
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.68
モルタル	1:2練り	m^3	0.15
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	7.7

組立マンホール（2種）：基礎・インバート部　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量
			2MH-K
クラッシャラン	RC-40	m^3	3.8
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	1.9
モルタル	1:2練り	m^3	0.26
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	13.1

汚水桝ドロップ管（直管部）：本管径100～200　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			FPO-A100	FPO-A150	FPO-A200
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	1.1	1.4	1.7
硬質塩化ビニル管		本	2.5	2.5	2.5

マンホールドロップ管（直管部）：本管径100～200　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			FPM-A100	FPM-A150	FPM-A200
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	1.1	1.4	1.7
硬質塩化ビニル管		本	2.5	2.5	2.5

汚水桝ドロップ管（曲管部）：本管径１００～２００　　10ヶ所当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			FPO-A100	FPO-A150	FPO-A200
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.18	0.23	0.28
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	0.40	0.61	0.84
90°大曲エルボ	(LL)	本	10.0	10.0	10.0
90°大曲Y管	(LT)	本	10.0	10.0	10.0
硬質塩化ビニル管		本	0.29		

マンホールドロップ管（曲管部）：本管径１００～２００　　10ヶ所当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			FPM-A100	FPM-A150	FPM-A200
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.36	0.45	0.55
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	0.75	1.1	1.4
90°大曲エルボ	(LL)	本	10.0	10.0	10.0
90°大曲Y管	(LT)	本	10.0	10.0	10.0
硬質塩化ビニル管		本	0.43	0.33	

汚水桝・マンホール副管（直管部）：本管径２５０～３５０　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			FPO-B200	FPM-B200
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	1.7	1.7
硬質塩化ビニル管		本	2.5	2.5

汚水桝・マンホール副管（曲管部）：本管径２５０～３５０　　10ヶ所当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			FPO-B200	FPM-B200
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.28	0.55
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	0.95	1.5
90°大曲エルボ	φ200 (LL)	本	10.0	10.0
塩ビ副管用90°支管	φ200 (VS)	本	10.0	10.0
副管用カラー	φ200 (DS)	本	10.0	10.0

硬質塩化ビニル管　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			VU-100	VU-150	VU-200
砂または改良土		m^3	1.8	2.2	2.5
硬質塩化ビニル管		本	2.5	2.5	2.5

硬質塩化ビニル管　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			VU-250	VU-300	VU-350
砂または改良土		m^3	2.9	3.1	3.5
硬質塩化ビニル管		本	2.5	2.5	2.5

5. 電気設備

引込柱[ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ]　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			ＥＰ－Ｃ
コンクリートポール	Ｈ＝7m 末口14cm	本	10. 0
根かせ	Ｂ型 Ｕ付	組	10. 0
足場ボルト	コンクリート柱用	本	60. 0
引込がいし	ＤＶ平型	個	10. 0
自在バンド	TBT-206	個	10 0
銘板	ステンレス板 0.5t	枚	10. 0
ステンレスバンド	SFT-109	本	20. 0

引込柱[鋼管ﾎﾟｰﾙ]：メーター分電盤用　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			ＥＰ－ＫＢＨ	ＥＰ－ＫＢＳ
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 49	0. 49
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	3. 6	3. 6
鋼管ポール		本	10. 0	10. 0
引込がいし	ＤＶ平型	個	10. 0	10. 0
IV配線	5.5□(接地線)	m	26. 5	26. 5
接地棒	10φ×1.5m	本	10. 0	10. 0
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	3. 4	3. 4

引込柱[鋼管ﾎﾟｰﾙ]：定額分電盤用　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			ＥＰ－ＫＡＨ	ＥＰ－ＫＡＳ
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 49	0. 49
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	2. 9	2. 9
鋼管ポール		本	10. 0	10. 0
引込がいし	ＤＶ平型	個	10. 0	10. 0
IV配線	5.5□(接地線)	m	26. 0	26. 0
接地棒	10φ×1.5m	本	10. 0	10. 0
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	3. 5	3. 5

定額分電盤（1回路）　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			ＢＴ－ＡＴ
定額分電盤	1回路	ヶ所	10. 0
ＰＥライニング鋼管	屋外露出 径28	m	80. 6
エントランスキャップ	径28	個	10. 0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10. 0
ＰＥライニング鋼管	地中 ノーマル 径28	個	10. 0
異種管接続材	ＦＥＰ-30用	組	10. 0
ＳＶケーブル	5.5□-2C（電源側）	m	52. 3
IV配線	5.5□（接地線）	m	24. 5
自在バンド	TBT-206	個	80. 0
接地棒	10φ×1.5m	本	10. 0
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	0. 08

定額分電盤（2回路）　　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			BT－BT
定額分電盤	2回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径36	m	16.8
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径36	個	10.0
SVケーブル	5.5□-2C（電源側）	m	52.3
IV配線	5.5□（接地線）	m	24.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08

メーター分電盤（2回路）　　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			BM－AT
メーター分電盤	2回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径42	m	10.5
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径42	個	10.0
SVケーブル	8.0□-2C（電源側）	m	66.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	20.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08

定額分電盤（1回路）［鋼管ポール用］　　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			BT－CT
定額分電盤	鋼管ﾎﾟｰﾙ用 1回路	基	10.0
SVケーブル	5.5□-2C（電源側）	m	43.0
IV配線	5.5□（接地線）	m	2.0
エントランスキャップ	径28	個	10.0

メーター分電盤（3回路）　　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			BM－BT
メーター分電盤	3回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径42	m	10.5
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径42	個	10.0
SVケーブル	8.0□-2C（電源側）	m	66.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	20.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08

メーター分電盤（4回路）　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量 BM－CT
メーター分電盤	4回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径54	m	10.1
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径54	個	10.0
SVケーブル	8.0□-2C（電源側）	m	66.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	20.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08

トイレ用メーター分電盤（2回路）　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量 TBM－AT
トイレ用メーター分電盤	2回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径42	m	10.5
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径42	個	10.0
SVケーブル	8.0□-3C（電源側）	m	66.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	20.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08

メーター分電盤（2回路）［鋼管ポール用］　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量 BM－DT
メーター分電盤	鋼管ポール用 2回路	基	10.0
SVケーブル	8.0□-2C（電源側）	m	52.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	2.0
エントランスキャップ	径28	個	10.0

トイレ用メーター分電盤（3回路）　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量 TBM－BT
トイレ用メーター分電盤	3回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径42	m	10.5
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径42	個	10.0
SVケーブル	8.0□-3C（電源側）	m	66.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	20.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08

トイレ用メーター分電盤（4回路）　10ヶ所当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			TBM－CT
トイレ用メーター分電盤	4回路	基	10.0
PEライニング鋼管	屋外露出 径28	m	63.5
PEライニング鋼管	屋外露出 径54	m	10.1
エントランスキャップ	径28	個	10.0
安全増フレキシブル	径28 L=0.5m	本	10.0
PEライニング鋼管	地中 ノーマル 径54	個	10.0
SVケーブル	8.0□-3C（電源側）	m	66.5
IV配線	5.5□（接地線）	m	20.5
自在バンド	TBT-206	個	80.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	0.08

照明灯（丸型）：200W　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HL-A200H	HL-A200S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	3.6	3.7
灯具	200W用 丸型	組	10.0	10.0
水銀ランプ	HF－200W	本	10.0	10.0
照明ポール	200W用 丸型	本	10.0	10.0
安定器	200W用	個	10.0	10.0
カットアウトスイッチ	250V．30A	個	10.0	10.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	3.4	3.4
IV配線	5.5□	m	24.5	24.5
VCT配線	2□-3C	m	47.0	47.0

照明灯（丸型）：100W　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HL-A100H	HL-A100S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	2.9	3.0
灯具	100W用 丸型	組	10.0	10.0
水銀ランプ	HF－100W	本	10.0	10.0
照明ポール	100W用 丸型	本	10.0	10.0
安定器	100W用	個	10.0	10.0
カットアウトスイッチ	250V．30A	個	10.0	10.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	3.5	3.5
IV配線	5.5□	m	22.5	22.5
VCT配線	2□-3C	m	47.0	47.0

照明灯（角型）：100W　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HL-B100H	HL-B100S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	3.2	3.3
灯具	100W用 角型	組	10.0	10.0
水銀ランプ	HF－100W	本	10.0	10.0
照明ポール	100W用	本	10.0	10.0
安定器	100W用	個	10.0	10.0
カットアウトスイッチ	250V．30A	個	10.0	10.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	3.5	3.5
IV配線	5.5□	m	23.5	23.5
VCT配線	2□-3C	m	47.0	47.0

照明灯（角型）：200W　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HL-B200H	HL-B200S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	3.6	3.7
灯具	200W用　角型	組	10.0	10.0
水銀ランプ	HF－200W	本	10.0	10.0
照明ポール	200W用	本	10.0	10.0
安定器	200W用	個	10.0	10.0
カットアウトスイッチ	250V．30A	個	10.0	10.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	3.4	3.4
IV配線	5.5□	m	24.5	24.5
VCT配線	2□-3C	m	47.0	47.0

照明灯（アーム型）：200W　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HL-C200H	HL-C200S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	3.6	3.7
灯具	200W用	組	10.0	10.0
水銀ランプ	HF－200W	本	10.0	10.0
照明ポール	200W用	本	10.0	10.0
安定器	200W用	個	10.0	10.0
カットアウトスイッチ	250V．30A	個	10.0	10.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	3.5	3.4
IV配線	5.5□	m	24.5	24.5
VCT配線	2□-3C	m	48.3	48.3

照明灯（アーム型）：100W　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HL-C100H	HL-C100S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.49	0.49
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	3.6	3.7
灯具	100W用	組	10.0	10.0
水銀ランプ	HF－100W	本	10.0	10.0
照明ポール	100W用	本	10.0	10.0
安定器	100W用	個	10.0	10.0
カットアウトスイッチ	250V．30A	個	10.0	10.0
接地棒	10φ×1.5m	本	10.0	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	3.5	3.5
IV配線	5.5□	m	24.5	24.5
VCT配線	2□-3C	m	48.3	48.3

ハンドホール　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			HH－45	HH－60
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.45	0.67
ハンドホール		基	10.0	10.0

6. 園路広場

ダスト舗装　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			DH
スクリーニングス	2.5～0	m^3	4. 0

開粒度アスファルト舗装　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			KAH-A	KAH-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	10. 0	15. 0
加熱アスファルト混合物	開粒度	t	8. 0	10. 0

密粒度アスファルト舗装　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MAH-A	MAH-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	10. 0	15. 0
加熱アスファルト混合物	密粒度	t	6. 6	8. 8
プライムコート	アスファルト乳剤	l	126. 0	126. 0

コンクリート舗装　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			CH-A	CH-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	10. 0	15. 0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	7. 0	10. 0
溶接金網	φ6×150×150	㎡		100. 0
伸縮目地	杉板 (1等)　厚9	㎡	1. 4	2. 0
はけ引き仕上げ		㎡	100. 0	100. 0

洗い出し平板舗装　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			FH-A	FH-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	10. 0	15. 0
モルタル	1:3 空練り	m^3	3. 0	3. 0
洗い出し平板	300×300×60	枚	1089. 2	1089. 2
目地砂	細目	m^3	0. 12	0. 12

ハマレンガ舗装:角型　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			YH-KA	YH-KB
クラッシャラン	RC-40	m^3	10. 0	15. 0
敷砂		m^3	3. 0	3. 0
ハマレンガ	200×100×60	枚	4782. 6	4782. 6
目地砂	細目	m^3	0. 26	0. 26

石張り舗装:乱形石張り　　100㎡当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			IH-RA	IH-RB
クラッシャラン	RC-40	m^3	10. 0	15. 0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	7. 0	10. 0
溶接金網	φ6×150×150	㎡		100. 0
伸縮目地	杉板 (1等)　厚9	㎡	1. 4	2. 0
モルタル	均し用　1:3 空練り	m^3	4. 0	4. 0
モルタル	目地用　1:2 練り	m^3	0. 09	0. 09
平石	鉄平石　厚10～30内外	㎡	100. 0	100. 0

石張り舗装：方形石張り　　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			IH-HA	IH-HB
クラッシャラン	RC-40	m^3	10.0	15.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	7.0	10.0
溶接金網	φ6×150×150	㎡		100.0
伸縮目地	杉板（1等）　厚9	㎡	1.4	2.0
モルタル	均し用　1：3 空練り	m^3	4.0	4.0
モルタル	目地用　1：2 練り	m^3	0.12	0.12
平石	鉄平石　厚10～30内外	㎡	100.0	100.0

インターロッキング舗装　　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			LH-A	LH-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	10.0	15.0
敷砂		m^3	3.0	3.0
目地砂	細目	m^3	0.26	0.35
インターロッキングブロック	厚60	㎡	100.0	
インターロッキングブロック	厚80	㎡		100.0

洗い出し舗装　　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			JH-A	JH-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	10.0	15.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	7.0	10.0
溶接金網	φ6×150×150	㎡		100.0
伸縮目地	杉板（1等）　厚9	㎡	3.9	5.2
セメント		kg	1644.4	1644.4
種石		kg	3333.3	3333.3
凝結遅延剤		kg	30.0	30.0

視覚障害者誘導用ブロック舗装　　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			YB-FA	YB-FB
クラッシャラン	RC-40	m^3	10.0	15.0
モルタル	1：3 空練り	m^3	3.0	3.0
視覚障害者誘導用ブロック	300×300×60	枚	1089.2	1089.2
目地砂	細目	m^3	0.12	0.12

視覚障害者誘導用インターロッキング舗装　　100㎡当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			YB-LA	YB-LB
クラッシャラン	RC-40	m^3	10.0	15.0
敷砂		m^3	3.0	3.0
視覚障害者誘導用インターロッキングブロック	目地込み300×300×60	枚	1111.1	
視覚障害者誘導用インターロッキングブロック	目地込み300×300×80	枚		1111.1
目地砂	細目	m^3	0.12	0.16

コンクリート縁石（地先）：砕石基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			TE-A1	TE-A2	TE-A3
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.13	0.15	0.18
モルタル	均し用1：3 空練り	m^3	0.04	0.05	0.06
コンクリートブロック	100×100×600	本	16.5		
コンクリートブロック	120×120×600	本		16.5	
コンクリートブロック	150×150×600	本			16.5
モルタル	目地用1：2 練り	m^3	0.0008	0.001	0.001

コンクリート縁石（地先）：コンクリート基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			TE-B1	TE-B2	TE-B3
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.18	0.20	0.23
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.08	0.09	0.11
モルタル	均し用1:3 空練り	m^3	0.02	0.02	0.02
コンクリートブロック	100×100×600	本	16.5		
コンクリートブロック	120×120×600	本		16.5	
コンクリートブロック	150×150×600	本			16.5
モルタル	目地用1:2 練り	m^3	0.0008	0.001	0.001

コンクリート縁石（公園）　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			KE-B	KE-BK
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.26	0.26
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.10	0.10
モルタル	均し用　1:3 空練り	m^3	0.03	0.03
コンクリートブロック	100×150×600	本	16.5	16.5
モルタル	目地用　1:2 練り	m^3	0.001	0.001

コンクリート縁石（歩車道）：砕石基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			HE-A1	HE-A2
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.17	0.23
モルタル	均し用　1:3 空練り	m^3	0.06	0.08
コンクリートブロック	100/110×155×600	本	16.5	
コンクリートブロック	150/170×200×600	本		16.5
モルタル	目地用　1:2 練り	m^3	0.001	0.002

コンクリート縁石（歩車道）：コンクリート基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			HE-B1	HE-B2
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.27	0.33
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.10	0.14
モルタル	均し用1:3 空練り	m^3	0.03	0.03
コンクリートブロック	100/110×150×600	本	16.5	
コンクリートブロック	150/170×200×600	本		16.5
コンクリートブロック	180/205×250×600	本		
モルタル	目地用1:2 練り	m^3	0.001	0.002

ハマレンガ縁石　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			YE-T	YE-Y
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.26	0.36
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.10	0.16
モルタル	均し用　1:3 空練り	m^3	0.03	0.04
ハマレンガ	200×100×60	個	47.6	90.9
モルタル	目地用　1:2 練り	m^3	0.002	0.01

丸太階段　　10段当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			KD-MA	KD-MB
丸太階段		組	10.0	10.0

擬木階段　　10段当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			KD-G100	KD-G150	KD-G200
擬木階段		組	10.0	10.0	10.0

7. 遊戯施設

低鉄棒（2段・3段）　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			LTE-2	LTE-3
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.75	1.0
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	1.9	2.5
低鉄棒（2段）	LTE-2	基	10.0	
低鉄棒（3段）	LTE-3	基		10.0

ジャングルジム　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			JA
クラッシャラン	RC-40	m^3	8.1
コンクリートブロック	300×300×450	個	40.0
モルタル	1:3練り	m^3	0.37
ジャングルジム	JA	基	10.0

8. サービス施設

ベンチ　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			TB-AF
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.36
コンクリートブロック	500×200×210	個	20.0
ベンチ	TB-AF	基	10.0

ベンチ　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			TB-AB	TB-AH
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.42	0.42
コンクリートブロック	600×200×210	個	20.0	20.0
ベンチ	TB-AB	基	10.0	
ベンチ	TB-AH	基		10.0

ベンチ　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			TB-BF
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.36
コンクリートブロック	500×200×210	個	20.0
ベンチ	TB-BF	基	10.0

ベンチ　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			TB-BB	TB-BH
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.45	0.45
コンクリートブロック	650×200×210	個	20.0	20.0
ベンチ	TB-BB	基	10.0	
ベンチ	TB-BH	基		10.0

スツール　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			ST-A	ST-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.20	0.20
コンクリートブロック	350×350×250	個	10.0	
スツール	ST-A	基	10.0	
スツール	ST-B	基		10.0

野外卓　　10組当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			YT
クラッシャラン	RC-40	m^3	1.2
コンクリートブロック	400×300×210	個	40.0
コンクリートブロック	630×200×210	個	20.0
テーブル	YT	基	10.0
ベンチ	YT	基	20.0

水飲み　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MN-A	MN-B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.55	0.68
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.34	
均しコンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.12	0.18
水飲み	MN-A	基	10.0	
水飲み	MN-B	基		10.0
下部側塊		個	10.0	10.0
上部側塊		個	10.0	10.0
縁塊		個	10.0	10.0
グレーチング蓋	細目　450×440×25	枚	10.0	10.0
モルタル	1:2練り	m^3	0.01	0.01

制札板　　10基当り

名　称	規　　格	単位	数　量
			SE
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.50
コンクリートブロック	400×400×600	個	20.0
モルタル	1:3練り	m^3	0.32
制札板	SE	基	10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	0.65

9. 管理施設-1《車止め・門柱》

車止め：差込式　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			KU－AS	KU－BS	KU－CS
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.25	0.35	0.52
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	0.65	0.77	0.99
車止め	KU－AS	基	10.0		
車止め	KU－BS	基		10.0	
車止め	KU－CS	基			10.0
シリンダー錠		個	10.0	10.0	20.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^3	1.1	1.9	2.3

門柱：両側　　10組当り

名　称	規　格	単位	数　量
			MO－A
クラッシャラン	RC-40	m^3	1.2
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	5.5
園名板	黒みかげ	枚	10.0
モルタル	園名板据付用 1:2 練り	m^3	0.01
モルタル金ゴテ仕上げ	ミゾ部分 1:3練り	m^2	1.1
洗い出し仕上げ	t=10	m^2	27.7
下地モルタル	1:2 練り	m^2	27.7

車止め：固定式　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			KU－AK	KU－BK	KU－CK
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.25	0.32	0.48
コンクリートブロック	400×400×450	個	10.0		
コンクリートブロック	300×300×300	個		20.0	30.0
モルタル	1:3 練り	m^3	0.07	0.11	0.16
車止め	KU－AK	基	10.0		
車止め	KU－BK	基		10.0	
車止め	KU－CK	基			10.0

門柱：片側　　10基当り

名　称	規　格	単位	数　量
			MO－B
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.55
コンクリート	18-8 高炉B	m^3	2.3
園名板	黒みかげ	枚	10.0
モルタル	園名板据付用 1:2 練り	m^3	0.01
洗い出し仕上げ	t=10	m^2	15.5
下地モルタル	1:2 練り	m^2	15.5

１０. 管理施設-２《柵・手すり》

パイプ柵：独立基礎　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			ＰＦ－１Ｓ	ＰＦ－２Ｓ
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 05	0. 05
コンクリートブロック	200×200×450	個	5. 6	
コンクリートブロック	200×200×500	個		5. 6
モルタル	1:3 練り	m^3	0. 02	0. 02
パイプ柵（1段）	ＰＦ－１Ｓ	m	10. 0	
パイプ柵（2段）	ＰＦ－２Ｓ	m		10. 0
鉄部塗装	素地ごしらえ共	㎡	1. 8	3. 1
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	0. 06	0. 06

パイプ柵：布基礎　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			ＰＦ－１Ｗ	ＰＦ－２Ｗ
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 35	0. 35
コンクリート	18-8　高炉Ｂ	m^3	0. 75	0. 75
パイプ柵（1段）	ＰＦ－１Ｗ	m	10. 0	
パイプ柵（2段）	ＰＦ－２Ｗ	m		10. 0
鉄部塗装	素地ごしらえ共	㎡	1. 7	3. 0
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	1. 5	1. 5
伸縮目地	杉板（1等）　厚9	㎡	0. 04	0. 04

縦格子柵：独立基礎　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量		
			ＴＦ－90Ｓ	ＴＦ－120Ｓ	ＴＦ－120ＳＳ
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 07	0. 07	0. 10
コンクリートブロック	250×250×450	個	5. 6		
コンクリートブロック	250×250×500	個		5. 6	2. 8
コンクリートブロック	250×600×500	個			2. 8
モルタル	1:3 練り	m^3	0. 04	0. 04	0. 10
縦格子柵	ＴＦ－９０Ｓ	m	10. 0		
縦格子柵	ＴＦ－１２０Ｓ	m		10. 0	
縦格子柵	ＴＦ－１２０ＳＳ	m			10. 0
鉄部塗装	素地ごしらえ共	㎡	6. 1	7. 4	7. 9
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	0. 10	0. 10	0. 23

縦格子柵：布基礎　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			ＴＦ－90Ｗ	ＴＦ－120Ｗ
クラッシャラン	RC-40	m^3	0. 35	0. 35
コンクリート	18-8　高炉Ｂ	m^3	0. 90	0. 90
縦格子柵	ＴＦ－９０Ｗ	m	10. 0	
縦格子柵	ＴＦ－１２０Ｗ	m		10. 0
鉄部塗装	素地ごしらえ共	㎡	5. 2	6. 5
コンクリート金ゴテ仕上げ		㎡	1. 5	1. 5
伸縮目地	杉板（1等）　厚9	㎡	0. 05	0. 05

手すり：独立基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			TR－1S	TR－2S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.07	0.07
コンクリートブロック	250×250×450	個	5.6	5.6
モルタル	1：3 練り	m^3	0.04	0.04
手すり（1段）	TR－1S	m	10.0	
手すり（2段）	TR－2S	m		10.0

手すり：布基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			TR－1W	TR－2W
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.35	0.35
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	0.90	0.90
手すり（1段）	TR－1W	m	10.0	
手すり（2段）	TR－2W	m		10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	1.5	1.5
伸縮目地	杉板（1等）　厚9	m^2	0.05	0.05

メッシュフェンス：独立基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			ME－120S	ME－150S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.05	0.05
コンクリートブロック	200×200×450	個	5.0	5.0
モルタル	1：3練り	m^3	0.02	0.02
メッシュフェンス	ME-120S	m	10.0	
メッシュフェンス	ME-150S	m		10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	0.05	0.05

メッシュフェンス：独立基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	
			ME－180S	ME－200S
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.05	0.06
コンクリートブロック	200×200×450	個	5.0	
コンクリートブロック	250×250×450	個		5.0
モルタル	1：3練り	m^3	0.02	0.03
メッシュフェンス	ME-180S	m	10.0	
メッシュフェンス	ME-200S	m		10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	0.05	0.09

メッシュフェンス：布基礎　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量		
			ME-120W	ME-150W	ME-180W
クラッシャラン	RC-40	m^3	0.25	0.25	0.25
コンクリート	18-8　高炉B	m^3	1.0	1.0	1.0
メッシュフェンス	ME-120W	m	10.0		
メッシュフェンス	ME-150W	m		10.0	
メッシュフェンス	ME-180W	m			10.0
コンクリート金ゴテ仕上げ		m^2	2.0	2.0	2.0
伸縮目地	杉板（1等）　厚9	m^2	0.05	0.05	0.05

コンクリート柵　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
			CF
PC柱	100×86×1800	本	20.0
PC板	100×40×1500	枚	20.0
ボルト		本	60.0
ナット		個	60.0

ロープ柵　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			RF
杉丸太	末口7.5cm L＝1,000 先端仕拵え	本	6.7
ロープ	しゅろロープ又はビニロンロープ φ12	m	10.8

番線柵　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			WF
杉丸太	末口7.5cm L＝2,000 先端仕拵え	本	7.4
亜鉛メッキ鉄線	＃10	m	74.0

木柵　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数　量	
			MF－A	MF－B
杉丸太	末口7.5cm L＝2,000	本	11.1	
杉丸太	末口10cm L＝1,600 先端仕拵え	本	11.1	
杉丸太	末口7.5cm L＝1,800	本		13.3
杉丸太	末口7.5cm L＝1,900 先端仕拵え	本		6.7
ボルト		本	22.2	26.7
ナット		個	22.2	26.7
クレオソート塗り		㎡	2.4	1.5

竹柵　　10m当り

名　称	規　　格	単位	数 量
			BF
杉丸太	末口6.0cm L＝1,000 先端仕拵え	本	10.0
真竹	末口2.5cm L＝700	本	30.0
真竹	末口2.5cm L＝5,000	本	4.0

木部防腐処理基準

１．ＡＡＣ・ＮＺＮの浸潤度および吸収量の基準（ＪＡＳ）

薬剤	浸潤度の基準	吸収量の基準
ＡＡＣ	辺材部分80％以上、材面から深さ10㎜までの心材部分80％以上	ＤＤＡＣとして9.0kg/m^{3}以上
ＮＺＮ		油剤は亜鉛として3.2kg/m^{3}以上、乳剤は亜鉛として4.0kg/m^{3}以上

２．クレオソートの注入量の基準（ＪＩＳ）

薬剤	注入量の基準
クレオソート	120kg/m^{3}以上

注．対象樹種は、スギ・ヒノキ・マツとする。

「公園緑地施設標準図集　平成１４年４月」

使 用 の 手 引

平成１５年 ４月　修正

横 浜 市 緑 政 局

本資料は、公園緑地施設標準図集に掲載されている施設の使用上の留意点や、構造根拠をまとめたものです。公園緑地施設標準図集を用いて設計をする際の参考としてください。なお、本資料の内容はあくまでも標準的な現場条件におけるものであり、現場条件によっては、別途検討を行ってください。

【掲載施設】

Ｓ１　擁　壁 …… 1
プレキャストＬ型擁壁 …… 1

2　植栽／Ｓ2　植栽：参考図 …… 2
張　　芝 …… 2
植穴寸法図 …… 2

3　給水設備 …… 2
止水栓きょう …… 2
止水栓ボックス …… 2
散水栓ボックス …… 2
給水管 …… 2

4　排水設備 …… 2
Ｌ型側溝 …… 2
Ｕ型側溝 …… 3
横断溝 …… 3
Ｕ型側溝コンクリート蓋 …… 3
Ｕ型側溝グレーチング蓋 …… 3
Ｌ型雨水桝 …… 3
Ｕ型雨水桝 …… 4
横断溝雨水桝 …… 4
組立てマンホール …… 4
硬質塩化ビニル管 …… 4

Ｓ4　排水設備：参考図 …… 5
マンホール …… 5
硬質塩化ビニル管 …… 5

5　電気設備 …… 6
定額分電盤 …… 6
ﾒｰﾀｰ分電盤 …… 6
ﾄｲﾚ用ﾒｰﾀｰ分電盤 …… 6
ハンドホール …… 6

6　園路広場 …… 7
ダスト舗装 …… 7
開粒度アスファルト舗装 …… 7
密粒度アスファルト舗装 …… 7
洗い出し平板舗装 …… 7
ハマレンガ舗装 …… 7
石張り舗装 …… 7
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装 …… 7
洗い出し舗装 …… 7
視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ舗装 …… 8
視覚障害者誘導用ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装 …… 8
コンクリート縁石 …… 8
丸太階段 …… 8
擬木階段 …… 8

Ｓ6　園路広場：参考図 …… 8
レンガ舗装 …… 8
タイル舗装 …… 8
小舗石舗装 …… 8

7　遊戯施設／Ｓ7　遊戯施設：参考図 …… 9
砂　場 …… 9
ブランコ …… 10
すべり台 …… 10

8　サービス施設 …… 11
ベンチ …… 11
野外卓 …… 11
水飲み …… 11

9　管理施設-1 《車止め・門柱》 …… 12
車止め …… 12
門　柱 …… 12

10　管理施設-2《柵・手すり》／Ｓ10　管理施設-2《柵・手すり》 …… 13
パイプ柵 …… 13
縦格子柵 …… 13
手すり …… 14
メッシュフェンス …… 14
コンクリート柵 …… 14
ロープ柵 …… 14
番線柵 …… 15
縦格子柵（手すり付） …… 15

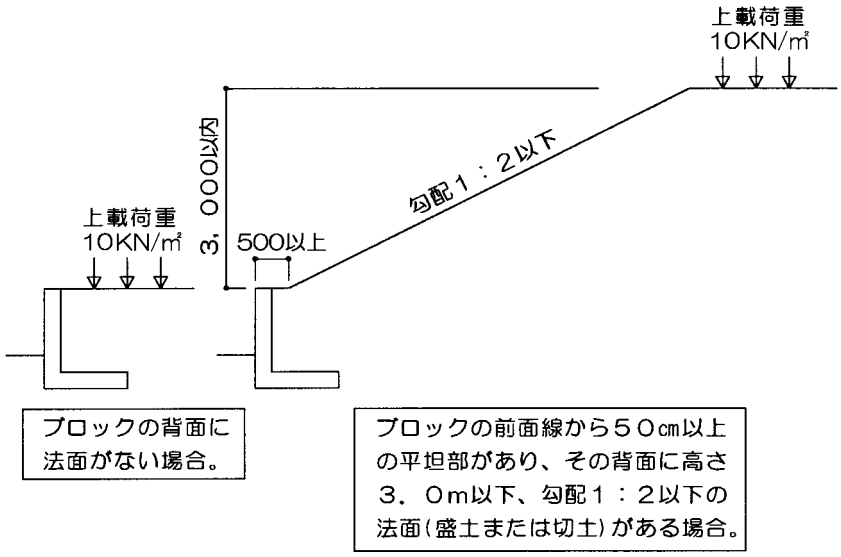
【参考資料】

1　木部防腐処理及び塗装について …… 17
（1）施設別防腐処理仕様 …… 17
（2）防腐処理仕様選定の考え方 …… 18
（3）ベンチ類の木部塗装仕様 …… 19

2　鉄部塗装について …… 20
（1）施設別鉄部塗装仕様 …… 20
（2）各メーカーの塗装仕様 …… 20
（3）鉄部塗装の耐久性について …… 21
（4）工場塗装の留意点 …… 21

3　遊具の安全について …… 21

Ｓ１　擁　壁：参考図

名　称	記　号	内　　容
プレキャスト Ｌ型擁壁	ＬＷ－５０Ａ ＬＷ－７５Ａ ＬＷ－１００Ａ （水抜きあり） ＬＷ－５０Ｂ ＬＷ－７５Ｂ ＬＷ－１００Ｂ （水板きなし）	・プレキャストＬ型擁壁の設計条件は、次のとおりである。 ブロックの根入れ長は、２５cm以上 上載荷重は１０ＫＮ／㎡ 背面土の内部摩擦角は２５° 背面土の粘着力は考慮しない 土の単位体積重量は１８Ｎ／m^3 ・擁壁と上載荷重および背面土の関係は下図による。  ・擁壁設置地盤の条件は次のとおりである。 ＬＷ－５０Ａ・Ｂ　地耐力（長期）　３９ＫＮ／㎡以上 ＬＷ－７５Ａ・Ｂ　地耐力（長期）　５１ＫＮ／㎡以上 ＬＷ－１００Ａ・Ｂ　地耐力（長期）　６２ＫＮ／㎡以上 ・施工段階においては、上記の設計条件に耐えうる構造であれば、プレキャストＬ型擁壁の寸法に違いがあっても、同等品とみなす。 ・プレキャストＬ型擁壁の標準は、水抜きありタイプとする。水抜きなしタイプは、背面への地下水流入や雨水浸透がほとんどない場合に使用できる。これ以外の場所で水抜きなしタイプを使用する場合は、背面に暗渠排水管を設置する。 ・ブロックの表面を直接化粧するつつき仕上げ・小叩き仕上げ等は、鉄筋のかぶりが不足するため行えない。また、石張り仕上げなど、重量のあるものを擁壁に張り付けて使用する場合は、別途構造検討を行う必要がある。 ・フェンスをブロックの天端または直近に設置する場合は、別途構造計算を行うこと。 ・角部に使用する場合の条件は次のとおりである。 ９０°未満の角部には使用できない。 ９０°以上１７８°以下（２°きざみで対応可能。）の出隅は、コーナー部用を使用する。 すみ切り部用は、道路局の指導によるすみ切り長さ3mの場所に使用する。

２　植　栽　／　Ｓ２　植　栽：参考図

名　称	記　号	内　　容
共通事項	―	・樹木の支柱はクレオートの刺激臭などに配慮し、無処理品を使用する。 ただし、特に耐久性を要する場合は鋼製品等を使用する。
張　芝 （コウライシバ）	ＨＳ－ＫＡ ＨＳ－ＫＢ ＨＳ－ＫＣ ＨＳ－ＫＤ ＨＳ－ＫＥ	・ＨＳ－ＫＥは、竹串が長期間残存してけがの原因となることがあるため、使用する場所の条件を考慮すること。
張　芝 （ノシバ）	ＨＳ－ＮＡ ＨＳ－ＮＢ ＨＳ－ＮＣ ＨＳ－ＮＤ ＨＳ－ＮＥ	・ＨＳ－ＮＥは、竹串が長期間残存してけがの原因となることがあるため、使用する場所の条件を考慮すること。
植穴寸法図	低　木 高　木	・発生残土を減量するため、現場発生土の使用を標準とし、必要に応じて土壌改良又は客土を行う。

３　給水設備

名　称	記　号	内　　容
止水栓きょう	ＳＫ－Ａ ＳＫ－Ｂ	・メーター上流側に止水栓を設置する場合に使用する。
止水栓ボックス	ＳＫ－Ｃ ＳＫ－Ｄ	・メーター下流側に止水栓を設置する場合に使用する。
散水栓ボックス	ＳＢ－Ａ ＳＢ－Ｂ	・ＳＢ－Ｂは、植栽地や土系舗装内で、横ずれを防止するために使用する。
給　水　管	ＳＧＰ－ＶＢ ＨＩＶＰ	・ＳＧＰ－ＶＢは、メーター上流側の他、止水栓の前後等に使用する。 ・ＨＩＶＰは、メーター下流側に使用する。

４　排水設備

名　称	記　号	内　　容
共通事項	－	・構造物の耐荷重について 構造物の耐荷重は、Ｔ－６（総重量６ｔ、４ｔトラックの輪荷重に相当）としている。ただし、個別に記載があるものを除く。
L型側溝	ＬＳ－２５ ＬＳ－２５Ｓ ＬＳ－２５Ｋ	・本ブロック製品は、直線用、入隅用（内Ｒ・面取側の半径 0.75m以上）、出隅用（外Ｒ・面取側の半径 0.75m以上）である。
U型側溝	ＵＳ－２４Ａ ＵＳ－３０Ａ ＵＳ－２４Ｂ ＵＳ－３０Ｂ	・U型ブロックは側溝としての使用を原則とする。側圧に弱いため、管理車両が通行する園路に横断溝として使用する場合は、補強コンクリートを打つか、園路をコンクリート舗装等とする。 ・横断溝として使用する場合、U型ブロックを園路の縦断勾配に合せて斜めに据付けることはできない点に注意する。
横断溝	ＯＤ－２５ ＯＤ－３０	・本ブロック製品の耐荷重はＴ－２０であり、特に荷重のかかる条件で使用する。 ・歩行者・自転車道に設ける場合は、横断溝ではなく、U型側溝を使用する。（横断溝はU型側溝に比べて非常に高価である。） ・ブロックの加工・切断が容易でないため、定尺で使用する。 ・横断溝ブロックを園路の縦断勾配に合せて斜めに据付けることはできない点に注意する。 ・本ブロック製品には排水勾配がつけられていないので、必要に応じてモルタルにより調整する。
U型側溝 コンクリート蓋	ＦＣＵ－２４Ａ ＦＣＵ－３０Ａ ＦＣＵ－２４Ｂ ＦＣＵ－３０Ｂ	・コンクリート蓋は側溝としての使用を原則とし、衝撃荷重がかかる箇所には使用しないこと。 ・Ａタイプは歩行者・自転車道に使用できる。 ・Ｂタイプは管理車道に使用できる。
U型側溝 グレーチング蓋	FGU-N24A ～C FGU-N30A ～C FGU-H24A ～C FGU-H30A ～C	・Ｔ－２は、総重量２ｔ以下（乗用車・軽トラック程度）の管理車両しか通行しない園路で使用する。 ・グレーチング蓋の「並目」は、車椅子・歩行者の通行に支障となる場合があるので、使用場所に注意すること。 ・本グレーチング蓋は、縦断方向での使用を前提として構造が決定されているので、横断部に使用する場合は、構造を確認すること。
L型雨水桝	ＬＭＭ－Ｎ６５ ＬＭＭ－Ｈ６５ ＬＭＭ－Ｎ８５ ＬＭＭ－Ｈ８５ ＬＭＫ－Ｎ ＬＭＫ－Ｈ	・本グレーチング蓋の耐荷重はＴ－１４である。

<table>
<tr><td>U型雨水桝</td><td>UM－N２４A
UM－N２４B
UM－H２４A
UM－H２４B
UM－N３０A
UM－N３０B
UM－H３０A
UM－H３０B</td><td>・側溝部の蓋は含まれていない。</td></tr>
<tr><td>横断溝雨水桝</td><td>UMO－２５
UMO－３０</td><td>・本ブロック製品の耐荷重はＴ－２０である。
・本雨水桝を使用して排水設備計画確認申請を行う場合には、個別に土木事務所と事前協議を行うこと。
・グレーチング蓋は含まれていない。</td></tr>
<tr><td>組立て
マンホール
（１種）
（２種）</td><td>１MH－K
２MH－K</td><td>・ブロック製品の耐荷重はＴ－２５である。
・ブロック製品の形状は参考であり、日本下水道協会プレキャスト製品Ⅱ類の認定品であればよい。図面上の（　）内の数値は、代表的製品による参考寸法であり、材料等の数量算出に使用している。</td></tr>
<tr><td>硬質塩化
ビニル管</td><td>VU－１００
～３５０</td><td>・Ｔ－６の荷重で、埋戻土が粘性土、単位体積重量１８ＫＮ／m^3、内部摩擦角２５°の場合に、構造上使用可能な土被りの範囲は、管径別に次の表のとおりである。
ただし、横浜市では、布設場所等に応じた最低土被りが「横浜市排水設備要覧」に定められているため、原則としては、これに基づき定めた「公園緑地設計指針」に示す土被りを確保すること。
また、「下水道用硬質塩化ビニル管道路埋設指針」では、工事中の工事車両による一時的な荷重を考慮し、道路内での最低土被りを５０cm以上と規定している。公園緑地内においても、工事車両（大型車）の通行が想定される場合には、この基準に従うこと。
<table><tr><td></td><td>最低　　最大</td></tr><tr><td>径　100</td><td>10 ～ 490 cm</td></tr><tr><td>径　150</td><td>0 ～ 640 cm</td></tr><tr><td>径　200</td><td>10 ～ 590 cm</td></tr><tr><td>径　250</td><td>10 ～ 530 cm</td></tr><tr><td>径　300</td><td>10 ～ 520 cm</td></tr><tr><td>径　350</td><td>10 ～ 470 cm</td></tr></table>
・硬質塩化ビニル管布設時の基礎材料の使い分けは次のとおりとする。
ただし、湧水が多い等、特殊な現場条件の場合には、現場条件に応じた材料を使用する。
① 残土を場内で処分、または他工事で流用する場合
基礎材料には砂（埋戻用）を使用する。
② 残土を指定処分、または確認処分する場合
基礎材料に砂（埋戻用）を用いた場合と改良土を用いた場合の金額を比較し、より安い材料を使用する。
・VU－１００はトイレの汚水系統に限って使用できる。</td></tr>
</table>

Ｓ４　排水設備：参考図

名　称	記　号	内　　容
マンホール （1種）	1MH−GA 1MH−GB	・コンクリート蓋の耐荷重は、Ｔ−１４である。 ・ブロック製品の耐荷重はＴ－２５である。
マンホール （1種）	1MH−GC 1MH−GD	・鋳鉄蓋の耐荷重はＴ−６である。 ・ブロック製品の耐荷重はＴ－２５である。
マンホール （2種）	MH−2A MH−2B	・コンクリート蓋の耐荷重は、Ｔ－１４である。 ・ブロック製品の耐荷重はＴ－２５である。
マンホール （2種）	MH−2C MH−2D	・鋳鉄蓋の耐荷重はＴ－６である。 ・ブロック製品の耐荷重はＴ－２５である。
硬質塩化 ビニル管	VU−400 ～600	・使用にあたっては構造計算を行い、管および基礎の安全を確認する。 ・コンクリート管とコストを比較検討すること。

5　電気設備

・本図に掲載している照明灯の照度範囲はおおよそ次のとおり。

名称／照度(ﾙｸｽ)	０．５ ℓｘ	１．５ ℓｘ
HL-A100[H・S]	半径　１５m	半径　１０m
HL-A200[H・S]	〃　２０	〃　１３
HL-B100[H・S]	〃　１５	〃　１０
HL-B200[H・S]	〃　２０	〃　１３
HL-C100[H・S]	長軸　１４	長軸　１０
	短軸　９	短軸　７
HL-C200[H・S]	長軸　１８	長軸　１３
	短軸　９	短軸　７

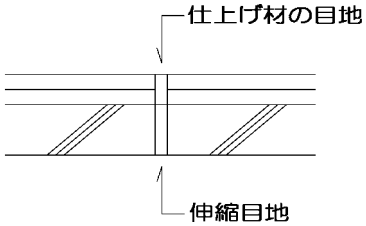
名　称	記　号	内　　容
定額分電盤 （1・2回路）	ＢＴ－ＡＴ ＢＴ－ＢＴ	・Ｄ種接地工を含んでいる。 ・ＢＴ－ＢＴは、盤の近くにハンドホールを設置する。
定額分電盤 （1回路） 〔鋼管ポール用〕	ＢＴ－ＣＴ	・Ｄ種接地工は、引込柱工に含まれている。
メーター分電盤 （2～4回路）	ＢＭ－ＡＴ ＢＭ－ＢＴ ＢＭ－ＣＴ	・盤の近くにハンドホールを設置すること。 ・Ｄ種接地工を含んでいる。 ・ＢＭ－ＡＴを1回路で使用する場合は、ハンドホールを設けずに異種管接続材（別途計上）を用いる。
メーター分電盤 （2回路） 〔鋼管ポール用〕	ＢＭ－ＤＴ	・Ｄ種接地工は引込柱工に含まれている。
トイレ用 メーター分電盤 （2～4回路）	ＴＢＭ－ＡＴ ＴＢＭ－ＢＴ ＴＢＭ－ＣＴ	・盤の近くにハンドホールを設置する。 ・Ｄ種接地工を含んでいる。
ハンドホール	ＨＨ－４５ ＨＨ－６０	・ハンドホール蓋の耐荷重は、ＨＨ－４５が破壊荷重 6,000kg（Ｔ－４相当）ＨＨ－６０が破壊荷重 8,000kg（Ｔ－６相当）となっている。よって４ｔ車以上の管理車両の通行が想定される場所にはＨＨ－４５を設置しないこと。

６　園路広場

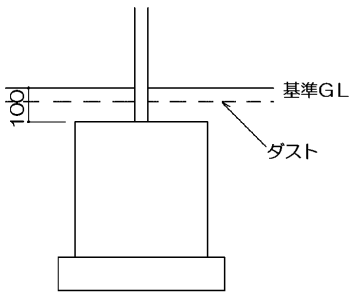
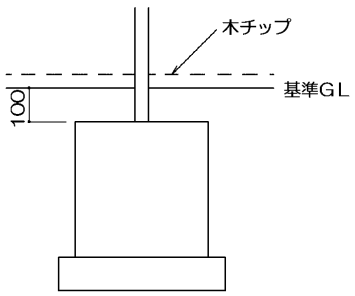
名　称	記　号	内　　容
共通事項	－	・舗装構成について 本図集に掲載している舗装構成は、歩行者および４ｔ車以下の管理車両の通行を前提としている。４ｔを超える車両が通行する場合、一般車両が通行する場合（例：駐車場）、管理車両が常時通行する場合（例：サービスヤード）は、車道の舗装構成を検討すること。 舗装構成の主な根拠は「アスファルト舗装要綱」歩行者系道路舗装の項による。 ・公園内の舗装における透水機能について 小規模な舗装面に降った雨水については、積極的に透水性舗装による浸透をしなくても、これに接する植樹帯等に排水すれば、十分浸透させることができる。したがって図集では、透水性舗装としてはアスファルト舗装のみを掲載している。 ただし、舗装が大面積となる場合や、植樹帯等への排水が困難な場合は、透水性舗装の使用を検討すること。 ・縁石について 一般車両が通行する箇所や管理車両が常時通行する箇所に設ける縁石は、別途構造を検討すること。（道路局図集参照）
ダスト舗装	ＤＨ	・雨水によるスクリーニングスの流出を防ぐため、舗装面の合成勾配は、1.0％以下とする。 合成勾配＝$\sqrt{\ }$（縦断勾配^2＋横断勾配^2）
開粒度アスファルト舗装	ＫＡＨ－Ａ ＫＡＨ－Ｂ	・アスファルト舗装の標準は、開粒度アスファルト舗装とする。
密粒度アスファルト舗装	ＭＡＨ－Ａ ＭＡＨ－Ｂ	・密粒度アスファルト舗装は、透水性舗装とする必要がない場合に使用する。
洗い出し平板舗装	ＦＨ－Ａ ＦＨ－Ｂ	・種石の種類、粒径は別途指定する。金華（鹿島）のように種石が丸いものは、粒径が大きいと滑りやすいので注意すること。本図集掲載の「洗い出し舗装」では、種石の粒径は９mm内外を標準としている。
ハマレンガ舗装	ＹＨ－ＫＡ ＹＨ－ＫＢ	・急勾配部では、目地砂が流出してブロックがずれることがあるため、敷砂の替りに空練りモルタルを使用するか、他の舗装を検討すること。 ・ハマレンガは材質が硬く、役物の作成が困難なため、曲線部の多い園路等には適さない。（役物は製造されていない）
石張り舗装	ＩＨ－ＲＡ ＩＨ－ＲＢ ＩＨ－ＨＡ ＩＨ－ＨＢ	・目地の凹凸が大きく、車椅子の通行に支障となる場合があるので、主要動線での全面的な使用は避けること。 ・伸縮目地と石張りの目地とを一致させ、表層についても縁を切るようにする。面積が大きい場合は、洗い出し舗装に準じて伸縮目地を仕上面まで出す形とする。
インターロッキング舗装	ＬＨ－Ａ ＬＨ－Ｂ	・インターロッキングブロックの種類は、標準品の中から別途指定する。（標準品の定義は、「土木工事積算基準・標準歩掛表」を参照のこと。） ・急勾配部では、目地砂が流出してブロックがずれることがあるため、敷砂の替りに空練りモルタルを使用するか、他の舗装を検討すること。 ・ブロックの縁の面取りが大きいと、目地の凹凸が大きくなり、車椅子の通行に支障となる場合があるので、面取りが大きいブロックの使用は避けること。
洗い出し舗装	ＪＨ－Ａ ＪＨ－Ｂ	・洗い出し舗装の伸縮目地は、他の舗装と異なり、１施工単位（１回当りの洗い出し作業が可能な面積）である１０㎡を標準としている。

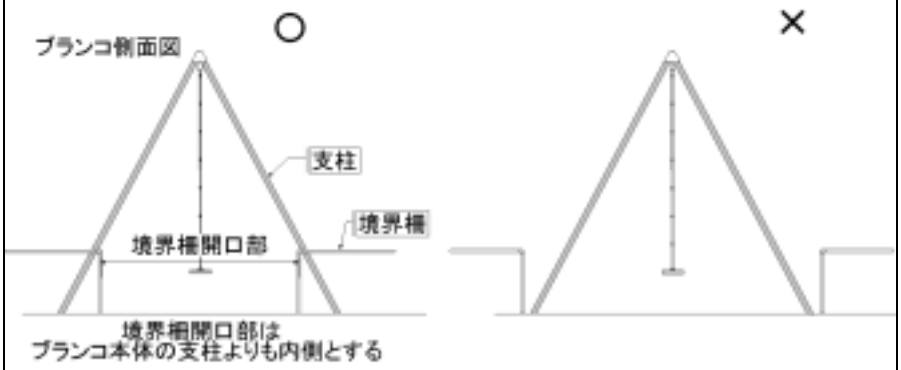
視覚障害者誘導用ブロック舗装	ＹＢ－ＦＡ ＹＢ－ＦＢ	・使用にあたっては、「横浜市福祉のまちづくり条例・施設整備マニュアル」を参照すること。 ・ブロックの色は原則として黄色とする。
視覚障害者誘導用インターロッキング舗装	ＹＢ－ＬＡ ＹＢ－ＬＢ	・使用にあたっては、「横浜市福祉のまちづくり条例・施設整備マニュアル」を参照すること。 ・インターロッキングブロックの色は原則として黄色とする。
コンクリート縁石（地先）	ＴＥ－Ａ１ ＴＥ－Ａ２ ＴＥ－Ａ３	・本ブロック製品は直線用のみである。
コンクリート縁石（地先）	ＴＥ－Ｂ１ ＴＥ－Ｂ２ ＴＥ－Ｂ３	・本ブロック製品は直線用のみである。
コンクリート縁石（公園）	ＫＥ－Ｂ ＫＥ－ＢＫ	・本ブロック製品は直線用、入隅用（内Ｒ・面取側の半径 0.75m以上）、出隅用（外Ｒ・面取側の半径 0.75m以上）である。
コンクリート縁石（歩車道）	ＨＥ－Ａ１ ＨＥ－Ａ２	・本ブロック製品は直線用、入隅用（内Ｒ・面取側の半径 0.5m以上）、出隅用（外Ｒ・面取側の半径 0.5m以上）である。
コンクリート縁石（歩車道）	ＨＥ－Ｂ１ ＨＥ－Ｂ２	・本ブロック製品は直線用、入隅用（内Ｒ・面取側の半径 0.5m以上）、出隅用（外Ｒ・面取側の半径 0.5m以上）である。
丸太階段	ＫＤ－ＭＡ ＫＤ－ＭＢ	・丸太階段は林間散策路など歩行者の通行が比較的少ない箇所に使用する。 ・ＫＤ－ＭＡは急勾配（1：2程度）での踏面部の洗掘防止を目的とする場合に使用する。
擬木階段	ＫＤ－Ｇ１ＯＯ ＫＤ－Ｇ１５０ ＫＤ－Ｇ２００	・設置揚所により、踏面に舗装を行う等の洗掘防止策を取る。

Ｓ６　園路広場：参考図

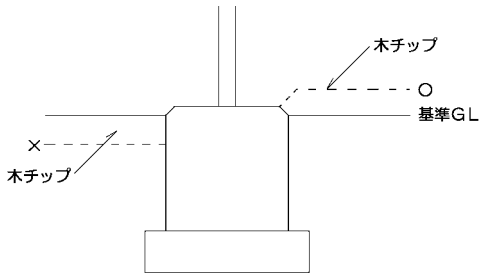
名　称	記　号	内　　容
レンガ舗装	ＲＨ－ＨＡ ＲＨ－ＨＢ ＲＨ－ＫＡ ＲＨ－ＫＢ	・伸縮目地とレンガの目地とを一致させ、表層についても縁を切るようにする。 
タイル舗装	ＴＨ－ＳＡ ＴＨ－ＳＢ ＴＨ－ＲＡ ＴＨ－ＲＢ	・伸縮目地とタイルの目地とを一致させ、表層についても縁を切るようにする。表面はシーリング目地とするのが望ましい。
小舗石舗装	ＳＨ－Ａ ＳＨ－Ｂ	・目地の凹凸が大きく、車椅子の通行に支障となる場合があるので、主要動線での全面的な使用は避けること。 ・伸縮目地と小舗石の目地とを一致させ、表層についても縁を切るようにする。

７　遊戯施設　／　Ｓ７　遊戯施設：参考図

名　称	記　号	内　　容
共通事項	－	〈標準仕様〉 ・　遊具の構造体はＳＧＰ（白）とし、鉄部、鋳鉄部の塗装は、素地ごしらえのうえアクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（指定色）、塗膜厚４０ミクロン以上とする。または同等以上の仕様とする。 ・　ボルト・ナットは、塗装されるものについては電気亜鉛めっきとする。 ボルト類は引っ掛かりのおそれのないものを使用すること。 塗装は工場塗装を基本とし、地際の防食テープ巻きは塗装後に行う。防食テープへの塗装はテープの伸縮によりはがれやすいため、行っていない。 工場塗装の詳細は、参考資料を参照すること。 〈構　造〉 ・遊具の本体基礎は、安全性を考慮し、ＰＣブロックを使用せず現場打ちとしている。（ただし、ジャンクルジムを除く） ・遊具の基礎埋込部は内部からの腐食を防止するため、砕石基礎から５cm以上のコンクリートのかぶりを取ることとしている。 ・遊具まわりを木チップ舗装とする場合は、基準ＧＬより上に木チップ舗装を設ける。（なお、やむを得ず木チップの舗装厚分基準ＧＬを下げる納まりにした場合で、基礎の根入れ（土中部分の深さ）が変わってしまう場合は、別途構造計算を行い基礎形状の安全性を確認すること。）  ダスト舗装の場合の納まり  木チップ舗装の場合の納まり
砂　場	ＳＮ	・洗い出し仕上げの種石には、利用者がけがをするおそれのないよう、丸みを帯びたものを用いること。

ブランコ	BU-2 BU-4	・ 境界柵は安全領域の外側に設置する。また、通り抜けを防止するため、側面方向の境界柵開口部はブランコ本体支柱の内側に設置すること。 ・ 着座部は利用者、利用方法を限定するような「バケット型」「ベルト型」を避け、「平板型」とする。 
すべり台	SU	・ 耐久性、メンテナンスを考慮して、すべり面、側壁共にステンレスとする。 ・ 幼児・児童が共用できるものとするため、踏み板はしご（階段）は踏み板の奥行き、段差は幼児用、踏み板の幅は児童用の数値を採用する。

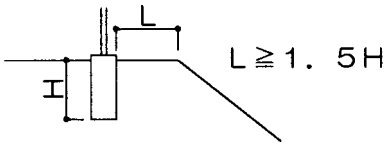
８　サービス施設

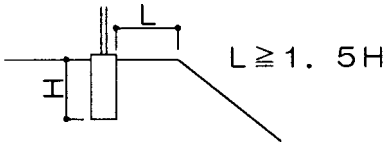
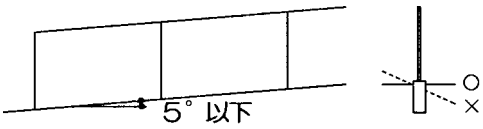
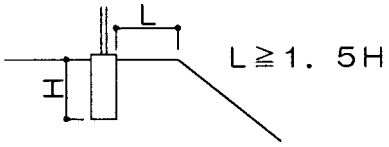
名　称	記　号	内　　容
共通事項	－	〈標準仕様〉 ・木部は、加工後、防腐剤加圧注入処理したひのき材とする。 鋼材部は、電気亜鉛めっきのうえ、工場塗装とする。 ボルト・ナットは、ステンレス（ＳＵＳ３０４）とする。 木部防腐処理および工場塗装の詳細は、参考資料を参照すること。 ・ベンチ類の座板の含水率は、木材の乾燥が不十分なためにひび割れが発生した事例があったことから、新たに品質規格として定めるものである。なお、含水率は、工場での塗装の前に確認する。 ・コンクリートブロック基礎と本体を固定するアンカーボルトは必要な機能（本体と基礎ブロックを固定する。）を満たすものとし、特に種類を定めない。 〈構　造〉 ・ベンチ類のまわりを木チツプ舗装とする場合、木チップの舗装厚分基準ＧＬを下げる納まりにすると、経年変化で木チップが消失した時に基礎が露出することになるので注意する。（なお、木チップの舗装厚分基準ＧＬを下げる納まりにした場合で、基礎の根入れ（土中部分の深さ）が10cm以下となってしまう場合は、別途構造計算を行い基礎形状の安全性を確認すること。）  木チップ舗装の納まり
ベンチ	ＴＢ－ＡＦ ＴＢ－ＡＢ ＴＢ－ＡＨ ＴＢ－ＢＦ ＴＢ－ＢＢ ＴＢ－ＢＨ	・座面の形状により、Ａ・Ｂの２タイプを用意している。 Ａタイプ：座面に傾斜を付け、座りやすさを重視している。 Ｂタイプ：座面を水平にし、かつ、座面の高さをＡタイプに比べて高くすることで、筋力が弱い人でも立ち上がりやすいよう配慮している。また、座面が水平のため手回り品を置いても安定している。
野外卓	ＹＴ	・本野外卓は短辺側を車椅子で利用できるような形状としている。 野外卓の周囲やアプローチ部分は車椅子の利用に支障のないよう配慮する。
水飲み	ＭＮ－Ａ ＭＮ－Ｂ	・横水栓は、子供や高齢者など誰もが使いやすいようにとの考え（ユニバーサルデザインの考え方）から、吐出□回転形胴長横水栓を採用している。 ・水飲み桝には土砂の流入が少なくないが、泥溜めが小さいため、下流の第一桝にも泥溜めを設けるのが望ましい。 ・公共下水道が合流式の場合に設ける防臭トラップは、桝が小さいため、下流の第一桝に設けるのが望ましい。 ・水飲みのまわりは、ぬかるみを防止するため舗装を行う。 ・ＭＮ－Ｂは特に車椅子での利用を考慮したもので、周囲に支障となるものや段差を設けないこと。

９　管理施設－１《車止め・門柱》

名　称	記　号	内　　容
車止め 共通事項	－	・差込式車止めは、車椅子の通行の支障とならないよう、基礎天端に水切り勾配をつけない形としている。 ・差込式車止めの基礎形状は舗装部に設置することを前提としているため、ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、基礎露出による危険性を考慮して、コンクリート基礎の天端に面取りを行うこと。
車止め	ＫＵ－ＡＳ ＫＵ－ＡＫ	・ＫＵ－ＡＳのシリンダー錠は、歩行者や車椅子の通行の支障とならないよう、公園内側（柱裏側）に設ける。
車止め	ＫＵ－ＢＳ ＫＵ－ＢＫ	・視覚障害者が白杖により認識しやすいように、下部に横方向のパイプを追加している。
車止め	ＫＵ－ＣＳ ＫＵ－ＣＫ	・本車止めは、バイクの進入抑制を図りつつ、車椅子が通行できるようにしている。なお、組み合わせて使用する車止めは、基礎天端に水切り勾配をつけないこと。 ・車止めのまわりは平坦とする。 ・本車止めは、視覚障害者が白杖により認識できないおそれがあるため、別の箇所に視覚障害者の動線を確保すること。
門　柱	ＭＯ－Ａ ＭＯ－Ｂ	・洗い出し仕上げの種石には、利用者がけがをするおそれのないよう、丸みを帯びたものを用いること。 ・ＭＯ－Ａは、2基1組となっている。

１０　管理施設－２《柵・手すり》　／　Ｓ１０　管理施設－２《柵・手すり》：参考図

名　称	記　号	内　　容
パイプ柵・ 縦格子柵 共通事項	－	〈構　造〉 ・「防護柵の設置基準・同解説」の歩行者自転車用柵Ｐ種の構造基準に準拠し、垂直荷重５９０Ｎ／ｍ　水平荷重３９０Ｎ／ｍ　に耐える構造としている。これ以上の群集荷重がかかる場合は別途構造を検討すること。 ・基礎は地耐力　長期９８ＫＮ／㎡　短期１９６ＫＮ／㎡　水平方向地耐力はその1／3として設計している。 ・　独立基礎タイプを法肩に近接して設置する場合、構造上、法肩から基礎ブロックの根入れと同じ距離を確保する必要があるが、法肩の浸食を考慮すると、基礎ブロック根入れの1.5倍以上確保することが望ましい。  〈標準仕様〉 ・鋼製柵の構造体にはＳＧＰ（白）を用いて、塗装は３回塗り（錆止め１回、中塗り１回、上塗り１回）を標準としている。 ただし、縦格子柵は溶接箇所が多いため、構造体にはＳＧＰ（黒）を用いて、防錆は電気亜鉛めっきとしてる。塗装は３回塗り（錆止め１回、中塗り１回、上塗り１回）としている。 ・ロープ柵、竹柵の杉丸太はクレオートの刺激臭などに配慮し、無処理品を使用する。ただし、特に耐久性を要する場合は擬木製品等を使用する。
パイプ柵 （1段） （2段）	ＰＦ－１Ｓ ＰＦ－1Ｗ ＰＦ－２Ｓ ＰＦ－2Ｗ	・主な用途は境界柵または立入防止柵である。 ・布基礎タイプは境界沿いへの設置に対応した基礎形状となっており、また園内からの土砂流出防止機能をもつ。
縦格子柵	ＴＦ－９０Ｓ ＴＦ－１２０Ｓ ＴＦ－９０Ｗ ＴＦ－１２０Ｗ ＴＦ－120ＳＳ	・主な用途は境界柵または立入防止柵である。Ｈ1.2mタイプについては転落防止柵ともなる。 ・平地用と傾斜地用に区分して計上する。平地用は傾斜角２°（４％弱）未満とする。 ・布基礎タイプは境界沿いへの設置に対応した基礎形状となっており、また園内からの土砂流出防止機能をもつ。

手すり	ＴＲ－１Ｓ ＴＲ－1Ｗ ＴＲ－２Ｓ ＴＲ－２Ｗ	・傾斜地の場合も手すり端部は水平に設置する。 ・独立基礎タイプは下部からの幼児のすりぬけ（転落）が考えられることに留意する。 ・「防護柵の設置基準・同解説」の歩行者自転車用柵Ｐ種の構造基準に準拠し、垂直荷重５９０Ｎ／ｍ　水平荷重３９０Ｎ／ｍ　に耐える構造としている。これ以上の群集荷重がかかる場合は別途構造を検討すること。 ・基礎は地耐力　長期９８KN／㎡　短期１９６KN／㎡　水平方向地耐力はその1／3として設計している。 ・独立基礎タイプを法肩に近接して設置する場合、構造上、法肩から基礎ブロックの根入れと同じ距離を確保する必要があるが、法肩の浸食を考慮すると、基礎ブロック根入れの1.5倍以上確保することが望ましい。 
メッシュフェンス	ＭＥ－１２０Ｓ ＭＥ－１５０Ｓ ＭＥ－１８０Ｓ ＭＥ－２００Ｓ ＭＥ－１２０Ｗ ＭＥ－１５０Ｗ ＭＥ－１８０Ｗ	・主な用途は境界柵または立入防止柵である。 ・平地用と傾斜地用に区分して計上する。平地用は傾斜角１°（約２％）未満、傾斜地用は傾斜角１°（約２％）以上５°（約９％）以下とする。これを超える場合は、別途基礎構造を検討すること。なお、傾斜地用はフェンス延長方向の傾斜に対応したものであり、横断方向は平坦（基礎の根入れを減じる下り勾配が付いていない）とする。  フェンス延長方向　横断方向 ・独立基礎タイプを法肩に近接して設置する場合、構造上、法肩から基礎ブロックの根入れと同じ距離を確保する必要があるが、法肩の浸食を考慮すると、基礎ブロック根入れの1.5倍以上確保することが望ましい。  ・フェンス本体および基礎は風荷重を基として設計されているため、群集荷重が想定される箇所には設置しないこと。 ・ボールが頻繁に当たると取付金具が損傷してメッシュパネルがはずれることがあるため、運動広場などのボールが直接当たる箇所には設置しないこと。（別途グランド対応タイプを検討する。） ・傾斜地用は勾配に合せてメッシュパネルを製作するため、場所ごとに勾配が変化する自然斜面への設置は避けること。
コンクリート柵	ＣＦ	・主な用途は境界柵である。山林内などの景観的に重要でない場所、斜面地などのメンテナンスが困難な場所等に使用する。
ロープ柵	ＲＦ	・主な用途は立入禁止の意思表示である。 ・ロープは、耐久性を重視する場合はビニロンロープ（いわゆるクレモナロープ）、庭園など景観性を重視する場合はしゅろロープとする。 ・

番線柵	ＷＦ	・仮設柵として用いる。
縦格子柵 （手すり付）	ＴＦＴ－１Ｓ ＴＦＴ－1Ｗ ＴＦＴ－１ＳＳ ＴＦＴ－２Ｓ ＴＦＴ－2Ｗ ＴＦＴ－２ＳＳ	・主な用途は境界柵または立入防止柵である。Ｈ1.2ｍタイプについては転落防止柵ともなる。 ・平地用と傾斜地用に区分して計上する。平地用は傾斜用２°（４％弱）未満とする。 ・布基礎タイプは境界沿いへの設置に対応した基礎形状となっており、また園内からの土砂流出防止機能をもつ。 ・傾斜地の場合も手すり端部は水平に設置する。

参　考　資　料

１　木部防腐処理および塗装について

（1）施設別防腐処理仕様

従来の図集では、防腐処理の仕様は「防腐剤の加圧注入処理（但しＣＣＡを除く）とする。」としていたが、木材の耐久性向上の観点からＪＡＳ（日本農林規格）又はＪＩＳ（日本工業規格）の基準を採用して仕様の明確化を図っている。

なお、クレオソートは刺激臭などに配慮し、耐久性を要する施設については他の防腐処理や鋼製品、擬木製品等の代替品を優先して使用すること。

施設別の防腐処理方法と適用規格

施設	防腐処理方法	適用規格
丸太階段	クレオソート加圧注入処理	ＪＩＳ
ベンチ類	ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理	ＪＡＳ
木柵	ＡＡＣまたはＮＺＮ加圧注入処理	ＪＡＳ

注：木柵は人の手に触れるものであるため、ＡＡＣまたはＮＺＮを採用し、土に接する部分についてクレオソート塗布としている。

ＪＡＳの基準【防腐処理薬剤の浸潤度および吸収量の基準】

薬剤	浸潤度の基準	吸収量の基準
ＡＡＣ	辺材部分 80％以上、材面から深さ10mm までの心材部分 80％以上	DDAC として 9.0 kg/m^{3}以上
ＮＺＮ		油剤は亜鉛として 3.2 kg/m^{3}以上、乳剤は亜鉛として 4.0 kg/m^{3}以上

ＪＩＳの基準【防腐処理薬剤の注入量の基準】

薬剤	注入量の基準
クレオソート	１２０kg/m^{3}以上

（２）防腐処理仕様選定の考え方

ＪＡＳでは、木材の使用環境に応じた 5 段階の性能区分を行い、防腐防蟻処理薬剤の浸潤度と吸収量の基準を定めている。

ＪＡＳの性能区分と木材の使用環境

性能区分	木材の使用環境	具体的内容
Ｋ４	通常より激しい腐朽・ぎ害のおそれのある条件下で、高度の耐久性の期待できるもの	1.外気又は湿潤環境に常時露出される場合で、接地条件で一定の耐用を期待する。 2.外気又は湿潤環境に常時露出される場合で、非接地で長期の耐用を期待する。 3.外気又は湿潤環境にしばしば露出される場合で、接地条件で長期の耐用を期待する。
Ｋ５	極度に腐朽・ぎ害のおそれのある条件下で、高度の耐久性の期待できるもの	外気及び湿潤環境に常時露出される場合で、接地条件で長期の耐用を期待する。

浸潤度の適合基準

性能区分	樹種区分	浸潤度の適合基準
Ｋ４	耐久性Ｄ$_1$の樹種	辺材部分の浸潤度が 80％以上かつ材面から深さ 10mm までの心材部分の浸潤度が 80％以上
	耐久性Ｄ$_2$の樹種	辺材部分の浸潤度が 80％以上かつ材面から深さ 15mm（厚さが 90mm を超える製材については 20mm）までの心材部分の浸潤度が 80％以上
Ｋ５	全ての樹種	辺材部分の浸潤度が 80％以上かつ材面から深さ 15mm（厚さが 90mm を超える製材については 20mm）までの心材部分の浸潤度が 80％以上

注：スギ、ヒノキは耐久性Ｄ$_1$に該当する。

吸収量の適合基準

性能区分	防腐処理薬剤	薬剤の記号	吸収量の適合基準
Ｋ４	クレオソート油	Ａ	クレオソート油として 80kg/m^{3}以上
	クロム・銅・ひ素化合物	ＣＣＡ	ＣＣＡとして 6.0kg/m^{3}以上 18.0kg/ m^{3}以下
	ｱﾙｷﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物	ＡＡＣ	ＤＤＡＣとして 9.0kg/m^{3}以上
	銅・ｱﾙｷﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物	ＡＣＱ	ＡＣＱとして 5.2kg/m^{3}以上
	ナフテン酸銅	ＮＣＵ	油剤は、銅として 1.2kg/m^{3}以上 乳剤は、銅として 1.5kg/m^{3}以上
	ナフテン酸亜鉛	ＮＺＮ	油剤は、亜鉛として 3.2kg/m^{3}以上 乳剤は、亜鉛として 4.0kg/m^{3}以上
Ｋ５	クレオソート油	Ａ	クレオソート油として 170kg/m^{3}以上
	クロム・銅・ひ素化合物	ＣＣＡ	ＣＣＡとして 7.5kg/m^{3}以上 22.5kg/m^{3}以下

本図集では次の点を考慮し、用途別の防腐処理の仕様（使用する薬剤と適用規格）を「用途別防腐処理仕様一覧」のとおり定めている。

＊使用する薬剤について
・ＣＣＡは焼却処分ができないため使用しない。（焼却時に六価クロムが発生するため）
・臭気等を考慮し、人の手に触れるものにクレオソートは使用しない。
・塗装による着色を考慮し、クレオソート以外は無色の薬剤を採用する。

Ｋ４及びＫ５の性能区分で使用される薬剤の概要（CCA、クレオソート以外）

薬剤の記号	商品名	薬剤の色調
ＡＡＣ	ペンタキュアニューＢＭ、レザックＲ他	無色
ＡＣＱ	マイトレック他	緑色
ＮＣＵ	トヨゾールＣＵ他	緑色
ＮＺＮ	トヨゾールＺＮ、ニッサンクリーン他	無色

＊適用規格について
・土に接するものはＫ5、土に接しないものはＫ４の性能区分に該当するが、クレオソートについては、加圧注入処理工場の多くが、ＪＡＳのＫ５の基準に対応しておらず、ＪＩＳの基準に基づいて処理を行っていることから、ＪＩＳを適用する。

用途別防腐処理仕様一覧

用　途	目標とする性能区分	使用する薬剤	適用規格
土に接するもので人の手に触れないもの（丸太階段等）	Ｋ５	クレオソート	ＪＩＳ
土に接するもので人の手に触れるもの（木柵）		ＡＡＣ又はＮＺＮ （土に接する部分には、さらにクレオソートを塗布する）	ＪＡＳ
土に接しないもの（ベンチ類）	Ｋ４	ＡＡＣ又はＮＺＮ	ＪＡＳ

各メーカーのベンチの防腐処理仕様【参考】

メーカー名	A社	B社	C社	D社	E社
木部防腐処理	AAC 加圧注入	NZN 加圧注入	AAC 加圧注入	AAC または NZN 加圧注入	AAC または ACQ 加圧注入

（３）ベンチ類の木部塗装仕様

従来のオイルステインワニスでは、塗膜を作るため膨れやはがれが起きやすいことから、ステンプルーフ・キシラデコールなどの浸透タイプの塗装を採用する。

２　鉄部塗装について

（１）施設別鉄部塗装仕様

従来の図集では、鉄部の塗装仕様は現場塗装を前提としていた。
しかし、ベンチや遊具等、多くの施設が実際には工場で塗装を行っている場合が多いため、工場での塗装を前提とした仕様に変更している。ただし、柵類については現場溶接をおこなうため、下記の仕様とする。

施設	防錆処理	塗装
ベンチ類	（鋼材部）電気亜鉛めっき	アクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（いずれも塗膜厚４０ミクロン以上）
	（鋳鉄部）　　－	アクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（いずれも塗膜厚４０ミクロン以上）
遊具 制札板	（白ガス管）　－	アクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（いずれも塗膜厚４０ミクロン以上）
	（黒ガス管）電気亜鉛めっき	アクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装２回もしくは粉体塗装（いずれも塗膜厚４０ミクロン以上）
柵	（白ガス管）　－	変性エポキシ樹脂プライマー１回※ 合成樹脂調合ペイント２回塗り
	（黒ガス管）電気亜鉛めっき	変性エポキシ樹脂プライマー１回※ 合成樹脂調合ペイント２回塗り

※「建築工事共通仕様書」（国土交通省監修）の「錆止め塗料塗り」の規定による。

（２）各メーカーの塗装仕様

ベンチの塗装等仕様

メーカー名		Ａ社	Ｂ社	Ｃ社	Ｄ社	Ｅ社
鋼材部	防錆処理	電気亜鉛めっき	電気亜鉛めっき２種４級	溶融亜鉛めっき	電気亜鉛めっき２種４級	電気亜鉛めっき２種４級
	塗装仕様	アクリル樹脂焼付塗装２回	メラミン樹脂焼付塗装１回	流動浸漬粉体塗装１回	アクリル樹脂焼付塗装２回	メラミン樹脂焼付塗装２回またはポリエステル静電粉体塗装１回
鋳鉄部	塗装仕様	ポリエステル静電粉体塗装＋アクリル樹脂焼付塗装	メラミン樹脂焼付塗装１回	流動浸漬粉体塗装１回	アクリル樹脂焼付塗装２回	メラミン樹脂焼付塗装２回またはポリエステル静電粉体塗装１回

ベンチの塗装仕様は、アクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装が主流となっている。

遊具の塗装仕様

メーカー名	A社	B社	C社	D社	E社
塗装仕様	アクリル樹脂焼付塗装	メラミン樹脂焼付塗装またはポリエステル樹脂静電粉体塗装	アクリル樹脂焼付塗装またはポリエステル樹脂静電粉体塗装	アクリル樹脂焼付塗装またはポリエステル樹脂静電粉体塗装	ウレタン樹脂塗装、メラミン樹脂焼付塗装またはポリエステル樹脂静電粉体塗装

遊具の塗装仕様は、アクリルまたはメラミン樹脂焼付塗装、またはポリエステル樹脂静電粉体塗装が主流となっている。

（３）鉄部塗装の耐久性について

鉄部の塗装を耐久性が高い順に並べると次のとおりとなる。

流動浸漬粉体塗装＞静電粉体塗装＞焼付塗装＞ＯＰ塗装（ＯＰは現場塗装）

本図集の仕様では､流動浸漬粉体塗装と静電粉体塗装のいずれもが焼付塗装と同等以上の耐久性であることから、どちらでもかまわないものとして、単に「粉体塗装」と表記している。

（４）工場塗装の留意点

工場塗装を行う場合には、次の点に留意する必要がある。

- 工場塗装は、現場塗装と比べて色の指定を早めに行う必要がある。
- 粉体塗装の場合、色がメーカー標準色（10～20 色程度）に限られる。
- 粉体塗装の場合、一部材を 2 色以上に塗り分けることはできない点に注意する。

３　遊具の安全について

「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」（国土交通省：平成１４年３月）及び「遊具の安全に関する規準（案）JPFA-S:2002」（社団法人　日本公園施設業協会：平成１４年１０月）を踏まえて、標準図集の遊戯施設について修正した。

同規準（案）のうち、「第４章　一般規定」及び「第５章　各種遊具の詳細規定」について適用する。

標準図集では、同規準（案）で規定している用語や数値を優先して表記しているが、緑政局として、より安全を確保するために表現や数値を変更するなど、独自の考え方も一部加えている。